

(案)

(仮称) 江東区こども計画策定に係る 調査結果報告書

令和 6 年 3 月



江東区

目 次

第1部 総論	1
第1章 調査の概要	1
第2章 総括(アンケート調査及びヒアリング調査より浮かび上がった次期計画策定に向けた課題)	5
第2部 区民意向調査結果	12
第1章 就学前児童保護者調査の結果	12
1 お子さんや家族の状況について	12
2 お子さんの日常生活について	28
3 お子さんの平日の定期的な教育・保育事業の利用状況について	34
4 病気の際の対応について ※平日、教育・保育事業(幼稚園・保育園等)を利用している方 ..	45
5 平日に定期的に利用したい教育・保育事業について	48
6 休日保育事業について ※日曜・祝日に就労している方	56
7 不定期の教育・保育事業や一時預かり等について	61
8 入学後の放課後の過ごし方について ※お子さんが来年度小学校に入学する方	87
9 育児休業の状況について	90
10 子育て環境全般について	96
第2章 小学生保護者調査の結果	138
1 お子さんや家族の状況について	138
2 お子さんの日常生活について	148
3 お子さんの放課後の過ごし方について	154
4 江東区の子育て環境などについて	160
第3章 小学生高学年調査の結果	180
1 あなたのことについて	180
2 放課後の過ごし方について	182
3 普段の生活のことについて	183
4 将来のことや働くことについて	191
5 ご家庭のことについて	195
6 インターネットを通じた情報について	199
7 ボランティアや地域との関わりのことについて	201
8 児童館のことについて	202
9 江東区役所に意見を伝えることについて	203

第4章 中学生・高校生世代調査の結果.....	207
1 あなた自身のことについて	207
2 放課後の過ごし方について.....	209
3 普段の生活のことについて.....	211
4 将来のことや働くことについて	220
5 ご家庭のことについて	224
6 インターネットを通じた情報について.....	228
7 ボランティアや地域との関わりのことについて	230
8 児童館のことについて	231
9 江東区の政策や事業への意見の反映について	232
第3部 子育て世帯生活実態調査結果	237
第1章 小学生・中学生調査の結果	237
1 あなたのことについて	237
2 あなたの「夢」について.....	244
3 ふだんの生活について.....	246
4 食事や健康のことについて.....	269
5 学校や勉強のことについて.....	275
6 あなたがふだん考えていることについて	280
第2章 保護者調査の結果	305
1 あなたやあなたの世帯のことについて.....	305
2 お子さんのお母さまとお父さまの職業について.....	312
3 お子さんの健康状態について	319
4 お子さんの学校生活や教育について.....	321
5 ご家庭での生活について	324
6 ご家庭の家計について	335
7 お子さんのお母さまとお父さまのこれまでのご経験について.....	351
8 公的サポートについて	355
9 自由記入欄.....	363
第3章 児童育成手当受給者向け調査の結果.....	373
1 あなたやあなたの世帯のことについて.....	373
2 就業の状況について	381
3 ご家庭の家計について	387
4 お子さんのことについて	394
5 お子さんの学校生活や教育について.....	411
6 生活全般や公的サポート等について	414
7 自由記入欄.....	444

第4部 関係機関・団体ヒアリング調査結果.....	452
第1章 こども・若者や保護者の状況について.....	452
第2章 活動上の課題、区に対しての意見・要望.....	461
資料編.....	476

第Ⅰ部 総論

第1章 調査の概要

1 調査の目的

本調査は、新たに「(仮称)江東区こども計画」(令和7～11 年度)を策定するため、こども・若者施策のニーズや教育・保育事業の利用量を見込むにあたり、子育て中の保護者や中高生世代の意見・意向を伺うために区民意向調査を実施しました。また、こどもの貧困対策について、保護者の所得やはく奪指標等により便宜的な貧困(生活困難)層を把握するとともに、貧困(生活困難)層の生活、教育状況やニーズを把握することを目的として子育て世帯生活実態調査を実施しました。

2 調査概要

1. 区民意向調査

項目	就学前児童の保護者	小学生児童の保護者
調査対象者	江東区内在住の就学前児童の保護者 3,000 名を住民基本台帳より無作為抽出	江東区内在住の小学生児童の保護者 3,000 名を住民基本台帳より無作為抽出
調査期間	令和5年 10 月 9 日(月)～10 月 23 日(月)	
調査方法	郵送配付・郵送回収による本人記入方式	

項目	小学生高学年	中学生・高校生世代
調査対象者	江東区内在住の小学生高学年(4～6 年生)本人 1,500 名を無作為抽出	江東区内在住の中高生世代本人 2,000 名を無作為抽出
調査期間	令和5年 10 月 9 日(月)～10 月 23 日(月)	
調査方法	郵送配付・郵送回収による本人記入 または WEB 回答による本人入力方式	郵送配付・郵送回収による本人記入 または WEB 回答による本人入力方式

2. 子育て世帯生活実態調査

項目	小学校5年生児童とその保護者	中学校3年生生徒とその保護者	児童育成手当受給者
調査対象者	江東区内在住の小学校5 年生児童とその保護者 2,000 名を住民基本台帳より無作為抽出	江東区内在住の中学校3 年生生徒とその保護者 2,000 名を住民基本台帳より無作為抽出	江東区内在住の児童育成手当受給者のうち、小学校4 年生から中学校3 年生までの児童生徒を養育するひとり親世帯の方 1,608 名への全数調査
調査期間	令和5年 10 月 9 日(月)～10 月 23 日(月)		
調査方法	郵送配付・郵送回収による本人記入方式		

項目	関係機関・団体
調査対象者	福祉関係、教育関係、保健関係、青少年関係、支援団体の5区分から計 45 機関・団体
調査期間・方法	令和5年 11 月に調査票を配付・回収、うち 8 機関・団体に令和5年 12 月にヒアリング

3 回収結果

区民意向調査	配付数	回収数	回収率
就学前児童の保護者	3,000 件	1,624 件	54.1%
小学生児童の保護者	3,000 件	1,584 件	52.8%
小学生高学年	1,500 件	655 件	43.7%
中学生・高校生世代	2,000 件	799 件	40.0%
子育て世帯生活実態調査	配付数	回収数	回収率
小学校5年生児童	2,000 件	824 件	41.2%
中学校3年生生徒	2,000 件	765 件	38.3%
小学校5年生・中学校3年生保護者※	4,000 件	1,714 件	42.9%
児童育成手当受給者	1,608 件	747 件	46.5%
関係機関・団体	45 件	44 件	97.8%

※回収した 1,714 件のうち、保護者票のみの回収（児童・生徒の学年の把握が不可）は 158 件あった。

なお、子育て世帯生活実態調査のうち、関係機関・団体の内訳は以下のとおりです。

関係機関・団体		配付数	回収数	うちヒアリング 実施数
①福祉関係	母子生活支援施設、子ども家庭支援センター、 まなび支援員、主任児童委員、保育園、 江東区助け合い活動連絡会	23 件	22 件	3 件
②教育関係	スクールカウンセラー、 スクールソーシャルワーカー	14 件	14 件	2 件
③保健関係	保健相談所、助産師会	5 件	5 件	1 件
④青少年関係	こうとうゆーすてつぷ事業受託会社	1 件	1 件	1 件
⑤支援団体	こども食堂、まなび塾事業受託会社	2 件	2 件	1 件

4 報告書の見方

- ◇図表中の「n」(number of cases)は、その設問で集計対象となる回答者数を表しています。
- ◇回答結果は、上記の「n」に対するそれぞれの回答数の割合を、小数点以下第2位で四捨五入したものです。四捨五入を行っている関係で、合計値が 100.0%にならない場合があります。
- ◇複数回答の設問の場合、回答割合の合計が 100.0%を超える場合があります。
- ◇図表中で「不明・無回答」とあるものは、回答が示されていない、または回答の判別が困難なものです。
- ◇本文及び図表中では、設問の選択肢は簡略化して示している場合があります。
- ◇クロス集計の結果の記載にあたり、分析軸となる項目の「不明・無回答」は省略しています。そのため、分析軸となる項目の回答者数の合計は、全体の数と一致しない場合があります。
- ◇クロス集計において、該当する回答者数が 20 未満のものについては、参考値として示すにとどめ、分析文においては言及していません。

【「生活困難層」の定義】

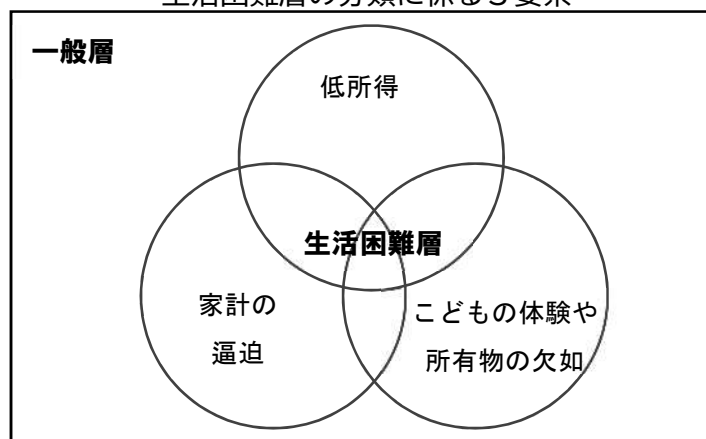
本調査では、「小学校5年生児童とその保護者」「中学校3年生生徒とその保護者」への調査において、東京都が平成29年度に実施した「東京都子供の生活実態調査」にならい「生活困難層」の分類を行った。

「生活困難層」の分類は「低所得」、「家計の逼迫」、「こどもの体験や所有物の欠如」の3要素に基づき行った。このうち、2つ以上の要素に該当する層を「困窮層」、1つの要素に該当する層を「周辺層」とした。

生活困難層の分類

生活困難層	困窮層＋周辺層
困窮層	2つ以上の要素に該当
周辺層	1つの要素に該当
一般層	いずれの要素にも該当しない

生活困難層の分類に係る3要素



参考：3要素の考え方 ～「東京都子供の生活実態調査報告書」より～

①低所得	③こどもの体験や所有物の欠如
等価世帯所得が厚生労働省「2022（令和4）年国民生活基礎調査」から算出される基準未満の世帯 <低所得基準> 世帯所得の中央値 423 万円÷ $\sqrt{\text{平均世帯人数（2.25 人）} \times 50\%}$ =141.0 万円	こどもの体験や所有物などに関する 15 項目のうち、経済的な理由で、欠如している項目が3つ以上該当 ○海水浴に行く ○博物館・科学館・美術館などに行く ○キャンプやバーベキューに行く ○スポーツ観戦や劇場に行く ○遊園地やテーマパークに行く ○毎月おこづかいを渡す ○毎年新しい洋服・靴を買う ○習い事（音楽、スポーツ、習字等）に通わせる ○学習塾に通わせる （又は家庭教師に来てもらう） ○お誕生日のお祝いをする ○1年に1回くらい家族旅行に行く ○クリスマスのプレゼントや正月のお年玉をあげる ○こどもの年齢に合った本 ○こども用のスポーツ用品・おもちゃ ○こどもが自宅で宿題（勉強）をすることができる場所
②家計の逼迫	
経済的な理由で、公共料金や家賃を支払えなかった経験、食料・衣服を買えなかった経験などの7項目のうち、1つ以上該当 ○電話料金 ○電気料金 ○ガス料金 ○水道料金 ○家賃 ○家族が必要とする食料が買えなかった ○家族が必要とする衣類が買えなかった	

第2章 総括(アンケート調査及びヒアリング調査より浮かび上がった次期計画策定に向けた課題)

1 支援の必要な家庭・こどもへの支援

1-① 保護者への支援

- 生活困難層において、こどもを持ってから経験したしたこととして「出産や育児でうつ病(状態)になった時期がある」や「自殺を考えたことがある」の回答が多い傾向がみられました。また、関係機関・団体ヒアリングでは、こども・若者を取り巻く環境で気になることについて、保護者に精神的な疾患や障害があるケースが多いことが意見としてあがっていました。こうしたケースの場合、こどもへの支援が必要であるにもかかわらず、公的なサービスへの結びつきづらさや、こどもの支援よりも保護者の支援がまず必要であったりと、一筋縄ではいかない困難さを帯びており、重層的に支援できる体制整備が必要です。
- 児童育成手当受給者で現在就労している人のうち、3割半ばが「収入」や「こどもが病気のとくに休みづらい」ことを理由として転職意向を持っています。また、新しく仕事に就く際の支援としては「職業訓練中の経済的支援」が5割半ばで最も多いほか、「就職まで支援してくれる相談員」、「職業訓練の機会が増えること」や「仕事の適性診断」に3割を超える回答があります。さらに、「就職活動中や職業訓練中のこどもの保育」に2割半ばの回答があります。そのため、ひとり親が安心して就職活動や仕事に打ち込むことができるよう、就労支援体制を充実させることが課題です。
- 生活困難層は、そうでない層に比べて支援の必要性が高いといえますが、公的サポートの利用状況をみると、生活困難層ほど「ない、制度等について全く知らなかった」とする回答が多くなっています。支援が適切に必要とする方に結びつくよう、情報提供のあり方や積極的なアプローチについて検討する必要があります。
- 就学前保護者と小学生保護者の半数は子育てに関して不安・負担を感じており、その内容は就学前保護者と小学生保護者で異なっています。情報提供、相談対応など、その時々に応じたサポートが課題となります。

1-② こどもの学習・進学支援

- 生活困難層において、こどもの進路や教育費は大きな悩みとなっています。生活困難層の保護者は、一般層に比べて大学に進学した割合が低く、こどもの最終学歴でも、一般層に比べて生活困難層では「高校まで」または「まだわからない」とする割合が高くなる傾向がみられました。また、生活困難層では半数が「家計が赤字」であり、学資保険や積立は「している」が4割台で、一般層のおよそ半数という状況であることから、進学の際に経済面で困らないよう、貯蓄等のアドバイスを行っていく必要があります。

○学校の授業の理解度については、小中学生ともに生活困難層ほど「あまりわからない」、「わからないことが多い」、「ほとんどわからない」の合計割合が高くなる傾向がみられ、特に中学生においてその傾向は顕著となっています。また、関係機関・団体ヒアリングにおいては、コロナ禍を経て不登校が増加しているという意見があがっているほか、外国につながるこどもの語学支援やケアなどの必要性が意見としてあげられており、地域において、そうしたこどもたちの居場所や学習の場所を充実させることが必要です。さらには、親や下の兄弟の面倒をみるなどの理由により学校に通えない、いわゆる“ヤングケアラー”が存在する意見も関係機関・団体ヒアリングであがっていました。学習面への影響が出ないよう、支援していくことが求められます。

1-③ こどもへの虐待防止

○就学前及び小学生保護者の7割以上はしつけであっても体罰はすべきでないと回答していますが、ある程度の体罰であれば容認する割合は2割台となっています。また、5割以上はこどもをたたいた経験があると回答しており、子育てに不安や負担を感じているほど、「ときどきあった」の回答が高い傾向がみられます。さらに、「しつけのためなら、ある程度の体罰もやむを得ない」と考えている人の3割以上、体罰を否定している人でもおよそ1割はこどもをたたいたことが「ときどきあった」と回答しています。小学校高学年の4人に1人、中高生世代の5人に1人の割合で体罰を受けた経験があると回答している一方、親から体罰を受けた経験のあるこどもほど親への暴力をふるった経験の割合が高い傾向がみられ、こどもへの体罰は、将来こどもから親への家庭内暴力につながることも考えられます。そのため、しつけと体罰の違い等について保護者に周知・啓発するとともに、子育てのストレスから手をあげることがないよう、子育てについて不安・負担を抱え込んでいる保護者に対するケアが課題となります。

○関係機関・団体ヒアリングにおいて、少子化ということもあり、全体的にこどもと接する機会が減り、こどもに対して理解を形成するチャンスがないという課題があげられました。小中学校など、若いうちから小さいこどもと接する機会を増やすことが、こどもに対する理解を深めたり親になる準備に有効であるため、そのような機会を創出することが求められます。

1-④ 障害のあるこどもの支援

○関係機関・団体ヒアリングにおいては、特に発達障害は早期発見とその後の療育へのつながりが重要という意見がありました。そのため、関係機関同士が緊密な連携のもと、切れ目のない支援を提供する体制整備が必要となります。また、検査や療育を受けるには保護者の理解があることも重要とされています。健診時等の適切なタイミングで啓発や相談先等の情報提供を充実させることが求められます。

2 家庭における子育て環境の充実

2-① ワーク・ライフ・バランス、親子間での積極的なコミュニケーションの意識啓発

○生活困難層においては、親子間のコミュニケーション不足や体験を共有する機会が不足していることが見受けられます。また、保護者と会話する頻度が多いほど「夢がある」と回答する小学生高学年や中高生世代が多い傾向がみられます。さらには、会話の頻度が多いほど、こどもたちの中にある「親は自分の気持ちを分かっている」という気持ちが多くなる傾向がみられ、このことが、より会話する頻度を増す好循環を生んでいることがうかがえます。親子間の適度なコミュニケーションは良好な親子関係の形成につながることが考えられるため、保護者に向けて、こどもと向き合う時間、一緒に過ごす時間を持つなどの啓発をすることが必要です。

○父親と母親を比べたとき、こどもとのコミュニケーションの頻度は父親が少なくなりがちであることがうかがえる結果となっています。また、仕事と子育てを両立させることで大変なこととしては「こどもと接する時間が少ない」が4割以上の回答となっており、保護者自身もこどもと接する時間が少ないことを問題として捉えていることがうかがえます。仕事の時間と家事(育児)の時間バランスの現状と理想では、父母もいずれも“理想”は「すべてをバランスよく両立」であるのに対して、母親の現状は「家事(育児)時間を優先」、父親の現実には「仕事時間を優先」が最も多くなっています。保護者が自身の描くワーク・ライフ・バランスに近づきつつ、子育てを楽しみながら働くことができるよう、働き方改革等の実現に向けた企業及び個人への啓発・働きかけが課題となります。

○就学前児童の保護者において、配偶者(パートナー)の子育て分担の満足度をみると、全体では6割以上が『満足(満足+まあ満足)』と回答していますが、子育てをつらいと感じている方や子育てに不安感・負担感を感じている方では、配偶者(パートナー)の子育て分担の満足度について「不満」とする回答が多い傾向がみられます。配偶者(パートナー)と分担することの重要性がうかがえる結果であり、子育ての負担がどちらかに偏らず子育てを楽しんでいると感じながら取り組めるよう、共働き・共育ての考え方について啓発することが必要です。

2-① こどもの権利の周知

○こどもの権利について認知状況をみると、「知らない」の割合は保護者で約1割、こどもたちでは2割半ばから3割半ばとなっています。また、こどもたちの約1割が生活の中で「こどもが大切にされていると思わない」と回答しています。権利の主体であるこどもたちの、権利に対する認知状況が低いことがうかがえることから、さらなる周知を行う必要があります。

○こどもの権利について、就学前や小学生保護者の4割が「あまり考える機会はない」と回答していることから、こどもと一緒に考えて考える機会を創出するなど、積極的な働きかけを検討する必要があります。

3 就学前の教育・保育環境の整備

3-① 教育・保育環境の充実

- 教育・保育事業を利用していない理由として、「空きがないから」が1割の回答となっており、引き続き、地域需要に応じた受け皿確保及び利用者支援の拡充が必要です。
- 教育・保育事業を利用するにあたり重視することとして、「自宅からの通いやすさ」が最も高く、次いで「教育・保育の内容」が求められていることから、施設整備にあたっての利便性の向上及び質のさらなる拡充が必要です。
- 休日保育については4割を超える利用意向があります。また、一時預かり(リフレッシュひととき保育)については一定数利用できなかったとする回答があり、その理由としては「空きがない」が5割強で最も多くなっているため、保護者の息抜き対策も含めた不定期の預かりの受け皿確保が課題となります。
- こどもが病気・けがをした際の対応は、保護者が対応することが多くなっていますが、手続きの煩わしさを理由に病児・病後児保育事業を利用していないケースも見受けられるため、利用しやすい事業に向けた検討が必要です。
- 育児休業の取得期間は、母親において約5割が希望する期間よりも早く切り上げて仕事に復帰していることがうかがえます。理由としては「希望する保育園に入れるため」が6割となっており、柔軟な対応について検討が必要です。

3-② 就学前児童の遊び場・居場所

- 就学前児童の遊ぶ環境の満足度は、半数以上が満足と回答していますが、3割は不満を感じている結果となっています。不満の理由としては「雨の日に遊べる場所がない」と「ボール遊びができる場所がない」の回答が高くなっています。また、区に希望する子育て支援について、「放課後や休日のこどもの居場所づくり」が3割半ば、5歳児では4割強で最も多くなっており、今後のこどもの居場所を検討する際の課題となります。

4 青少年の健全育成

4-① 青少年の居場所

- 就学前児童の保育ニーズの高まりに合わせ、小学校進学時には放課後の預かりサービスを利用する意向が高まることが見込まれるため、見込み量に応じた受け皿の確保が課題となります。
- 小学校高学年や中高生世代の安心できる場について、わずかですが「場所がない」との回答があります。必ずしも自宅が安心できる場ではないこどもが一定数存在することがうかがえるため、地域の中で安心して過ごせる場を提供していく必要があります。
- 関係機関・団体ヒアリングにおいて、こどもたちの居場所が少ないという意見があがっていました。また、こうした居場所は、さまざまなこどもたちを受け入れるために、居場所もまた多様であること、こどもたちはその中から自分に適した場所を選べることが重要という意見もありました。一人でも多くのこどもが自分に合った居場所を見つけることができるよう、さまざまな主体と連携した多様な居場所づくりを展開することが必要です。
- 小学生保護者で児童館を利用したい理由としては「安心安全」や「いろいろな友だちとの交流」があげられていることから、児童館の強みをアピールできる企画や周知についてが課題となります。

4-② 情報教育と性教育

- インターネットは小学生高学年や中高生世代の大多数が利用している結果となっています。インターネット教育を受ける機会は小学校高学年・中高生世代いずれも「学校で教えてもらった」が8割以上となっていますが、「親から教えてもらった」は小学校高学年で約5割、中高生世代で約3割と、家庭教育の浸透がうかがえる結果となっています。引き続き、親がインターネットにはらむ危険性などについて学ぶ情報教育の実施や家庭における情報教育を促進することが課題となります。
- 中高生世代に性教育の必要性をうかがったところ、『よい(よいと思う+まあよいと思う)』が8割以上で肯定的な意見が大半となっていました。就学前保護者や小学生保護者も、それぞれ調査対象となったこどもの年齢から性被害防止のための性教育を受ける受けたほうがよいと回答しており、こどもの発達段階に応じた教育内容を検討することが必要です。

4-③ 相談体制・メンタルケア

- 児童のうつ病の程度を表す指標(以下、「パールソン児童用抑うつ性尺度1」という)によると、抑うつ傾向がみられる児童の割合は小学生が 12.7%であるのに対して、中学生では 26.6%とおおよそ倍の出現割合となっています。また、抑うつ傾向のある児童については家庭の経済状況による差はあまりみられず、どの生活層でも一定割合いることがうかがえます。この抑うつ傾向がみられる児童については、こどもの権利の認知状況について差がみられます。関係機関・団体ヒアリングにおいては、自殺予防や不登校防止のために児童生徒のメンタルヘルスの介入の重要性をあげる意見がありました。一方で、相談支援体制の手薄さが課題としてもあがっており、体制を充実させることが必要です。
- 中高生世代のうち、ひきこもりの傾向にある割合は約 4%で、その状況になった年齢は 13 歳前後と概ね中学校進学時にあたります。環境の変化や思春期における内面的な変化など、さまざまな要因がストレスになることも考えられるため、思春期におけるメンタル面でのサポート体制を充実させることが課題となります。
- 小学生高学年では友人関係や勉強のこと、中高生世代は、勉強・進学や仕事のことで悩みを抱えることが多く見受けられます。そうした悩みや不安を感じた時の対応状況として、「特に相談はしない」がいずれも2割強の回答となっています。悩みをひとりで抱え込まず、身近な人などに相談するよう周知することと、専門的な相談窓口を周知することが課題となります。

5 健康づくりの支援

5-① 医療の受診状況

- 保護者の都合により、こどもの体調が悪くても医療機関にかかれないことがあり、特に困窮層でその傾向がみられました。ただし理由としては経済的なことというよりは、保護者の多忙さが理由としてあげられています。こうした際の対応について検討が必要です。
- むし歯の状況については、小学生において「ある(歯医者に通っていない)」が生活困難層で1割強となっています。小学生・中学生の周辺層や一般層ではそもそもむし歯が「ない」の回答が困窮層に比べて1割近く多くなっていることから、むし歯のない口腔環境に向けて、乳幼児期における指導が重要といえます。

¹ パールソン児童用抑うつ性尺度：児童用のうつ病のスクリーニングテストのことで、18 項目の質問からなり、各質問の回答を点数化し、その合計値で判定を行います。

5-② 食生活について

○食べ物の摂取状況について、生活困難層では一般層に比べて「野菜」、「果物」や「肉か魚」を食べる頻度が低い傾向がみられる一方、「カップめん・インスタントめん」を食べる頻度が高い傾向にあります。保護者の調査においても、「栄養のバランスを考えていろいろな食品をとる」では、中学生保護者の生活困難層ほど「あまり気をつけていない」の回答が高くなる傾向がみられます。また、朝ごはんが用意されているかについては、中学生保護者の生活困難層で「週に1日」と「まったく用意しない」が1割弱となっています。さらに、平日の朝食の摂取状況では、「いつも食べる」割合が一般層では約9割であるのに対して、困窮層は7～8割となっています。成長期においては3食食べることや食事バランスに気をつけることの重要性について親とこどもの双方に啓発していく必要があります。

6 地域の子育て支援体制

6-① 地域の支援体制

○就学前保護者や小学生保護者において、地域の支援を実感しているほど、また、地域のこどもの見守りを実感しているほど、「江東区は子育てしやすいまち」だと思う割合が多くなっています。子育てする当事者にとって江東区が子育てしやすいまちであると評価されるには、公的なサポートの充実だけでなく、地域の協力が重要であり、一体となって子育て環境を整備することが求められます。

○小中学生の保護者において、緊急時に身近に頼れる人や困ったときの相談相手について生活困難層ほど「いない」とする割合が高くなる傾向がみられるとともに、近所付き合いについては「まったく付き合っていない」割合も生活困難層ほど高くなる傾向がみられます。また、関係機関・団体ヒアリングでは、困難世帯は地域から孤立しがちであるという意見があります。そのため、そうした世帯のSOSに周囲の人たちが気づいてあげることが必要であり、話しかける、交流の機会を地域の中で持つなど、地域との接点をつくり、見守れる体制づくりが課題となります。

○就学前児童や小学生児童の保護者の情報入手手段では、今後受け取りたい方法として「区SNS（LINE・X(旧 Twitter)・PIAZZA など）」が現在利用している割合よりも高くなっています。これからの親世代のニーズに合わせ、的確な情報発信を行っていくことが必要です。

○関係機関・団体ヒアリングにおいて、分野に縛られない、“地域”というくくりで多世代の方が集まれる居場所づくりが必要という意見がありました。地区ごとに特色ある居場所づくりが展開されるよう、多様な支援のあり方について検討する必要があります。

6-② 関係機関の連携

○関係機関・団体ヒアリングにおいて、こどもを取り巻く環境が複雑化・複合化してきていることもあり、さらなる多分野・多職種の連携を強めることが必要との意見があります。児童福祉、こどもの貧困問題に加え、青少年の問題も扱うことになると、複数の機関・部署が関係することから、関係する機関・部署間で情報を共有し合い、対象となるこどもを包括的に見守れるネットワークの仕組みを構築することが必要です。

第2部 区民意向調査結果

第1章 就学前児童保護者調査の結果

1 お子さんや家族の状況について

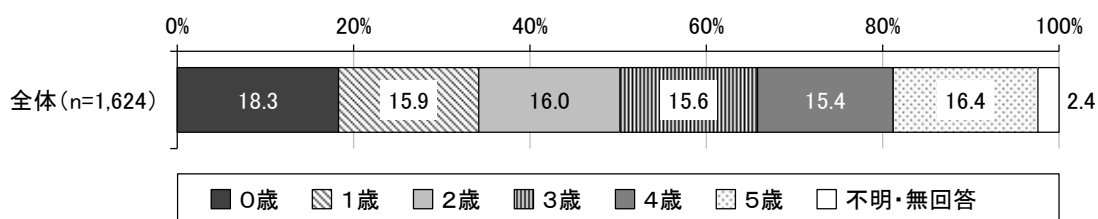
問1 お子さんの①生年月、②③兄弟姉妹のことについてご記入ください。

※②宛名のお子さんを含んだ、すべての兄弟姉妹の人数です。

※③2人以上のお子さんがある場合は、一番下のお子さんの満年齢をご記入ください。

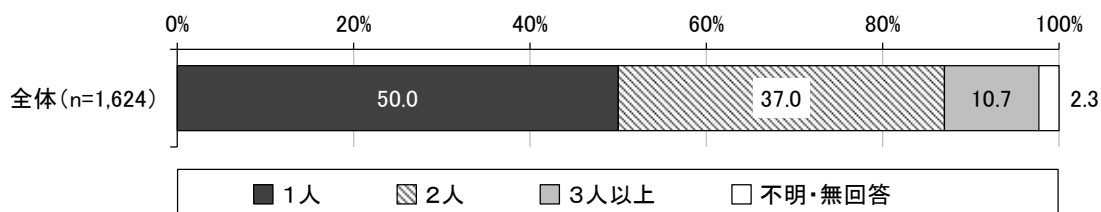
①年齢

年齢についてみると、「0歳」が18.3%と最も多く、次いで「5歳」が16.4%となっています。



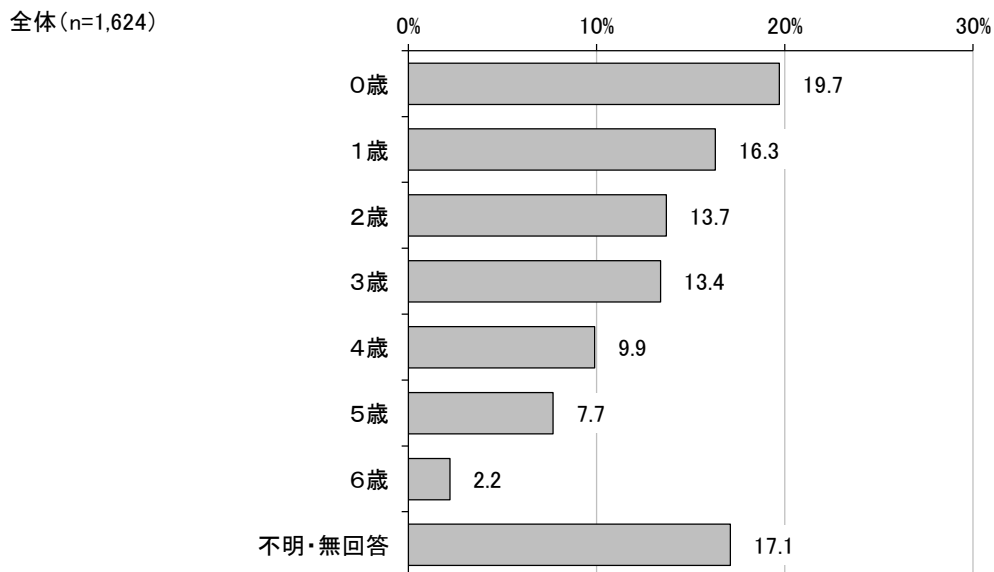
②兄弟姉妹数

兄弟姉妹数についてみると、「1人」が50.0%と最も多く、次いで「2人」が37.0%となっています。



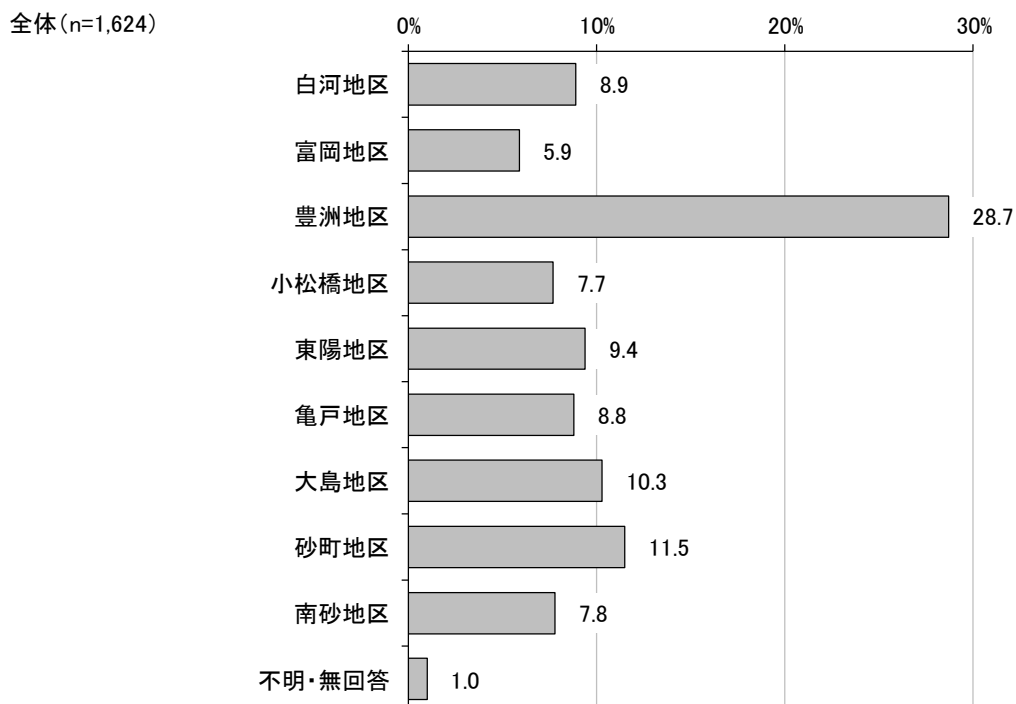
③末子の満年齢（令和5年4月1日現在）

末子の満年齢についてみると、「0歳」が 19.7%と最も多く、次いで「1歳」が 16.3%となっています。



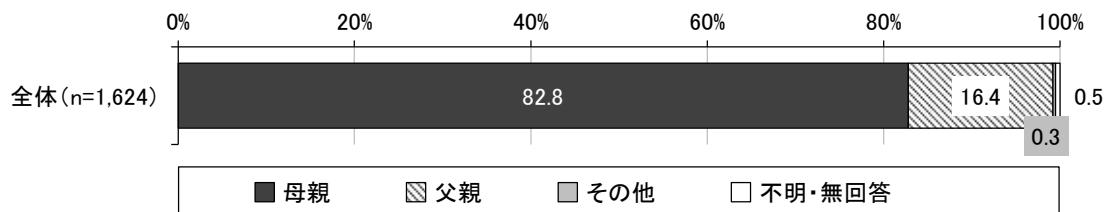
問2 お住まいの地区をお答えください。（1つに○）

居住地区についてみると、「豊洲地区」が 28.7%と最も多く、次いで「砂町地区」が 11.5%となっています。



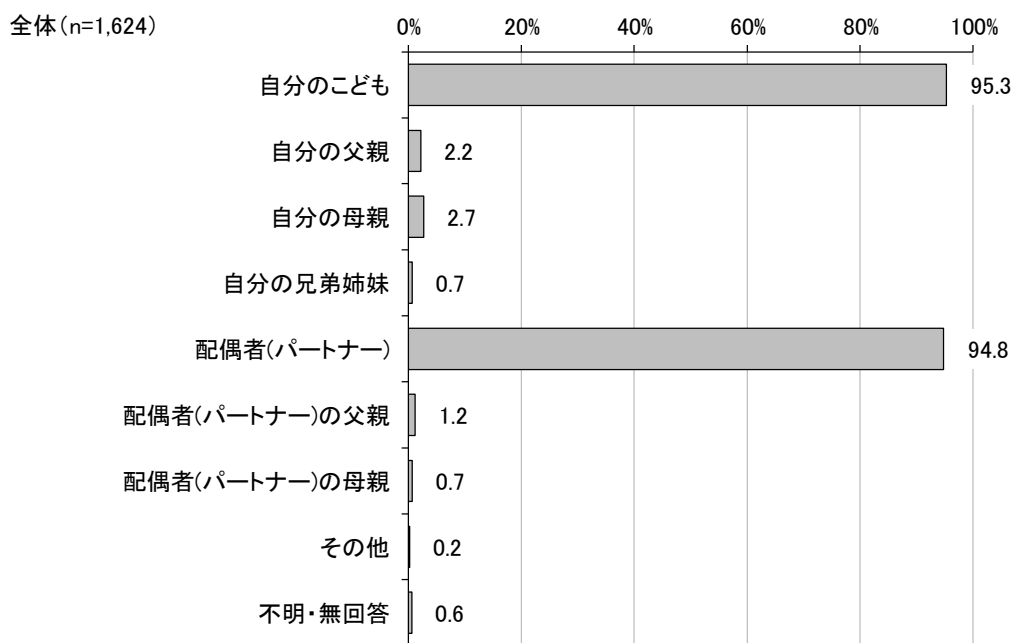
問3 回答されている方は、お子さんからみてどなたですか。（1つに○）

回答者についてみると、「母親」が82.8%と最も多く、次いで「父親」が16.4%となっています。



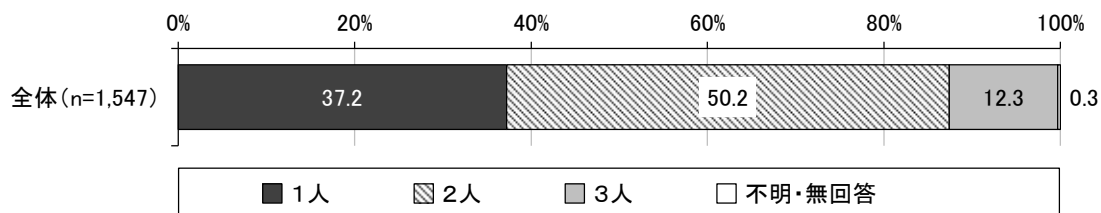
問4 同居しているご家族（あなたからみた続柄）はどなたですか。それぞれ人数も教えてください。（単身赴任しているご家族も含めてご回答ください。あてはまる番号すべてに○、人数はカッコの中に数字を記入）

同居している家族についてみると、「自分のこども」が95.3%と最も多く、次いで「配偶者(パートナー)」が94.8%となっています。



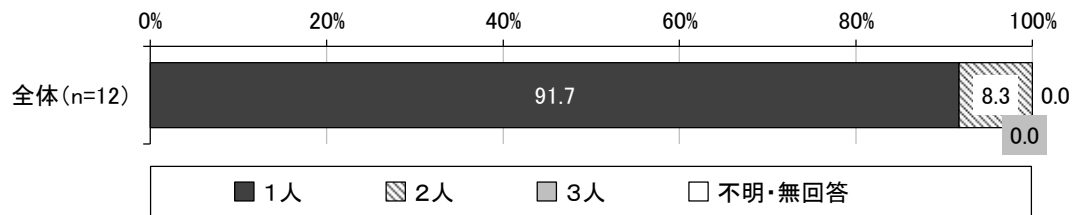
【自分のこどもの人数】

同居している自分のこどもの人数についてみると、「2人」が50.2%と最も多く、次いで「1人」が37.2%となっています。



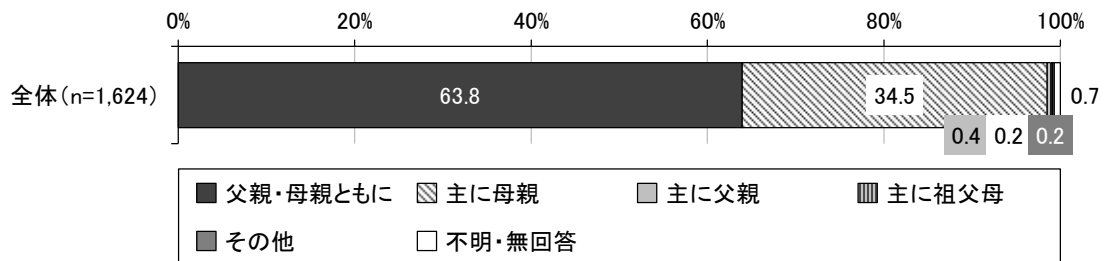
【自分の兄弟姉妹の人数】

同居している自分の兄弟姉妹の人数についてみると、「1人」が 91.7%と最も多く、次いで「2人」が 8.3%となっています。



問5 お子さんの子育てを主にしているのは、お子さんからみてどなたですか。(1つに○)

子育てを主にしている人についてみると、「父親・母親ともに」が 63.8%と最も多く、次いで「主に母親」が 34.5%となっています。



問6 お子さんの保護者の就労状況（自営業、家族従事者含む）をお答えください。

※フルタイムとは週5日程度・1日8時間程度の就労、パート・アルバイト等とはフルタイム以外の就労をいいます。

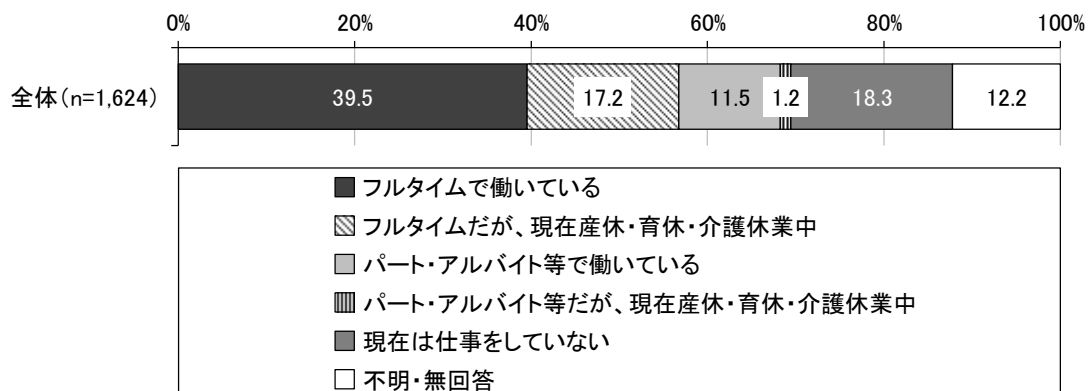
※産休・育休・介護休業中の方は休業に入る前の状況をご記入ください。

※就労日数が一定でない場合は最も多いパターンをご記入ください。

※自宅で仕事をされている方の就労時間は仕事の開始時間と終了時間を就労時間としてください。

（1）母親の就労状況（1つに○）

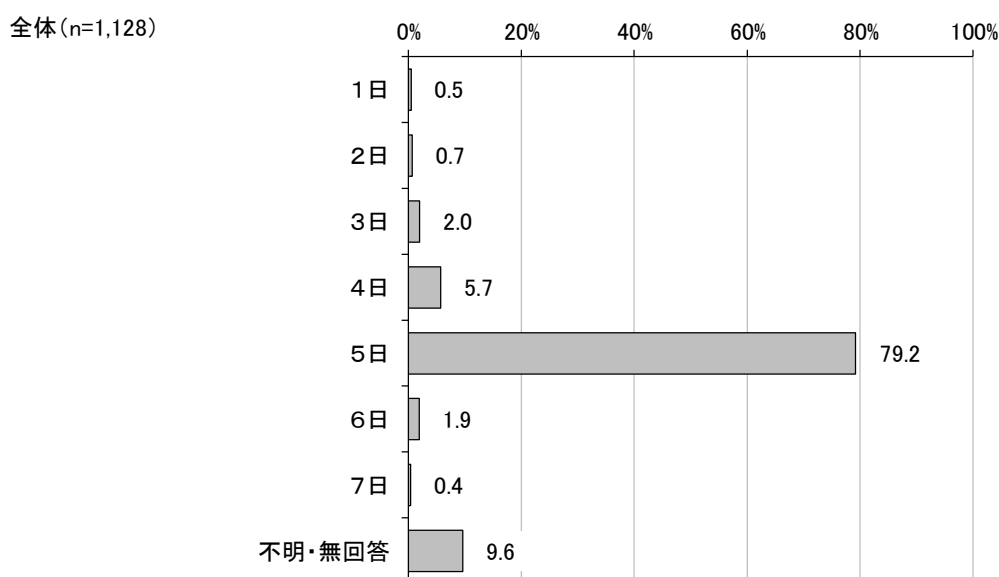
母親の就労状況についてみると、「フルタイムで働いている」が39.5%と最も多く、次いで「現在は仕事をしていない」が18.3%となっています。



①～⑤は問6（1）で「フルタイムで働いている」「フルタイムだが、現在産休・育休・介護休業中」「パート・アルバイト等で働いている」「パート・アルバイト等だが、現在産休・育休・介護休業中」を選んだ方

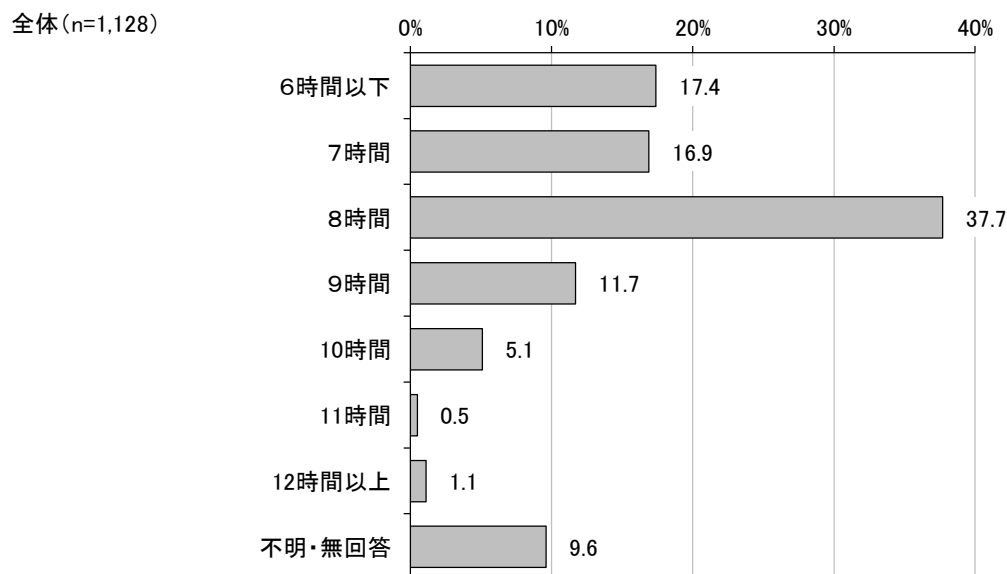
①就労日数【母親】

母親の週あたりの就労日数についてみると、「5日」が79.2%と最も多く、次いで「4日」が5.7%、となっています。



②平均就労時間（残業含む）【母親】

母親の1日あたりの平均就労時間(残業含む)についてみると、「8時間」が37.7%と最も多く、次いで「6時間以下」が17.4%となっています。

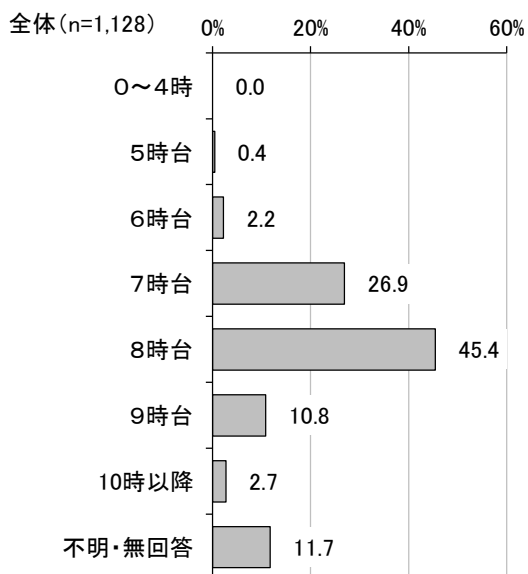


③平均的な家を出る時刻【母親】

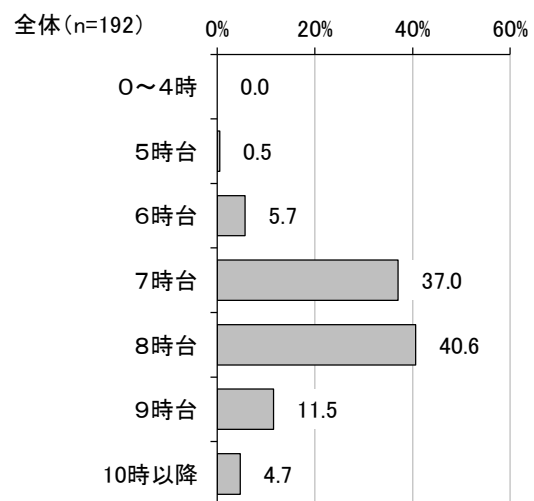
母親の平均的な家を出る時刻についてみると、平日では「8時台」が45.4%と最も多く、次いで「7時台」が26.9%となっています。

土日祝では、「8時台」が40.6%と最も多く、次いで「7時台」が37.0%となっています。

■ 平日



■ 土日祝



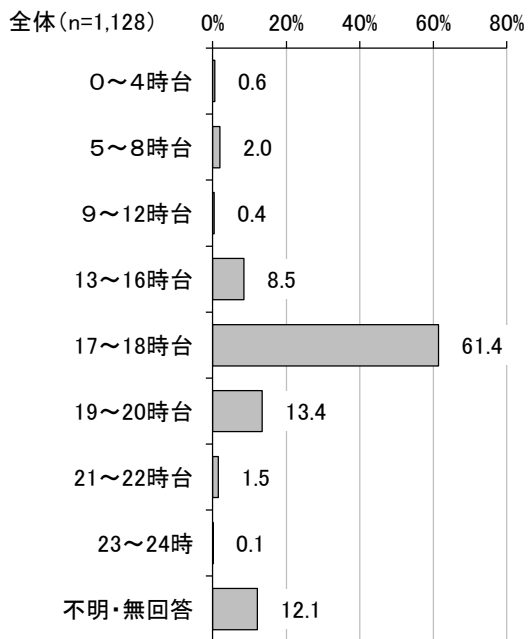
※ 不明・無回答を除く

④平均的な帰宅時刻【母親】

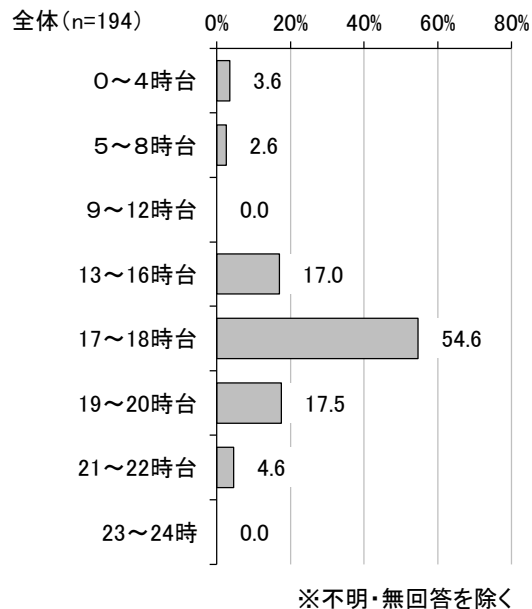
母親の平均的な帰宅時刻についてみると、平日は「17～18 時台」が 61.4%と最も多く、次いで「19～20 時台」が 13.4%となっています。

土日祝は、「17～18 時台」が 54.6%と最も多く、次いで「19～20 時台」が 17.5%となっています。

■ 平日

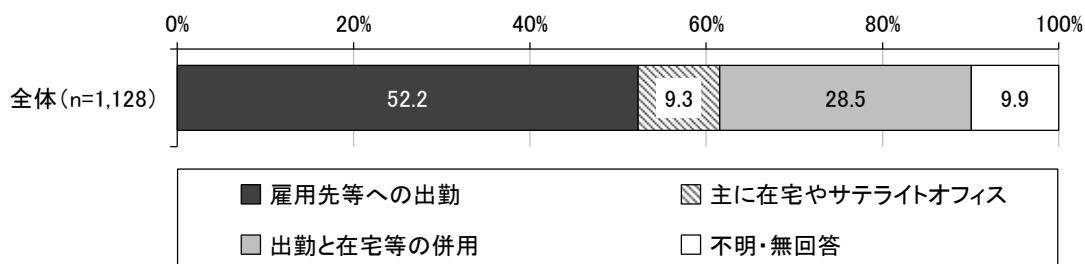


■ 土日祝



⑤勤務形態【母親】（1つに○）

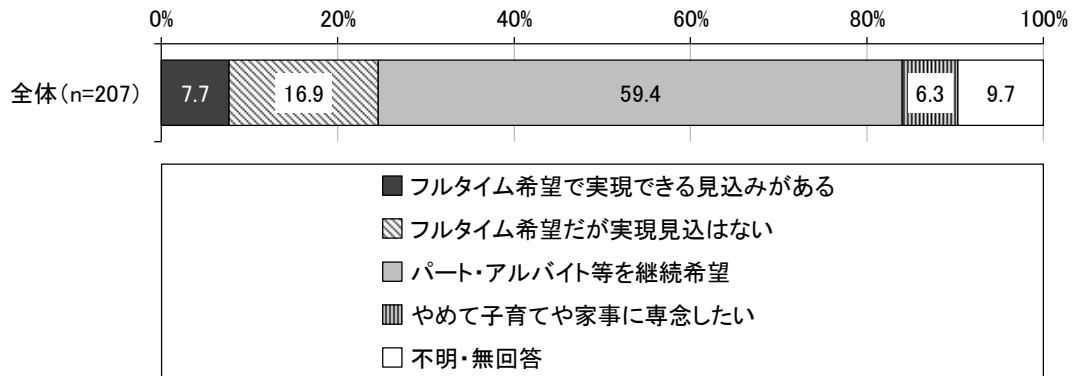
母親の勤務形態についてみると、「雇用先等への出勤」が 52.2%と最も多く、次いで「出勤と在宅等の併用」が 28.5%となっています。



問6（1）で「パート・アルバイト等で働いている」「パート・アルバイト等だが、現在産休・育休・介護休業中」を選んだ方

⑥フルタイムへの転換希望【母親】（1つに○）

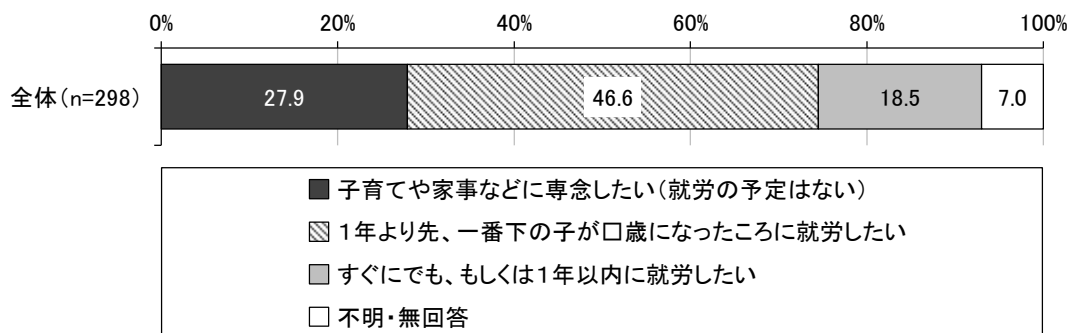
母親のフルタイムへの転換希望についてみると、「パート・アルバイト等を継続希望」が59.4%と最も多く、次いで「フルタイム希望だが実現見込みはない」が16.9%となっています。



問6（1）で「現在は仕事をしていない」を選んだ方

①今後の就労意向【母親】（1つに○）

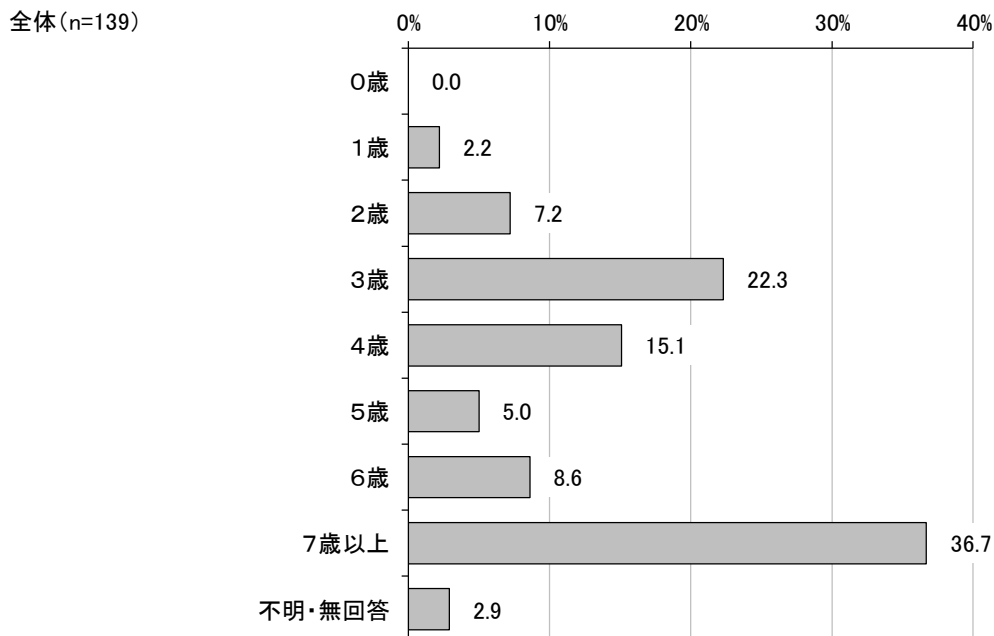
現在仕事をしていない母親の今後の就労意向についてみると、「1年より先、一番下の子が□歳になったところに就労したい」が46.6%と最も多く、次いで「子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない)」が27.9%となっています。



第2部 区民意向調査結果

①今後の就労意向で「1年より先、一番下の子が□歳になったところに就労したい」を選んだ方 一番下の子の年齢【母親】

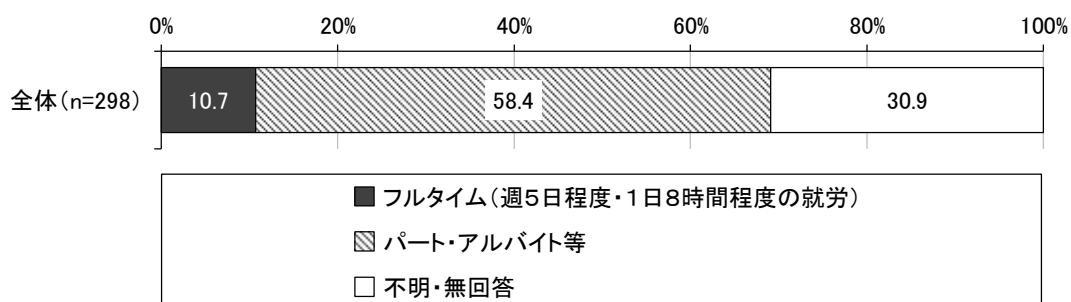
母親が一番下の子が何歳になったところに就労したいかについてみると、「7歳以上」が 36.7%と最も多く、次いで「3歳」が 22.3%となっています。



問6（1）で「現在は仕事をしていない」を選んだ方

②希望する就労形態【母親】（1つに○）

現在仕事をしていない母親の希望する就労形態についてみると、「フルタイム(週5日程度・1日8時間程度の就労)」が 10.7%、「パート・アルバイト等」が 58.4%となっています。



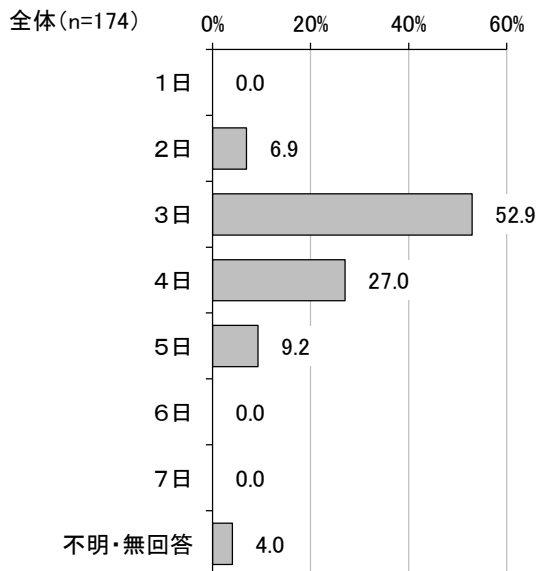
②希望する就労形態で「パート・アルバイト等」を選んだ方

週あたりの就労日数・1日あたりの就労時間【母親】

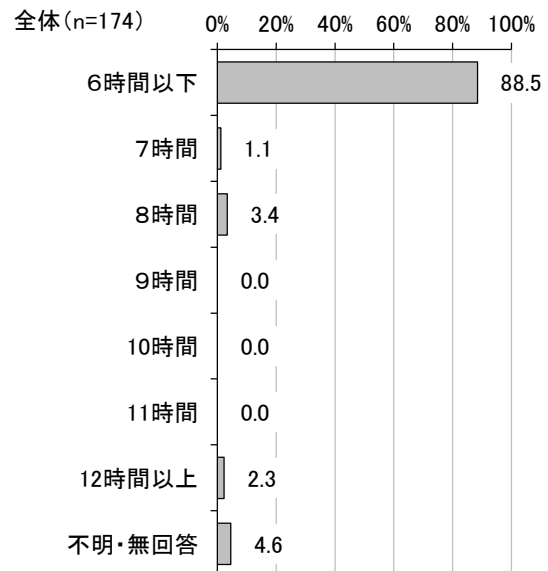
母親の希望する週あたりの就労日数についてみると、「3日」が52.9%と最も多く、次いで「4日」が27.0%となっています。

希望する1日あたりの就労時間についてみると、「6時間以下」が88.5%と最も多く、次いで「8時間」が3.4%となっています。

■ 週あたりの就労日数

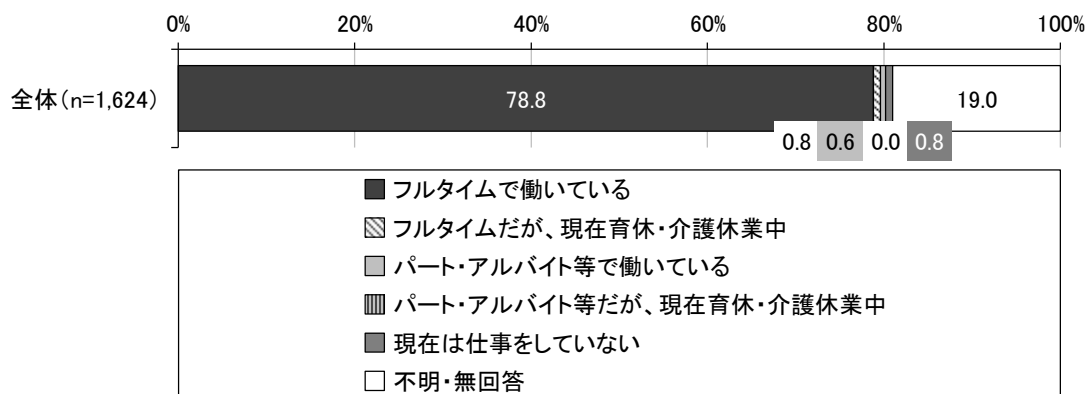


■ 1日あたりの就労時間



(2) 父親の就労状況（1つに○）

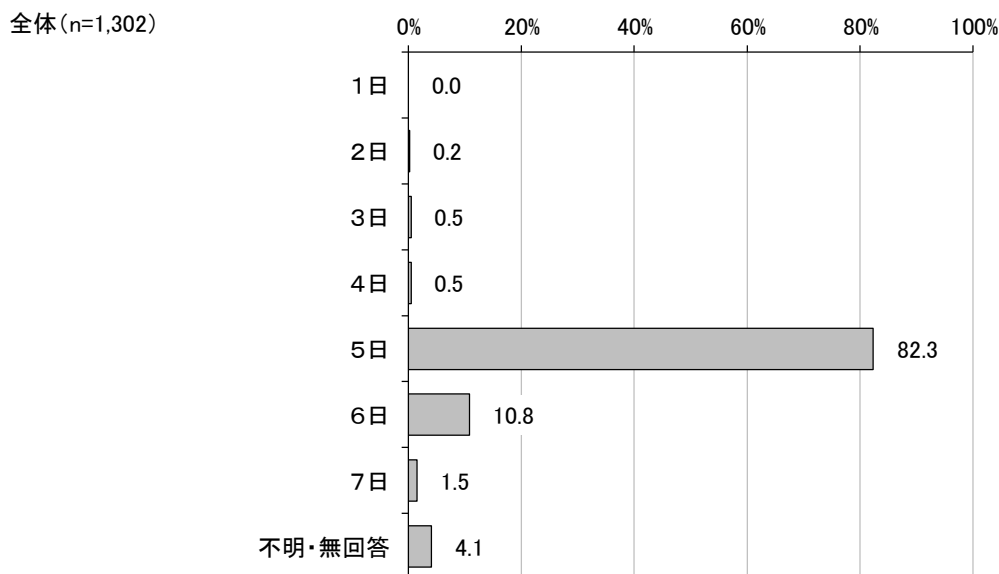
父親の就労状況についてみると、「フルタイムで働いている」が 78.8%と最も多く、次いで「フルタイムだが、現在育休・介護休業中」が 19.0%となっています。



①～⑤は問6（2）で「フルタイムで働いている」「フルタイムだが、現在育休・介護休業中」「パート・アルバイト等で働いている」「パート・アルバイト等だが、現在育休・介護休業中」を選んだ方

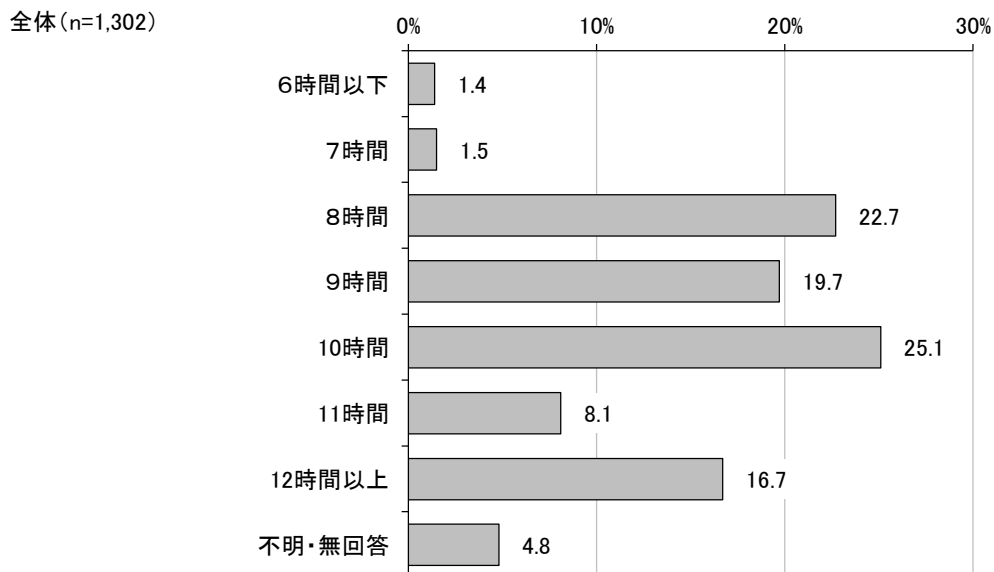
①就労日数【父親】

父親の週あたりの就労日数についてみると、「5日」が 82.3%と最も多く、次いで「6日」が 10.8%となっています。



②平均就労時間（残業含む）【父親】

父親の1日あたりの平均就労時間(残業含む)についてみると、「10 時間」が 25.1%と最も多く、次いで「8時間」が 22.7%となっています。

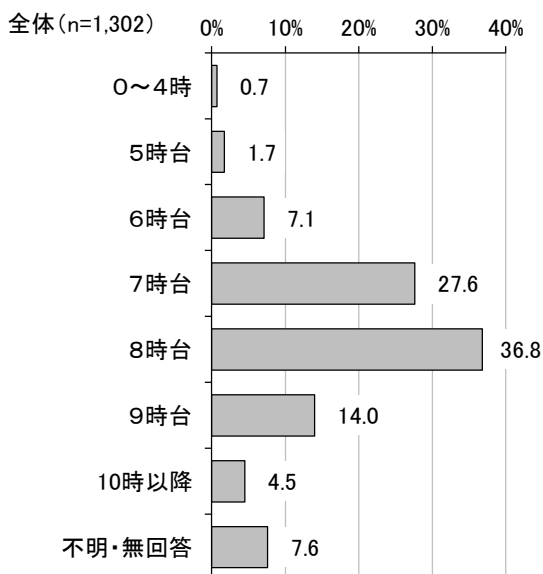


③平均的な家を出る時刻【父親】

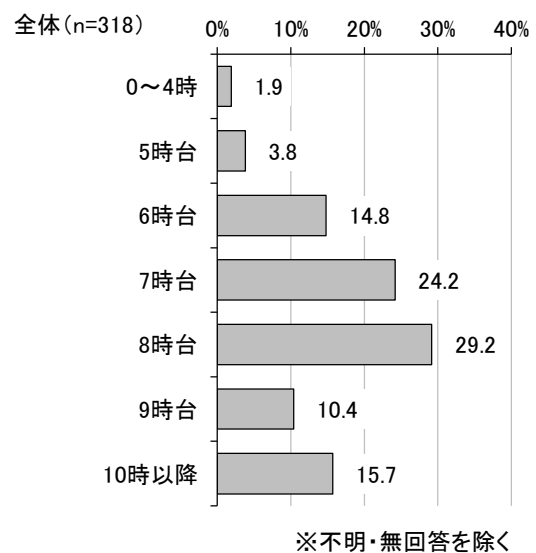
父親の平均的な家を出る時刻についてみると、平日では「8時台」が 36.8%と最も多く、次いで「7時台」が 27.6%となっています。

土日祝では、「8時台」が 29.2%と最も多く、次いで「7時台」が 24.2%となっています。

■ 平日



■ 土日祝

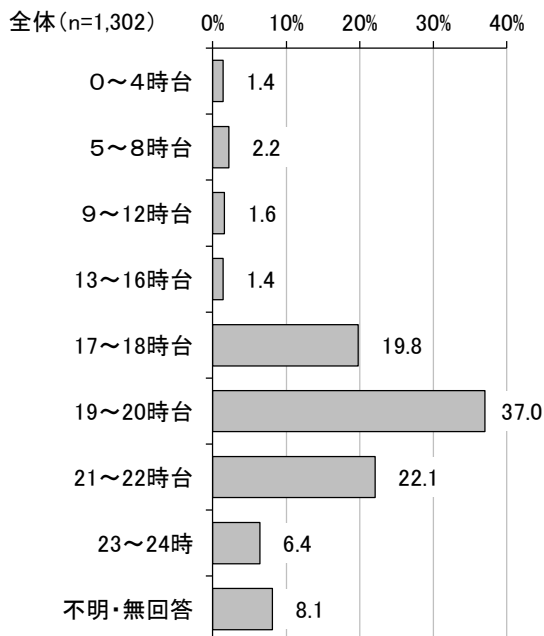


④平均的な帰宅時刻【父親】

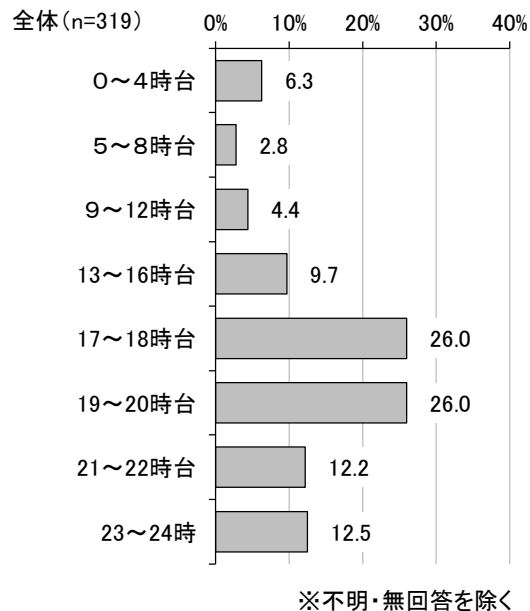
父親の平均的な帰宅時刻についてみると、平日は「19～20 時台」が 37.0%と最も多く、次いで「21～22 時台」が 22.1%となっています。

土日祝は、「17～18 時台」「19～20 時台」が 26.0%と最も多く、次いで「23～24 時」が 12.5%となっています。

■ 平日

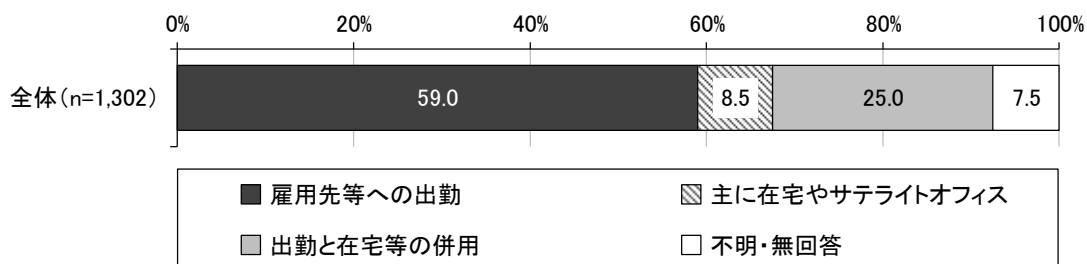


■ 土日祝



⑤勤務形態【父親】（1つに○）

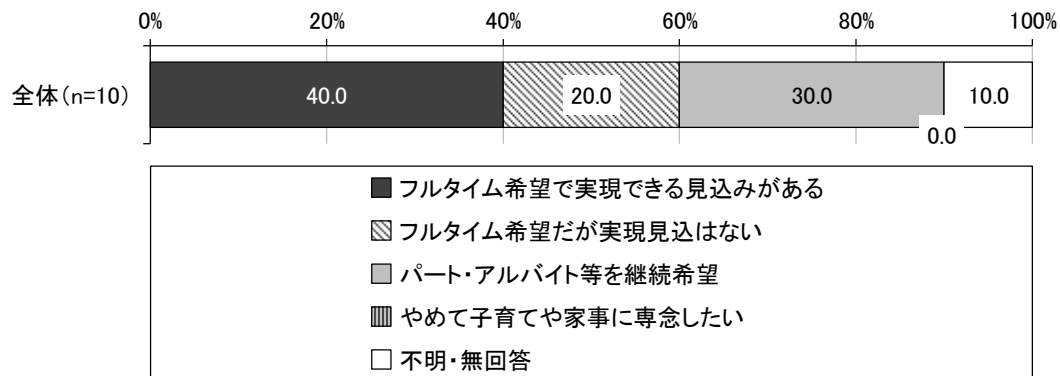
父親の勤務形態についてみると、「雇用先等への出勤」が 59.0%と最も多く、次いで「出勤と在宅等の併用」が 25.0%となっています。



問6（2）で「パート・アルバイト等で働いている」「パート・アルバイト等だが、現在育休・介護休業中」を選んだ方

⑥フルタイムへの転換希望【父親】（1つに○）

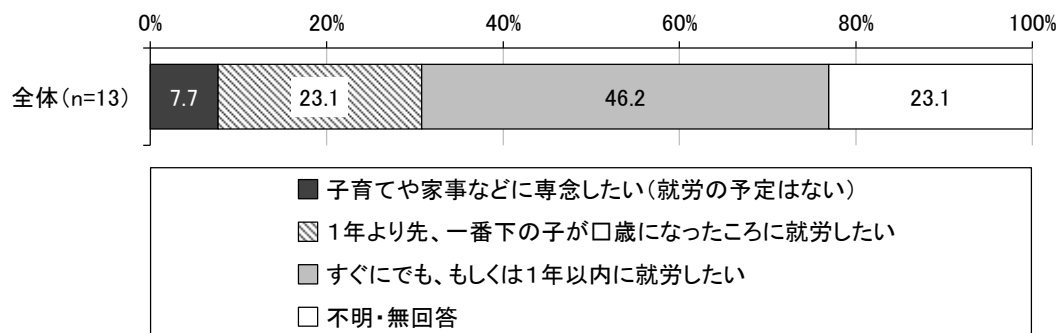
父親のフルタイムへの転換希望についてみると、「フルタイム希望で実現できる見込みがある」が40.0%と最も多く、次いで「パート・アルバイト等を継続希望」が30.0%となっています。



問6（2）で「現在は仕事をしていない」を選んだ方

①今後の就労意向【父親】（1つに○）

現在仕事をしていない父親の今後の就労意向についてみると、「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」が46.2%と最も多く、次いで「1年より先、一番下の子が□歳になったところに就労したい」が23.1%となっています。



第2部 区民意向調査結果

①今後の就労意向で「1年より先、一番下の子が□歳になったところに就労したい」を選んだ方
一番下の子の年齢【父親】

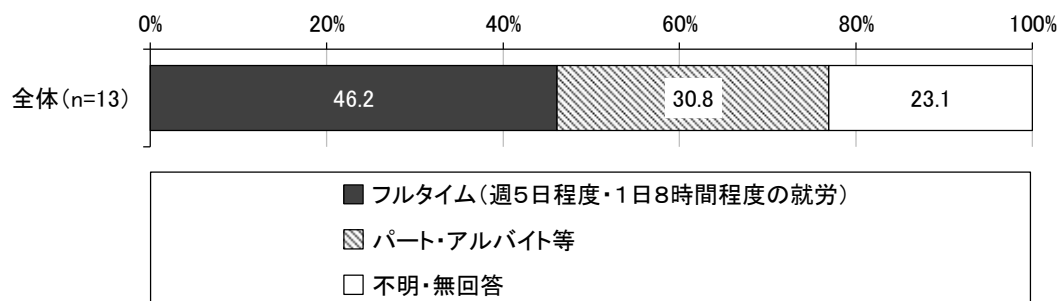
父親が一番下の子が何歳になったところに就労したいかについてみると、「1歳」「4歳」「7歳以上」が33.3%と最も多くなっています。

全体(n=3)	件数	%
0歳	0	0.0
1歳	1	33.3
2歳	0	0.0
3歳	0	0.0
4歳	1	33.3
5歳	0	0.0
6歳	0	0.0
7歳以上	1	33.3
不明・無回答	0	0.0

問6（2）で「現在は仕事をしていない」を選んだ方

②希望する就労形態【父親】（1つに○）

現在仕事をしていない父親の希望する就労形態についてみると、「フルタイム(週5日程度・1日8時間程度の就労)」が46.2%、「パート・アルバイト等」が30.8%となっています。



②希望する就労形態で「パート・アルバイト等」を選んだ方
週あたりの就労日数・1日あたりの就労時間【父親】

父親の希望する週あたりの就労日数についてみると、「3日」が75.0%と最も多く、次いで「5日」が25.0%となっています。

希望する1日あたりの就労時間についてみると、「6時間以下」が75.0%と最も多く、次いで「8時間」が25.0%となっています。

■ 週あたりの就労日数

全体(n=4)	件数	%
1日	0	0.0
2日	0	0.0
3日	3	75.0
4日	0	0.0
5日	1	25.0
6日	0	0.0
7日	0	0.0
不明・無回答	0	0.0

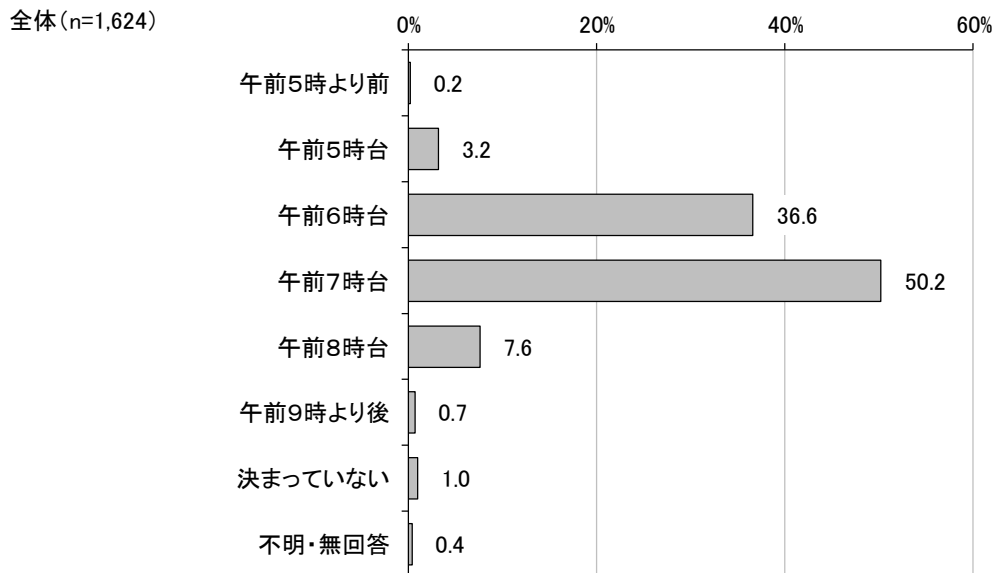
■ 1日あたりの就労時間

全体(n=4)	件数	%
6時間以下	3	75.0
7時間	0	0.0
8時間	1	25.0
9時間	0	0.0
10時間	0	0.0
11時間	0	0.0
12時間以上	0	0.0
不明・無回答	0	0.0

2 お子さんの日常生活について

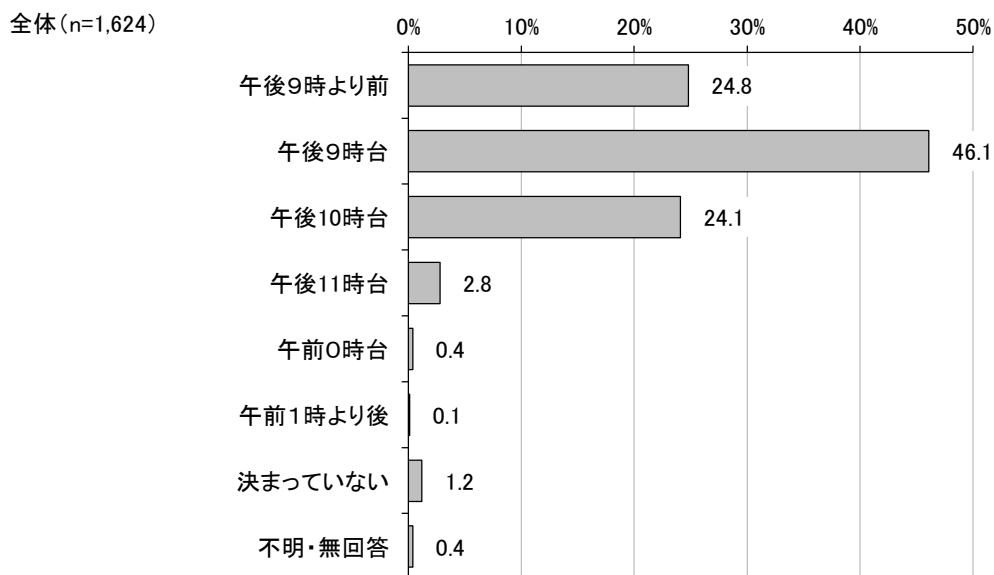
問7 お子さんは、平日（月曜日～金曜日）、何時に起きていますか。（1つに○）

平日の起床時間についてみると、「午前7時台」が 50.2%と最も多く、次いで「午前6時台」が 36.6%となっています。



問8 お子さんは、平日（月曜日～金曜日）、何時に寝ていますか。（1つに○）

平日の就寝時間についてみると、「午後9時台」が 46.1%と最も多く、次いで「午後9時より前」が 24.8%となっています。

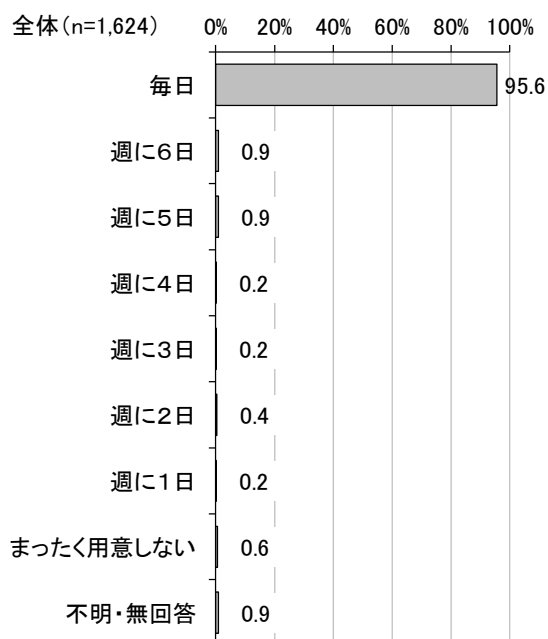


問 9 あなたのご家庭では、1週間にどれくらいお子さんに朝ごはん、晩ごはんを用意していますか。(それぞれ、あてはまる番号1つに○)

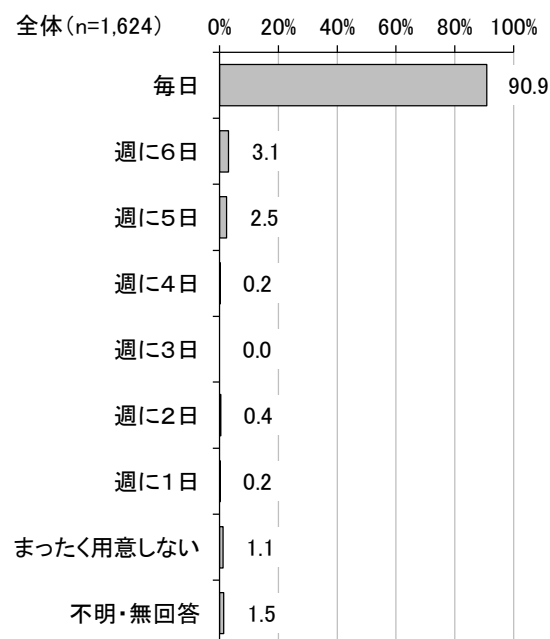
1週間にどれくらいこどもにごはんを用意しているかについてみると、朝ごはんでは「毎日」が95.6%と最も多く、次いで「週に6日」「週に5日」が0.9%となっています。

晩ごはんでは、「毎日」が90.9%と最も多く、次いで「週に6日」が3.1%となっています。

①朝ごはん



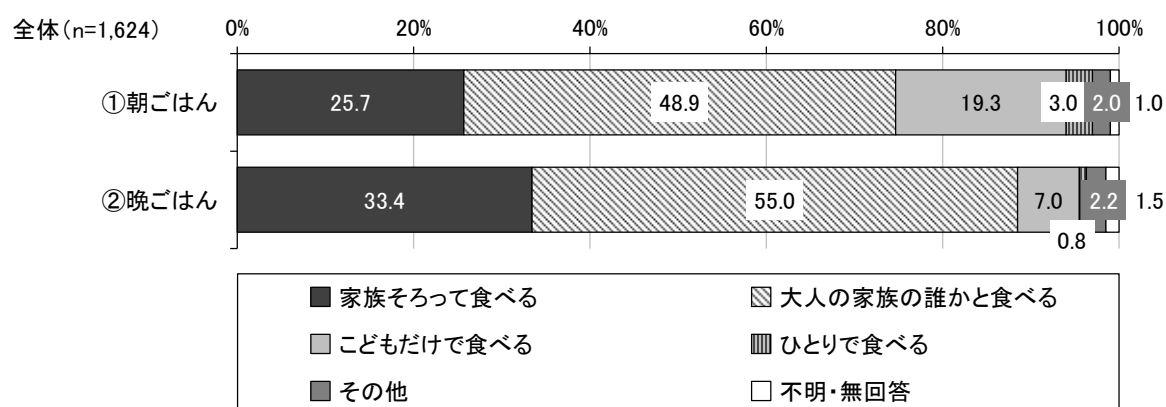
②晩ごはん



問 10 お子さんは、ふだんの朝ごはん、晩ごはんをどのように食事していますか。(それぞれ、あてはまる番号1つに○)

どのように食事しているかについてみると、朝ごはんでは「大人の家族の誰かと食べる」が48.9%と最も多く、次いで「家族そろって食べる」が25.7%となっています。

晩ごはんでは、「大人の家族の誰かと食べる」が55.0%と最も多く、次いで「家族そろって食べる」が33.4%となっています。



第2部 区民意向調査結果

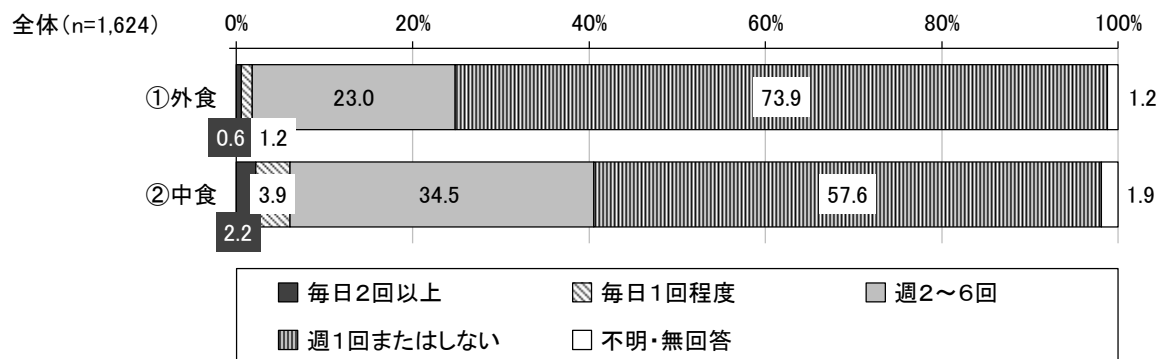
問 11 あなたの家庭では、お子さんの食事について外食や中食がどのくらいの頻度でありますか。(それぞれ、あてはまる番号1つに○)

※「外食」：レストランなどの飲食店に行き、そこで食事のことをいいます。

※「中食」：市販のお弁当やお惣菜、家庭外で調理・加工された食品を、家庭でそのまま食べることをいいます。

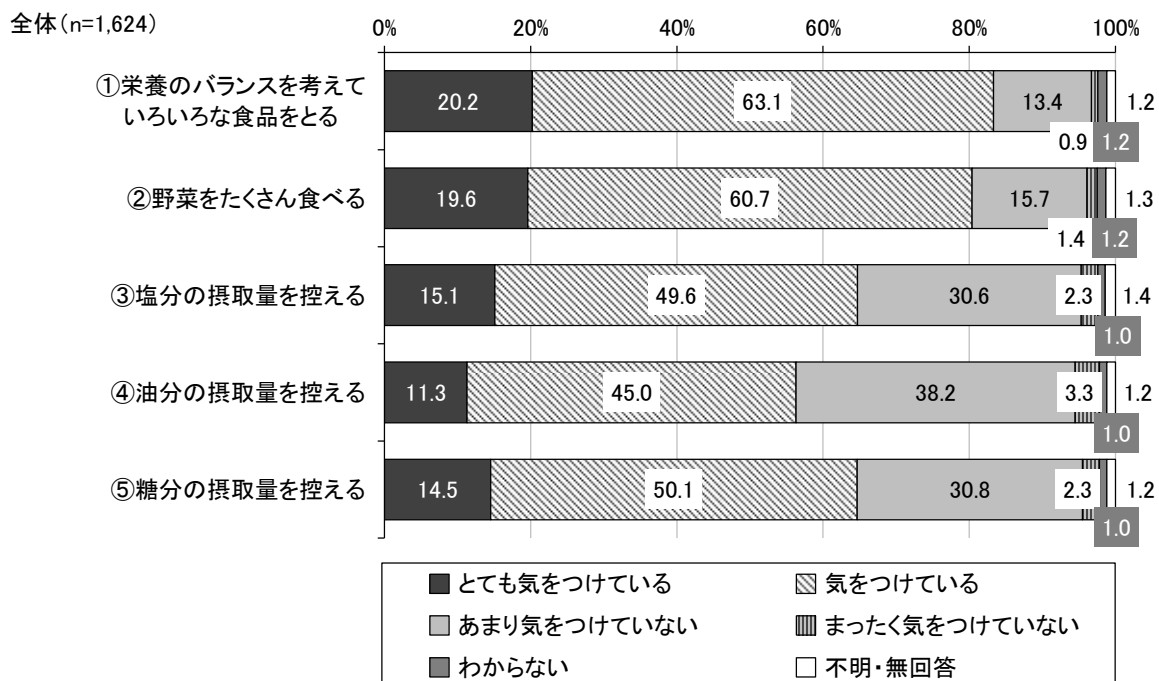
外食の頻度についてみると、「週1回またはしない」が 73.9%と最も多く、次いで「週2～6回」が 23.0%となっています。

中食の頻度についてみると、「週1回またはしない」が 57.6%と最も多く、次いで「週2～6回」が 34.5%となっています。



問 12 ①～⑤の項目について、あなたのご家庭では、お子さんの食生活について、どのような点に気をつけていますか。(それぞれ、あてはまる番号1つに○)

①及び②では「とても気をつけている」と「気をつけている」を合わせた割合が 80%以上となっていますが、③、④及び⑤では「あまり気をつけていない」が 30%台となっています。

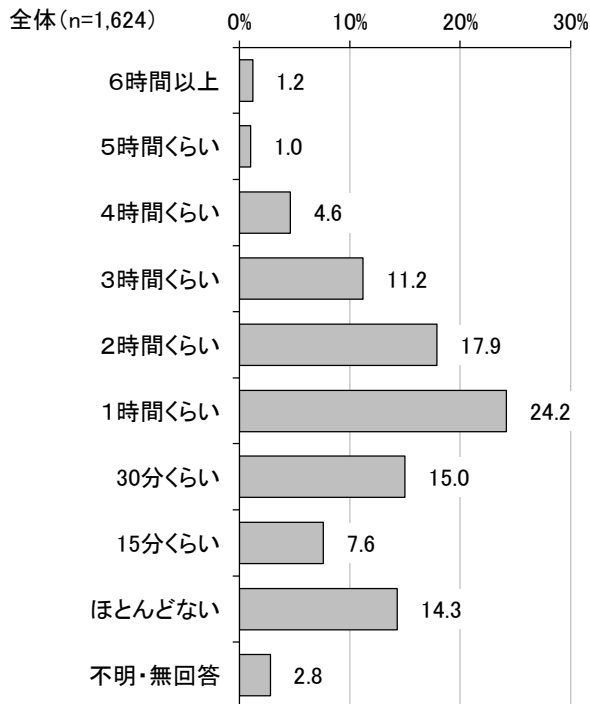


問 13 平日にお子さんと一緒に何かをしたりする時間は、平均するとだいたいどのくらいになりますか。（それぞれ、あてはまる番号 1 つに○）

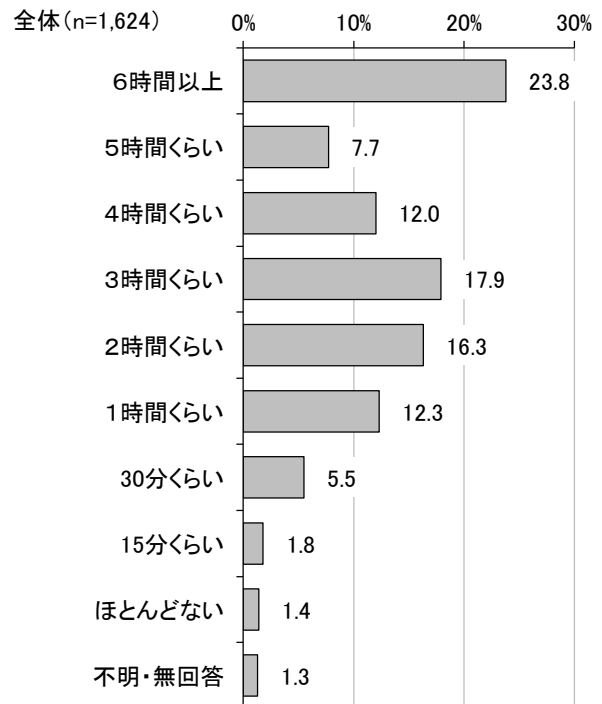
平日にこどもと一緒に何かをしたりする時間についてみると、父親では「1時間くらい」が 24.2%と最も多く、次いで「2時間くらい」が 17.9%となっています。

母親では、「6時間以上」が 23.8%と最も多く、次いで「3時間くらい」が 17.9%となっています。

①父親



②母親

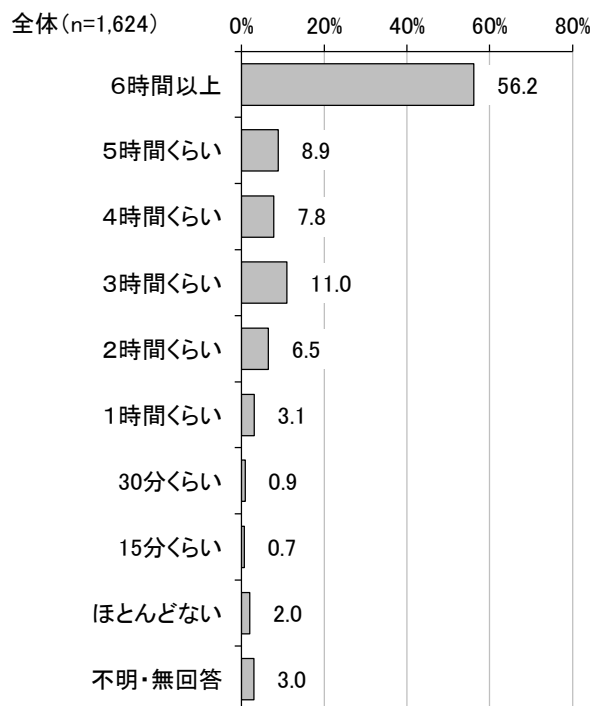


問 14 休日にお子さんと一緒に何かをしたりする時間は、平均するとだいたいどのくらいになりますか。（それぞれ、あてはまる番号 1 つに○）

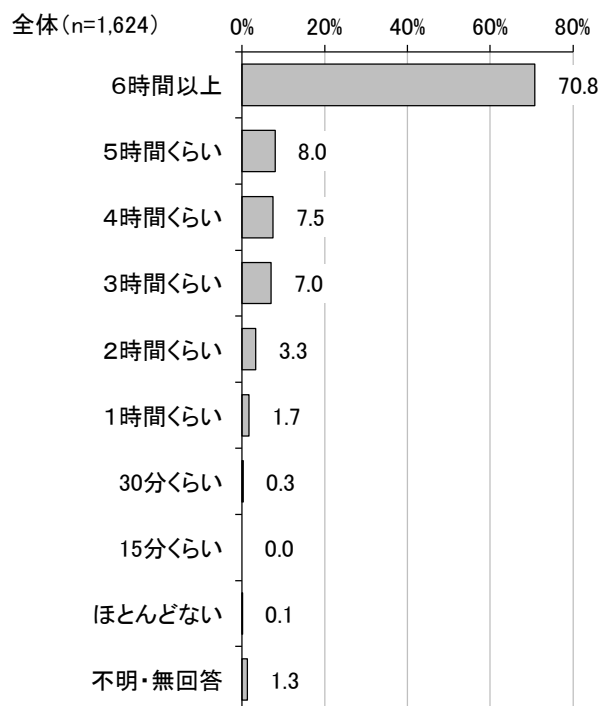
休日にくどもと一緒に何かをしたりする時間についてみると、父親では「6時間以上」が 56.2%と最も多く、次いで「3時間くらい」が 11.0%となっています。

母親では、「6時間以上」が 70.8%と最も多く、次いで「5時間くらい」が 8.0%となっています。

①父親

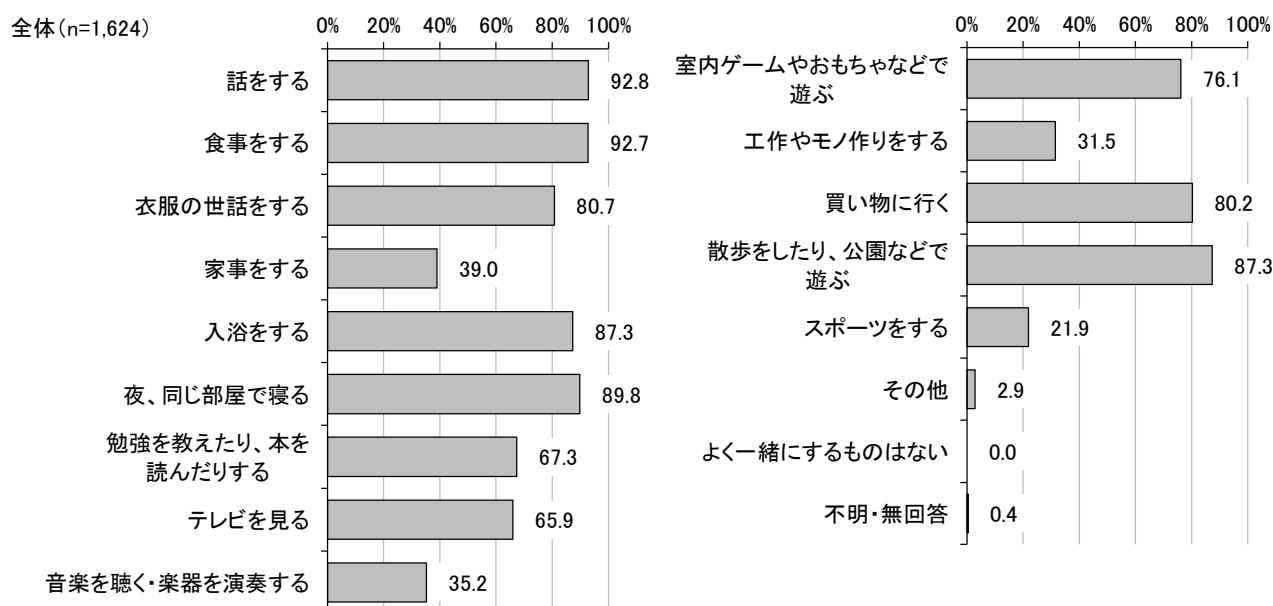


②母親



問 15 あなたが、お子さんとよく一緒にすることは、次のうちどれですか。一緒に子ども家庭支援センター（みずべ）などに行ったり、習い事に参加している場合は、その活動内容に近いものを選んでご回答ください。（あてはまるものすべてに○）

こどもとよく一緒にすることについてみると、「話をする」が 92.8%と最も多く、次いで「食事をする」が 92.7%となっています。



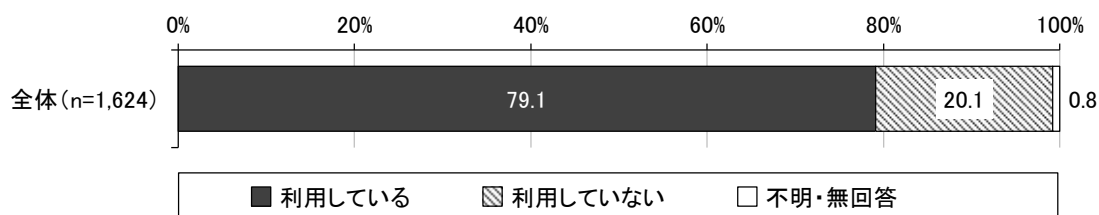
3 お子さんの平日の定期的な教育・保育事業の利用状況について

問 16 お子さんは、現在、幼稚園や保育園などの「定期的な教育・保育事業」を利用していますか。（1つに○）

※ここでいう「定期的な教育・保育事業」とは、月単位で定期的に利用している事業（幼稚園や保育園）等を指します。問 18 に示した事業が含まれます。

幼稚園や保育園などの「定期的な教育・保育事業」を利用しているかについてみると、「利用している」が79.1%、「利用していない」が20.1%となっています。

こどもの年齢別にみると、「利用している」の割合は「0歳」で3割、「1歳」で7割、「2歳」で8割、「3歳」以上で9割以上となっています。



○クロス集計【こどもの年齢別】

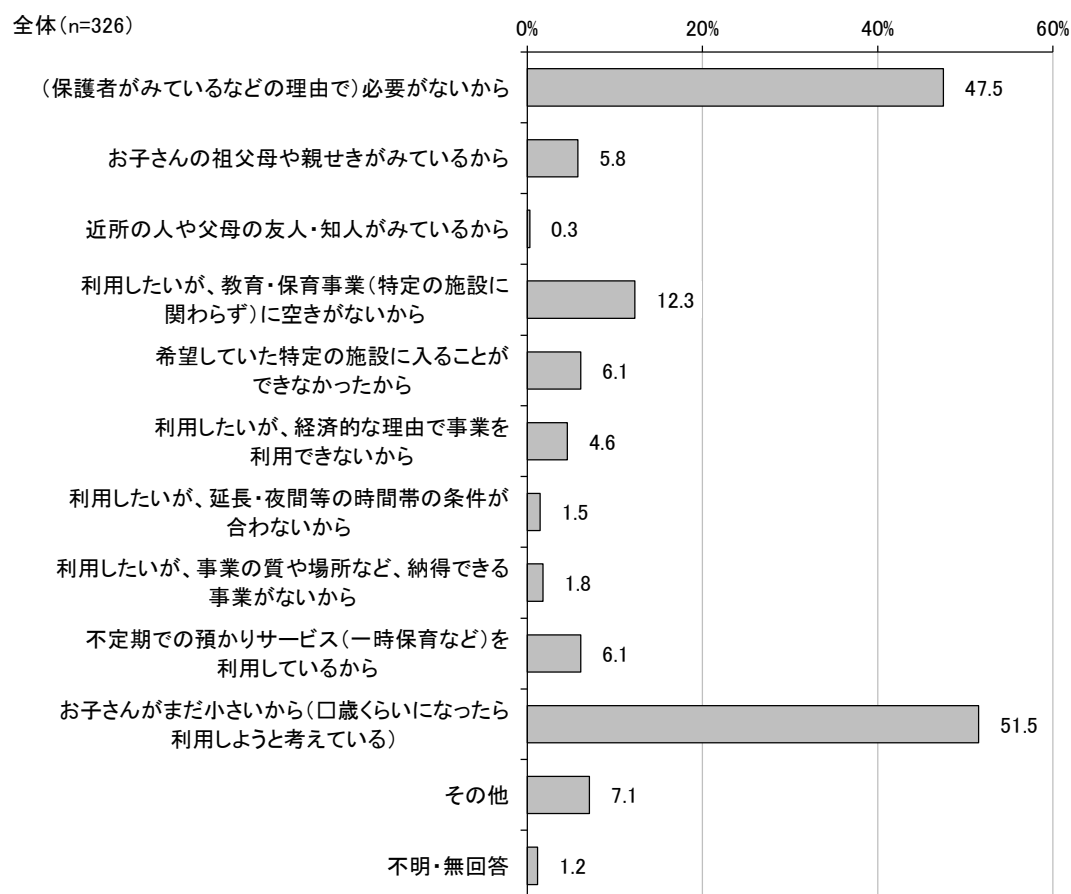
(%)		n	問16 「定期的な教育・保育事業」利用状況		
			利用している	利用していない	無回答
問1 年齢	0歳	298	32.2	67.1	0.7
	1歳	258	73.3	26.4	0.4
	2歳	260	81.9	17.7	0.4
	3歳	253	96.8	2.4	0.8
	4歳	250	98.4	1.2	0.4
	5歳	266	99.2	-	0.8

問 16 で「利用していない」を選んだ方

問 17 利用していない主な理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

利用していない主な理由についてみると、「お子さんがまだ小さいから(□歳くらいになったら利用しようと考えている)」が51.5%と最も多く、次いで「(保護者がみているなどの理由で)必要がないから」が47.5%となっています。

こどもの年齢別にみると、「0 歳」では「お子さんがまだ小さいから(□歳くらいになったら利用しようと考えている)」が6割台で最も多くなっていますが、「1歳」や「2歳」では「(保護者がみているなどの理由で)必要がないから」が5割台で最も多くなっています。



○クロス集計【こどもの年齢別】

(%)		n	問17 利用していない主な理由							
			(保護者が みているな どの理由 で)必要が ないから	お子さんの 祖父母や親 せきがみて いるから	近所の人や 父母の友 人・知人が みているか ら	利用したい が、教育・ 保育事業 (特定の施 設に関わら ず)に空き がないから	希望してい た特定の施 設に入ること ができたか ら	利用したい が、経済的 な理由で事 業を利用で きないから	利用したい が、延長・ 夜間等の時 間帯の条件 が合わない から	利用したい が、事業の 質や場所な ど、納得で きる事業が ないから
問1 年齢	0歳	200	42.5	6.0	-	11.0	5.5	4.5	2.5	1.5
	1歳	68	55.9	7.4	-	16.2	10.3	5.9	-	1.5
	2歳	46	56.5	2.2	2.2	13.0	2.2	4.3	-	4.3
	3歳	6	66.7	16.7	-	-	-	-	-	-
	4歳	3	33.3	-	-	-	-	-	-	-

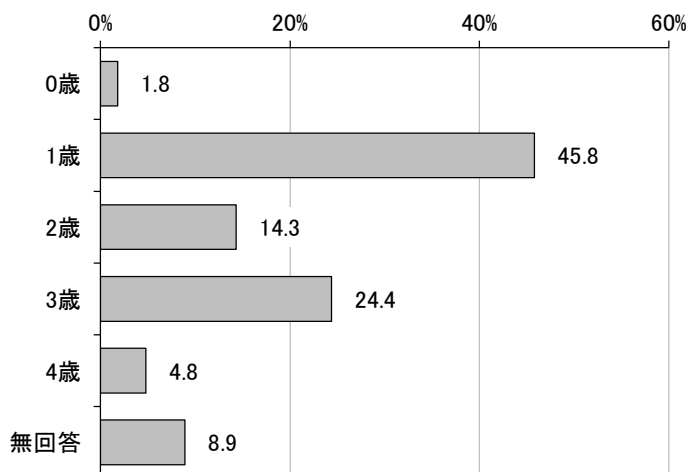
(%)		n	問17 利用していない主な理由		
			不定期での預かりサービス(一時保育など)を利用しているから	お子さんがまだ小さいから(□歳くらいになったら利用しようと考えている)	その他
問1 年齢	0歳	200	2.5	64.5	4.0
	1歳	68	11.8	35.3	11.8
	2歳	46	15.2	28.3	10.9
	3歳	6	-	16.7	16.7
	4歳	3	-	-	33.3

※ 5歳はnが0であったため省略

問17で「お子さんがまだ小さいから(□歳くらいになったら利用しようと考えている)」を選んだ方
利用しようと考えているこどもの年齢

利用しようと考えているこどもの年齢についてみると、「1歳」が45.8%と最も多く、次いで「3歳」が24.4%となっています。

全体(n=168)

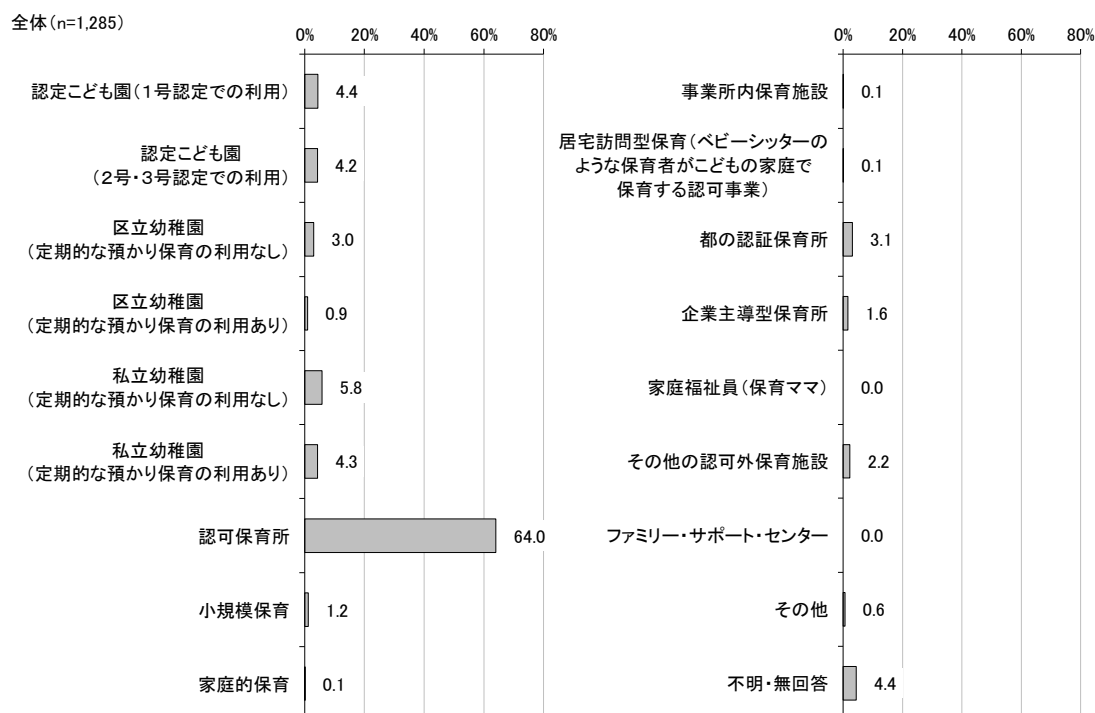


問 16 で「利用している」を選んだ方

問 18 お子さんは、年間を通じて、平日どのような教育・保育事業を「定期的」に利用していますか。下記の事業の中から主として利用している事業の番号1つと、利用日数、利用時間、開始時刻と終了時刻（24 時間制）について、（1）現在と（2）希望をご記入ください。特に希望がない場合は現在の利用状況だけで構いません。

年間を通じて、平日「定期的」に利用している教育・保育事業についてみると、「認可保育所」が 64.0%と最も多く、次いで「私立幼稚園（定期的な預かり保育の利用なし）」が 5.8%となっています。

こどもの年齢別にみると、いずれも「認可保育所」が最も多くなっていますが、「4歳」と「5歳」では「幼稚園（区立+私立）」が2割台となっています。



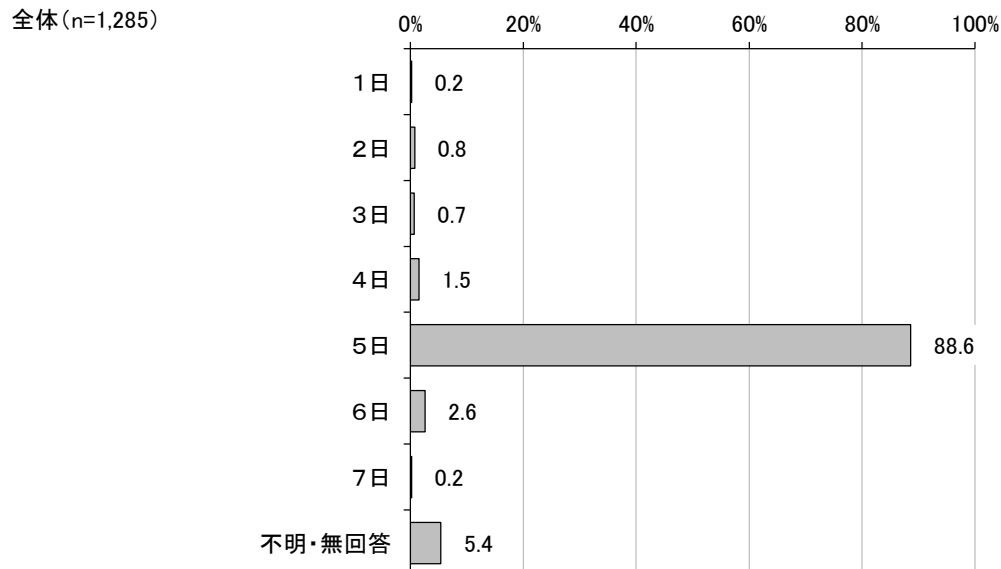
○クロス集計【こどもの年齢別】

(%)		n	問18 定期的にご利用している教育・保育事業									
			認定こども園 (1号認定での利用)	認定こども園 (2号・3号認定での利用)	区立幼稚園 (定期的な預かり保育の利用なし)	区立幼稚園 (定期的な預かり保育の利用あり)	私立幼稚園 (定期的な預かり保育の利用なし)	私立幼稚園 (定期的な預かり保育の利用あり)	認可保育所	小規模保育	家庭的保育	
問1 年齢	0歳	96	2.1	5.2	-	1.0	2.1	1.0	67.7	2.1	-	
	1歳	189	2.6	5.8	-	0.5	-	-	70.9	3.2	-	
	2歳	213	1.4	6.6	-	-	3.3	-	72.3	2.8	0.5	
	3歳	245	5.3	3.7	2.0	0.4	8.6	4.9	65.7	-	-	
	4歳	246	6.1	2.8	7.7	1.2	6.5	8.1	55.7	-	-	
	5歳	264	6.4	3.0	4.9	1.9	10.2	8.0	56.4	0.4	-	
(%)		n	問18 定期的にご利用している教育・保育事業									
			事業所内保育施設	居宅訪問型保育 (ベビーシッターのような保育者がこどもの家庭で保育する認可事業)	都の認証保育所	企業主導型保育所	家庭福祉員 (保育ママ)	その他の認可外保育施設	ファミリー・サポート・センター	その他	無回答	
問1 年齢	0歳	96	-	1.0	6.3	4.2	-	3.1	-	-	4.2	
	1歳	189	-	-	5.8	6.9	-	0.5	-	1.1	2.6	
	2歳	213	0.5	-	3.3	0.9	-	2.8	-	0.9	4.7	
	3歳	245	-	-	2.4	-	-	2.0	-	1.2	3.7	
	4歳	246	-	-	2.0	0.8	-	2.8	-	-	6.1	
	5歳	264	-	-	1.5	-	-	1.5	-	0.4	5.3	

(1) 現在の利用状況

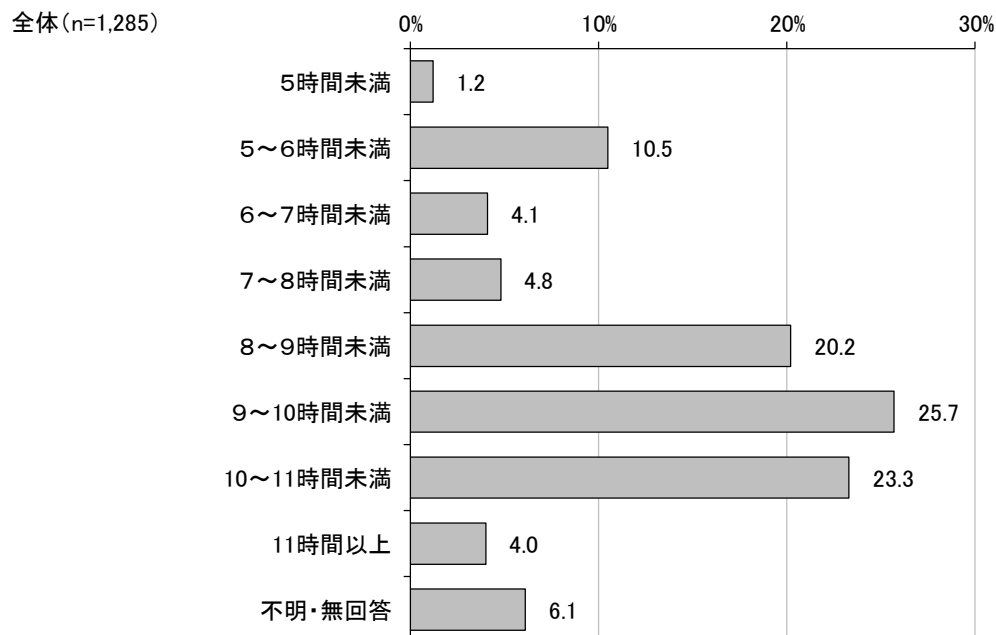
週あたりの利用日数

週あたりの利用日数についてみると、「5日」が 88.6%と最も多く、次いで「6日」が 2.6%となっています。



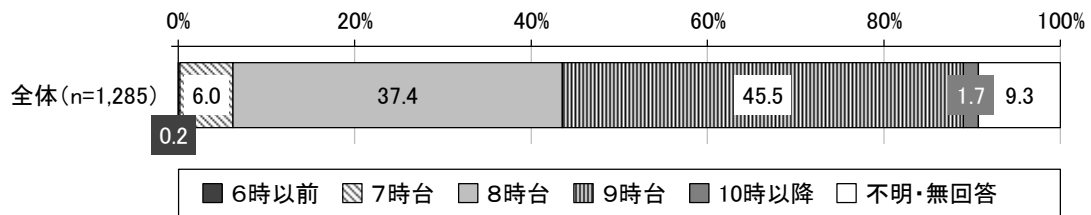
1日あたりの利用時間

1日あたりの利用時間についてみると、「9～10 時間未満」が 25.7%と最も多く、次いで「10～11 時間未満」が 23.3%となっています。



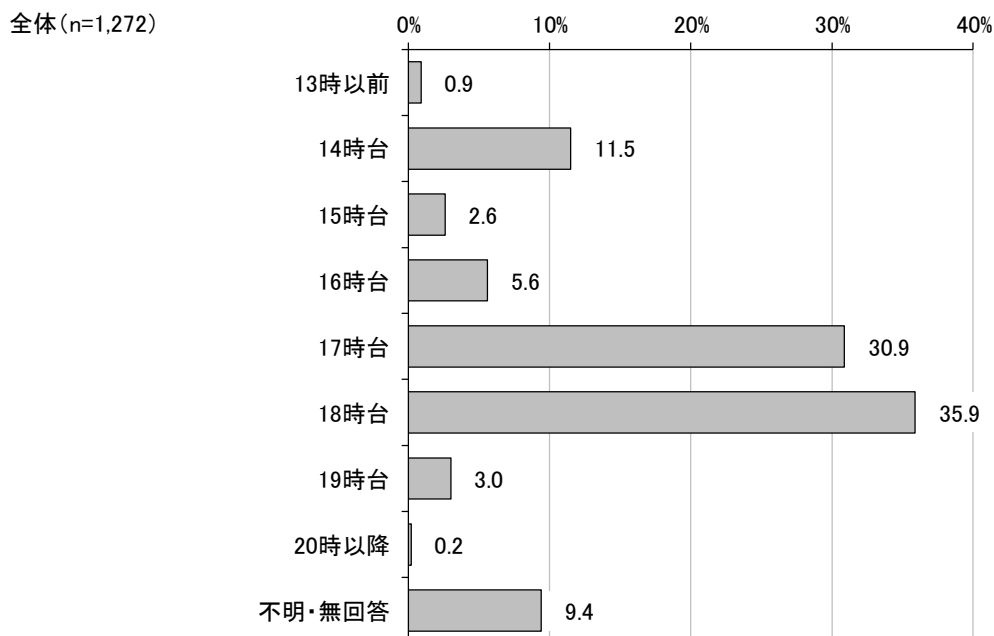
利用開始時刻

利用開始時刻についてみると、「9時台」が45.5%と最も多く、次いで「8時台」が37.4%となっています。



利用終了時刻

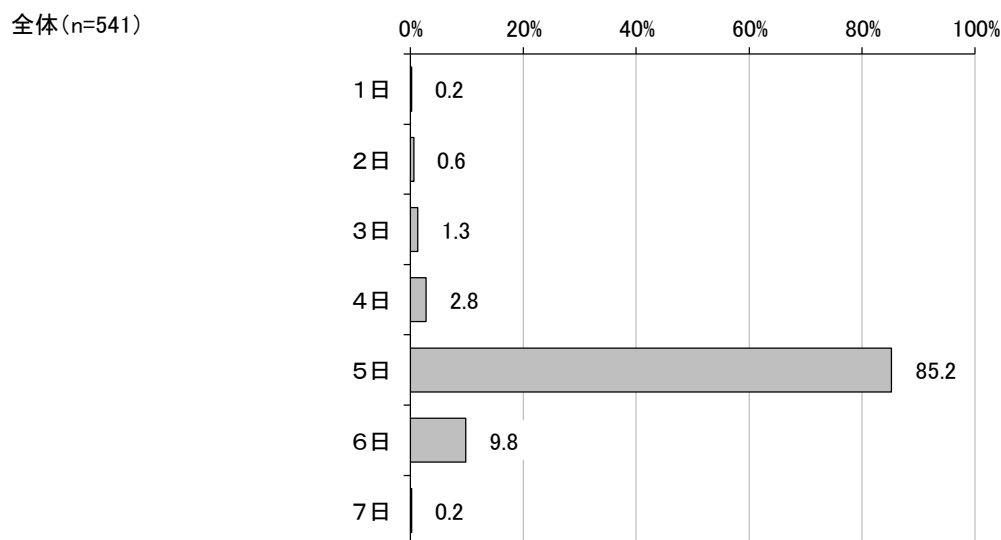
利用終了時刻についてみると、「18 時台」が35.9%と最も多く、次いで「17 時台」が30.9%となっています。



(2) 希望

週あたりの希望利用日数

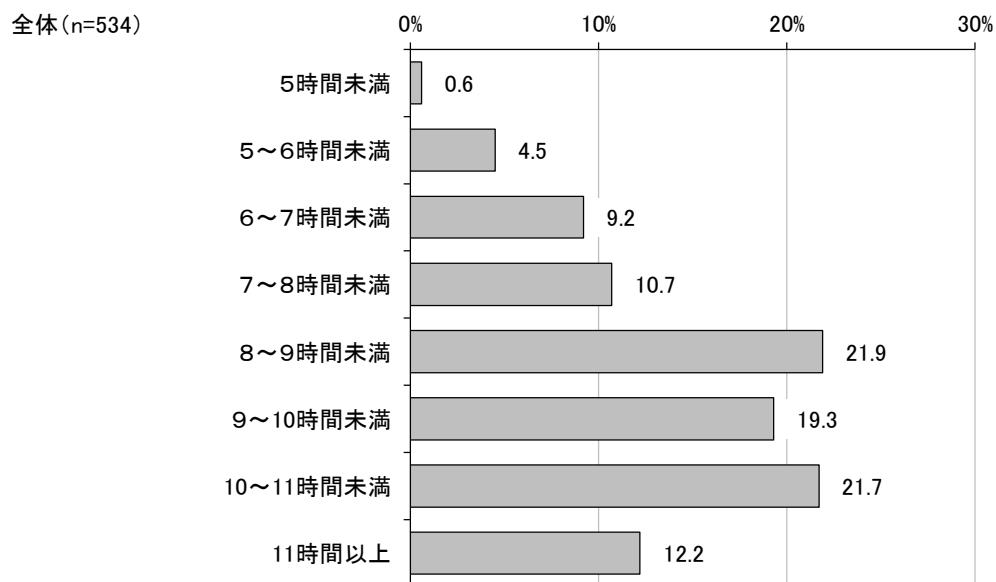
週あたりの希望利用日数についてみると、「5日」が85.2%と最も多く、次いで「6日」が9.8%となっています。



※不明・無回答を除く

1日あたりの希望利用時間

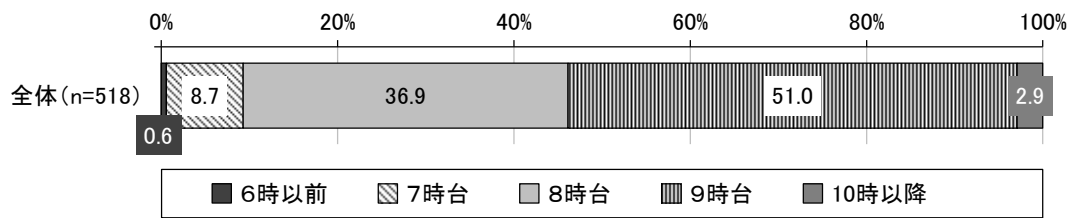
1日あたりの希望利用時間についてみると、「8～9時間未満」が21.9%と最も多く、次いで「10～11時間未満」が21.7%となっています。



※不明・無回答を除く

希望開始時刻

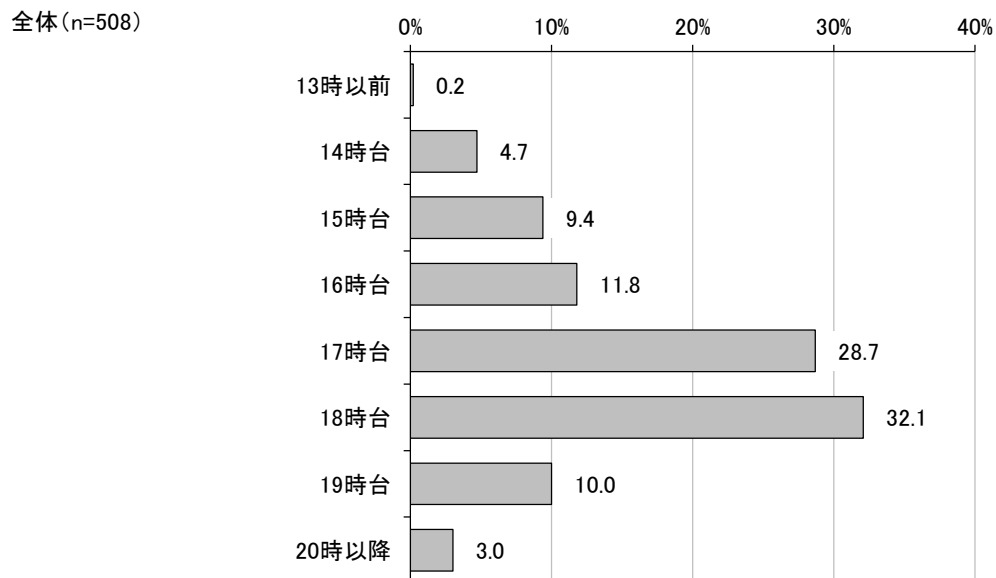
希望開始時刻についてみると、「9時台」が 51.0%と最も多く、次いで「8時台」が 36.9%となっています。



※不明・無回答を除く

希望終了時刻

希望終了時刻についてみると、「18 時台」が 32.1%と最も多く、次いで「17 時台」が 28.7%となっています。

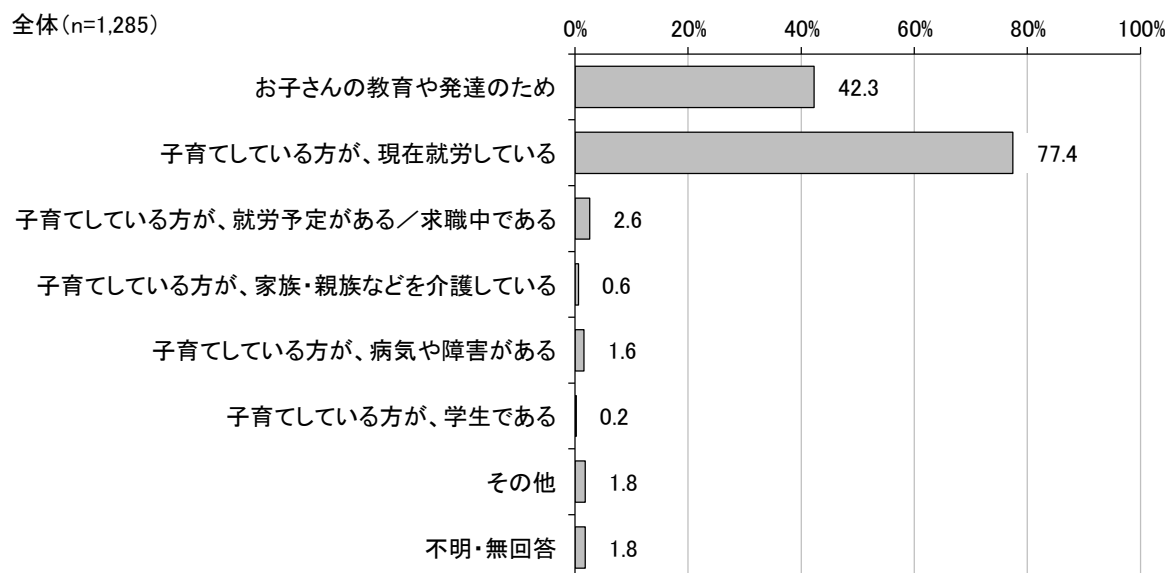


※不明・無回答を除く

問 16 で「利用している」を選んだ方

問 19 平日に定期的に教育・保育事業を利用されている理由は何ですか。
(あてはまるものすべてに○)

平日に定期的に教育・保育事業を利用している理由についてみると、「子育てしている方が、現在就労している」が 77.4%と最も多く、次いで「お子さんの教育や発達のため」が 42.3%となっています。

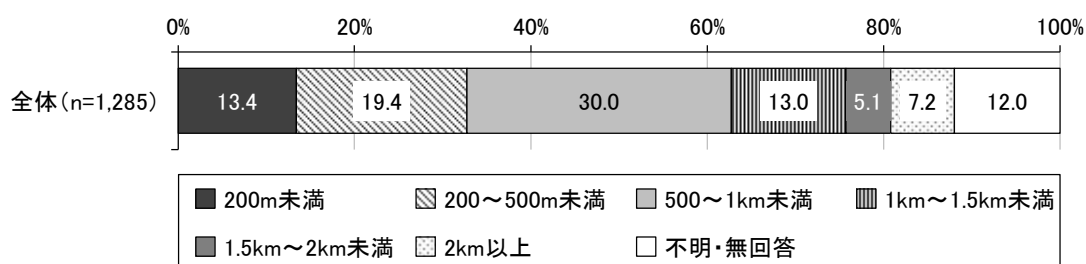


問 16 で「利用している」を選んだ方

問 20 お子さんの利用する教育・保育事業の施設は、あなたのお住まいから直線距離でどのくらいの距離がありますか。また、普段の送迎方法で時間はどのくらい要していますか。（数字を記入。距離はメートル単位、時間は分単位。概ねの距離・時間で構いません。）

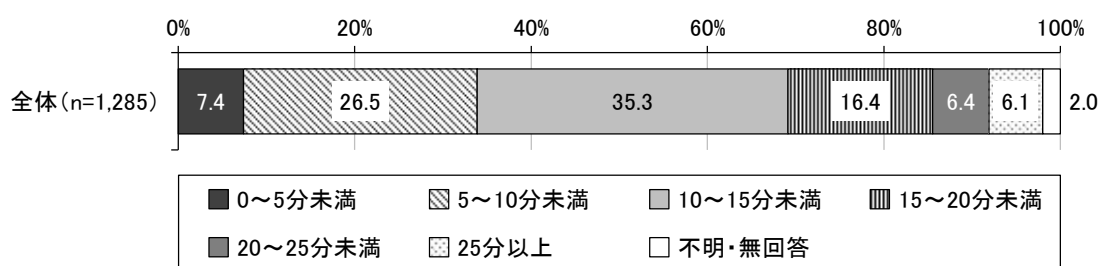
距離

自宅からの距離についてみると、「500～1km 未満」が 30.0%と最も多く、次いで「200～500m 未満」が 19.4%となっています。



送迎時間

送迎時間についてみると、「10～15 分未満」が 35.3%と最も多く、次いで「5～10 分未満」が 26.5%となっています。

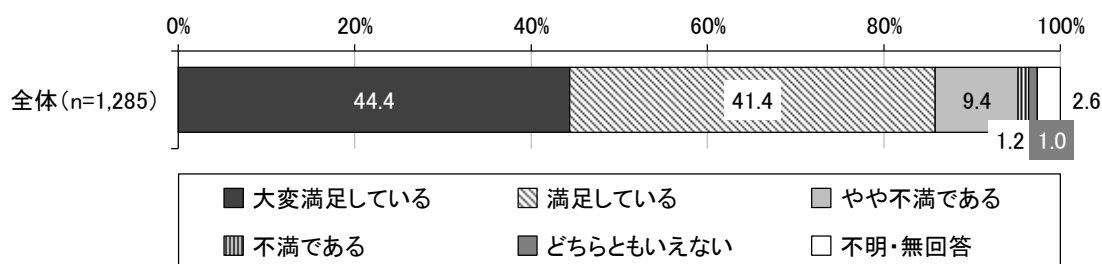


問 16 で「利用している」を選んだ方

問 21 現在、主に利用している教育・保育事業はどのくらい満足していますか。（1つに○）

主に利用している教育・保育事業の満足度についてみると、「大変満足している」が 44.4%と最も多く、次いで「満足している」が 41.4%となっています。

利用している教育・保育事業別にみると、いずれの事業でも「大変満足している」と「満足している」を合わせた『満足』の割合は7割以上となっています。



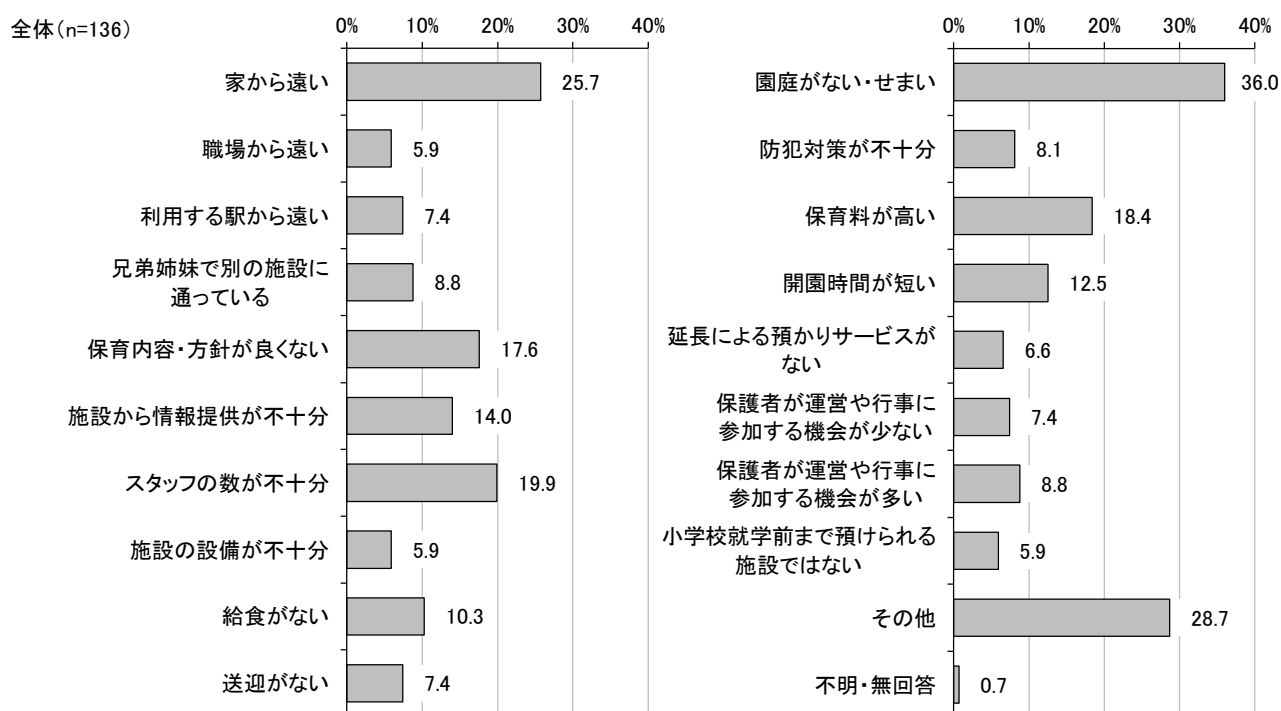
○クロス集計【利用している教育・保育事業別】

(%)		n	問21 教育・保育事業の満足度					
			大変満足している	満足している	やや不満である	不満である	どちらともいえない	無回答
問18 利用している教育・保育事業	認定こども園(1号認定)	57	52.6	31.6	8.8	5.3	—	1.8
	認定こども園(2号・3号認定)	54	51.9	35.2	5.6	—	3.7	3.7
	区立幼稚園(預かり保育利用なし)	38	23.7	55.3	13.2	5.3	2.6	—
	区立幼稚園(預かり保育利用あり)	11	36.4	45.5	9.1	9.1	—	—
	私立幼稚園(預かり保育利用なし)	75	48.0	37.3	12.0	—	1.3	1.3
	私立幼稚園(預かり保育利用あり)	55	27.3	49.1	21.8	—	1.8	—
	認可保育所	822	46.1	42.5	8.2	0.9	1.0	1.5
	小規模保育	16	56.3	18.8	25.0	—	—	—
	家庭的保育	1	—	100.0	—	—	—	—
	事業所内保育施設	1	—	—	100.0	—	—	—
	居宅訪問型保育	1	—	100.0	—	—	—	—
	都の認証保育所	40	40.0	42.5	15.0	—	—	2.5
	企業主導型保育所	21	33.3	47.6	14.3	—	—	4.8
	その他の認可外保育施設	28	35.7	50.0	7.1	7.1	—	—
	その他	8	75.0	12.5	12.5	—	—	—

問21で「やや不満である」「不満である」を選んだ方

問22 主に利用している教育・保育事業に不満を感じている理由について教えてください。(あてはまるものすべてに○)

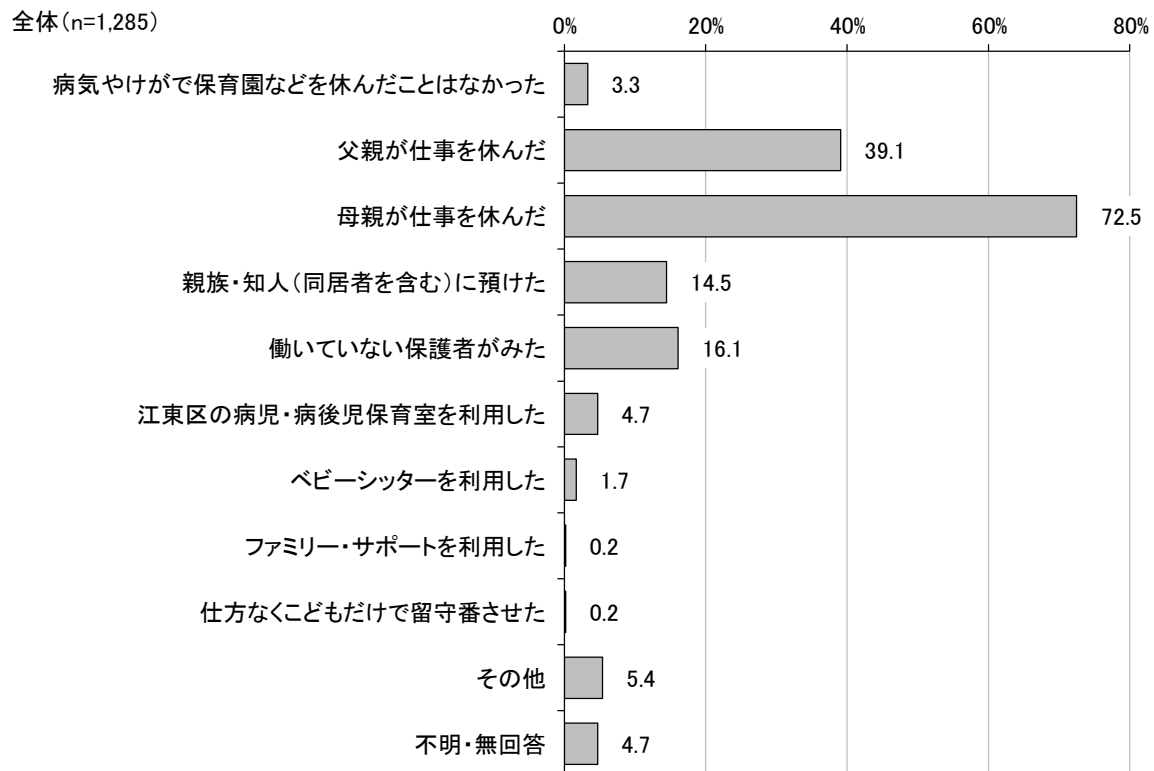
主に利用している教育・保育事業に不満を感じている理由についてみると、「園庭がない・せまい」が36.0%と最も多く、次いで「家から遠い」が25.7%となっています。「その他」の回答では、「先生がよく変わる(辞める含む)」、「行事が少ない」などの意見があります。



4 病気の際の対応について ※平日、教育・保育事業(幼稚園・保育園等)を利用している方

問 23 この1年間に、お子さんが病気やけがで、保育園などを休んだことがありましたか。
そのときの対処法などをお答えください。(あてはまるものすべてに○)

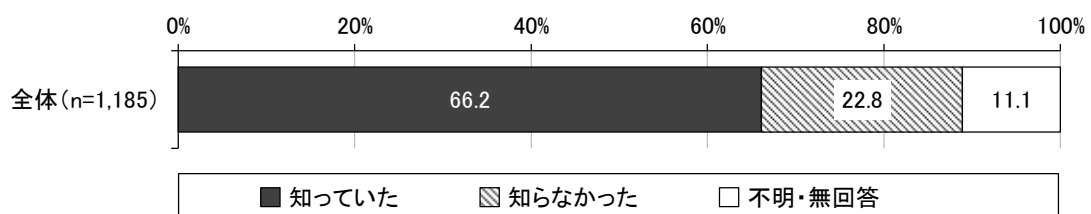
こどもが病気やけがで、保育園などを休んだときの対処法についてみると、「母親が仕事を休んだ」が72.5%と最も多く、次いで「父親が仕事を休んだ」が39.1%となっています。



問 23 で「病気やけがで保育園などを休んだことはなかった」または「江東区の病児・病後児保育室を利用した」以外のいずれかを選んだ方

問 24 あなたは、「江東区の病児・病後児保育室」をご存知でしたか。(1つに○)

「江東区の病児・病後児保育室」を知っていたかについてみると、「知っていた」が66.2%、「知らなかった」が22.8%となっています。

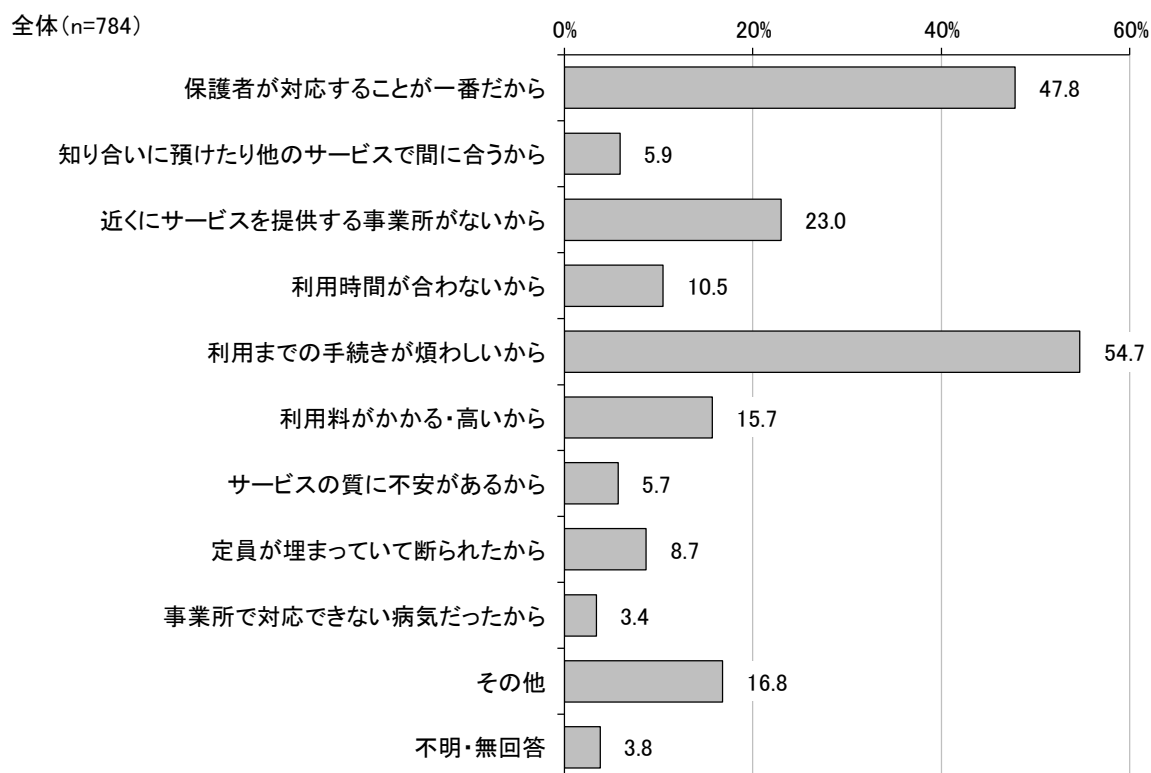


第2部 区民意向調査結果

問 24 で「知っていた」を選んだ方

問 25 「江東区の病児・病後児保育室」を利用しない理由は次のどれにあてはまりますか。
(あてはまるものすべてに○)

「江東区の病児・病後児保育室」を利用しない理由についてみると、「利用までの手続きが煩わしいから」が 54.7%と最も多く、次いで「保護者が対応することが一番だから」が 47.8%となっています。



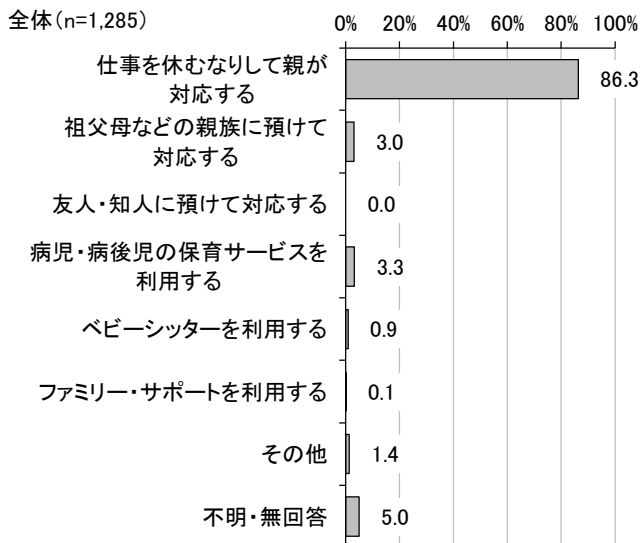
平日に教育・保育事業を利用しているすべての方

問 26 お子さんが病気やけがの際の対応として、あなたが考える対応の優先順位（第 2 位まで）の番号を回答欄にご記入ください。

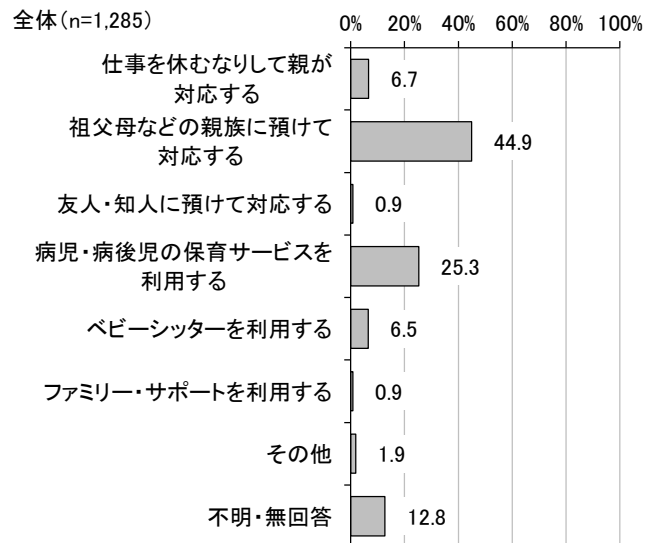
こどもが病気やけがの際の対応についてみると、第1優先では「仕事を休むなりして親が対応する」が 86.3%と最も多く、次いで「病児・病後児の保育サービスを利用する」が 3.3%となっています。

第2優先は、「祖父母などの親族に預けて対応する」が 44.9%と最も多く、次いで「病児・病後児の保育サービスを利用する」が 25.3%となっています。

■ 第 1 優先



■ 第 2 優先



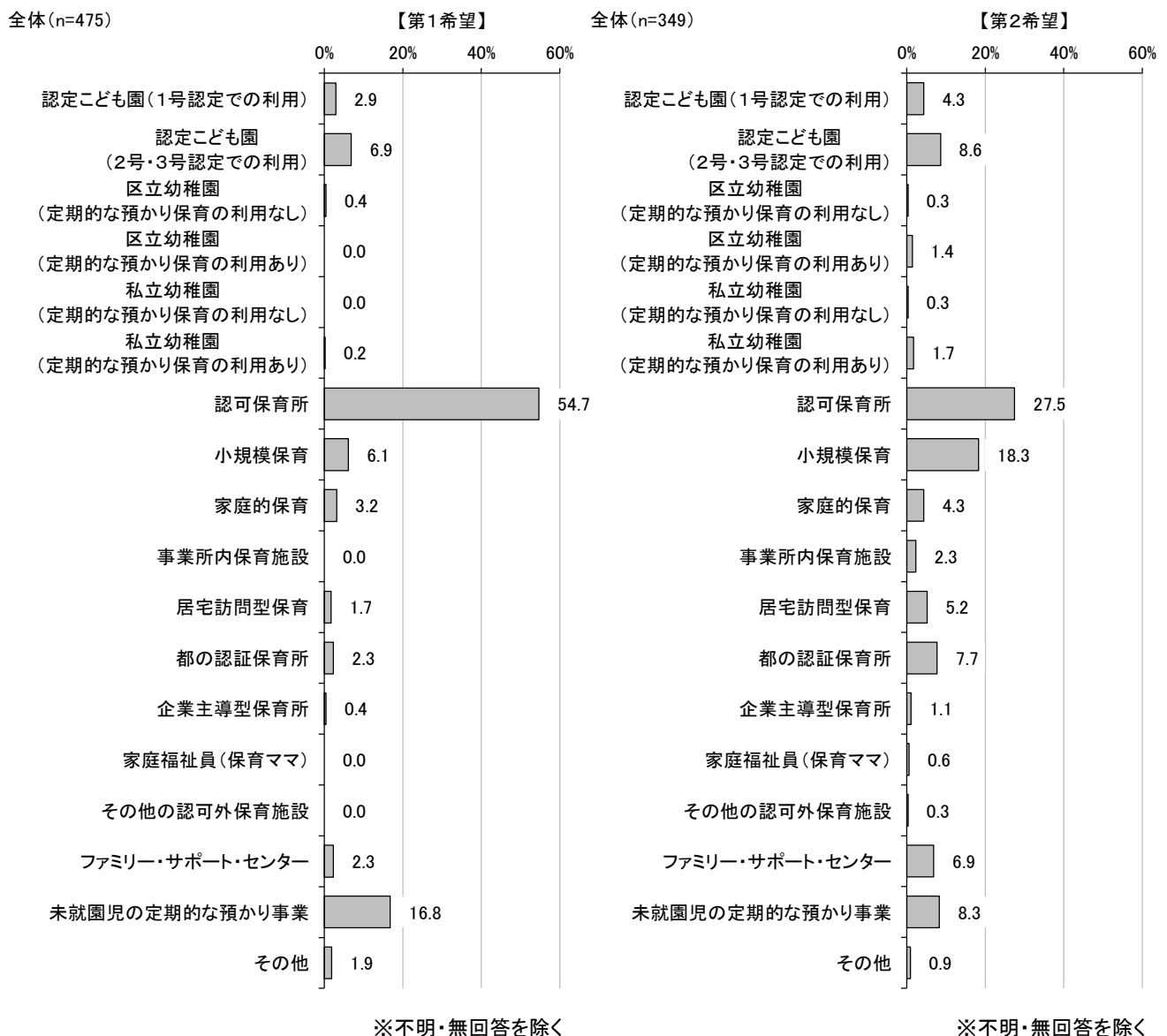
5 平日に定期的に利用したい教育・保育事業について

問 27 現在、利用している、利用していないにかかわらず、お子さんの平日の教育・保育事業として、定期的に利用したいと思う事業は何ですか。お子さんの年齢ごとに希望する事業を2つまで、〔事業選択肢〕の中から選び、該当欄に数字をご記入ください（年齢は令和5年4月1日時点を基準として、現在の年齢から5歳までの希望をご記入ください）。

0 歳

第1希望についてみると、「認可保育所」が54.7%と最も多く、次いで「未就園児の定期的な預かり事業」が16.8%となっています。

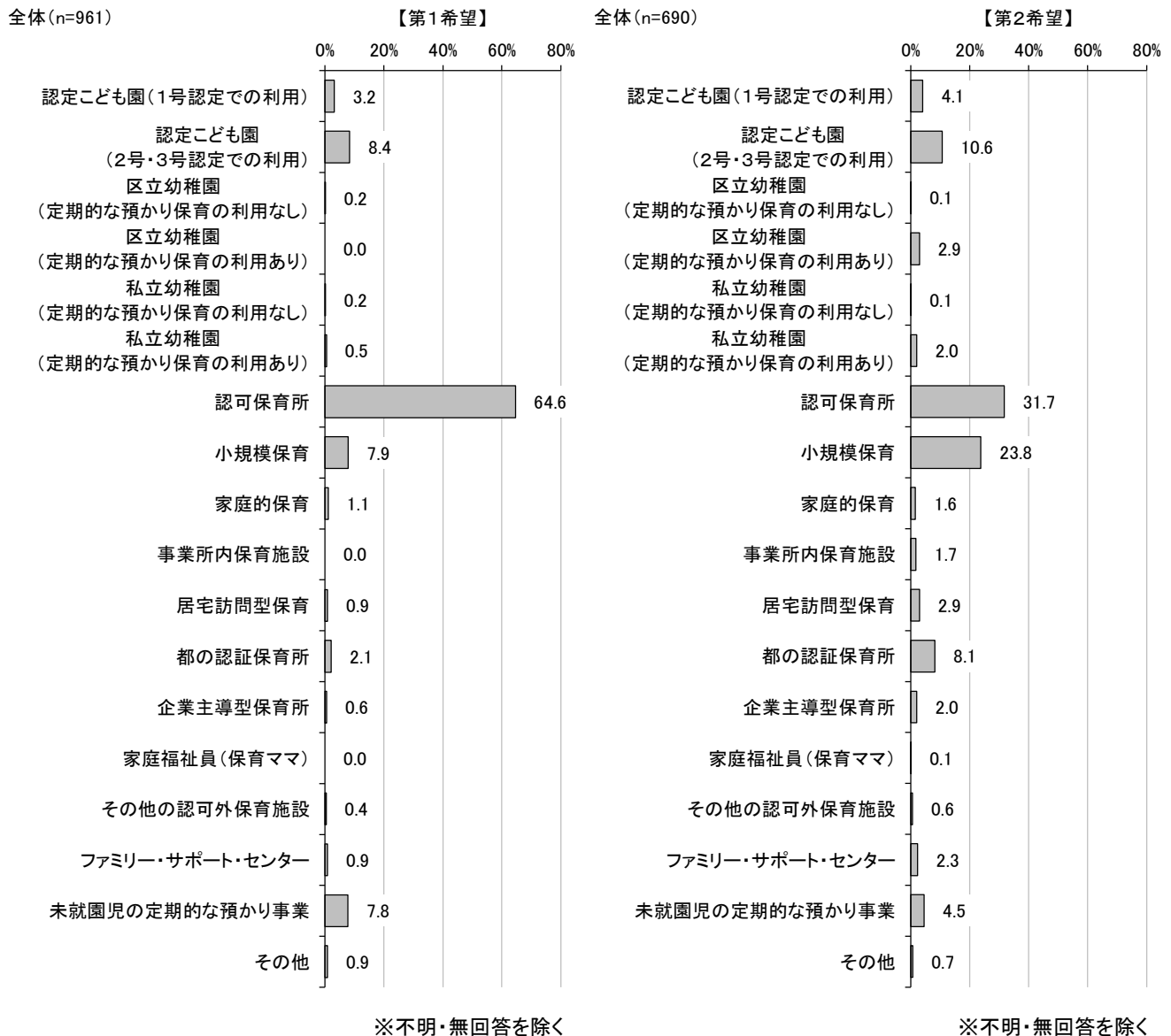
第2希望についてみると、「認可保育所」が27.5%と最も多く、次いで「小規模保育」が18.3%となっています。



1 歳

第1希望についてみると、「認可保育所」が 64.6%と最も多く、次いで「認定こども園(2号・3号認定での利用)」が 8.4%となっています。

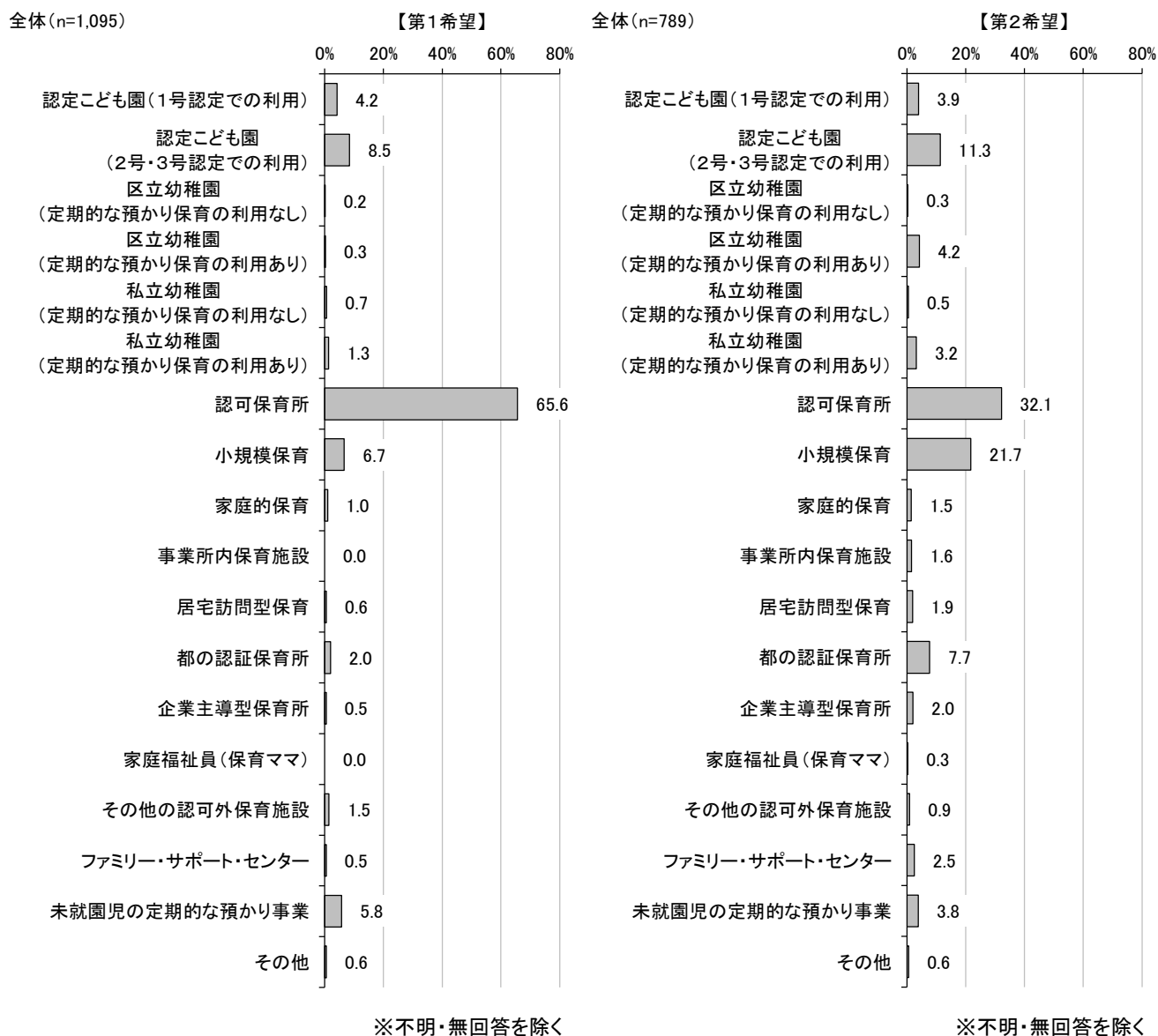
第2希望についてみると、「認可保育所」が 31.7%と最も多く、次いで「小規模保育」が 23.8%となっています。



2 歳

第1希望についてみると、「認可保育所」が 65.6%と最も多く、次いで「認定こども園(2号・3号認定での利用)」が 8.5%となっています。

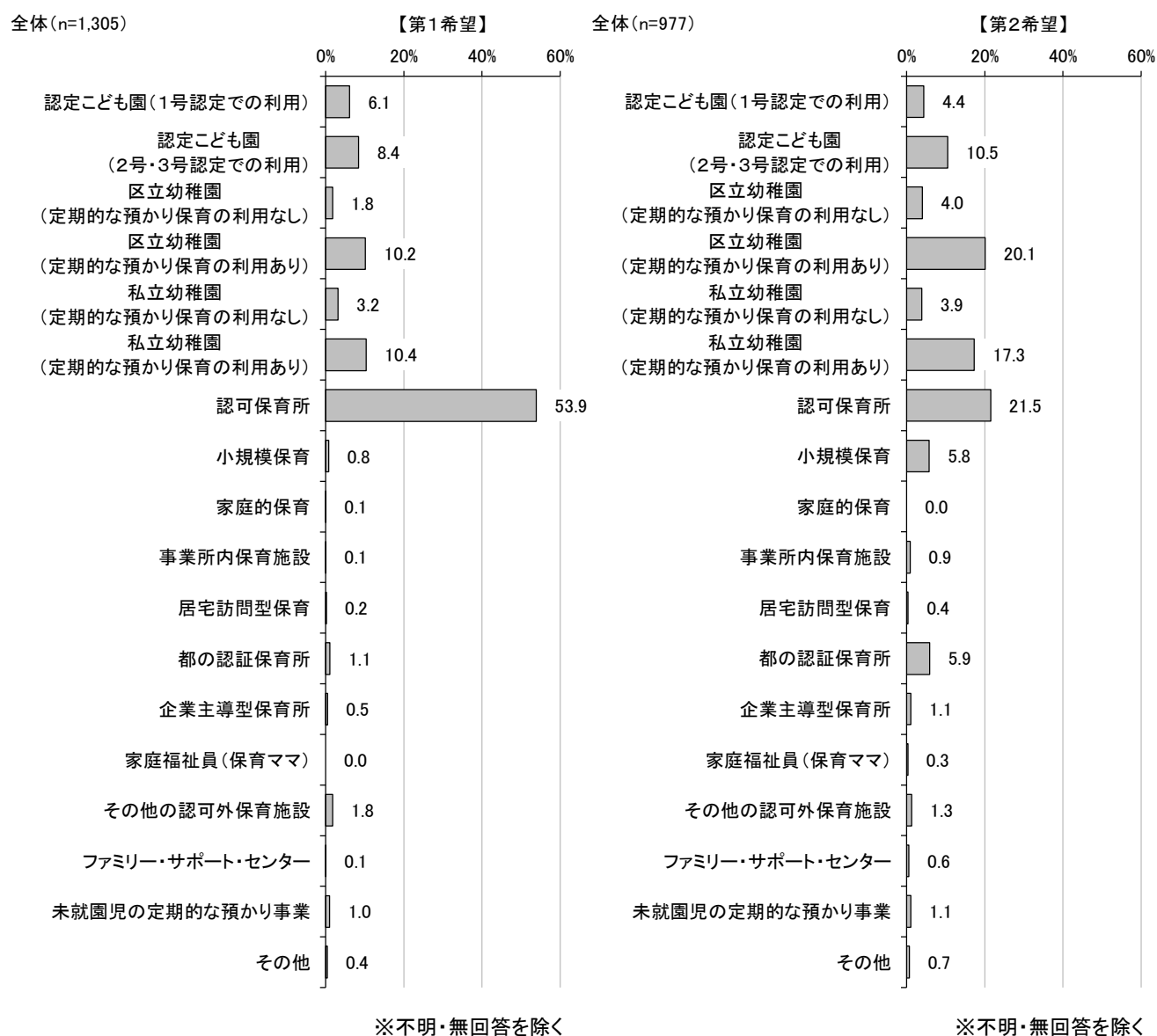
第2希望についてみると、「認可保育所」が 32.1%と最も多く、次いで「小規模保育」が 21.7%となっています。



3 歳

第1希望についてみると、「認可保育所」が 53.9%と最も多く、次いで「私立幼稚園(定期的な預かり保育の利用あり)」が 10.4%となっています。

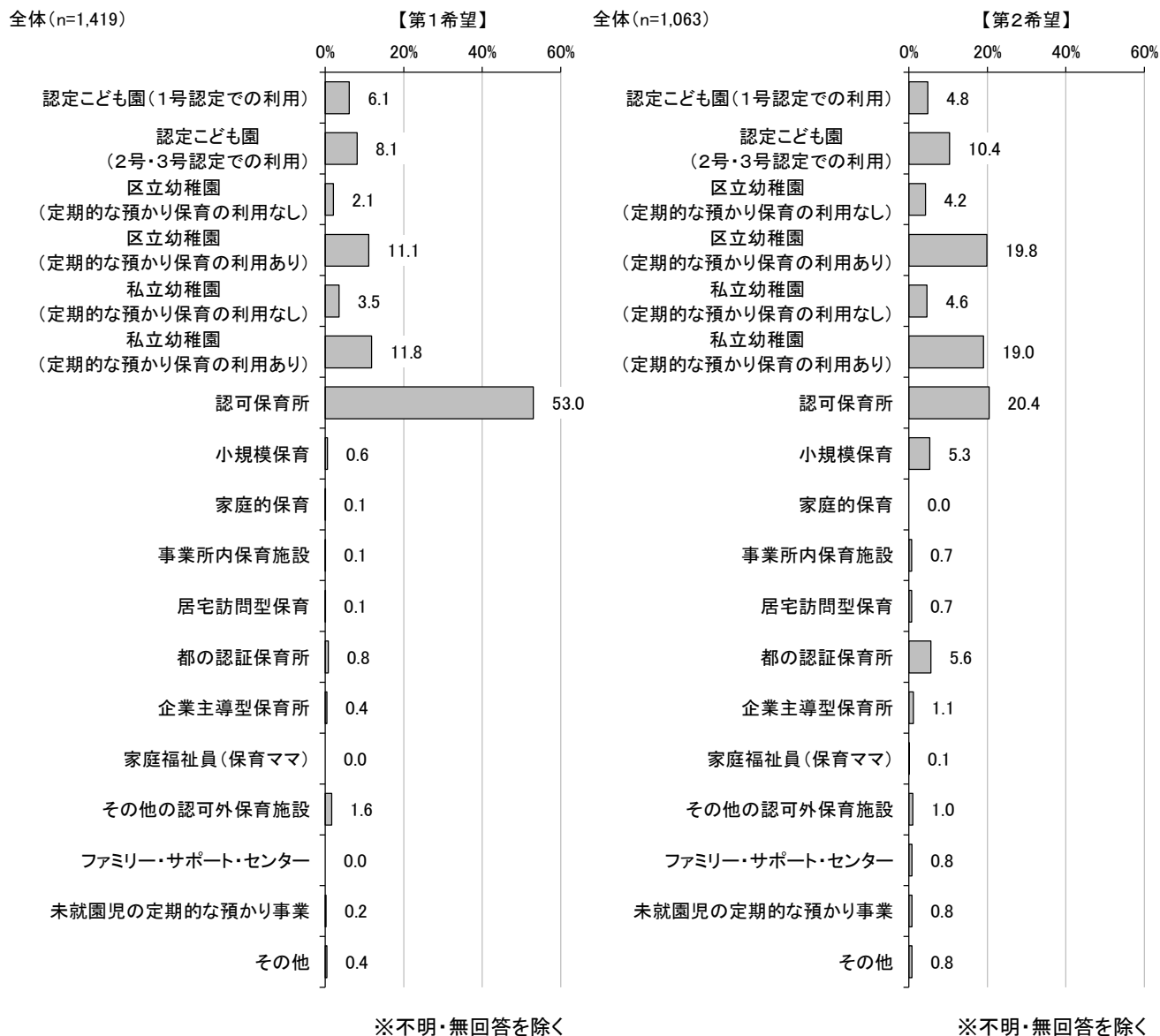
第2希望についてみると、「認可保育所」が 21.5%と最も多く、次いで「区立幼稚園(定期的な預かり保育の利用あり)」が 20.1%となっています。



4 歳

第1希望についてみると、「認可保育所」が 53.0%と最も多く、次いで「私立幼稚園(定期的な預かり保育の利用あり)」が 11.8%となっています。

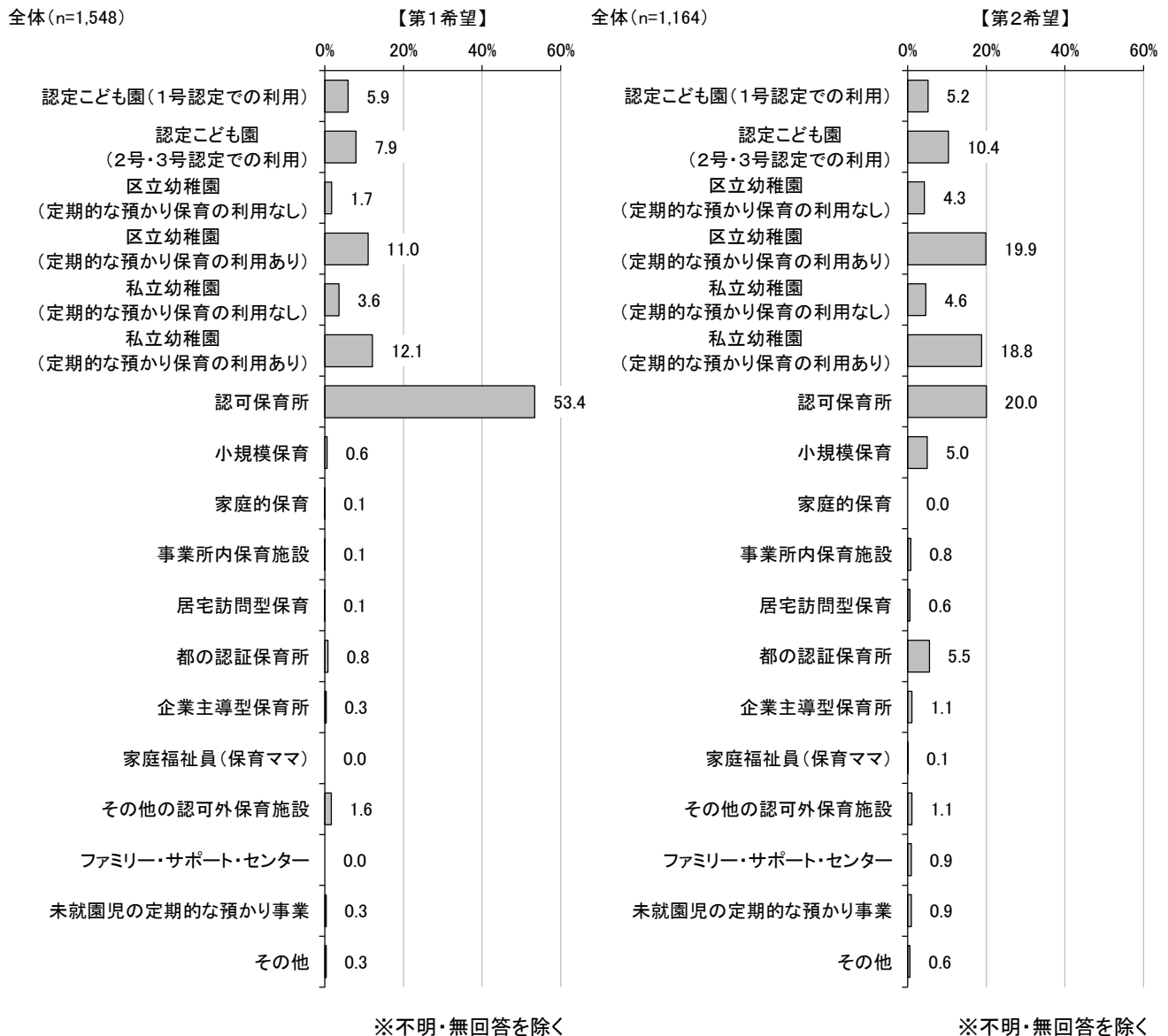
第2希望についてみると、「認可保育所」が 20.4%と最も多く、次いで「区立幼稚園(定期的な預かり保育の利用あり)」が 19.8%となっています。



5 歳

第1希望についてみると、「認可保育所」が 53.4%と最も多く、次いで「私立幼稚園(定期的な預かり保育の利用あり)」が 12.1%となっています。

第2希望についてみると、「認可保育所」が 20.0%と最も多く、次いで「区立幼稚園(定期的な預かり保育の利用あり)」が 19.9%となっています。

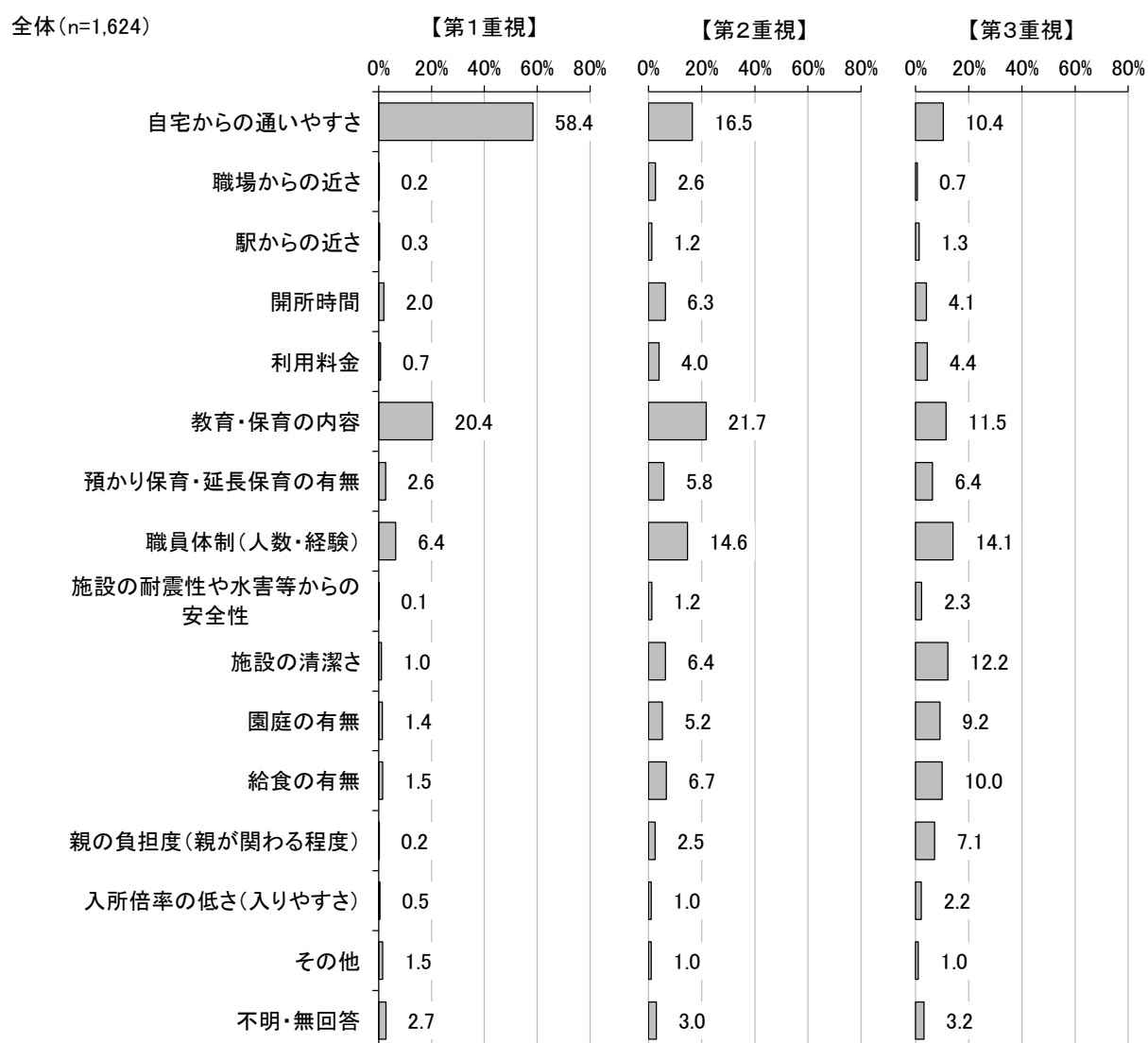


問 28 幼稚園、保育園、認定こども園等を選ぶ際にどのような点を重視しますか。あなたが重視する点の優先順位（第3位まで）の番号を回答欄にお書きください。現在利用していない方は今後利用すると仮定してお答えください。

幼稚園、保育園、認定こども園等を選ぶ際に重視する点についてみると、第1重視では「自宅からの通いやすさ」が58.4%と最も多く、次いで「教育・保育の内容」が20.4%となっています。

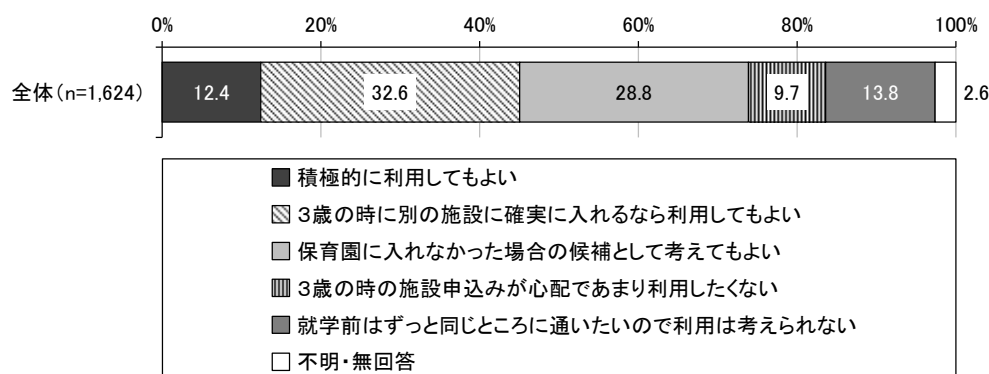
第2重視では、「教育・保育の内容」が21.7%と最も多く、次いで「自宅からの通いやすさ」が16.5%となっています。

第3重視では、「職員体制(人数・経験)」が14.1%と最も多く、次いで「施設の清潔さ」が12.2%となっています。



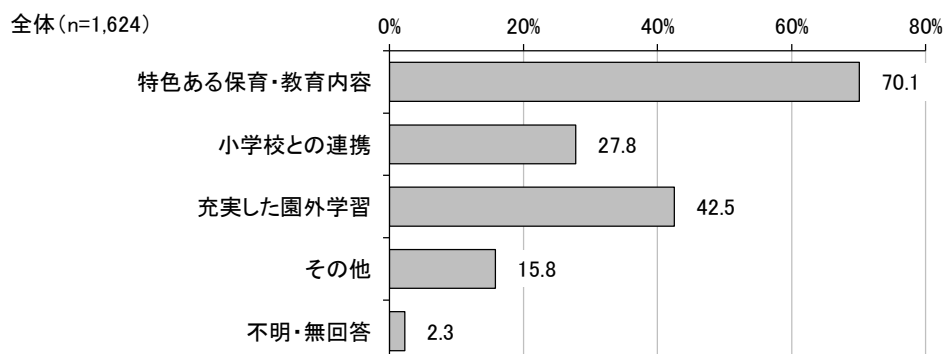
問 29 0～2歳児が利用できる「地域型保育事業（認可の小規模保育や家庭的保育等）」は、3歳になった時は別の幼稚園、保育園、認定こども園を利用することになります。地域型保育事業について、あなたのお考えにもっとも近いものはどれですか。（1つに○）

地域型保育事業に対する考えについてみると、「3歳の時に別の施設に確実に入れるなら利用してもよい」が32.6%と最も多く、次いで「保育園に入れなかった場合の候補として考えてもよい」が28.8%となっています。



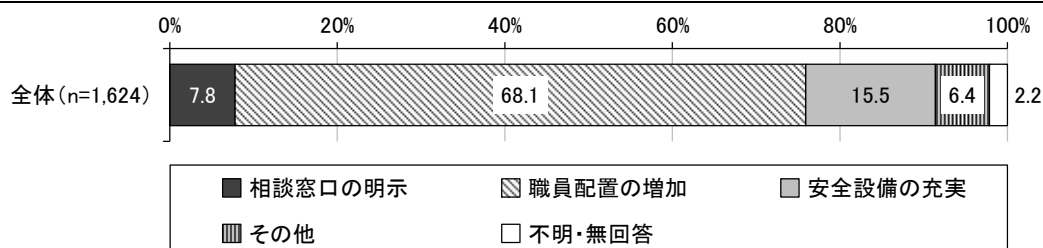
問 30 幼稚園、保育園、認定こども園のサービス向上として、あなたが求める内容はどれですか。（あてはまるものすべてに○）

幼稚園、保育園、認定こども園のサービス向上として求める内容についてみると、「特色ある保育・教育内容」が70.1%と最も多く、次いで「充実した園外学習」が42.5%となっています。



問 31 幼稚園、保育園、認定こども園で園児の生命・安全に被害を及ぼす重大な事故や、施設や保育者の不適切な保育を防ぐために、最も重要な点は何だと思えますか。（1つに○）

幼稚園、保育園、認定こども園で園児の生命・安全に被害を及ぼす重大な事故や、施設や保育者の不適切な保育を防ぐために、最も重要な点についてみると、「職員配置の増加」が68.1%と最も多く、次いで「安全設備の充実」が15.5%となっています。

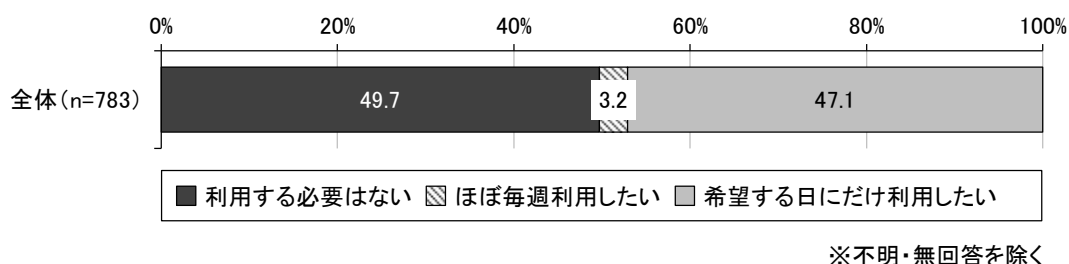


6 休日保育事業について ※日曜・祝日に就労している方

問 32 “日曜・祝日に、就労のため自宅での保育ができない保護者”を対象に休日保育事業を提供しております。以下に記載の（１）日曜・祝日の利用希望、（２）利用したい時間帯についてお答えください。現在の利用の有無に関係なく、また実際に利用可能な時間帯に関係なくお答えください。

（１）日曜・祝日の利用希望（１つに○）

休日保育事業の利用希望についてみると、「利用する必要はない」が 49.7%と最も多く、次いで「希望する日にだけ利用したい」が 47.1%となっています。

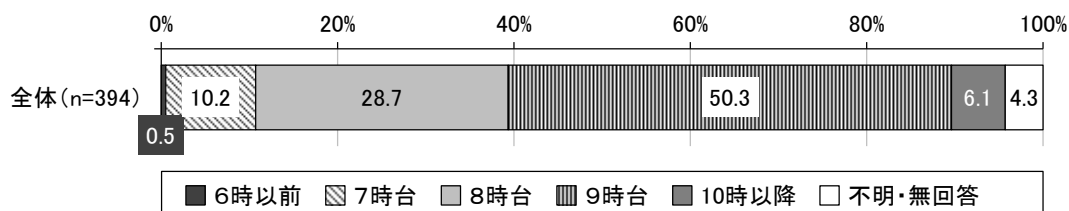


（１）で「ほぼ毎週利用したい」「希望する日にだけ利用したい」を選んだ方

（２）利用したい時間帯

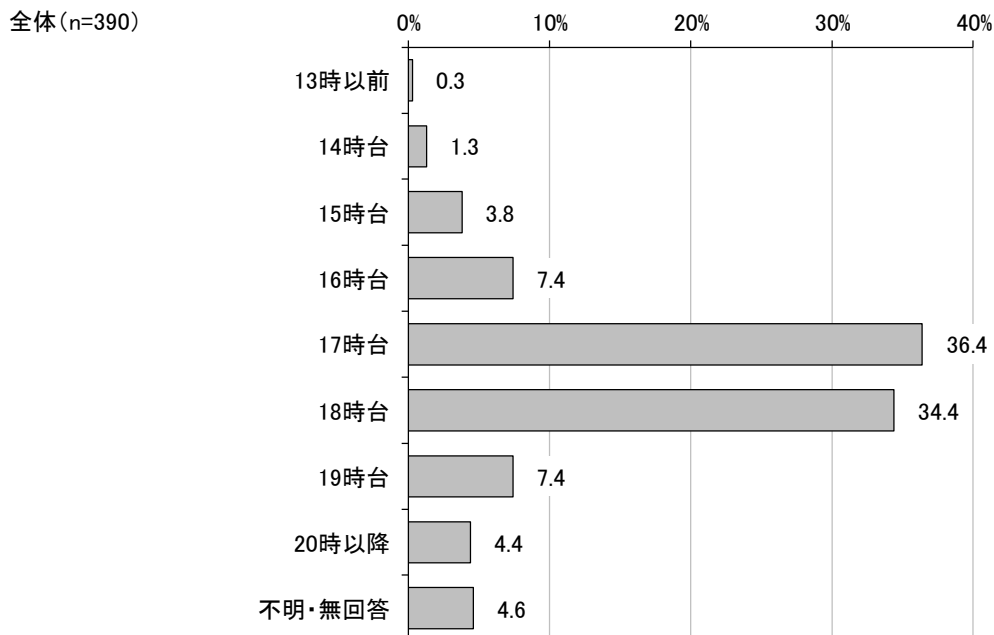
希望開始時刻

希望開始時刻についてみると、「9時台」が 50.3%と最も多く、次いで「8時台」が 28.7%となっています。



希望終了時刻

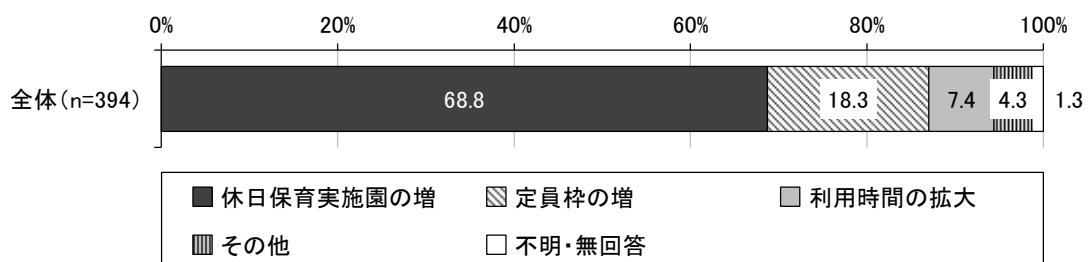
希望終了時刻についてみると、「17 時台」が 36.4%と最も多く、次いで「18 時台」が 34.4%となっています。



問 32 (1) で「ほぼ毎週利用したい」「希望する日にだけ利用したい」を選んだ方

問 33 休日保育事業を拡充する際の対応として、あなたが求める内容はどれですか。
(1つに○)

休日保育事業を拡充する際の対応として求める内容についてみると、「休日保育実施園の増」が 68.8%と最も多く、次いで「定員枠の増」が 18.3%となっています。

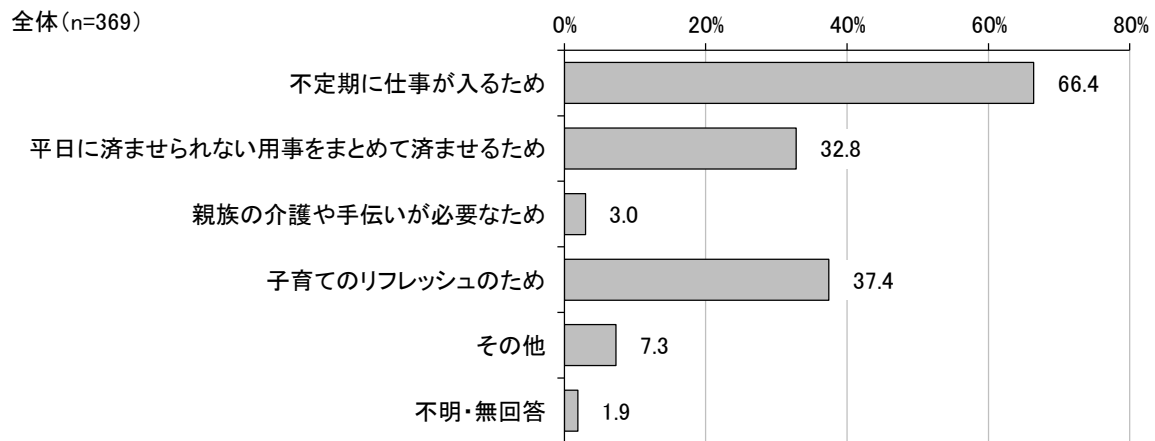


第2部 区民意向調査結果

問 32（１）で「希望する日にだけ利用したい」を選んだ方

問 34 定期利用ではなく、たまに利用したい理由は何ですか。
（あてはまるものすべてに○）

定期利用ではなく、たまに利用したい理由についてみると、「不定期に仕事が入るため」が 66.4%と最も多く、次いで「子育てのリフレッシュのため」が 37.4%となっています。

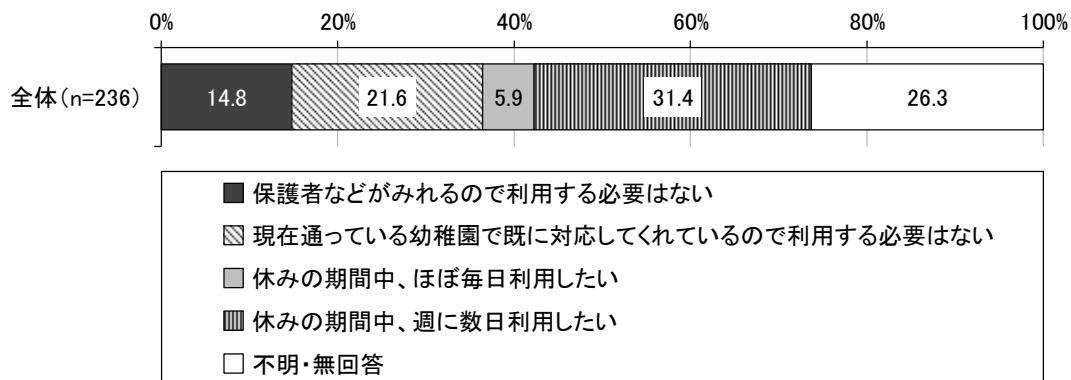


幼稚園（認定こども園の1号認定を含む）を利用されている方

問 35 お子さんの夏休み・冬休みなど長期の休暇期間中の教育・保育事業の利用を希望しますか。希望がある場合は、利用したい理由と時間帯をお答えください。なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。

（1）利用希望（1つに○）

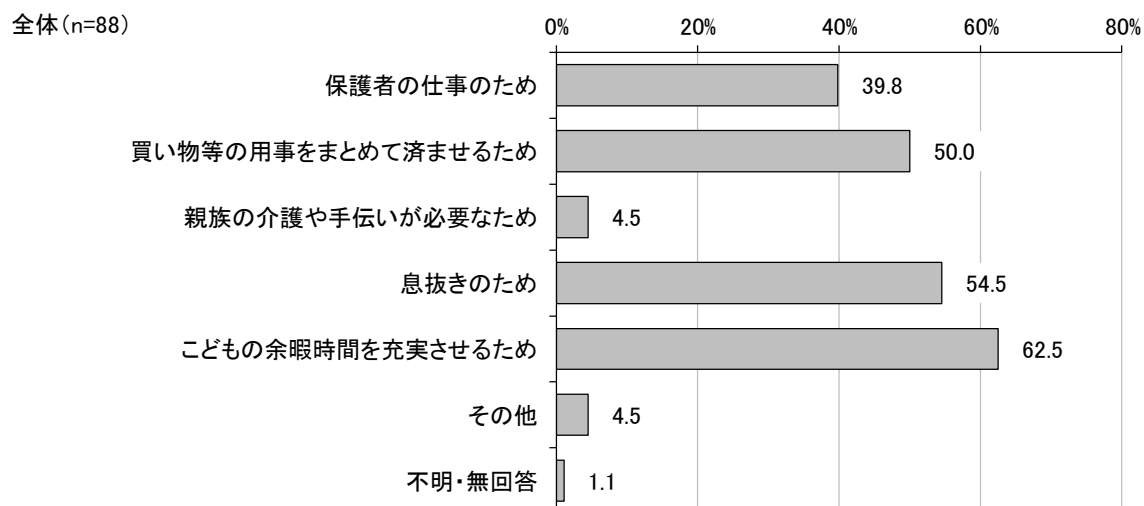
夏休み・冬休みなど長期の休暇期間中の教育・保育事業の利用希望についてみると、「休みの期間中、週に数日利用したい」が 31.4%と最も多く、次いで「現在通っている幼稚園で既に対応してくれているので利用する必要はない」が 21.6%となっています。



（1）で「休みの期間中、ほぼ毎日利用したい」「休みの期間中、週に数日利用したい」を選んだ方

（2）利用したい理由（あてはまるものすべてに○）

利用したい理由についてみると、「こどもの余暇時間を充実させるため」が 62.5%と最も多く、次いで「息抜きのため」が 54.5%となっています。

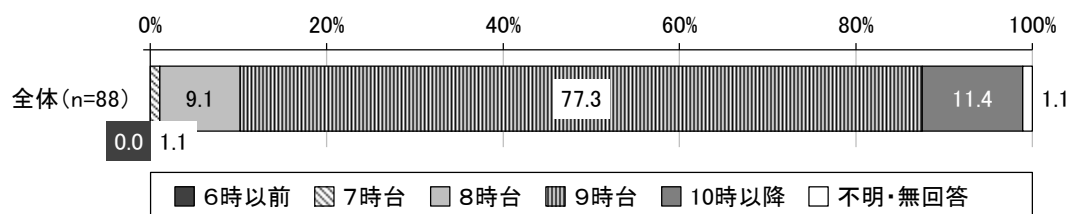


第2部 区民意向調査結果

(1) で「休みの期間中、ほぼ毎日利用したい」「休みの期間中、週に数日利用したい」を選んだ方
(3) 利用したい時間帯

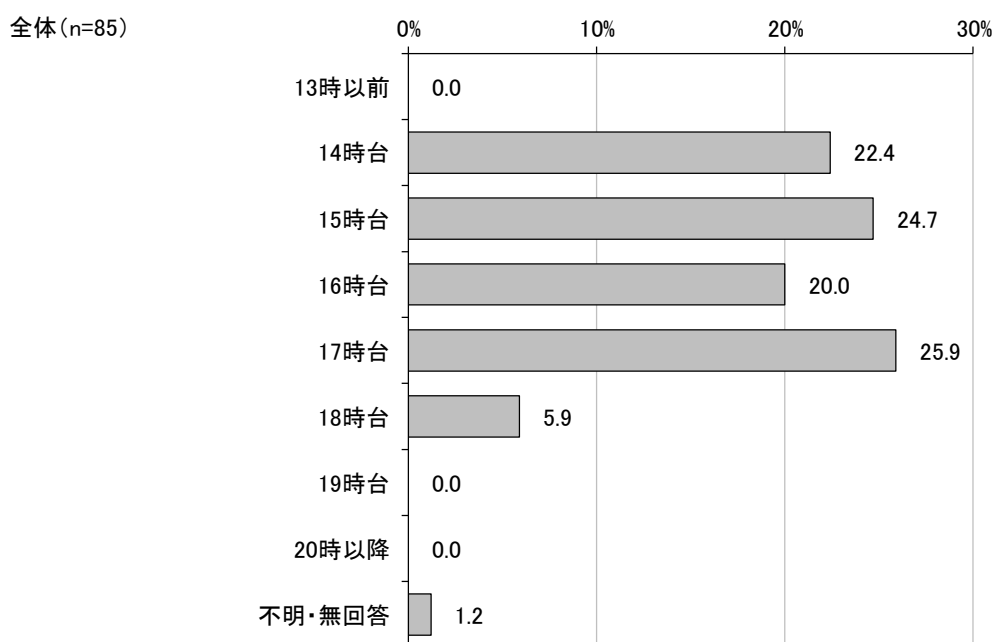
希望開始時刻

希望開始時刻についてみると、「9時台」が 77.3%と最も多く、次いで「10 時以降」が 11.4%となっています。



希望終了時刻

希望終了時刻についてみると、「17 時台」が 25.9%と最も多く、次いで「15 時台」が 24.7%となっています。



7 不定期の教育・保育事業や一時預かり等について

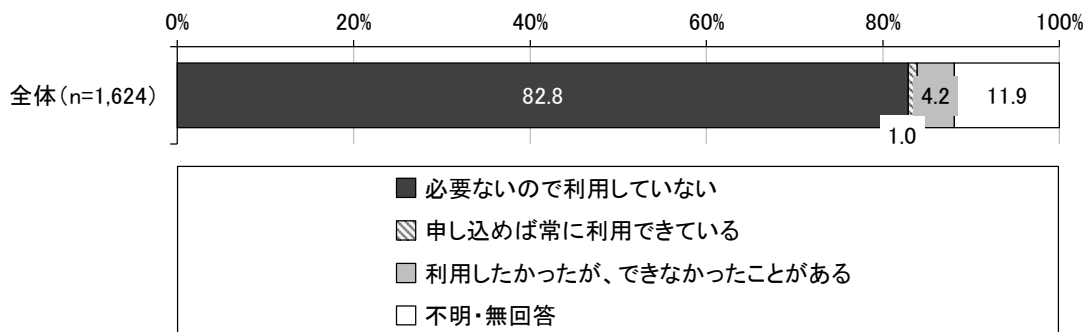
問 36 お子さんについて、この1年間で私用、親の通院、不定期の就労等の目的で、不定期に利用している事業はありますか。また、利用したかったができなかったことがある場合は、その回数と理由についてもお答えください。

((1) は利用状況について1つに○。(2) は利用できなかった回数、(3) は利用できなかった理由を【利用できなかった理由選択肢】からあてはまるものすべて選んで、番号をお書きください。また、利用できなかった理由で「その他」を選んだ方は、回答欄に具体的な内容もお書きください)。

①緊急一時保育

(1) 利用状況

緊急一時保育の利用状況についてみると、「必要ないので利用していない」が 82.8%と最も多く、次いで「利用したかったが、できなかったことがある」が 4.2%となっています。



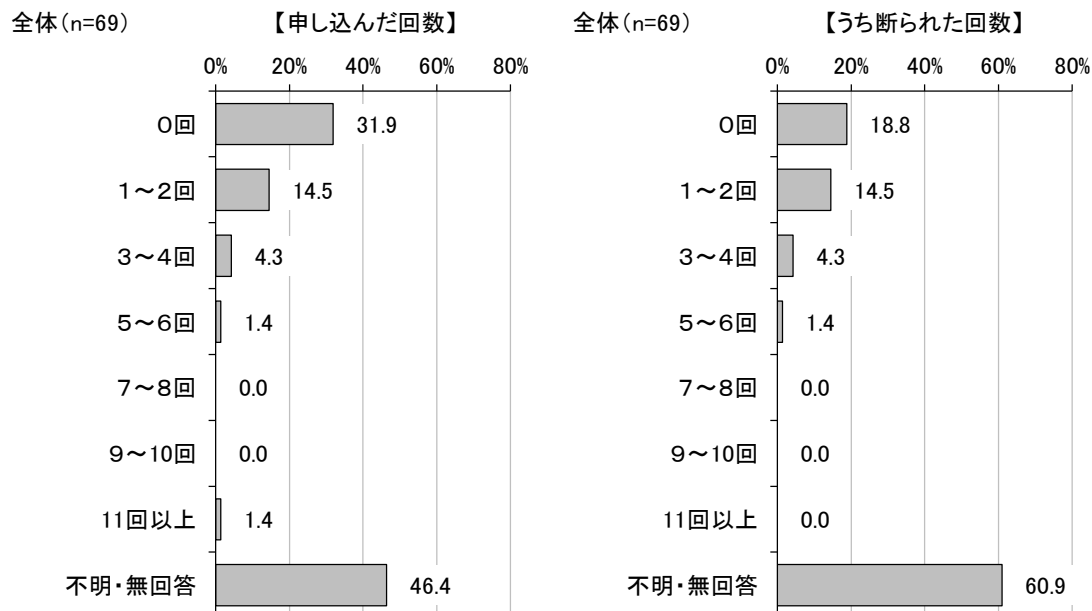
第2部 区民意向調査結果

(1) で「利用したかったが、できなかったことがある」を選んだ方

(2) 利用できなかった回数

緊急一時保育に申し込んだ回数についてみると、「0回」が 31.9%と最も多く、次いで「1～2回」が 14.5%となっています。

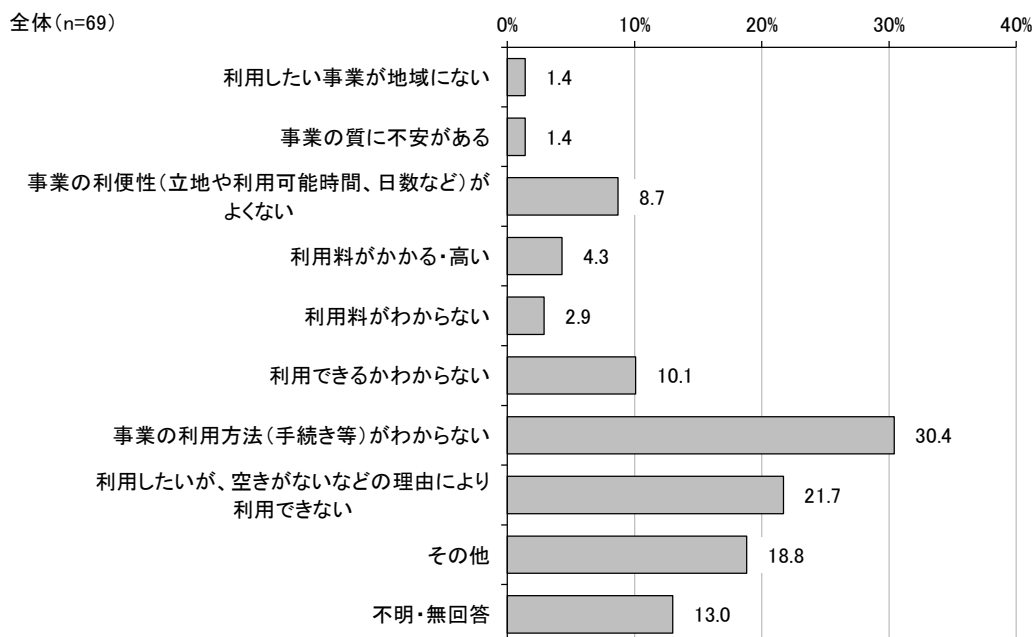
うち断られた回数についてみると、「0回」が 18.8%と最も多く、次いで「1～2回」が 14.5%となっています。



(1) で「利用したかったが、できなかったことがある」を選んだ方

(3) 利用できなかった理由

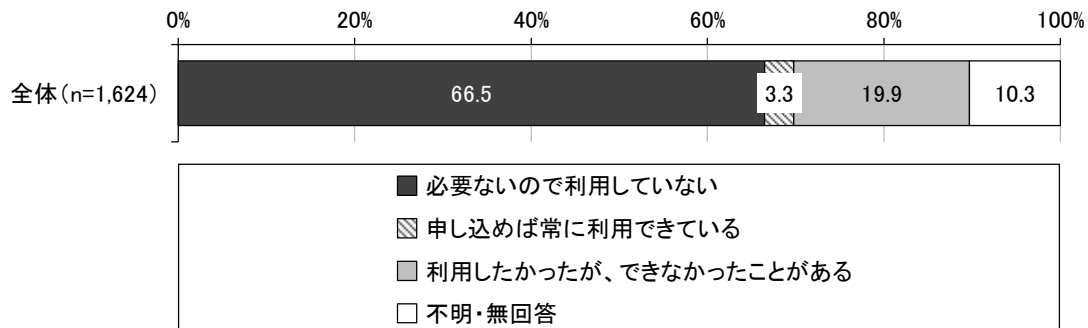
緊急一時保育を利用できなかった理由についてみると、「事業の利用方法(手続き等)がわからない」が 30.4%と最も多く、次いで「利用したいが、空きがないなどの理由により利用できない」が 21.7%となっています。



②リフレッシュひととき保育

(1) 利用状況

リフレッシュひととき保育の利用状況についてみると、「必要ないので利用していない」が 66.5%と最も多く、次いで「利用したかったが、できなかったことがある」が 19.9%となっています。

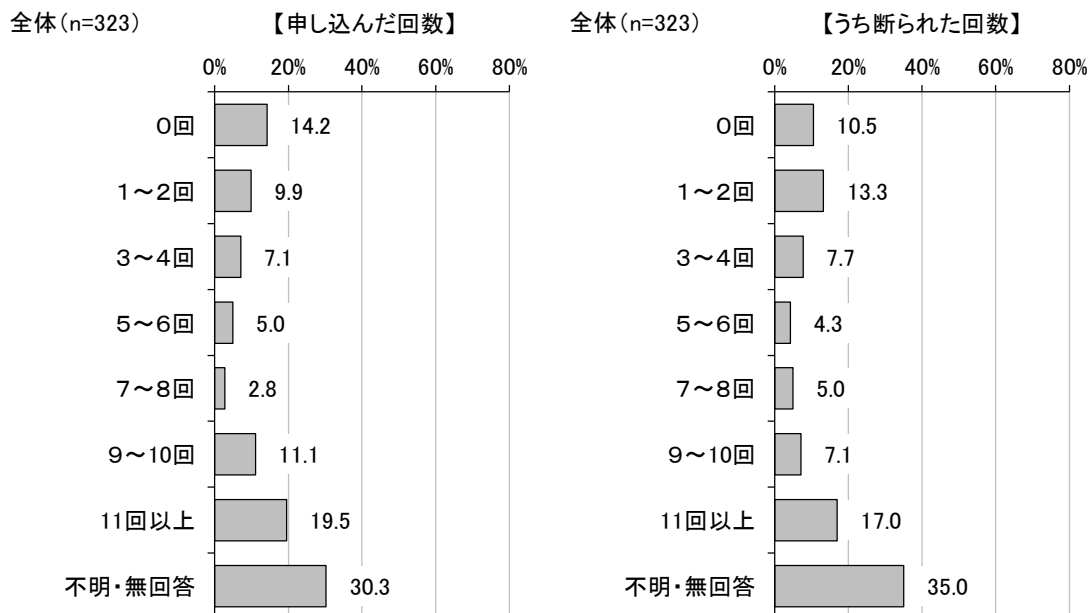


(1) で「利用したかったが、できなかったことがある」を選んだ方

(2) 利用できなかった回数

リフレッシュひととき保育に申し込んだ回数についてみると、「11 回以上」が 19.5%と最も多く、次いで「0回」が 14.2%となっています。

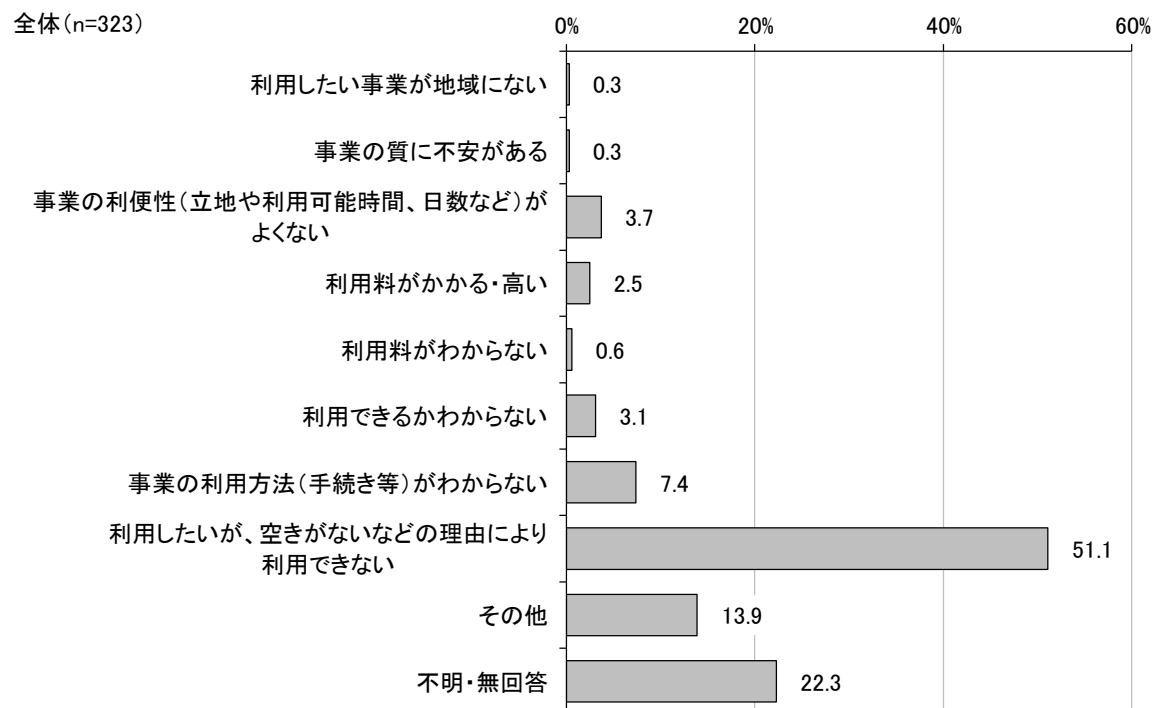
うち断られた回数についてみると、「11 回以上」が 17.0%と最も多く、次いで「1～2回」が 13.3%となっています。



(1) で「利用しなかったが、できなかったことがある」を選んだ方

(3) 利用できなかった理由

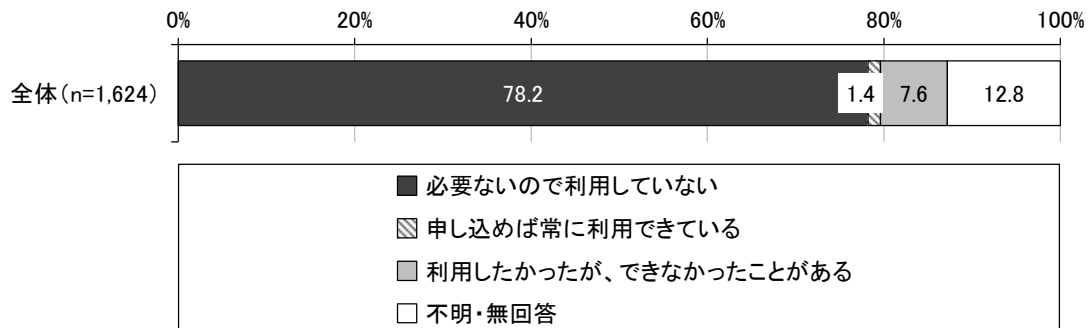
リフレッシュひととき保育を利用できなかった理由についてみると、「利用したいが、空きがないなどの理由により利用できない」が 51.1%と最も多く、次いで「事業の利用方法(手続き等)がわからない」が 7.4%となっています。



③児童館一時保育サービス

(1) 利用状況

児童館一時保育サービスの利用状況についてみると、「必要ないので利用していない」が 78.2%と最も多く、次いで「利用したかったが、できなかったことがある」が 7.6%となっています。

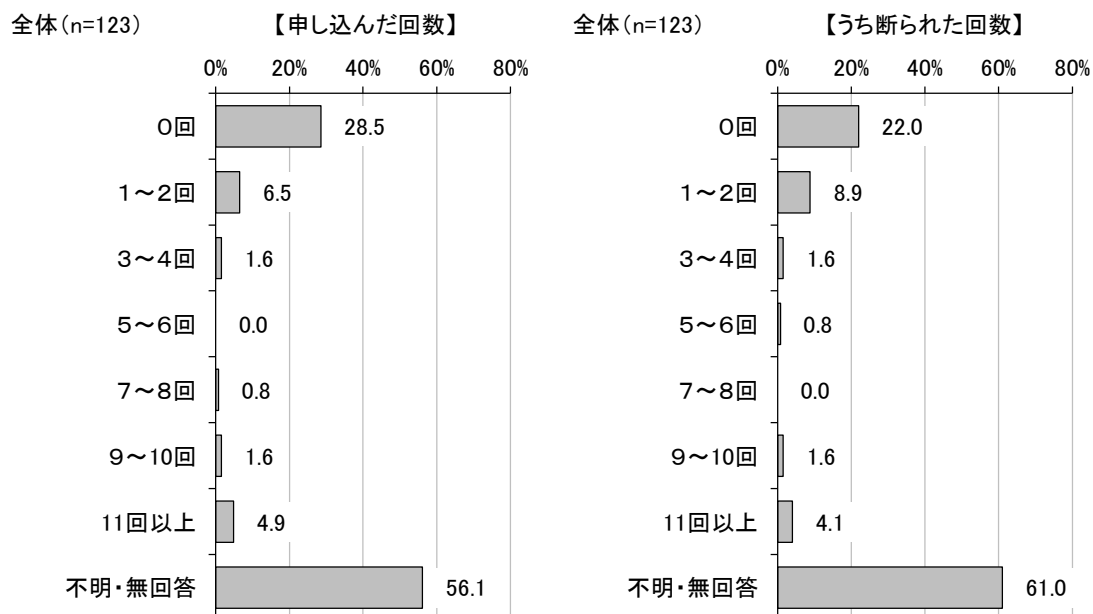


(1) で「利用したかったが、できなかったことがある」を選んだ方

(2) 利用できなかった回数

児童館一時保育サービスに申し込んだ回数についてみると、「0回」が 28.5%と最も多く、次いで「1～2回」が 6.5%となっています。

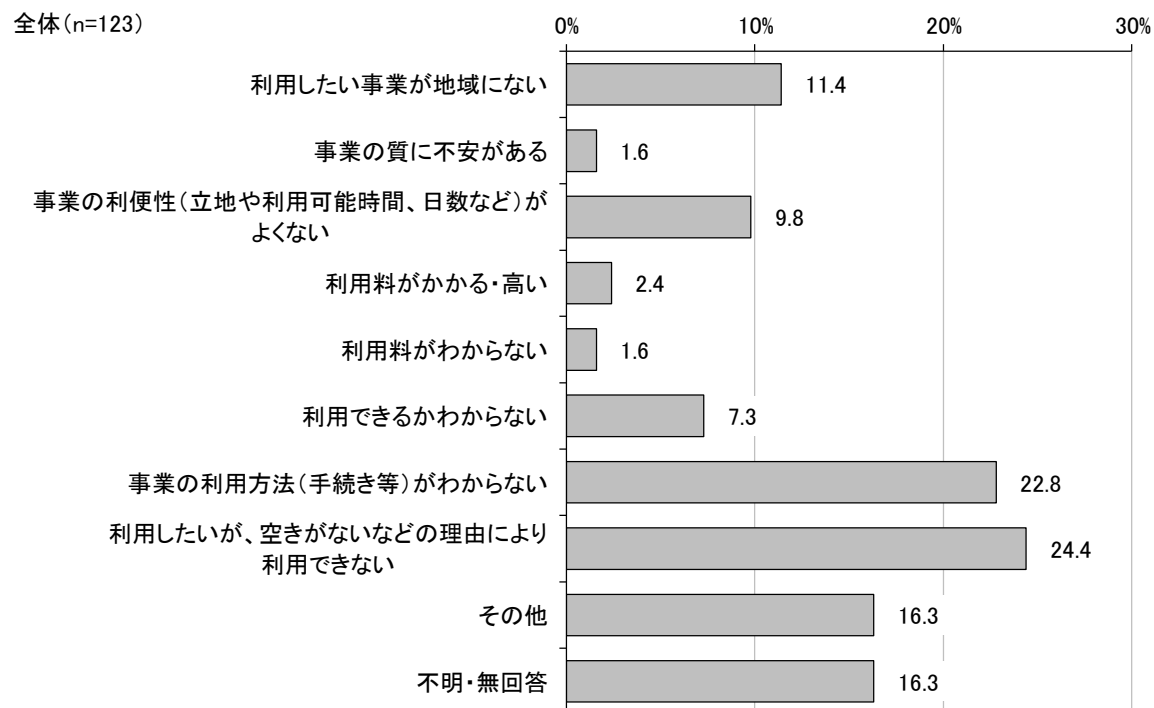
うち断られた回数についてみると、「0回」が 22.0%と最も多く、次いで「1～2回」が 8.9%となっています。



(1) で「利用したかったが、できなかったことがある」を選んだ方

(3) 利用できなかった理由

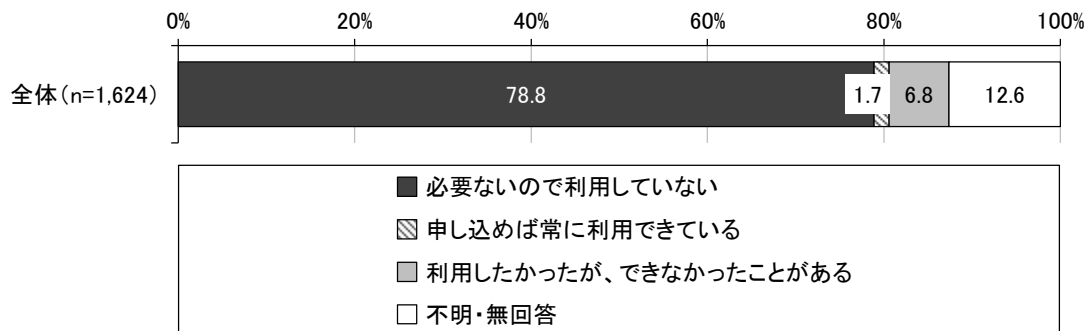
児童館一時保育サービスを利用できなかった理由についてみると、「利用したいが、空きがないなどの理由により利用できない」が 24.4%と最も多く、次いで「事業の利用方法(手続き等)がわからない」が 22.8%となっています。



④非定型一時保育〔子育てサポート一時保育〕

(1) 利用状況

非定型一時保育〔子育てサポート一時保育〕の利用状況についてみると、「必要ないので利用していない」が 78.8%と最も多く、次いで「利用したかったが、できなかったことがある」が 6.8%となっています。

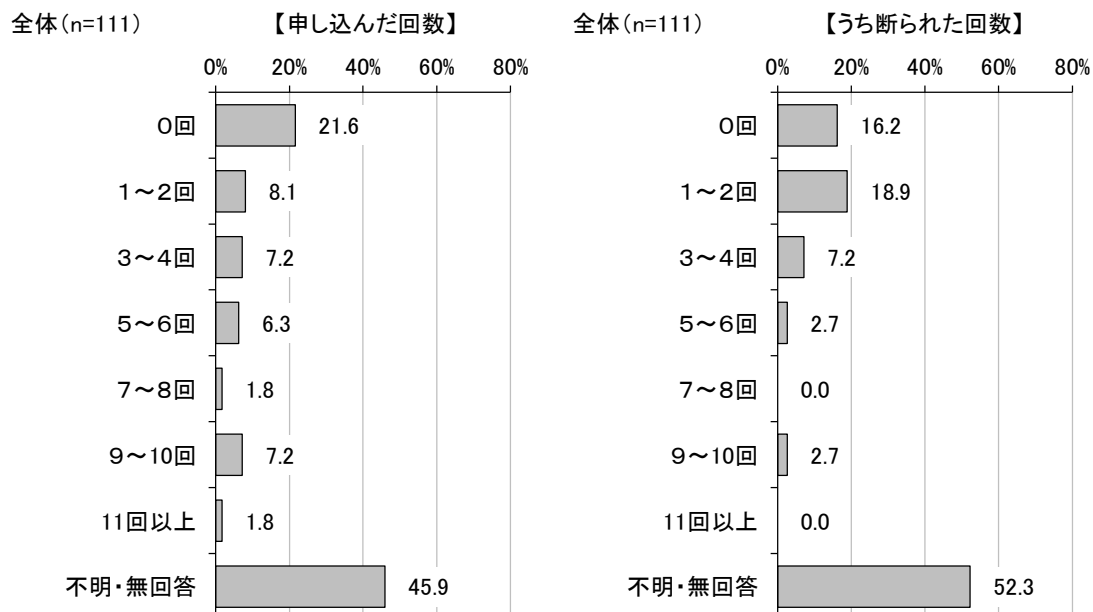


(1) で「利用したかったが、できなかったことがある」を選んだ方

(2) 利用できなかった回数

非定型一時保育〔子育てサポート一時保育〕に申し込んだ回数についてみると、「0回」が 21.6%と最も多く、次いで「1～2回」が 8.1%となっています。

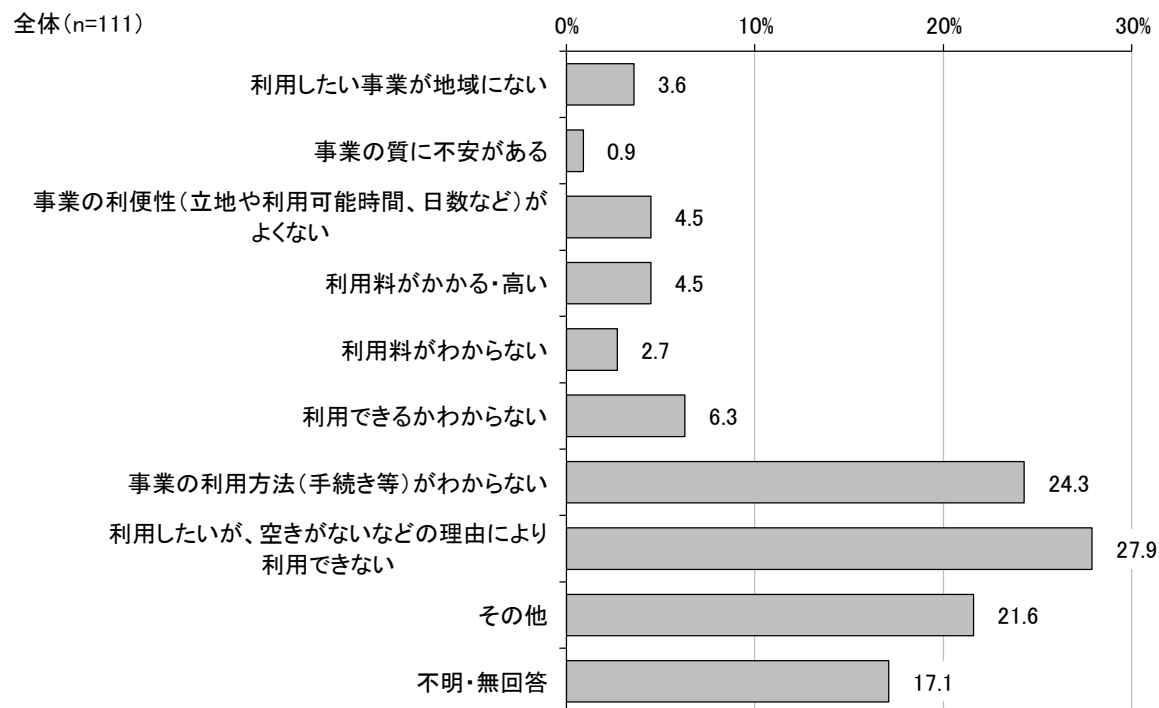
うち断られた回数についてみると、「1～2回」が 18.9%と最も多く、次いで「0回」が 16.2%となっています。



(1) で「利用しなかったが、できなかったことがある」を選んだ方

(3) 利用できなかった理由

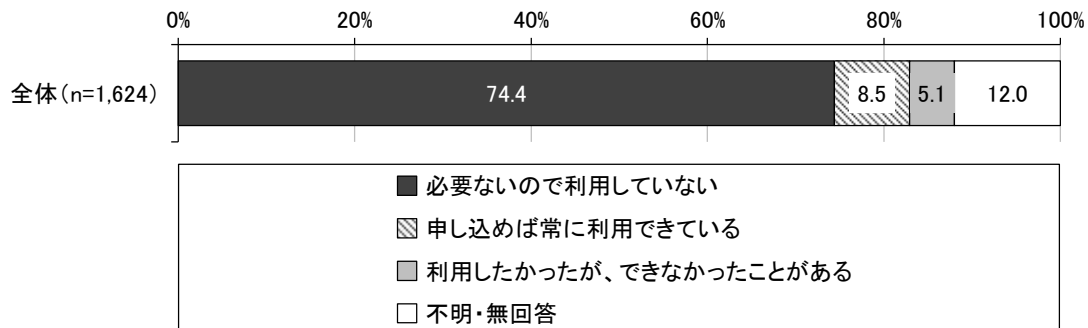
非定型一時保育[子育てサポート一時保育]を利用できなかった理由についてみると、「利用したいが、空きがないなどの理由により利用できない」が27.9%と最も多く、次いで「事業の利用方法(手続き等)がわからない」が24.3%となっています。



⑤ 幼稚園の預かり保育

(1) 利用状況

幼稚園の預かり保育の利用状況についてみると、「必要ないので利用していない」が 74.4%と最も多く、次いで「申し込みば常に利用できている」が 8.5%となっています。

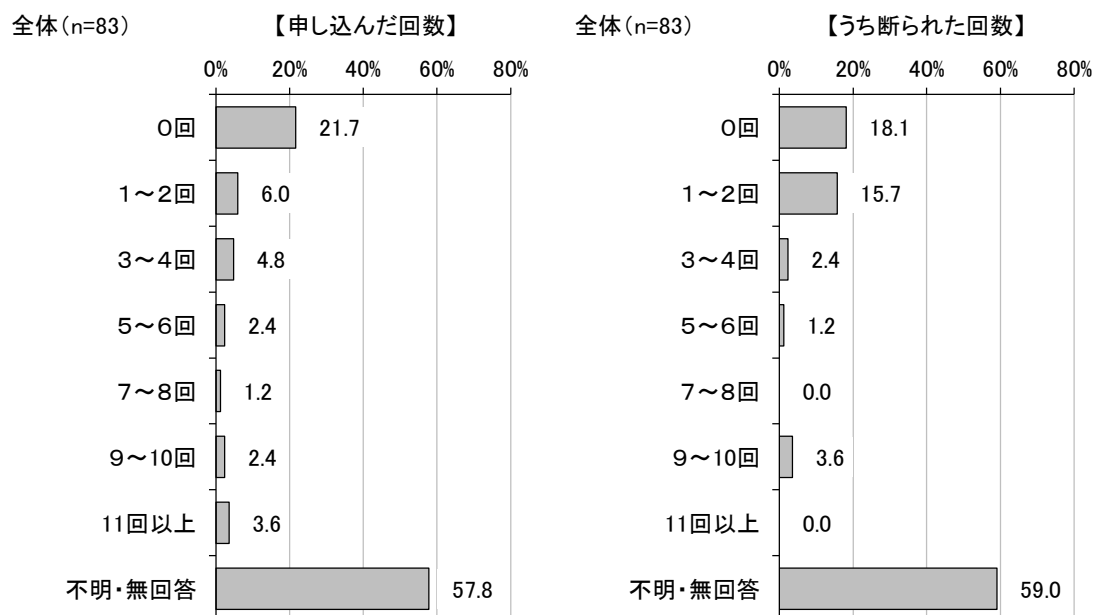


(1) で「利用したかったが、できなかったことがある」を選んだ方

(2) 利用できなかった回数

幼稚園の預かり保育に申し込んだ回数についてみると、「0回」が 21.7%と最も多く、次いで「1～2回」が 6.0%となっています。

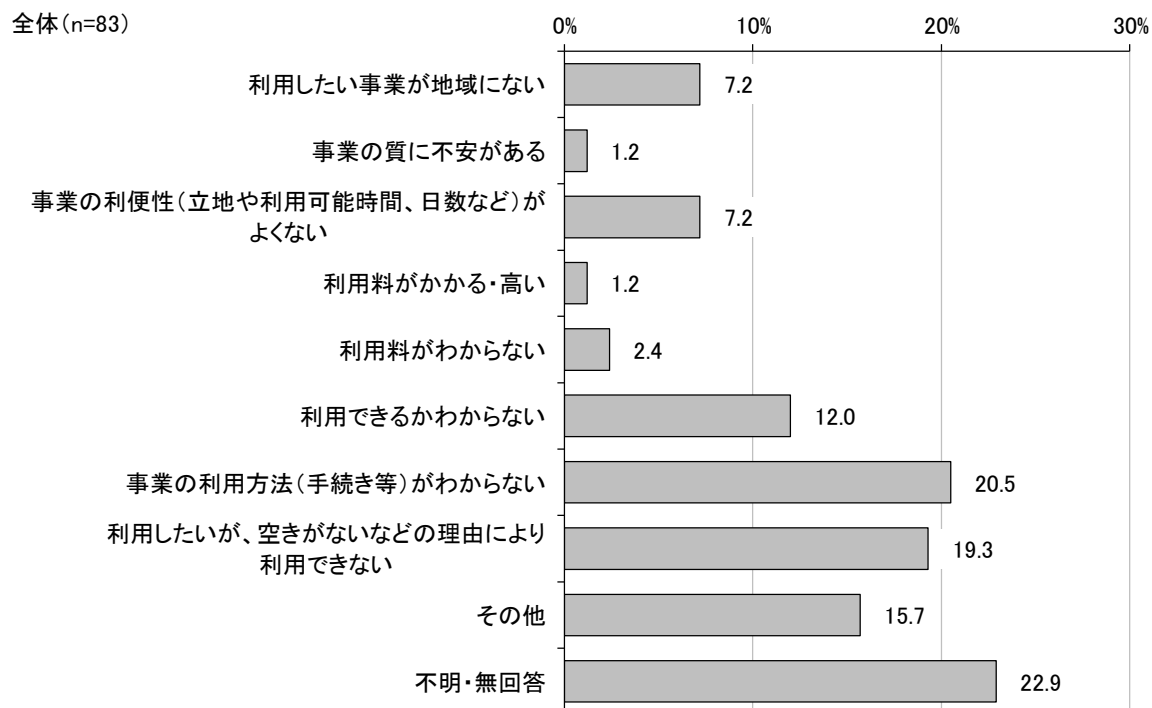
うち断られた回数についてみると、「0回」が 18.1%と最も多く、次いで「1～2回」が 15.7%となっています。



(1) で「利用しなかったが、できなかったことがある」を選んだ方

(3) 利用できなかった理由

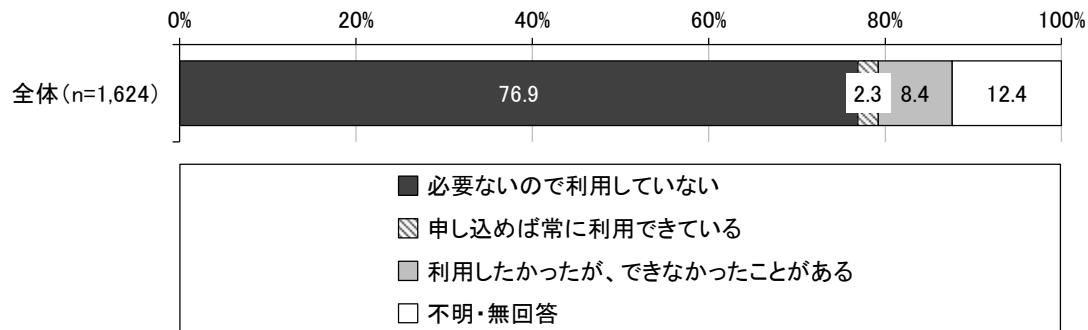
幼稚園の預かり保育を利用できなかった理由についてみると、「事業の利用方法(手続き等)がわからない」が 20.5%と最も多く、次いで「利用したいが、空きがないなどの理由により利用できない」が 19.3%となっています。



⑥ファミリー・サポート

(1) 利用状況

ファミリー・サポートの利用状況についてみると、「必要ないので利用していない」が 76.9%と最も多く、次いで「利用したかったが、できなかったことがある」が 8.4%となっています。

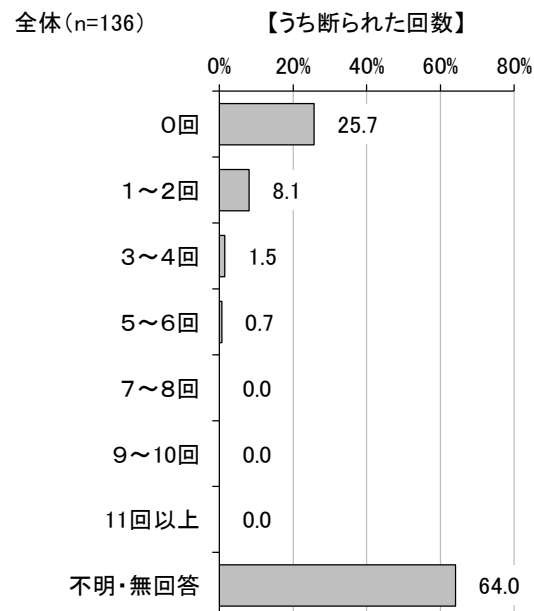
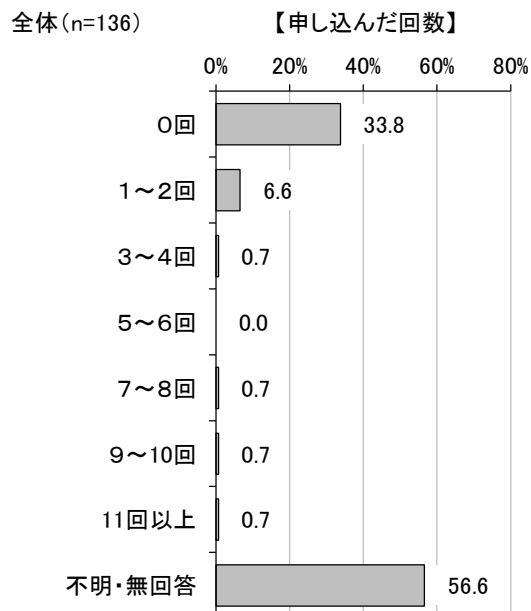


(1) で「利用したかったが、できなかったことがある」を選んだ方

(2) 利用できなかった回数

ファミリー・サポートに申し込んだ回数についてみると、「0回」が 33.8%と最も多く、次いで「1～2回」が 6.6%となっています。

うち断られた回数についてみると、「0回」が 25.7%と最も多く、次いで「1～2回」が 8.1%となっています。

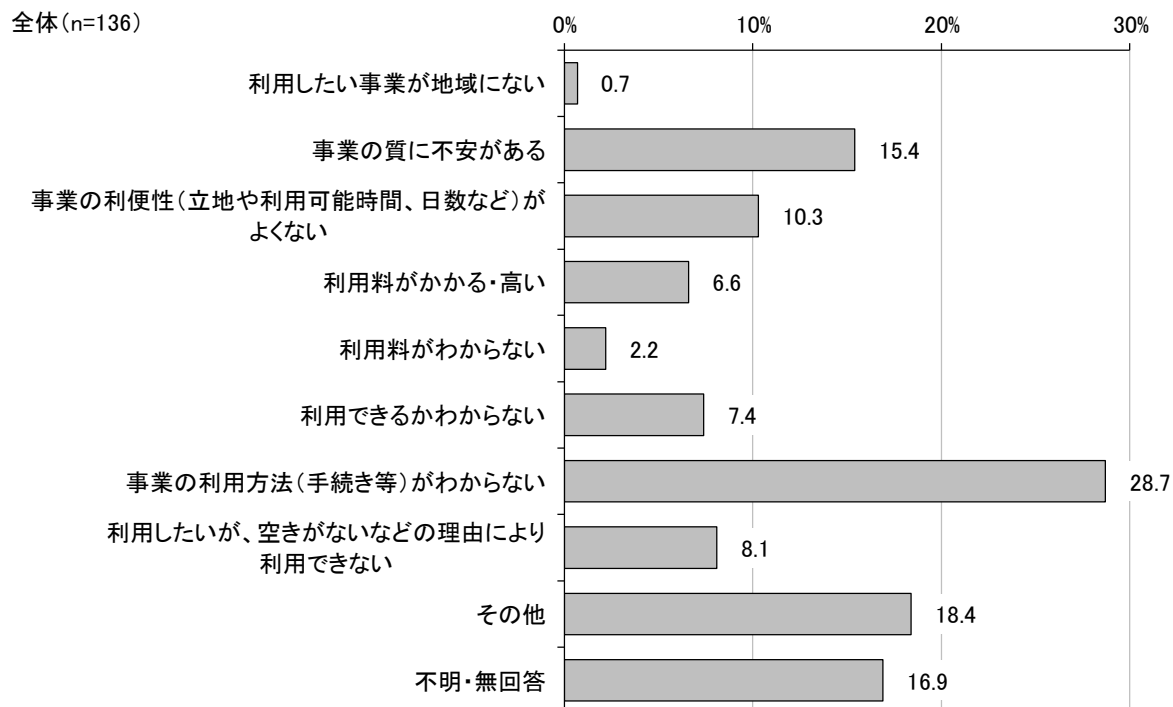


第2部 区民意向調査結果

(1) で「利用しなかったが、できなかったことがある」を選んだ方

(3) 利用できなかった理由

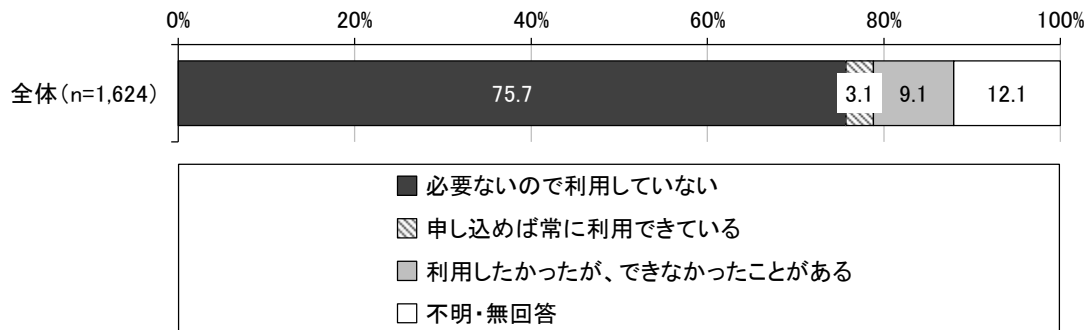
ファミリー・サポートを利用できなかった理由についてみると、「事業の利用方法(手続き等)がわからない」が 28.7%と最も多く、次いで「事業の質に不安がある」が 15.4%となっています。



⑦ベビーシッター

(1) 利用状況

ベビーシッターの利用状況についてみると、「必要ないので利用していない」が75.7%と最も多く、次いで「利用したかったが、できなかったことがある」が9.1%となっています。

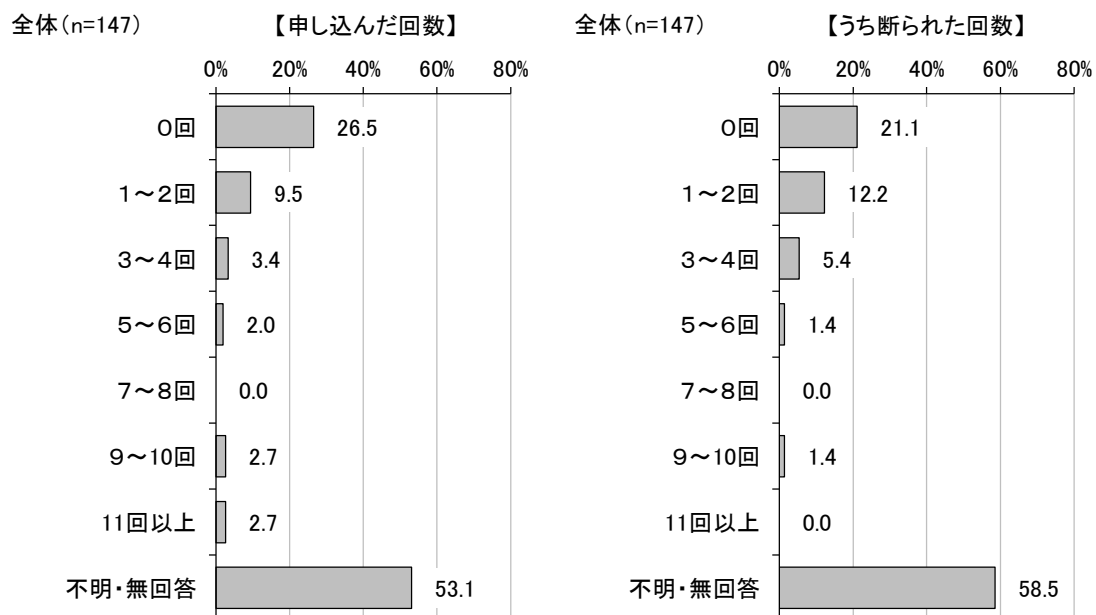


(1) で「利用したかったが、できなかったことがある」を選んだ方

(2) 利用できなかった回数

ベビーシッターに申し込んだ回数についてみると、「0回」が26.5%と最も多く、次いで「1～2回」が9.5%となっています。

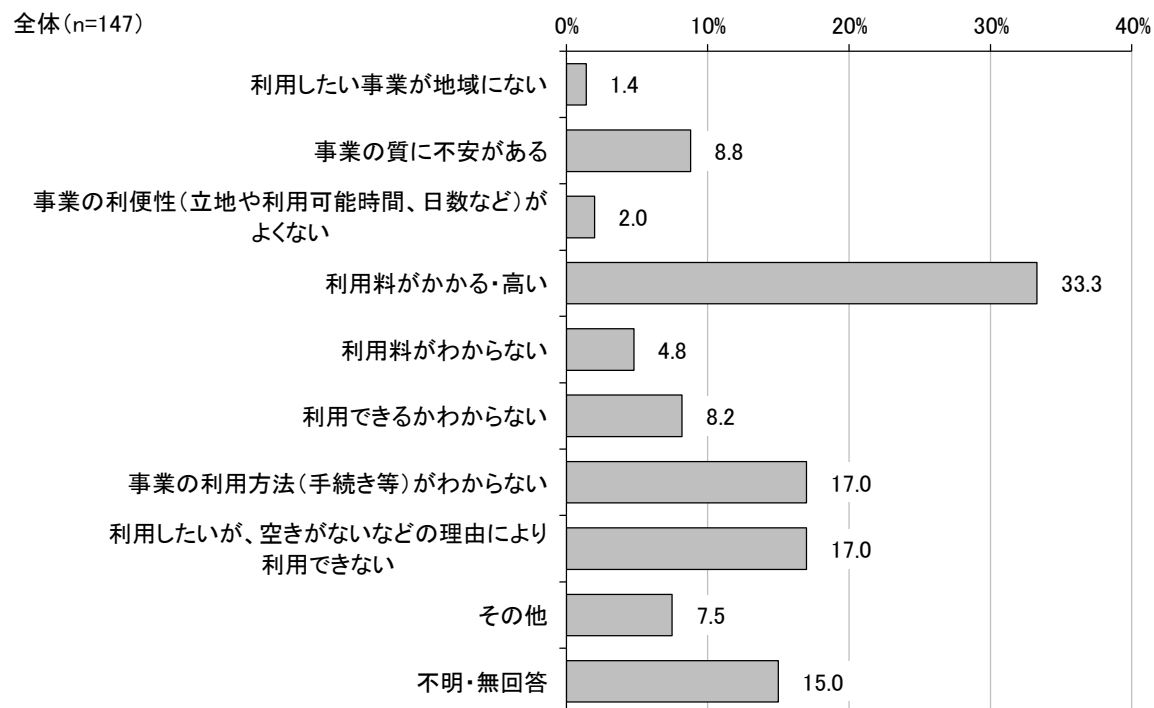
うち断られた回数についてみると、「0回」が21.1%と最も多く、次いで「1～2回」が12.2%となっています。



(1) で「利用しなかったが、できなかったことがある」を選んだ方

(3) 利用できなかった理由

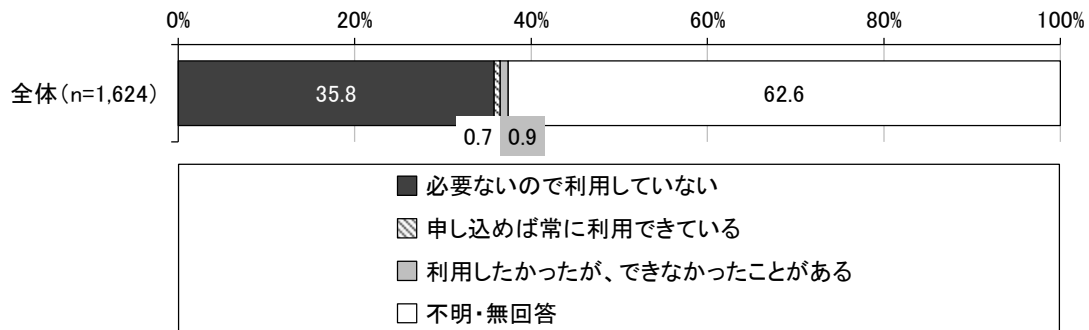
ベビーシッターを利用できなかった理由についてみると、「利用料がかかる・高い」が33.3%と最も多く、次いで「事業の利用方法(手続き等)がわからない」「利用したいが、空きがないなどの理由により利用できない」が17.0%となっています。



⑧ その他

(1) 利用状況

その他の利用状況についてみると、「必要ないので利用していない」が 35.8%と最も多く、次いで「利用したかったが、できなかったことがある」が 0.9%となっています。

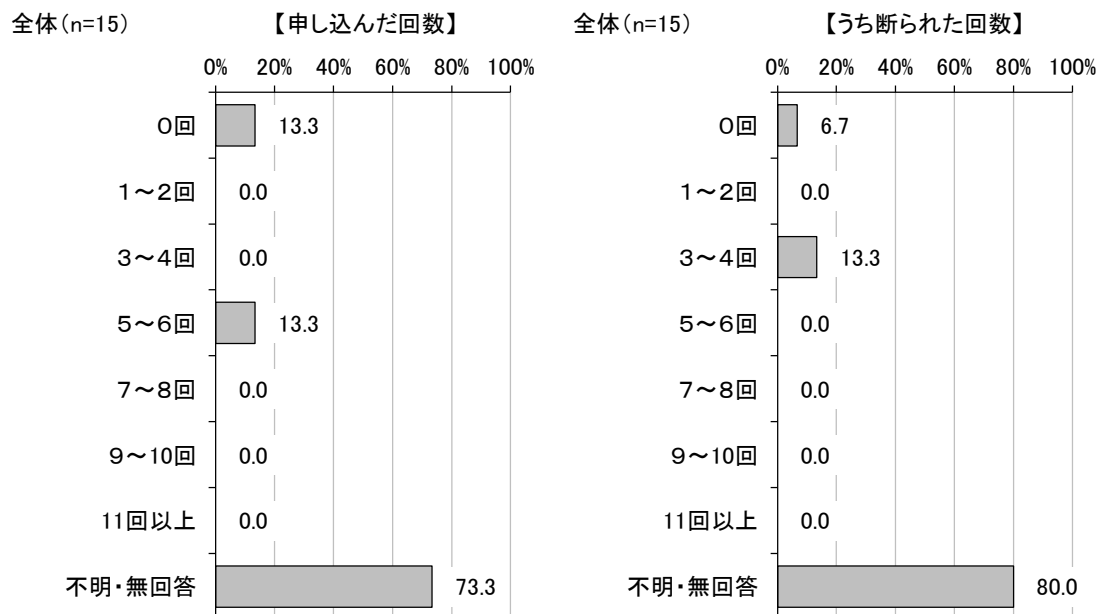


(1) で「利用したかったが、できなかったことがある」を選んだ方

(2) 利用できなかった回数

その他に申し込んだ回数についてみると、「0回」「5～6回」が 13.3%と最も多くなっています。

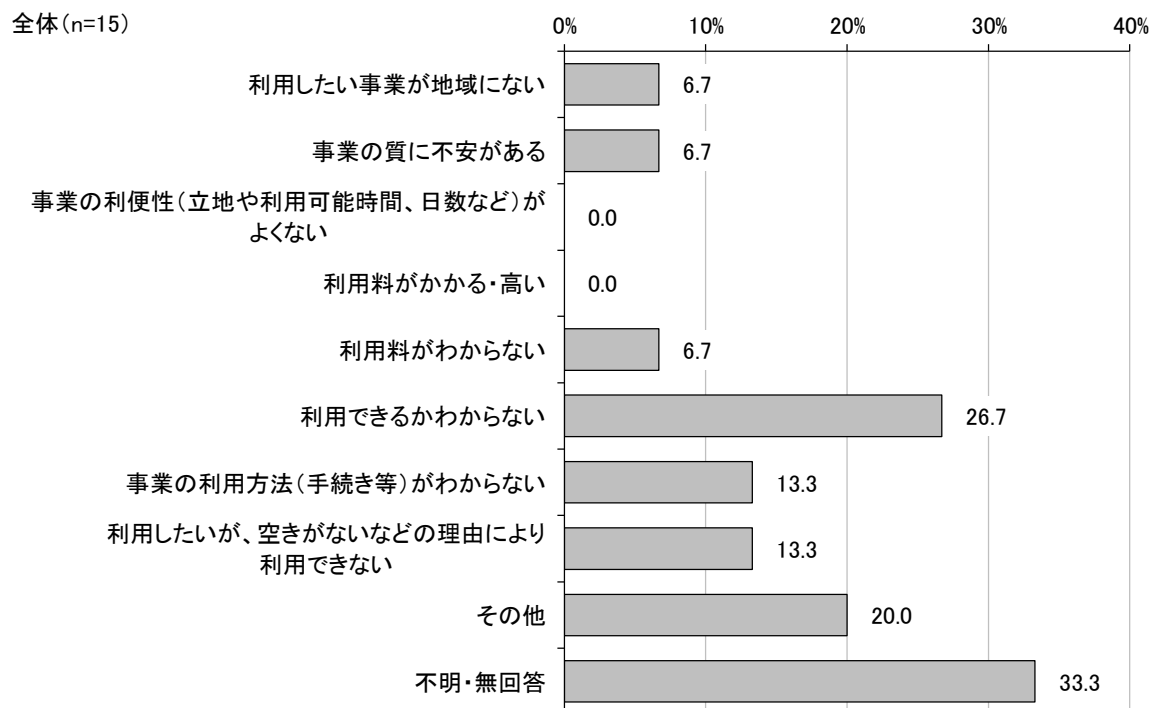
うち断られた回数についてみると、「3～4回」が 13.3%と最も多く、次いで「0回」が 6.7%となっています。



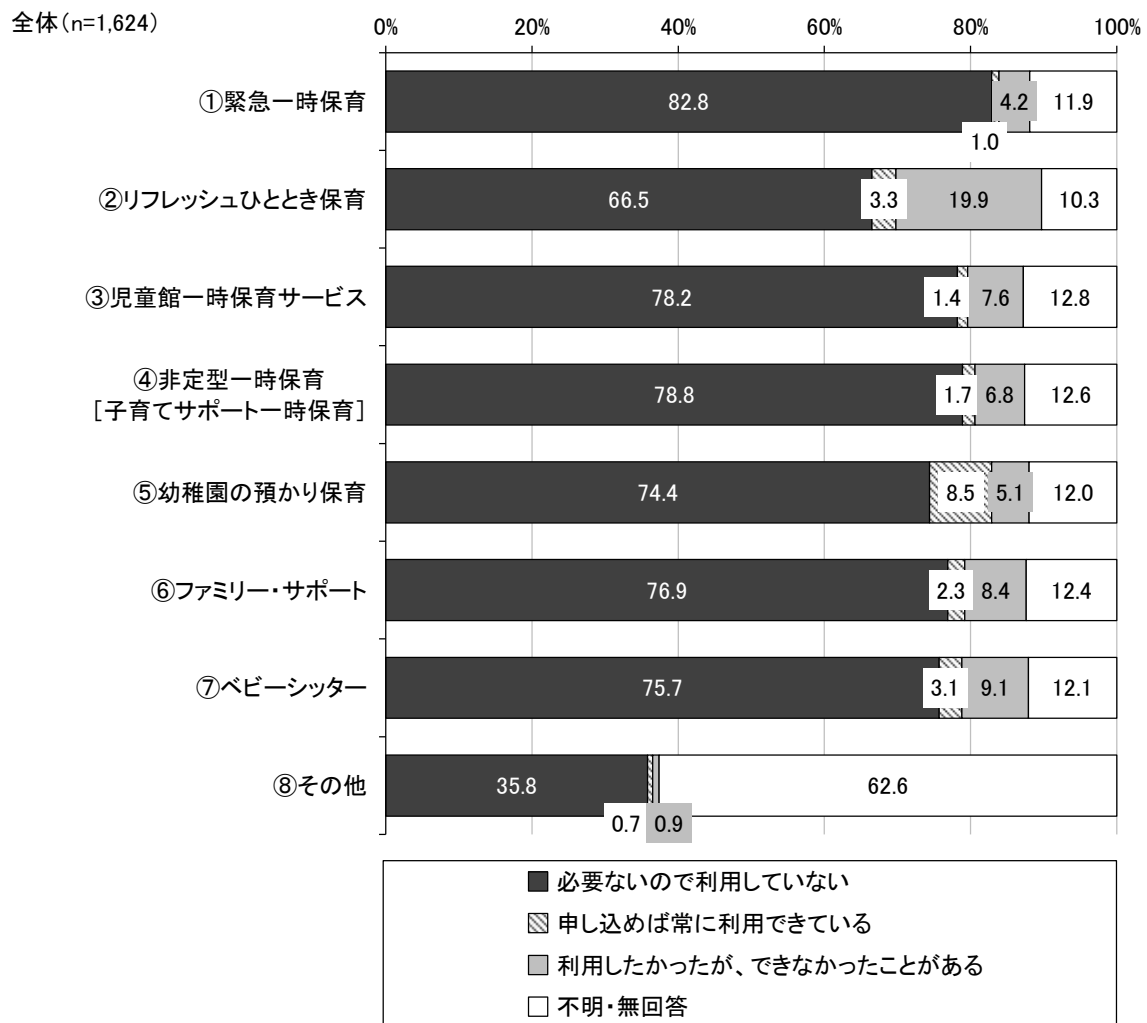
(1) で「利用しなかったが、できなかったことがある」を選んだ方

(3) 利用できなかった理由

その他を利用できなかった理由についてみると、「利用できるかわからない」が 26.7%と最も多く、次いで「事業の利用方法(手続き等)がわからない」「利用したいが、空きがないなどの理由により利用できない」が 13.3%となっています。



問 36①～⑧（１）利用状況【再掲】

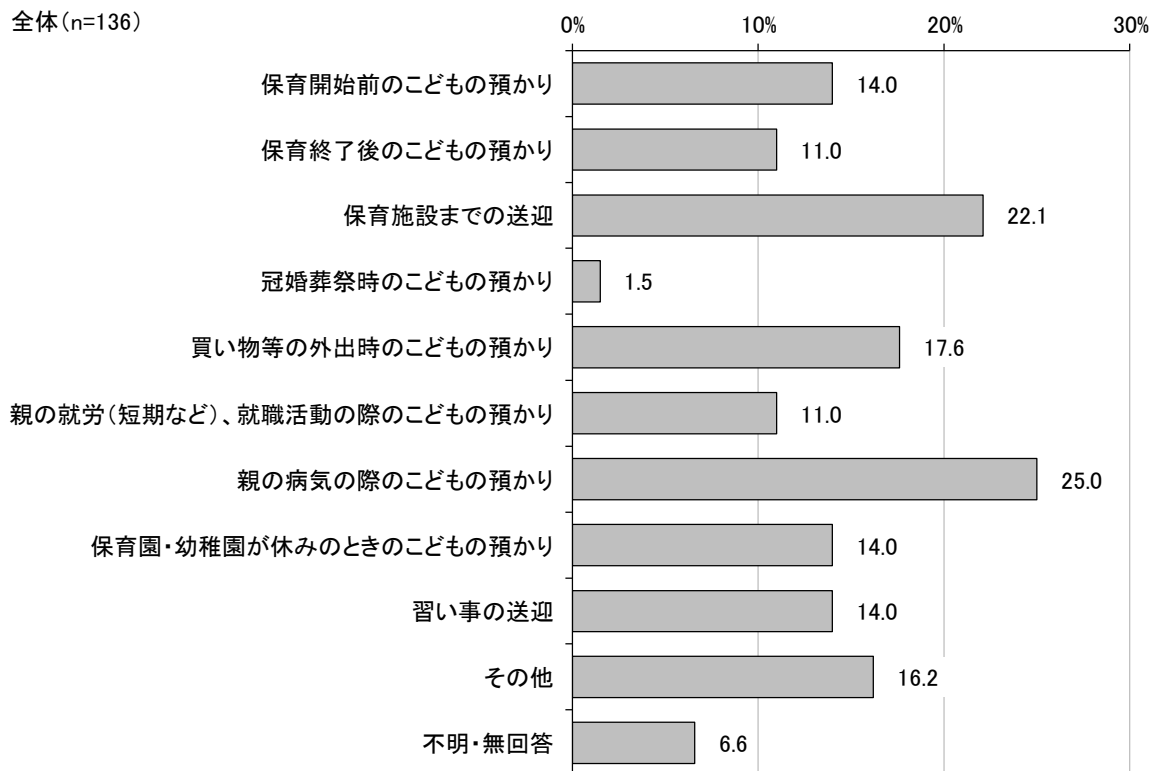


第2部 区民意向調査結果

問 36⑥ファミリー・サポートで「利用したかったが、できなかったことがある」を選んだ方

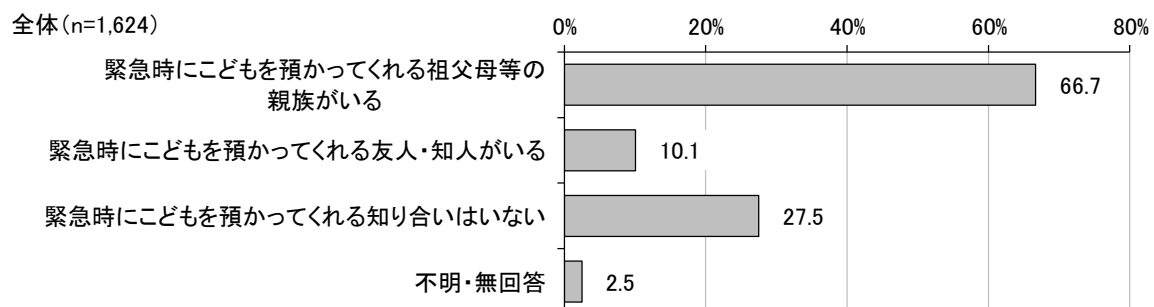
問 37 ファミリー・サポート事業は、どのような目的で利用しようとして、できなかったことが多かったですか。(あてはまるものすべてに○)

ファミリー・サポート事業を利用しようとして、利用できなかったことが多かった目的についてみると、「親の病気の際のこどもの預かり」が25.0%と最も多く、次いで「保育施設までの送迎」が22.1%となっています。



問 38 あなたは、保護者の用事(冠婚葬祭、保護者・家族の病気など)により、お子さんを泊りがけで家族以外にみてもらわなければならない場合、宛名のお子さんを預かってくれる親族や知人はいますか。(あてはまるものすべてに○)

保護者の用事により、こどもを泊りがけで家族以外にみてもらわなければならない場合、預かってくれる親族や知人はいるかについてみると、「緊急時にこどもを預かってくれる祖父母等の親族がいる」が66.7%と最も多く、次いで「緊急時にこどもを預かってくれる知り合いはいない」が27.5%となっています。

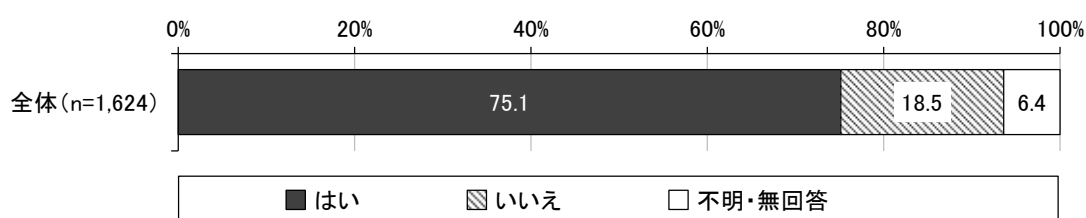


問 39 江東区では、就学前のお子さんやその親が集い、遊びや交流を深める場として子育てひろば、マイ保育園ひろばやかんがるーひろばを実施しています。これらのサービスについて、(1) 認知状況、(2) 利用状況、(3) 満足度、(4) 今後の利用意向、(5) 利用したくない理由または改善等の要望、についてお答えください。((1) から(4) はそれぞれ1つに○。(5) は自由記入)

①子ども家庭支援センターでの子育てひろば

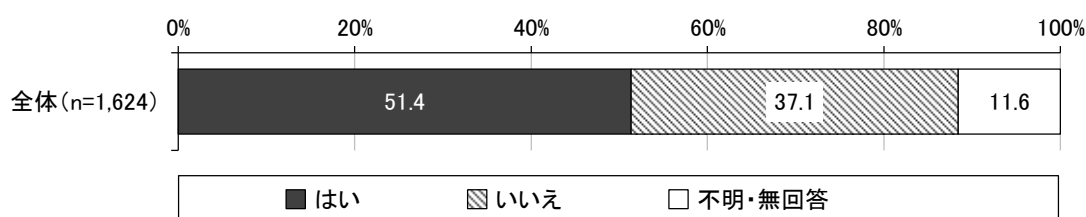
(1) 知っている

子ども家庭支援センターでの子育てひろばの認知状況についてみると、「はい」が 75.1%、「いいえ」が 18.5%となっています。



(2) これまでに利用したことがある

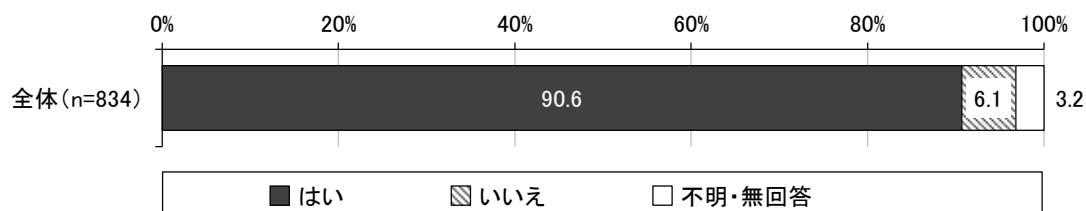
子ども家庭支援センターでの子育てひろばの利用状況についてみると、「はい」が 51.4%、「いいえ」が 37.1%となっています。



(2) で「はい」を選んだ方

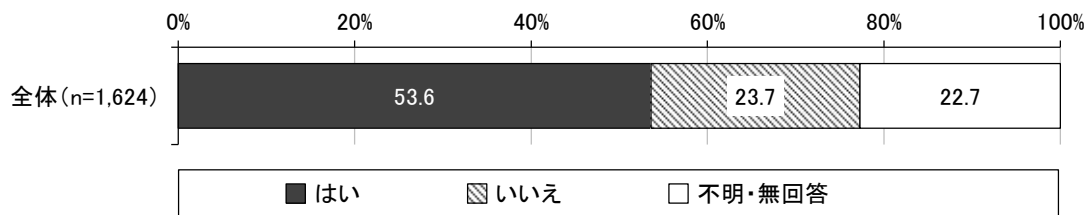
(3) 満足している

子ども家庭支援センターでの子育てひろばの満足度についてみると、「はい」が 90.6%、「いいえ」が 6.1%となっています。



(4) 今後利用したい

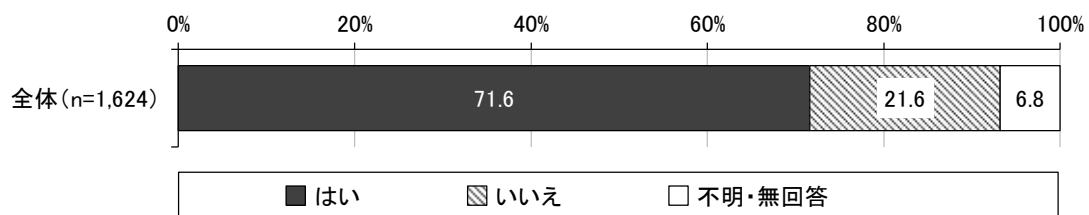
子ども家庭支援センターでの子育てひろばの今後の利用意向についてみると、「はい」が 53.6%、「いいえ」が 23.7%となっています。



②児童館での子育てひろば

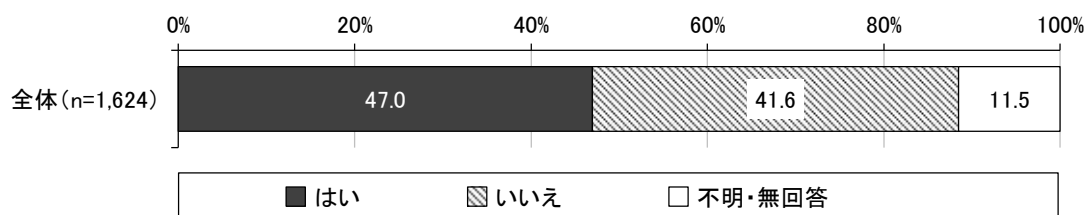
(1) 知っている

児童館での子育てひろばの認知状況についてみると、「はい」が 71.6%、「いいえ」が 21.6%となっています。



(2) これまでに利用したことがある

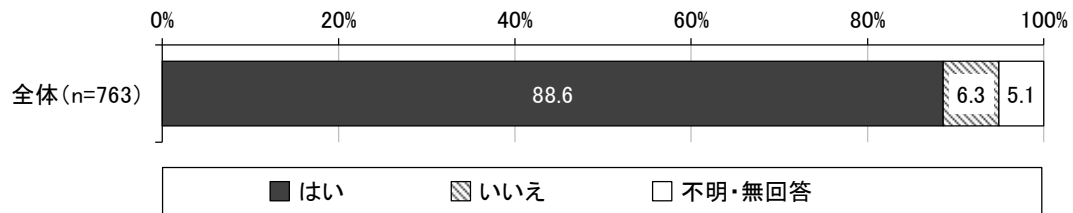
児童館での子育てひろばの利用状況についてみると、「はい」が 47.0%、「いいえ」が 41.6%となっています。



(2) で「はい」を選んだ方

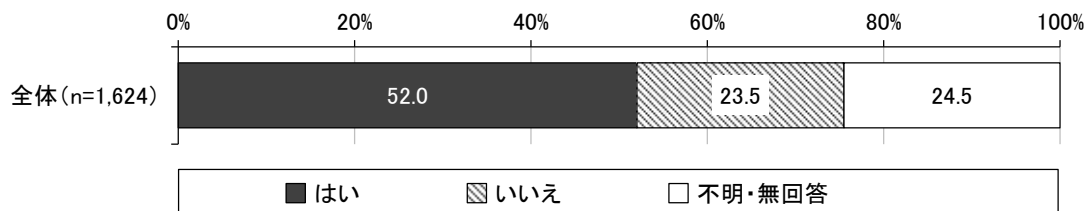
(3) 満足している

児童館での子育てひろばの満足度についてみると、「はい」が 88.6%、「いいえ」が 6.3%となっています。



(4) 今後利用したい

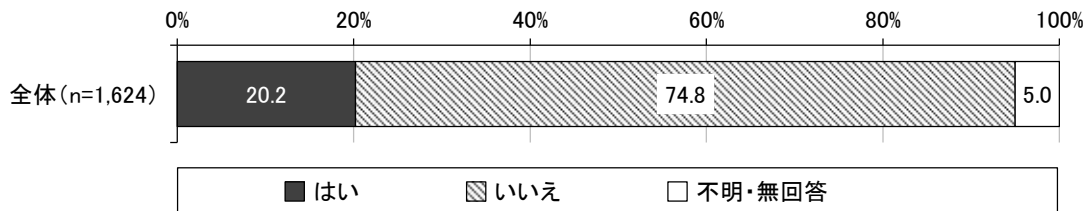
児童館での子育てひろばの今後の利用意向についてみると、「はい」が 52.0%、「いいえ」が 23.5%となっています。



③私立保育園での子育てひろば（まこと・神愛・ともしび保育園のみで実施）

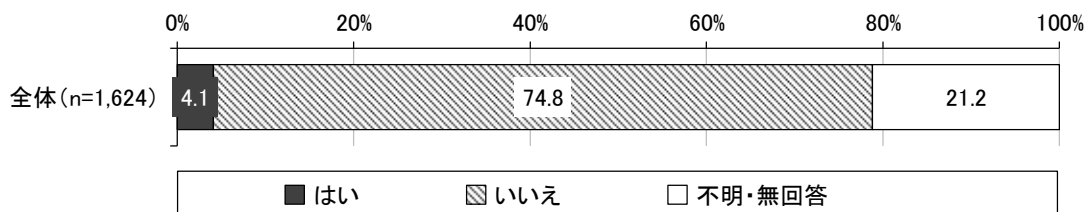
（１）知っている

私立保育園での子育てひろばの認知状況についてみると、「はい」が 20.2%、「いいえ」が 74.8%となっています。



（２）これまでに利用したことがある

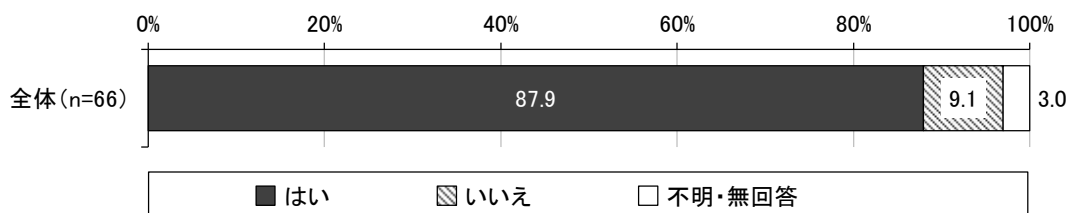
私立保育園での子育てひろばの利用状況についてみると、「はい」が 4.1%、「いいえ」が 74.8%となっています。



（２）で「はい」を選んだ方

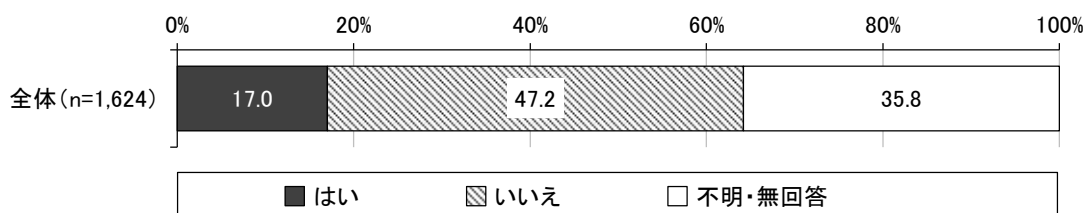
（３）満足している

私立保育園での子育てひろばの満足度についてみると、「はい」が 87.9%、「いいえ」が 9.1%となっています。



（４）今後利用したい

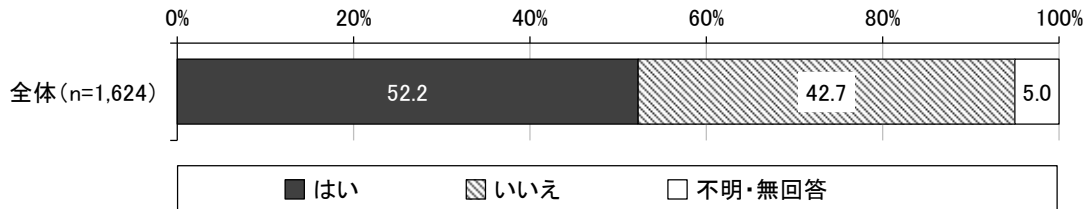
私立保育園での子育てひろばの今後の利用意向についてみると、「はい」が 17.0%、「いいえ」が 47.2%となっています。



④ マイ保育園ひろば

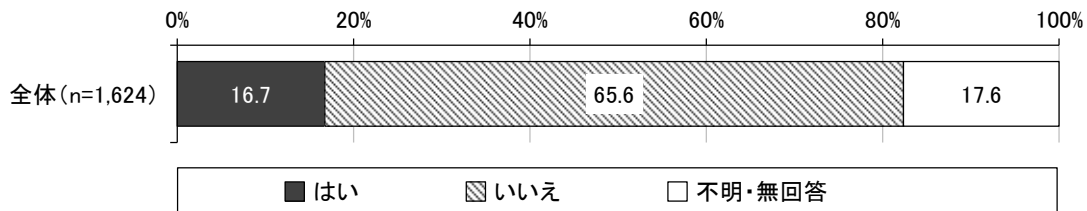
(1) 知っている

マイ保育園ひろばの認知状況についてみると、「はい」が52.2%、「いいえ」が42.7%となっています。



(2) これまでに利用したことがある

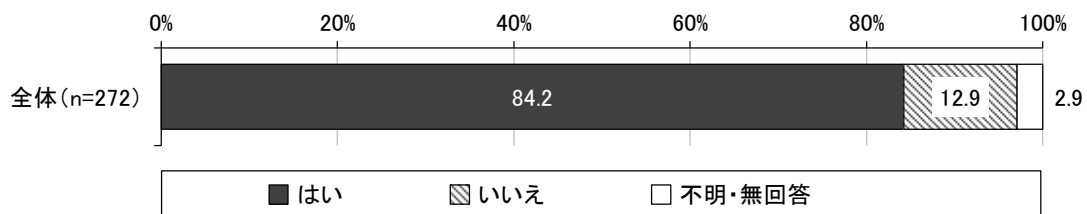
マイ保育園ひろばの利用状況についてみると、「はい」が16.7%、「いいえ」が65.6%となっています。



(2) で「はい」を選んだ方

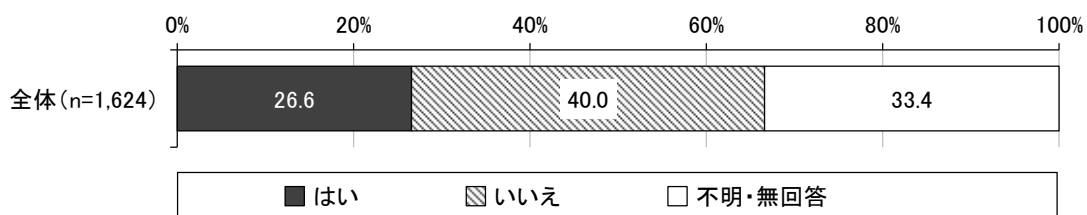
(3) 満足している

マイ保育園ひろばの満足度についてみると、「はい」が84.2%、「いいえ」が12.9%となっています。



(4) 今後利用したい

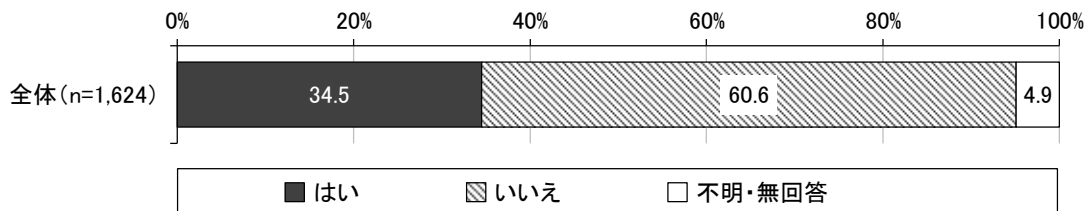
マイ保育園ひろばの今後の利用意向についてみると、「はい」が26.6%、「いいえ」が40.0%となっています。



⑤区立幼稚園の親子登園「かんがるーひろば」

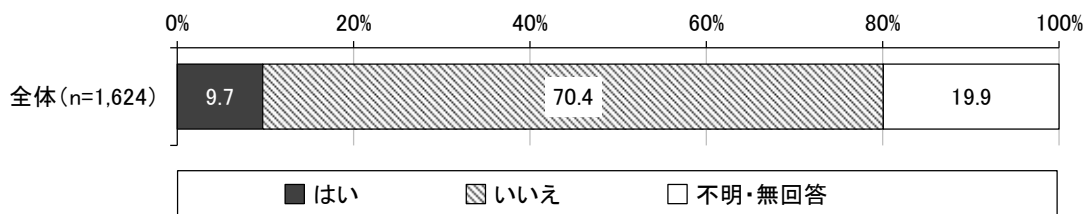
(1) 知っている

区立幼稚園の親子登園「かんがるーひろば」の認知状況についてみると、「はい」が 34.5%、「いいえ」が 60.6%となっています。



(2) これまでに利用したことがある

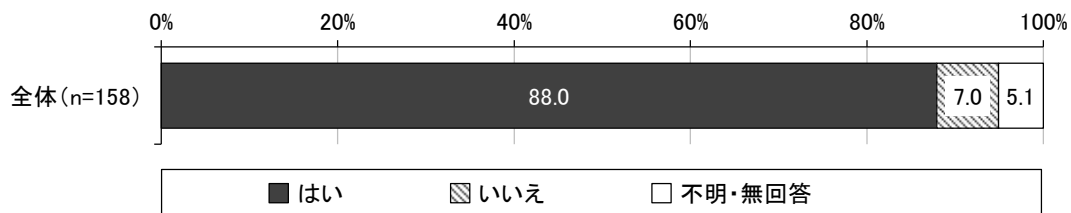
区立幼稚園の親子登園「かんがるーひろば」の利用状況についてみると、「はい」が 9.7%、「いいえ」が 70.4%となっています。



(2) で「はい」を選んだ方

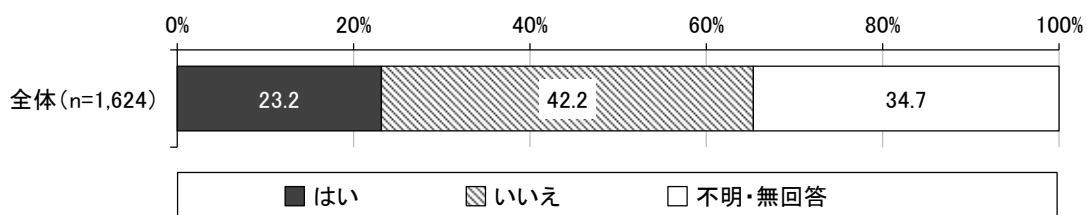
(3) 満足している

区立幼稚園の親子登園「かんがるーひろば」の満足度についてみると、「はい」が 88.0%、「いいえ」が 7.0%となっています。

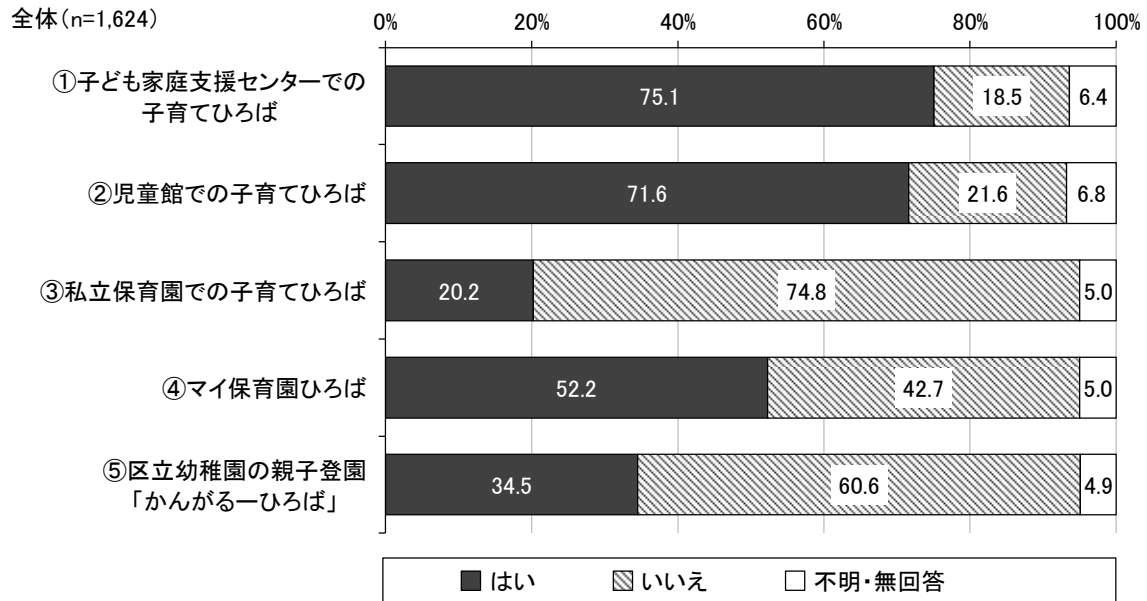


(4) 今後利用したい

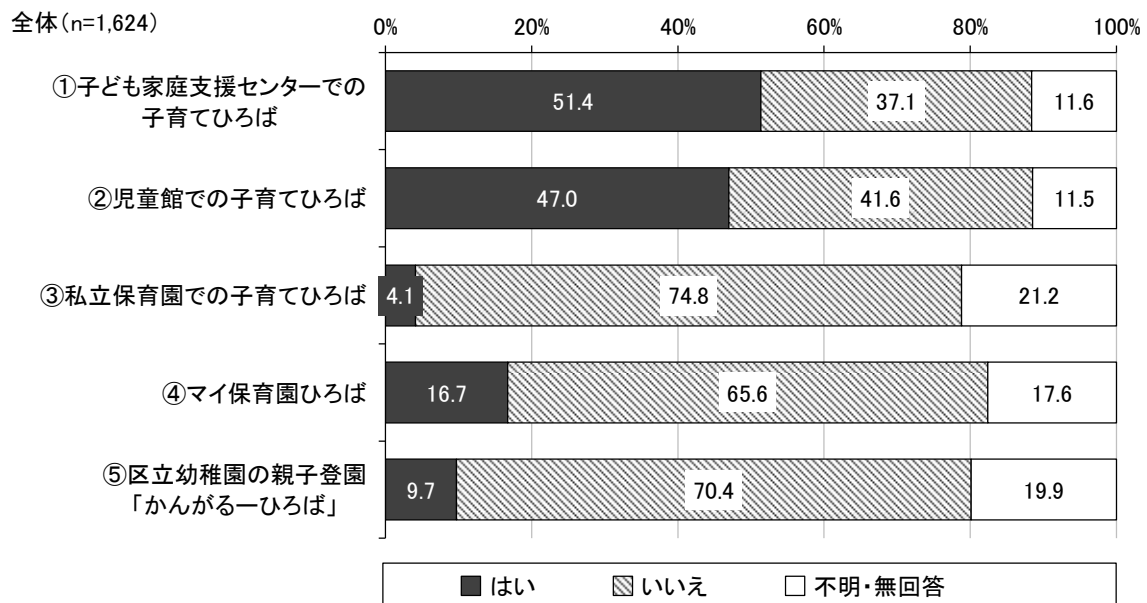
区立幼稚園の親子登園「かんがるーひろば」の今後の利用意向についてみると、「はい」が 23.2%、「いいえ」が 42.2%となっています。



問 39①～⑤（１）知っている【再掲】



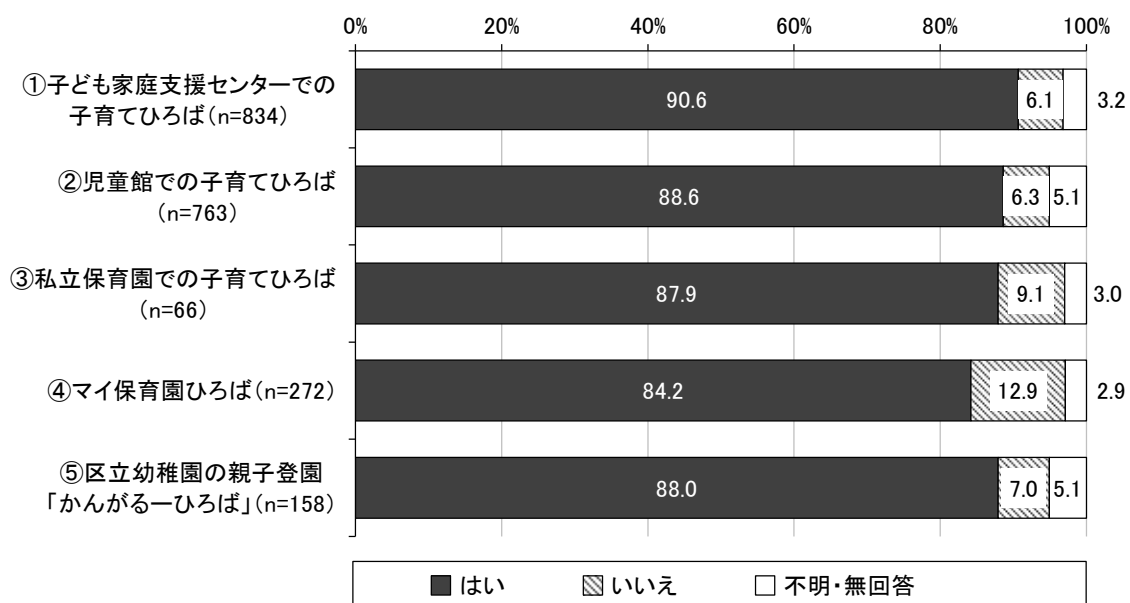
問 39①～⑤（２）これまでに利用したことがある【再掲】



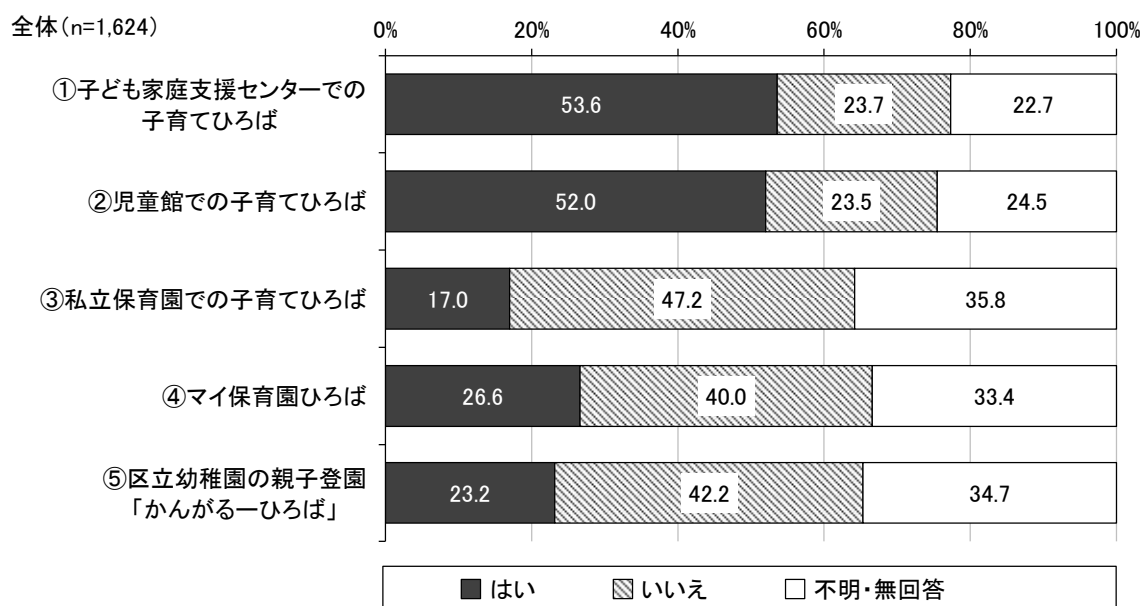
第2部 区民意向調査結果

問 39①～⑤（２）で「はい」を選んだ方

問 39①～⑤（３）満足している【再掲】



問 39①～⑤（４）今後利用したい【再掲】

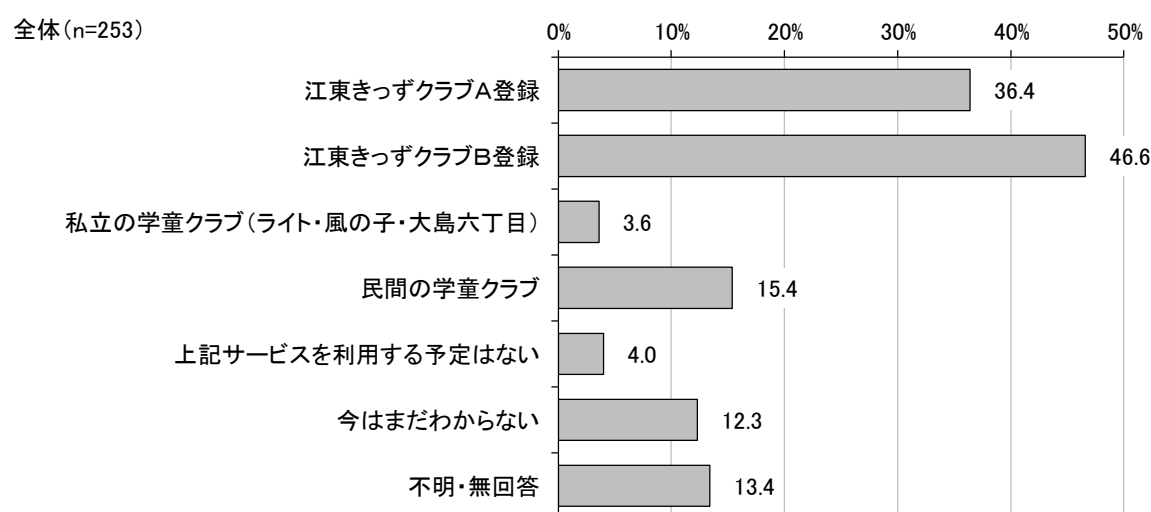


8 入学後の放課後の過ごし方について ※お子さんが来年度小学校に入学する方

問 40 お子さんが小学校にあがったあと、放課後（平日の小学校終了後）の預かりサービスを利用したいと思いますか。（１）のあてはまるものすべてに○をつけ、それぞれ希望する利用日数を（２）にご記入ください。また、（１）で「江東きっずクラブ A 登録」「江東きっずクラブ B 登録」「私立の学童クラブ（ライト・風の子・大島六丁目）」「民間の学童クラブ」を選んだ方は、（３）に何年生まで利用したいかの希望をご記入ください。なお、サービスの利用にあたっては、一定の利用料がかかります。

（１）利用したい預かりサービス（あてはまるものすべてに○）

小学校入学後に利用したい預かりサービスについてみると、「江東きっずクラブ B 登録」が 46.6% と最も多く、次いで「江東きっずクラブ A 登録」が 36.4% となっています。

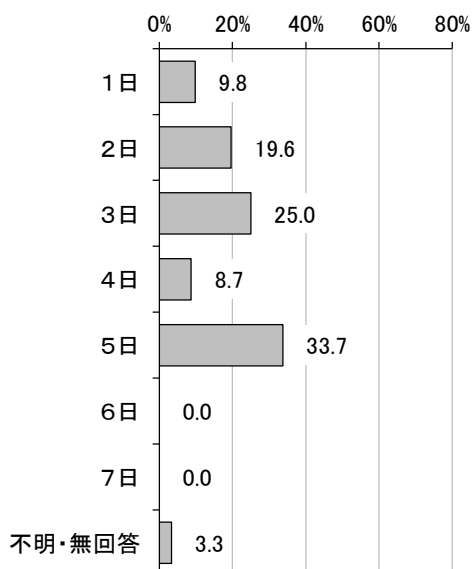


(2) 利用希望日数

利用希望日数についてみると、江東きっずクラブA登録、江東きっずクラブB登録、私立の学童クラブ、民間の学童クラブいずれも「5日」が最も多く、次いで江東きっずクラブA登録、江東きっずクラブB登録では「3日」、私立の学童クラブでは「1日」「3日」、民間の学童クラブでは「2日」となっています。

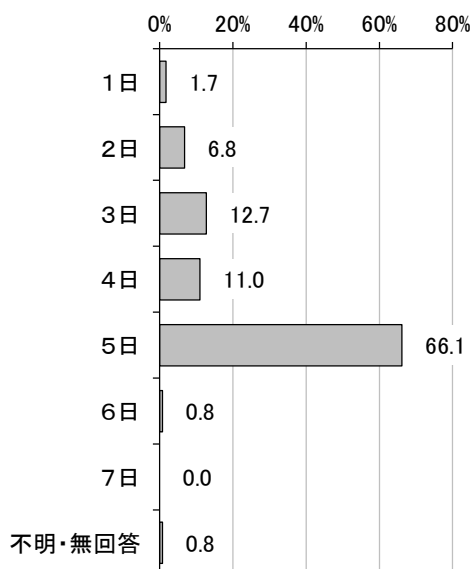
全体 (n=92)

【江東きっずクラブA登録】



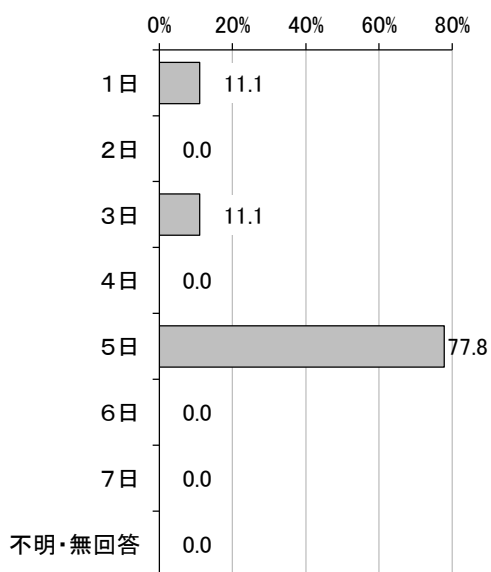
全体 (n=118)

【江東きっずクラブB登録】



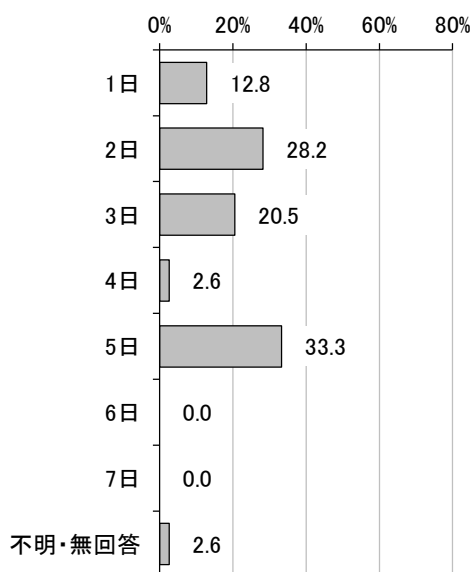
全体 (n=9)

【私立の学童クラブ】



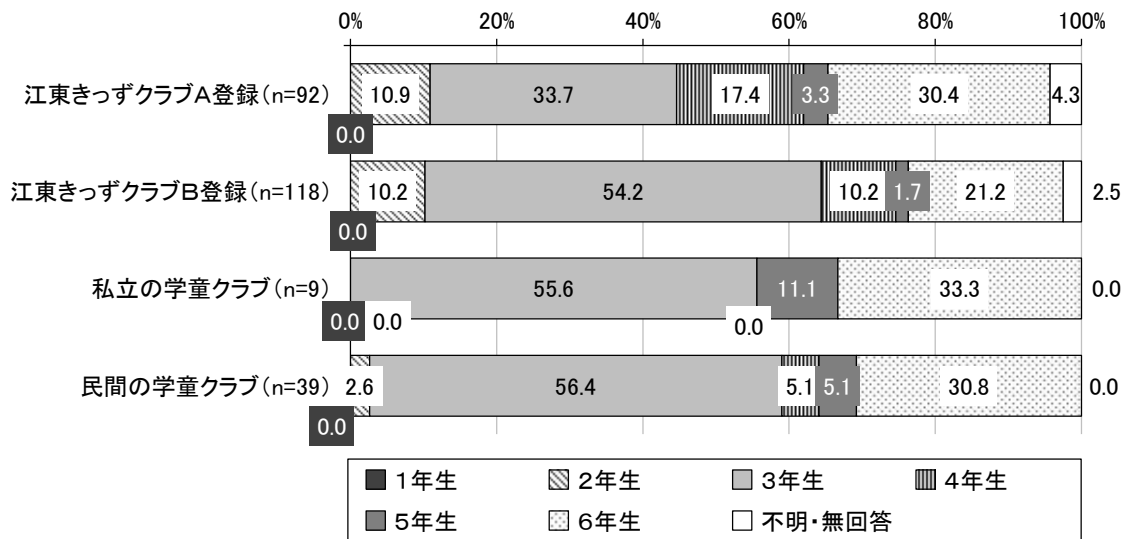
全体 (n=39)

【民間の学童クラブ】



(3) 利用したい学年

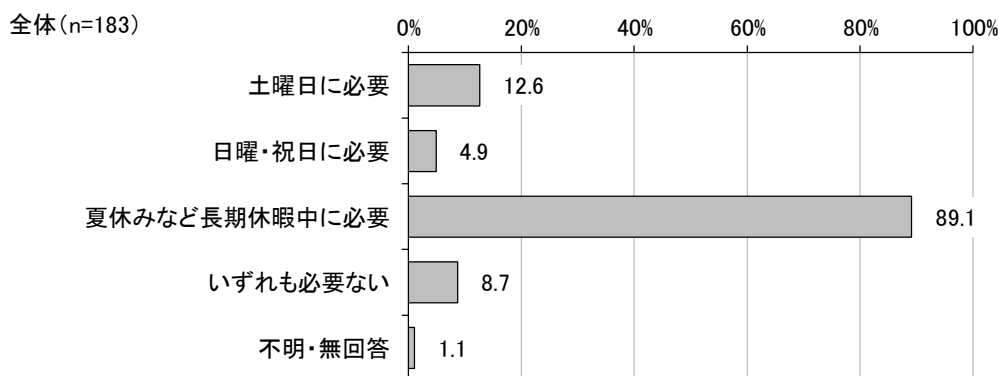
利用したい学年についてみると、江東きっずクラブA登録、江東きっずクラブB登録、私立の学童クラブ、民間の学童クラブいずれも「3年生」が最も多く、次いで「6年生」となっています。



問 40 (1) で「江東きっずクラブA登録」「江東きっずクラブB登録」「私立の学童クラブ (ライト・風の子・大島六丁目)」「民間の学童クラブ」を選んだ方

問 41 お子さんは、土曜日、日曜・祝日や夏休みなどの長期休暇中の利用が必要ですか。
 なお、利用にあたっては、一定の利用料がかかります。
 (あてはまるものすべてに○)

土曜日、日曜・祝日や夏休みなどの長期休暇中の利用が必要かについてみると、「夏休みなど長期休暇中に必要」が 89.1%と最も多く、次いで「土曜日に必要」が 12.6%となっています。

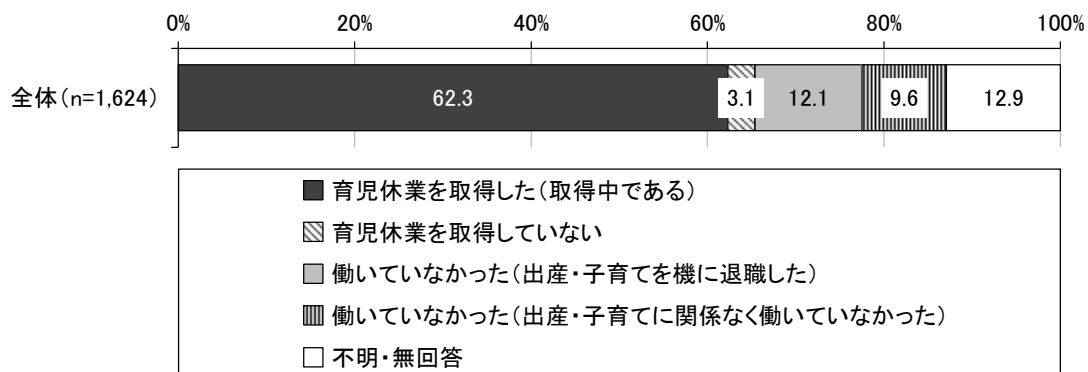


9 育児休業の状況について

問 42 お子さんが生まれた時、父母のいずれかもしくは双方が育児休業を取得しましたか。(1つに○)

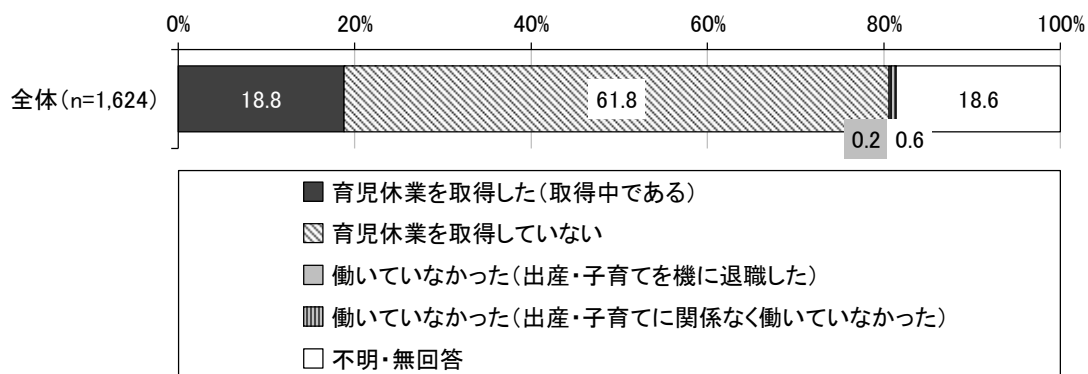
(1) 母親

こどもが生まれた時の母親の育児休業の取得状況についてみると、「育児休業を取得した(取得中である)」が62.3%と最も多く、次いで「働いていなかった(出産・子育てを機に退職した)」が12.1%となっています。



(2) 父親

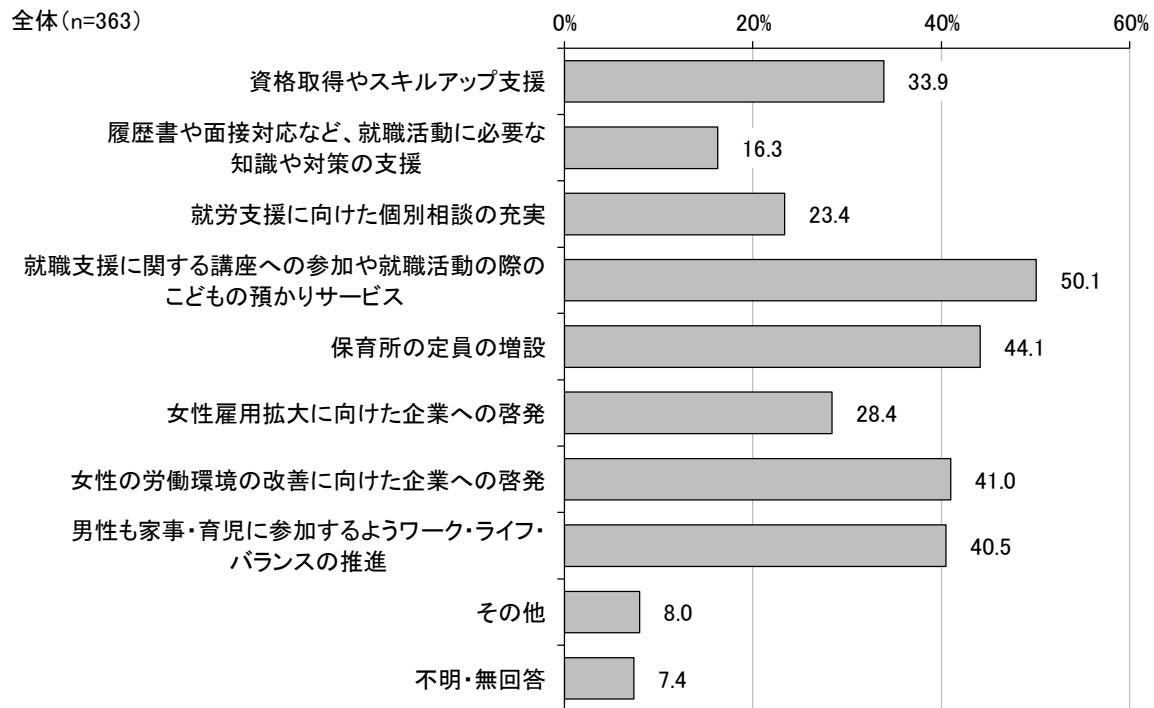
こどもが生まれた時の父親の育児休業の取得状況についてみると、「育児休業を取得していない」が61.8%と最も多く、次いで「育児休業を取得した(取得中である)」が18.8%となっています。



問 42 で「働いていなかった（出産・子育てを機に退職した）」「働いていなかった（出産・子育てに関係なく働いていなかった）」を選んだ方

問 43 出産後・子育て中に再就職をするにあたっては、どのような支援が必要だと感じますか。（あてはまるものすべてに○）

出産後・子育て中に再就職をするにあたって必要だと感じる支援についてみると、「就職支援に関する講座への参加や就職活動の際のこどもの預かりサービス」が 50.1%と最も多く、次いで「保育所の定員の増設」が 44.1%となっています。

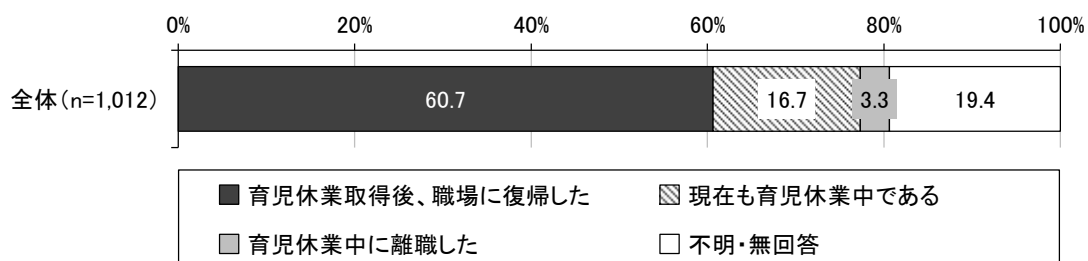


問 42 で「育児休業を取得した（取得中である）」を選んだ方

問 44 お子さんの育児休業取得後の職場への復帰についてお答えください。（1つに○）

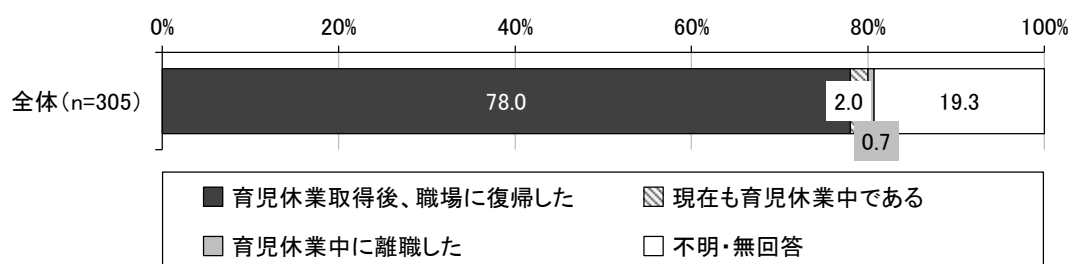
（1）母親

母親の育児休業取得後の職場への復帰状況についてみると、「育児休業取得後、職場に復帰した」が60.7%と最も多く、次いで「現在も育児休業中である」が16.7%となっています。



（2）父親

父親の育児休業取得後の職場への復帰状況についてみると、「育児休業取得後、職場に復帰した」が78.0%と最も多く、次いで「現在も育児休業中である」が2.0%となっています。



問 44 で「育児休業取得後、職場に復帰した」を選んだ方

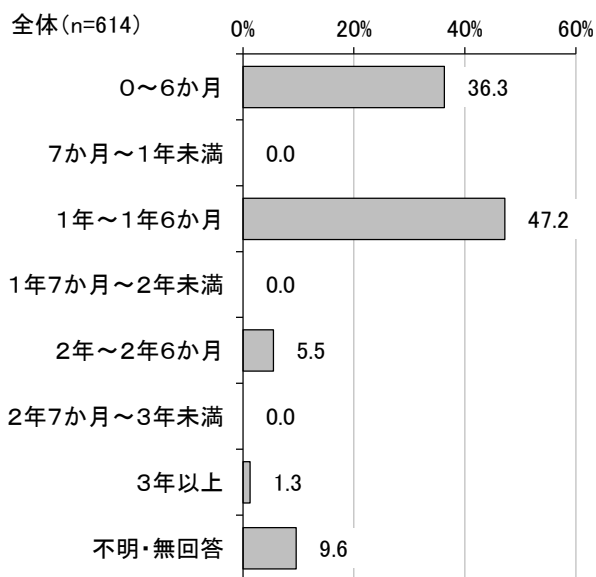
問 45 育児休業からは、「実際」にお子さんが何歳の時に職場復帰しましたか。また希望としては、現行制度で定める期間に関わらず何歳の時までとりたかったですか。具体的な数字をご記入ください。

(1) 母親

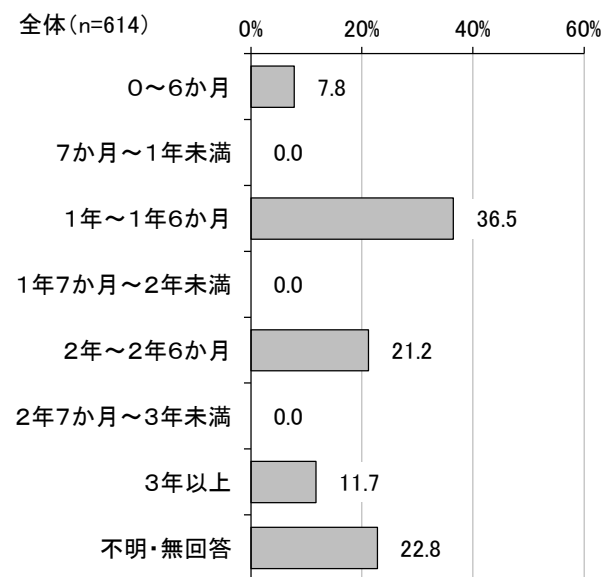
母親の実際の取得期間についてみると、「1年～1年6か月」が 47.2%と最も多く、次いで「0～6か月」が 36.3%となっています。

希望の取得期間についてみると、「1年～1年6か月」が 36.5%と最も多く、次いで「2年～2年6か月」が 21.2%となっています。

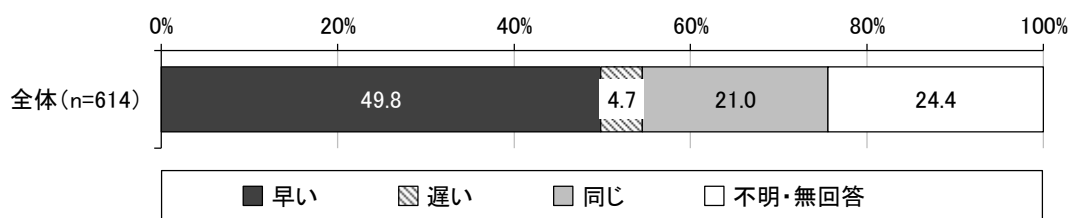
①実際の取得期間



②希望の取得期間



【結果】

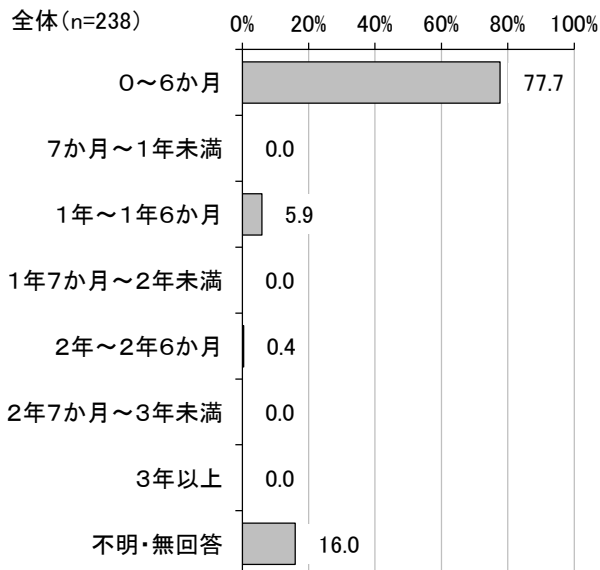


(2) 父親

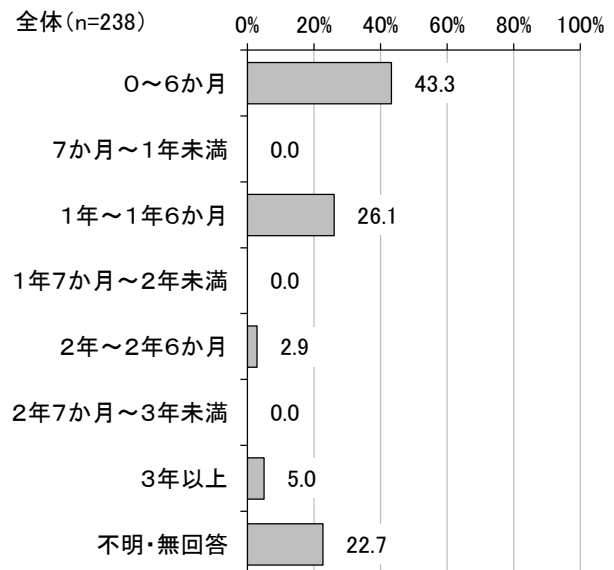
父親の実際の取得期間についてみると、「0～6か月」が 77.7%と最も多く、次いで「1年～1年6か月」が 5.9%となっています。

希望の取得期間についてみると、「0～6か月」が 43.3%と最も多く、次いで「1年～1年6か月」が 26.1%となっています。

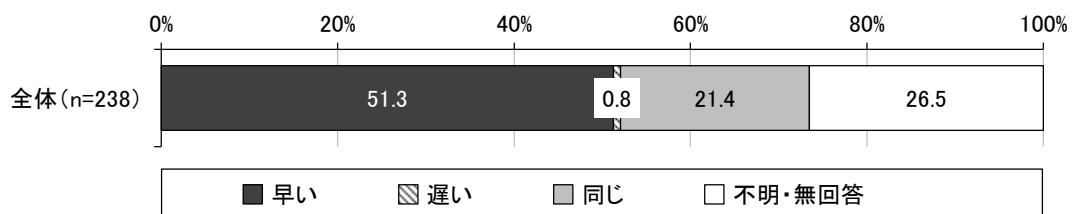
①実際の取得期間



②希望の取得期間



【結果】

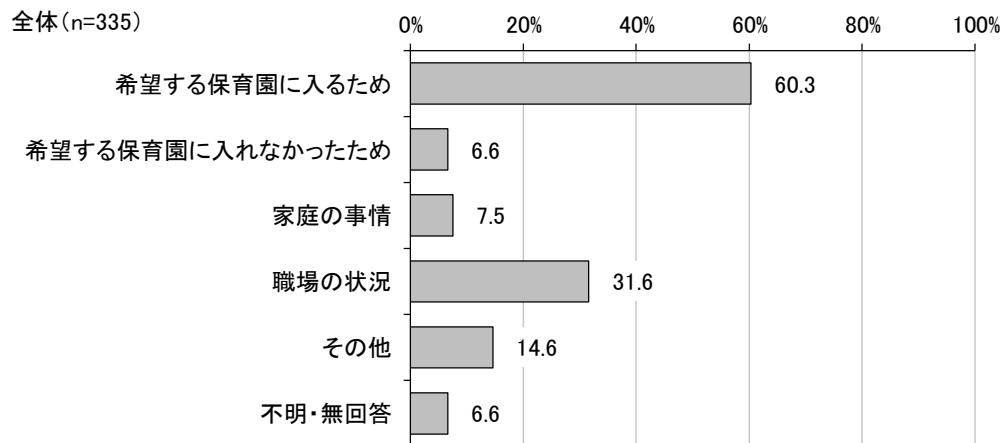


問 45 で①実際の取得期間と②希望の取得期間が異なる方

問 46 希望の時期に復帰しなかった理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

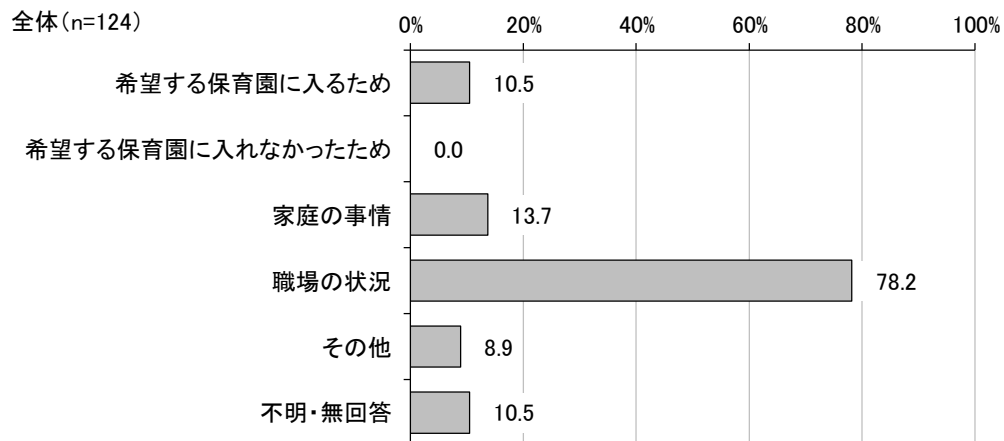
(1) 母親

母親の希望の時期に復帰しなかった理由についてみると、「希望する保育園に入るため」が 60.3%と最も多く、次いで「職場の状況」が 31.6%となっています。



(2) 父親

父親の希望の時期に復帰しなかった理由についてみると、「職場の状況」が 78.2%と最も多く、次いで「家庭の事情」が 13.7%となっています。



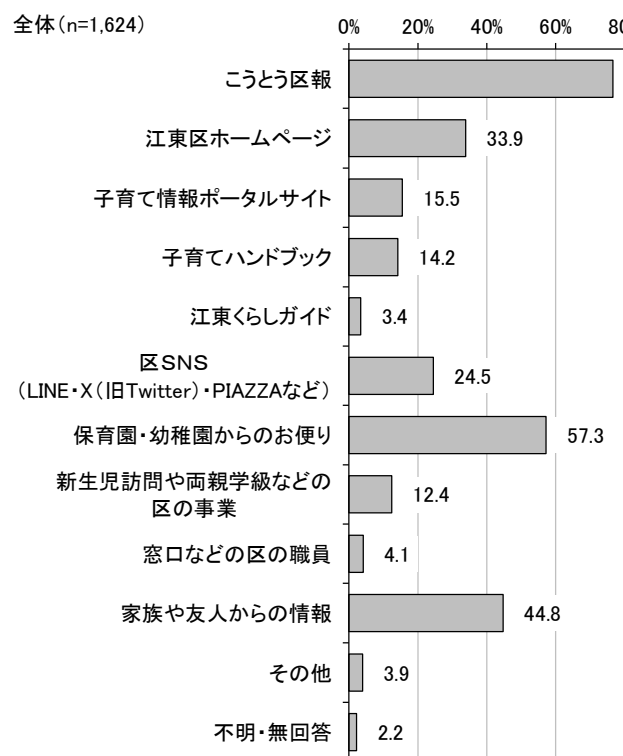
10 子育て環境全般について

問 47 あなたは、こどもに関する施策等の情報をどういう方法で受け取っていますか。また、今後受け取りたいですか。（それぞれあてはまる番号すべてに○）

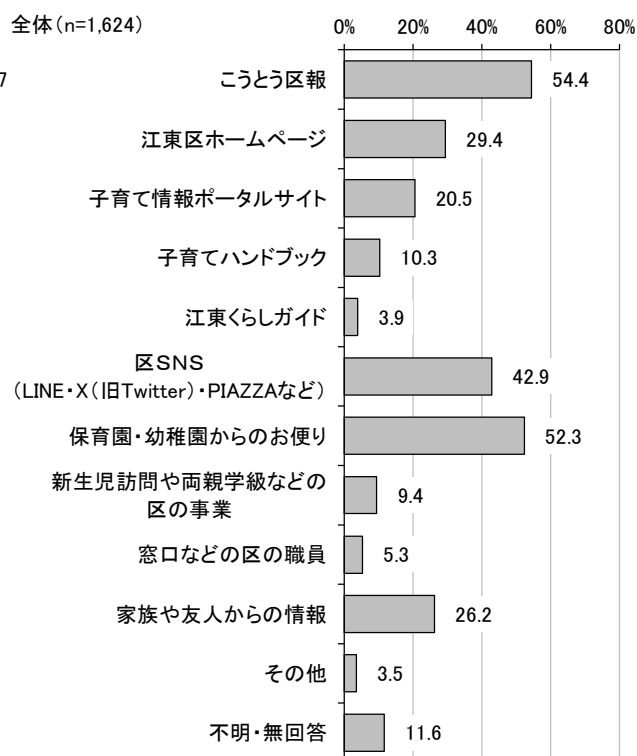
こどもに関する施策等の情報の受け取り方法についてみると、現在では「こうとう区報」が 76.7%と最も多く、次いで「保育園・幼稚園からのお便り」が 57.3%となっています。

今後、受け取りたい方法では、「こうとう区報」が 54.4%と最も多く、次いで「保育園・幼稚園からのお便り」が 52.3%となっています。

A 現在の受け取り方法



B 今後、受け取りたい方法



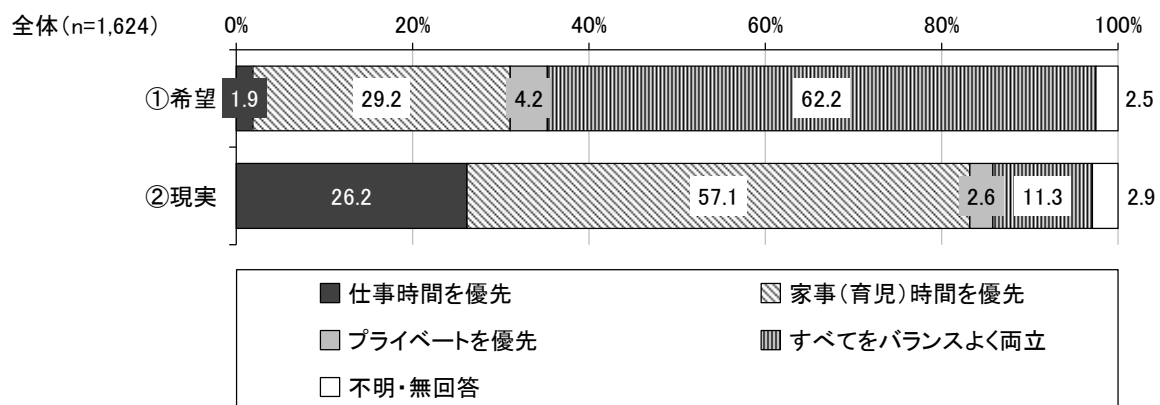
問 48 仕事の時間と家庭生活の時間について、希望としてはどのように考えますか。また現実としてはどのようなになっていますか。(①希望と②現実それぞれ1つ記入)

(1) 母親

母親の仕事と家庭の時間についてみると、希望では「すべてをバランスよく両立」が 62.2%と最も多く、次いで「家事(育児)時間を優先」が 29.2%となっています。

現実では、「家事(育児)時間を優先」が 57.1%と最も多く、次いで「仕事を優先」が 26.2%となっています。

現実と理想の比較をみると、「仕事を優先」としている母親の4割が「家事(育児)時間を優先」、5割が「すべてをバランスよく両立」と回答しています。



○クロス集計【現実と理想の比較】

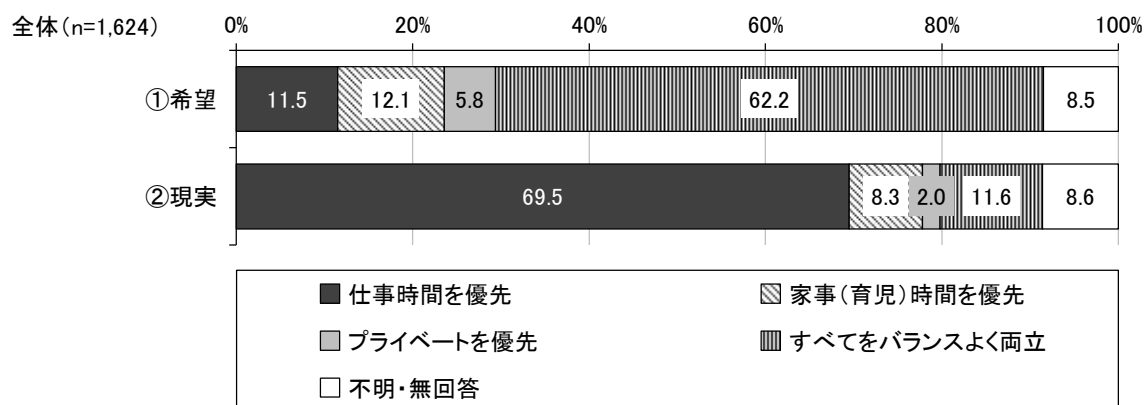
(%)		n	問48 母親-希望				
			仕事を優先	家事(育児)時間を優先	プライベートを優先	すべてをバランスよく両立	無回答
問48 母親-現実	仕事を優先	425	1.9	42.1	3.8	52.2	-
	家事(育児)時間を優先	927	1.8	23.4	4.3	70.4	-
	プライベートを優先	42	4.8	42.9	16.7	35.7	-
	すべてをバランスよく両立	183	2.2	31.1	2.7	63.9	-

(2) 父親

父親の仕事と家庭の時間についてみると、希望では「すべてをバランスよく両立」が 62.2%と最も多く、次いで「家事(育児)時間を優先」が 12.1%となっています。

現実では、「仕事時間を優先」が 69.5%と最も多く、次いで「すべてをバランスよく両立」が 11.6%となっています。

現実と理想の比較をみると、「仕事時間を優先」としている父親の7割弱が「すべてをバランスよく両立」と回答しています。

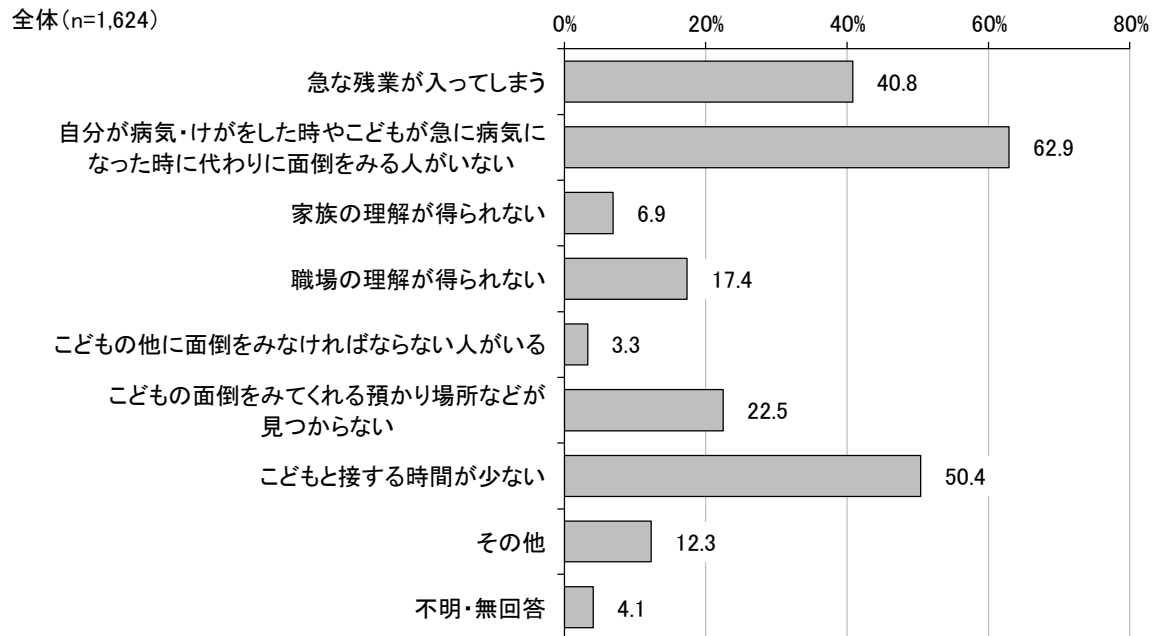


○クロス集計【現実と理想の比較】

(%)		n	問48 父親-希望				
			仕事時間を優先	家事(育児)時間を優先	プライベートを優先	すべてをバランスよく両立	無回答
問48 父親-現実	仕事時間を優先	1,129	11.2	13.8	6.3	68.4	0.3
	家事(育児)時間を優先	135	19.3	17.0	2.2	61.5	-
	プライベートを優先	32	12.5	15.6	34.4	37.5	-
	すべてをバランスよく両立	189	15.3	6.3	4.8	73.5	-

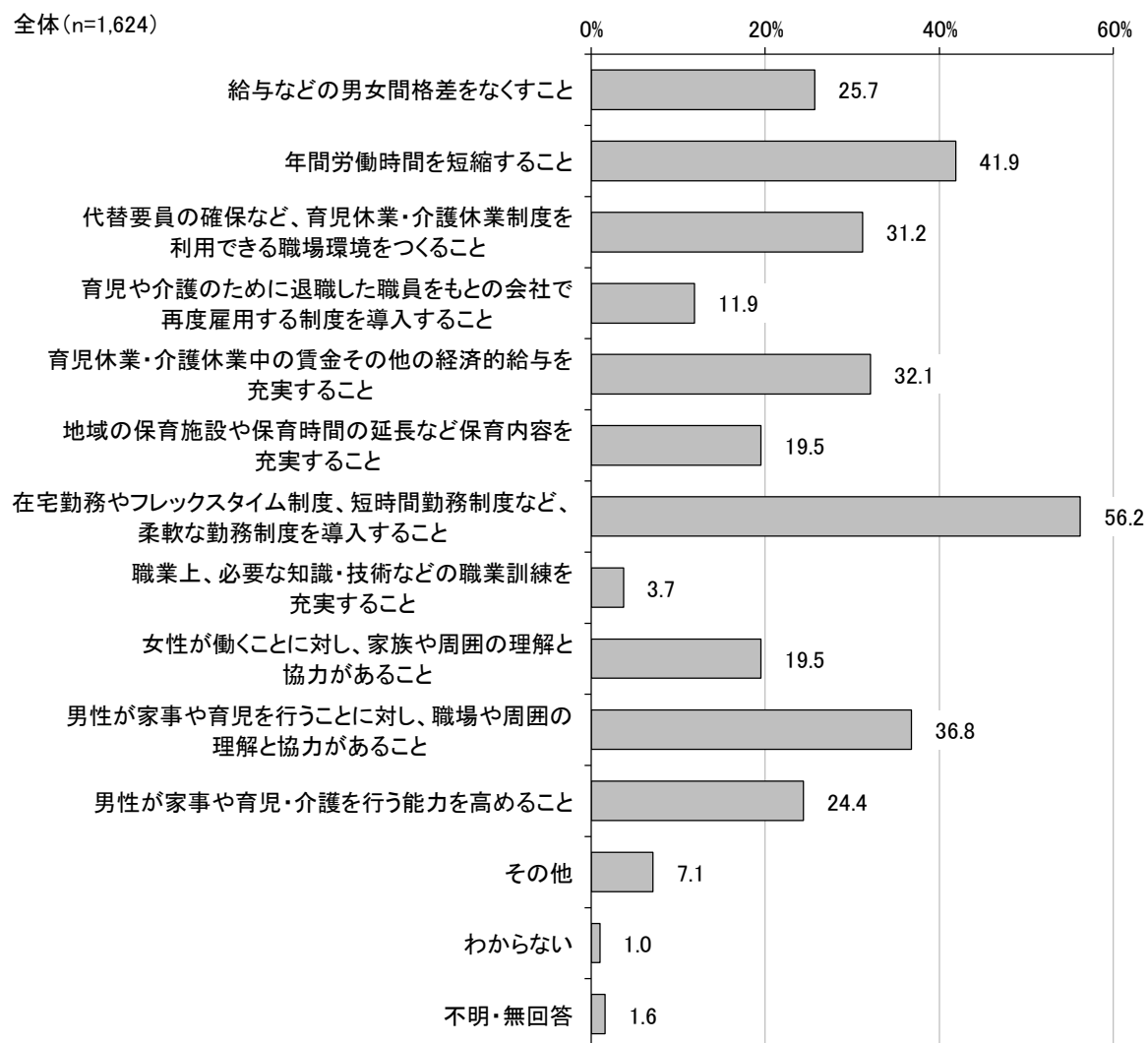
問 49 仕事と子育てを両立させる上で大変だと感じることはどのようなことですか。
(あてはまるものすべてに○)

仕事と子育てを両立させる上で大変だと感じることについてみると、「自分が病気・けがをした時やこどもが急に病気になった時に代わりに面倒をみる人がいない」が 62.9%と最も多く、次いで「こどもと接する時間が少ない」が 50.4%となっています。



問 50 ワーク・ライフ・バランスを実現させるためには、どのような取組が必要だと感じますか。(もっとも重要だと思うもの3つまで○)

ワーク・ライフ・バランスを実現させるために必要だと感じる取組についてみると、「在宅勤務やフレックスタイム制度、短時間勤務制度など、柔軟な勤務制度を導入すること」が 56.2%と最も多く、次いで「年間労働時間を短縮すること」が 41.9%となっています。



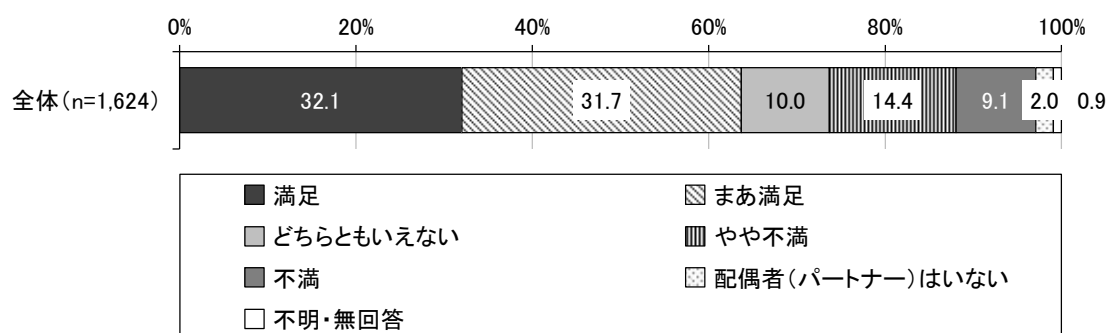
問 51 配偶者（パートナー）の子育ての分担に満足していますか。（1つに○）

配偶者（パートナー）の子育ての分担に満足しているかについてみると、「満足」が 32.1%と最も多く、次いで「まあ満足」が 31.7%となっています。

回答者別（問 3）にみると、「母親」では「まあ満足」が3割強、「満足」が2割半ばとなっていますが、「父親」では「満足」が6割弱となっています。

子育ての実感度別（問 52）にみると、「楽しいと感じることの方が多い」では「満足」が3割半ばとなっていますが、「つらいと感じることの方が多い」では「不満」が3割強となっています。

子育ての不安感や負担感別（問 54）にみると、不安感や不安感を感じていないほど「満足」の回答が多くなる傾向が強く、不安感や負担感を感じているほど「不満」の回答が多くなる傾向がみられます。

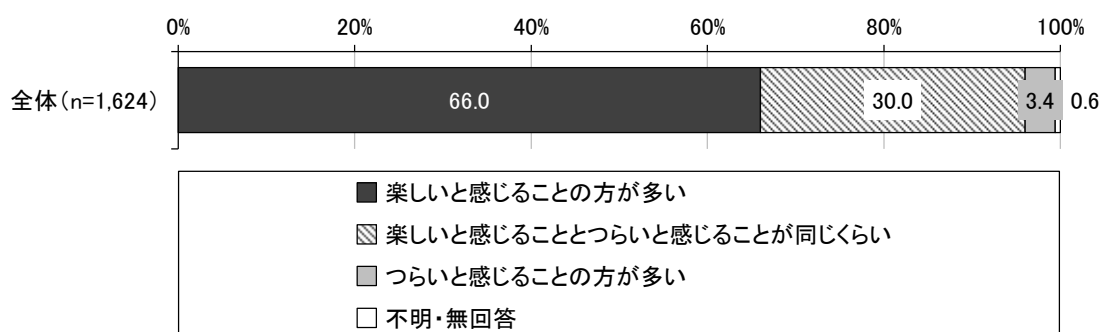


○クロス集計【回答者別、子育ての実感度別、不安感・負担感別】

(%)		n	問51 配偶者（パートナー）の子育ての分担の満足度							
			満足	まあ満足	どちらともいえない	やや不満	不満	配偶者（パートナー）はいない	無回答	
問3 回答者	母親	1,345	26.8	33.2	10.3	16.3	10.6	2.2	0.7	
	父親	266	59.4	24.8	8.3	4.9	1.5	0.8	0.4	
問52 子育てをどのように感じているか	楽しいと感じることの方が多い	1,072	36.8	33.0	8.5	13.2	6.7	1.6	0.2	
	楽しいと感じることとつらいと感じることが同じくらい	487	24.0	31.0	12.9	17.2	11.7	2.7	0.4	
	つらいと感じることの方が多い	55	16.4	16.4	14.5	16.4	32.7	3.6	-	
問54 子育てに関しての不安感・負担感	非常に不安や負担を感じる	148	23.0	20.9	8.1	16.9	25.0	6.1	-	
	なんとなく不安や負担を感じる	675	30.7	29.5	11.7	15.7	11.0	1.3	0.1	
	あまり不安や負担は感じない	644	34.8	37.0	8.4	13.5	4.2	2.0	0.2	
	全く感じない	56	62.5	21.4	5.4	10.7	-	-	-	
	なんともいえない	78	23.1	35.9	16.7	12.8	7.7	1.3	2.6	

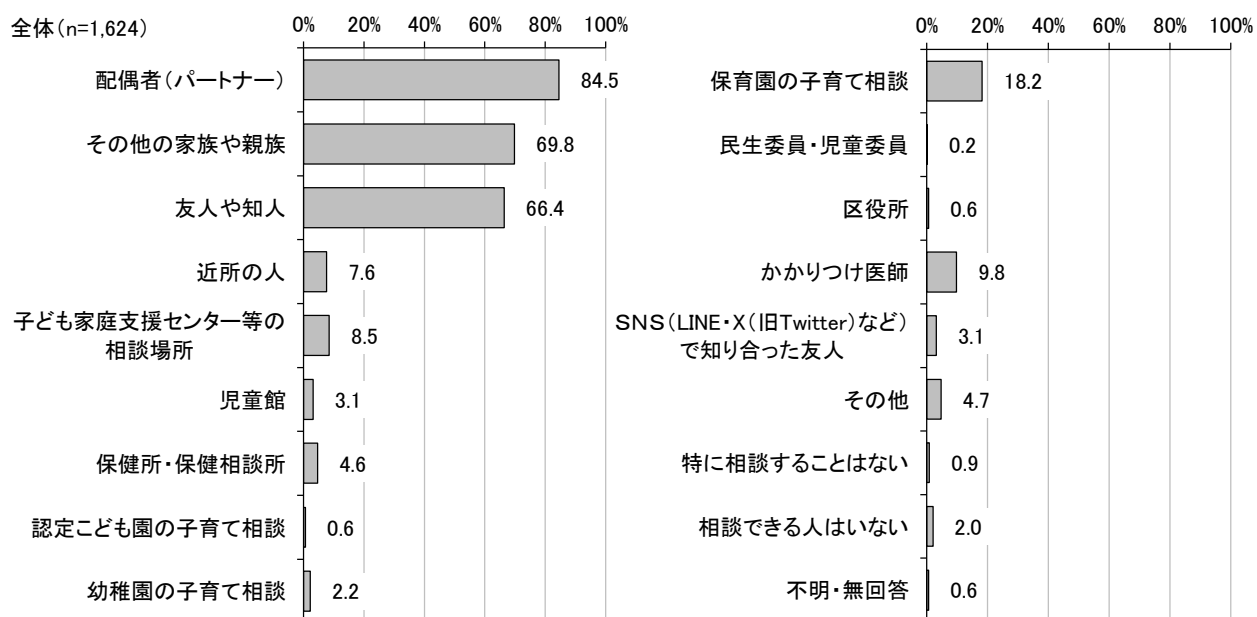
問 52 子育てをどのように感じていますか。(1つに○)

子育てをどのように感じているかについてみると、「楽しいと感じることの方が多い」が 66.0%と最も多く、次いで「楽しいと感じることとつらいと感じることが同じくらい」が 30.0%となっています。



問 53 お子さんの子育てをする上で、気軽に相談できる人・場所等がありますか。
(あてはまるものすべてに○)

子育てをする上で、気軽に相談できる人・場所等についてみると、「配偶者(パートナー)」が 84.5%と最も多く、次いで「その他の家族や親族」が 69.8%となっています。

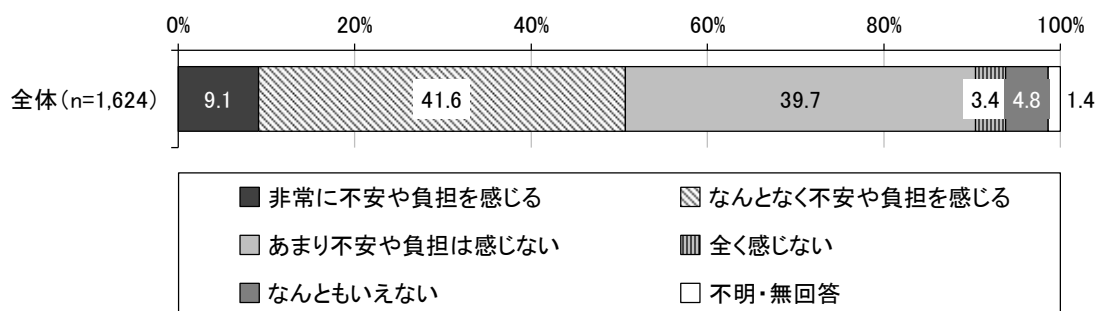


問 54 子育てに関して不安感や負担感を感じていますか。(1つに○)

子育てに関して不安感や負担感を感じているかについてみると、「なんとなく不安や負担を感じる」が41.6%と最も多く、次いで「あまり不安や負担は感じない」が39.7%となっています。

近所付き合いの状況別(問 56)にみると、「ほとんどつきあいはない」方では「非常に不安や負担を感じる」が1割半ばとなっています。

地域の支援の実感度(問 57)や地域のこどもの見守り実感度(問 58)別にみると、「まったく感じない」とする方では「非常に不安や負担を感じる」が約2割となっています。



○クロス集計【近所付き合い別、地域の支援の実感度別、こどもの見守り実感度別】

(%)		n	問54 子育ての不安感や負担感					
			非常に不安 や負担を感 じる	なんとなく 不安や負担 を感じる	あまり不安 や負担は感 じない	全く感じな い	なんとなく いえない	無回答
問56 近所 付き合いの 程度	あいさつする程度	764	8.8	42.7	38.1	3.4	5.5	1.6
	時々立ち話をする	390	6.9	43.1	42.8	2.8	4.1	0.3
	家へ上がって話をする	42	7.1	35.7	40.5	9.5	7.1	-
	食事に行ったり、家族ぐるみでつき 合っている	138	7.2	31.2	55.1	4.3	1.4	0.7
	困っているときに相談したり助け 合ったりしている	47	12.8	29.8	42.6	4.3	6.4	4.3
	ほとんどつきあいはない	232	15.1	45.3	31.5	3.0	5.2	-
問57 地域 で支えられ ていると感 じること	とても感じる	121	8.3	28.1	44.6	9.9	7.4	1.7
	たまに感じる	614	7.5	43.2	41.9	2.8	4.1	0.7
	あまり感じない	621	7.4	42.4	41.5	2.9	4.7	1.1
	まったく感じない	181	21.5	43.6	27.1	4.4	1.7	1.7
	どちらともいえない	71	9.9	38.0	33.8	1.4	16.9	-
問58 こど もが地域に 見守られて いると感じ ること	とても感じる	104	9.6	27.9	40.4	10.6	10.6	1.0
	たまに感じる	537	6.3	44.3	41.3	3.4	4.3	0.4
	あまり感じない	681	8.4	41.3	41.7	2.5	4.7	1.5
	まったく感じない	221	19.5	43.9	29.9	4.1	1.4	1.4
	どちらともいえない	66	6.1	39.4	39.4	1.5	13.6	-

第2部 区民意向調査結果

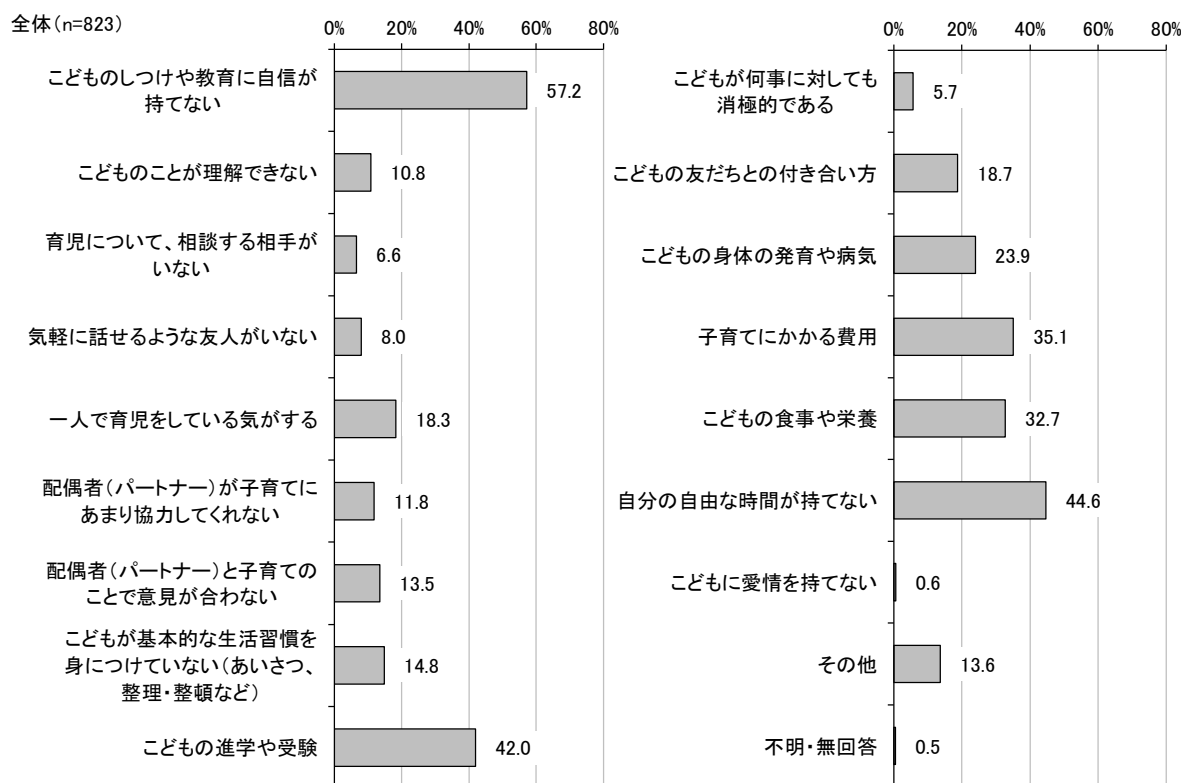
問 54 で「非常に不安や負担を感じる」「なんとなく不安や負担を感じる」を選んだ方

問 55 子育てに関して、どのような不安感や負担感を感じていますか。

(あてはまるものすべてに○)

子育てに関して感じている不安感や負担感についてみると、「こどものしつけや教育に自信が持てない」が 57.2%と最も多く、次いで「自分の自由な時間が持てない」が 44.6%となっています。

こどもをたたいた経験別にみると、こどもをたたいた経験が「ごくまれにあった」、「ときどきあった」では、「こどものしつけや教育に自信が持てない」が6割以上となっています。



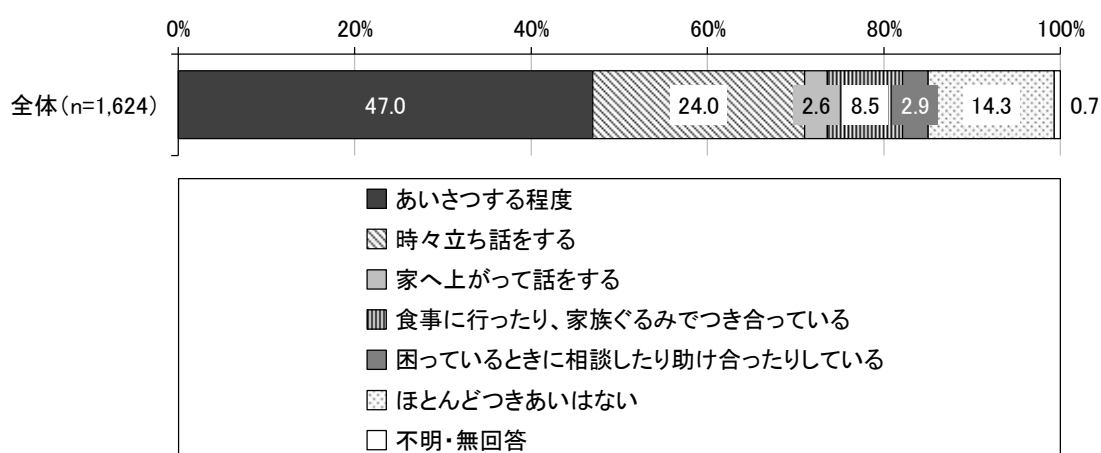
○クロス集計【こどもをたたいた経験別】

(%)		n	問55 子育ての不安感や負担感を感じていますか。								
			こどものしつけや教育に自信が持てない	こどものことが理解できない	育児について、相談する相手がいない	気軽に話せるような友人がいない	一人で育児をしている気がする	配偶者（パートナー）が子育てにあまり協力してくれない	配偶者（パートナー）と子育てのことで意見が合わない	子どもが基本的な生活習慣を身につけていない	こどもの進学や受験
問68 こどもをたたいた経験	たたいたことは1度もない	335	51.0	5.7	8.1	9.0	16.1	11.3	14.9	11.6	42.4
	ごくまれにあった	322	60.9	11.5	5.6	6.8	20.2	10.6	12.4	16.1	43.8
	ときどきあった	143	62.2	18.9	5.6	9.1	19.6	13.3	12.6	18.9	36.4
	日常的にあった	7	71.4	28.6	14.3	14.3	42.9	42.9	-	14.3	42.9

(%)		n	問55 子育ての不安感や負担感を感じていますか。									
			こどもが何事に対しても消極的である	こどもの友だちとの付き合い方	こどもの身体の発育や病気	子育てにかかる費用	こどもの食事や栄養	自分の自由な時間が持てない	こどもに愛情を持てない	その他	無回答	
問68 こどもをたたいた経験	たたいたことは1度もない	335	5.1	13.7	23.3	33.1	34.6	41.5	-	13.7	0.9	
	ごくまれにあった	322	5.9	21.1	25.2	36.0	34.2	50.0	0.3	12.4	0.3	
	ときどきあった	143	7.0	25.9	23.1	35.0	25.2	41.3	2.8	16.1	-	
	日常的にあった	7	-	-	14.3	57.1	42.9	57.1	-	28.6	-	

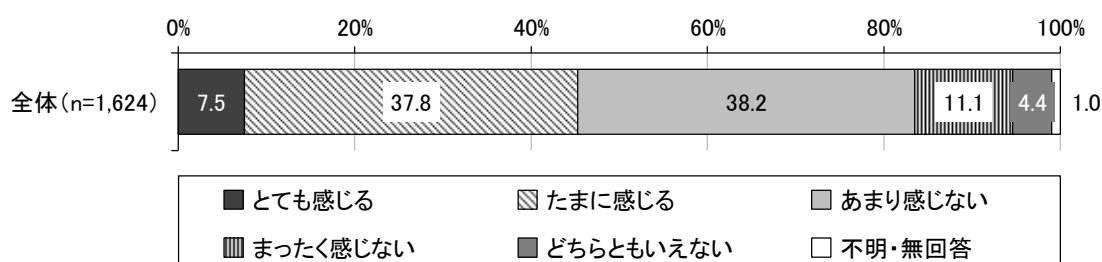
問 56 近所や地域の人とのつきあいはどの程度ですか。(1つに○)

近所や地域の人とのつきあいの程度についてみると、「あいさつする程度」が 47.0%と最も多く、次いで「時々立ち話をする」が 24.0%となっています。



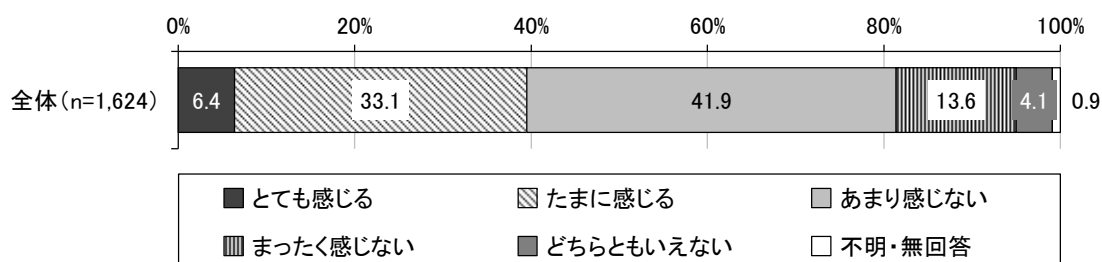
問 57 あなたは、江東区で子育てをされていて、地域で支えられていると感じますか。(1つに○)

江東区で子育てをされていて、地域で支えられていると感じるかについてみると、「あまり感じない」が 38.2%と最も多く、次いで「たまに感じる」が 37.8%となっています。



問 58 あなたは、こどもが地域に見守られていると感じますか。(1つに○)

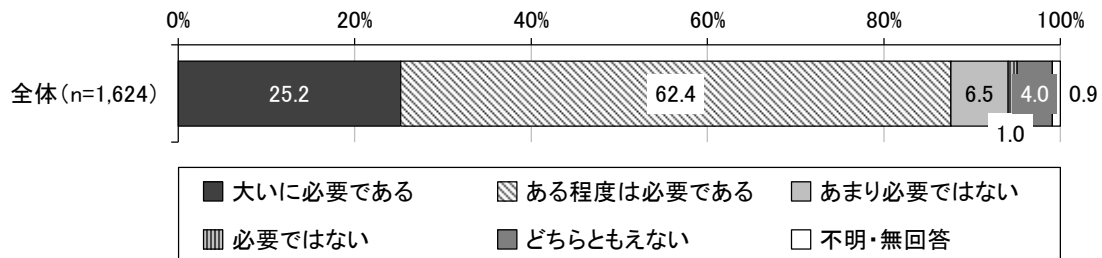
こどもが地域に見守られていると感じるかについてみると、「あまり感じない」が 41.9%と最も多く、次いで「たまに感じる」が 33.1%となっています。



第2部 区民意向調査結果

問 59 あなたは、子育てがしやすいまちの要素として、地域のつながり（ネットワークや団体）は必要だと思いますか。（1つに○）

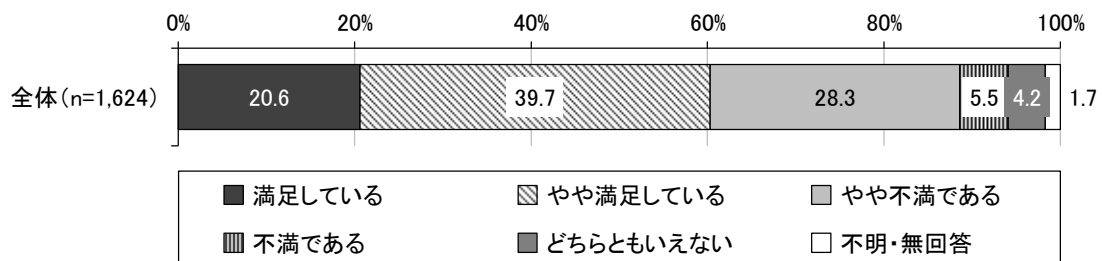
子育てがしやすいまちの要素として、地域のつながり（ネットワークや団体）は必要だと思うかについてみると、「ある程度は必要である」が 62.4%と最も多く、次いで「大いに必要である」が 25.2%となっています。



問 60 あなたは、現在の江東区でこどもの遊ぶ環境について満足していますか。（1つに○）

現在の江東区でこどもの遊ぶ環境について満足しているかについてみると、「やや満足している」が 39.7%と最も多く、次いで「やや不満である」が 28.3%となっています。

こどもの年齢別にみると、いずれの年齢も「満足している」に約2割、「やや満足している」に約4割の回答があります。



○クロス集計【こどもの年齢別】

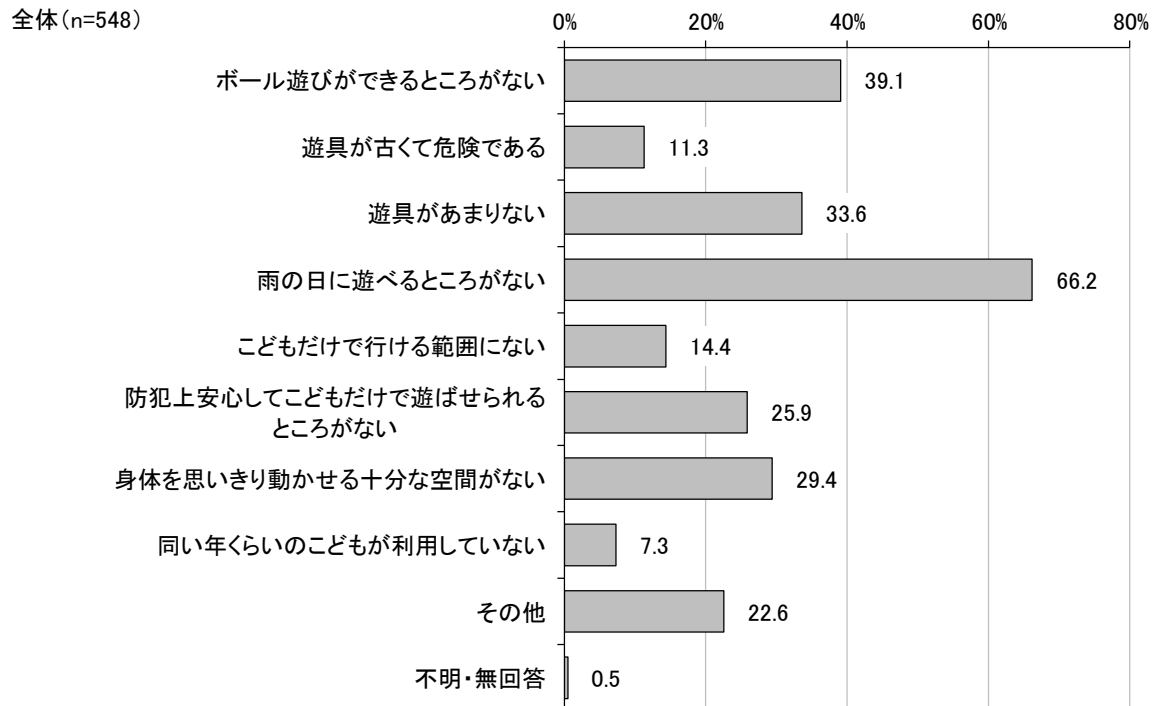
年齢		n	問60 遊ぶ環境の満足度					
			満足している	やや満足している	やや不満である	不満である	どちらともいえない	無回答
年齢	0歳	298	22.8	36.9	24.8	6.7	6.7	2.0
	1歳	258	22.1	38.8	28.7	6.2	3.1	1.2
	2歳	260	21.2	38.8	30.4	3.1	5.0	1.5
	3歳	253	19.0	41.1	30.4	5.5	3.6	0.4
	4歳	250	18.4	44.4	26.4	5.6	3.6	1.6
	5歳	266	19.9	40.2	28.6	6.0	3.4	1.9

問 60 で「やや不満である」「不満である」を選んだ方

問 61 こどもの遊ぶ環境について、どのような点に不満を感じていますか。
(あてはまるものすべてに○)

こどもの遊ぶ環境について不満を感じている点についてみると、「雨の日に遊べるところがない」が 66.2%と最も多く、次いで「ボール遊びができるところがない」が 39.1%となっています。

こどもの年齢別にみると、「防犯上安心してこどもだけで遊ばせられるところがない」が「1歳」でやや回答が多くなっていますが、概ねいずれの年齢も同様の傾向となっています。「その他」の回答では、「人が多すぎる」、「屋内の 4 歳から 6 歳の遊び場が本当に足りない」などの意見があります。

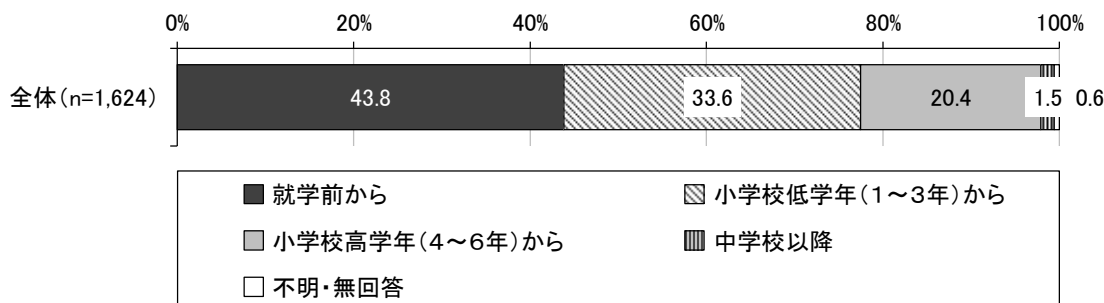


○クロス集計【こどもの年齢別】

(%)		n	問61 こどもの遊ぶ環境の不満点									
			ボール遊び ができると ころがない	遊具が古く て危険であ る	遊具があま りない	雨の日に遊 べるところ がない	こどもだけ で行ける範 囲にない	防犯上安心 してこども だけで遊ば せられると ころがない	身体を思い きり動かさ る十分な空 間がない	同じ年くら いのこども が利用して いない	その他	無回答
年 齢	0歳	94	34.0	19.1	34.0	68.1	14.9	25.5	30.9	9.6	30.9	-
	1歳	90	38.9	10.0	32.2	63.3	15.6	35.6	31.1	10.0	17.8	1.1
	2歳	87	34.5	11.5	29.9	69.0	17.2	19.5	29.9	5.7	18.4	-
	3歳	91	41.8	5.5	35.2	59.3	12.1	23.1	24.2	4.4	24.2	1.1
	4歳	80	53.8	13.8	31.3	70.0	15.0	23.8	31.3	3.8	23.8	1.3
	5歳	92	38.0	8.7	40.2	68.5	13.0	28.3	29.3	10.9	21.7	-

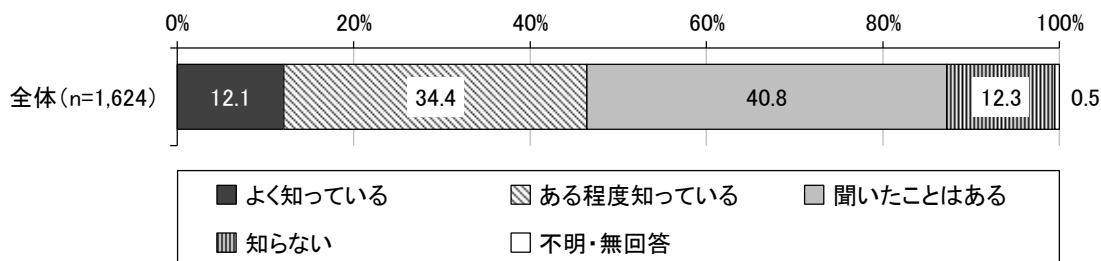
問 62 性教育には、子どもたちが性被害等から自分を守るための人権教育が含まれます。性教育をこどもに受けさせるのは、いつ頃からが望ましいと思いますか。（1つに○）

性教育をこどもに受けさせるのは、いつ頃からが望ましいと思うかについてみると、「就学前から」が43.8%と最も多く、次いで「小学校低学年(1～3年)から」が33.6%となっています。



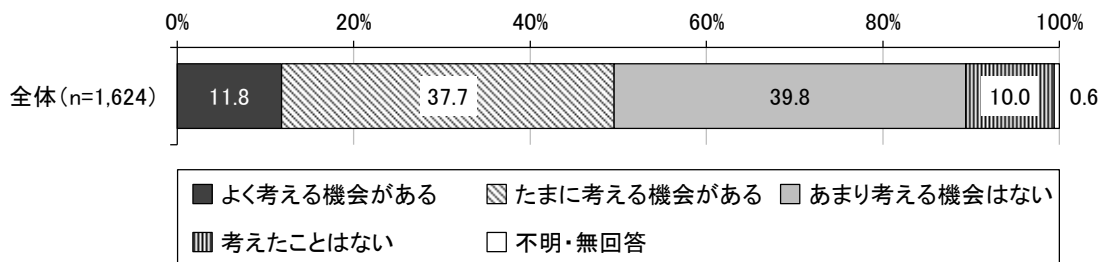
問 63 「こどもの権利」とは、こどもが大人と同じく一人の人間として持つ権利であり、安心して生活できること、自由に意見を言ったり活動したりできることなどが含まれます。あなたは、「こどもの権利」について知っていますか。（1つに○）

「こどもの権利」の認知度についてみると、「聞いたことはある」が40.8%と最も多く、次いで「ある程度知っている」が34.4%となっています。



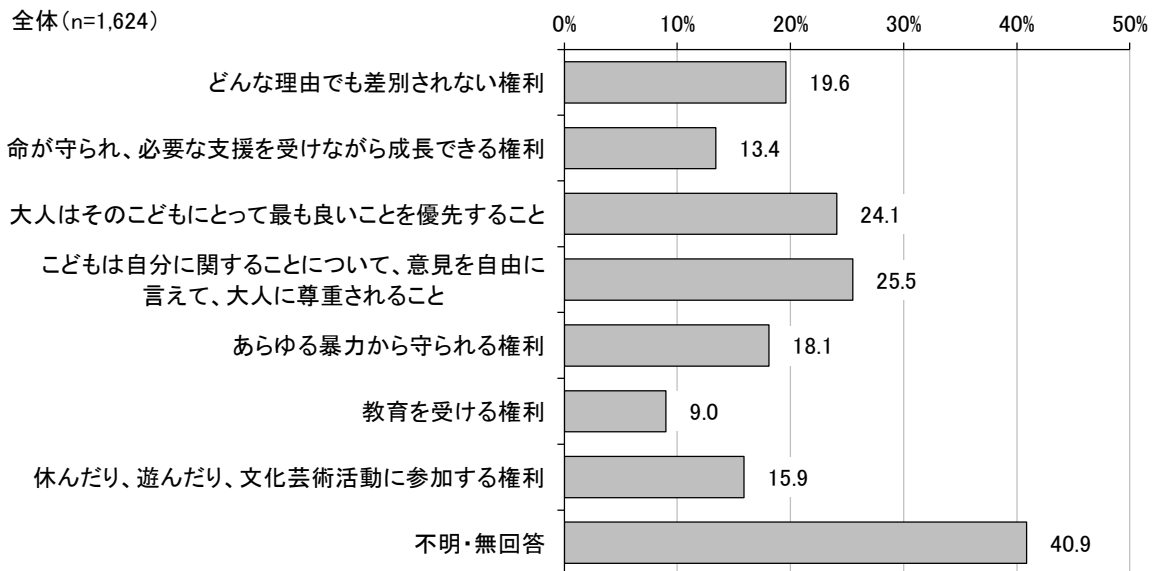
問 64 あなたは、「こどもの権利」について考えることはありますか。（1つに○）

「こどもの権利」について考えることはあるかについてみると、「あまり考える機会はない」が39.8%と最も多く、次いで「たまに考える機会がある」が37.7%となっています。



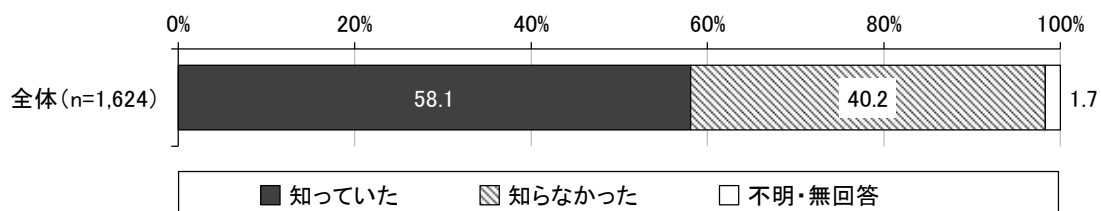
問 65 あなたは、あなたのまわりのこどもについて、次にあげるような「こどもの権利」が守られていないと感じるものはありますか。（あてはまるものすべてに○）

自身のまわりのこどもについて、「こどもの権利」が守られていないと感じるものについてみると、「こどもは自分に関することについて、意見を自由に言えて、大人に尊重されること」が 25.5%と最も多く、次いで「大人はそのこどもにとって最も良いことを優先すること」が 24.1%となっています。



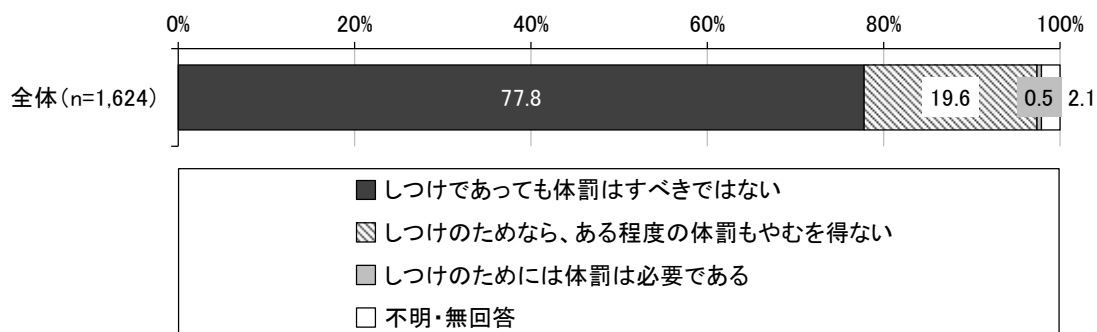
問 66 児童虐待の相談窓口は、区役所や子ども家庭支援センターをはじめ、地域の各保育園、幼稚園や児童館などでも相談を受けつけています。あなたはそのことを知っていましたか。（1つに○）

児童虐待の相談窓口は、区役所や子ども家庭支援センターをはじめ、地域の各保育園、幼稚園や児童館などでも相談を受けつけていることを知っていたかについてみると、「知っていた」が 58.1%、「知らなかった」が 40.2%となっています。



問 67 あなたは、しつけと体罰の関係についてどのようにお考えですか。（1つに○）

しつけと体罰の関係についてどのように考えるかについてみると、「しつけであっても体罰はすべきではない」が 77.8%と最も多く、次いで「しつけのためなら、ある程度の体罰もやむを得ない」が 19.6%となっています。

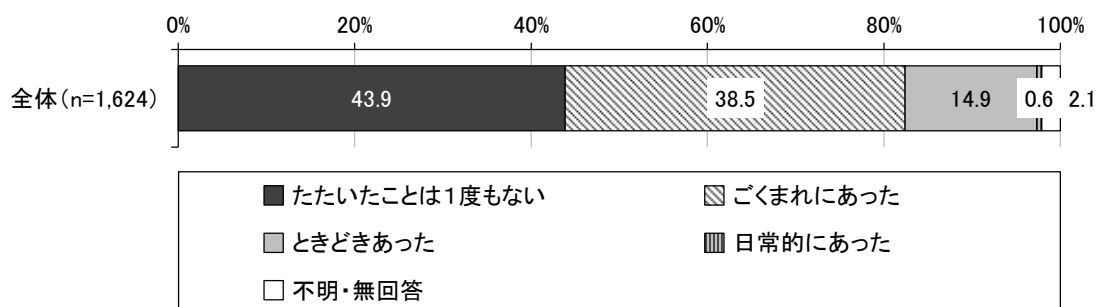


問 68 あなたはこれまでに、こどもをたたいたことはありますか。(1つに○)

これまでにこどもをたたいたことはあるかについてみると、「たたいたことは1度もない」が43.9%と最も多く、次いで「ごくまれにあった」が38.5%となっています。

子育てに関する不安感や負担感別(問 54)にみると、不安や負担を感じないほど「たたいたことは1度もない」の回答が多くなる傾向がみられる一方、不安や負担を感じているほど「ときどきあった」とする回答が多くなる傾向がみられます。

しつけと体罰の考え方別にみると、体罰の必要性を認める考え方を持つほど、「ときどきあった」とする回答が多くなる傾向がみられます。



○クロス集計【子育ての不安・負担感別、しつけと体罰の考え方別】

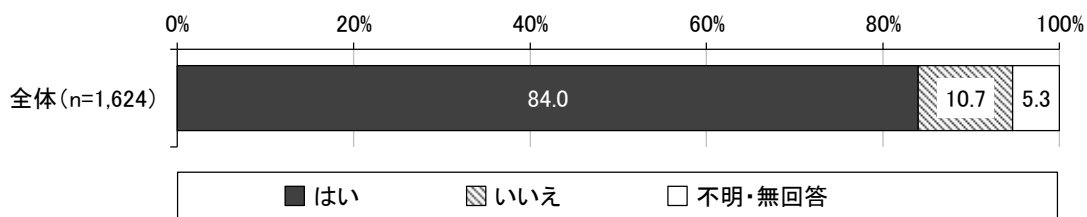
(%)		n	問68 こどもをたたいた経験				
			たたいたことは1度もない	ごくまれにあった	ときどきあった	日常的にあった	無回答
問54 子育てに関する不安感や負担感	非常に不安や負担を感じる	148	31.8	41.9	22.3	2.7	1.4
	なんとなく不安や負担を感じる	675	42.7	38.5	16.3	0.4	2.1
	あまり不安や負担は感じない	644	48.0	37.6	13.2	0.2	1.1
	全く感じない	56	57.1	37.5	1.8	-	3.6
	なんともいえない	78	37.2	44.9	14.1	1.3	2.6
問67 しつけと体罰の考え方	しつけであっても体罰はすべきではない	1,263	52.1	38.0	9.3	0.2	0.4
	しつけのためなら、ある程度の体罰もやむを得ない	319	15.7	44.2	37.6	2.2	0.3
	しつけのためには体罰は必要である	8	37.5	12.5	50.0	-	-

問 69 区で行っている次の①～⑫の子育て支援サービスについて、(1) 認知状況、(2) 利用状況、(3) 満足度、(4) 今後の利用意向、(5) 利用したくない理由または改善等の要望、についてお答えください。(1) から (4) はそれぞれ1つに○。(5) は自由記入)

①子ども家庭支援センター（みずべ）

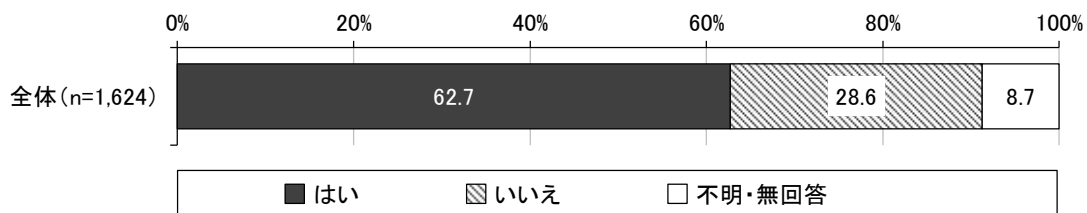
(1) 知っている

子ども家庭支援センター(みずべ)の認知状況についてみると、「はい」が 84.0%、「いいえ」が 10.7%となっています。



(2) これまでに利用したことがある

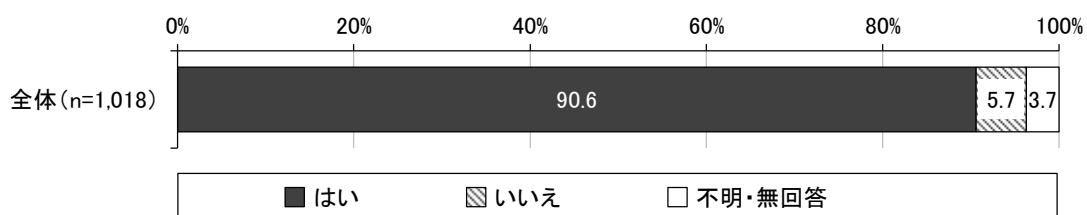
子ども家庭支援センター(みずべ)の利用状況についてみると、「はい」が 62.7%、「いいえ」が 28.6%となっています。



(2) で「はい」を選んだ方

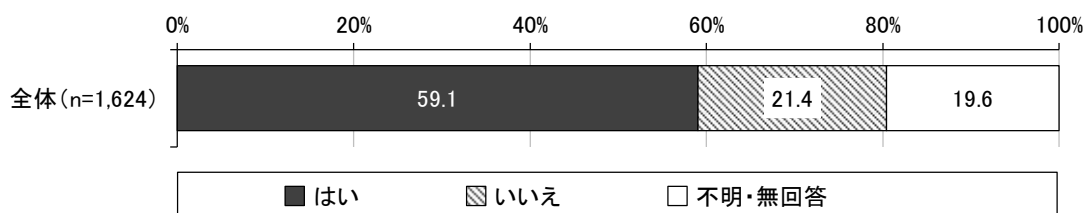
(3) 満足している

子ども家庭支援センター(みずべ)の満足度についてみると、「はい」が 90.6%、「いいえ」が 5.7%となっています。



(4) 今後利用したい

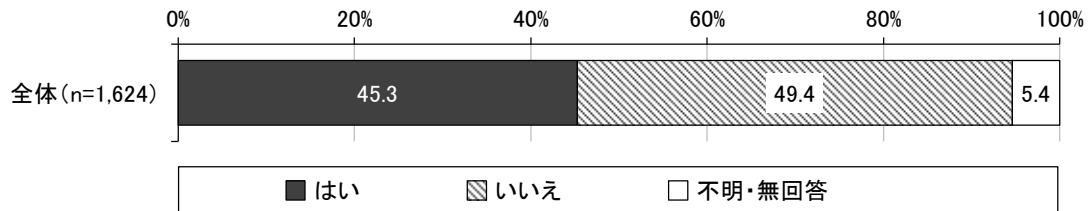
子ども家庭支援センター(みずべ)の今後の利用意向についてみると、「はい」が 59.1%、「いいえ」が 21.4%となっています。



②子育て情報・ポータルサイト

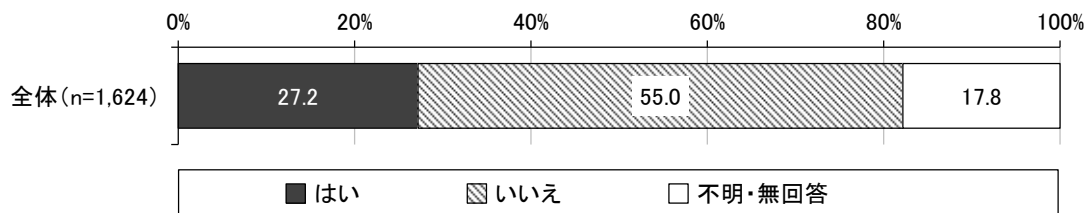
(1) 知っている

子育て情報・ポータルサイトの認知状況についてみると、「はい」が 45.3%、「いいえ」が 49.4%となっています。



(2) これまでに利用したことがある

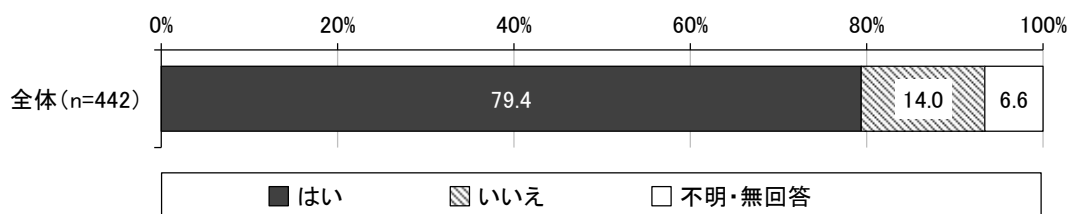
子育て情報・ポータルサイトの利用状況についてみると、「はい」が 27.2%、「いいえ」が 55.0%となっています。



(2) で「はい」を選んだ方

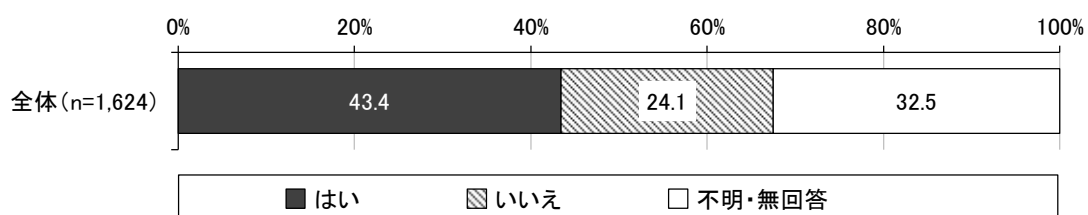
(3) 満足している

子育て情報・ポータルサイトの満足度についてみると、「はい」が 79.4%、「いいえ」が 14.0%となっています。



(4) 今後利用したい

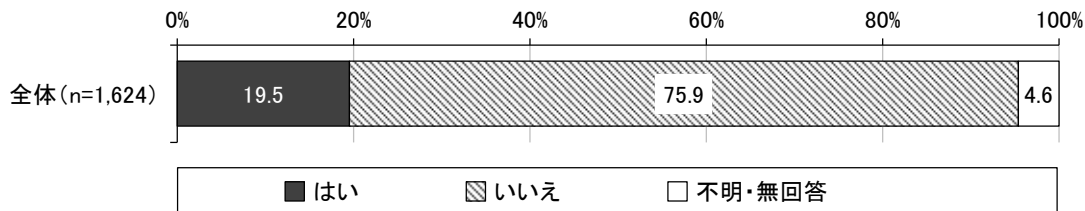
子育て情報・ポータルサイトの今後の利用意向についてみると、「はい」が 43.4%、「いいえ」が 24.1%となっています。



③こんにちは赤ちゃん LINE

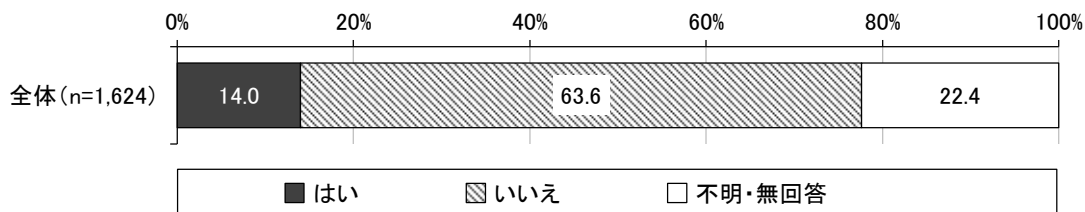
(1) 知っている

こんにちは赤ちゃん LINE の認知状況についてみると、「はい」が19.5%、「いいえ」が75.9%となっています。



(2) これまでに利用したことがある

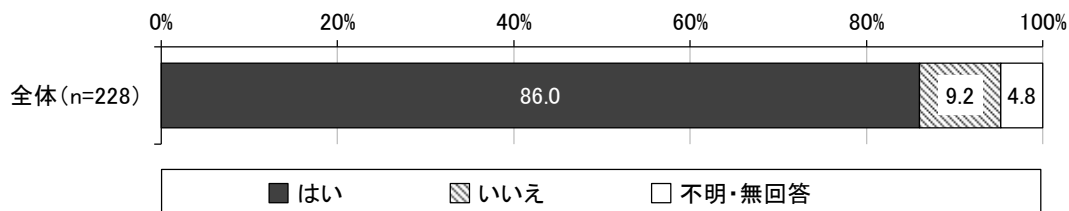
こんにちは赤ちゃん LINE の利用状況についてみると、「はい」が14.0%、「いいえ」が63.6%となっています。



(2) で「はい」を選んだ方

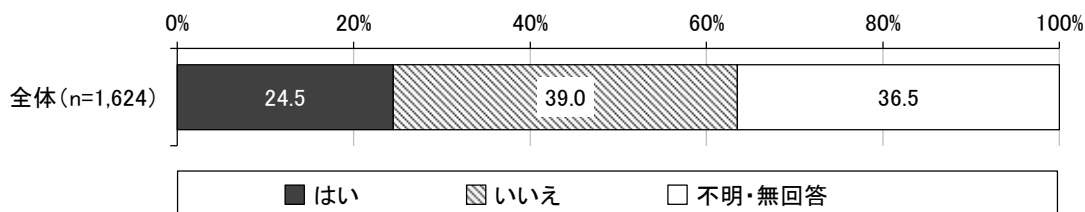
(3) 満足している

こんにちは赤ちゃん LINE の満足度についてみると、「はい」が86.0%、「いいえ」が9.2%となっています。



(4) 今後利用したい

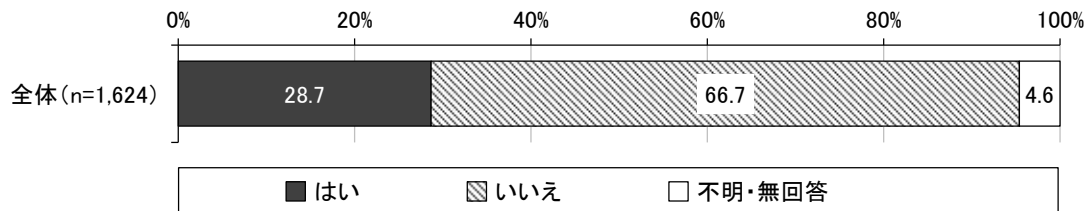
こんにちは赤ちゃん LINE の今後の利用意向についてみると、「はい」が24.5%、「いいえ」が39.0%となっています。



④地域 SNS「PIAZZA」

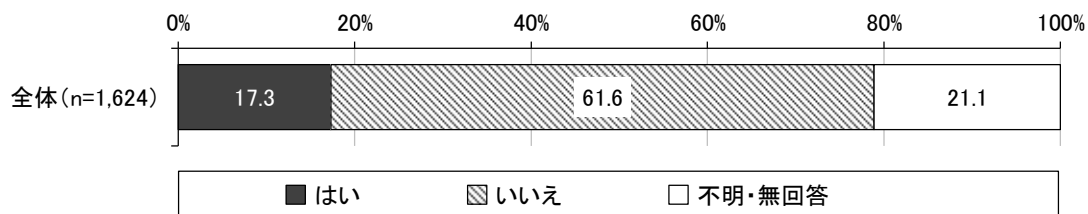
(1) 知っている

地域 SNS「PIAZZA」の認知状況についてみると、「はい」が 28.7%、「いいえ」が 66.7%となっています。



(2) これまでに利用したことがある

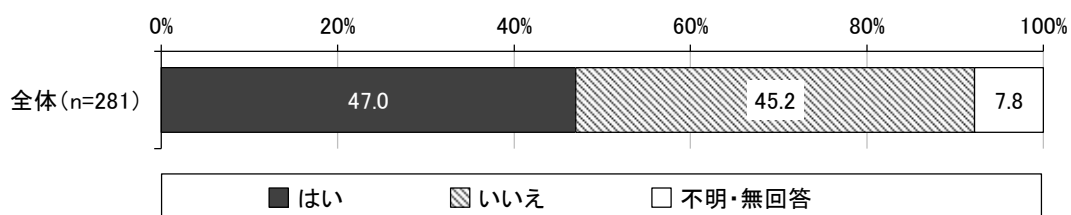
地域 SNS「PIAZZA」の利用状況についてみると、「はい」が 17.3%、「いいえ」が 61.6%となっています。



(2) で「はい」を選んだ方

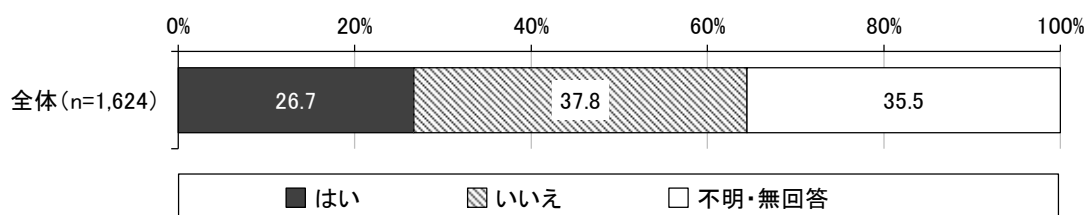
(3) 満足している

地域 SNS「PIAZZA」の満足度についてみると、「はい」が 47.0%、「いいえ」が 45.2%となっています。



(4) 今後利用したい

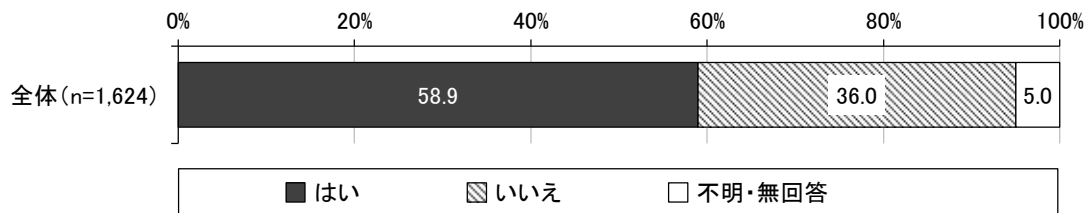
地域 SNS「PIAZZA」の今後の利用意向についてみると、「はい」が 26.7%、「いいえ」が 37.8%となっています。



⑤リフレッシュひととき保育

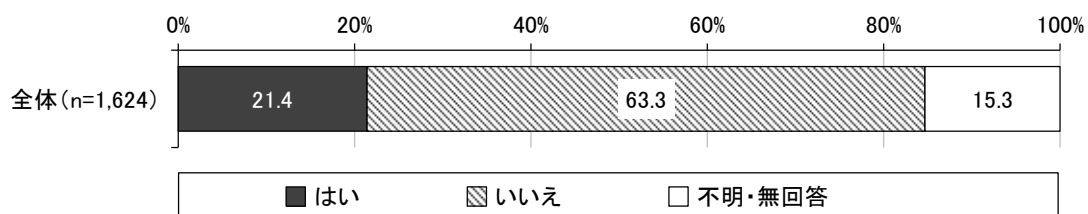
(1) 知っている

リフレッシュひととき保育の認知状況についてみると、「はい」が 58.9%、「いいえ」が 36.0%となっています。



(2) これまでに利用したことがある

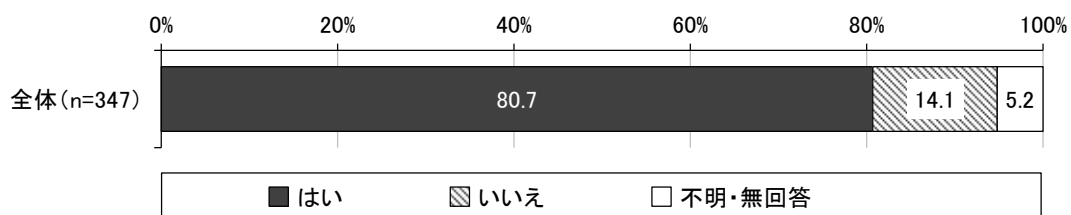
リフレッシュひととき保育の利用状況についてみると、「はい」が 21.4%、「いいえ」が 63.3%となっています。



(2) で「はい」を選んだ方

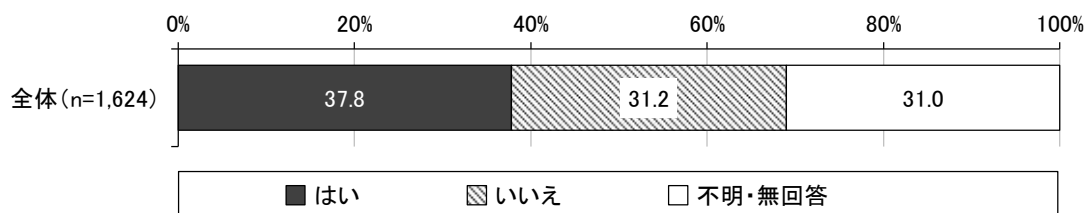
(3) 満足している

リフレッシュひととき保育の満足度についてみると、「はい」が 80.7%、「いいえ」が 14.1%となっています。



(4) 今後利用したい

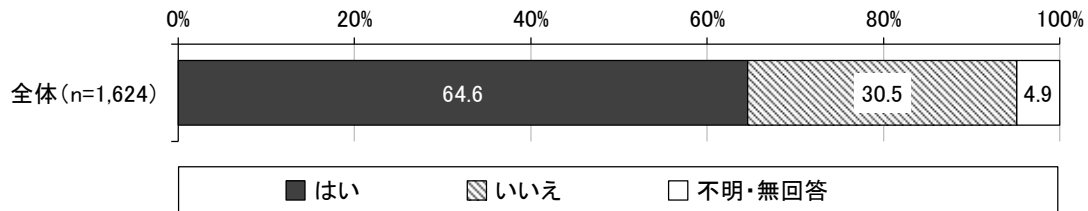
リフレッシュひととき保育の今後の利用意向についてみると、「はい」が 37.8%、「いいえ」が 31.2%となっています。



⑥ファミリー・サポート

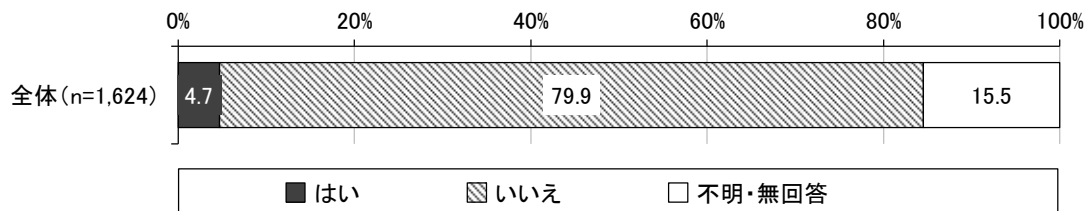
(1) 知っている

ファミリー・サポートの認知状況についてみると、「はい」が 64.6%、「いいえ」が 30.5%となっています。



(2) これまでに利用したことがある

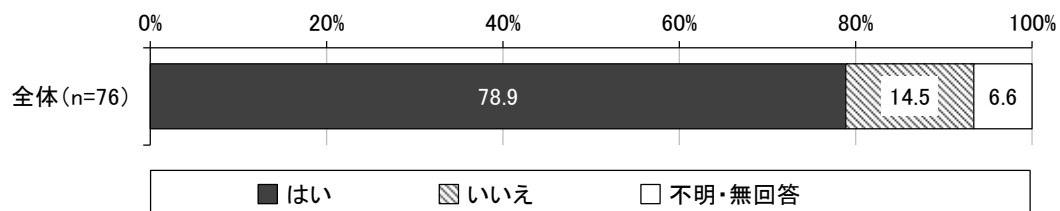
ファミリー・サポートの利用状況についてみると、「はい」が 4.7%、「いいえ」が 79.9%となっています。



(2) で「はい」を選んだ方

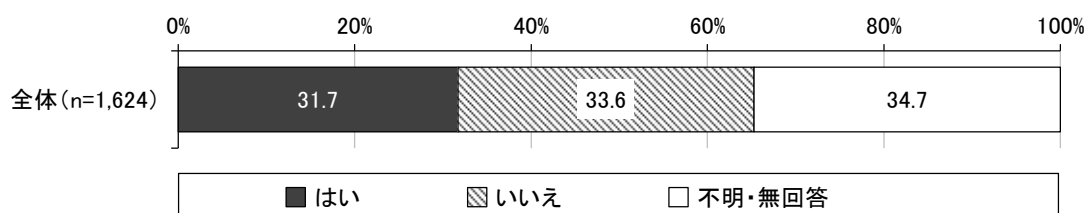
(3) 満足している

ファミリー・サポートの満足度についてみると、「はい」が 78.9%、「いいえ」が 14.5%となっています。



(4) 今後利用したい

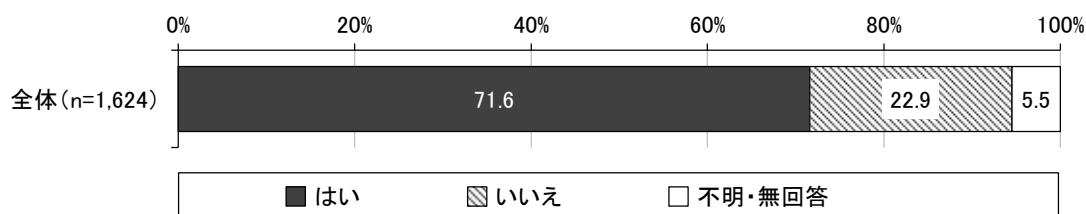
ファミリー・サポートの今後の利用意向についてみると、「はい」が 31.7%、「いいえ」が 33.6%となっています。



⑦両親学級、育児学級

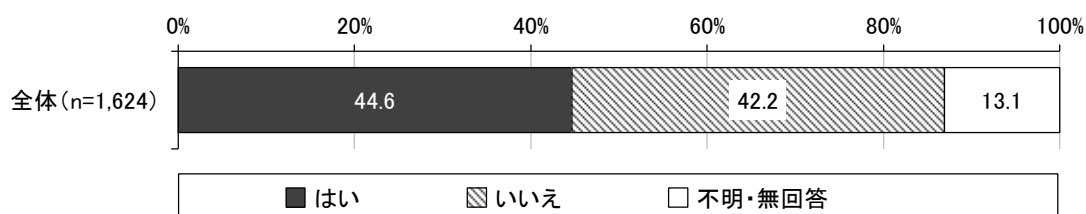
(1) 知っている

両親学級、育児学級の認知状況についてみると、「はい」が71.6%、「いいえ」が22.9%となっています。



(2) これまでに利用したことがある

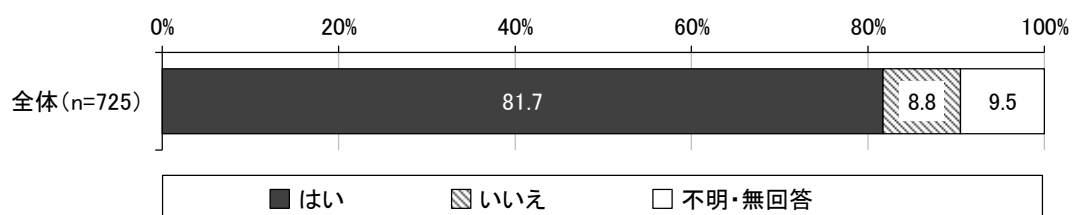
両親学級、育児学級の利用状況についてみると、「はい」が44.6%、「いいえ」が42.2%となっています。



(2) で「はい」を選んだ方

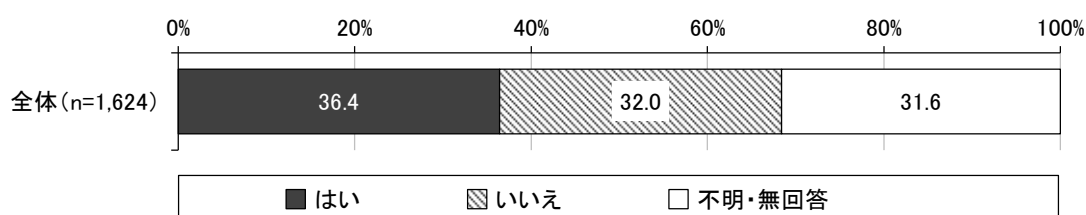
(3) 満足している

両親学級、育児学級の満足度についてみると、「はい」が81.7%、「いいえ」が8.8%となっています。



(4) 今後利用したい

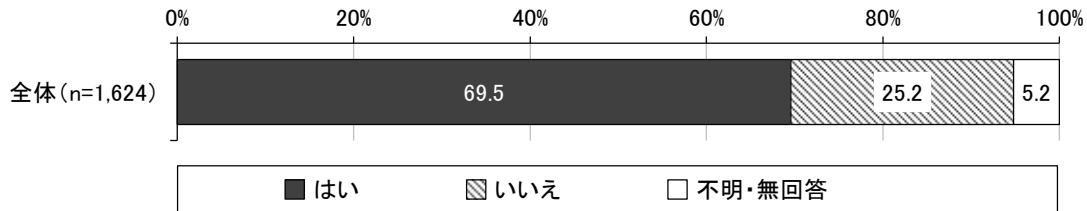
両親学級、育児学級の今後の利用意向についてみると、「はい」が36.4%、「いいえ」が32.0%となっています。



⑧保健所・保健相談所の情報・相談サービス

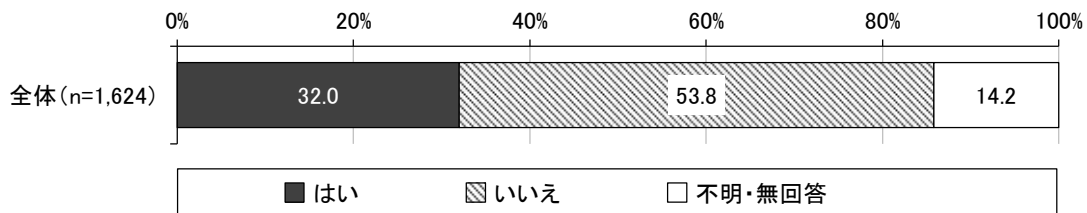
(1) 知っている

保健所・保健相談所の情報・相談サービスの認知状況についてみると、「はい」が 69.5%、「いいえ」が 25.2%となっています。



(2) これまでに利用したことがある

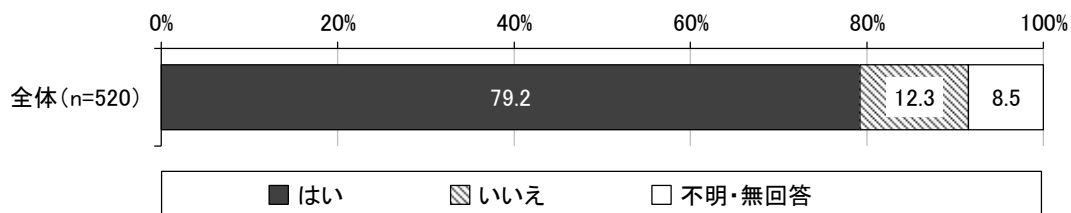
保健所・保健相談所の情報・相談サービスの利用状況についてみると、「はい」が 32.0%、「いいえ」が 53.8%となっています。



(2) で「はい」を選んだ方

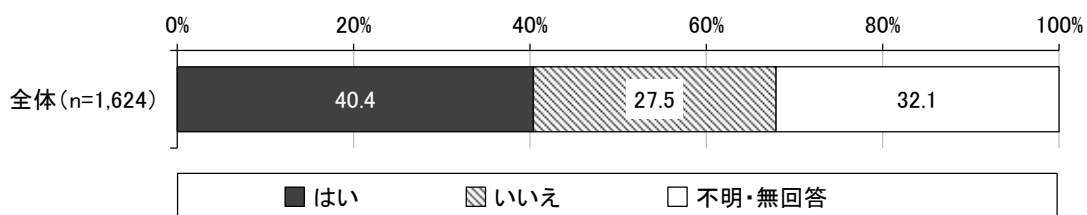
(3) 満足している

保健所・保健相談所の情報・相談サービスの満足度についてみると、「はい」が 79.2%、「いいえ」が 12.3%となっています。



(4) 今後利用したい

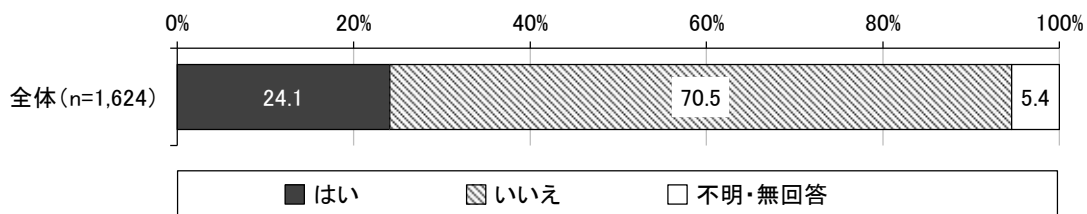
保健所・保健相談所の情報・相談サービスの今後の利用意向についてみると、「はい」が 40.4%、「いいえ」が 27.5%となっています。



⑨家庭教育に関する学級・講座

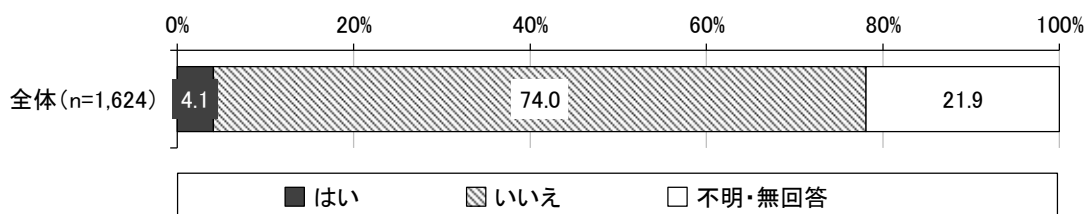
(1) 知っている

家庭教育に関する学級・講座の認知状況についてみると、「はい」が24.1%、「いいえ」が70.5%となっています。



(2) これまでに利用したことがある

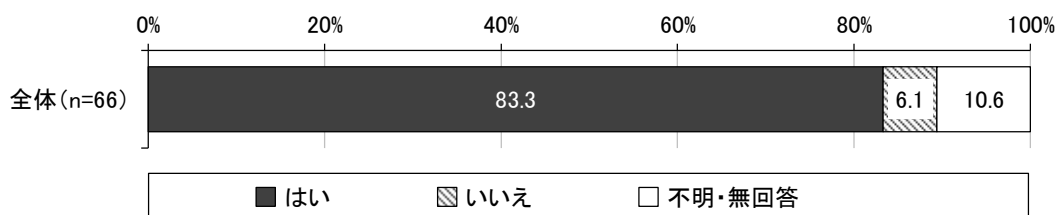
家庭教育に関する学級・講座の利用状況についてみると、「はい」が4.1%、「いいえ」が74.0%となっています。



(2) で「はい」を選んだ方

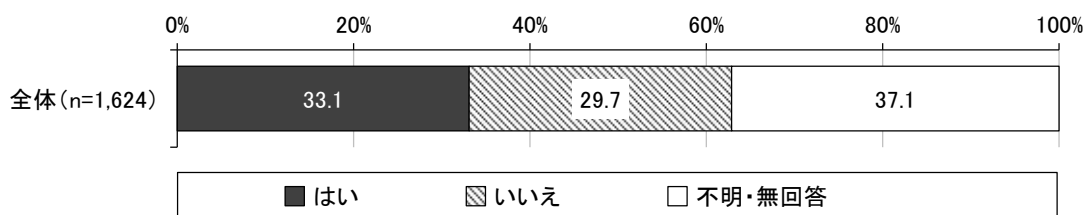
(3) 満足している

家庭教育に関する学級・講座の満足度についてみると、「はい」が83.3%、「いいえ」が6.1%となっています。



(4) 今後利用したい

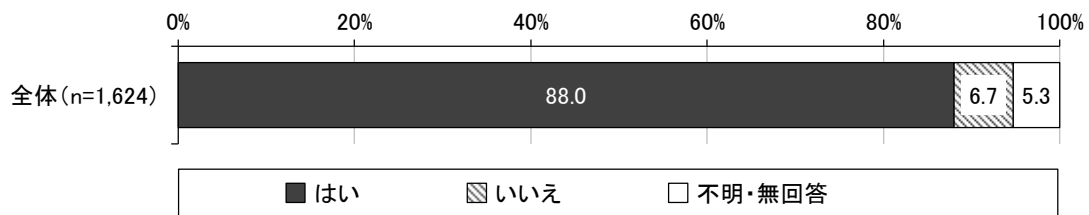
家庭教育に関する学級・講座の今後の利用意向についてみると、「はい」が33.1%、「いいえ」が29.7%となっています。



⑩児童館

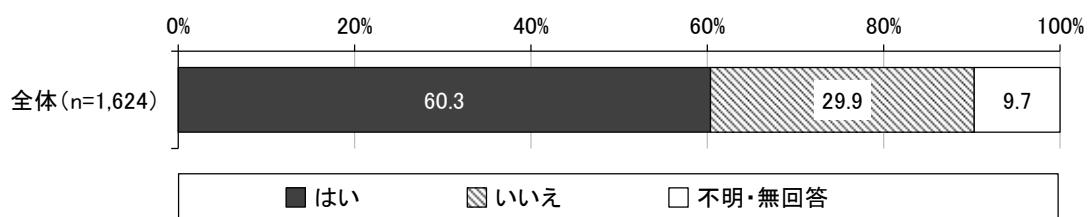
(1) 知っている

児童館の認知状況についてみると、「はい」が88.0%、「いいえ」が6.7%となっています。



(2) これまでに利用したことがある

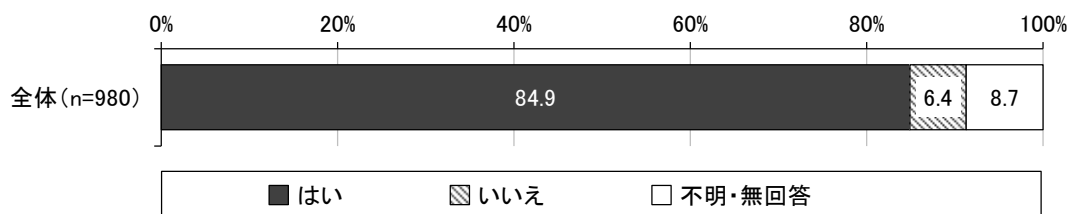
児童館の利用状況についてみると、「はい」が60.3%、「いいえ」が29.9%となっています。



(2) で「はい」を選んだ方

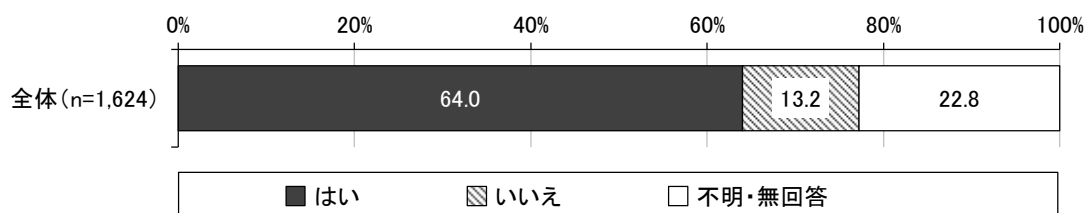
(3) 満足している

児童館の満足度についてみると、「はい」が84.9%、「いいえ」が6.4%となっています。



(4) 今後利用したい

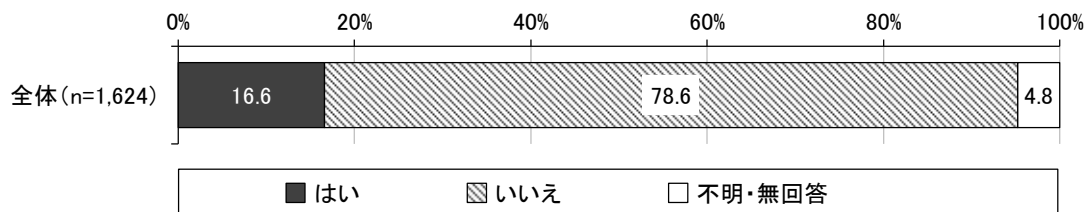
児童館の今後の利用意向についてみると、「はい」が64.0%、「いいえ」が13.2%となっています。



⑪教育センターの教育相談

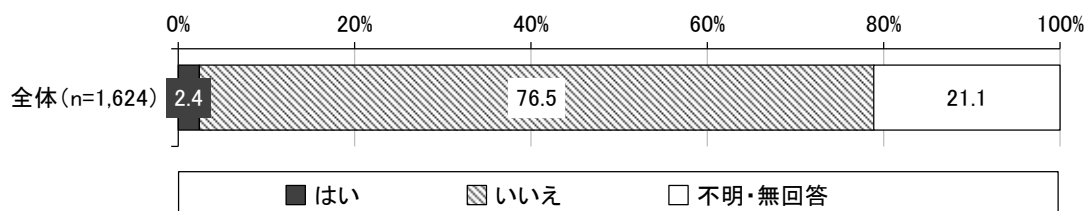
(1) 知っている

教育センターの教育相談の認知状況についてみると、「はい」が16.6%、「いいえ」が78.6%となっています。



(2) これまでに利用したことがある

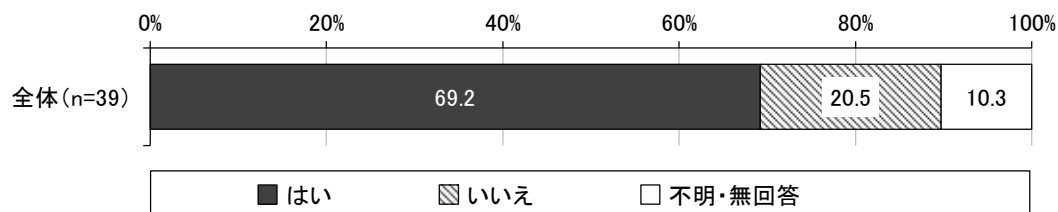
教育センターの教育相談の利用状況についてみると、「はい」が2.4%、「いいえ」が76.5%となっています。



(2) で「はい」を選んだ方

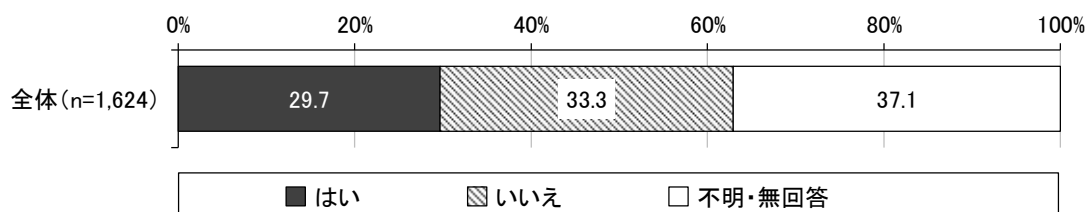
(3) 満足している

教育センターの教育相談の満足度についてみると、「はい」が69.2%、「いいえ」が20.5%となっています。



(4) 今後利用したい

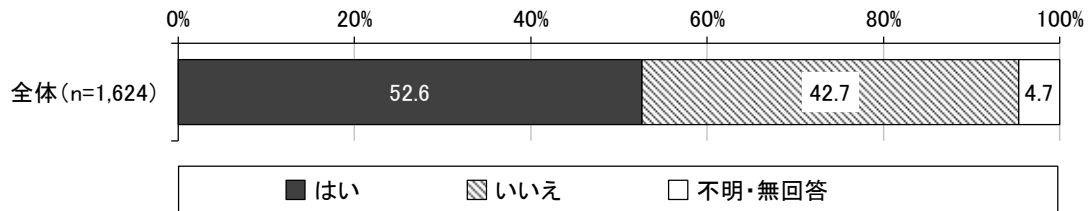
教育センターの教育相談の今後の利用意向についてみると、「はい」が29.7%、「いいえ」が33.3%となっています。



⑫保育園の休日保育

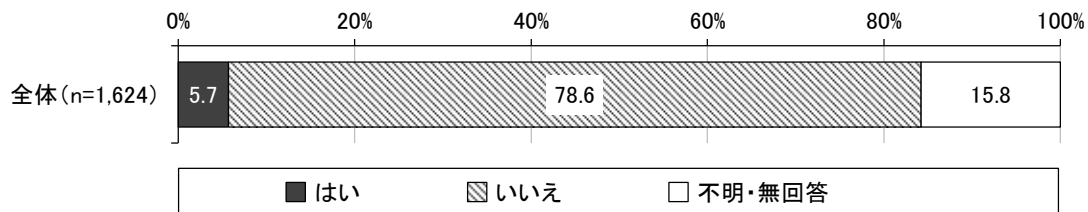
(1) 知っている

保育園の休日保育の認知状況についてみると、「はい」が 52.6%、「いいえ」が 42.7%となっています。



(2) これまでに利用したことがある

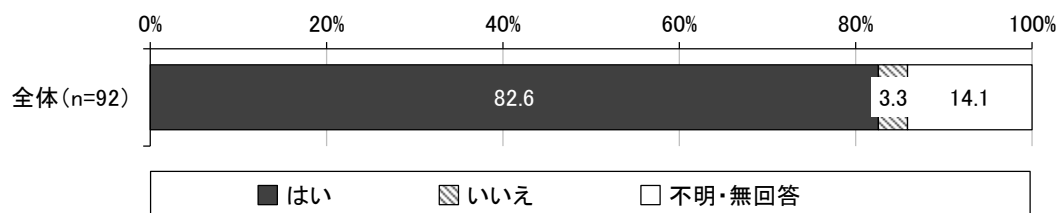
保育園の休日保育の利用状況についてみると、「はい」が 5.7%、「いいえ」が 78.6%となっています。



(2) で「はい」を選んだ方

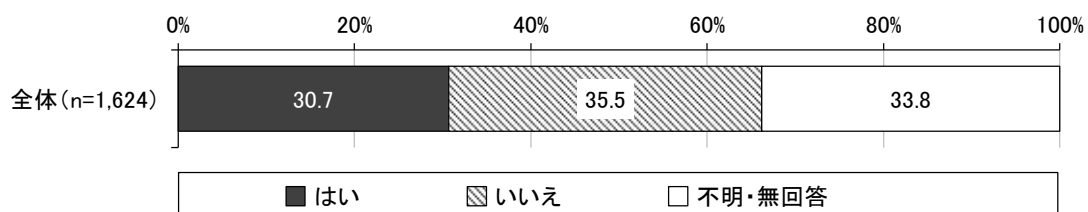
(3) 満足している

保育園の休日保育の満足度についてみると、「はい」が 82.6%、「いいえ」が 3.3%となっています。

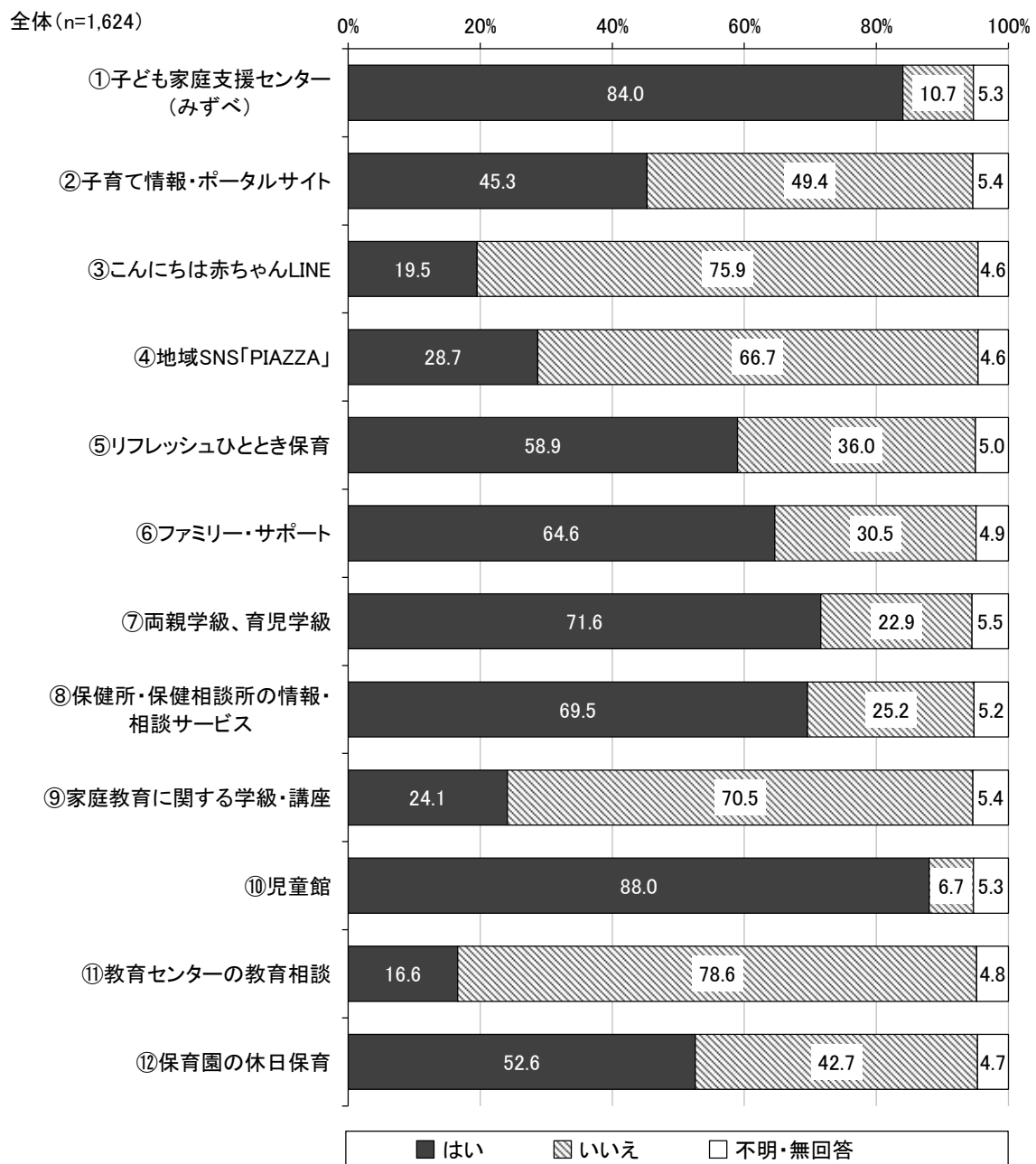


(4) 今後利用したい

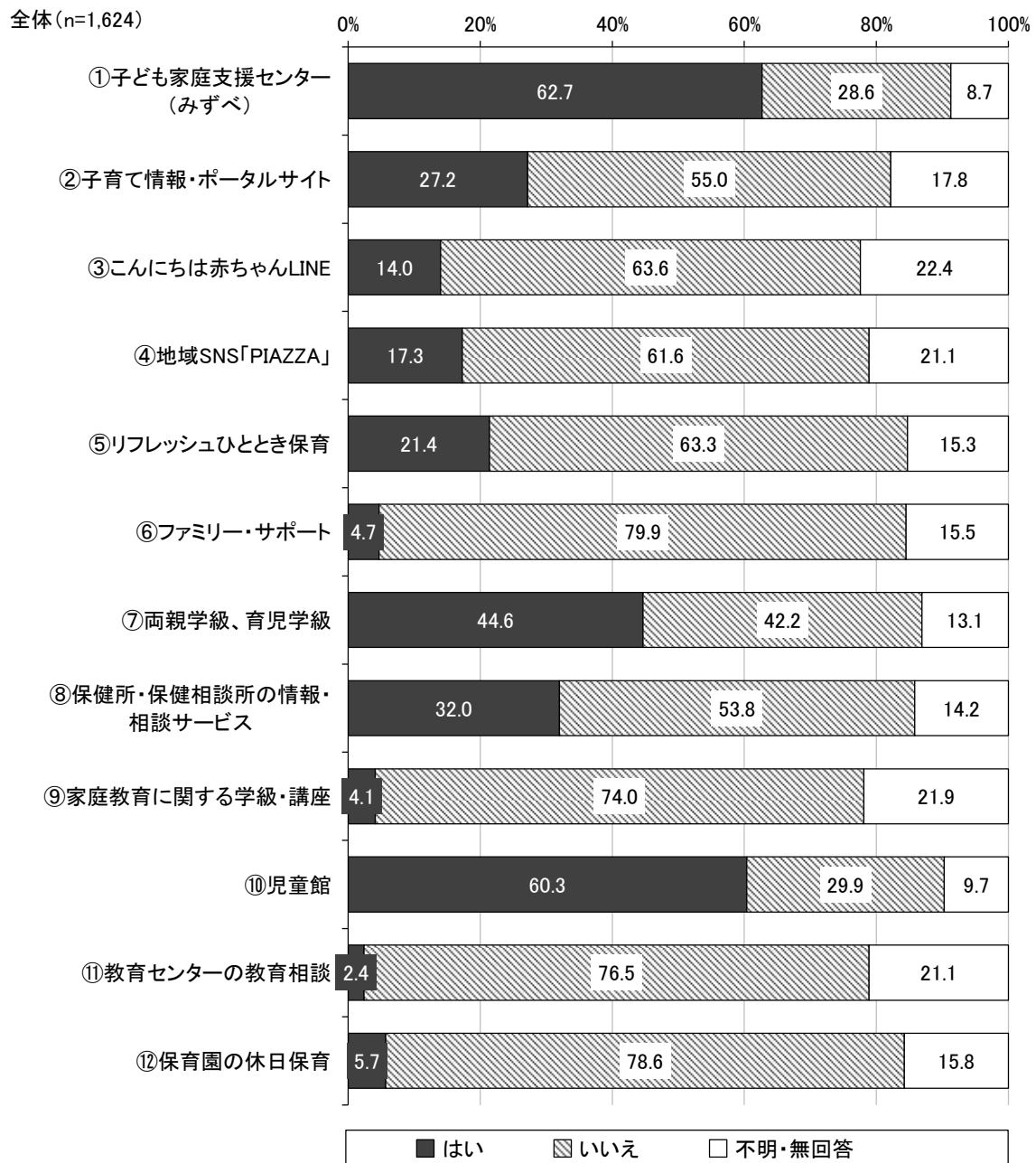
保育園の休日保育の今後の利用意向についてみると、「はい」が 30.7%、「いいえ」が 35.5%となっています。



問 69①～⑫（１）知っている【再掲】



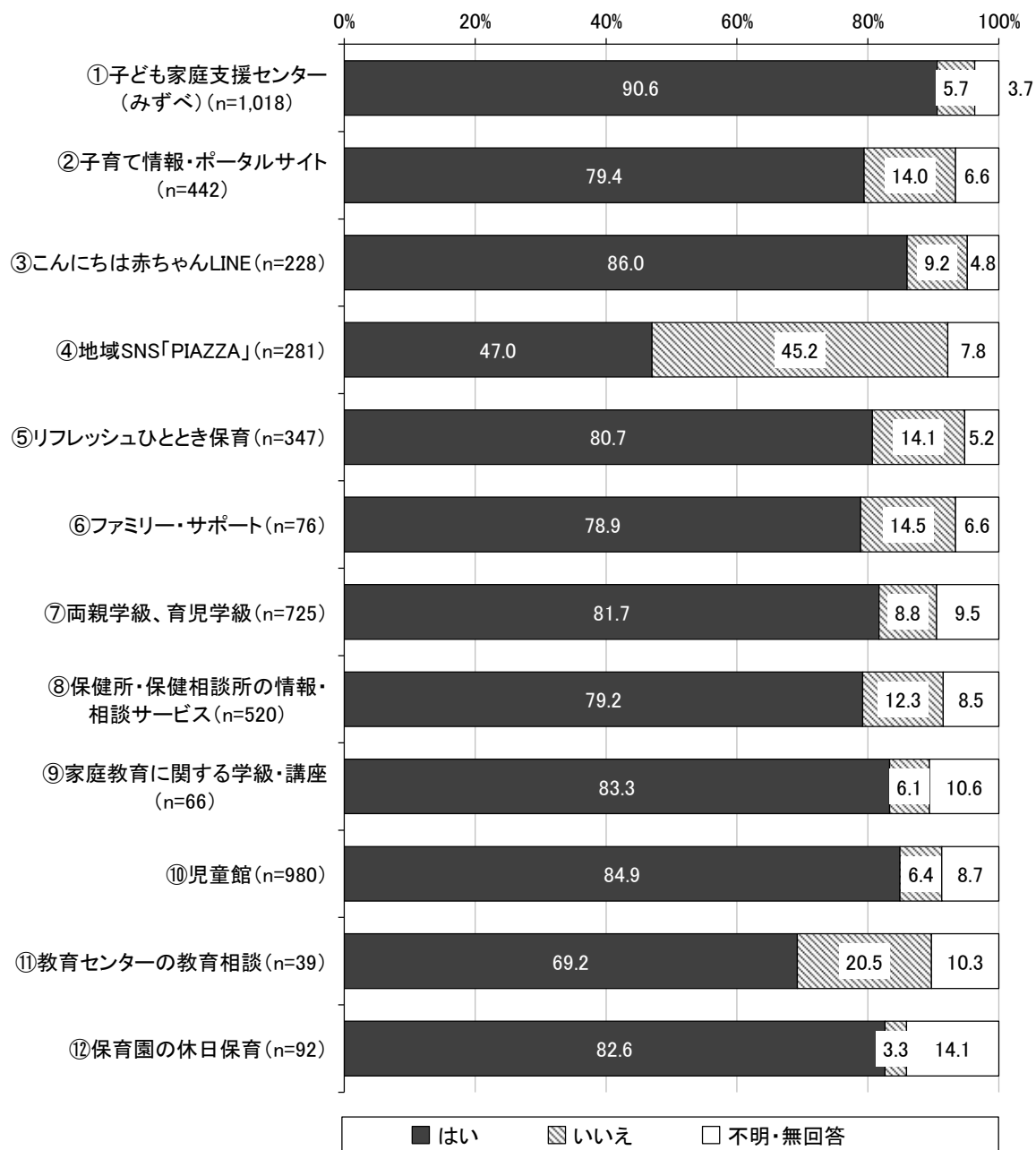
問 69①～⑫（２） これまでに利用したことがある【再掲】



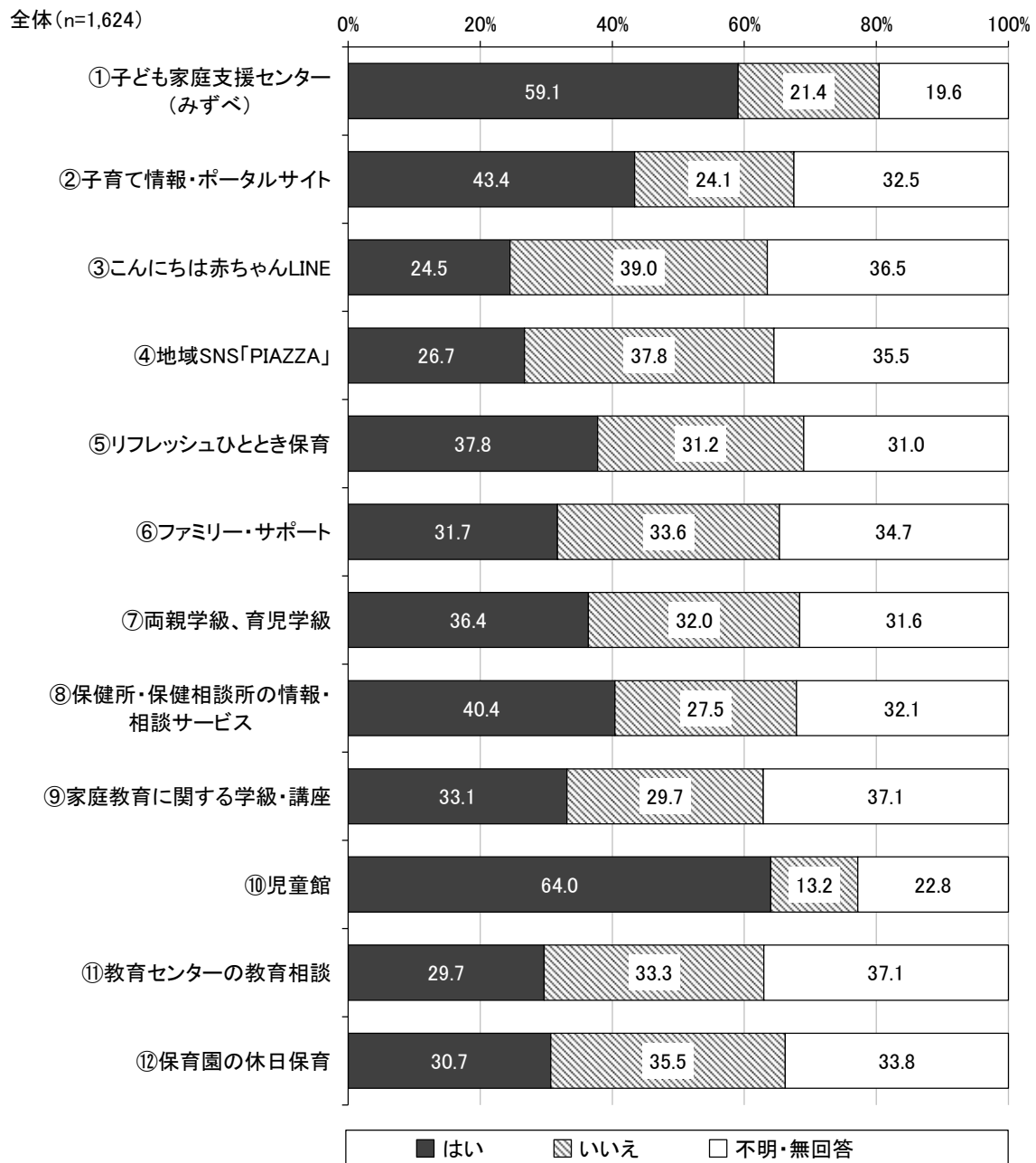
第2部 区民意向調査結果

問 69①～⑫（２）で「はい」を選んだ方

問 69①～⑫（３）満足している【再掲】



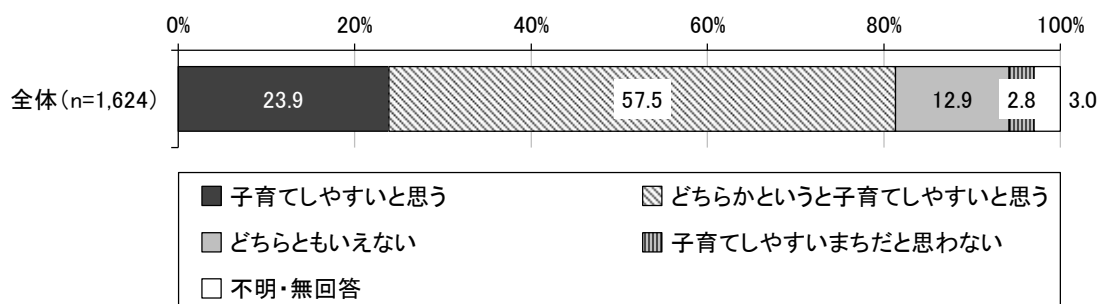
問 69①～⑫（４）今後利用したい【再掲】



問 70 江東区は子育てしやすいまちだと思いますか。(1つに○)

江東区は子育てしやすいまちだと思うかについてみると、「どちらかという子育てしやすいと思う」が57.5%と最も多く、次いで「子育てしやすいと思う」が23.9%となっています。

地域の支援の実感度(問 57)や見守りの実感度(問 58)別にみると、支援や見守りを実感している方ほど、「子育てしやすいと思う」の回答が多くなる傾向がみられます。



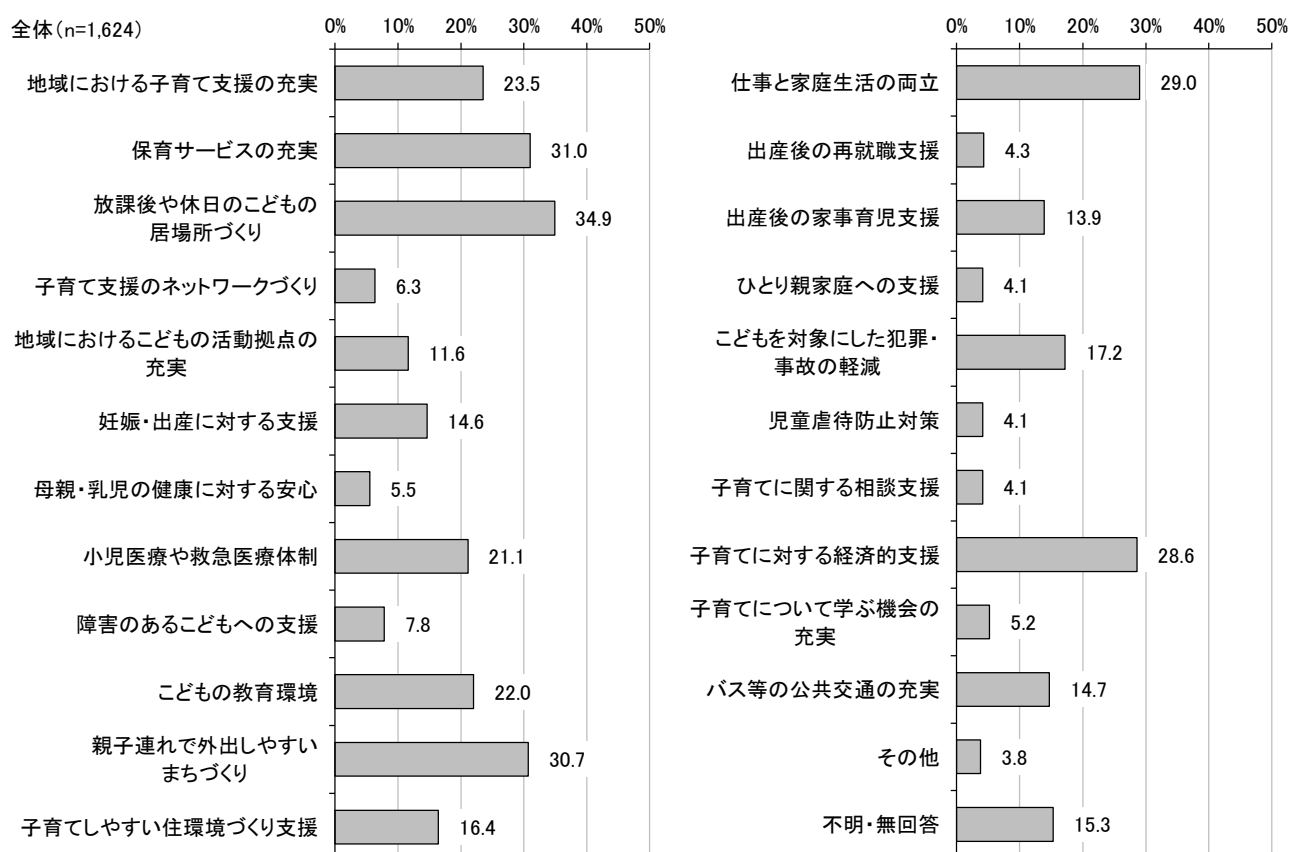
○クロス集計【地域の支援の実感度別、こどもの見守り実感度別】

(%)		n	問70 江東区は子育てしやすいまちだと思いますか				
			子育てしやすいと思う	どちらかという子育てしやすいと思う	どちらともいえない	子育てしやすいまちだと思わない	無回答
問57 地域の支援の実感度	とても感じる	121	66.1	26.4	5.8	-	1.7
	たまに感じる	614	32.1	58.8	6.5	0.5	2.1
	あまり感じない	621	12.7	65.5	17.1	2.1	2.6
	まったく感じない	181	8.8	44.8	27.6	15.5	3.3
	どちらともいえない	71	19.7	64.8	9.9	1.4	4.2
問58 見守りの実感度	とても感じる	104	65.4	27.9	3.8	-	2.9
	たまに感じる	537	31.8	57.2	8.2	0.9	1.9
	あまり感じない	681	16.0	65.2	14.2	1.8	2.8
	まったく感じない	221	12.7	46.6	26.2	12.2	2.3
	どちらともいえない	66	18.2	65.2	10.6	1.5	4.5

問 72 区に対してどのような子育ての支援を希望しますか。もっとも希望するものを順に5つまでお答えください。また、選択した項目について、具体的にどのような支援が必要かを下の自由記入欄にお書きください。(5つまで○)

区に対して希望する子育ての支援についてみると、「放課後や休日のこどもの居場所づくり」が34.9%と最も多く、次いで「保育サービスの充実」が31.0%となっています。

こどもの年齢別にみると、「放課後や休日のこどもの居場所づくり」は年齢が上がるほど回答が多く、「保育サービスの充実」は年齢が下がるほど回答が多くなる傾向がみられます。



○クロス集計【こどもの年齢別】

($\%$)		n	問72 区に希望する子育て支援													
年齢	0歳	298	地域における子育て支援の充実	保育サービスの充実	放課後や休日のこどもの居場所づくり	子育て支援のネットワークづくり	地域におけるこどもの活動拠点の充実	妊娠・出産に対する支援	母親・乳児の健康に対する安心	小児医療や救急医療体制	障害のあるこどもへの支援	こどもの教育環境	親子連れで外出しやすいまちづくり	子育てしやすい住環境づくり支援		
	1歳	258	18.8	44.0	28.2	4.7	8.1	15.8	5.0	21.8	4.7	14.4	33.6	19.1		
	2歳	260	27.1	38.0	31.0	8.5	14.0	19.8	7.0	20.9	4.7	22.1	35.7	15.9		
	3歳	253	27.3	31.2	35.8	5.4	11.5	19.2	5.8	18.8	5.8	23.5	35.4	18.1		
	4歳	250	24.1	24.9	34.0	5.1	11.9	13.8	6.3	23.7	8.7	21.3	29.2	14.2		
	5歳	250	20.0	24.8	37.2	6.4	13.6	11.2	5.2	19.6	12.4	23.2	27.6	14.4		
	6歳	266	24.8	21.8	42.1	7.1	12.4	8.6	4.5	19.2	10.5	27.4	21.8	14.7		

($\%$)		n	問72 区に希望する子育て支援													
年齢	0歳	298	仕事と家庭生活の両立	出産後の再就職支援	出産後の家事育児支援	ひとり親家庭への支援	こどもを対象にした犯罪・事故の軽減	児童虐待防止対策	子育てに関する相談支援	子育てに対する経済的支援	子育てについて学ぶ機会の充実	バス等の公共交通の充実	その他	無回答		
	1歳	258	28.9	5.0	18.1	2.7	15.4	2.0	2.7	36.2	6.0	19.8	4.7	15.4		
	2歳	260	32.2	5.8	14.7	4.7	13.2	5.0	1.9	24.4	5.4	12.0	1.6	14.7		
	3歳	253	26.9	4.2	15.8	3.8	13.8	3.1	7.7	33.1	4.6	13.5	4.6	12.3		
	4歳	250	27.7	4.3	13.8	4.7	16.2	2.4	2.0	24.1	4.3	16.2	2.8	17.0		
	5歳	250	29.2	3.2	10.4	3.2	23.2	7.2	6.4	28.0	4.8	14.4	3.6	16.0		
	6歳	266	28.6	3.4	8.6	4.9	21.1	4.9	3.4	24.1	5.6	12.8	5.6	15.8		

そのほか、子育て支援についてのご要望・ご意見がありましたらご自由にお書きください。

意見の内容については、「区の子育て支援制度への評価・改善」が 84 件と最も多く、次いで「経済的な評価・支援・改善」が 65 件となっています。

カテゴリー	件数
区の子育て支援制度への評価・改善	84
経済的な評価・支援・改善	65
待機児童／保育園等の改善・評価	42
子どもの居場所・遊び場への評価・改善	37
アンケート	29
地域の人・モラルへの評価・改善	23
学校・学童への評価・改善	20
交流・イベント・講座等	15
交通・移動手段	12
その他	82

※カテゴリー10件未満のものは「その他」にまとめて集計。複数カウントあり。

以降に、寄せられた意見を抜粋で掲載します（原則、原文のまま）。

①区の子育て支援制度への評価・改善

- ☆ 日々の子育てについての支援を有難うございます。こどもに対しての支援はもちろんですが、そこに関わる大人にも家庭があり、大変な思いをしている事もしっかり理解してその人に対してもケアがきちんと出来ているかを考えてから進めていって頂けると嬉しいです。
- ☆ 30年生きて来て様々な経験を積んだ上で子育てだと思っていましたが、想像の何倍もキツイです。築き上げてきたキャリアを守る為に、もう直ぐ復職しなければならない。でも保育園は入れば御の字という状況です。大切な我が子とキャリアを天秤にかけるのは正直、今迄一番辛いです。どうか「産後の支援」「保育園問題の解消」に取り組んで頂けると嬉しいです。また、子育て支援系が豊洲エリアに多い印象があります。白河エリアのこれからも充実にも期待しております。どうぞよろしくお願い致します。
- ☆ 自宅保育をしている方へのフォロー、利用できるサービス etc（有料でよく利便性が高いもの）を取り入れて欲しいと思います。都のベビーシッター利用補助も江東区が出来る様になって欲しいです。
- ☆ 子育てしていると、こどもと離れる時間が私の場合ほとんどなく、自分の時間がほとんど有りませんでした。第一子の時は一時利用（預かり保育）もほとんど出来ず自分で見なくちゃ！という思いが大きかったです。心の余裕が出来る事で子育てと向き合える時間がより楽しくなると思います。一時預かりのきっかけ作りを積極的に行って頂く事で初めての利用のハードルが下がります。又、働いていなくても保育園へ預ける事ができる枠を、増やしてもらえると子育ての負担が軽減されるかと思います。家族以外の方に、我が子の成長を共に感じてもらえると、子育ての支えにもなると思います。

- ◇ 使いたい支援を使える様にして欲しい。定員が有り使えなくなってしまうものが多い。情報を集めにくい、自ら調べたり動かないと入ってこないのは、孤立している親には辛い。
- ◇ 産後ケアを利用してすごく良かったので、支援（無料）や値下げがあり、認知度が上がるといいと思います。
- ◇ とても子育て支援についてはよくやっていただけていると感じています。しかし、今の物価上昇などを考えると、子育て世代で2～3人目を考える事は難しくなっているように感じます。また、子育ての為に給料UPを試みても、税金で取られてしまう。この矛盾を国よりも江東区の方で独自に解決に向けて取り組んで頂きたいです。若い世代が希望を持って子育てができる、そんな江東区でいて欲しいです。
- ◇ 産後かなり精神的に追い込まれました。自分はたまたま虐待せずに済んだだけと思っています。産後ケアがもう少し利用しやすいと、そこで友人が出来たり、支援につながったりするかなと思います。
- ◇ もう一人産みたいがためらっているというのが正直な気持ちです。是非安心して子育てできるよう継続した取り組みをしていただきたいです。子育てしている家庭が少数派となっているので声を汲み上げて実行して下さることを期待しています。
- ◇ 親の収入や就労状況に関わらず、全てのこどもに平等な環境となるよう変化してほしいと思います。子育て世代やこれからこどもを考える世代にとって、前向きになれる情報をたくさん発信してほしいです。
- ◇ まずは産後のサポートは充実していてありがたいですので、こどもが1歳以降も保育園の事だけでなく気軽に相談できる窓口が一本化されて常設されているととてもありがたいです。
- ◇ 今回「江東区の子育て支援サービス」で様々なサービスがある事を知りました。それぞれ別々の課や実施主体によって行われており、どこがどの様なサービスをしているかといった情報の一元化と状況に応じてどの様なサービスが使えるか検索できると使いやすいです。
- ◇ 保育園ナビゲーターは有り難いので今後もあった方が良いでしょう。ただ窓口に行かないといけないのは面倒（TELもできるのは知っているが）。訪問型とかだと嬉しい。こども連れて行くの大変なので。
- ◇ ひととき保育に助けられる日々です。他の区より値段も安くありがたいのですが、予約がなかなか取れないので、枠を増やしてほしいです。
- ◇ いろいろなサポートがあっても、実際に知らない事が多いのだと、アンケートに答えて実感しました。乳幼児を抱えて働く身としては、自分でわざわざ情報を探しに行かなくても、目・耳に入る様でないと伝わらないのかなと思います。
- ◇ 未就学児の一時保育について、もう少し利用し易くして欲しい。一日の利用時間延長や制限、回数を増やす等。
- ◇ 一時保育など自分から情報を取りにいかないと必要な時に全く使えないサービスばかりだなと感じます。オープンに誰でも分かりやすい公的サービスの情報発信があるといいなと思います。病児保育ももっと増えると働きやすいです。
- ◇ 保育サービスは充実しているように感じます。逆に小学校に入った後のサービスの充実を求めます。平日働きながら小学校の行事や役割をこなすことに難しさを感じます。保育園時代より有給が沢山必要になりそうです。

②経済的な評価・支援・改善

- ◇ 経済的支援を公平にお願いしたい。低所得者ばかり優遇されており、一生懸命働いている層は負担が大きい。皆、子育てには平等に補助金を出して欲しい。
- ◇ 妊娠も出産も苦じゃないけど、経済的な理由やサポート環境が整っていないので出産できない状況があると思います。他の家庭もそのように悩んでいると思うので、お金面のサポートと子育て支援が充実すると良いかと願っています。
- ◇ 子育て支援のクーポン等が次々と送られてくるが、ポイントで欲しいものを探しても全然欲しい商品がなくて困るので、お金（現金）の支給にして欲しい。申請しないといけなかったり、使えるポイントに期限があったりと、手続きに面倒な上、忙しい中で忘れて期限が切れたりして残念。現金が無理なら、申請しなくてもポイントを使えるようにする。期限は無しにする、等にして欲しい。
- ◇ 収入が高いと住民税が高く、保育料・延長保育料も高く、入園の優先度が相対的に低い。収入が高い＝相対に忙しい時間がないことに対する理解も配慮もない。税金を支えている世帯が子育てをしにくいと感じる。
- ◇ 給食費無償化や認可保育2子無償化はとてもありがたいです。児童手当の所得制限や所得上限限度額はなくしてほしいです。
- ◇ こどもが進学しやすいようなサポート（学費の援助、塾代の補填）があればもっとこどもを産んでも良いと思えるようになると思います。
- ◇ 物価が上がってきている中でのこども1人3万円クーポンは助かりました。定期的をお願いしたいです。
- ◇ こどもを育てるなら都内・区内1位と言われるくらいの支援、サービスがどんどん増えていってくれれば嬉しいです。あとは高校までの無料化、割引支援などももっと増やしていただください。江東区で一生住み続けたいと思わせるくらいの支援向上をぜひ！
- ◇ インフルエンザの予防接種は無料にしてほしい。我が家は有料でも受けていますが、無料なら接種する家庭もあり、特に今年は流行っているので無料にしてほしかった。
- ◇ 江東区の子育て支援「電子クーポン」は使い勝手が良く（Amazon などオンラインサイトで利用できるため）、大変有難かったです。継続を希望します。子育て世帯が江東区を選んで住みやすいと思う区になっていけるように願っています。アンケート等可能な限り協力します。
- ◇ 子育てにはお金がかかる為、継続的に支援をして欲しい。区長が変わったら制度も変わるといった事が無い様にして欲しい。
- ◇ お金配り施策ではなくこども一人当たり所得税・住民税減税の方針にして欲しい。所得制限無しにして欲しい。こどもを持つメリットが無いと少子化は止まらない。
- ◇ 不妊治療を受けたがもう少し経済的支援を早く受けたかった（タイミングや人工への支援も欲しかった）。
- ◇ 安心して産み、育てる為には、何よりもお金と時間がかかります。昔より物価が上がり、一方で増税で可処分所得は減っています。経済的不安は産まない事につながるので、支援頂けると幸いです。

③待機児童／保育園等の改善・評価

- ✧ 豊洲付近の保育園が空きが無いので、もっと0～2歳児までの保育出来る環境を整えて下さい。
- ✧ 保育園の送迎時間について、ミニマム時間でと指示されています。(通勤のみで買物の時間も×、初めに申請した時間より数分早くても、遅くても嫌がられ、禁止されています。) こどものコンディションやその日の業務でも変わるので、もう少しおおらかに許容して貰えると有難いです。昨今の保育園事故、事件に心を痛めています。自分のこどもの保育園は実際どうなんだろう、とユースを見るたびに、不安や不審を抱いてしまいます。送迎の時間の件もそうですが、先生の人数が少なかったり、業務負荷が高かったり、お給料が少ないから余裕が無くて事件につながるのでしょうか？どうか先生の勤務改善をお願いします。
- ✧ 認可保育園において園の運営や職員や他の保護者やこどもを脅かすような保護者がいた場合、区として厳格な対処を行ってください。この前の先生へのハラスメント行為や、大人主導でのこどもの仲間外れなど加害行為があり、区に報告もされているはずですが。認可保育園は区と保護者との契約ですので区がきちんと保護者と契約書を結ぶ、誓約書を書かせる、違反が認められた場合は退園勧告など厳格な対応を求めます。
- ✧ 保育園の選択肢があまりないので、充実してくれると嬉しい。
- ✧ 保育園等で、利用する為に区役所へ申請する書類が年間を通して多すぎる。変更がない家庭にとっては、同じ内容を何度も書かされるので不満。感染症の治癒証明も廃止してほしい。元気になったのにまだ病院へ行き、菌をもらってきてしまう。こどもにとっての待ち時間が長くひと苦勞。小学校では、親の記入でよいので同じようにしてもらいたい。結局、登園可能日は病院受診に使い、登園できず、次の日からとなっている。コロナ禍では、一旦廃止されていたのだから、あえて再開する必要はなかったのではないかと思う。ムダな時間を使うことを見直してください。お願いします。
- ✧ 各保育所のサービスの質の底上げ、保育所への補助金の精査。→第3者による評価等、悪徳な保育所運営会社の取り締まり。
- ✧ 保育園の保育士さんたちの給与や待遇、配置基準を見直してほしい。
- ✧ 就労の有無に関わらず、卒園まで同じ保育園に通えると良い。保育園に通う為の就労条件のハードルを下げて欲しい。
- ✧ 有給休暇を取得の日は、保育園に預けられないと言われています。これでは病院にも美容院にも行けません。有給休暇を取得した日も保育園に短い時だけでも預かって欲しいです。働く父母はいつリフレッシュできるのでしょうか。
- ✧ 二人目育休中の一人目認可保育園退園の条件(現在二人目1歳になった4月末までに復職)を周辺の区のように緩和もしくは撤廃してほしい(二人目の誕生月を考えての妊娠となってしまったため)。

④子どもの居場所・遊び場への評価・改善

- ✧ 有明地区に公園・児童館・図書館が無いので、豊洲・東雲まで足を運んでいます。是非、この三つを有明にも作って頂いたら嬉しいです。
- ✧ 児童館がちかくにあり、18時まで開館しているのは本当に有り難いです。週1の学年別教室も大いに活用させて頂きました。月、日曜日のみずべが、児童館が開館していると非常に嬉しいです。

- ◇ 豊洲図書館について。こども用の本の階に勉強スペースがある。こどもはどうしてもうるさくしてしまうと思うし、楽しく本に触れて欲しいのでこども専用の階にしてもらおうと気軽に利用できると感じた。
- ◇ 公園に小さいこども用のトイレがあるといいなと思っています。
- ◇ 夏に遊ばせる場所に限りがあり、しんどいです。室内で遊べる施設（0歳児〜）が欲しいと切に願います。
- ◇ 子育て支援とても良くしていただいて感謝しています。今後とも応援しています。雨の日に、幼児も小学生も両方が体を動かして遊べる施設があるとうれしいです。（料金も手頃だとさらにうれしいです。）
- ◇ 区内のじゃぶじゃぶ池を水遊びパンツ OK にして欲しい。墨田区は OK です。誰向けの施設か分かりません。もっと実態に合った対策をして下さい。シャワーも設置してください。
- ◇ 今回はこのように区民一人一人から意見を吸い上げる機会を与えてくださりありがとうございます。保育園などとてもよい面もありつつ、公園などこどもの遊び場、遊具などまだまだのびしろはあるかなと考えます。
- ◇ 大きな公園は充実していて良いと思うので、児童遊園や公園の雰囲気をもっと明るくして欲しい。
- ◇ 交通公園をもっと増やして欲しい。木場公園や清澄公園等大きい公園があるものの、スペースを活かし切れていない様に感じる。こどもが学べて遊べる施設の拡充を希望します。
- ◇ 子育て支援センター等の赤ちゃん広場では、年齢でエリア分けされている場所も多いが、1歳なりたての低年齢でもハイハイと歩ける（走れる）子とでエリア分けして欲しい。ヒヤっとする事が多かった。

⑤アンケート

- ◇ アンケートに時間がかかりました。誰に対しての質問かが分かりにくい所もありました。
- ◇ 紙の調査でありがたかった。Webの方が回答しやすかったり、手間が色々楽だと思うけれど、アナログ派の私はWebだとやらない。何でもデジタル化にしないで欲しいと思いました。
- ◇ アンケートで区民の声を聞いていただきありがとうございます。こども家庭庁を中心とした国の子育て政策は、子育て世帯の実態をふまえているとは思えない内容も多く、このような形でヒアリング頂けるのは大変ありがたく、今後も喜んで協力させて頂きます。どうぞよろしくお願い致します。
- ◇ 子育て支援ではありませんが、これ位のボリュームのアンケートは是非WEBでお願いしたいです。（表紙にもありますので期待しています。）子育て中、就労中にパッと書けない量でした。
- ◇ 質問の答えに「どちらでもない」というような答えもあればいいと思いました。
- ◇ このアンケートについての意見ですが、赤ちゃんの頃から江東区で育てている方には適していますが、途中から引っ越して来た人にとっては合わない質問が多く感じました。
- ◇ 今回アンケートを取ってくださり、ありがとうございます。子育てしている人間が何に困っているかを本当に気にかけてもらえてると感じて嬉しかったです。設問(15)で「お子さんと一緒にすること」の中に「家事をする」や「衣服を着せる」「食事をとる」「入浴する」が入っていて嬉しかったです。なぜなら私の中では「やって当たり前の事」になっていて、上記を除いて「こどもと一緒に」何かやった！と言える時間は平日にあまりなかったので、でも一緒にごはん食べたり、お風呂入って浴室で遊んでも立派な育児だと自信もっていいのかなと思い安心しました。

- ☆ このアンケートは何の為でしょうか？就学に向けてあと半年しかないので、来年の改善ではないのですが、すぐにでも改善をお願いします。こどもはすぐに大きくなります。すぐに必要な状況がかわってしまいます。

⑥地域の人・モラルへの評価・改善

- ☆ コロナやインフルエンザなど感染症等で地域のネットワークが薄くイベント等が少なくなっていたので、以前よりも、もっとイベント等に参加して、充実した人間関係をきずき、親子共々江東区で楽しく健康に過ごしたいと思います。これからも頑張ってください。
- ☆ マンション住まいの為近所との交流はありませんが、子連れで歩いていたり、公園で遊んでいるとよく話しかけていただいたり、温かな目で見て頂き、とても有難く感じています。良い地域に住んでいるなど日々実感しています。
- ☆ 路上や公園でのたばこ、何とかして下さい。すれ違う時や後に気が付く事もあり、とても怖いです。
- ☆ 自分たちがこどもだった頃当たり前だった大運動会や盆踊りなど、こどもたちがワクワクするようなイベントが当たり前に戻ってほしい。運動会の開会の挨拶で「近所にお騒がせしてすみません」なんてことを言わないといけない時代になったことを悲しく思う。地域で支える子育てって…夢のまた夢で、子育ては当事者たちがするものってことねって感じる。
- ☆ 行政のサービス充実だけでなく、周囲の理解が低いことが一番の子育てのしにくさを感じます。ボールはダメ、ここはダメなど、ルールが厳しすぎる。うるさいとか。こどもたちがのびのびと育てられる環境と周囲のこどもへの広い気持ちを育んでほしい。今、江東区はこどもへの支援など考えてくれている感じがしてとてもありがたいです！期待しています！
- ☆ 子育ての大変さについて周りの理解がとても重要だと思うので、教育として取り入れて欲しいです。今のうちに教えてあげれば、我が子が大人になる頃にはもっと子育てし易い世の中になるのではと思います。

⑦学校・学童への評価・改善

- ☆ 小学校の壁に不安を感じています。学童情報も江東区のホームページを見ても分からず、詳細が知れる場が欲しいです。
- ☆ 両親共働き（フルタイム）です。就学後、江東きつずを利用したいと思っていますが、利用人数が多く利用できない…と聞いたことがあります。又、金額についても不安があります。色々漠然としているので同じ生活スタイルのご家庭の例とか知りたいです。
- ☆ まだ、小学校入学前だがフルタイムで働く身としては PTA 活動に対し、負荷、不安を感じている。現場の声を調査頂き、PTA 自体のあり方につき、学校任せではなく、区としても対策（必要性の再検討、外部委託の是非等）頂けるとありがたい。
- ☆ 東雲豊洲地区は本当に恵まれていると思います。（特に乳幼児期）いつもありがとうございます。就学に向けて学童や学校活動の情報展開があると嬉しいです。
- ☆ 大阪の様に私立を無償化するようなことはせず、小中学校の教育にかかる費用を無償にして全員しっかり安心して勉強の基礎を身に着けられるようにしてほしい。いじめは学校で対応せず警察でしっかり対応してほしい。

- ✧ ①娘が通っている保育園はコドモンというアプリで欠席連絡などできるが、息子が通っていた区の学童はそういう連絡手段がないから、当日急遽欠席することになった場合、電話しか手段がなくとても不便だった(つながらないなどもあり)ので改善頂きたい。②区の学童によってサービスのむらがある、豊洲西小のキッズクラブはレトルトカレーOKなのに、辰巳児童館の学童はそういうサービスがないので、導入してもらえると夏休みなど働く親としてはありがたいです。
- ✧ 小3の壁があります。小3で学童に入れなくなっています。埼玉県の様なおかしな条例に走らず、子育ての制度や支援を充実させて欲しいです。小1になった子が4月1日から一人で通わなくてはいけない不安、今5歳クラスなのでとても心配です。小学生になっても預け場所の充実させて下さい。
- ✧ 小学校の書類、金銭のやり取りが未だにアナログということもよく聞くので事務手続きや連絡において、デジタル化が進むと親・先生ともに負担が軽減されて良いと思う。

⑧交流・イベント・講座等

- ✧ 子育て支援について考えて頂けてとても嬉しいです。ぜひ男性側の学ぶ機会（子育てや家庭での家事等）を増やして欲しいです。女性にはホルモンの影響が男性と比べると大きく有り、男性並みに体力等も無いにも拘わらず、同じものを求められています。そういう点も男性にも理解して頂き、社会全体で子育てして行く江東区になって欲しいです。
- ✧ 同じこどもを持つ人達との関わる機会があると嬉しいです。
- ✧ 週末にイベント増やして欲しい。一人で二人のこどもを連れて行くところが児童館しかない。子ども食堂や江東まつりの様なイベントあれば助かるが…。
- ✧ 区の文化センター等で様々な講座を行っていますが、大人か高齢者向けのものが多く、幼児や児童向けのものが少ないので、もっとたくさん開講して欲しいです。民間の習い事は金額が高い為、英語・ピアノ・そろばん・ダンス等公共でのサービスがあると良いです。家が枝川の為、枝川区民館で幼児・児童向けの習い事の講座を行って欲しいです。

⑨交通・移動手段

- ✧ こどもを乗せた電動自転車は約 30kg 有ります。公園の入り口や幅の狭い道に入る際に車止めが設置されていますが、U字型のものは通り抜けられません。こういったものも車体によっては、持ち上げないと通れないです。通れても後ろに乗っているこどもは足が巻き込まれてしまう為、起きている時は足を隠す様注意出来ますが、寝てしまっている時はとても困ります。こどもを前後に乗せていると最大約 75kg にもなるので、押して歩くのにもかなりの配慮が要ります。自転車の通れる幅をもう一度再考して頂きたいです。
- ✧ ベビーカーや車椅子は大きくなりがちなのに、駅のエレベーターや改札は狭い。子育てをしていると、常に謝って過ごすのだな…と思っている、この状況が改善されるとこどもも増えるかな…。
- ✧ 地下鉄のエレベーターを増やしたり、バス停を増やしたりして欲しい。
- ✧ 辰巳は東雲や豊洲有明に行かなければあまり利用できる所が無い。バスも混んでいて毎回タクシーも使えない。そういう地域の人が使え場所や移動手段があると嬉しいです。

- ◇ 妊婦は隠れた交通弱者です。上の子を連れてお出かけしたくても、交通機関では席をかわってもらえなかったり、自転車に乗れずバス移動が増え出費がかさみました。生き生きと外出活動できるためにサポートが欲しいです。

⑩その他

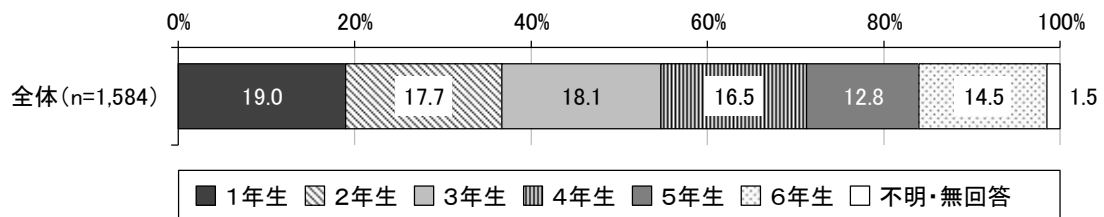
- ◇ 発達に遅れがあると受け入れてくれる幼稚園がほとんどなくなり、行き先がなくなってしまう不安がある。受け入れ体制がもう少し整ってもらえると有り難い。
- ◇ 現在幼稚園に通っていますが、毎年人数が減少しておりそのうちなくなってしまうのではないかと危惧しています。幼稚園は保育園と比べると預かる時間は短いですがその分こどもとも沢山関われ短い子育ての時間も楽しめると思います。幼稚園がなくなってしまうのは寂しいので何か区で考えてくれたらうれしいです。
- ◇ 区立幼稚園は住所に近い順に優先すべきと思います。徒歩原則としているのに自転車登園している人達が多すぎます。
- ◇ 手書き書類の削減を推進して頂きたい。妊婦検診補助券や予防接種券等、同じ項目を何度も記載する為、マイナンバーカードを活用しデジタル化を進めて頂きたい。
- ◇ 小さな不自由さを持つ子が多くいらっしゃると思います。（軽度自閉や身体的な事も）その子達も「生きていて楽しい」と親子共々思う事が出来たら、江東区として（大好きな街なので）嬉しいです。
- ◇ こどもを連れて安心して食べられるお店（定食等を）がもっとあればと思います。残業等で夕食がすぐ準備出来ない日には気軽に使える様な。お惣菜とかも買えたら良いです。スーパーももっと増えるといいな…。
- ◇ 国として男の人の労働時間を減らして欲しい。協力意欲はお父さんたちにあっても、朝8時～夜11時までいなければ協力する時間がない。結果母親の負担が増えてフルタイムで働くのが大変になっている。
- ◇ 引越して来て、子育てが始まり何も情報がなく、全て自分で調べるのが大変だった。病院ではベビーカーが入れるか、歯科の場合はベビーカーNGで赤ちゃんを抱いたまま診療だったり、病院を調べる時は具合が悪い時が多いので検索したらすぐわかると助かる。
- ◇ 区長さんと子育て世帯の座談会があると嬉しいです。直接意見を伝えられる場(オンラインでも可)がほしい。
- ◇ 他県に比べ療育や支援学校、支援学級の数が多いと聞きます。当事者なのでありがたいです。全国的に障害のあるこども、その親に優しい支援が広がればいいと思います。
- ◇ 保育園や幼稚園での性教育を学ぶ機会を設けてほしい。また、日本版 DBS が通らないようなら区長の選挙公約にもあった区独自の DBS を取り組むなど、対応してほしい。

第2章 小学生保護者調査の結果

1 お子さんや家族の状況について

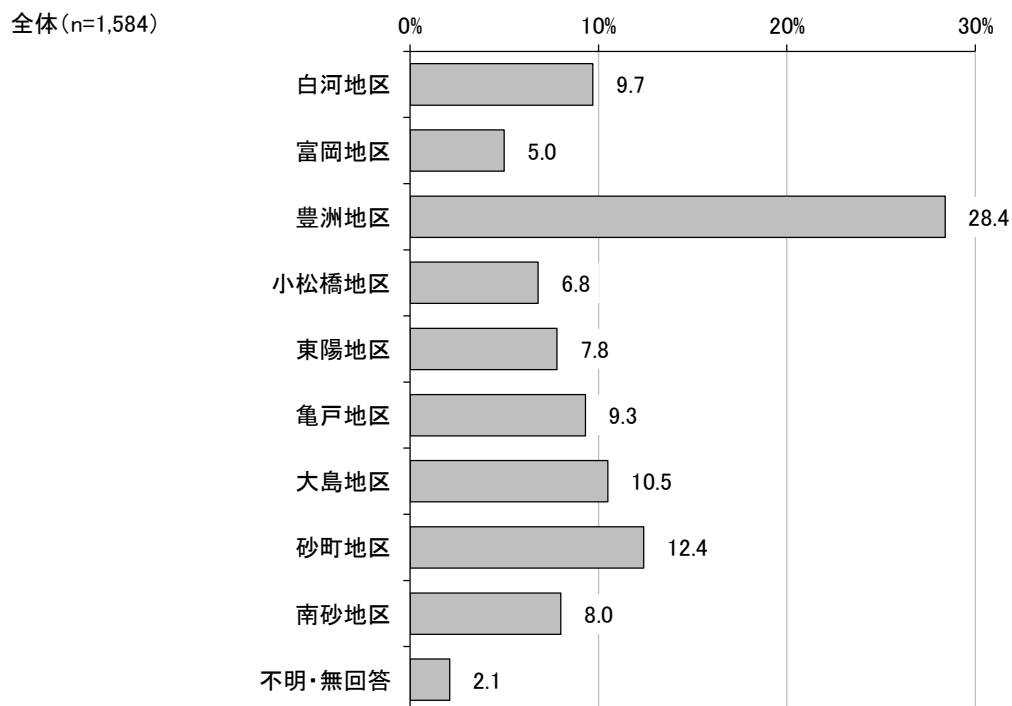
問1 お子さんの学年をお答えください。(1つに○)

こどもの学年についてみると、「1年生」が 19.0%と最も多く、次いで「3年生」が 18.1%となっています。



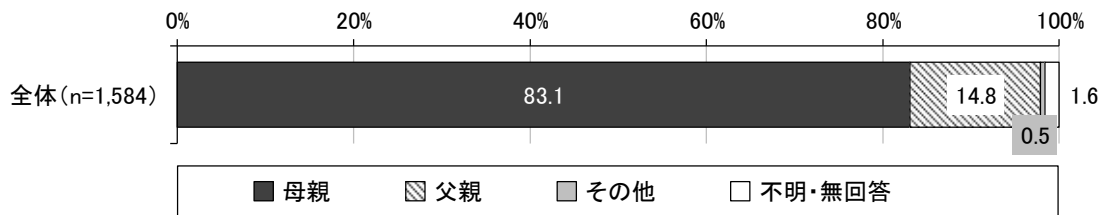
問2 お住まいの地区をお答えください。(1つに○)

居住地区についてみると、「豊洲地区」が 28.4%と最も多く、次いで「砂町地区」が 12.4%となっています。



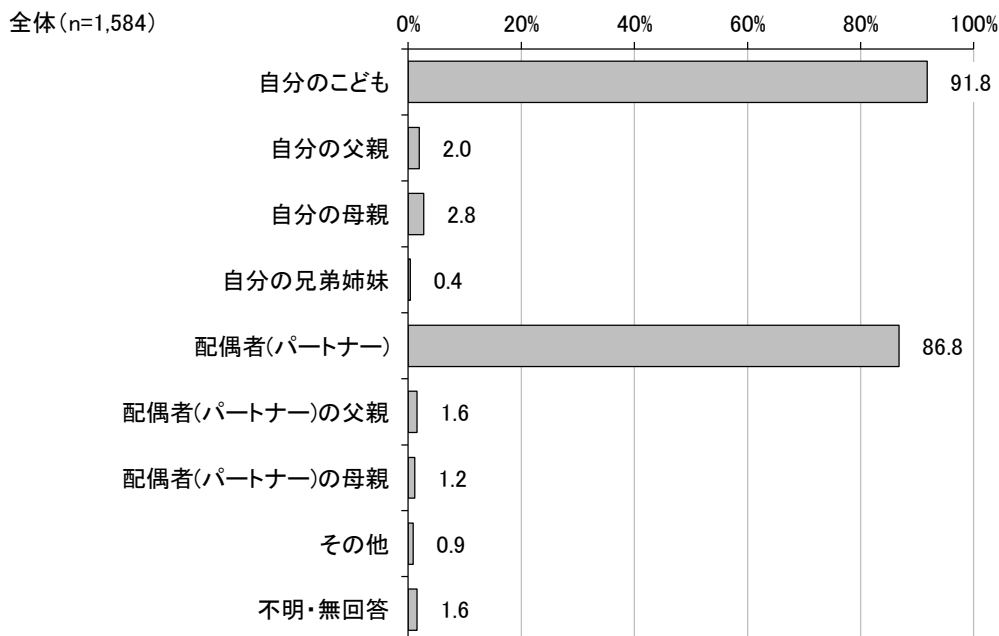
問3 回答されている方は、お子さんからみてどなたですか。（1つに○）

回答者についてみると、「母親」が83.1%と最も多く、次いで「父親」が14.8%となっています。



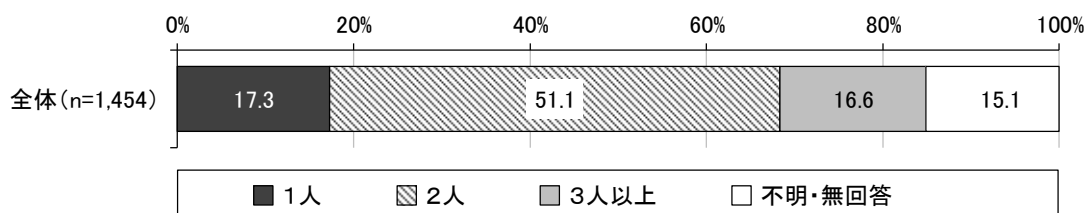
問4 同居しているご家族（あなたからみた続柄）はどなたですか。それぞれ人数も教えてください。（単身赴任しているご家族も含めてご回答ください。あてはまる番号すべてに○、人数はカッコの中に数字を記入）

同居している家族についてみると、「自分のこども」が91.8%と最も多く、次いで「配偶者(パートナー)」が86.8%となっています。



【自分のこどもの人数】

同居している自分のこどもの人数についてみると、「2人」が51.1%と最も多く、次いで「1人」が17.3%となっています。



【自分の兄弟姉妹の人数】

同居している自分の兄弟姉妹の人数についてみると、「1人」が85.7%と最も多くなっています。

全体 (n=7)	件数	%
1人	6	85.7
2人	0	0.0
3人以上	0	0.0
不明・無回答	1	14.3

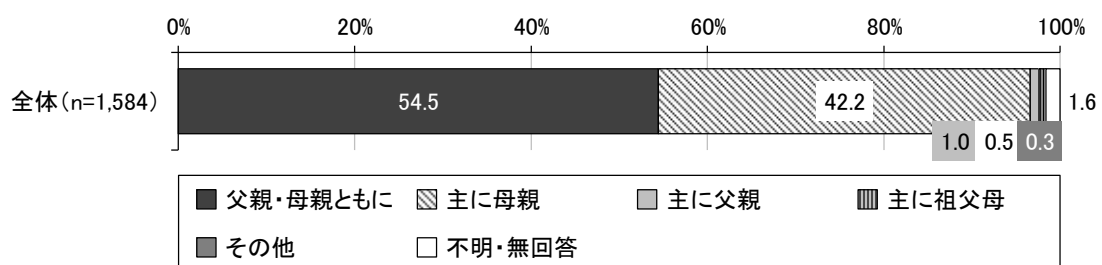
【その他の人数】

同居しているその他の人数についてみると、「1人」と「2人」がそれぞれ42.9%となっています。

全体 (n=14)	件数	%
1人	6	42.9
2人	6	42.9
3人以上	0	0.0
不明・無回答	2	14.3

問5 お子さんの子育てを主にしているのは、お子さんからみてどなたですか。(1つに○)

子育てを主にしている人についてみると、「父親・母親ともに」が54.5%と最も多く、次いで「主に母親」が42.2%となっています。



問6 お子さんの保護者の就労状況（自営業、家族従事者含む）をお答えください。

※フルタイムとは週5日程度・1日8時間程度の就労、パート・アルバイト等とはフルタイム以外の就労をいいます。

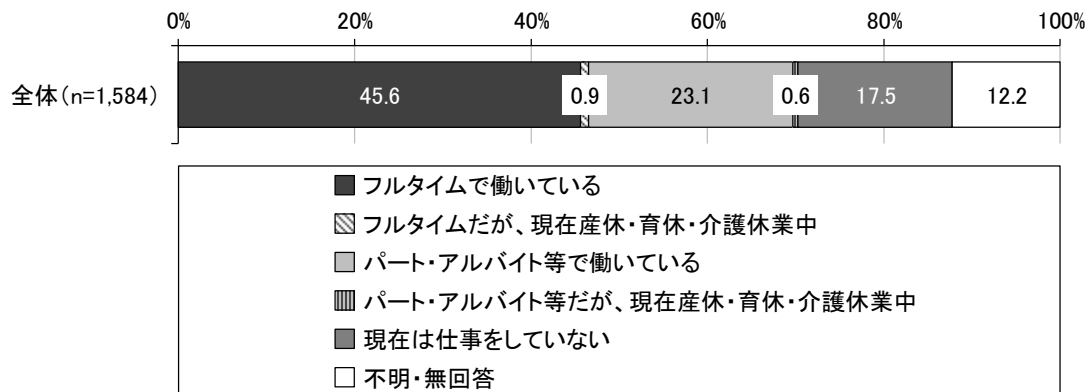
※産休・育休・介護休業中の方は休業に入る前の状況をご記入ください。

※就労日数が一定でない場合は最も多いパターンをご記入ください。

※自宅で仕事をされている方の就労時間は仕事の開始時間と終了時間を就労時間としてください。

（1）母親の就労状況（1つに○）

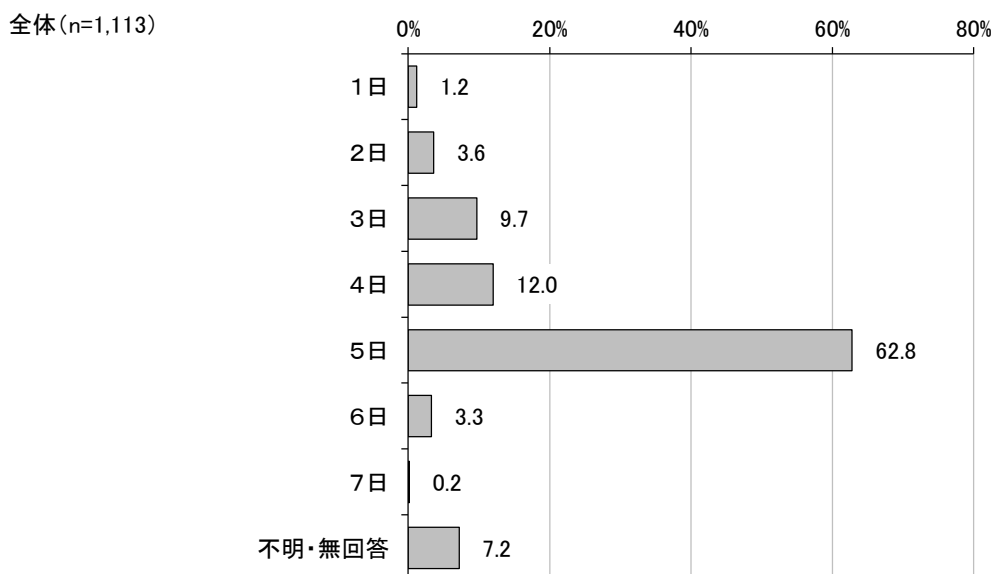
母親の就労状況についてみると、「フルタイムで働いている」が45.6%と最も多く、次いで「パート・アルバイト等で働いている」が23.1%となっています。



①～⑤は問6（1）で「フルタイムで働いている」「フルタイムだが、現在産休・育休・介護休業中」「パート・アルバイト等で働いている」「パート・アルバイト等だが、現在産休・育休・介護休業中」を選んだ方

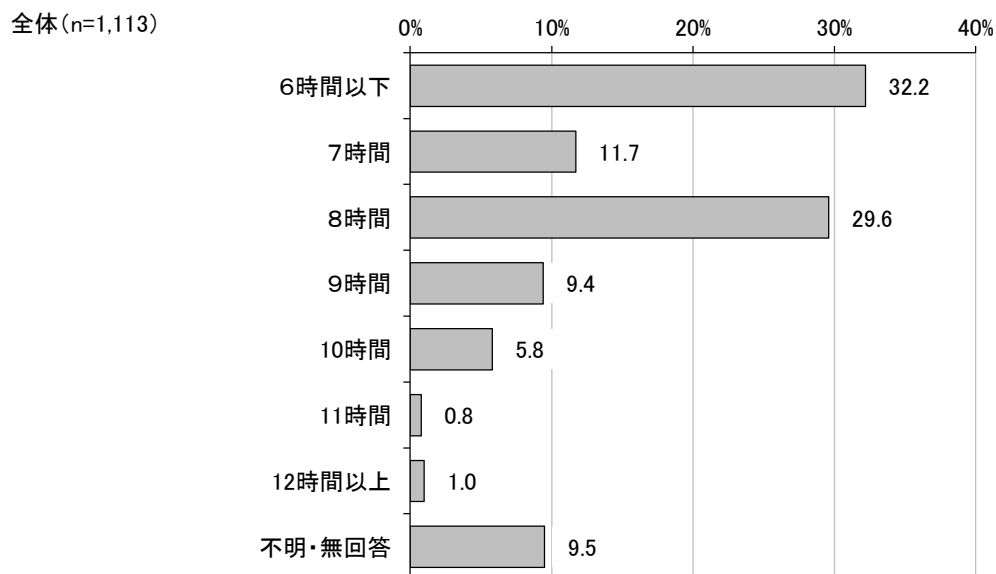
①就労日数【母親】

母親の週あたりの就労日数についてみると、「5日」が62.8%と最も多く、次いで「4日」が12.0%となっています。



②平均就労時間（残業含む）【母親】

母親の1日あたりの平均就労時間(残業含む)についてみると、「6時間以下」が 32.2%と最も多く、次いで「8時間」が 29.6%となっています。

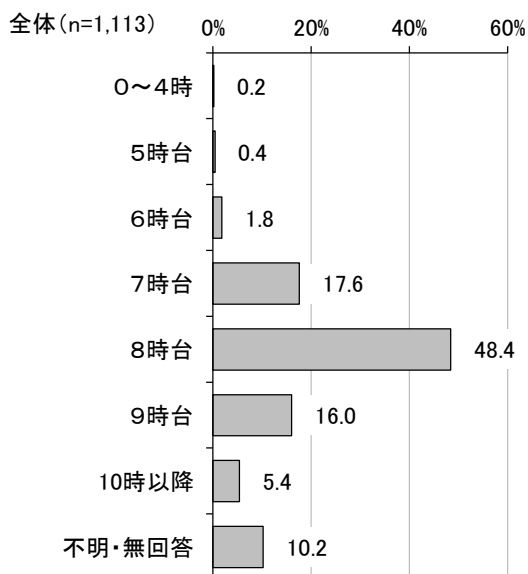


③平均的な家を出る時刻【母親】

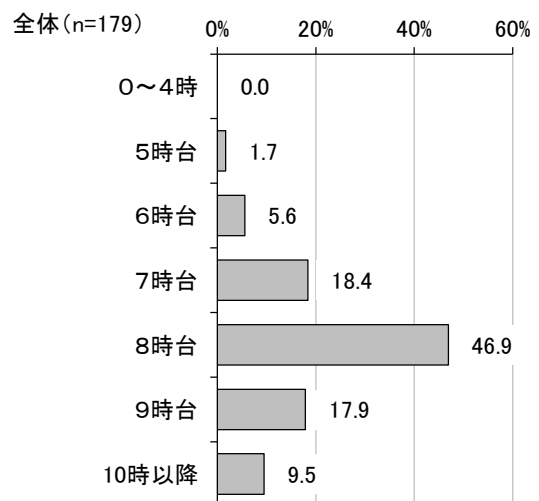
母親の平均的な家を出る時刻についてみると、平日は「8時台」が 48.4%と最も多く、次いで「7時台」が 17.6%となっています。

土日祝は、「8時台」が 46.9%と最も多く、次いで「7時台」が 18.4%となっています。

■ 平日



■ 土日祝



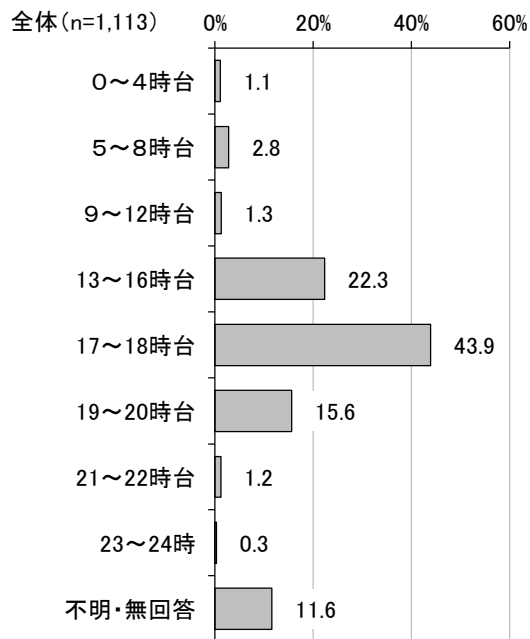
※不明・無回答を除く

④平均的な帰宅時刻【母親】

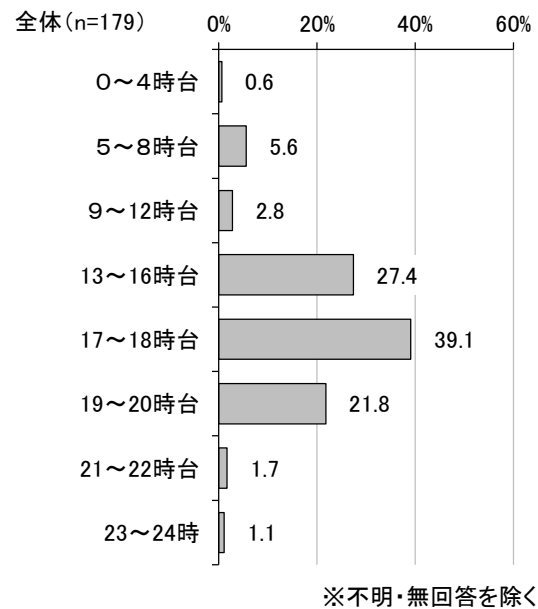
母親の平均的な帰宅時刻についてみると、平日は「17～18 時台」が 43.9%と最も多く、次いで「13～16 時台」が 22.3%となっています。

土日祝は、「17～18 時台」が 39.1%と最も多く、次いで「13～16 時台」が 27.4%となっています。

■ 平日

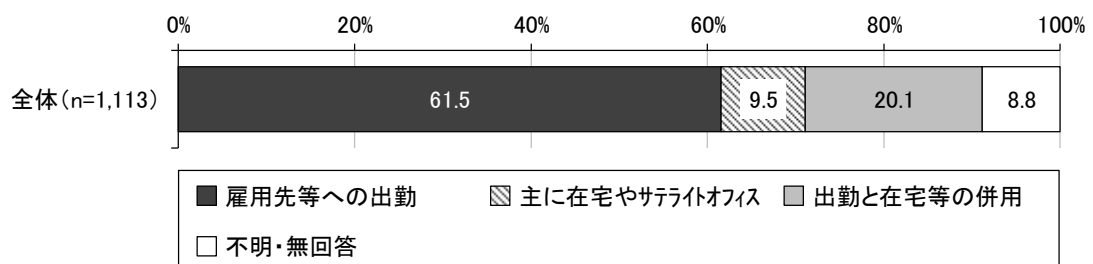


■ 土日祝



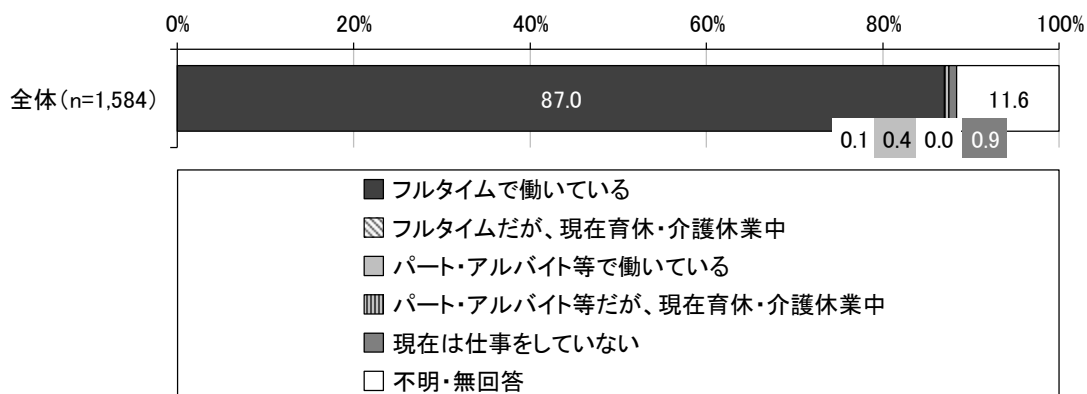
⑤勤務形態【母親】

母親の勤務形態についてみると、「雇用先等への出勤」が 61.5%と最も多く、次いで「出勤と在宅等の併用」が 20.1%となっています。



(2) 父親の就労状況（1つに○）

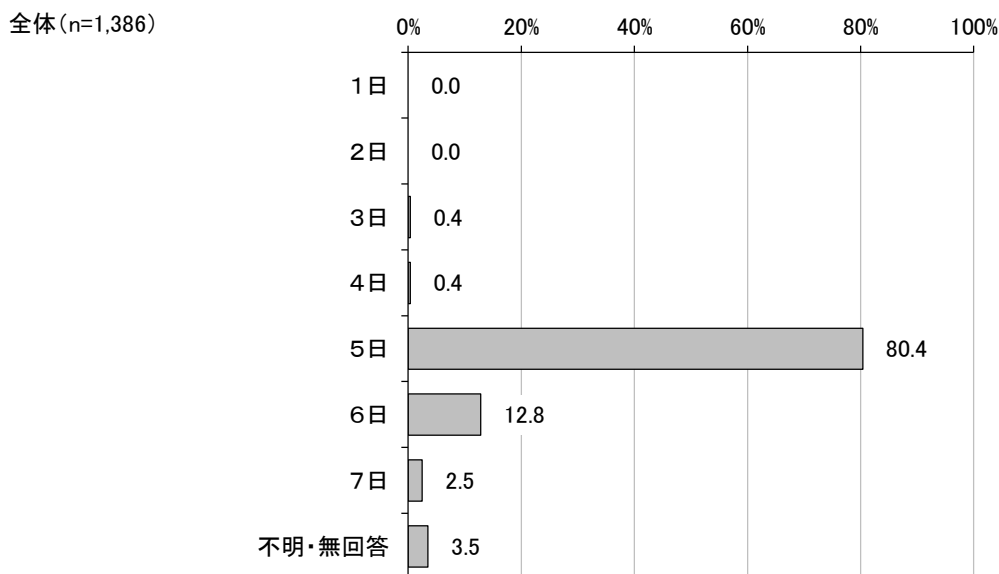
父親の就労状況についてみると、「フルタイムで働いている」が 87.0%と最も多く、次いで「現在は仕事をしていない」が 0.9%となっています。



①～⑤は問6（2）で「フルタイムで働いている」「フルタイムだが、現在育休・介護休業中」「パート・アルバイト等で働いている」「パート・アルバイト等だが、現在育休・介護休業中」を選んだ方

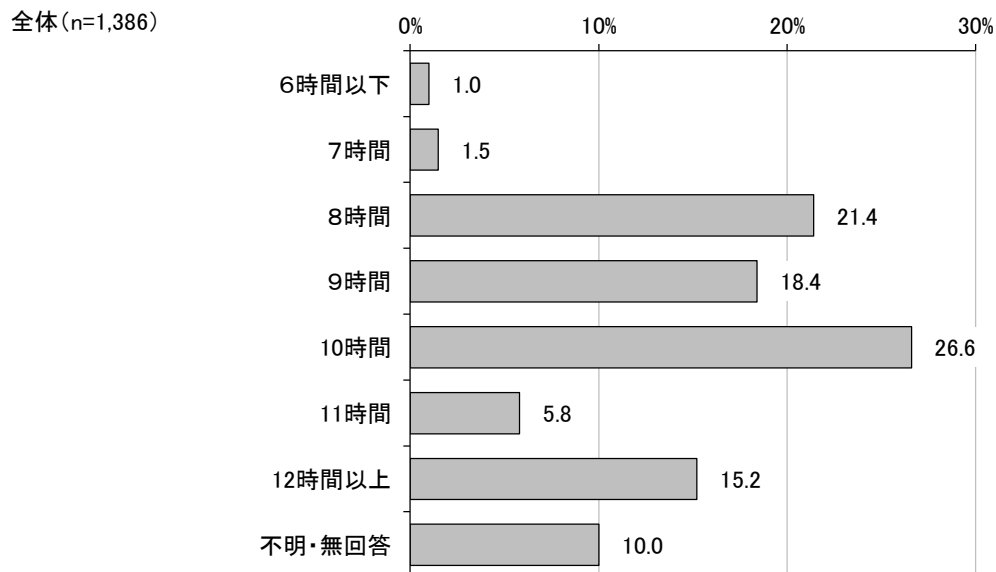
①就労日数【父親】

父親の週あたりの就労日数についてみると、「5日」が 80.4%と最も多く、次いで「6日」が 12.8%となっています。



②平均就労時間（残業含む）【父親】

父親の1日あたりの平均就労時間(残業含む)についてみると、「10 時間」が 26.6%と最も多く、次いで「8時間」が 21.4%となっています。

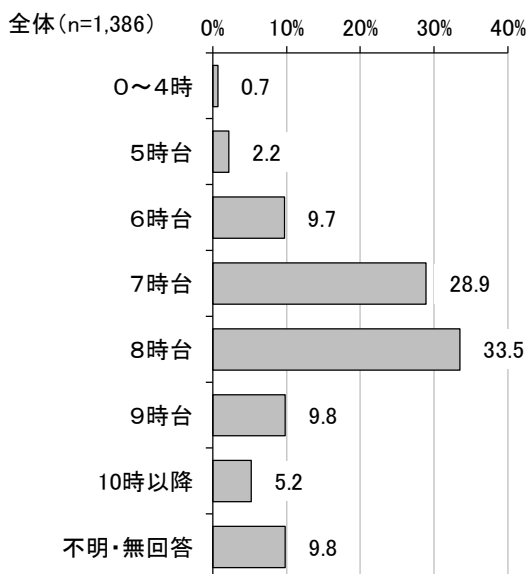


③平均的な家を出る時刻【父親】

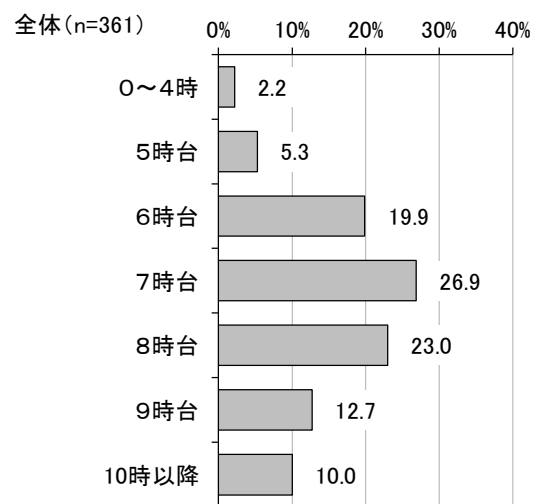
父親の平均的な家を出る時刻についてみると、平日は「8時台」が 33.5%と最も多く、次いで「7時台」が 28.9%となっています。

土日祝は、「7時台」が 26.9%と最も多く、次いで「8時台」が 23.0%となっています。

■ 平日



■ 土日祝



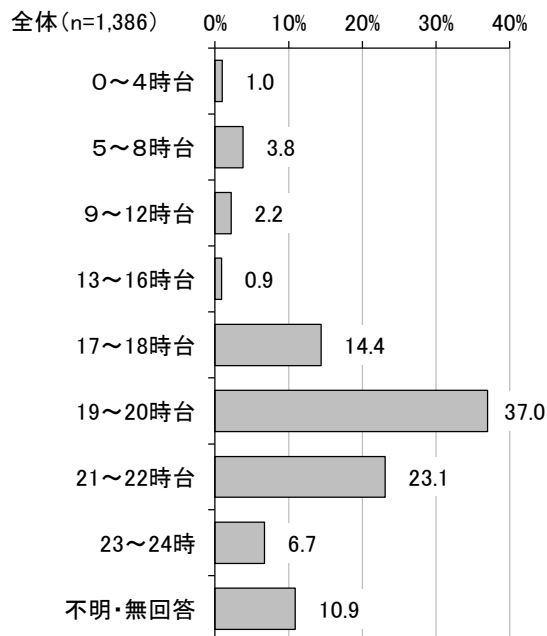
※ 不明・無回答を除く

④平均的な帰宅時刻【父親】

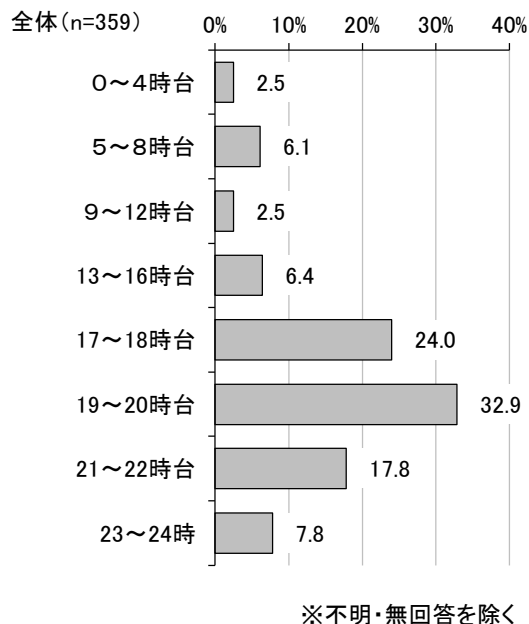
父親の平均的な帰宅時刻についてみると、平日は「19～20 時台」が 37.0%と最も多く、次いで「21～22 時台」が 23.1%となっています。

土日祝は、「19～20 時台」が 32.9%と最も多く、次いで「17～18 時台」が 24.0%となっています。

■ 平日

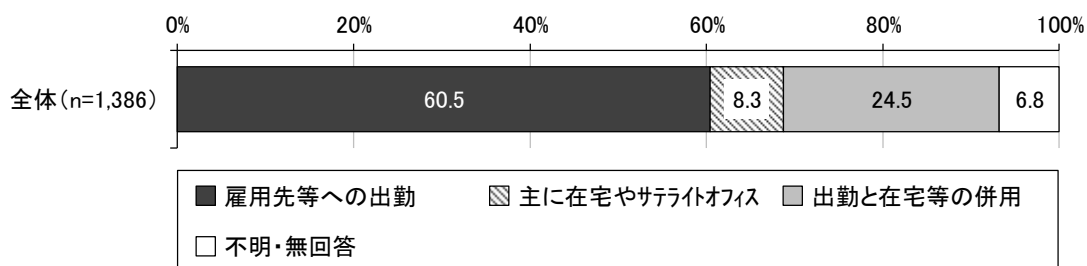


■ 土日祝



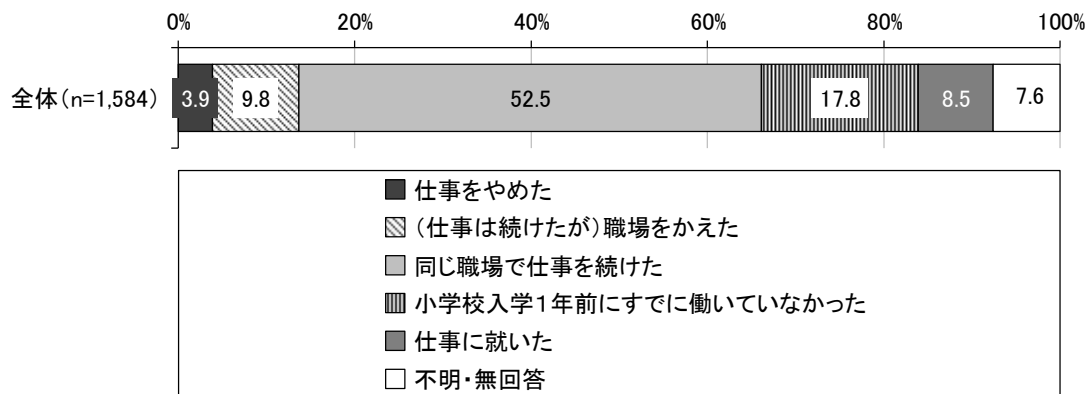
⑤勤務形態【父親】

父親の勤務形態についてみると、「雇用先等への出勤」が 60.5%と最も多く、次いで「出勤と在宅等の併用」が 24.5%となっています。



問7 お子さんが小学校入学の1年前から入学の1年後までの間に、母親の方の働き方に変化がありましたか。(1つに○)

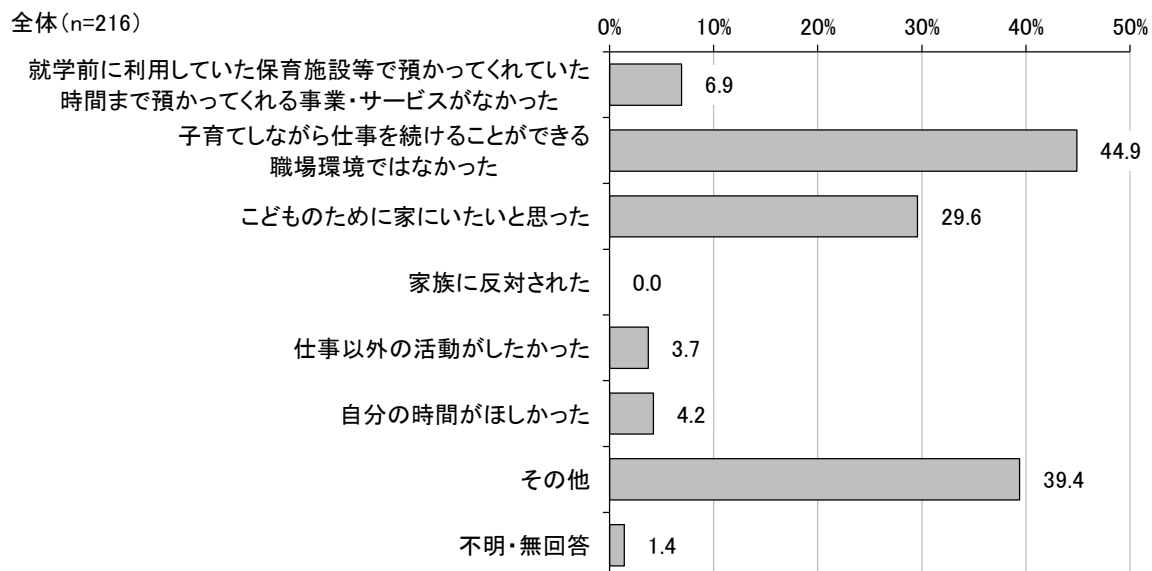
こどもの小学校入学の1年前から入学の1年後までの間に、母親の働き方に変化があったかについてみると、「同じ職場で仕事を続けた」が52.5%と最も多く、次いで「小学校入学1年前にすでに働いていなかった」が17.8%となっています。



問7で「仕事をやめた」「(仕事は続けたが) 職場をかえた」を選んだ方

問8 仕事をやめたり、職場をかわった理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

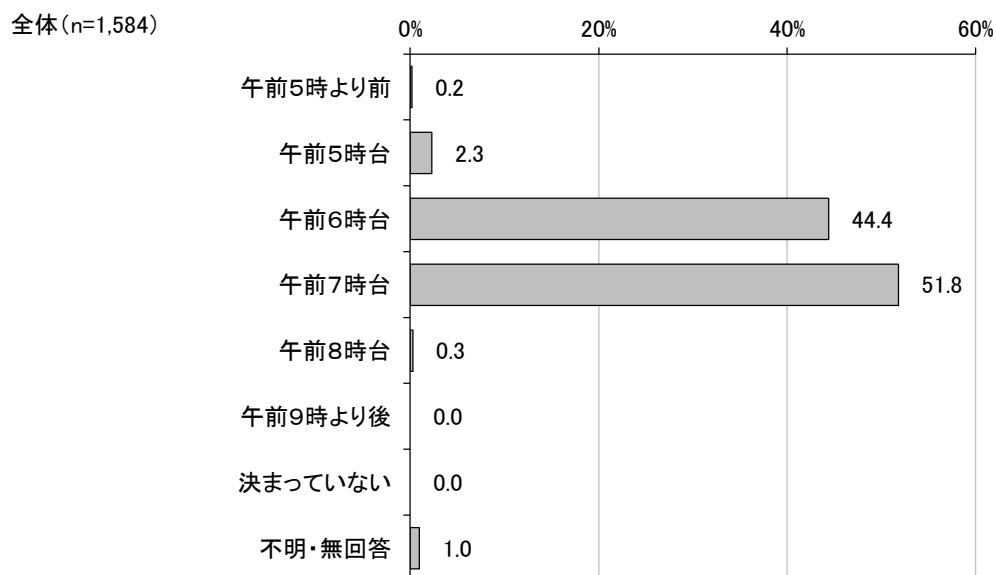
仕事をやめたり、職場をかわった理由についてみると、「子育てしながら仕事を続けることができる職場環境ではなかった」が44.9%と最も多く、次いで「その他」が39.4%となっています。「その他」の回答では、「キャリアアップのため」、「こどもの習い事のため」などの意見があります。



2 お子さんの日常生活について

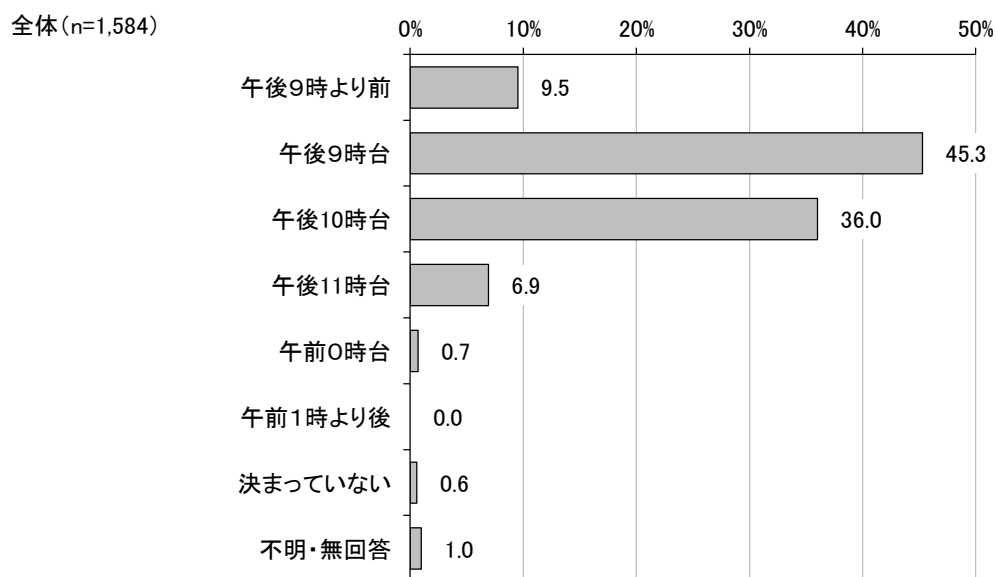
問9 お子さんは、平日（月曜日～金曜日）、何時に起きていますか。（1つに○）

平日の起床時間についてみると、「午前7時台」が 51.8%と最も多く、次いで「午前6時台」が 44.4%となっています。



問10 お子さんは、平日（月曜日～金曜日）、何時に寝ていますか。（1つに○）

平日の就寝時間についてみると、「午後9時台」が 45.3%と最も多く、次いで「午後10時台」が 36.0%となっています。

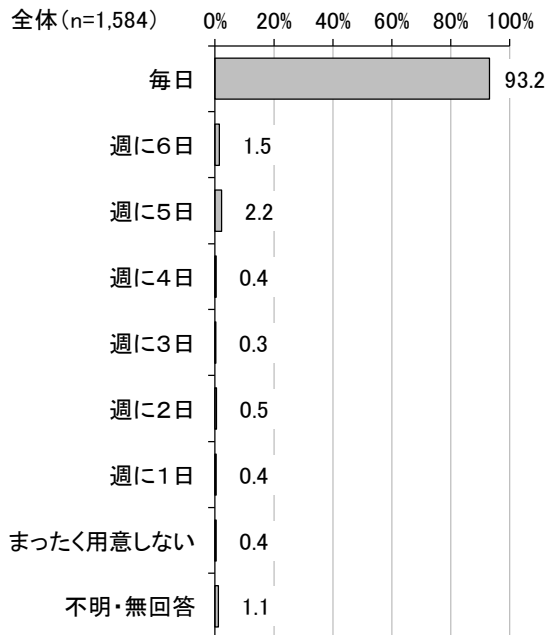


問 11 あなたのご家庭では、1週間にどれくらいお子さんに朝ごはん、晩ごはんを用意していますか。(それぞれ、あてはまる番号1つに○)

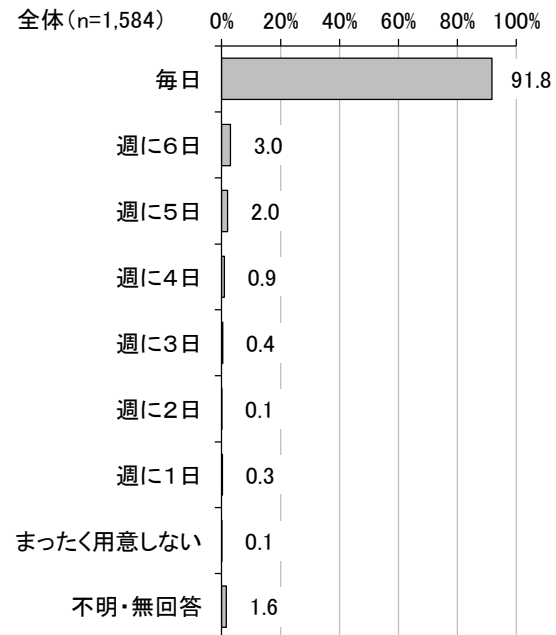
1週間にどれくらいこどもに朝ごはんを用意しているかについてみると、「毎日」が93.2%と最も多く、次いで「週に5日」が2.2%となっています。

晩ごはんでは、「毎日」が91.8%と最も多く、次いで「週に6日」が3.0%となっています。

①朝ごはん



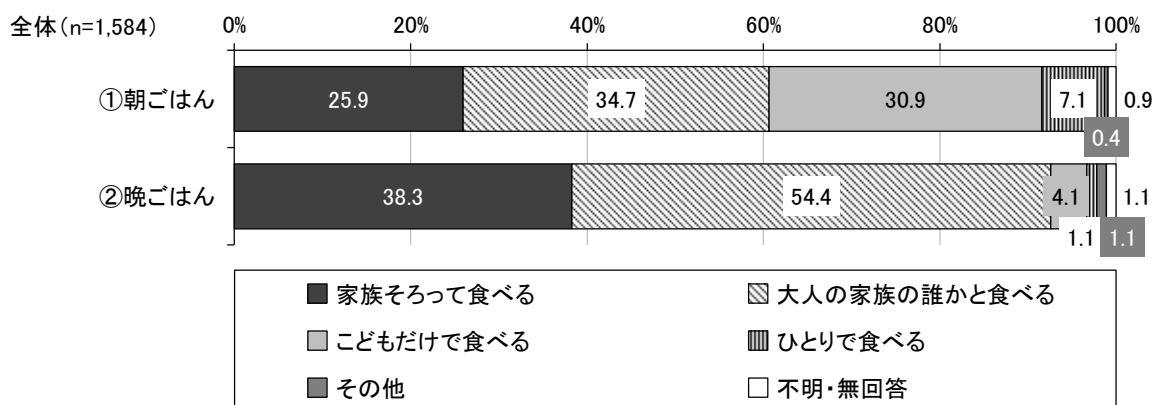
②晩ごはん



問 12 お子さんは、普段の朝ごはん、晩ごはんをどのように食事していますか。(それぞれ、あてはまる番号1つに○)

朝ごはんをどのように食事しているかについてみると、「大人の家族の誰かと食べる」が34.7%と最も多く、次いで「こどもだけで食べる」が30.9%となっています。

晩ごはんでは、「大人の家族の誰かと食べる」が54.4%と最も多く、次いで「家族そろって食べる」が38.3%となっています。



第2部 区民意向調査結果

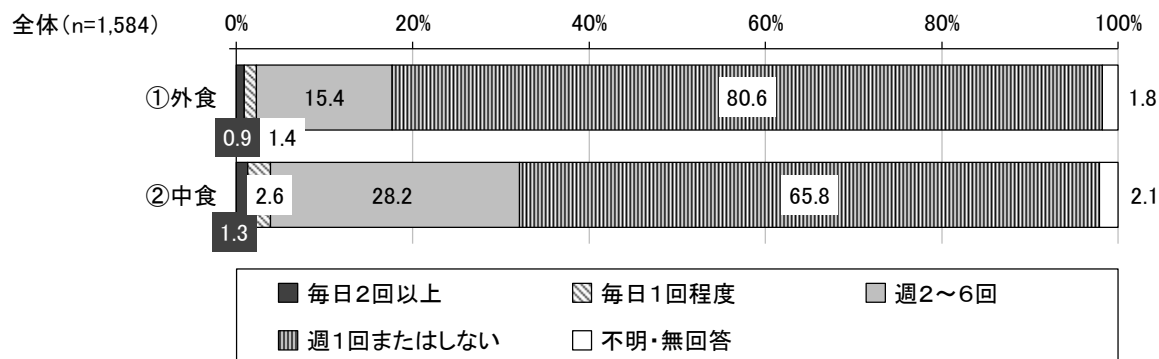
問 13 あなたのご家庭では、お子さんの食事について外食や中食がどのくらいの頻度でありますか。(それぞれ、あてはまる番号 1 つに○)

※「外食」：レストランなどの飲食店に行き、そこで食事することをいいます。

※「中食」：市販のお弁当やお惣菜、家庭外で調理・加工された食品を、家庭でそのまま食べることをいいます。

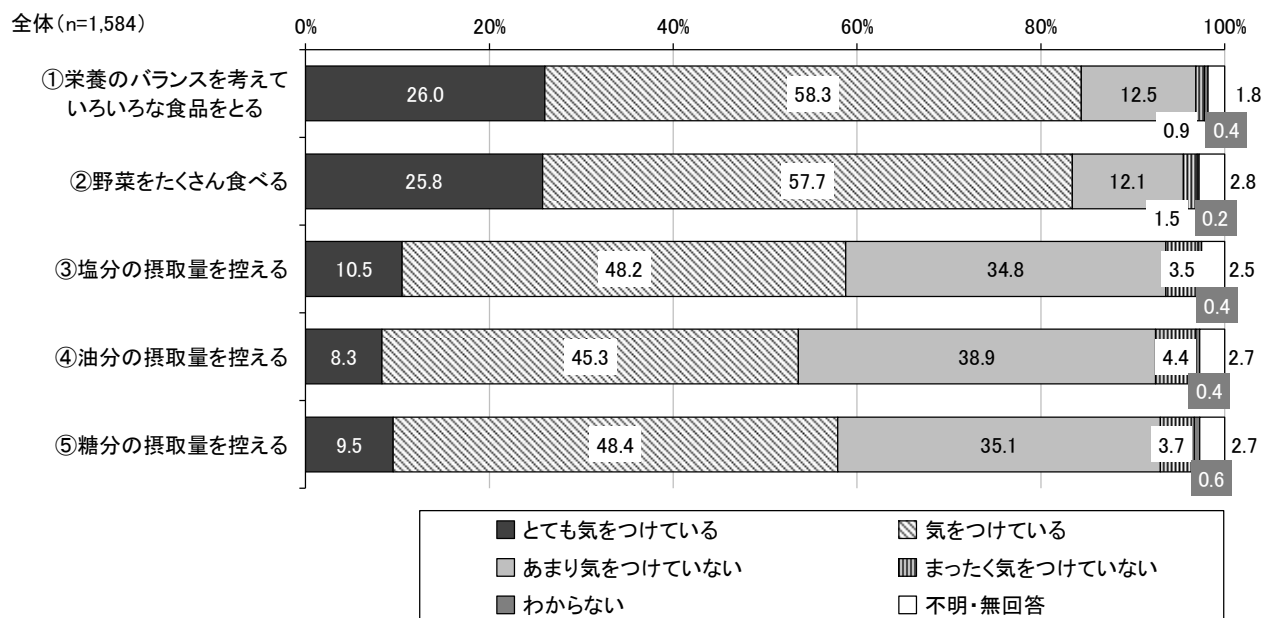
外食の頻度についてみると、「週1回またはしない」が 80.6%と最も多く、次いで「週2～6回」が 15.4%となっています。

中食の頻度についてみると、「週1回またはしない」が 65.8%と最も多く、次いで「週2～6回」が 28.2%となっています。



問 14 あなたのご家庭では、お子さんの食生活について、どのような点に気をつけていますか。(それぞれ、あてはまる番号 1 つに○)

①及び②では「とても気をつけている」と「気をつけている」を合わせた割合が 80%以上となっていますが、③、④及び⑤では「あまり気をつけていない」が 30%台となっています。

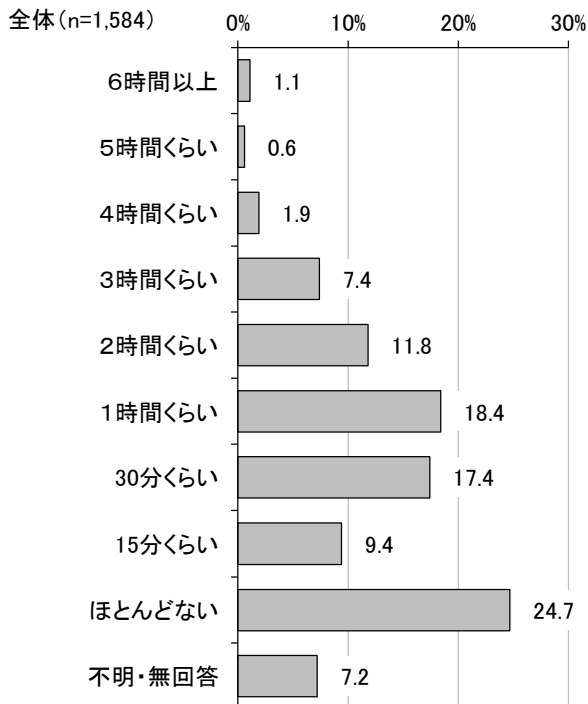


問 15 平日にお子さんと一緒に何かをしたりする時間は、平均するとだいたいどのくらいになりますか。（それぞれ、あてはまる番号 1 つに○）

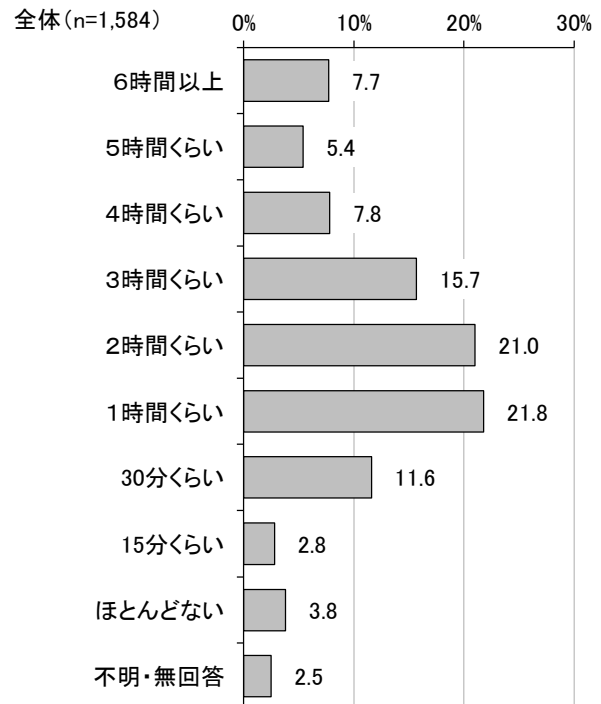
平日にこどもと一緒に何かをしたりする時間についてみると、父親では「ほとんどない」が 24.7%と最も多く、次いで「1時間くらい」が 18.4%となっています。

母親では、「1時間くらい」が 21.8%と最も多く、次いで「2時間くらい」が 21.0%となっています。

①父親



②母親

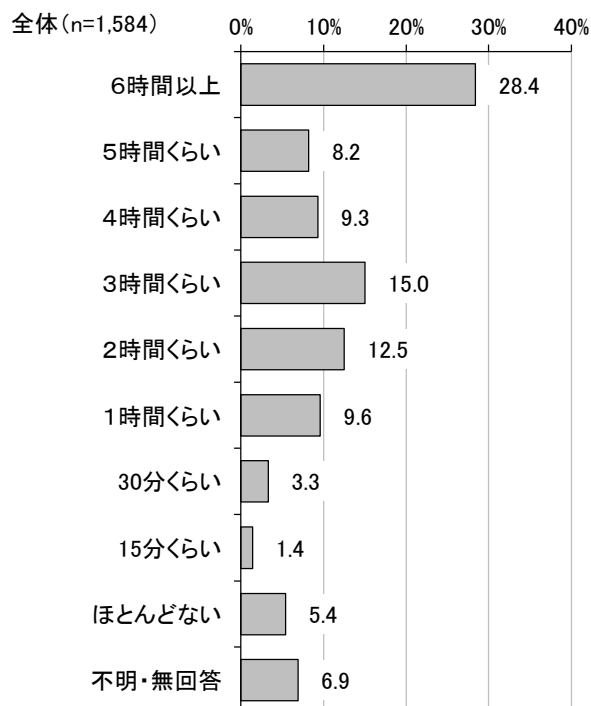


問 16 休日（学校がお休みの日）にお子さんと一緒に何かをしたりする時間は、平均するとだいたいどのくらいになりますか。（それぞれ、あてはまる番号 1 つに○）

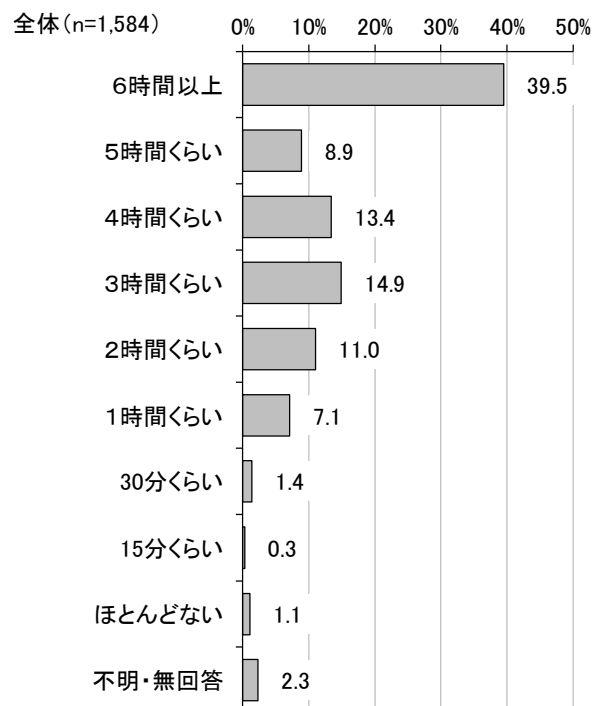
休日にこどもと一緒に何かをしたりする時間についてみると、父親では「6時間以上」が 28.4%と最も多く、次いで「3時間くらい」が 15.0%となっています。

母親では、「6時間以上」が 39.5%と最も多く、次いで「3時間くらい」が 14.9%となっています。

①父親

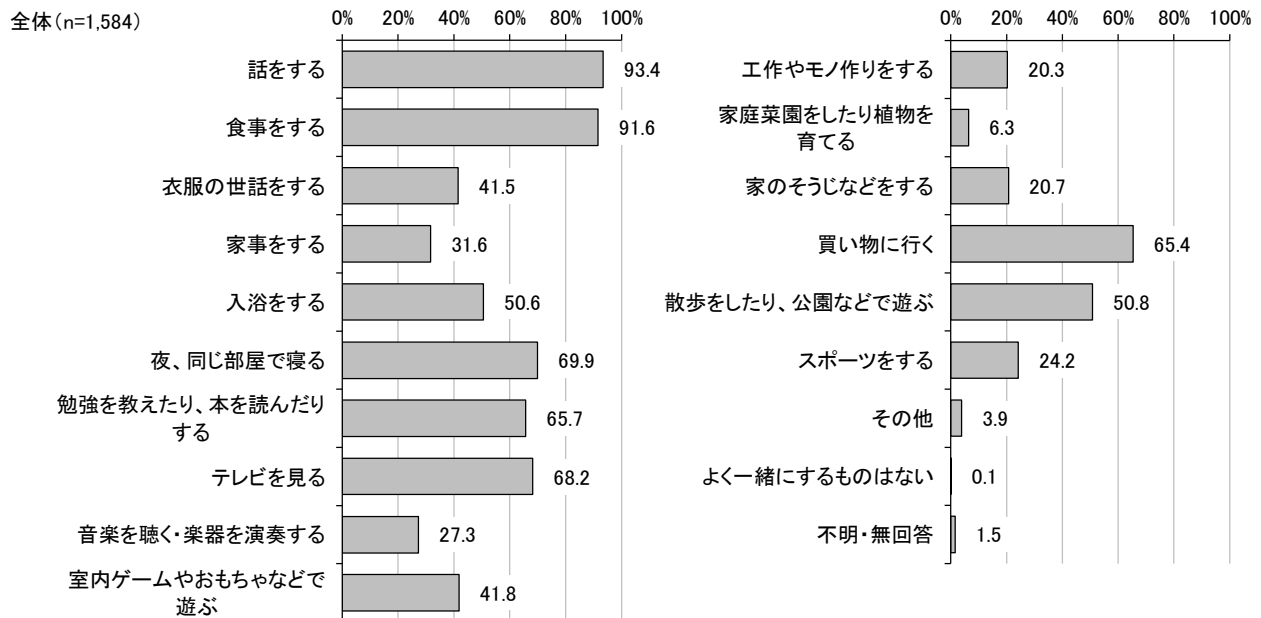


②母親



問 17 あなたが、お子さんとよく一緒にすることは、次のうちどれですか。
(あてはまるものすべてに○)

こどもとよく一緒にすることについてみると、「話をする」が 93.4%と最も多く、次いで「食事を
する」が 91.6%となっています。

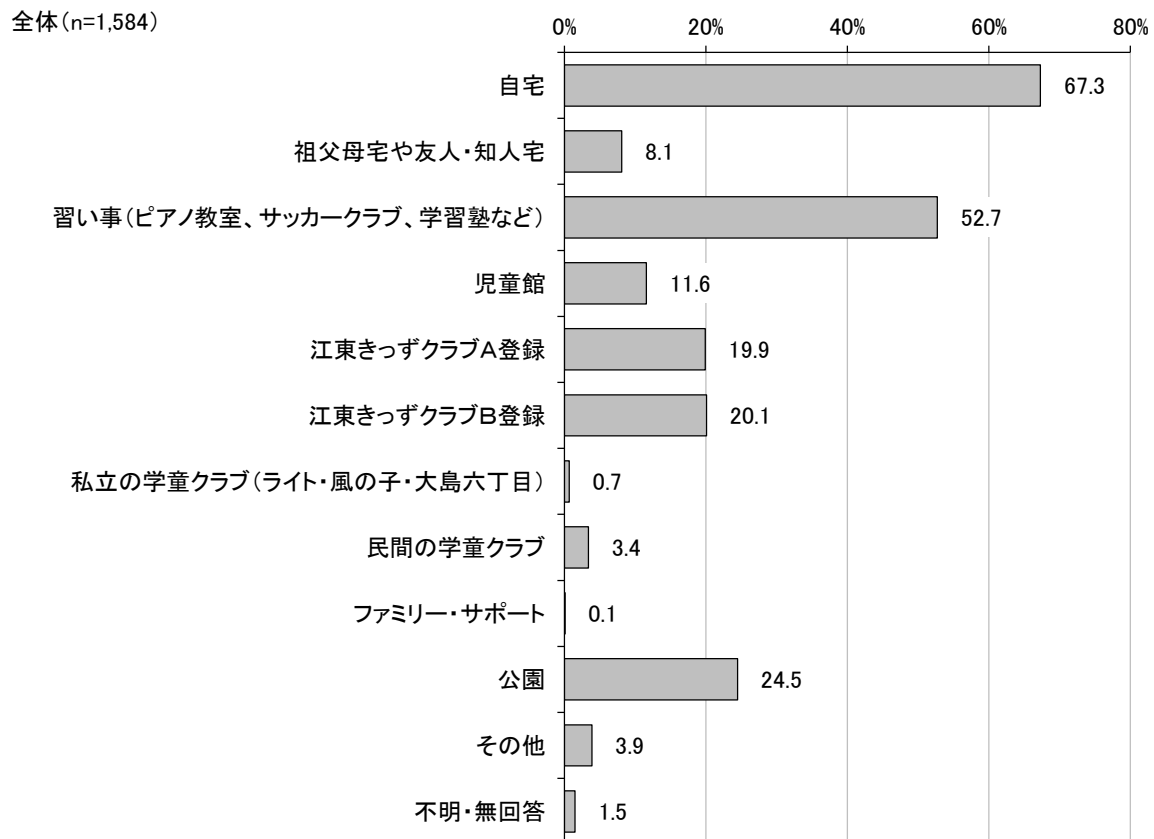


3 お子さんの放課後の過ごし方について

問 18 お子さんについて、放課後(平日の小学校終了後)の時間をどこで過ごしていますか。
(あてはまるものすべてに○)

※児童館にあるきっずクラブを利用している場合は「江東きっずクラブB登録」に○印をつけてください。

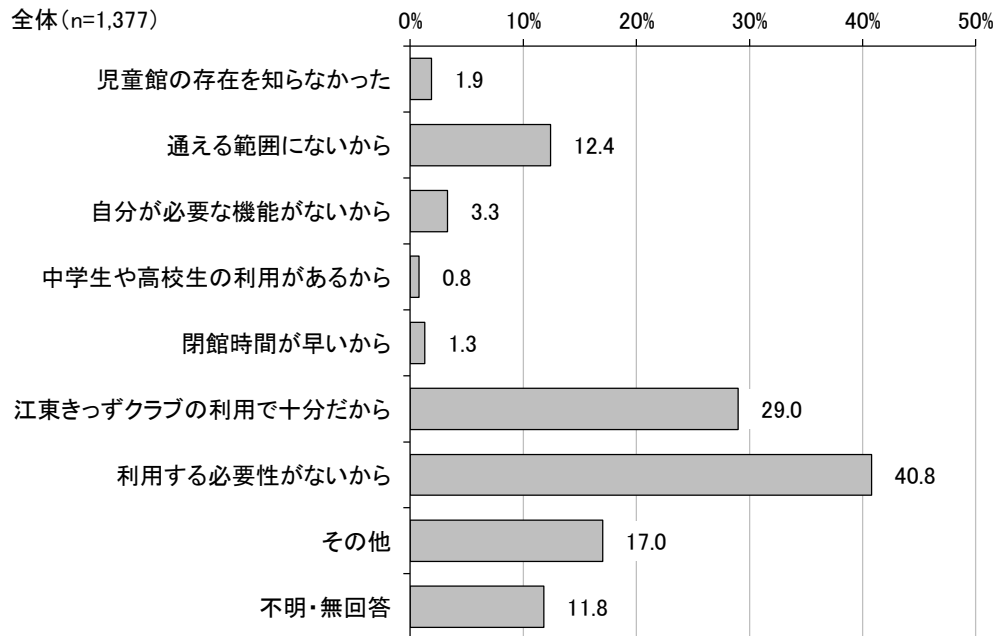
放課後の時間を過ごしている場所についてみると、「自宅」が 67.3%と最も多く、次いで「習い事(ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など)」が 52.7%となっています。



問 18 で「児童館」に回答しなかった方

問 19 宛名のお子さんが児童館を利用しない理由は何ですか。
(あてはまるものすべてに○)

児童館を利用しない理由についてみると、「利用する必要性がないから」が 40.8%と最も多く、次いで「江東きっずクラブの利用で十分だから」が 29.0%となっています。



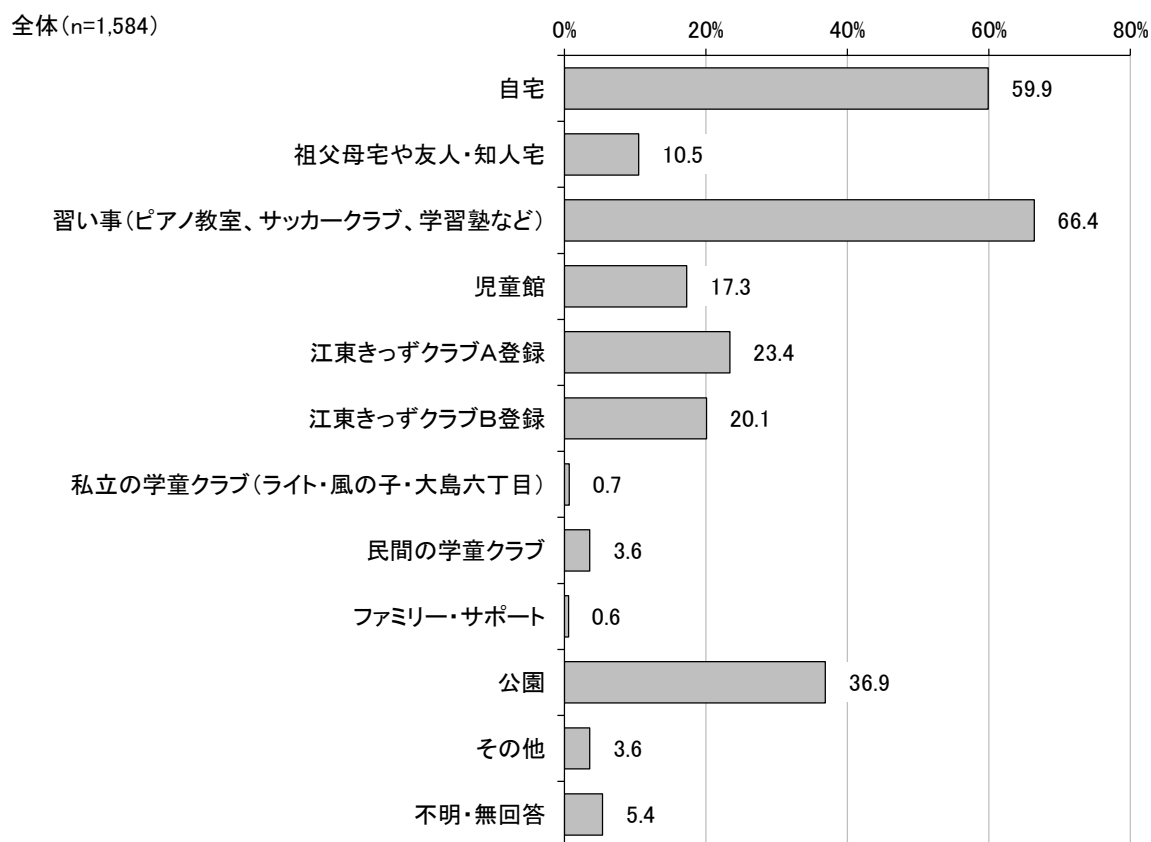
問 20 お子さんについて、放課後(平日の小学校終了後)の時間をどのように過ごさせたいと思いますか。

(1) のあてはまるものすべてに○をつけ、それぞれ日数を(2)にご記入ください。また、(1)で「児童館」「江東きっずクラブA登録」「江東きっずクラブB登録」「私立の学童クラブ(ライト・風の子・大島六丁目)」「民間の学童クラブ」「ファミリー・サポート」を選んだ方は、(3)に何年生まで利用したいかの希望をご記入ください。

※児童館にあるきっずクラブを利用したい場合は「江東きっずクラブB登録」に○印をつけてください。

(1) 過ごさせたい場所

放課後の時間を過ごさせたい場所についてみると、「習い事(ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など)」が66.4%と最も多く、次いで「自宅」が59.9%となっています。



(2) 利用希望日数

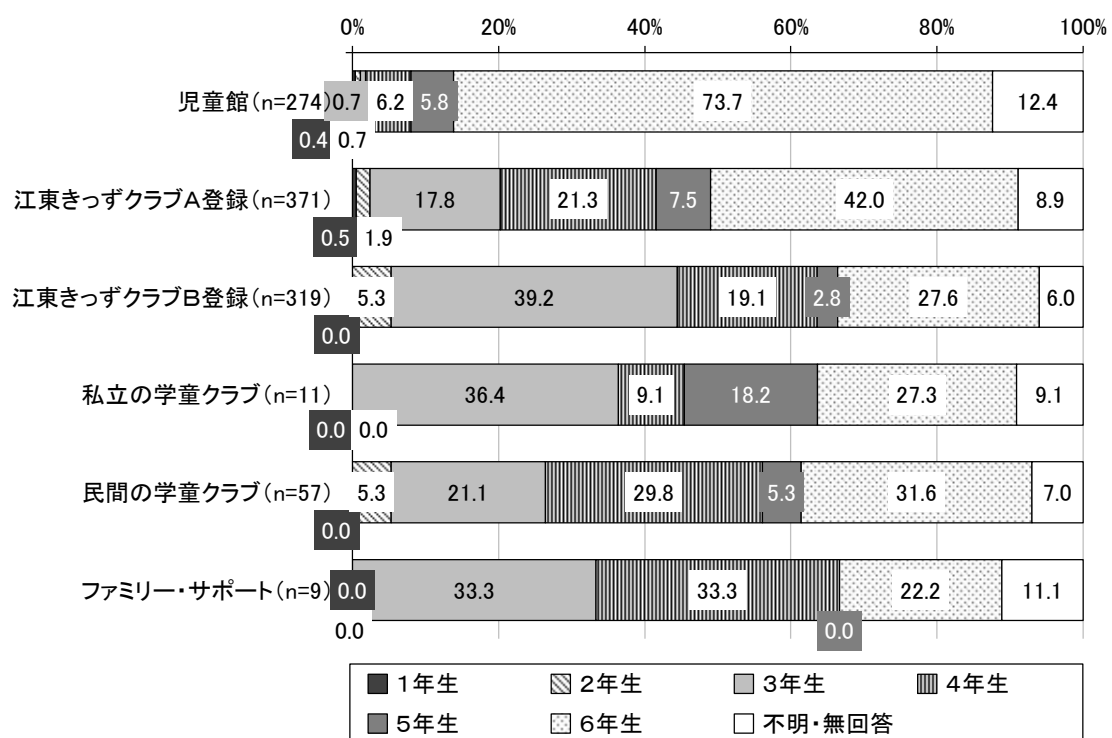
利用希望日数についてみると、自宅、習い事、民間の学童クラブ、公園、その他では「2日」、祖父母宅や友人・知人宅、児童館、江東きっずクラブ A 登録、ファミリー・サポートでは「1日」、江東きっずクラブ B 登録では「5日」が最も多くなっています。

	n	1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日	無回答
自宅	949	18.3	28.3	20.2	7.7	14.8	1.8	5.8	3.1
祖父母宅や友人・知人宅	167	59.9	23.4	8.4	1.8	4.2	0.6	0.0	1.8
習い事	1,051	14.1	35.2	31.9	9.8	6.5	0.9	0.2	1.5
児童館	274	44.9	26.6	11.7	5.1	4.7	0.0	1.8	5.1
江東きっずクラブA登録	371	24.8	19.4	21.0	9.4	18.6	0.8	0.5	5.4
江東きっずクラブB登録	319	4.1	10.3	20.7	6.9	51.4	3.1	0.6	2.8
私立の学童クラブ	11	27.3	0.0	18.2	18.2	27.3	0.0	0.0	9.1
民間の学童クラブ	57	15.8	40.4	17.5	3.5	17.5	0.0	0.0	5.3
ファミリー・サポート	9	55.6	22.2	11.1	0.0	11.1	0.0	0.0	0.0
公園	584	26.5	30.7	22.4	5.5	8.9	0.3	2.4	3.3
その他	57	24.6	29.8	15.8	7.0	19.3	0.0	0.0	3.5

(1) で「児童館」「江東きっずクラブ A 登録」「江東きっずクラブ B 登録」「私立の学童クラブ (ライト・風の子・大島六丁目)」「民間の学童クラブ」「ファミリー・サポート」を選んだ方

(3) 利用したい学年

利用したい学年についてみると、児童館、江東きっずクラブ A 登録では「6年生」、江東きっずクラブ B 登録、私立の学童クラブでは「3年生」、民間の学童クラブでは「6年生」が最も多くなっています。

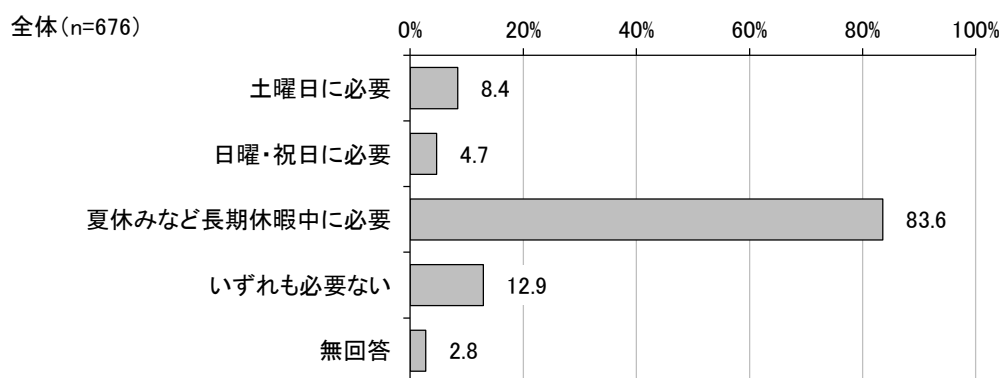


第2部 区民意向調査結果

問 20 で「江東きっずクラブ A 登録」「江東きっずクラブ B 登録」「私立の学童クラブ（ライト・風の子・大島六丁目）」「民間の学童クラブ」を選んだ方

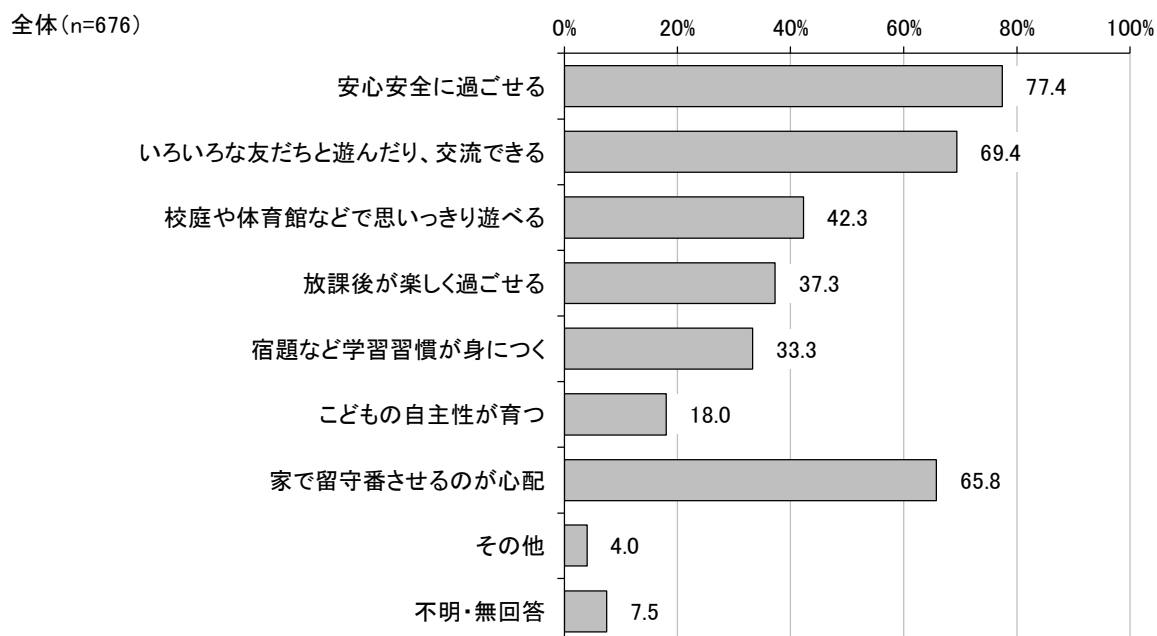
問 21 お子さんは、土曜日、日曜・祝日や夏休みなどの長期休暇中の利用が必要ですか。
なお、利用にあたっては、一定の利用料がかかります。
(あてはまるものすべてに○)

土曜日、日曜・祝日や夏休みなどの長期休暇中の利用が必要かについてみると、「夏休みなど長期休暇中に必要」が 83.6%と最も多く、次いで「いずれも必要ない」が 12.9%となっています。



問 22 利用したい理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

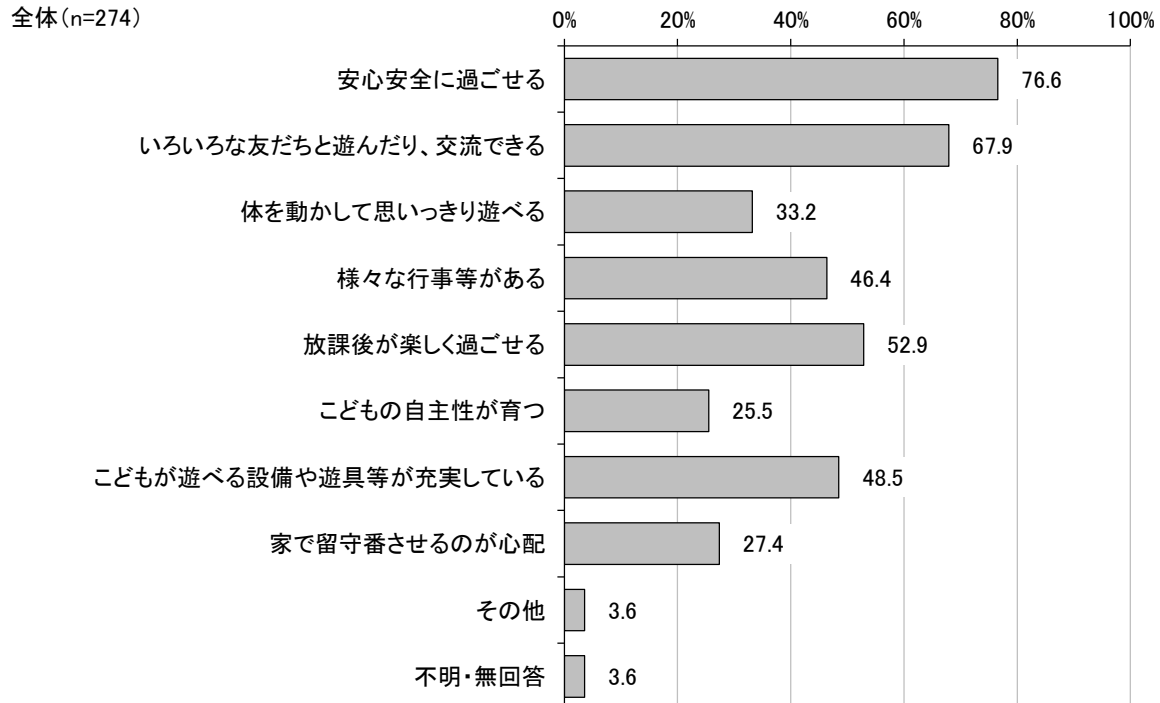
利用したい理由についてみると、「安心安全に過ごせる」が 77.4%と最も多く、次いで「いろいろな友だちと遊んだり、交流できる」が 69.4%となっています。



問 20 で「児童館」を選んだ方

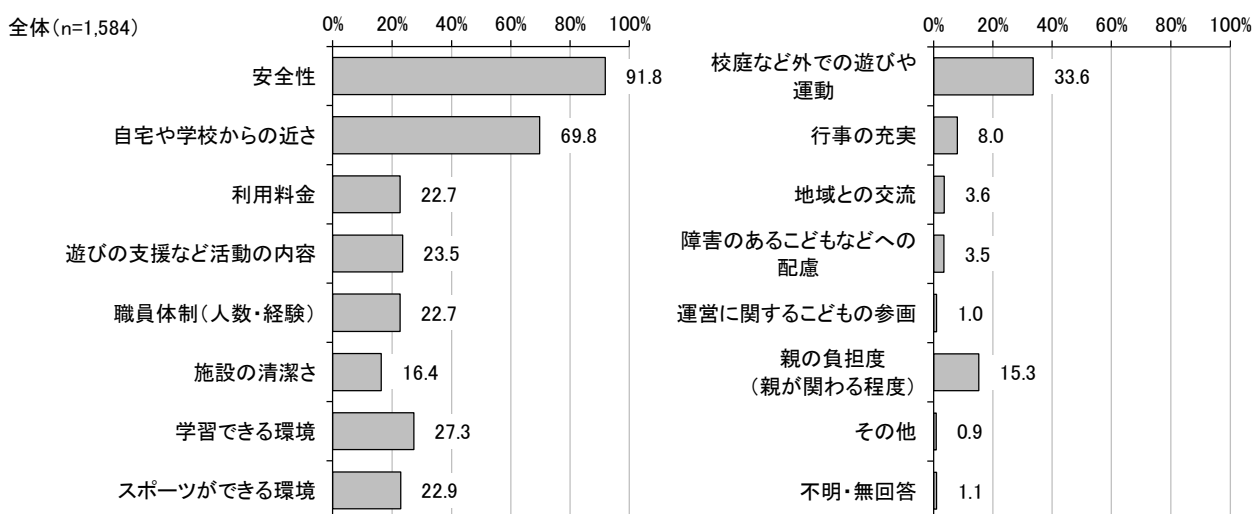
問 23 利用したい理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

児童館を利用したい理由についてみると、「安心安全に過ごせる」が 76.6%と最も多く、次いで「いろいろな友だちと遊んだり、交流できる」が 67.9%となっています。



問 24 こどもが放課後を過ごす場所として、どのような点を重視しますか。(3つまで○)

こどもが放課後を過ごす場所として重視する点についてみると、「安全性」が 91.8%と最も多く、次いで「自宅や学校からの近さ」が 69.8%となっています。



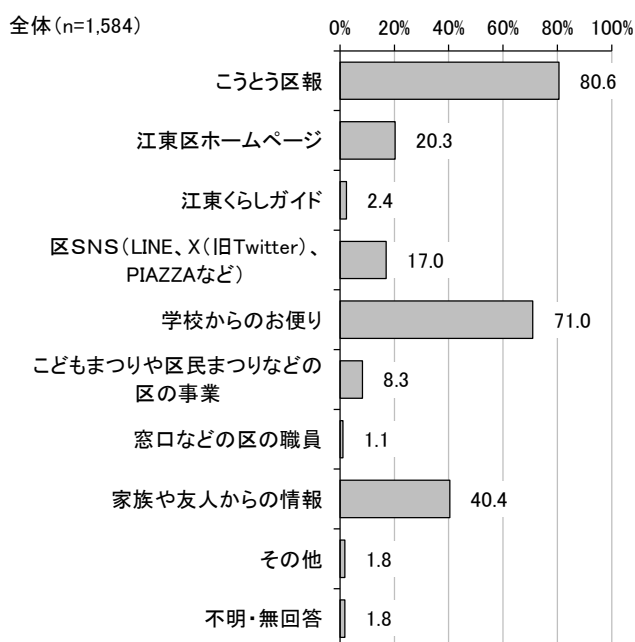
4 江東区の子育て環境などについて

問 25 あなたは、こどもに関する施策等の情報をどういう方法で受け取っていますか。
また、今後受け取りたいですか。（それぞれあてはまる番号すべてに○）

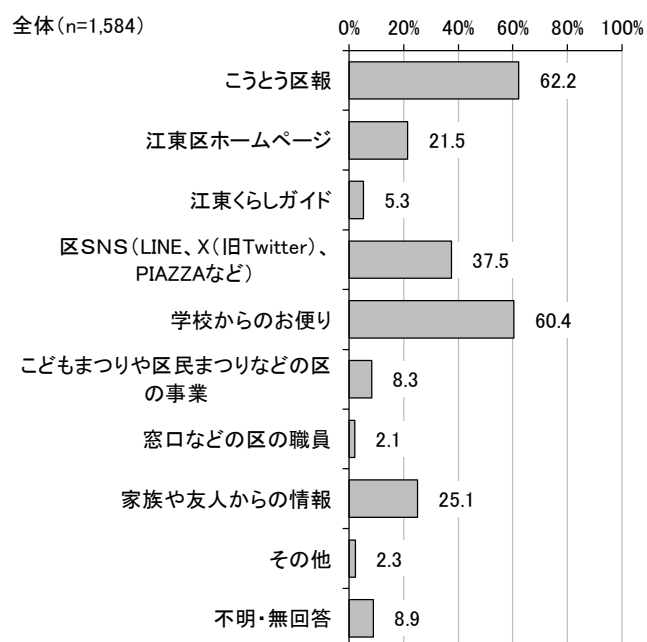
こどもに関する施策等の情報の現在の受け取り方法についてみると、「こうとう区報」が 80.6%と最も多く、次いで「学校からのお便り」が 71.0%となっています。

今後、受け取りたい方法では、「こうとう区報」が 62.2%と最も多く、次いで「学校からのお便り」が 60.4%となっています。

A 現在の受け取り方法



B 今後、受け取りたい方法



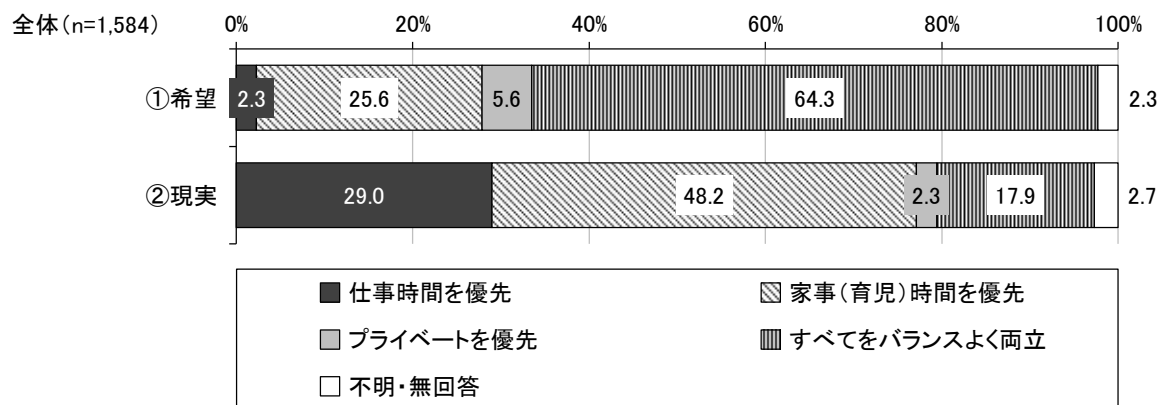
問 26 仕事の時間と家庭生活の時間について、希望としてはどのように考えますか。また現実としてはどのようなになっていますか。(①希望と②現実それぞれ1つ記入)

(1) 母親

母親の希望についてみると、「すべてをバランスよく両立」が 64.3%と最も多く、次いで「家事(育児)時間を優先」が 25.6%となっています。

現実では、「家事(育児)時間を優先」が 48.2%と最も多く、次いで「仕事を時間を優先」が 29.0%となっています。

現実と理想の比較をみると、「仕事を時間を優先」としている母親の4割弱が「家事(育児)時間を優先」、5割が「すべてをバランスよく両立」と回答しています。



○クロス集計【現実と理想の比較】

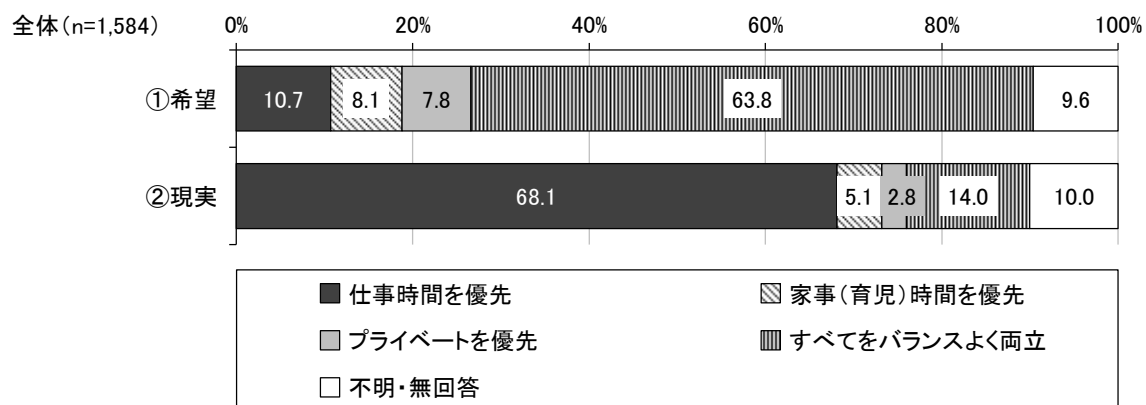
(%)		n	問26 母親-希望				
			仕事を時間を優先	家事(育児)時間を優先	プライベートを優先	すべてをバランスよく両立	無回答
問26 母親-現実	仕事を時間を優先	459	0.4	39.9	4.4	55.1	0.2
	家事(育児)時間を優先	763	3.5	23.1	6.7	65.9	0.8
	プライベートを優先	37	5.4	29.7	24.3	40.5	-
	すべてをバランスよく両立	283	1.8	10.6	3.2	84.5	-

(2) 父親

父親の希望についてみると、「すべてをバランスよく両立」が 63.8%と最も多く、次いで「仕事を優先」が 10.7%となっています。

現実では、「仕事を優先」が 68.1%と最も多く、次いで「すべてをバランスよく両立」が 14.0%となっています。

現実と理想の比較をみると、「仕事を優先」としている父親の7割弱が「すべてをバランスよく両立」と回答しています。

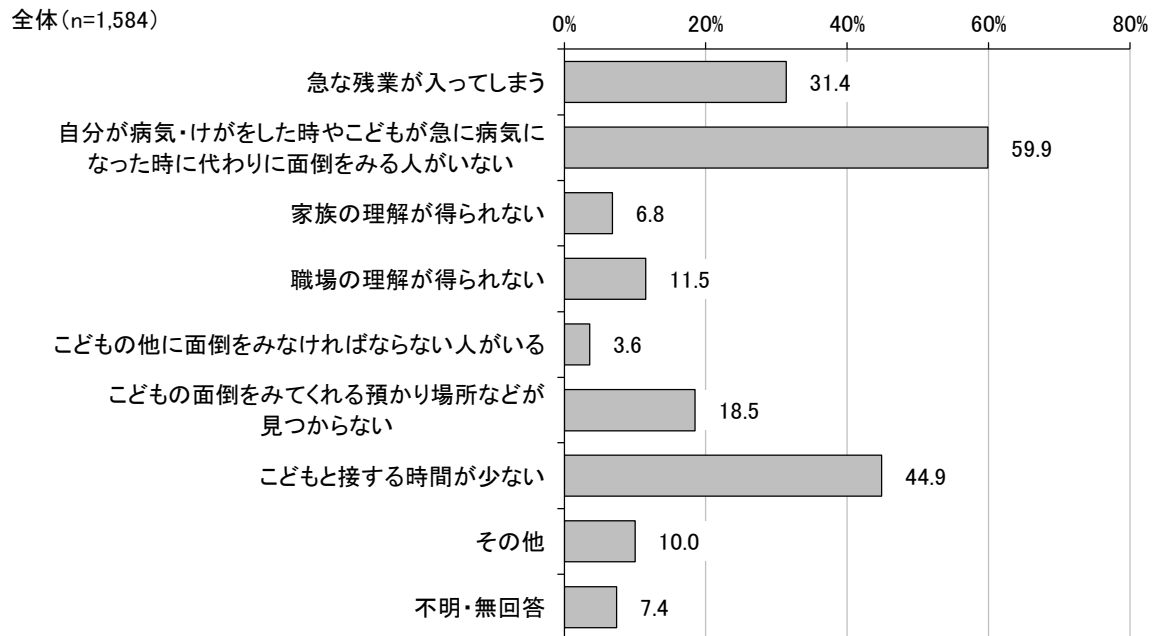


○クロス集計【現実と理想の比較】

(%)		n	問26 父親-希望				
			仕事を優先	家事(育児)時間を優先	プライベートを優先	すべてをバランスよく両立	無回答
問26 父親-現実	仕事を優先	1,079	10.9	10.4	8.6	69.8	0.3
	家事(育児)時間を優先	80	21.3	6.3	10.0	62.5	-
	プライベートを優先	45	26.7	11.1	28.9	33.3	-
	すべてをバランスよく両立	221	10.0	2.3	3.6	83.3	0.9

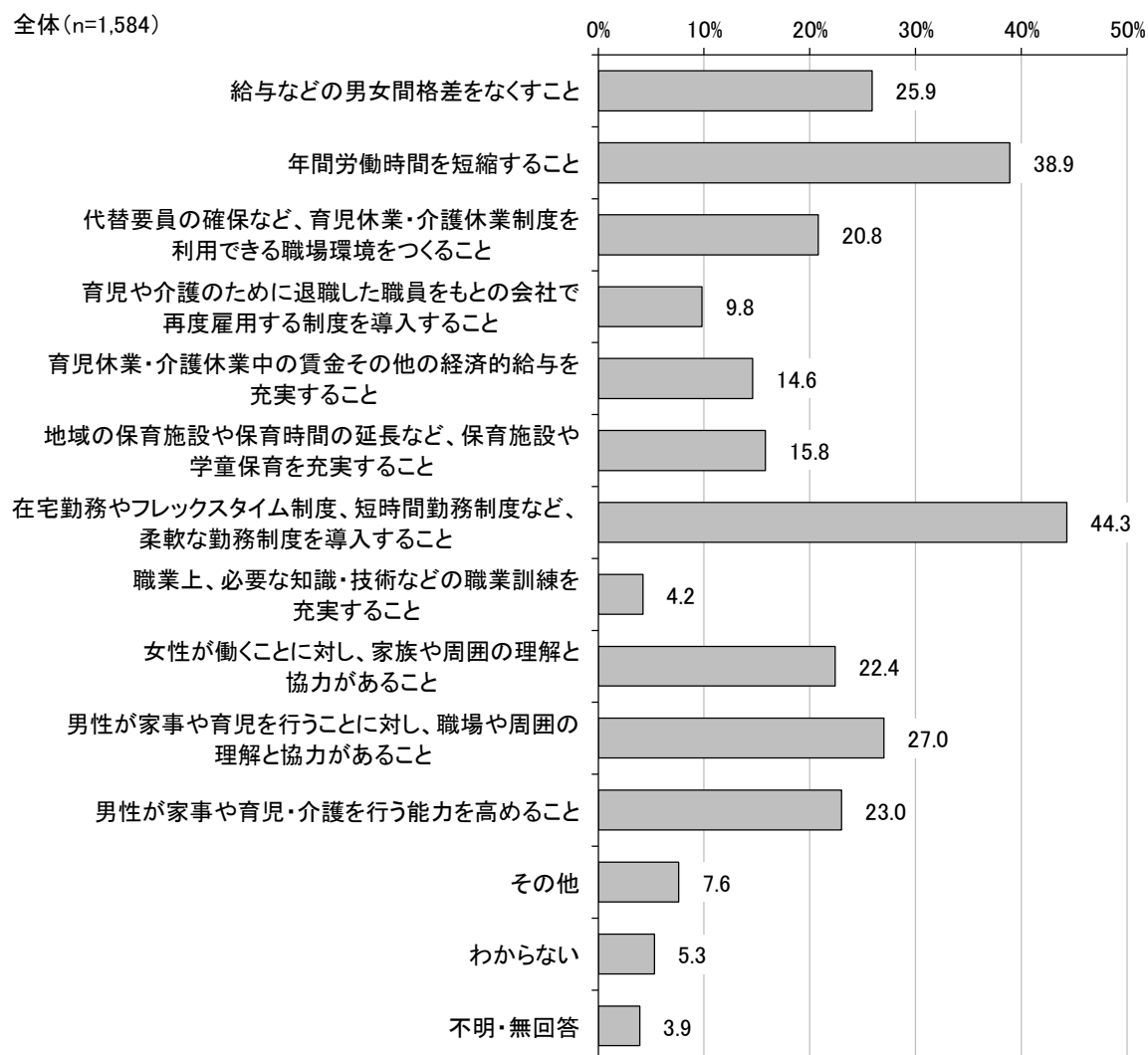
問 27 仕事と子育てを両立させる上で大変だと感じることはどのようなことですか。
(あてはまるものすべてに○)

仕事と子育てを両立させる上で大変だと感じることについてみると、「自分が病気・けがをした時やこどもが急に病気になった時に代わりに面倒をみる人がいない」が 59.9%と最も多く、次いで「こどもと接する時間が少ない」が 44.9%となっています。



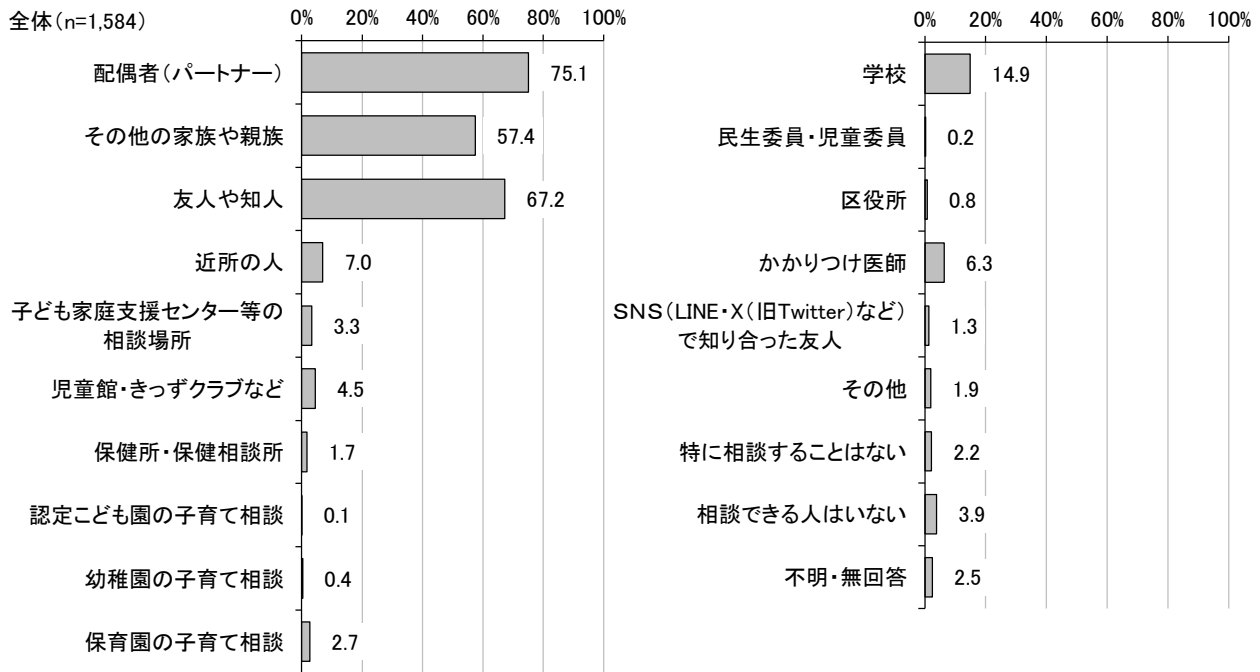
問 28 ワーク・ライフ・バランスを実現させるためには、どのような取組が必要だと感じますか。(もっとも重要だと思うもの3つまで○)

ワーク・ライフ・バランスを実現させるために必要だと感じる取組についてみると、「在宅勤務やフレックスタイム制度、短時間勤務制度など、柔軟な勤務制度を導入すること」が44.3%と最も多く、次いで「年間労働時間を短縮すること」が38.9%となっています。



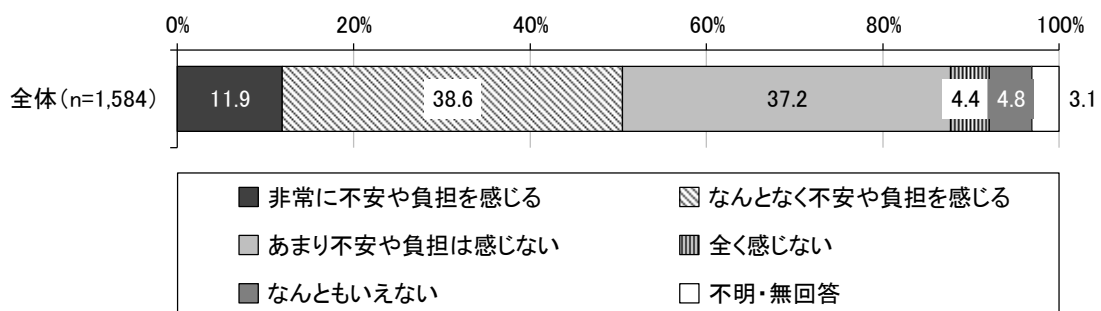
問 29 お子さんの子育てをする上で、気軽に相談できる人・場所等がありますか。
(あてはまるものすべてに○)

子育てをする上で、気軽に相談できる人・場所等についてみると、「配偶者(パートナー)」が 75.1%と最も多く、次いで「友人や知人」が 67.2%となっています。



問 30 子育てに関して不安感や負担感を感じていますか。(1つに○)

子育てに関して不安感や負担感を感じているかについてみると、「なんとなく不安や負担を感じる」が 38.6%と最も多く、次いで「あまり不安や負担は感じない」が 37.2%となっています。



第2部 区民意向調査結果

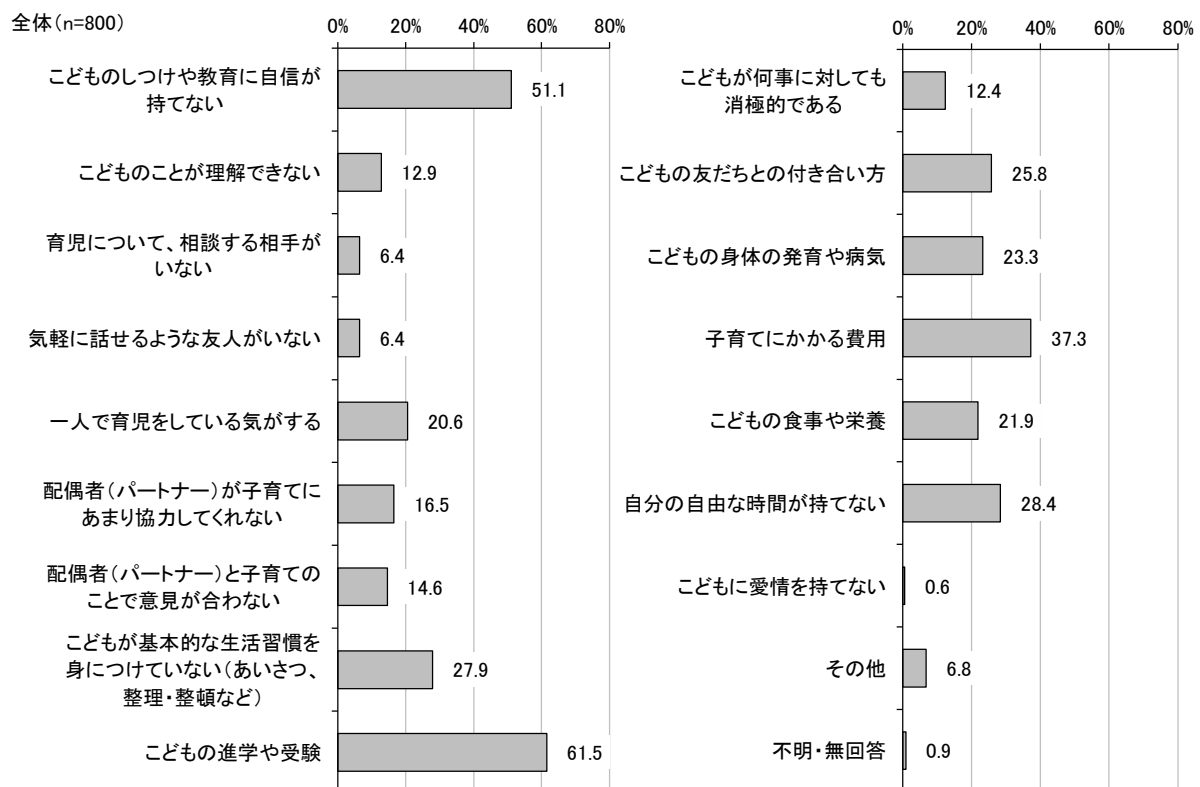
問 30 で「非常に不安や負担を感じる」「なんとなく不安や負担を感じる」を選んだ方

問 31 子育てに関して、どのような不安感や負担感を感じていますか。

(あてはまるものすべてに○)

子育てに関して感じている不安感や負担感についてみると、「こどもの進学や受験」が 61.5%と最も多く、次いで「こどものしつけや教育に自信が持てない」が 51.1%となっています。

こどもをたたいた経験別にみると、「ときどきあった」では「こどものしつけや教育に自信が持てない」と「こどもの進学や受験」で6割の回答があります。



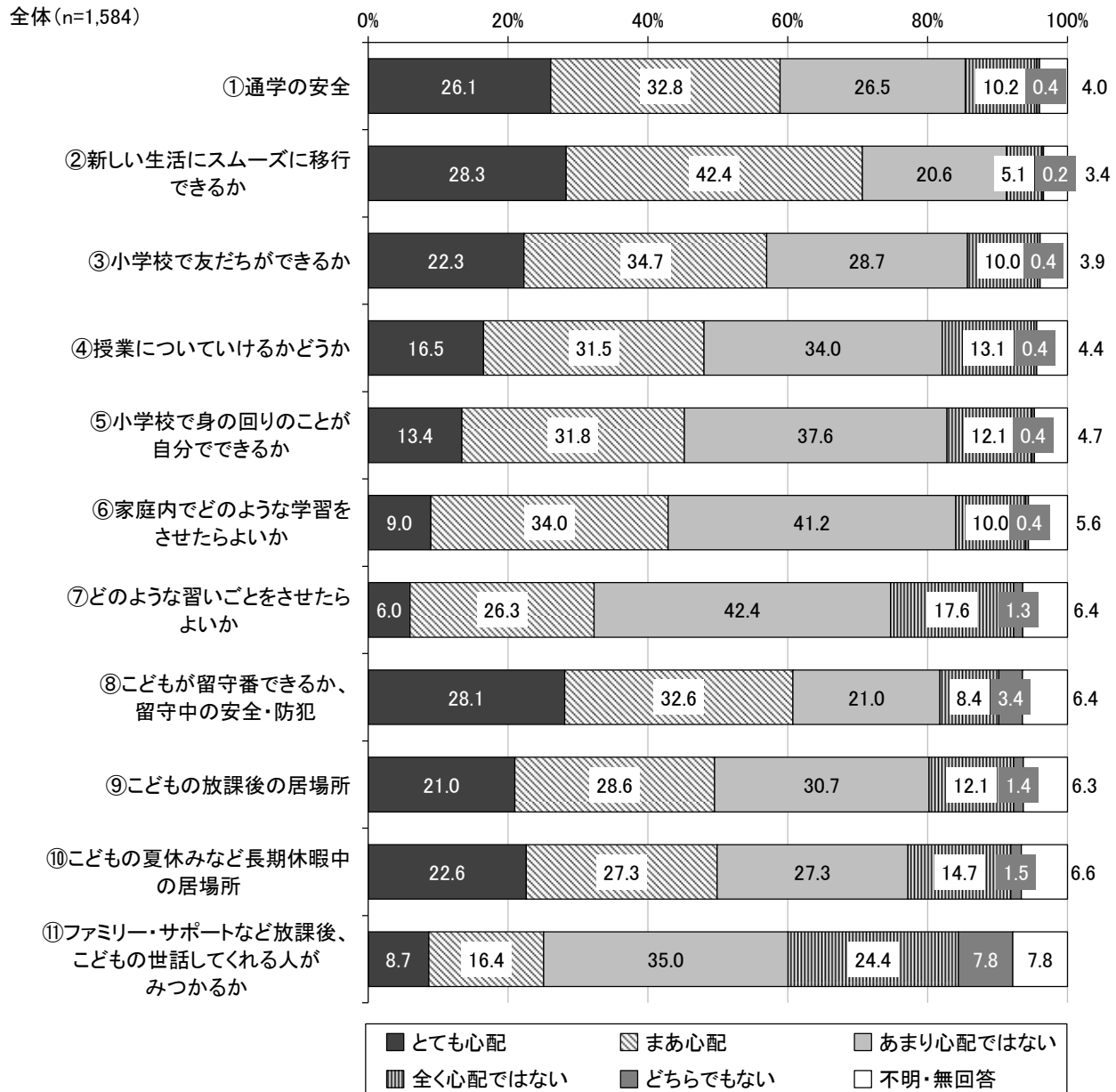
○クロス集計【こどもをたたいた経験有無別】

(%)		n	問31子育ての不安感や負担感								
			こどものしつけや教育に自信が持てない	こどものことが理解できない	育児について、相談する相手がいない	気軽に話せるような友人がいない	一人で育児をしている気がする	配偶者（パートナー）が子育てにあまり協力してくれない	配偶者（パートナー）と子育てのことで意見が合わない	こどもが基本的な生活習慣を身につけていない（あいさつ、整理・整頓など）	こどもの進学や受験
問44 こどもをたたいた経験	たたいたことは1度もない	156	44.9	8.3	6.4	5.8	13.5	12.2	9.0	17.3	54.5
	ごくまれにあった	431	48.3	11.8	6.3	6.0	21.6	18.1	16.0	29.9	63.3
	ときどきあった	196	63.3	19.4	6.1	7.1	24.0	17.3	17.3	32.1	62.2
	日常的にあった	4	75.0	-	-	25.0	50.0	25.0	-	25.0	100.0

(%)		n	問31 子育ての不安感や負担感								
			こどもが何事に対しても消極的である	こどもの友だちとの付き合い方	こどもの身体の発育や病気	子育てにかかる費用	こどもの食事や栄養	自分の自由な時間が持てない	こどもに愛情を持てない	その他	無回答
問44 こどもをたたいた経験	たたいたことは1度もない	156	10.3	26.3	15.4	40.4	26.9	30.1	-	9.0	-
	ごくまれにあった	431	10.4	25.8	25.3	37.6	20.2	29.7	0.5	5.8	0.9
	ときどきあった	196	17.9	26.0	25.5	35.2	20.4	24.0	1.5	6.6	1.5
	日常的にあった	4	50.0	25.0	50.0	50.0	50.0	75.0	-	25.0	-

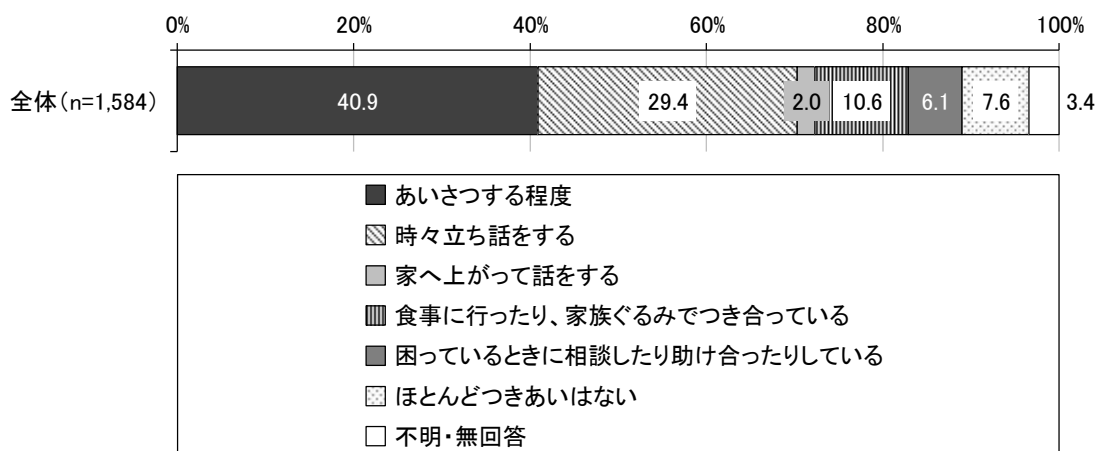
問 32 お子さんが小学校に入学した時に心配だったことについて、その程度をお答えください。（それぞれ、あてはまる番号 1 つに○）

「とても心配」と「まあ心配」を合わせた割合が最も多かったのは、「②新しい生活にスムーズに移行できるか」で 70.7%となっています。次いで、「⑧こどもが留守番できるか、留守中の安全・防犯」が 60.7%となっています。



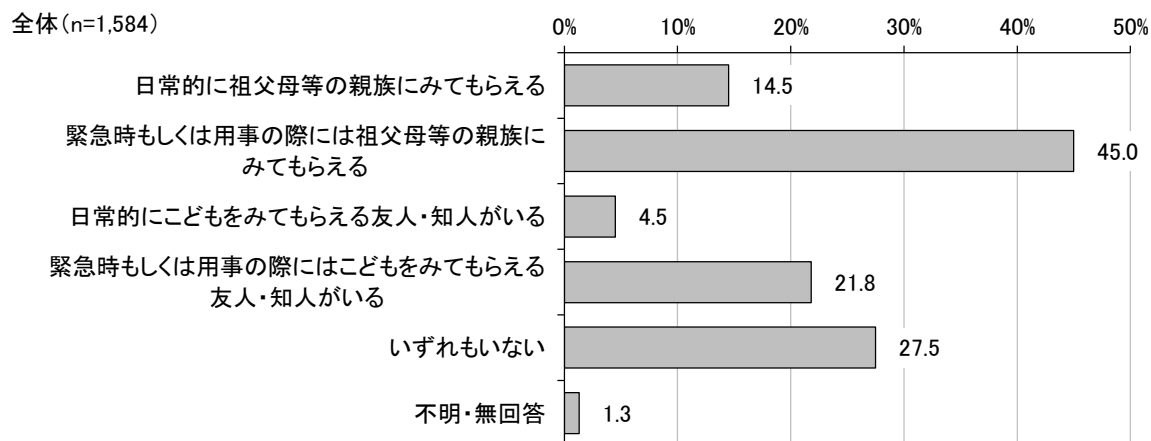
問 33 近所や地域の人とのつきあいはどの程度ですか。（1つに○）

近所や地域の人とのつきあいの程度についてみると、「あいさつする程度」が40.9%と最も多く、次いで「時々立ち話をする」が29.4%となっています。



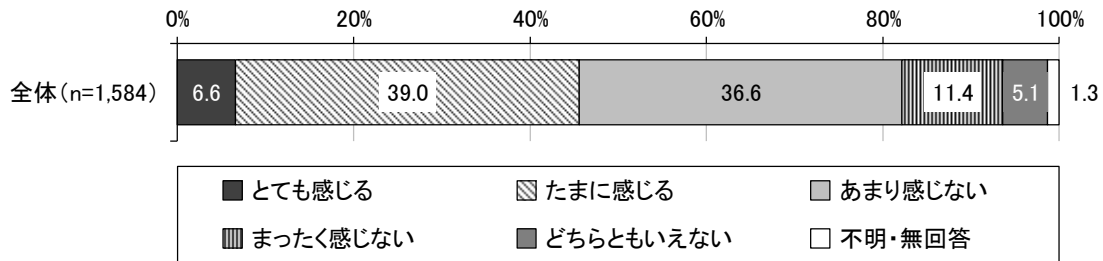
問 34 日ごろ、お子さんを預かってもらえる親族・知人はいますか。
（あてはまるものすべてに○）

日ごろ、こどもを預かってもらえる親族・知人はいるかについてみると、「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」が45.0%と最も多く、次いで「いずれもない」が27.5%となっています。



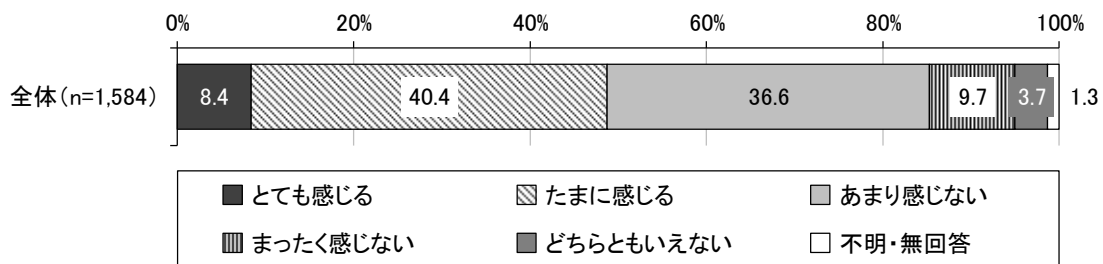
問 35 あなたは、江東区で子育てをしていて、地域で支えられていると感じますか。
(1つに○)

江東区で子育てをしていて、地域で支えられていると感じるかについてみると、「たまに感じる」が39.0%と最も多く、次いで「あまり感じない」が36.6%となっています。



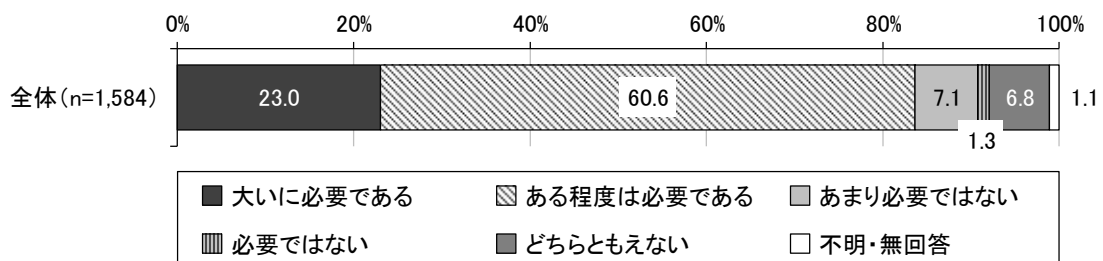
問 36 あなたは、こどもが地域に見守られていると感じますか。(1つに○)

こどもが地域に見守られていると感じるかについてみると、「たまに感じる」が40.4%と最も多く、次いで「あまり感じない」が36.6%となっています。



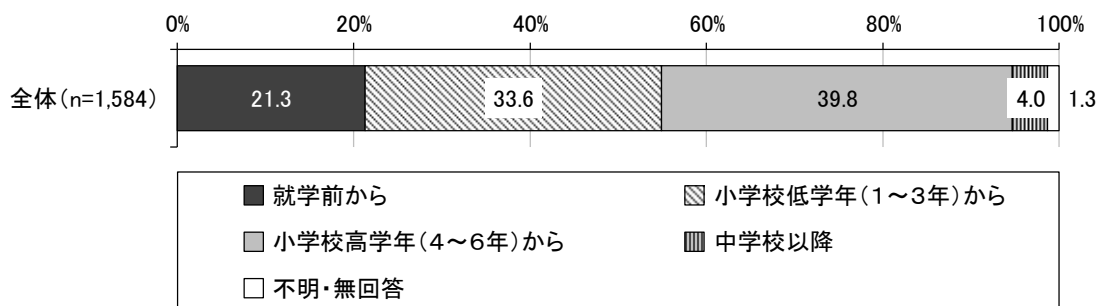
問 37 あなたは、子育てがしやすいまちの要素として、地域のつながり（ネットワークや団体）は必要だと思いますか。(1つに○)

子育てがしやすいまちの要素として、地域のつながり(ネットワークや団体)は必要だと思うかについてみると、「ある程度は必要である」が60.6%と最も多く、次いで「大いに必要である」が23.0%となっています。



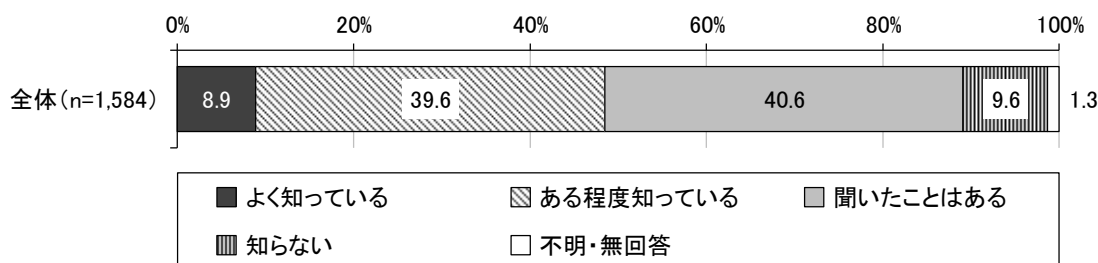
問 38 性教育には、子どもたちが性被害等から自分を守るための人権教育が含まれます。性教育をこどもに受けさせるのは、いつ頃からが望ましいと思いますか。（1つに○）

性教育をこどもに受けさせるのは、いつ頃からが望ましいと思うかについてみると、「小学校高学年（4～6年）から」が39.8%と最も多く、次いで「小学校低学年（1～3年）から」が33.6%となっています。



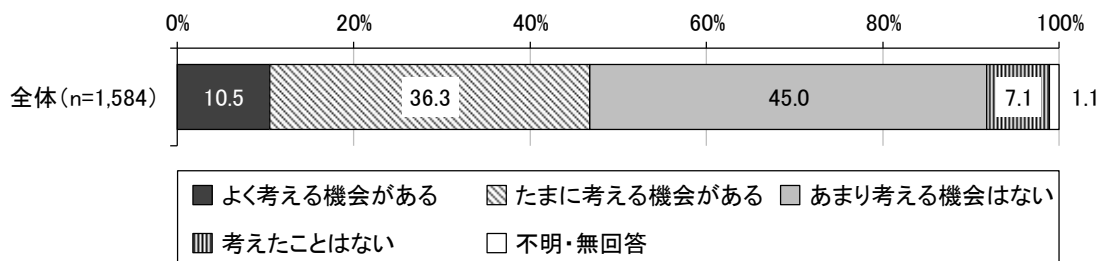
問 39 「こどもの権利」とは、こどもが大人と同じく一人の人間として持つ権利であり、安心して生活できること、自由に意見を言ったり活動したりできることなどが含まれます。あなたは、「こどもの権利」について知っていますか。（1つに○）

「こどもの権利」の認知度についてみると、「聞いたことはある」が40.6%と最も多く、次いで「ある程度知っている」が39.6%となっています。



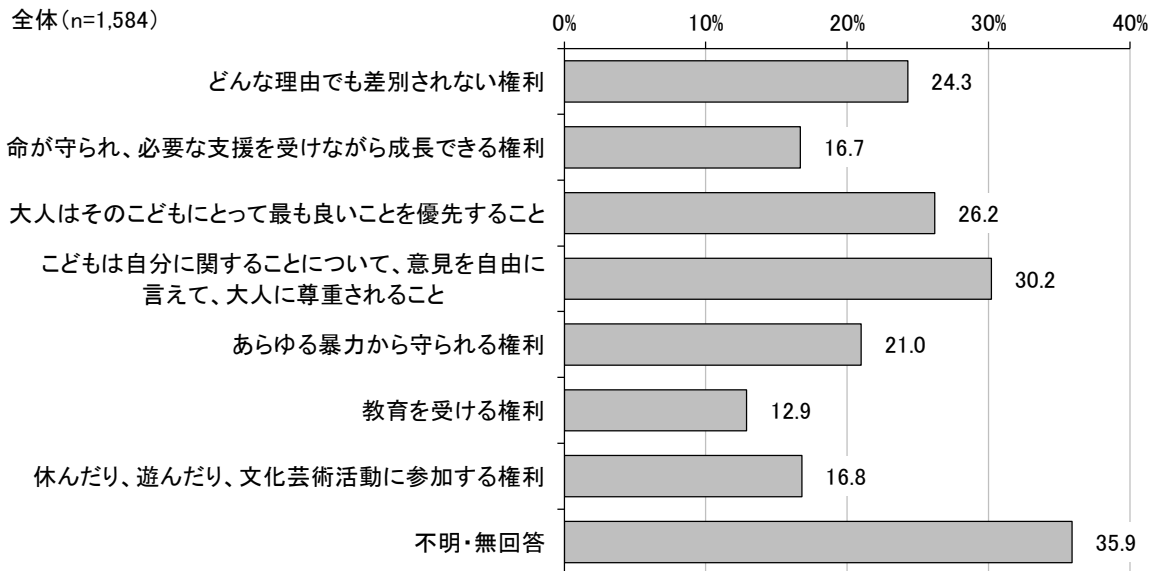
問 40 あなたは、「こどもの権利」について考えることはありますか。（1つに○）

「こどもの権利」について考えることはあるかについてみると、「あまり考える機会はない」が45.0%と最も多く、次いで「たまに考える機会がある」が36.3%となっています。



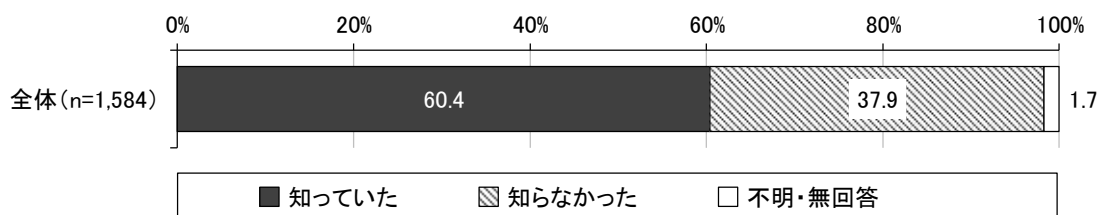
問 41 あなたは、あなたのまわりのこどもについて、次にあげるような「こどもの権利」が守られていないと感じるものはありますか。（あてはまるものすべてに○）

自身のまわりのこどもについて、「こどもの権利」が守られていないと感じるものについてみると、「こどもは自分に関することについて、意見を自由に言えて、大人に尊重されること」が 30.2%と最も多く、次いで「大人はそのこどもにとって最も良いことを優先すること」が 26.2%となっています。



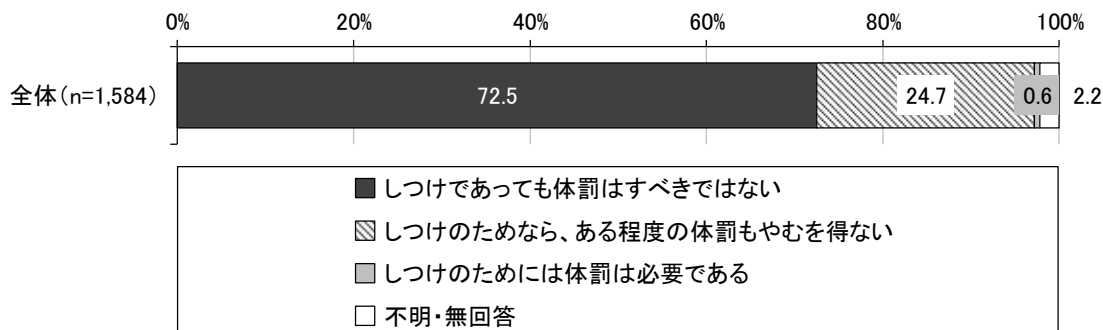
問 42 児童虐待の相談窓口は、区役所や子ども家庭支援センターをはじめ、地域の各保育園、幼稚園や児童館などでも相談を受けつけています。あなたはそのことを知っていましたか。（1つに○）

児童虐待の相談窓口は、区役所や子ども家庭支援センターをはじめ、地域の各保育園、幼稚園や児童館などでも相談を受けつけていることを知っていたかについてみると、「知っていた」が 60.4%、「知らなかった」が 37.9%となっています。



問 43 あなたは、しつけと体罰の関係についてどのようにお考えですか。（1つに○）

しつけと体罰の関係についてどのように考えるかについてみると、「しつけであっても体罰はすべきではない」が 72.5%と最も多く、次いで「しつけのためなら、ある程度の体罰もやむを得ない」が 24.7%となっています。

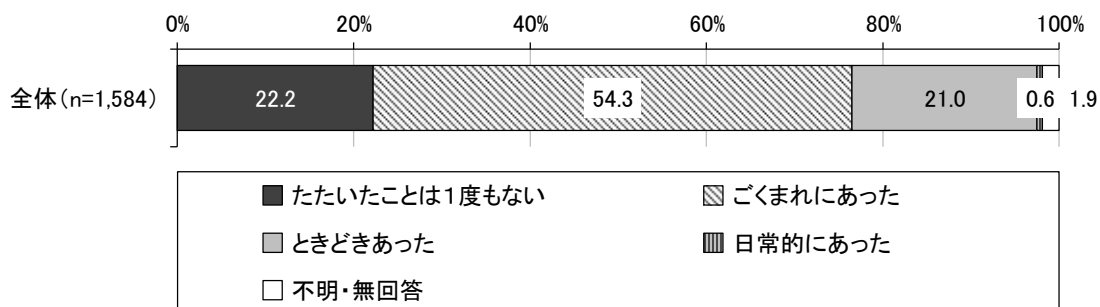


問 44 あなたはこれまでに、こどもをたたいたことはありますか。（1つに○）

これまでにこどもをたたいたことはあるかについてみると、「ごくまれにあった」が 54.3%と最も多く、次いで「たたいたことは1度もない」が 22.2%となっています。

子育てに関する不安感や負担感別(問 30)にみると、不安や負担を感じないほど「たたいたことは1度もない」の回答が多くなる傾向がみられる一方、不安や負担を感じているほど「ときどきあった」とする回答が多くなる傾向がみられます。

しつけと体罰の考え方別にみると、体罰の必要性を認める考え方を持つほど、「ときどきあった」とする回答が多くなる傾向がみられます。



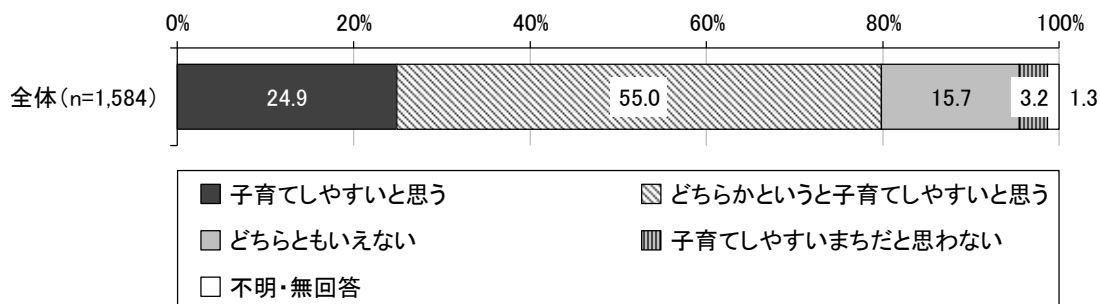
○クロス集計【子育ての不安・負担感別、しつけと体罰の考え方別】

(%)		n	問44 こどもをたたいた経験				
			たたいたことは1度もない	ごくまれにあった	ときどきあった	日常的にあった	無回答
問30 子育てに関する不安感や負担感	非常に不安や負担を感じる	189	15.3	52.4	30.2	0.5	1.6
	なんとなく不安や負担を感じる	611	20.8	54.3	22.7	0.5	1.6
	あまり不安や負担は感じない	589	24.6	57.0	16.3	0.7	1.4
	全く感じない	70	31.4	51.4	15.7	-	1.4
	なんともいえない	76	31.6	43.4	21.1	1.3	2.6
問43 しつけと体罰の考え方	しつけであっても体罰はすべきではない	1,149	28.2	56.2	14.8	0.1	0.7
	しつけのためなら、ある程度の体罰もやむを得ない	391	5.4	52.2	40.4	1.8	0.3
	しつけのためには体罰は必要である	9	33.3	22.2	33.3	11.1	-

問 45 江東区は子育てしやすいまちだと思いますか。(1つに○)

江東区は子育てしやすいまちだと思うかについてみると、「どちらかという子育てしやすいと思う」が55.0%と最も多く、次いで「子育てしやすいと思う」が24.9%となっています。

地域の支援の実感度(問 35)や見守りの実感度(問 36)別にみると、支援や見守りを実感している方ほど、「子育てしやすいと思う」の回答が多くなる傾向がみられます。

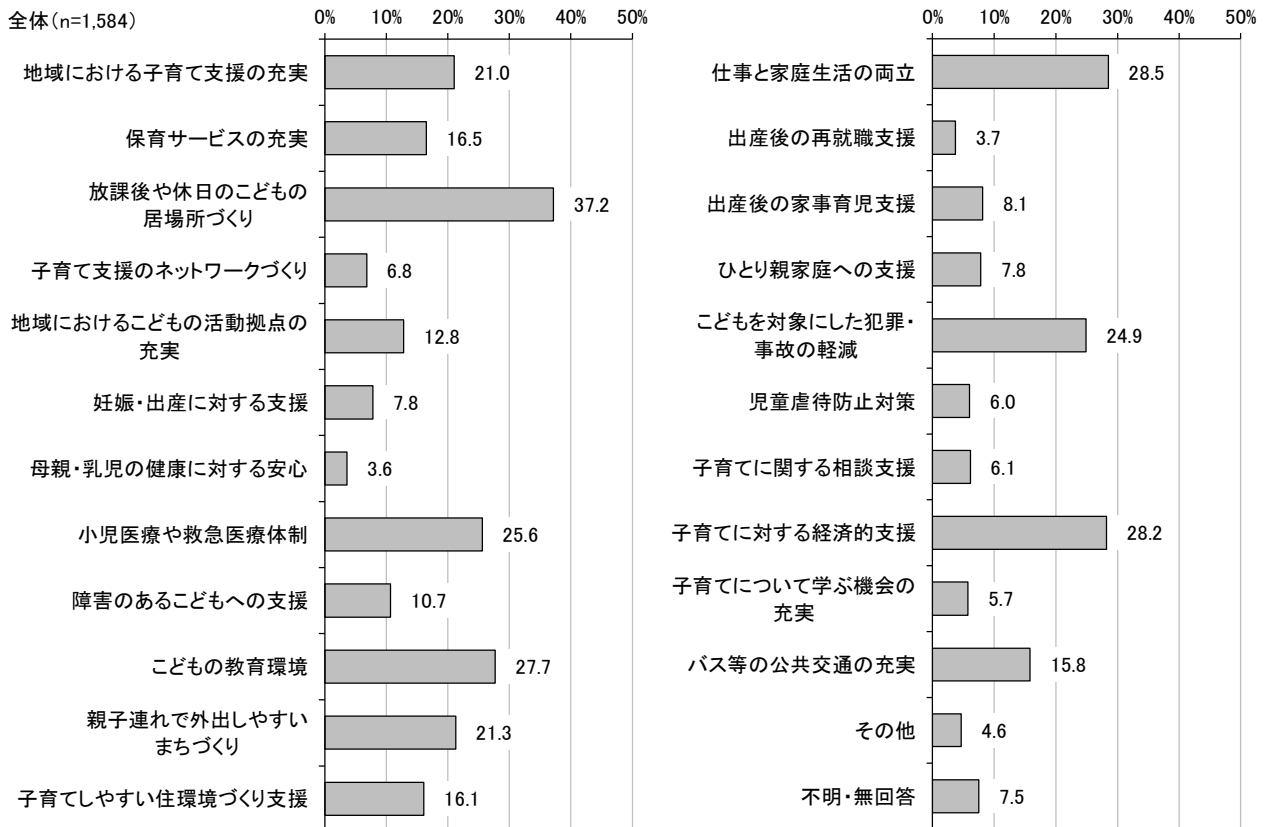


○クロス集計【地域の支援の実感度別、こどもの見守り実感度別】

(%)		n	問45 江東区は子育てしやすいまちだと思いますか				
			子育てしやすいと思う	どちらかという子育てしやすいと思う	どちらともいえない	子育てしやすいまちだと思わない	無回答
問35 地域の支援の実感度	とても感じる	105	71.4	24.8	1.9	1.9	-
	たまに感じる	617	34.8	56.6	7.9	0.5	0.2
	あまり感じない	580	13.3	62.9	21.6	2.1	0.2
	まったく感じない	181	8.8	36.5	35.9	18.2	0.6
	どちらともいえない	80	13.8	77.5	8.8	-	-
問36 見守りの実感度	とても感じる	133	63.9	30.8	3.8	1.5	-
	たまに感じる	640	29.7	59.4	9.5	1.3	0.2
	あまり感じない	579	16.1	61.0	20.9	1.9	0.2
	まったく感じない	153	11.1	36.6	34.6	17.0	0.7
	どちらともいえない	58	17.2	67.2	13.8	1.7	-

問 47 区に対してどのような子育ての支援を希望しますか。もっとも希望するものを順に5つまでお答えください。また、選択した項目について、具体的にどのような支援が必要かを下の自由記入欄にお書きください。(5つまで○)

区に対して希望する子育ての支援についてみると、「放課後や休日のこどもの居場所づくり」が37.2%と最も多く、次いで「仕事と家庭生活の両立」が28.5%、「子育てに対する経済的支援」が28.2%となっています。



そのほか、子育て支援についてのご要望・ご意見がありましたらご自由にお書きください。

意見の内容については、「学校・学童への評価・改善」が45件と最も多く、次いで「経済的な評価・支援・改善」が31件となっています。

カテゴリー	件数
学校・学童への評価・改善	50
経済的な評価・支援・改善	34
子育て支援	31
子どもの居場所への評価・改善	15
アンケート	16
インフラ面への評価・改善	11
その他	76

※カテゴリー10件未満のものは「その他」にまとめて集計。複数カウントあり。

①学校・学童への評価・改善

- ✧ 各学校で学習面、子ども支援面などバラつきがあるのが気になります。学校の個性もあるので全て共通にする必要はないが、ある程度は統一してもらいたいです。共働きの家庭が多い中、PTAの活動が負担に感じるという話を聞きます。行事が多いと子どもが喜ぶますが、保護者が大変になると意味がないように感じます。行事の数をへらし、その分充実させたり、その都度手伝いを募集するなど、みんなが気持ちよくPTAに参加出来る環境がつけるとありがたいです（外部業者に委託など）。
- ✧ 海外交流や海外研修など、グローバル教育を増やしてほしい。
- ✧ 地域によって小学校の生徒数が多すぎたり、外国人だらけだったり、学級崩壊があったり、新しいマンションが出来て遠くの学校に学区を変えられてしまったりと問題が多く、私立に通う選択をしました。公立に安心して通えればその方が子どもにとっても登下校の時間やお友だちのことなどベストだと思います。今は江東区から子育て支援をしてもらっているという意識はありませんが、今後少しずつでも変わっていく事を願っています。
- ✧ 現在学童を利用しています。長期休暇中の毎日のお弁当は負担に感じます。有料でも、バランスのとれた食事があると助かります。
- ✧ 区の教育に対するレベルを上げるための補助が子育て支援に大きくつながると思います。また、区立の小学校での対応が、こども目線なのか疑問を感じます。何かともめ事に対する学校の責任回避のための規則が家庭の経済負担を高めている気がする。
- ✧ 私学に入らなければ十分な教育が受けられないという状況にならない様、公立の中学高校の教員の充実、先生方の待遇の改善などをして頂きたいです。お金がかかるところへの支援より、お金がかからなくても済むようにしてほしいです。
- ✧ きっずクラブA登録で、休業日も8時から普通に利用できるようにしてほしい。スポット利用もできるが、長期休業日に毎日利用すると高額になってしまうので。もしくは、B登録を6年生まで利用できると仕事をしている親にとっては安心です。

- ✧ 小学校は紙の負担が大きすぎるので、先生とのコミュニケーションや各種申込等の手続きも 100%IT 化してほしいです。ランドセル重すぎです。
- ✧ 自立できる大人になる為の受け身ではない学校教育が出来るような支援を希望します。地域との交流活動、プレゼン授業等。
- ✧ 余り重要じゃ無い事を守らせる事に力を入れ過ぎて、学校が窮屈な場所になりつつあります。こども達が将来自分で考えて道を開くために必要な教育環境を今一度見直して欲しいです。

②経済的な評価・支援・改善

- ✧ インフルエンザ予防接種の助成を、高齢者だけでなく、せめて、義務教育中の年齢も対象にして頂きたいです。
- ✧ こども 1 人につき、3 万円のクーポンは、とても有り難かった。しかも、現金ではなく、通知の紙とスマホだけで、手続き完了だし、確実にこどもに使えるものが買える。提携先で、センスを感じました。一方、インフルの予防接種が有料に戻り、キツかったです。
- ✧ 第二子保育料無償化や給食費（小学校）無償など、大変助かっております。更に子育て世代が育児しやすい環境を整えて下さることを願っています。
- ✧ 手当や一時金等なぜ非課税世帯が手厚く受けてその原資となる納税している世帯が受ける事が出来ないのか理解に苦しみます。納税者が手厚い行政サービスを受ける事が出来ていない。困窮しているのは非課税・納税者すべて同じです。困窮しているからこそ一生懸命働き、税を納め、結果的に家事、育児の時間が取れなくなっています。決して非課税世帯を助ける為に家庭をおろそかにして働いているわけでは有りません。非課税世帯は安易な道を安易な選択してきた結果です。「助けるな」とまでは言いませんが納税者をおろそかにすべきでは有りません。
- ✧ 幼児の時は地域のサポート、今は経済的なサポートがありがたいです。年齢が上がるとお金がかかります。

③子育て支援

- ✧ 格差社会が広がる世の中ですがせめてこどもの間だけは格差を感じる事のない平等な教育、生活支援が必要です。誰ひとり将来をあきらめる事のないこどもまんなか社会にして欲しいです。(＝こども達が生きる希望を持てる社会)。
- ✧ 生活をする為に、働かなければいけないが、働く為にこどもを預ける場が必要。こどもが体調を崩せば、働けなくなる。また、毎日分刻みの生活で、ゆとりが無いとこどもへの接し方が変わってきます。こどもが幸せに生活する為に、区としてどのように支援介入すると、よりよく生活できるのか、検討していただければと思います。
- ✧ 保育施設の充実、放課後サービス、共働きは子育て支援なのでしょうか？こどもは本当に喜びますか？お母さん(お父さん)がいてくれる時間を望んでいる子もいるのでは？働く世帯に支援を向けるだけでなく、家でこどもを育てる世帯にも温かい支援を望みます。(こどもを育てる事に差はありません。)
- ✧ 江東区は子育てにおいてソフト、ハード共に、様々な取り組みをしていると感じる。出産前～妊娠～乳幼児～保育園～小学校と子の成長につれ悩みや困りごとは変わっていくので、それぞれの年齢、状況に合わせて、必要な支援や居場所、相談先があればありがたいです。

④子どもの居場所への評価・改善

- ◇ 幼児が、遊ぶ公園は多くあるが、小学生～中学生のこどもが走りまわったり、思いっきりボール投げたり、蹴ったり出来る場所が無さすぎる。だから家に居て、ゲーム、パソコン、スマホばかりになる。マンションばかり作らせないで、こういう場所を作って欲しい。五砂小の校庭は、つまづき易く、怪我をしやすい。他の学校でも、五砂小と同じ校庭にするのは、止めて下さい。小名木川小学校の仮校舎へ、新1年生を徒歩通学させるのは、無理があると思います。登校拒否になると思います。中学の部活の活性化。校庭の有効活用。
- ◇ 共働きだと、放課後できる習い事や公園遊びにも制限がある。校庭で自由に遊ぶ、サッカーなどの習い事に利用させるなどしてほしい。大学費用の無償化があれば、子育て世帯が転入してくると思う。
- ◇ こどもがのびのび遊べる公園や学校の開放。キッズAの充実。(たんに居場所だけではつまらないと言っています。) スポーツや学業にこども達がどんどん興味持てるように企業と連携して、活発化してほしい。
- ◇ 現状、グレイゾーンのこども達の4年生以上の放課後デイサービスの利用できる施設が極端に少なく、きつずクラブBの利用も3年生までとなっており、4年生から放課後の居場所問題に頭を悩ませている状況です。
- ◇ こどもだけで安全に遊べる場所が少ない。

⑤アンケート

- ◇ このようなアンケートは良いと思うが、絶対webがいい。その方が回答率も上がると思う。
- ◇ このような形で、子育てしている親へアンケートして下さるというのは、とても有り難いです。初めての子育てで、今後のお金のかかり方、教育の事、分からない事、不安な事だらけなので、そういった親向けのセミナー等があると、勉強したいです。
- ◇ アンケートをとるなら、ぜひ、皆さんの声を聞き、良い政策を打ち出してください。

⑥インフラ面への評価・改善

- ◇ 公園があまり綺麗ではないと思う。以前、他区に住んでおりましたが、比べると汚れている。(タバコ、缶ジュース、酒、お弁当カス) 江戸川区は、とても綺麗だと思います。区によって、何が違うのでしょうか？お金の掛け方とか？
- ◇ 図書館の充実是非常によいです。学校において、学習の理解度が低い場合の支援があると家庭の負担にならず良いと思います。
- ◇ デイホームなど高齢者施設はどんどん増えるのに、こども向けの施設は全く増えない。区がそこを補ってほしい。
- ◇ 経済的負担が大きい現在、それに対しての支援、また気軽に外出できる場所が出来る、近くに安心して行ける大きい病院の小児医療機関などが出来ると子育てし易いと思います。
- ◇ 歩道も車道も広くしてこどもが安全に外出できる環境づくりをして欲しい。

⑦その他

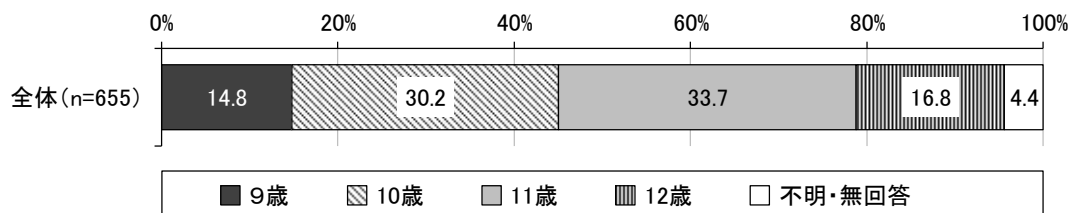
- ✧ 区の施策やイベントなどの情報が伝わりにくいので、積極的に公表、周知させるような動きを取ってほしい。
- ✧ こどもが、どこを歩いても安心出来て、遊びも自由に好きな事が出来る安全管理が必要。公園の見回りや見張り、裏道の危険な運転の取締りなど。
- ✧ こどもがこどもに対して犯罪を犯す事が最近増えたように思える。家庭環境なのか、厳しい担任にしたところでその先生が休みだと結局荒れている。犯罪予備軍かなと思われる子が多い。犯罪を犯さないようにやんわりとでも指導は出来ないものか。自転車の運転など指導されても凄い運転をしている子が多い。ミラーを増やして電柱を減らして欲しい。防犯カメラももう少し住宅地に付けて欲しい。
- ✧ 区立保育園の内容充実を望んでいます。職員が増えて欲しいです。
- ✧ 公立幼稚園や、公立小学校の教育や、先生方、設備、どれも素晴らしいと思います。しかし、公立幼稚園は、どんどん園児が少なくなって行って残念です。3年保育になってくれる事、公立幼稚園でも、給食が始まる事、期待しています。
- ✧ 「こども誰でも通園制度」の、実施をお願いしたいです。又は、国立の公立幼稚園で、預かり保育（して欲しい人、誰でも全員利用可能）仕事を探すにも、まず、預かり先が無いと難しい。入園させて2カ月の期間内に慌てて探すのではなく、こどもが慣れて、落ち着いたタイミングで仕事を始めたいので。これからの江東区に期待しています。
- ✧ 区立幼稚園の延長保育が内容も回数も充実してほしい。
- ✧ 子育て支援に限ったことではありませんが、豊洲、有明等湾岸地域との扱いの格差（施設やイベントなど）に納得できません。区民税は同じ額払っています。昔ながらの地域も盛り上げてください。
- ✧ 北砂地区在住です。道幅が狭かったり公園が汚かったり公衆トイレが汚かったりして不便です。有明地区のように清潔にして頂きたいです。
- ✧ 豊洲地域においてはこどもたちの遊び場がありますが、お住いの家庭が増える事により利用可能な施設が大変混むようになってます。親子で遊ぶ場を増やして欲しいです。そして日本伝統的な文化、地域のこどもたちに手軽に参加出来る活動も増やして欲しいです。
- ✧ 子育てするママにとって仕事をしたくても（働きたくても）できない場合、職場や周囲の理解が得られる環境、社会になってほしいと思います。
- ✧ 障害児に対するサポートをお願いいたします。障害児の親たちにもっと相談できる場所作りをお願いいたします。
- ✧ いつまでも、共働きが出来るとは限りません。誰でも、事情が有って、途中から専業主婦になるリスクもあります。専業主婦が生きづらい世の中にはしてほしくないです。
- ✧ 児相の前時代的体制の改革と予算と人材を投入する。
- ✧ 子育てを支援するのではなく、区や行政が積極的に子育てをする気持ちでないと問題の解決には進んで行かないと思う。
- ✧ こどもに関する手続等の電子化でスマホ申請が可能に。
- ✧ 放課後に安く通えるような塾などが近くにあるといいなと思います。
- ✧ 有明地区でもスポーツチームを作って欲しい。こどもの習い事の場を作って欲しい。

第3章 小学生高学年調査の結果

1 あなたのことについて

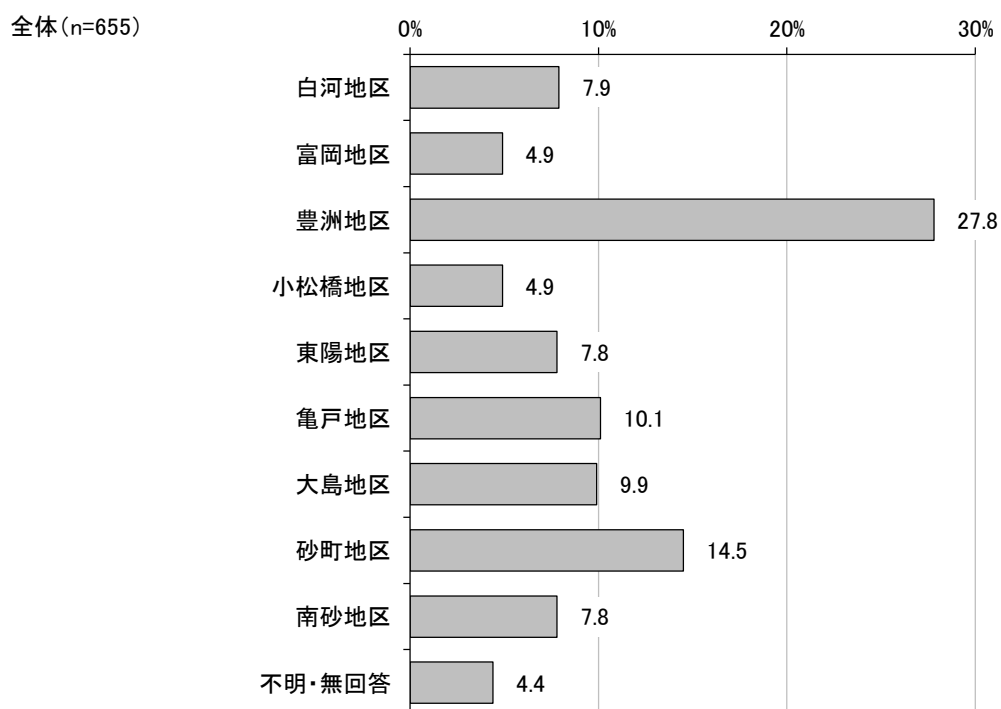
問1 あなたの年齢を教えてください。(数字を記入)

年齢についてみると、「11歳」が33.7%と最も多く、次いで「10歳」が30.2%となっています。



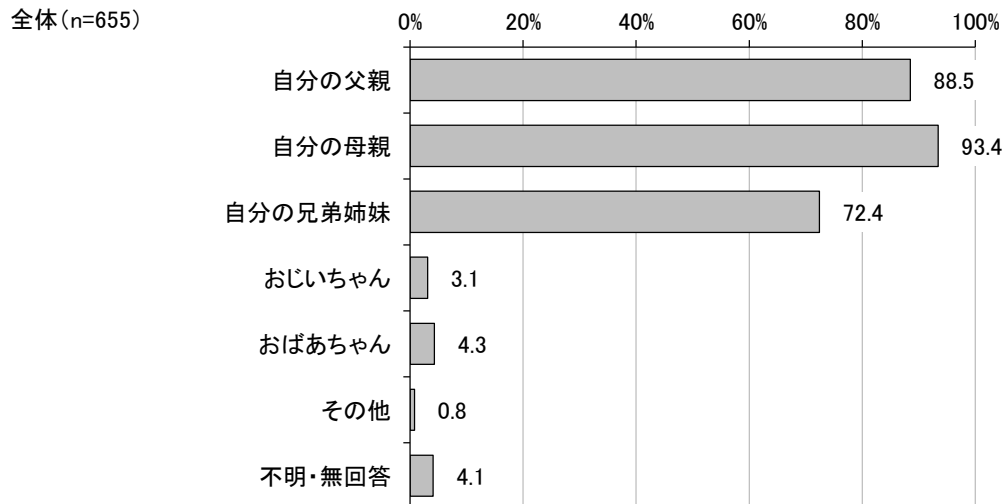
問2 お住まいの地区を教えてください。(1つに○)

居住地区についてみると、「豊洲地区」が27.8%と最も多く、次いで「砂町地区」が14.5%となっています。



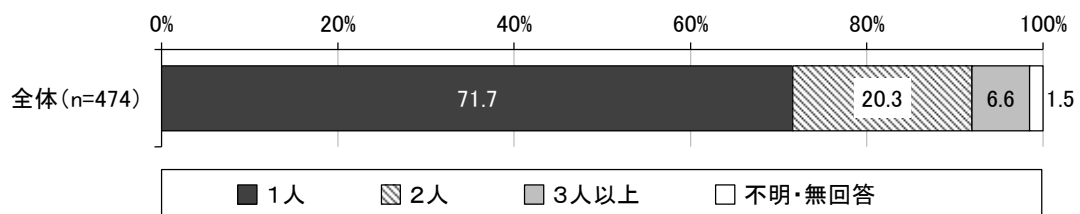
問3 一緒に暮らしているご家族はどなたですか。それぞれ人数も教えてください。
 (仕事のため離れて暮らしているご家族も含めてご回答ください。あてはまる番号
 すべてに○、人数はカッコの中に数字を記入)

同居している家族についてみると、「自分の母親」が 93.4%と最も多く、次いで「自分の父親」が 88.5%となっています。



【自分の兄弟姉妹の人数】(数字を記入)

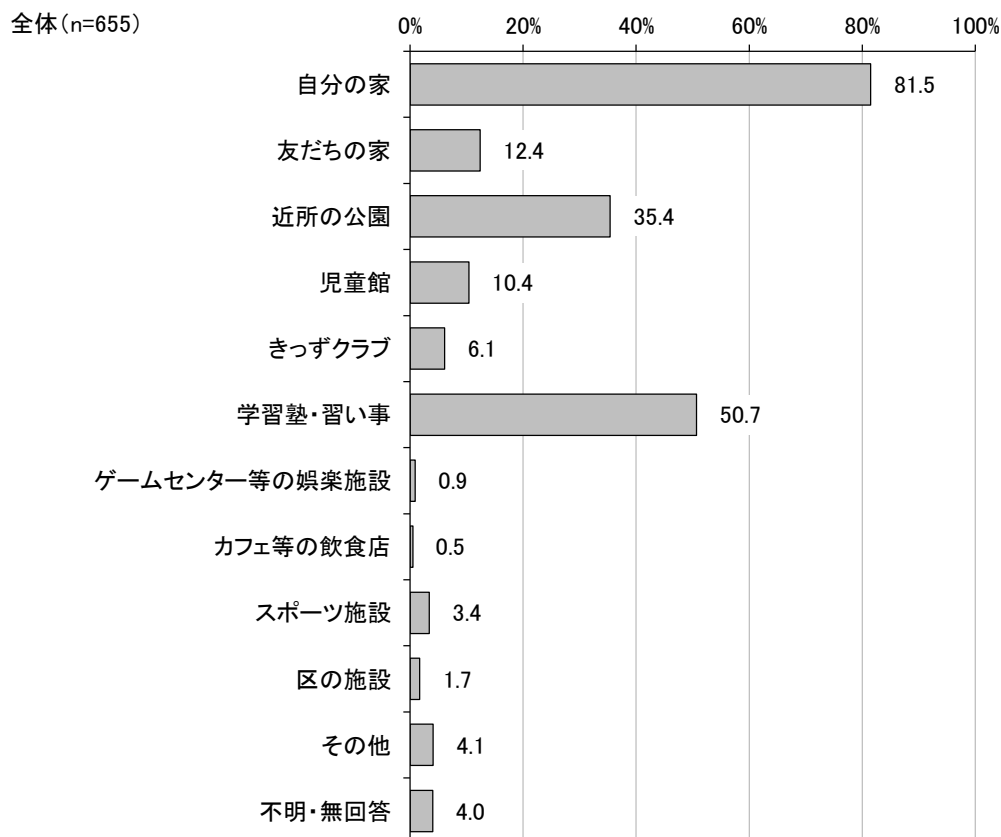
同居している兄弟姉妹の人数についてみると、「1人」が 71.7%と最も多く、次いで「2人」が 20.3%となっています。



2 放課後の過ごし方について

問4 あなたは放課後（平日の学校が終わったあと）、どこで過ごしていることが多いですか。（もっともあてはまるもの3つまで○）

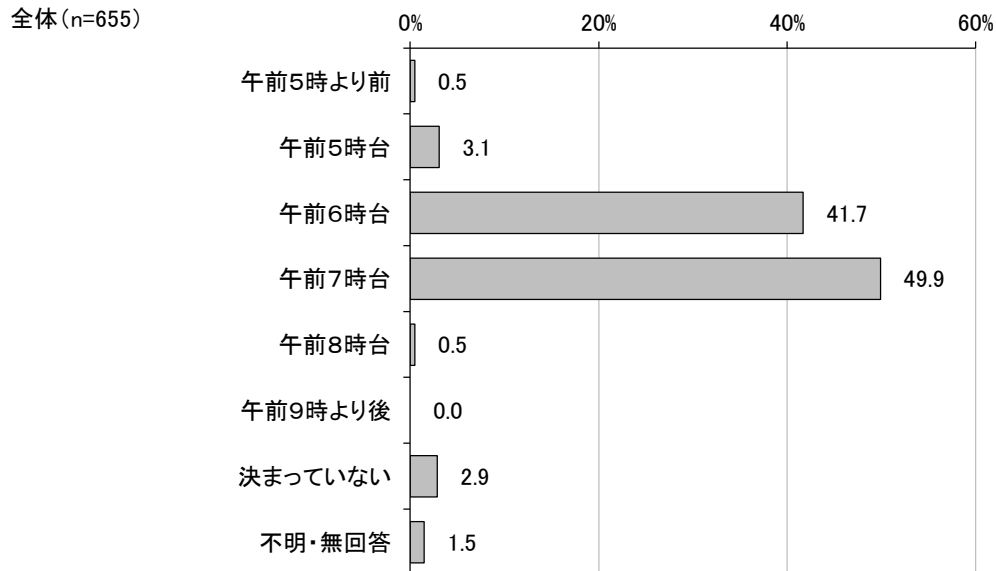
平日の放課後の過ごし方についてみると、「自分の家」が 81.5%と最も多く、次いで「学習塾・習い事」が 50.7%となっています。



3 普段の生活のことについて

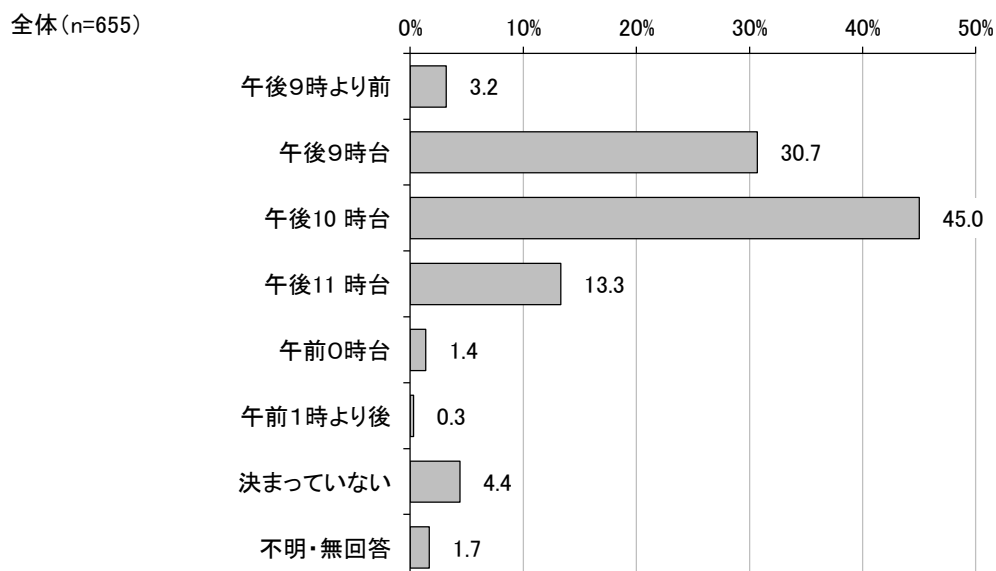
問5 あなたは、平日（学校に行く日）、何時に起きていますか。（1つに○）

平日の起床時間についてみると、「午前7時台」が 49.8%と最も多く、次いで「午前6時台」が 41.7%となっています。



問6 あなたは、平日（学校に行く日）、何時に寝ていますか。（1つに○）

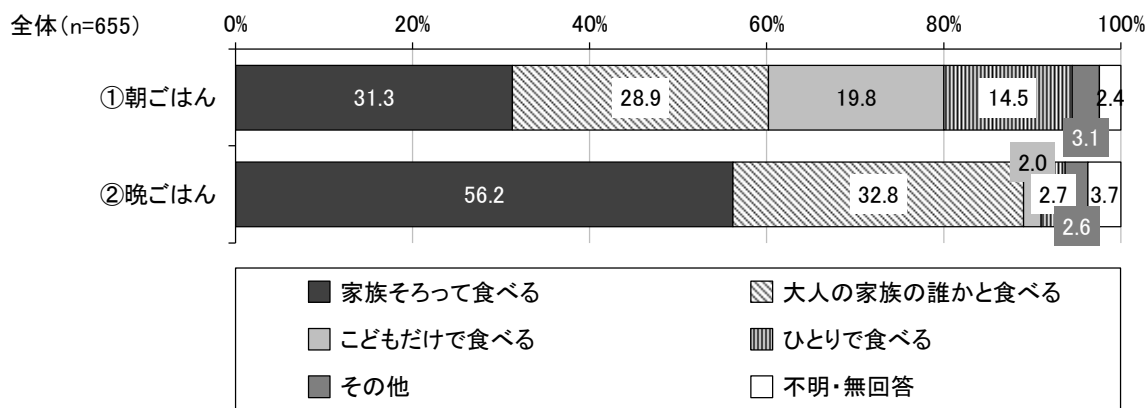
平日の就寝時間についてみると、「午後 10 時台」が 45.0%と最も多く、次いで「午後9時台」が 30.7%となっています。



問7 あなたは、普段の朝ごはん、晩ごはんをどのように食事していますか。
(それぞれ、あてはまる番号1つに○)

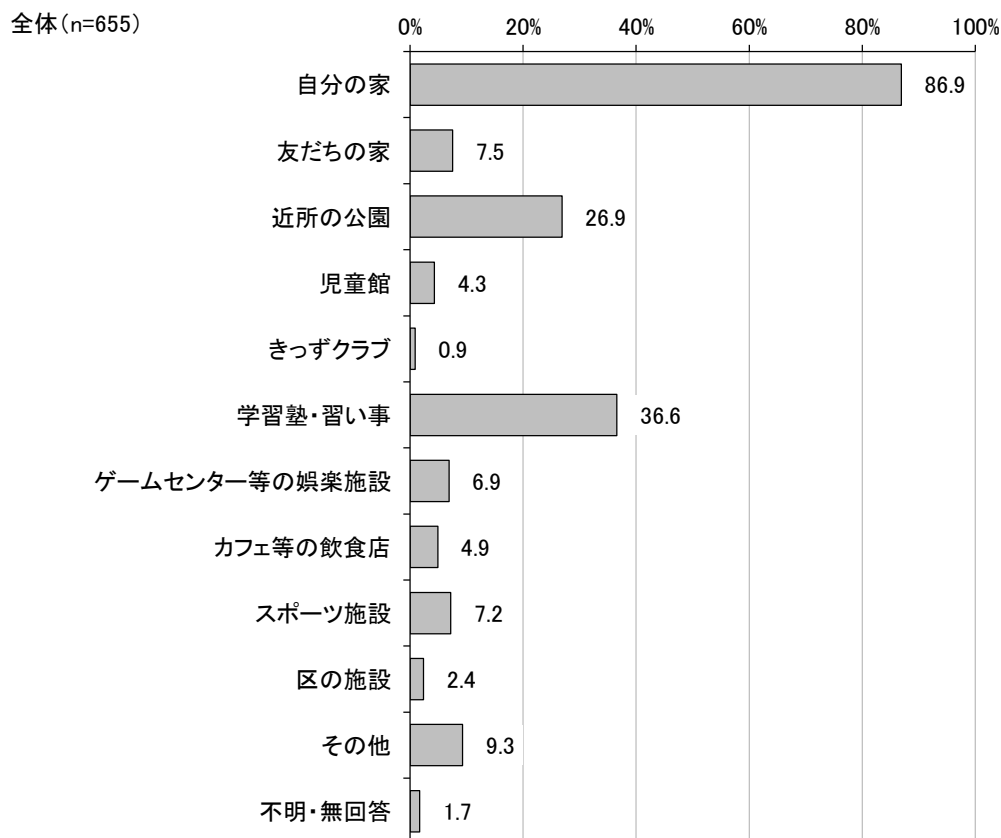
朝ごはんをどのように食事しているかについてみると、「家族そろって食べる」が31.3%と最も多く、次いで「大人の家族の誰かと食べる」が28.9%となっています。

晩ごはんでは、「家族そろって食べる」が56.2%と最も多く、次いで「大人の家族の誰かと食べる」が32.8%となっています。



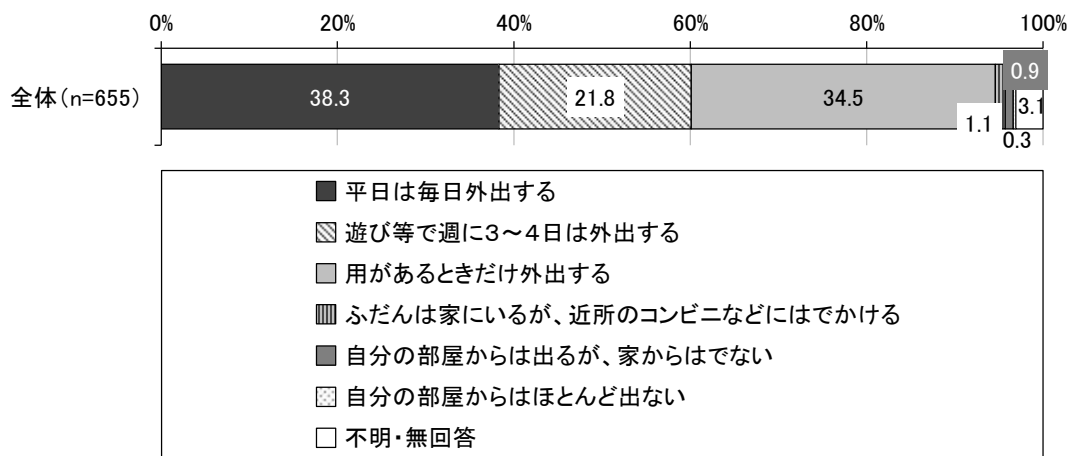
問8 あなたは休日（学校がない日）、どこで過ごしていることが多いですか。
(もっともあてはまるもの3つまで○)

休日の過ごし方についてみると、「自分の家」が86.9%と最も多く、次いで「学習塾・習い事」が36.6%となっています。



問9 あなたはふだん、どのくらい外出していますか。(1つに○)

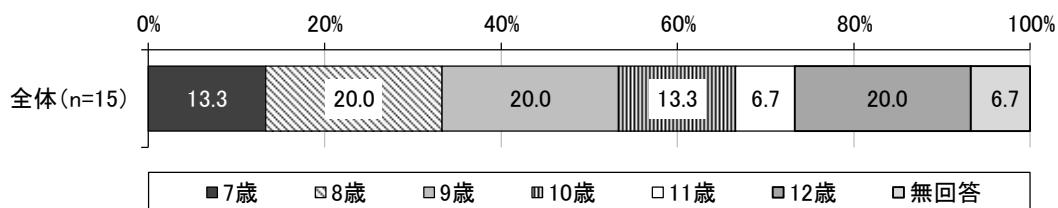
ふだんの外出する程度についてみると、「平日は毎日外出する」が38.3%と最も多く、次いで「用があるときだけ外出する」が34.5%となっています。



問9で「ふだんは家にいるが、近所のコンビニなどにはでかける」「自分の部屋からは出るが、家からはでない」「自分の部屋からはほとんど出ない」を選んだ方

問10 現在の状態になったのは、あなたが何歳のころですか。(数字を記入)

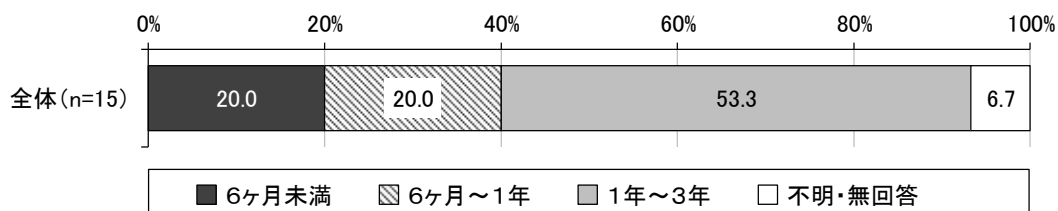
現在の状態になった年齢についてみると、「8歳」、「9歳」と「12歳」が20.0%と最も多くなっています。



問9で「ふだんは家にいるが、近所のコンビニなどにはでかける」「自分の部屋からは出るが、家からはでない」「自分の部屋からはほとんど出ない」を選んだ方

問11 現在の状態となって、どのくらい経ちますか。(1つに○)

現在の状態となってどのくらい経つかについてみると、「1年～3年」が53.3%と最も多く、次いで「6ヶ月未満」と「6ヶ月～1年」が20.0%となっています。

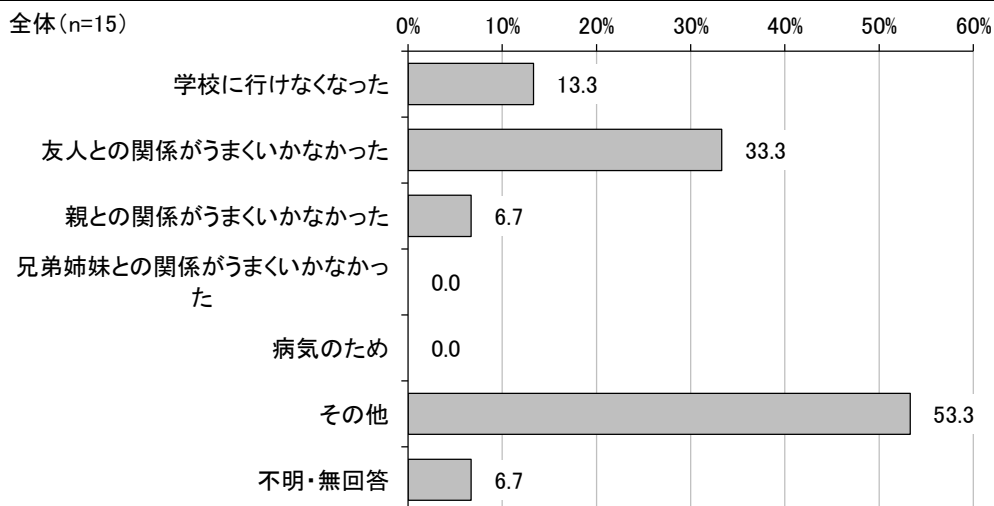


第2部 区民意向調査結果

問9で「ふだんは家にいるが、近所のコンビニなどにはでかける」「自分の部屋からは出るが、家からはでない」「自分の部屋からはほとんど出ない」を選んだ方

問12 現在の状態となったきっかけは何ですか。(あてはまるものすべてに○)

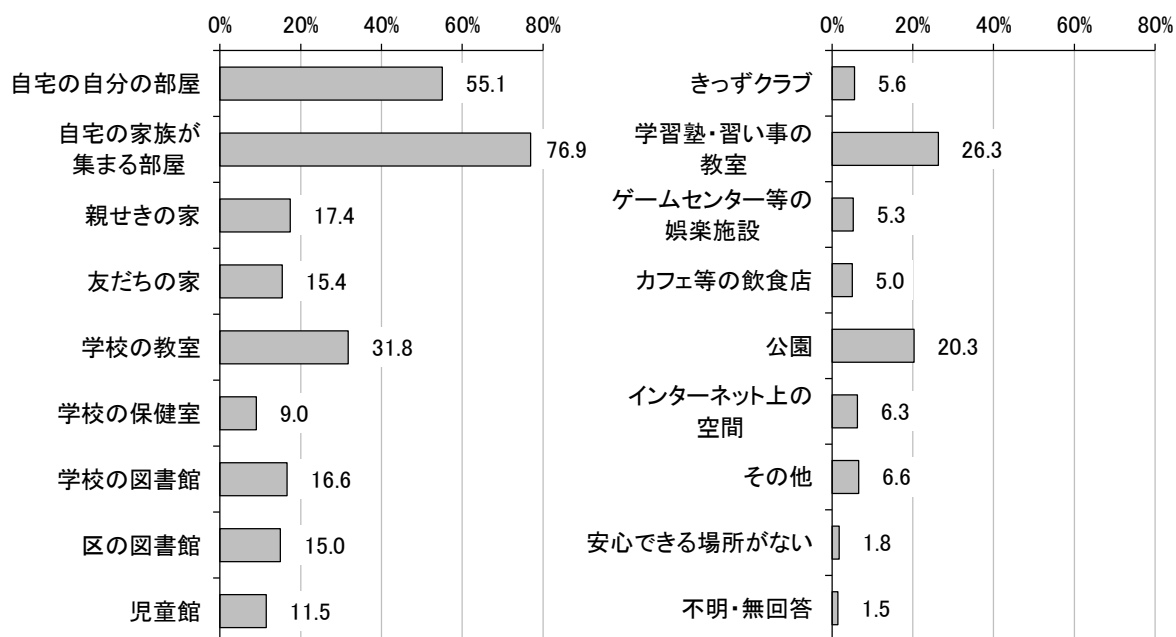
現在の状態となったきっかけについてみると、「友人との関係がうまくいかなかった」が33.3%となっています。「その他」の回答では、「友人と遊ぶのがめんどろ」「特に理由はない」などの意見があります。



問13 あなたが安心できる場所はどこですか。(あてはまるものすべてに○)

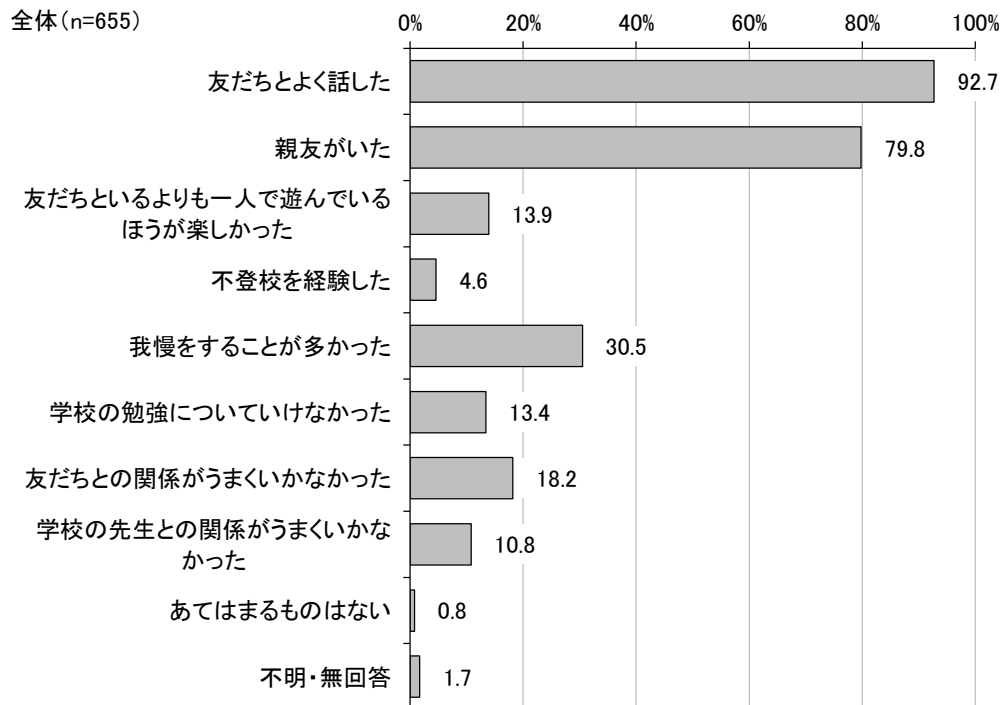
安心できる場所についてみると、「自宅の家族が集まる部屋」が76.9%と最も多く、次いで「自宅の自分の部屋」が55.1%となっています。

全体(n=655)



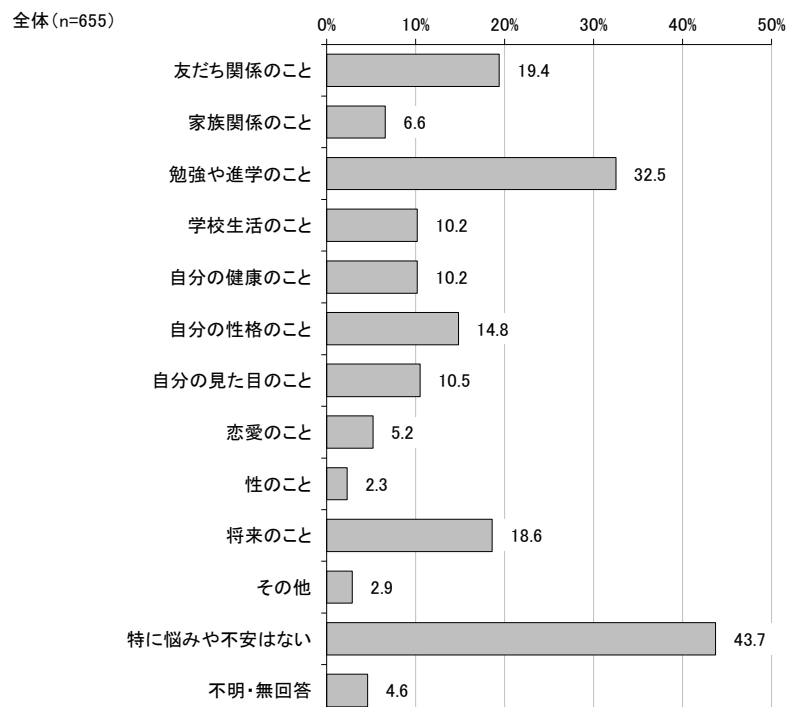
問 14 あなたはこれまでに、学校で次のようなことを経験したことがありますか。
(あてはまるものすべてに○)

これまでに学校で経験したことについてみると、「友だちとよく話した」が 92.7%と最も多く、次いで「親友がいた」が 79.8%となっています。



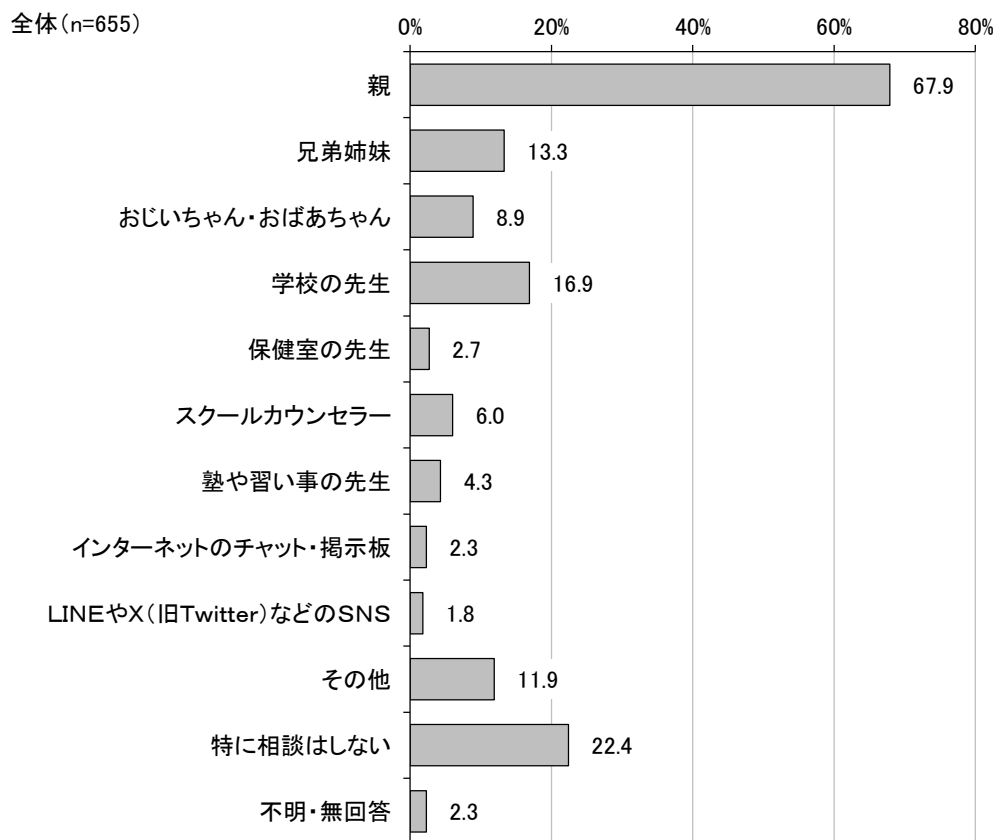
問 15 現在、悩んでいることや不安に感じていることはありますか。
(あてはまるものすべてに○)

現在、悩んでいることや不安に感じていることについてみると、「特に悩みや不安はない」が 43.7%と最も多く、次いで「勉強や進学のこと」が 32.5%となっています。



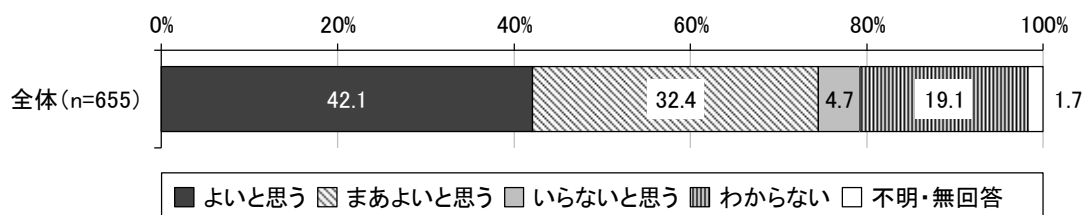
問 16 悩みや不安を感じたときに、だれ・どこに相談していますか。
(あてはまるものすべてに○)

悩みや不安を感じたときの相談相手についてみると、「親」が 67.9%と最も多く、次いで「特に相談はしない」が 22.4%となっています。



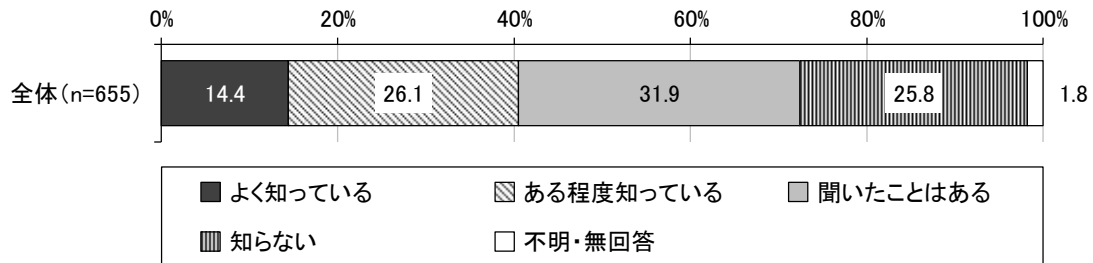
問 17 性について学ぶ「性教育」では、性の被害等から自分の心や体を守る方法も学びます。この「性教育」を学校で受けられたらよいと思いますか。(1つに○)

「性教育」を学校で受けられたらよいと思うかについてみると、「よいと思う」が 42.1%と最も多く、次いで「まあよいと思う」が 32.4%となっています。



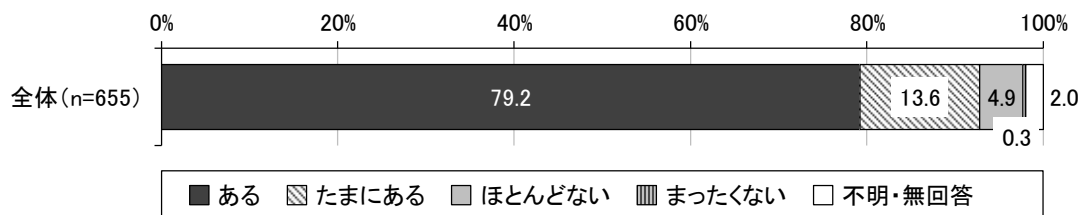
問 18 「こどもの権利」とは、こどもが大人と同じく一人の人間として持つ権利であり、安心して生活できること、自由に意見を言ったり活動したりできることなどが含まれます。あなたは、「こどもの権利」について知っていますか。（1つに○）

「こどもの権利」の認知度についてみると、「聞いたことはある」が 31.9%と最も多く、次いで「ある程度知っている」が 26.1%となっています。



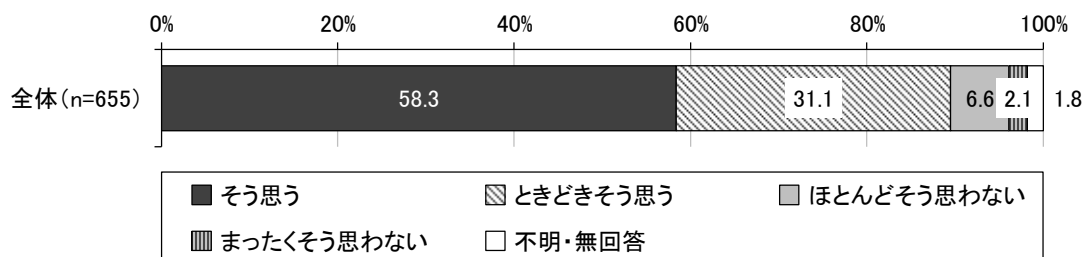
問 19 あなたには、遊んだり休むなど、自分の好きなことをする時間がありますか。（1つに○）

自分の好きなことをする時間の有無についてみると、「ある」が 79.2%と最も多く、次いで「たまにある」が 13.6%となっています。



問 20 あなたは、生活のなかで、文化・国籍などのちがいや障害のあるなしにかかわらず、こどもが大切にされていると感じていますか。（1つに○）

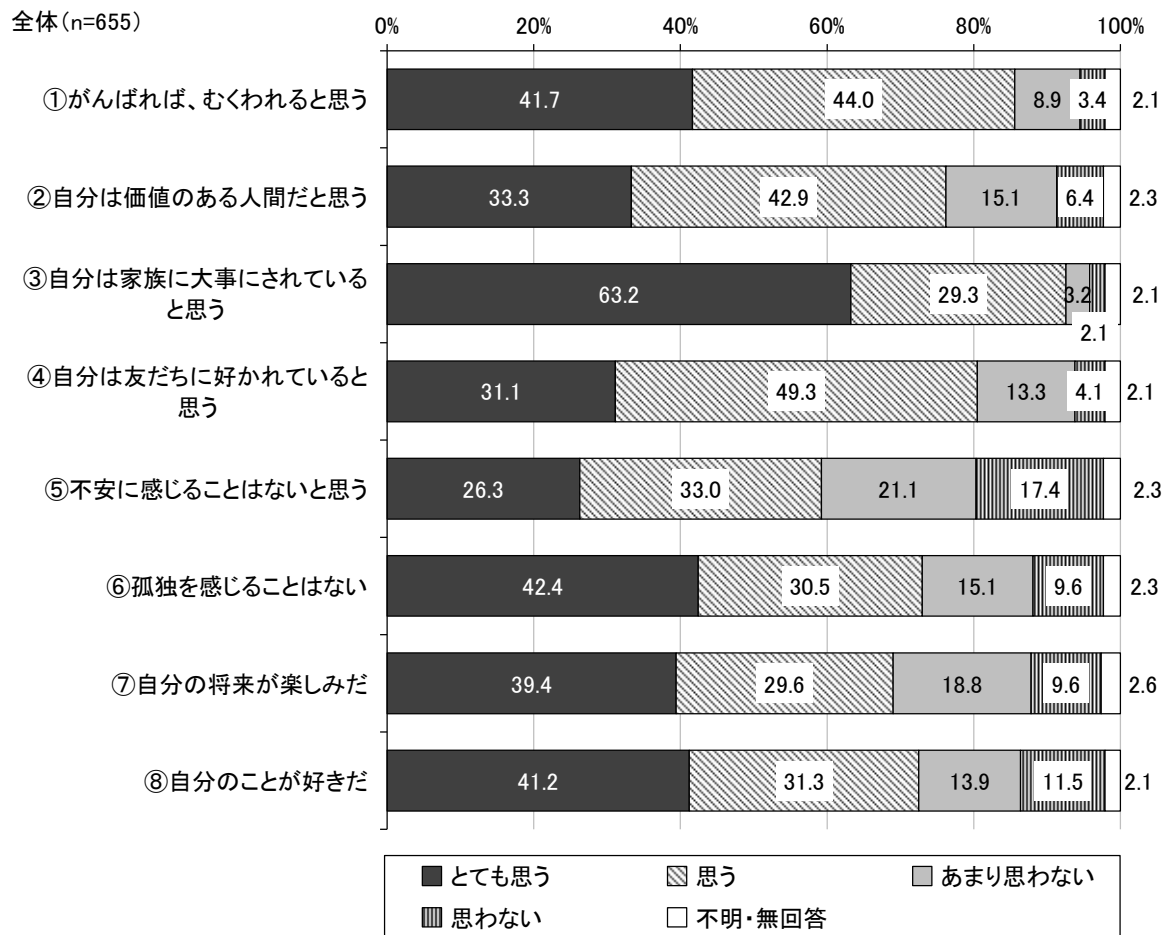
文化・国籍、障害の有無にかかわらず、こどもが大切にされていると感じるかについてみると、「そう思う」が 58.3%と最も多く、次いで「ときどきそう思う」が 31.1%となっています。



問 21 ①～⑧の項目について、あなたの思いや気持ちについて、「1 とても思う」から「4 思わない」のもっとも近いものに○をつけてください。（それぞれ、あてはまる番号1つに○）

「とても思う」が最も多かったのは「③自分は家族に大切にされていると思う」で63.2%となっており、「思う」を合わせると92.5%となっています。同様に、「①がんばれば、むくわれると思う」や「④自分は友だちに好かれていると思う」において「とても思う」と「思う」を合わせた割合は80%を超えています。

一方、「思わない」で最も多かったのは「⑤不安に感じることはないと思う」で17.4%となっています。

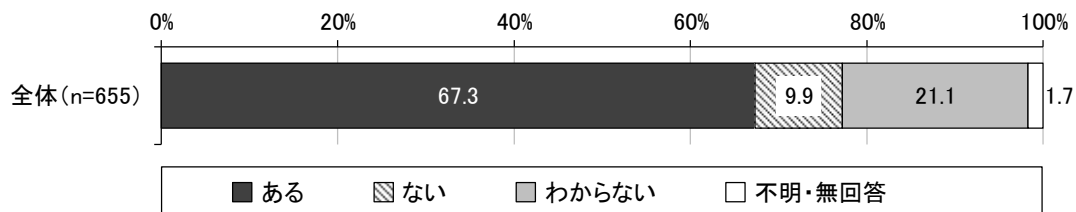


4 将来のことや働くことについて

問 22 あなたは、将来の夢はありますか。(1つに○)

将来の夢の有無についてみると、「ある」が67.3%と最も多く、次いで「わからない」が21.1%となっています。

親との会話状況別にみると、親と話す頻度が高いほど夢が「ある」とする回答が多い傾向がみられます。



○クロス集計【親との会話状況別】

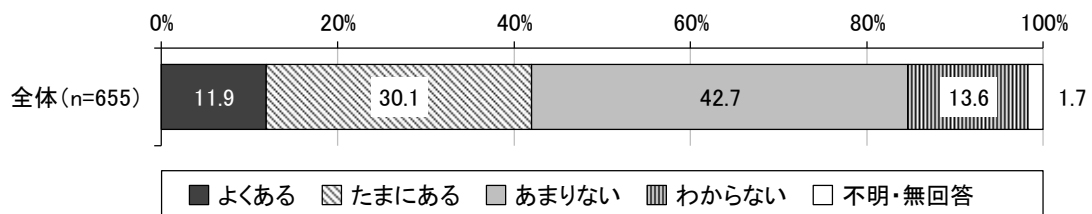
(%)		n	問22 将来の夢			
			ある	ない	わからない	無回答
問26 父親との会話状況	非常によく話すほうである	264	75.4	7.2	16.7	0.8
	話すほうである	270	65.2	10.4	23.7	0.7
	あまり話さないほうだ	73	54.8	16.4	28.8	-
	話さないほうだ	13	61.5	23.1	15.4	-
問28 母親との会話状況	非常によく話すほうである	465	71.2	8.8	19.4	0.6
	話すほうである	146	58.2	14.4	26.0	1.4
	あまり話さないほうだ	23	52.2	13.0	34.8	-
	話さないほうだ	7	100.0	-	-	-

第2部 区民意向調査結果

問 23 あなたは、将来（自分の未来）に対して不安を感じることはありますか。
（1つに○）

将来に対して不安を感じることの有無についてみると、「あまりない」が42.7%と最も多く、次いで「たまにある」が30.1%となっています。

親との会話状況別にみると、親と話す頻度が高いほど「あまりない」とする回答が多い傾向がみられます。



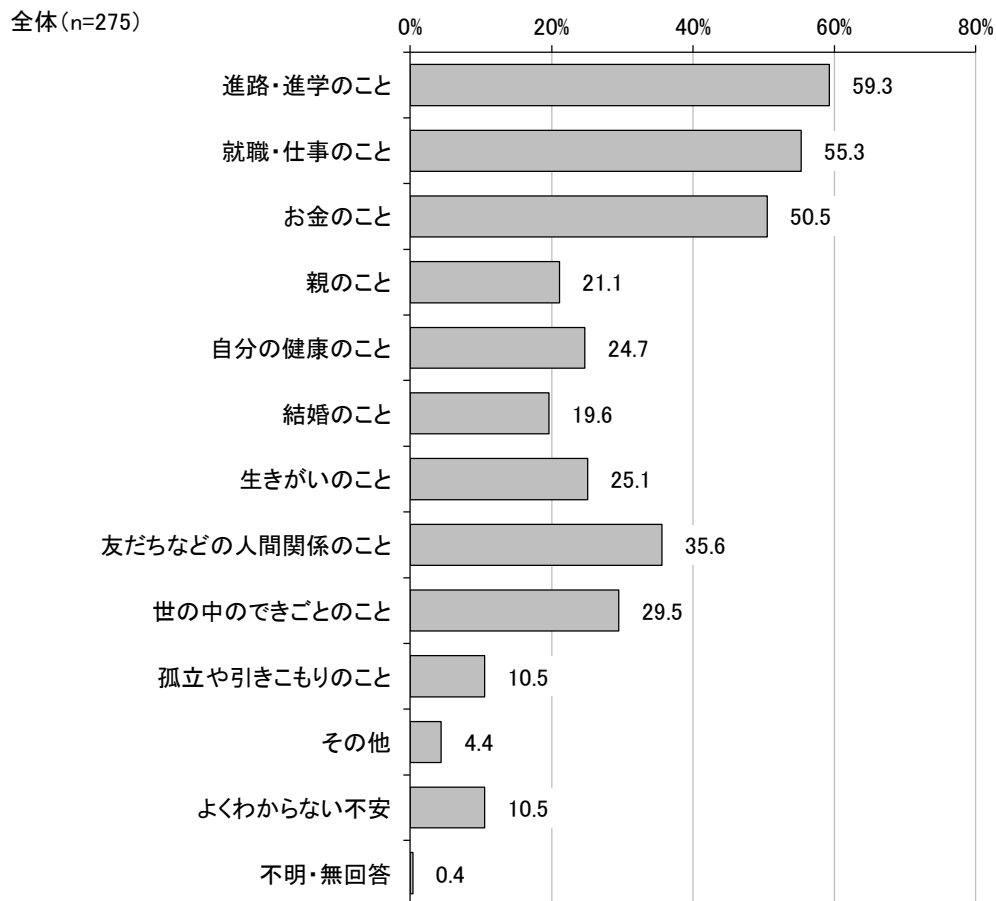
○クロス集計【親との会話状況別】

(%)		n	問23 将来に対する不安				
			よくある	たまにある	あまりない	わからない	無回答
問26 父親との会話状況	非常によく話すほうである	264	11.0	23.1	50.8	14.4	0.8
	話すほうである	270	9.6	37.0	40.0	12.6	0.7
	あまり話さないほうだ	73	23.3	30.1	32.9	13.7	—
	話さないほうだ	13	23.1	30.8	38.5	7.7	—
問281 母親との会話状況	非常によく話すほうである	465	11.0	29.2	45.4	13.8	0.6
	話すほうである	146	10.3	33.6	39.7	15.8	0.7
	あまり話さないほうだ	23	21.7	30.4	39.1	8.7	—
	話さないほうだ	7	85.7	—	14.3	—	—

問 23 で「よくある」「たまにある」を選んだ方

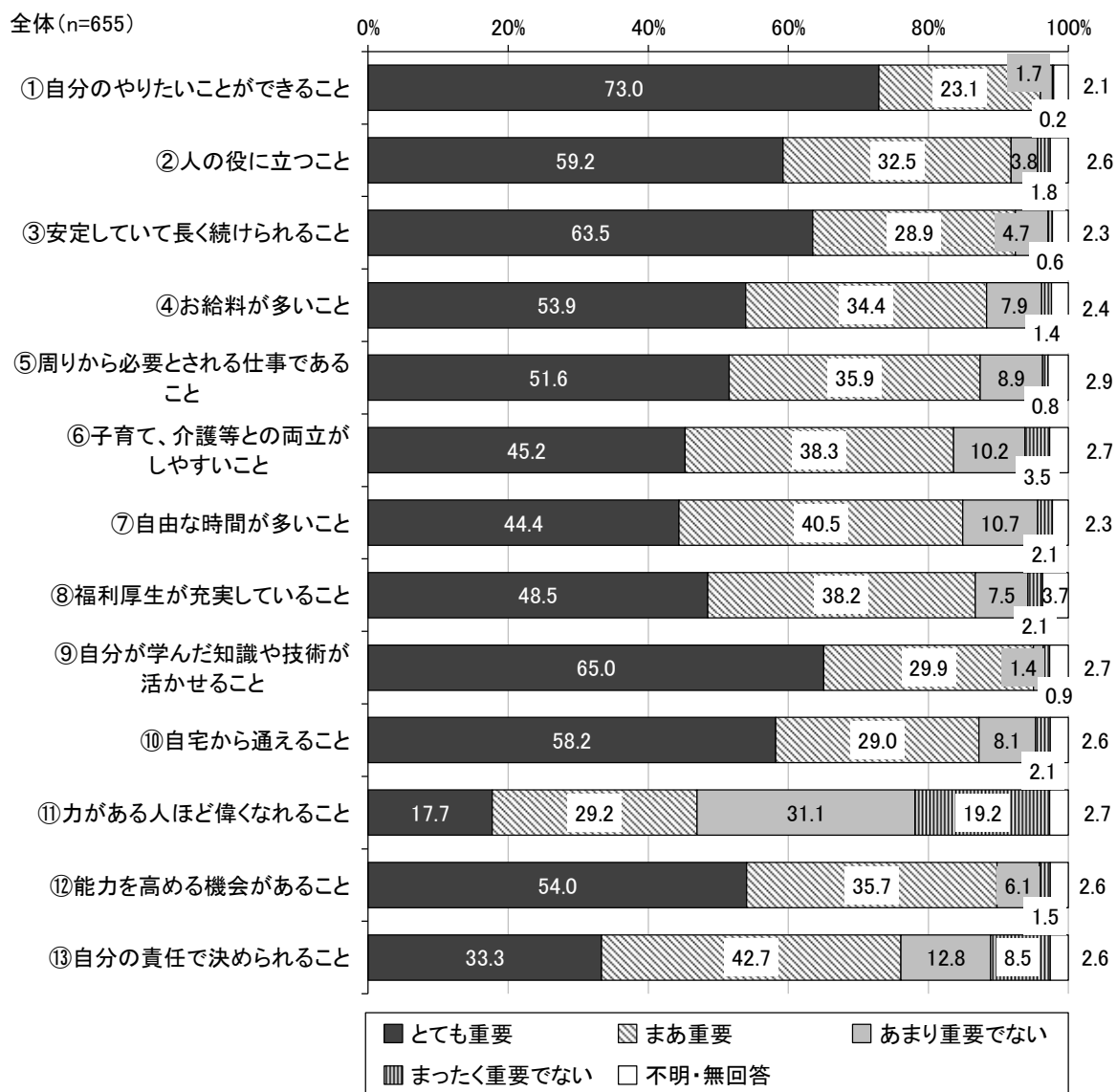
問 24 将来に対しての不安は、主にどのようなことですか。(あてはまるものすべてに○)

将来に対しての不安の内容についてみると、「進路・進学のこと」が 59.3%と最も多く、次いで「就職・仕事のこと」が 55.3%となっています。



問 25 ①～⑬のそれぞれについて、あなたは仕事を選ぶ際に、次の観点をどれくらい重要だと思いますか。（それぞれ、あてはまる番号1つに○）

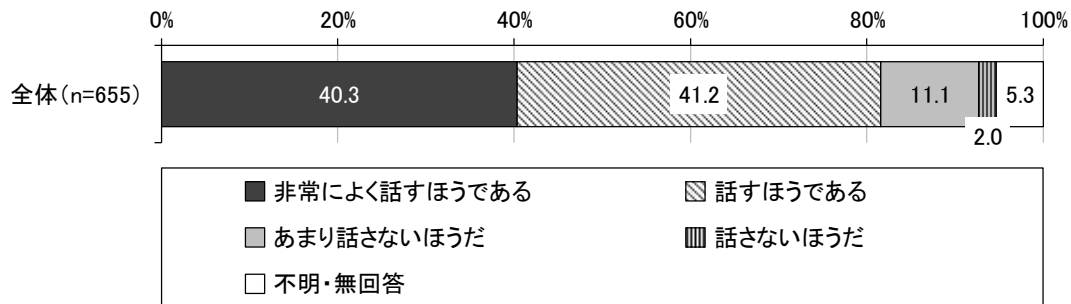
「とても重要」が最も多かったのは、「①自分のやりたいことができること」で73.0%となっており、次いで「⑨自分が学んだ知識や技術が活かせること」が65.0%、「③安定していて長く続けられること」が63.5%となっています。



5 ご家庭のことについて

問 26 あなたはお父さんといるとき、お父さんとはよく話をするほうですか。（1つに○）

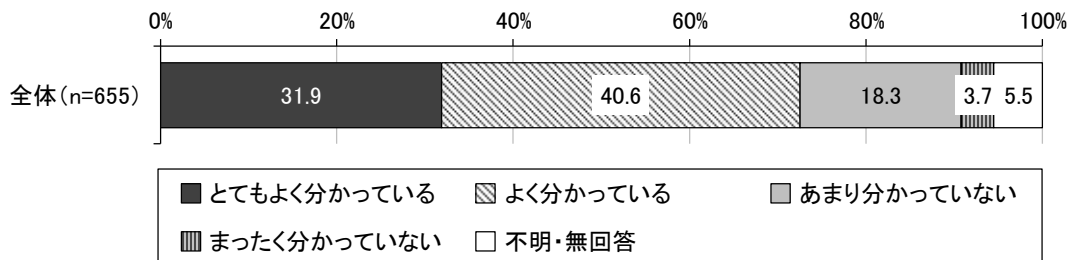
父親との会話の状況についてみると、「話すほうである」が 41.2%と最も多く、次いで「非常によく話すほうである」が 40.3%となっています。



問 27 あなたのお父さんは、ふだん、あなたの気持ちをよく分かっていると思いますか。（1つに○）

父親は回答者の気持ちをよく分かっていると思うかについてみると、「よく分かっている」が 40.6%と最も多く、次いで「とてもよく分かっている」が 31.9%となっています。

父親との会話状況別みると、会話の頻度が多いほど「とてもよく分かっている」や「よく分かっている」の回答が多い傾向にある一方、会話の頻度が少ないほど「あまり分かっていない」や「まったく分かっていない」の回答が多い傾向がみられます。

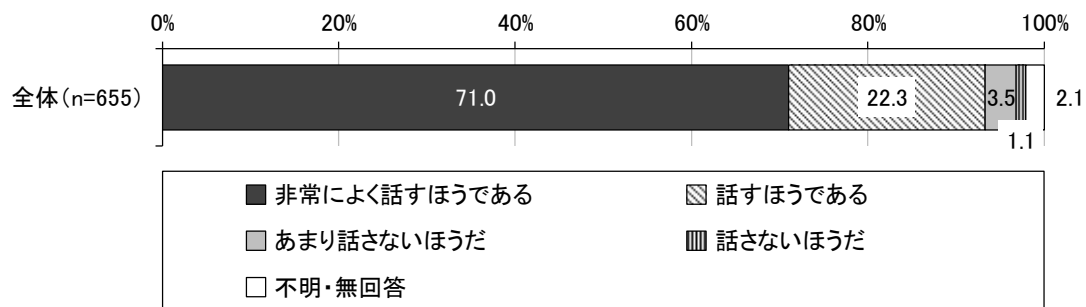


○クロス集計【父親との会話状況別】

(%)		n	問27 父親の自分の理解度				
問26 父親との会話状況			とてもよく分かっている	よく分かっている	あまり分かっていない	まったく分かっていない	無回答
	非常によく話すほうである	264	59.8	33.3	6.1	0.4	0.4
	話すほうである	270	18.1	58.5	20.4	3.0	-
	あまり話さないほうだ	73	1.4	26.0	60.3	11.0	1.4
	話さないほうだ	13	7.7	-	38.5	53.8	-

問 28 あなたはお母さんといるとき、お母さんとはよく話をするほうですか。（1つに○）

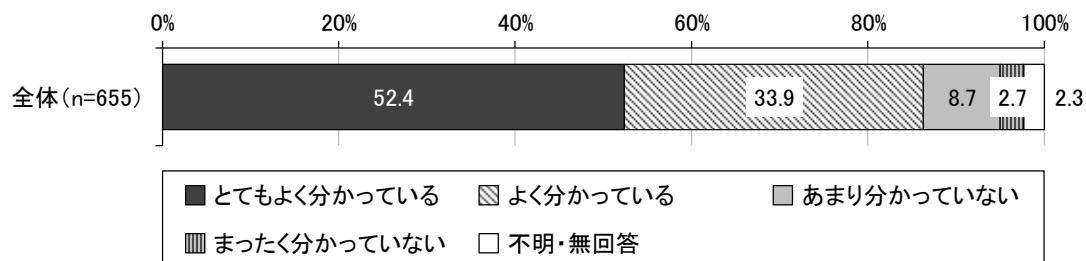
母親との会話の状況についてみると、「非常によく話すほうである」が 71.0%と最も多く、次いで「話すほうである」が 22.3%となっています。



問 29 あなたのお母さんは、ふだん、あなたの気持ちをよく分かっていると思いますか。（1つに○）

母親は回答者の気持ちをよく分かっていると思うかについてみると、「とてもよく分かっている」が 52.4%と最も多く、次いで「よく分かっている」が 33.9%となっています。

母親との会話状況別みると、会話の頻度が多いほど「とてもよく分かっている」や「よく分かっている」の回答が多い傾向にある一方、会話の頻度が少ないほど「あまり分かっていない」や「まったく分かっていない」の回答が多い傾向がみられます。

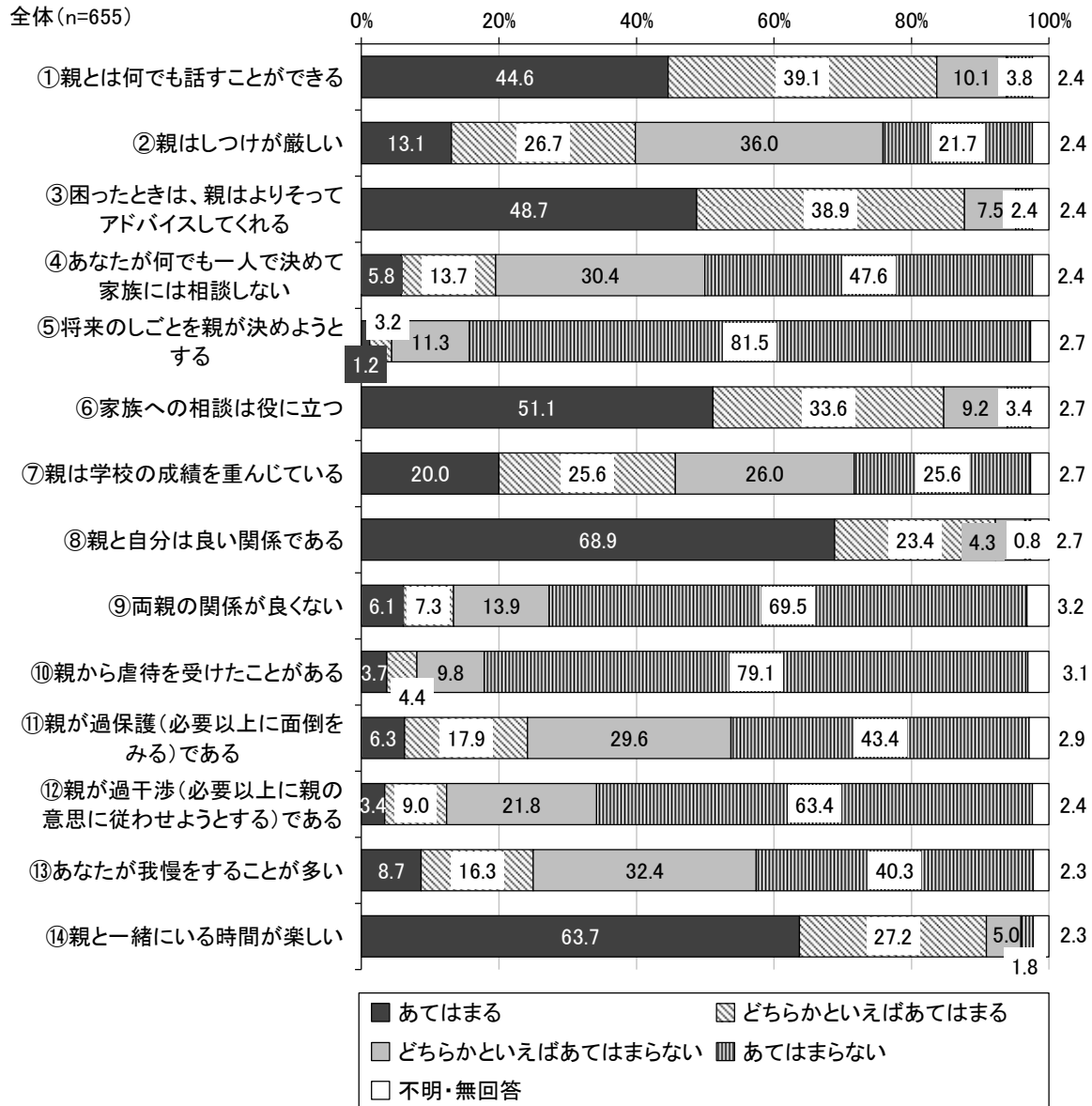


○クロス集計【母親との会話状況別】

(%)		n	問29 母親の自分の理解度				
			とてもよく分かっている	よく分かっている	あまり分かっていない	まったく分かっていない	無回答
問28 母親との会話状況	非常によく話すほうである	465	67.3	28.6	3.7	0.2	0.2
	話すほうである	146	17.8	56.8	21.9	3.4	-
	あまり話さないほうだ	23	17.4	26.1	34.8	21.7	-
	話さないほうだ	7	-	-	-	100.0	-

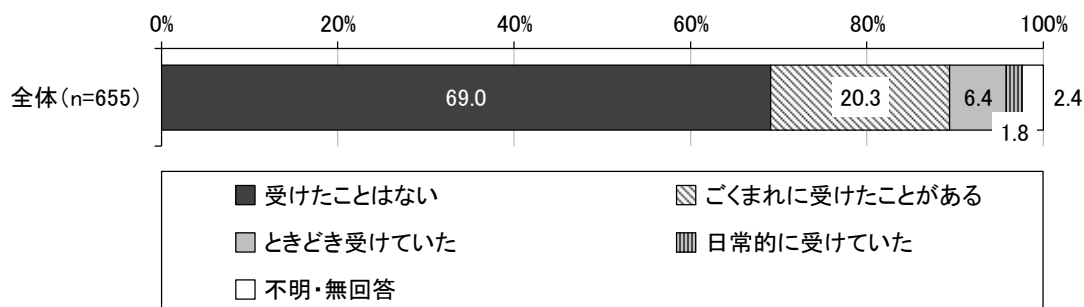
問 30 あなたの家庭の状況について、次の①～⑭の項目はどの程度あてはまりますか。
(それぞれ、あてはまる番号1つに○)

「あてはまる」が最も多かったのは、「⑧親と自分は良い関係である」で 68.9%となっており、次いで「⑭親と一緒にいる時間が楽しい」が 63.7%、「⑥家族への相談は役に立つ」が 51.1%となっています。



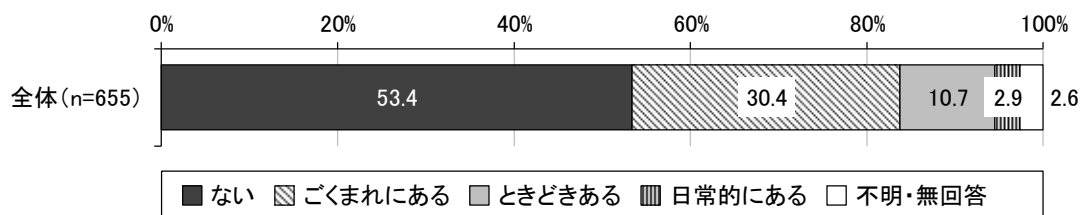
問 31 あなたは、お父さんやお母さんから体罰（たたかれたり、長時間立たされるなど体が辛かったり痛かったりすること）を受けたことはありますか。（1つに○）

父親や母親からの体罰を受けた経験の有無についてみると、「受けたことはない」が 69.0%と最も多く、次いで「ごくまれに受けたことがある」が 20.3%となっています。



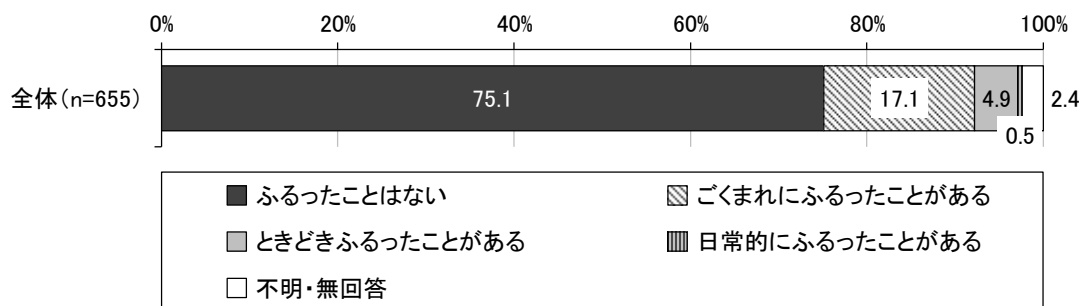
問 32 あなたは、お父さんやお母さんから言葉によって傷つけられたことがありますか。（1つに○）

父親や母親から言葉によって傷つけられた経験の有無についてみると、「ない」が 53.4%と最も多く、次いで「ごくまれにある」が 30.4%となっています。



問 33 あなたは、お父さんやお母さんに暴力をふるうことが、これまでにありましたか。（1つに○）

父親や母親に暴力をふるった経験の有無についてみると、「ふるったことはない」が 75.1%と最も多く、次いで「ごくまれにふるったことがある」が 17.1%となっています。

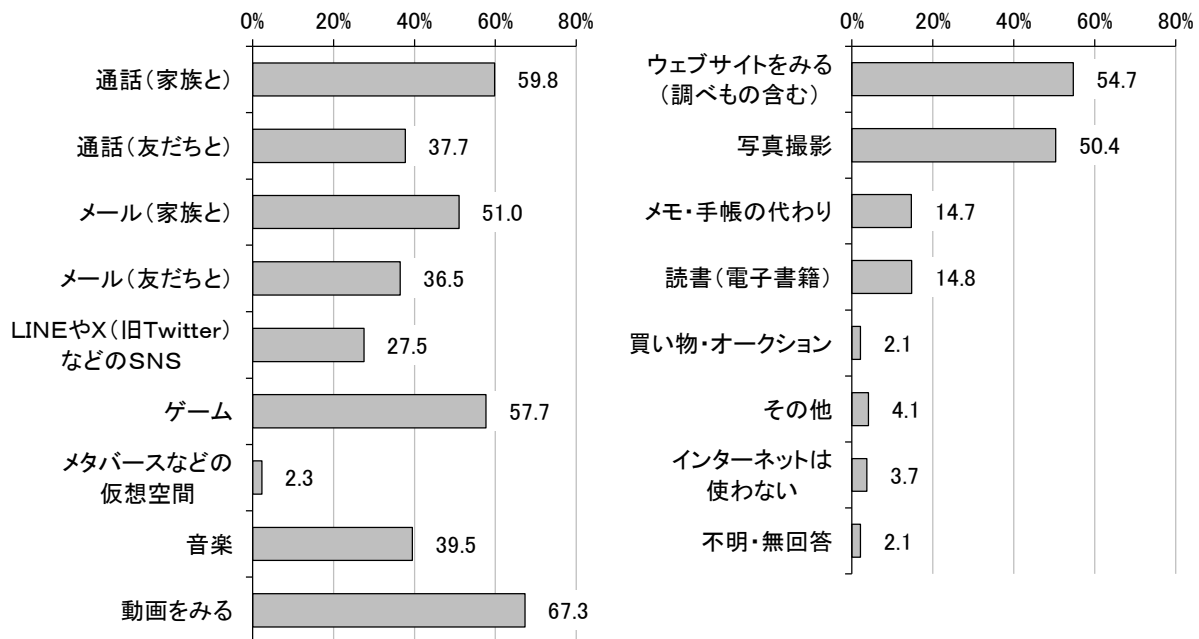


6 インターネットを通じた情報について

問 34 学校で配付されたタブレット以外でスマートフォン、パソコンなどインターネット環境のある方にうかがいます。ネットワークをどのような目的で利用することが多いですか。(あてはまるものすべてに○)

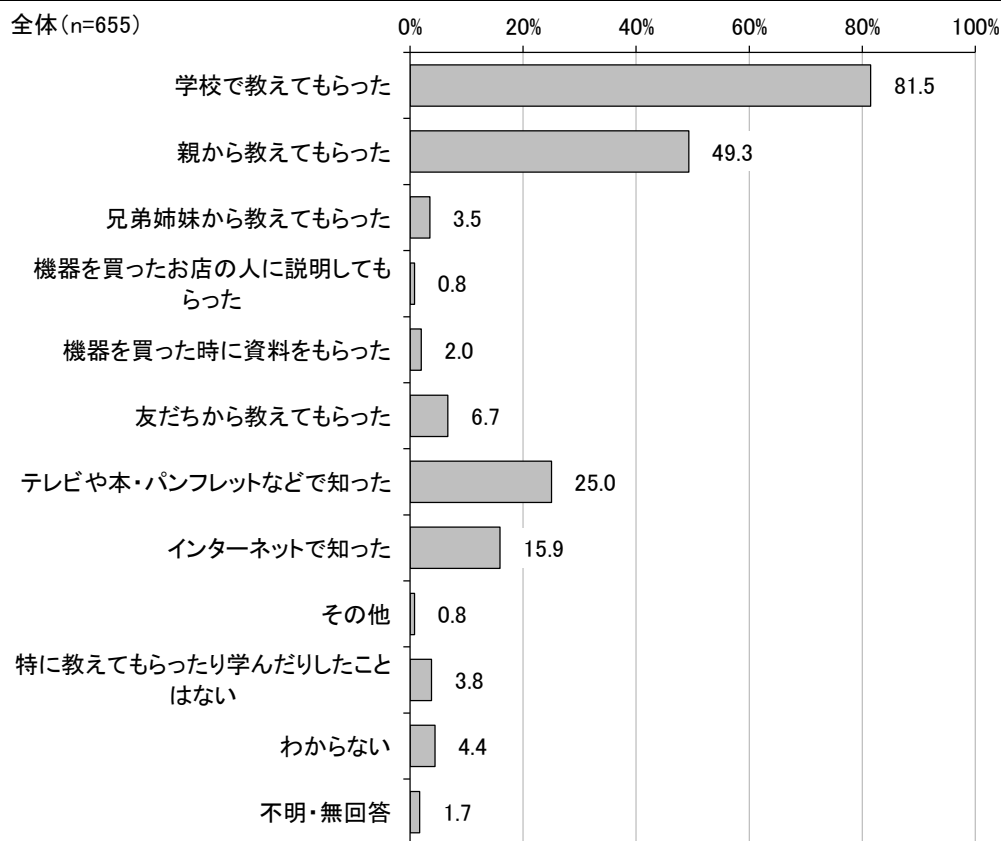
ネットワークの利用目的で多いことについてみると、「動画をみる」が 67.3%と最も多く、次いで「通話(家族と)」が 59.8%となっています。

全体(n=655)



問 35 あなたは、子ども・若者に良くないサイト（異性と知り合うサイトや詐欺など）やネットいじめの問題などインターネットの危険性について、これまで説明を受けたり学んだりしたことがありますか。（あてはまるものすべてに○）

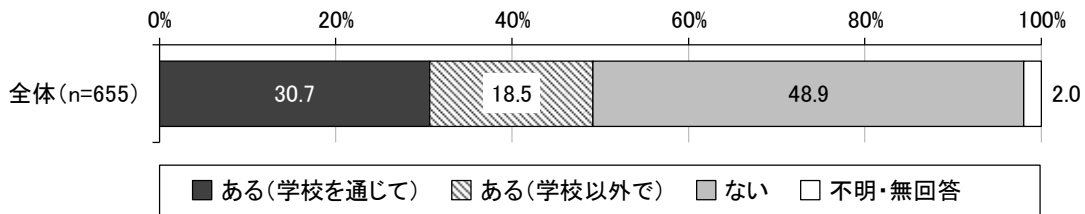
インターネットの危険性に関して学んだことについてみると、「学校で教えてもらった」が 81.5%と最も多く、次いで「親から教えてもらった」が 49.3%となっています。



7 ボランティアや地域との関わりのことについて

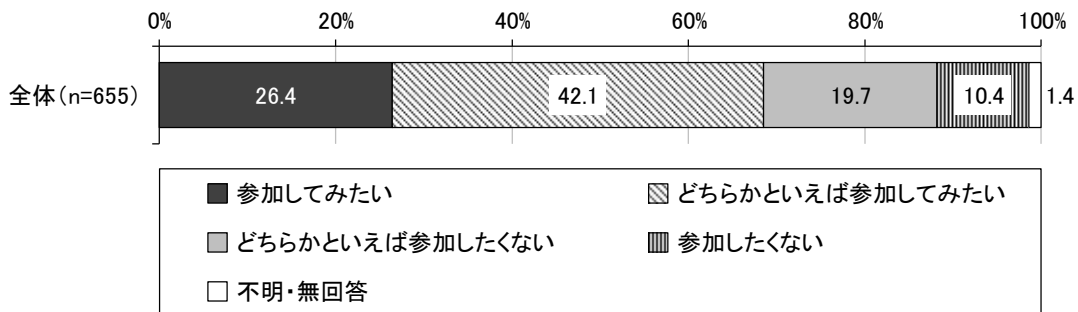
問 36 あなたは、今までにボランティア活動に参加したことはありますか。（1つに○）

ボランティア活動の参加経験の有無についてみると、「ない」が 48.9%と最も多く、次いで「ある（学校を通じて）」が 30.7%となっています。



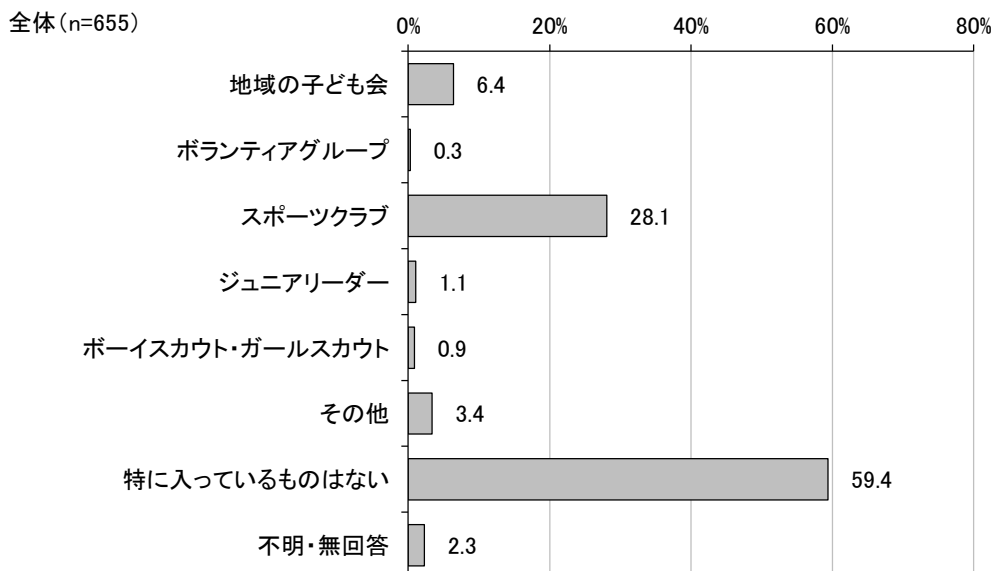
問 37 今後、ボランティアに参加したいと思いますか。（1つに○）

今後のボランティアへの参加意向についてみると、「どちらかといえば参加してみたい」が 42.1%と最も多く、次いで「参加してみたい」が 26.4%となっています。



問 38 現在、地域の中で入っているものはありますか。（あてはまるものすべてに○）

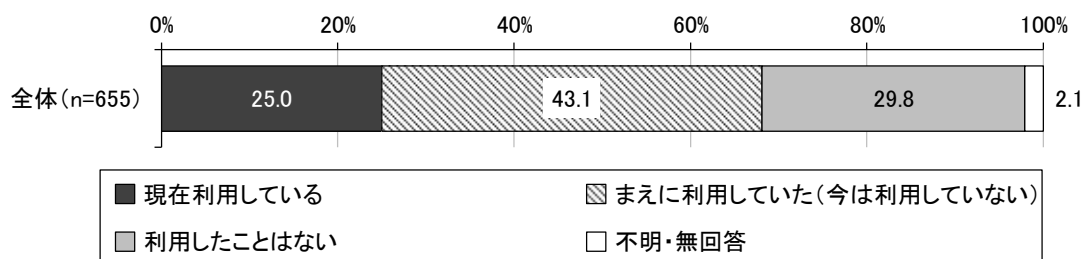
現在、地域の中で所属しているものについてみると、「特に入っているものはない」が 59.4%と最も多く、次いで「スポーツクラブ」が 28.1%となっています。



8 児童館のことについて

問 39 あなたは、江東区内にある児童館を利用していますか。（1つに○）

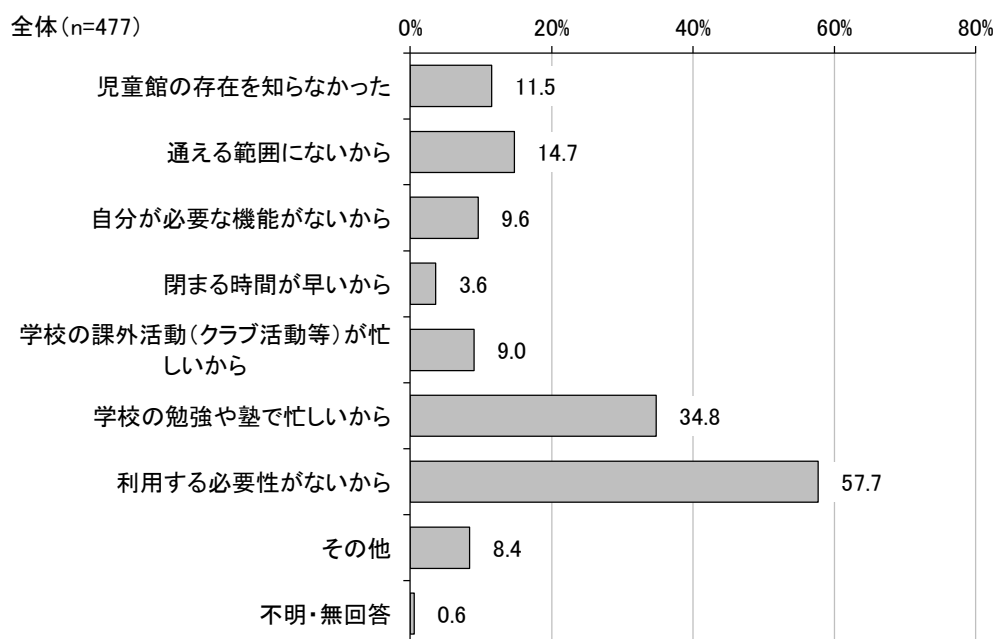
江東区内にある児童館の利用状況についてみると、「まえに利用していた（今は利用していない）」が43.1%と最も多く、次いで「利用したことはない」が29.8%となっています。



問 39 で「まえに利用していた（今は利用していない）」「利用したことはない」を選んだ方

問 40 児童館を利用していない理由はなんですか。（あてはまるものすべてに○）

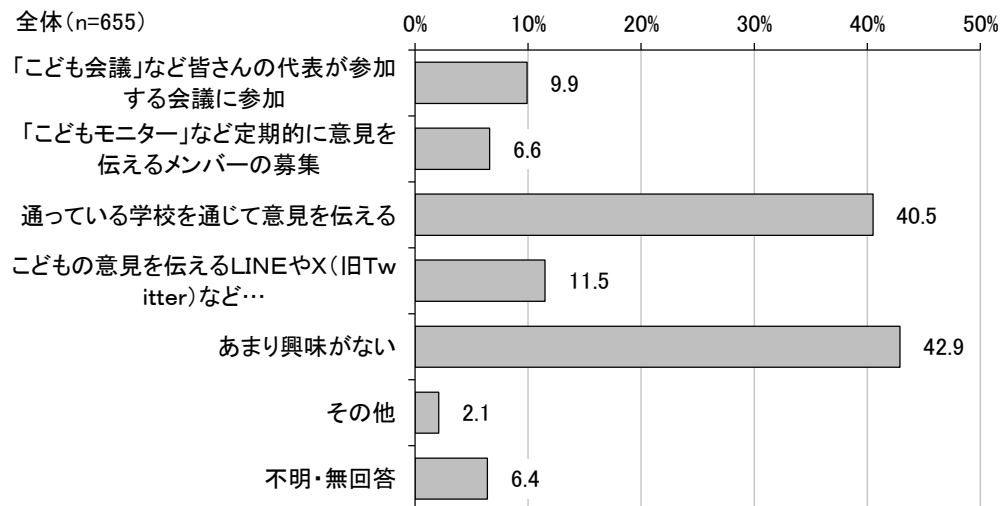
児童館を利用していない理由についてみると、「利用する必要性がないから」が57.7%と最も多く、次いで「学校の勉強や塾で忙しいから」が34.8%となっています。



9 江東区役所に意見を伝えることについて

問 41 皆さんの意見を江東区役所に伝えるために、あなたが参加しやすい方法を教えてください。（あてはまるものすべてに○）

江東区役所に意見を伝えるための参加しやすい方法についてみると、「あまり興味がない」が42.9%と最も多く、次いで「通っている学校を通じて意見を伝える」が40.5%となっています。



問 42 最後に、区に望むことがありましたらご自由にお書きください。

区に望むことの内容は、「インフラ面(街並み・公園等)について」が 28 件で最も多く、次いで「学校生活について」が 27 件、「インフラ(運動スペース)について」が 23 件と続いています。

カテゴリー	件数
インフラ面(街並み・公園等)について	28 件
学校生活について	27 件
インフラ(運動スペース)について	23 件
区政・イベント等について	18 件
治安・マナーについて	16 件
経済的なことについて	12 件
インフラ(商業・娯楽等)について	11 件
その他	67 件

※カテゴリー10件未満のものは「その他」にまとめて集計。複数カウントあり。

以降に、寄せられた意見を抜粋で掲載します（原則、原文のまま）。

①インフラ面(街並み・公園等)について

- ✧ ボール遊びが出来る公園を作ってほしい。
- ✧ 公園に遊具を作ってほしい。
- ✧ 清澄公園に時計をつけてほしい。
- ✧ 公園のトイレをきれいにしてほしい。
- ✧ 通学路に喫煙所を作らないでほしかった。人通りが多い場所に作らないでほしい。
- ✧ 夜の辰巳駅前のバス停が暗くて怖いので、生えすぎている草を刈ってください。
- ✧ 川をきれいにしてほしい。

②学校生活について

- ✧ 教科書を軽くしてほしい。（5年生から上と下が分かれていない国語の教科書が重いから、上と下を分けてほしい）
- ✧ クロムブックの軽量化。
- ✧ 10月から給食の無償化がはじまり、給食の種類が以前に比べて減っているので、以前のような充実した給食が食べられるようにしてほしいです！
- ✧ 給食とお弁当を選べるようにしてほしい。
- ✧ 小学校の給食での黙食を辞めて、みんなで話しながら食べられるようにしてほしい。
- ✧ 遠足を動物園や色々な施設に遠足へ行きたい。体験授業を増やしてほしい。すべて豊洲西小学校でお願いします。
- ✧ 他のクラスと授業の回数を平等にしてほしい。水泳の時間が少ないので増やしてほしい。（泳げる時間が約15～10分しかない。）学校での宿泊行事を増やしてほしい。
- ✧ 今後適切な教育を受けさせる事ができない人材は教師と認めないでいただきたいです。

- ✧ 問題児が多い学校なので先生を増やしてほしい。
- ✧ 学校から直接習い事に行ってもいいように、ルールを変えてほしい。

③インフラ(運動スペース)について

- ✧ ボールで遊べる場所を増やして下さい。
- ✧ もっと自由にバスケットができる場所がたくさんほしい。
- ✧ 雨でも野球やサッカーが遊べる場所がほしい。
- ✧ パルクールするところがもっとほしい。
- ✧ 豊洲、東雲地区に人工芝のグラウンドを作してほしい。(サッカー用。)
- ✧ 球技(サッカー)の練習を安全にできる場所をつくって欲しい。
- ✧ アクアティクスでも電光掲示板を使えるようにしてほしい。
- ✧ スポーツセンターのこどものプログラムを充実させてほしい。

④区政・イベント等について

- ✧ 区民まつりや、こどもフリーマーケットなど楽しいイベントがたくさんあると嬉しいです。
- ✧ 参加しやすく、イベントを開いてほしい。
- ✧ コンクールをもう少し増やしてほしいです。
- ✧ 楽しい事(祭りなど)や、逃走中などのこともやってほしいです。(区内で)
- ✧ 子どもが楽しく暮らせるようにいろいろなイベントをしてほしいです。
- ✧ 公共施設に行こうと思えるようなイベントを開いてほしい。
- ✧ 母子家庭や父子家庭の家族が少しでも楽に暮らせるような条例をつくってほしい。
- ✧ 活気のある町づくり、充実した施設などをこれからも続けてください。

⑤治安・マナーについて

- ✧ 江東区をごみのある所から直したいです。その為には掃除のボランティアを作ればよいと思います。そしたらみんなも町をきれいにしようとする気持ちが強くなるからです。
- ✧ 辰巳から家に帰る時などすごく暗くて怖いので、少し明るくしてほしいです。おねがいします！
- ✧ たまにスピードを出しすぎて危ない車や自転車があるので注意してほしいです。
- ✧ ペットのフンや尿の処理につて。もう少し明確にしてほしい。
- ✧ 暴走族がいなくなってほしい。

⑥経済的なことについて

- ✧ この間、子育てクーポンでスシローやユニクロに連れて行ってもらいました。子育てをしている世代に対する手当がとてもいいと思いました。これからも続行してほしいなと思います。
- ✧ 電子クーポンで双眼鏡などを買ってもらって嬉しかったのでまたあるといいです。
- ✧ 子どもにお金を配ってほしい。物価高騰などがあるため。夢を増やすため。文房具を配ってほしい。(ノートや鉛筆など。)
- ✧ 税金を下げ親の負担を減らしてほしい。
- ✧ 消費税を減らしてください。

⑦インフラ(商業・娯楽等)について

- ✧ 新しいスポーツ店。
- ✧ 辰巳駅周辺に、ジュースなどが飲める喫茶店を作って欲しいです。
- ✧ 駄菓子屋を近くにほしいです。
- ✧ 無料で、こどものみで入場可能な娯楽施設。
- ✧ 遊園地をつくってほしいです。
- ✧ 豊洲地区にあるパチンコ店をなくしてほしい。
- ✧ 動物園や水族館がほしい。

⑧その他

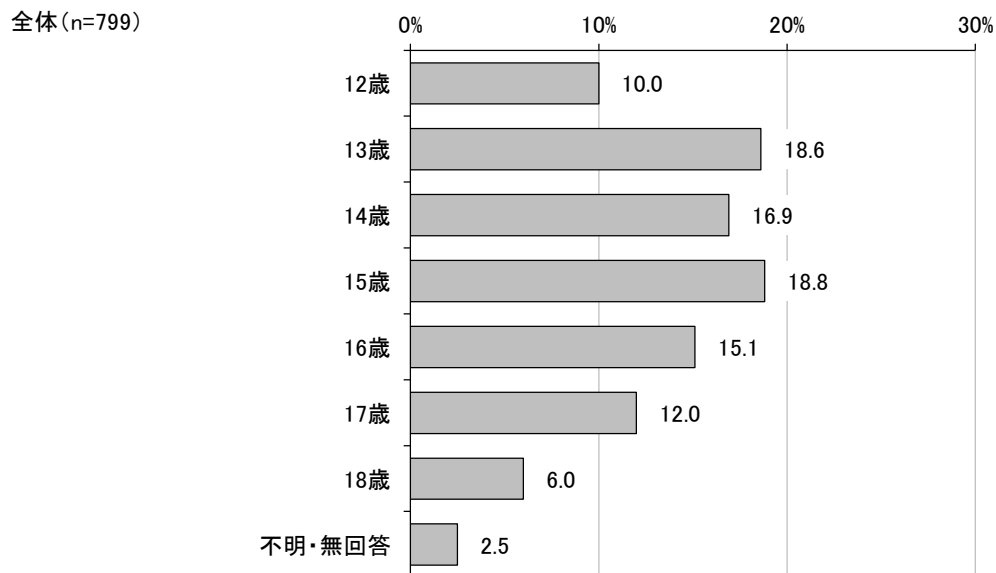
- ✧ 電車やバスなどで子どもの優先席をつくってほしい。
- ✧ 路線（電車）などを増やしてほしいです。
- ✧ 科学館など楽しく学べる場所を増やしてほしいです。農業など東京であまり体験できないようなことを体験できる場所を増やしてほしいです。
- ✧ 移動図書館を作ってください。作ったら色々な人が本を読むと思います。
- ✧ 図書館を増やしてほしいです。
- ✧ 図書館の本の数（マンガを特に。）増やしてほしいです。
- ✧ グラウンド（校庭）の遊具を増やす。あとデジタル化。
- ✧ 学校教室が足りないので、増やしてほしい。
- ✧ 有明西学園にスクールバスを設置してほしい。
- ✧ 学校の部活が少ないので江東区の学校を全体的に部活を増やしてほしいです。
- ✧ 児童館の遊びを増やしてほしいです。
- ✧ 児童館を日曜日にも開けてほしいです。
- ✧ もう少し自然を大切に思っしてほしいです。
- ✧ 工事の時に防音対策をしっかりしてほしいです。
- ✧ いじめがないようにしたい。
- ✧ 財政を豊かにしてください。ボランティア活動をもっと積極的にやってほしい。
- ✧ 私はスポーツが好きなのでオリンピックやパラリンピック選手に会う機会がほしいです。白杖や点字などの体験をする機会を設けてほしいです。
- ✧ こどもが自由に遊べる場所を増やして欲しい。近所から怒られないような、のびのびと遊べる場所。
- ✧ このようなアンケートを定期的に行って、親などとあまり上手くいってない子たちに応援してあげてほしいです。他の人とかにも共感できてもらえる、安心できる。インターネットなどのメールでつながれる場所がほしいです。
- ✧ 少し、大人向けの質問だったので、回答しづらかったです。

第4章 中学生・高校生世代調査の結果

1 あなた自身のことについて

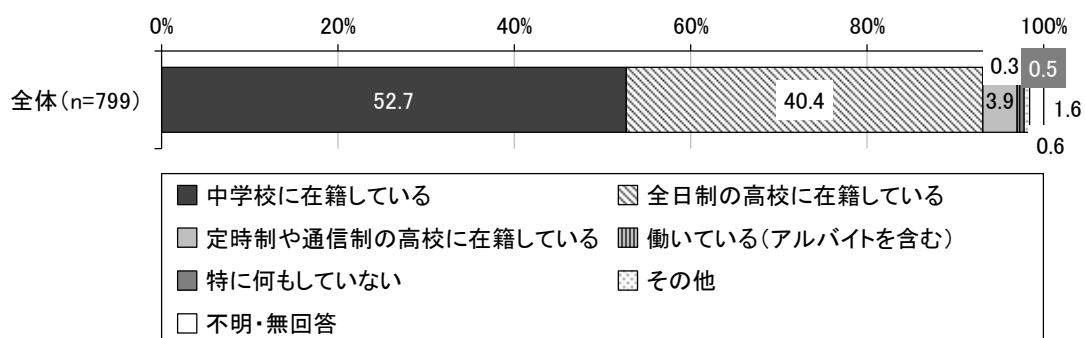
問1 あなたの年齢を教えてください。（数字を記入）

年齢についてみると、「15歳」が18.8%と最も多く、次いで「13歳」が18.6%となっています。



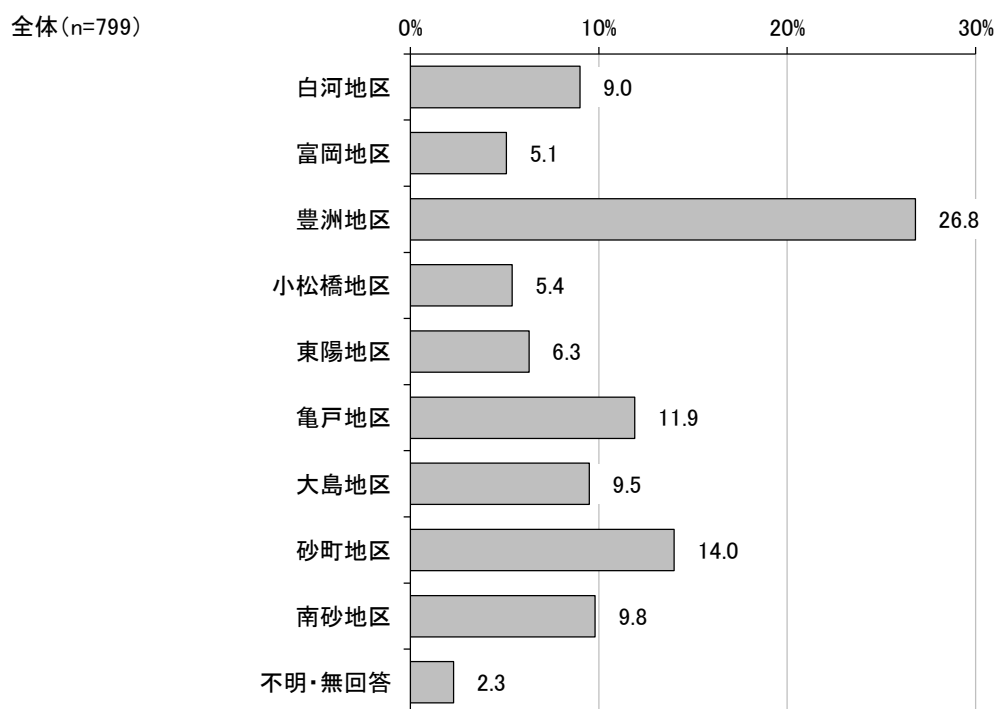
問2 あなたの現在の状況について教えてください。（1つに○）

現在の状況についてみると、「中学校に在籍している」が52.7%と最も多く、次いで「全日制の高校に在籍している」が40.4%となっています。



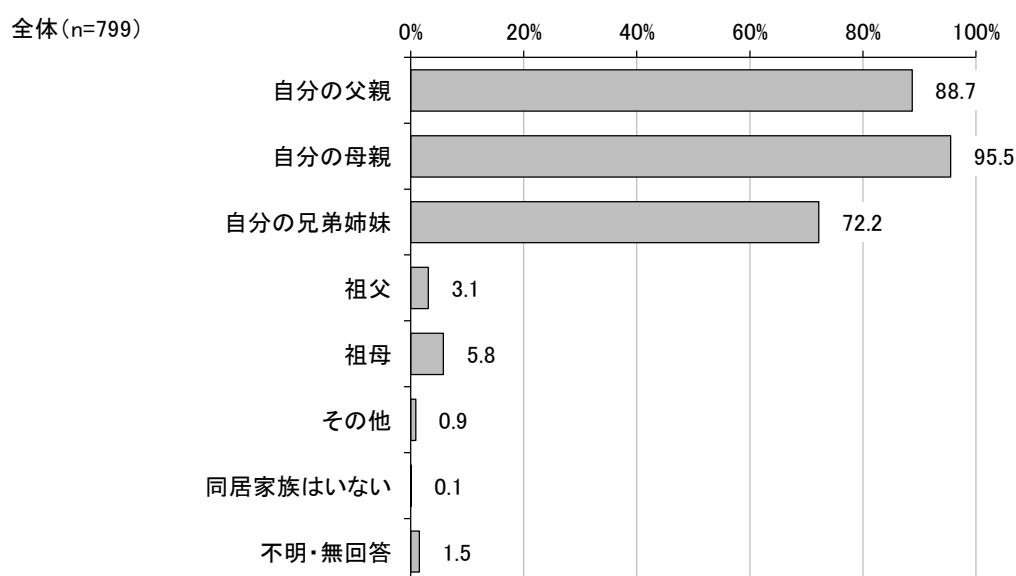
問3 お住まいの地区をお答えください。(1つに○)

居住地区についてみると、「豊洲地区」が26.8%と最も多く、次いで「砂町地区」が14.0%となっています。



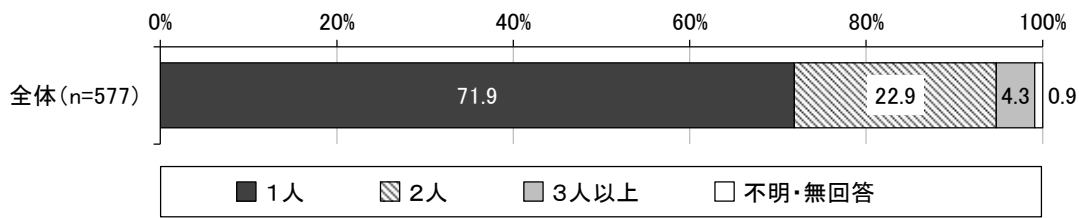
問4 同居しているご家族（あなたからみた続柄）はどなたですか。それぞれ人数も教えてください。(あてはまるものすべてに○)

同居している家族についてみると、「自分の母親」が95.5%と最も多く、次いで「自分の父親」が88.7%となっています。



【自分の兄弟姉妹の人数】（数字を記入）

同居している兄弟姉妹の人数についてみると、「1人」が 71.9%と最も多く、次いで「2人」が 22.9%となっています。

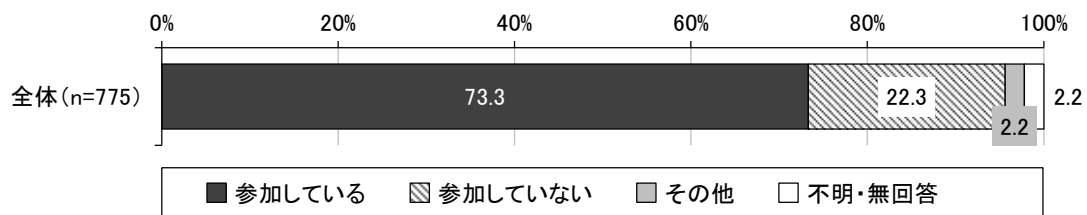


2 放課後の過ごし方について

※中学・高校に通っている方対象

問5 あなたは、学校で部活動に参加していますか。（1つに○）

学校の部活動の参加状況についてみると、「参加している」が 73.3%と最も多く、次いで「参加していない」が 22.3%となっています。

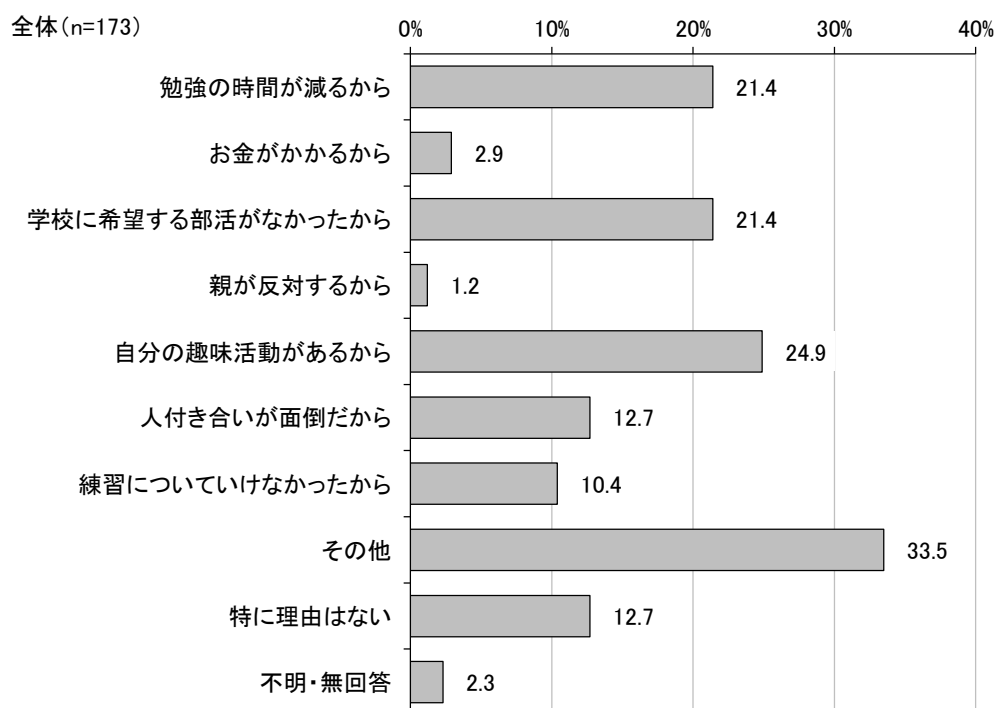


第2部 区民意向調査結果

問5で「参加していない」を選んだ方

問6 部活動に参加していない理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

部活動に参加していない理由についてみると、「自分の趣味活動があるから」が24.9%と最も多く、次いで「勉強の時間が減るから」「学校に希望する部活がなかったから」が21.4%となっています。「その他」の回答では、「引退した」、「学校外のクラブチームに所属」などの意見があります。

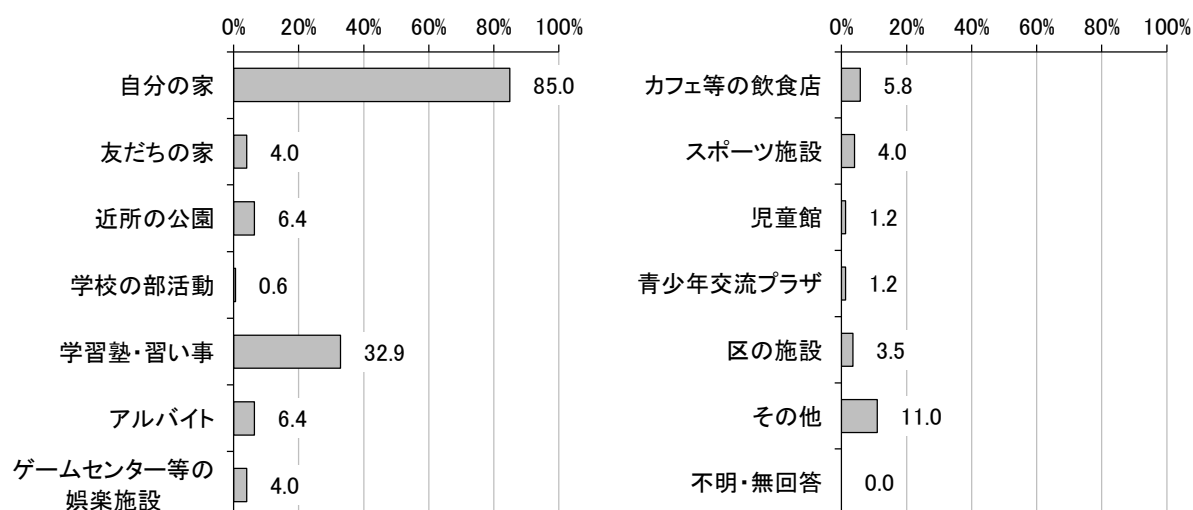


問5で「参加していない」を選んだ方

問7 あなたは放課後（平日の学校が終わったあと）、どこで過ごしていることが多いですか。(もっともあてはまるもの3つまで○)

平日の放課後の過ごし方についてみると、「自分の家」が85.0%と最も多く、次いで「学習塾・習い事」が32.9%となっています。

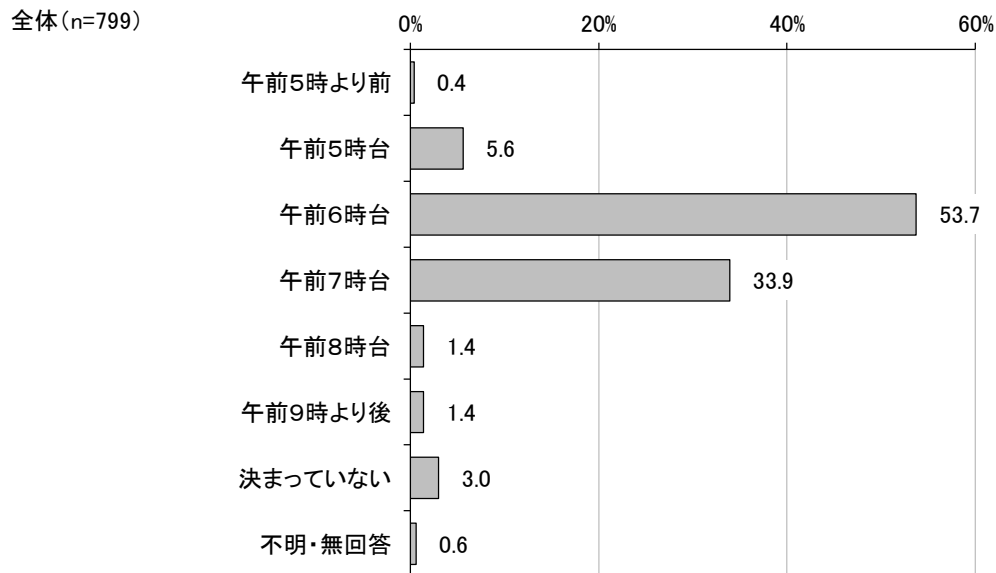
全体(n=173)



3 普段の生活のことについて

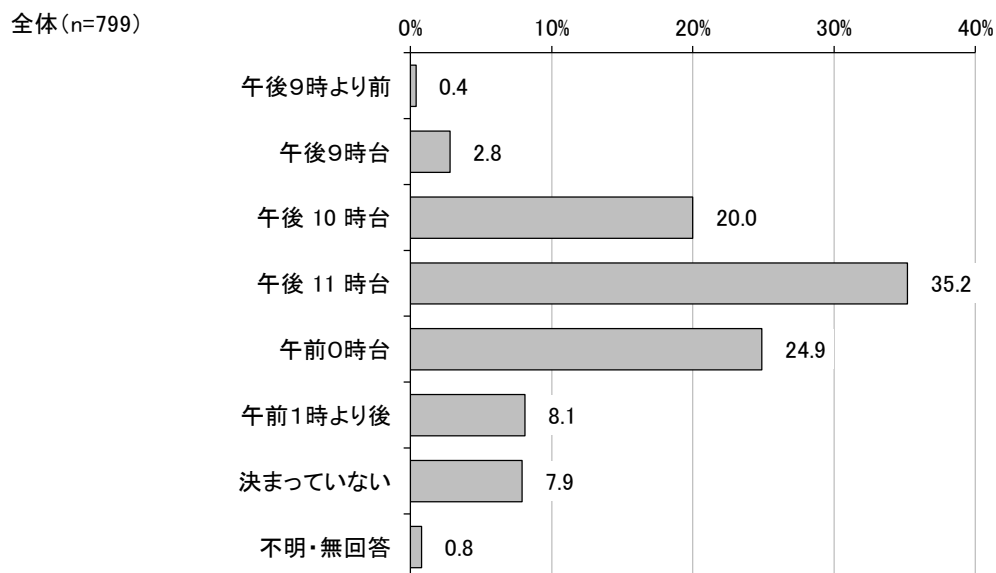
問8 あなたは、平日（月曜日～金曜日）、何時に起きていますか。（1つに○）

平日の起床時間についてみると、「午前6時台」が 53.7%と最も多く、次いで「午前7時台」が 33.9%となっています。



問9 あなたは、平日（月曜日～金曜日）、何時に寝ていますか。（1つに○）

平日の就寝時間についてみると、「午後 11 時台」が 35.2%と最も多く、次いで「午前0時台」が 24.9%となっています。

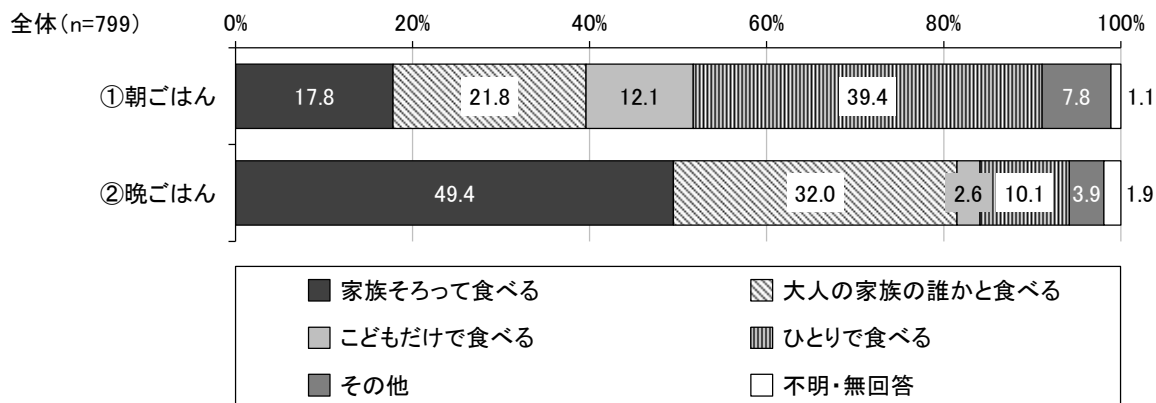


第2部 区民意向調査結果

問 10 あなたは、普段の朝ごはん、晩ごはんをどのように食事していますか。
(それぞれ、あてはまる番号 1 つに○)

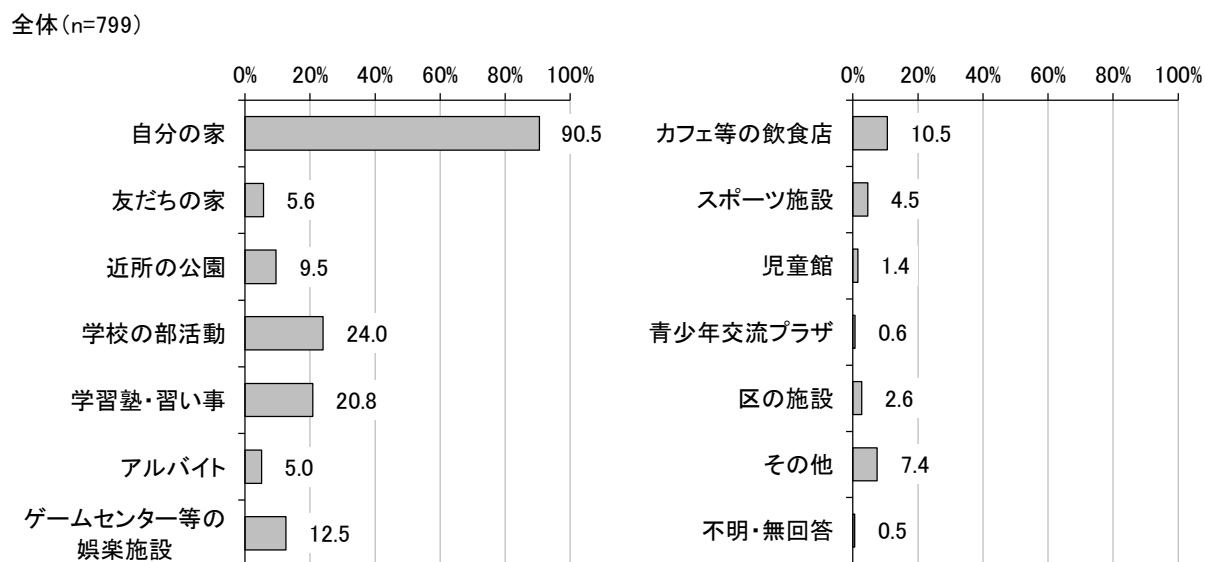
朝ごはんをどのように食事しているかについてみると、「ひとりで食べる」が 39.4%と最も多く、次いで「大人の家族の誰かと食べる」が 21.8%となっています。

晩ごはんでは、「家族そろって食べる」が 49.4%と最も多く、次いで「大人の家族の誰かと食べる」が 32.0%となっています。



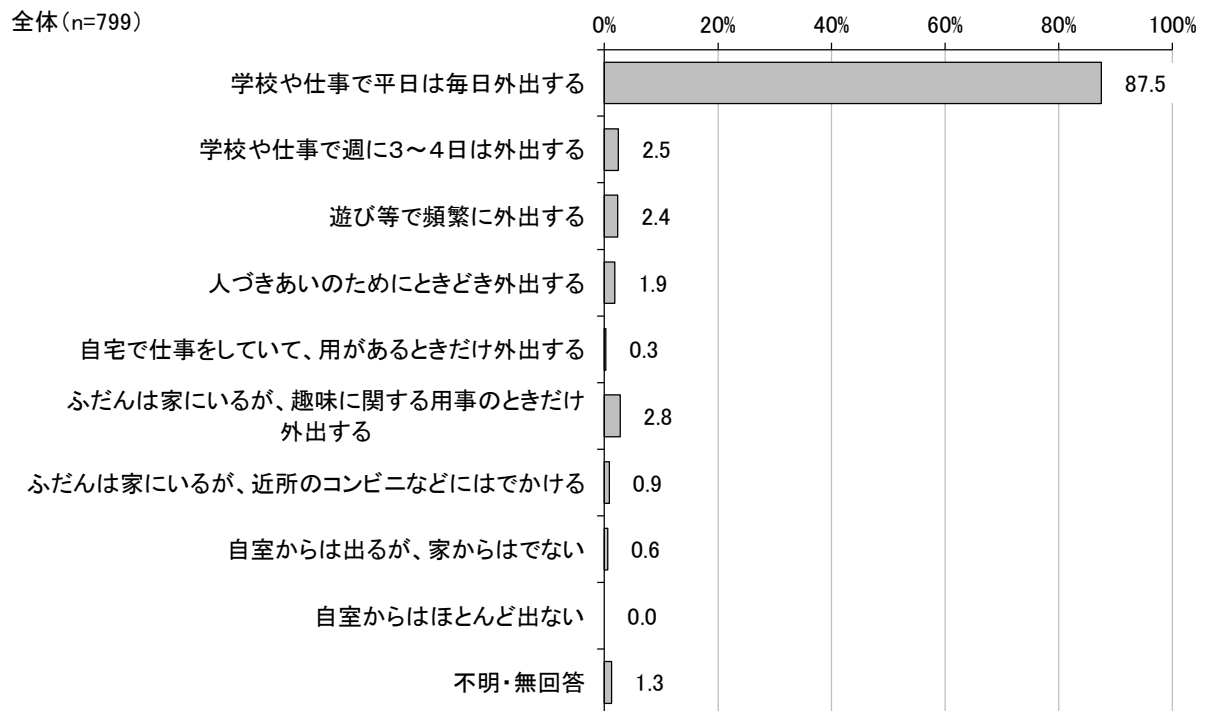
問 11 あなたは休日（学校や仕事がない日）、どこで過ごしていることが多いですか。
(もっともあてはまるもの 3 つまで○)

休日の過ごし方についてみると、「自分の家」が 90.5%と最も多く、次いで「学校の部活動」が 24.0%となっています。



問 12 あなたはふだん、どのくらい外出していますか。（1つに○）

ふだんの外出する程度についてみると、「学校や仕事で平日は毎日外出する」が 87.5%と最も多く、次いで「ふだんは家にいるが、趣味に関する用事のときだけ外出する」が 2.8%となっています。

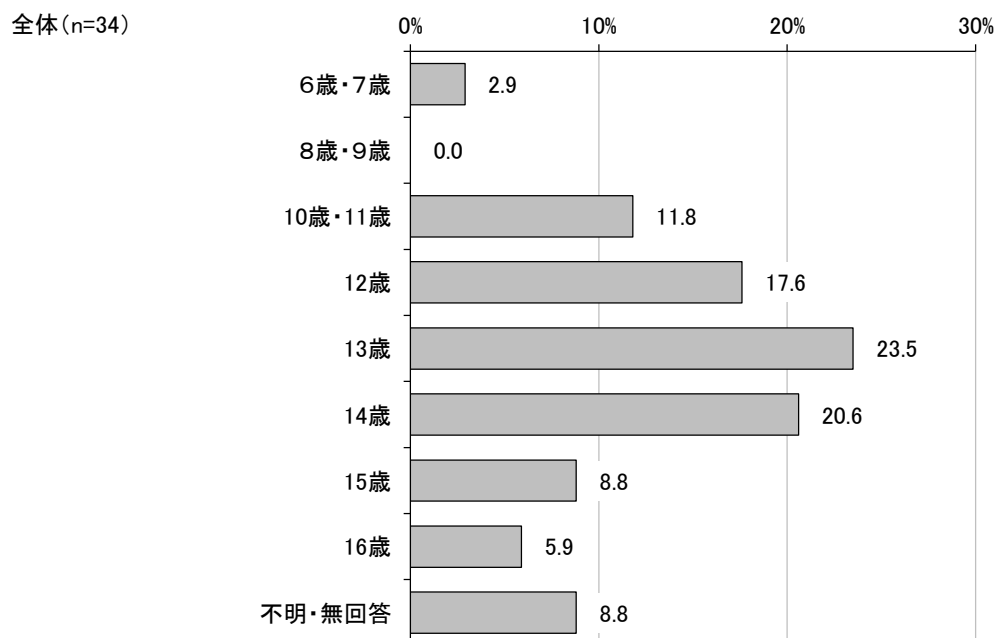


第2部 区民意向調査結果

問 12 で「ふだんは家にいるが、趣味に関する用事のときだけ外出する」「ふだんは家にいるが、近所のコンビニなどにはでかける」「自室からは出るが、家からはでない」「自室からはほとんど出ない」を選んだ方

問 13 現在の状態になったのは、あなたが何歳のころですか。（数字を記入）

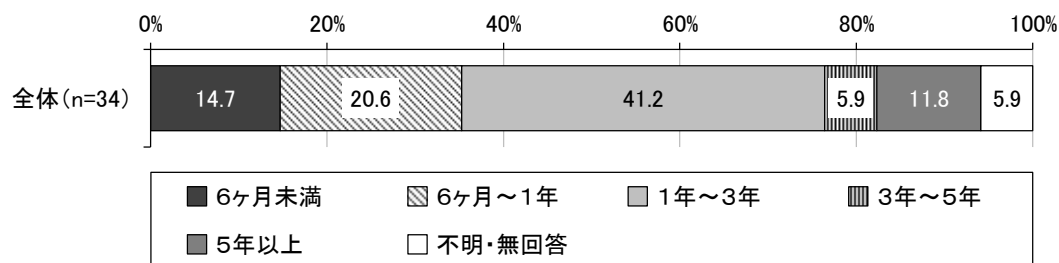
現在の状態になった年齢についてみると、「13 歳」が 23.5%と最も多く、次いで「14 歳」が 20.6%となっています。



問 12 で「ふだんは家にいるが、趣味に関する用事のときだけ外出する」「ふだんは家にいるが、近所のコンビニなどにはでかける」「自室からは出るが、家からはでない」「自室からはほとんど出ない」を選んだ方

問 14 現在の状態となって、どのくらい経ちますか。（1つに○）

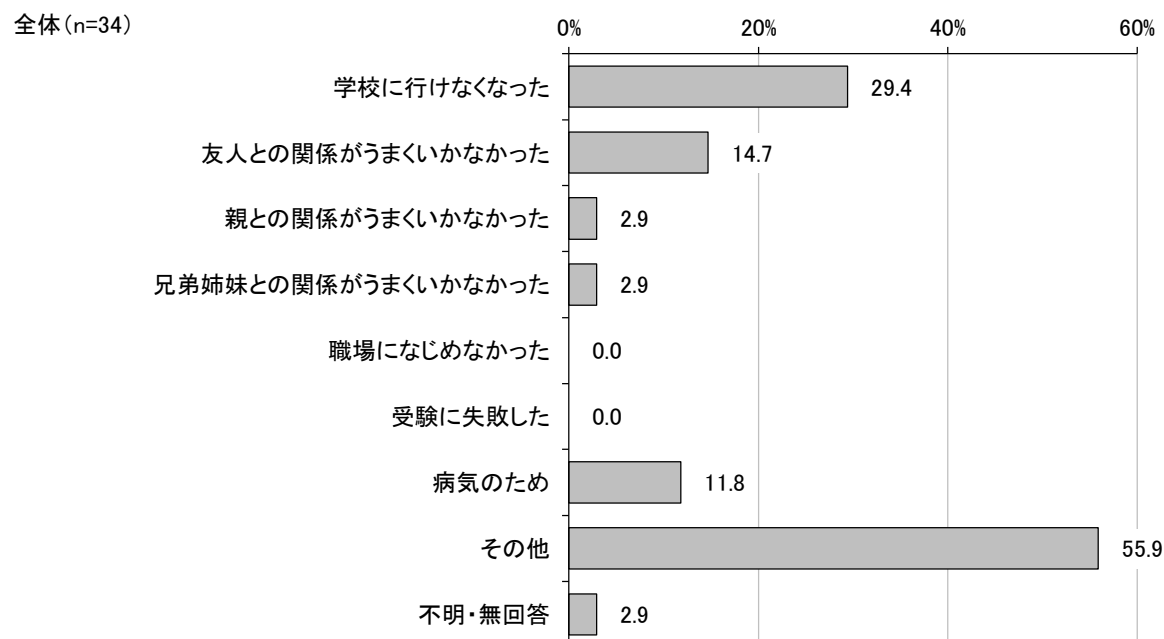
現在の状態となってどのくらい経つかについてみると、「1年～3年」が 41.2%と最も多く、次いで「6ヶ月～1年」が 20.6%となっています。



問 12 で「ふだんは家にいるが、趣味に関する用事するときだけ外出する」「ふだんは家にいるが、近所のコンビニなどにはでかける」「自室からは出るが、家からはでない」「自室からはほとんど出ない」を選んだ方

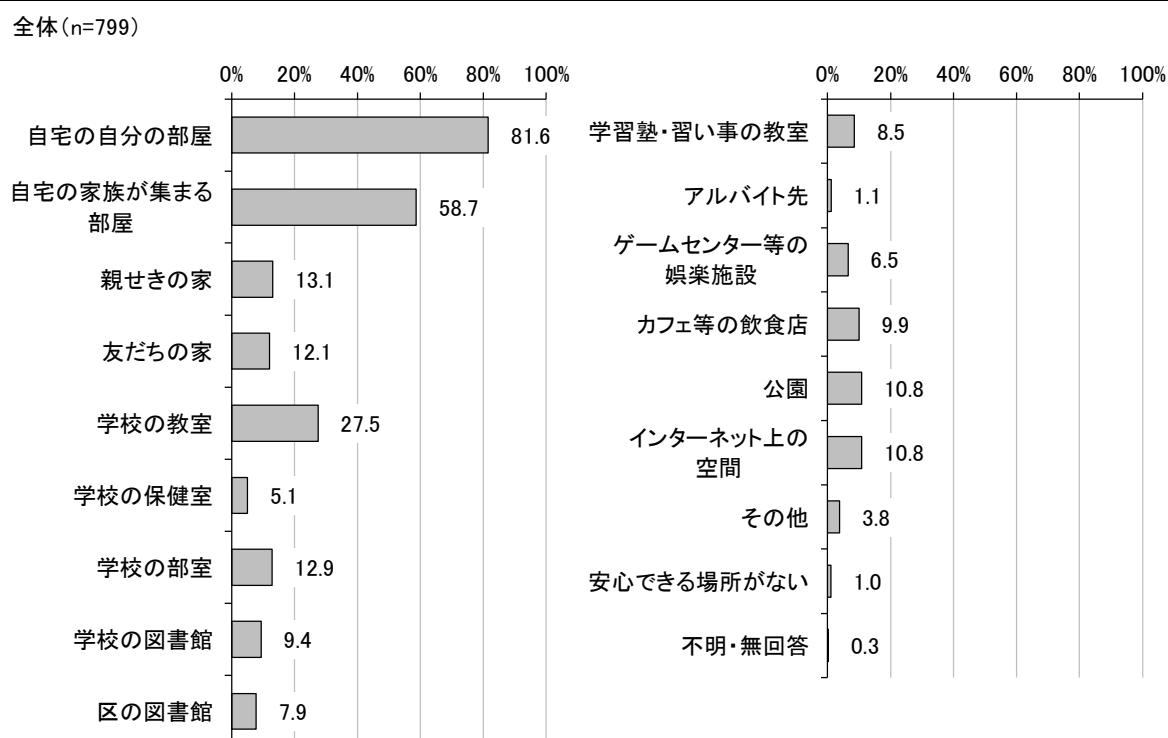
問 15 現在の状態となったきっかけは何ですか。(あてはまるものすべてに○)

現在の状態となったきっかけについてみると、「学校に行けなくなった」が 29.4%と最も多く、次いで「友人との関係がうまくいかなかった」が 14.7%となっています。「その他」の回答では、「学校をやめた」、「集団生活になじめなかった」などの意見があります。



問 16 あなたが安心できる場所はどこですか。(あてはまるものすべてに○)

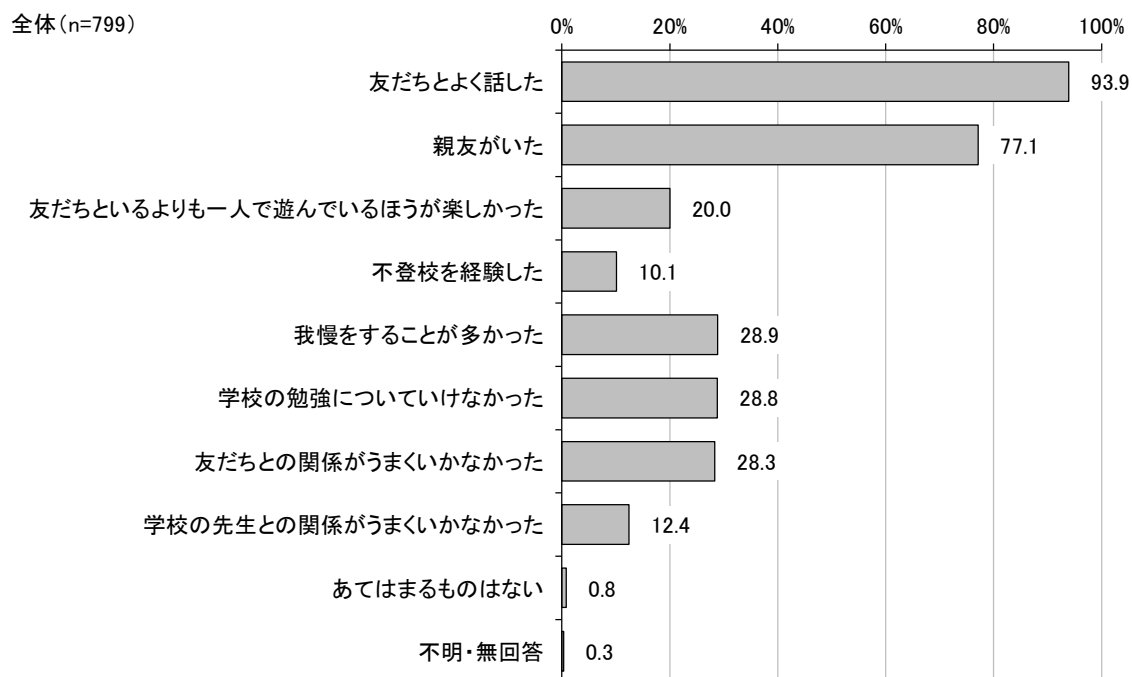
安心できる場所についてみると、「自宅の自分の部屋」が 81.6%と最も多く、次いで「自宅の家族が集まる部屋」が 58.7%となっています。



第2部 区民意向調査結果

問 17 あなたはこれまでに、学校で次のようなことを経験したことがありますか。
(あてはまるものすべてに○)

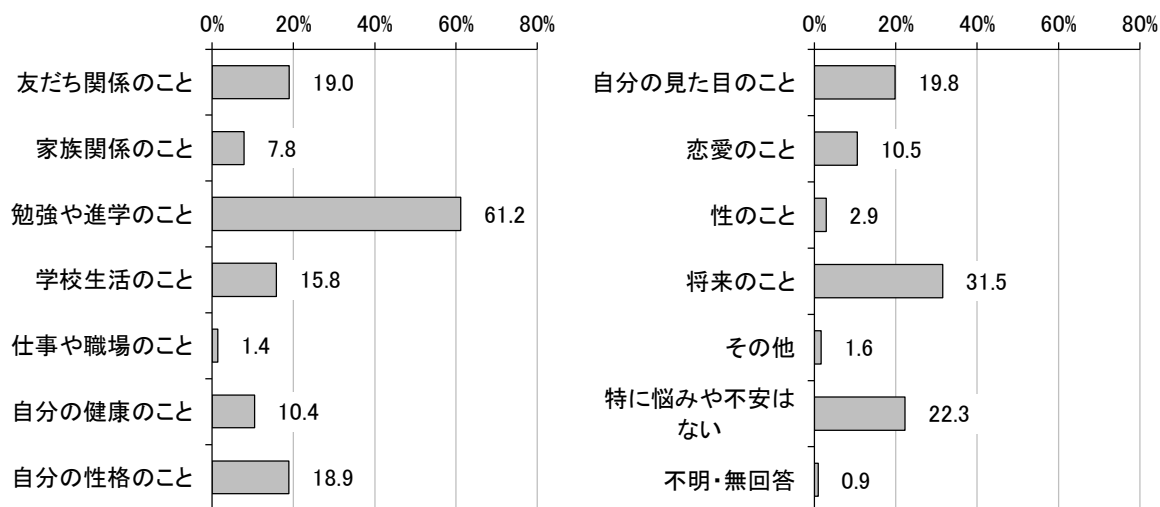
これまでに学校で経験したことについてみると、「友だちとよく話した」が 93.9%と最も多く、次いで「親友がいた」が 77.1%となっています。



問 18 現在、悩んでいることや不安に感じていることはありますか。
(あてはまるものすべてに○)

現在、悩んでいることや不安に感じていることについてみると、「勉強や進学のこと」が 61.2%と最も多く、次いで「将来のこと」が 31.5%となっています。

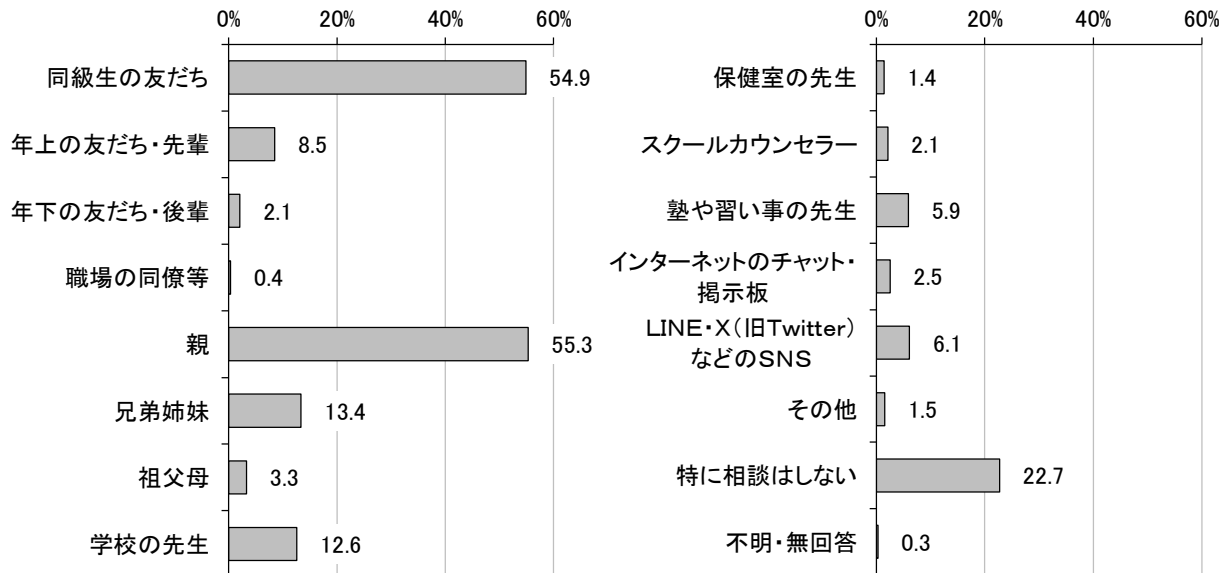
全体 (n=799)



問 19 悩みや不安を感じたときに、だれ・どこに相談していますか。
(あてはまるものすべてに○)

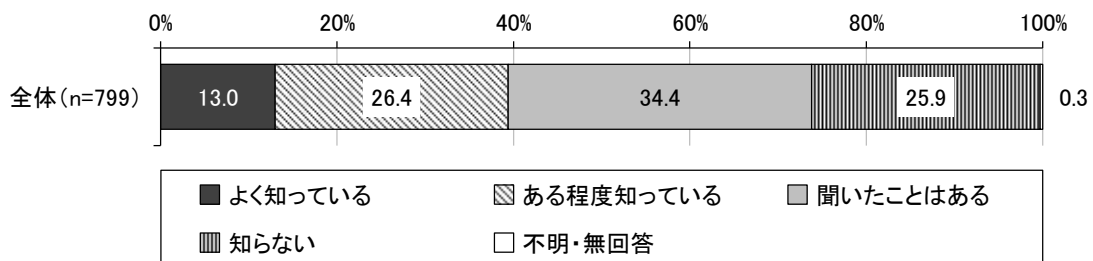
悩みや不安を感じたときの相談相手についてみると、「親」が 55.3%と最も多く、次いで「同級生の友だち」が 54.9%となっています。

全体 (n=799)



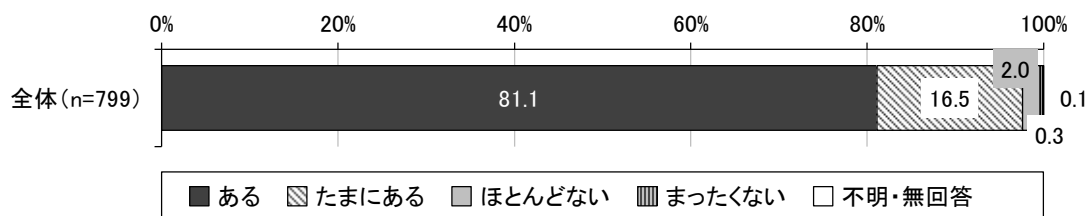
問 20 「こどもの権利」とは、こどもが大人と同じく一人の人間として持つ権利であり、安心して生活できること、自由に意見を言ったり活動したりできることなどが含まれます。あなたは、「こどもの権利」について知っていますか。(1つに○)

「こどもの権利」の認知度についてみると、「聞いたことはある」が 34.4%と最も多く、次いで「ある程度知っている」が 26.4%となっています。



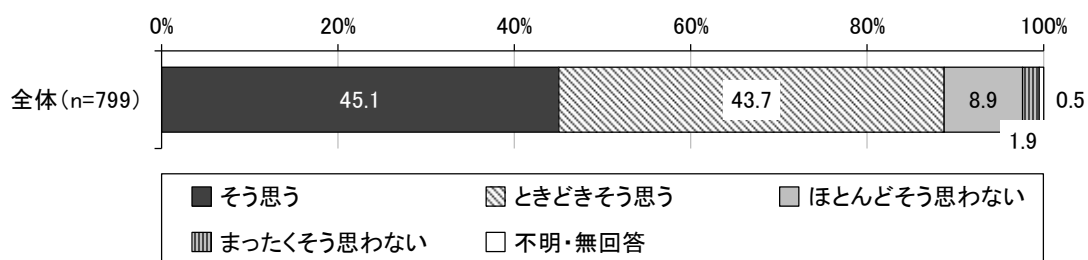
問 21 あなたには、遊んだり休むなど、自分の好きなことをする時間がありますか。
(1つに○)

自分の好きなことをする時間の有無についてみると、「ある」が 81.1%と最も多く、次いで「たまにある」が 16.5%となっています。



問 22 あなたは、生活のなかで、文化・国籍などのちがいや障害のあるなしにかかわらず、こどもが大切にされていると感じていますか。(1つに○)

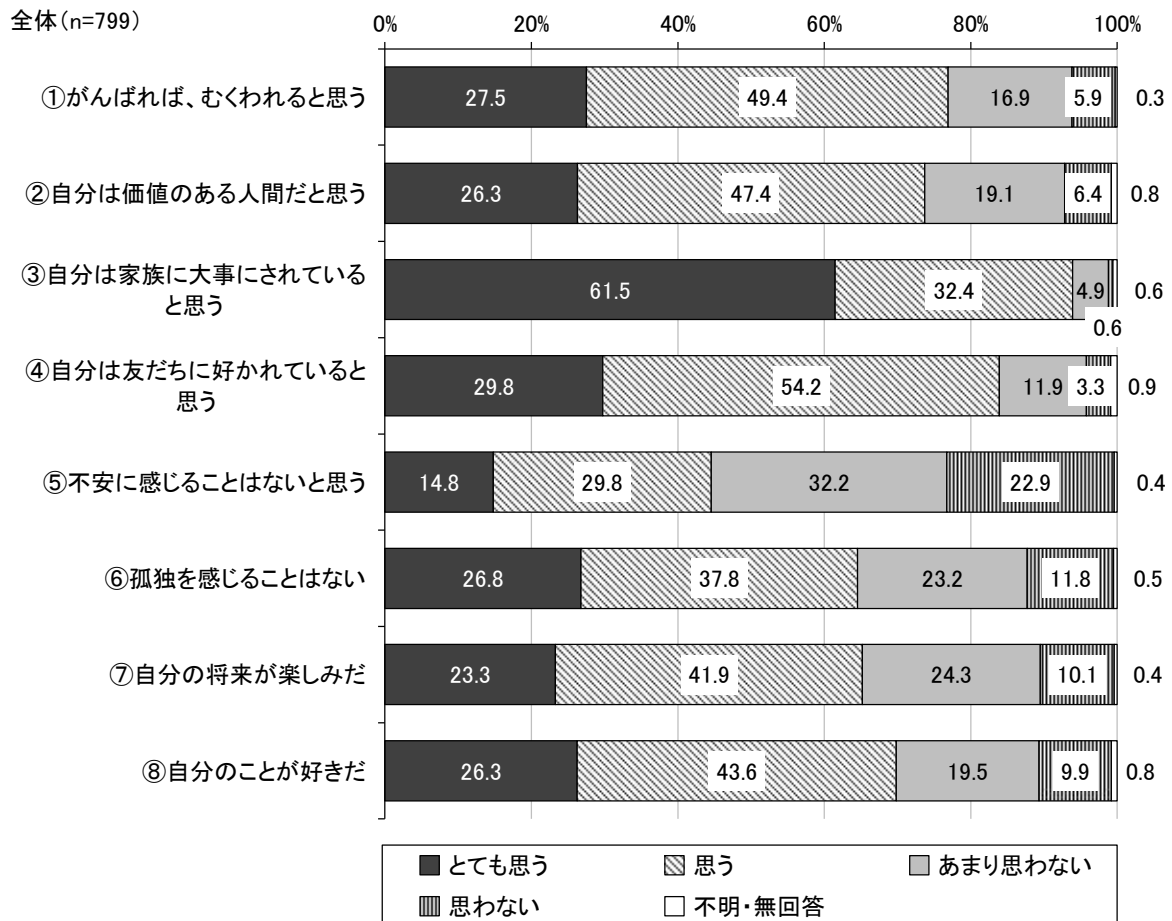
文化・国籍、障害の有無にかかわらず、こどもが大切にされていると感じるかについてみると、「そう思う」が 45.1%と最も多く、次いで「ときどきそう思う」が 43.7%となっています。



問 23 ①～⑧の項目について、あなたの思いや気持ちについて、「1 とても思う」から「4 思わない」のもっとも近いものに○をつけてください。（それぞれ、あてはまる番号1つに○）

「とても思う」が最も多かったのは「③自分は家族に大切にされていると思う」で 61.4%となっており、「思う」を合わせると 93.9%となっています。同様に、「④自分は友だちに好かれていると思う」において「とても思う」と「思う」を合わせた割合は 80%を超えています。

一方、「思わない」で最も多かったのは「⑤不安に感じることはないと思う」で 22.9%となっています。

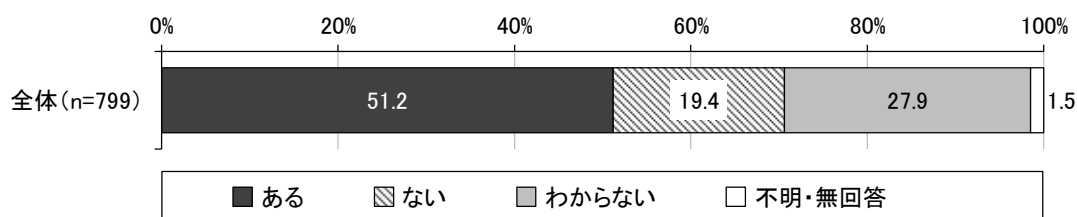


4 将来のことや働くことについて

問 24 あなたは、将来の夢はありますか。（1 つに○）

将来の夢の有無についてみると、「ある」が 51.2%と最も多く、次いで「わからない」が 27.9%となっています。

親との会話状況別にみると、親と話す頻度が高いほど夢が「ある」とする回答が多い傾向がみられます。



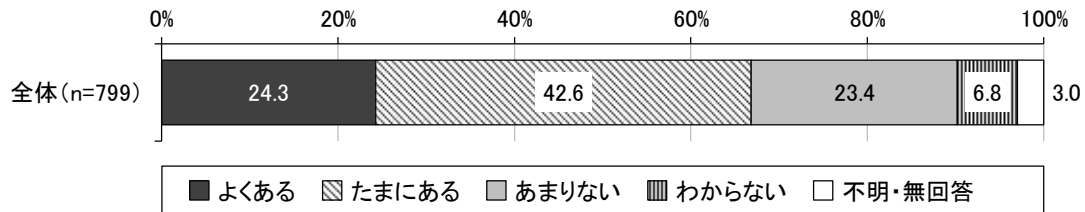
○クロス集計【親との会話状況別】

(%)		n	問24 将来の夢			
			ある	ない	わからない	無回答
問29 父親との会話状況	非常によく話すほうである	209	60.3	12.4	27.3	-
	話すほうである	347	47.3	23.3	28.8	0.6
	あまり話さないほうだ	137	51.1	22.6	26.3	-
	話さないほうだ	41	43.9	22.0	34.1	-
問31 母親との会話状況	非常によく話すほうである	444	54.3	16.4	29.3	-
	話すほうである	289	49.8	24.6	24.9	0.7
	あまり話さないほうだ	33	36.4	27.3	36.4	-
	話さないほうだ	4	100.0	-	-	-

問 25 あなたは、将来（自分の未来）に対して不安を感じることはありますか。
（1つに○）

将来に対して不安を感じることの有無についてみると、「たまにある」が42.6%と最も多く、次いで「よくある」が24.3%となっています。

親との会話状況別にみると、父親と話す頻度が高いほど「あまりない」とする回答が多い傾向がみられます。「よくある」は親との会話の頻度に関係なく、2割半ばの回答があります。



○クロス集計【親との会話状況別】

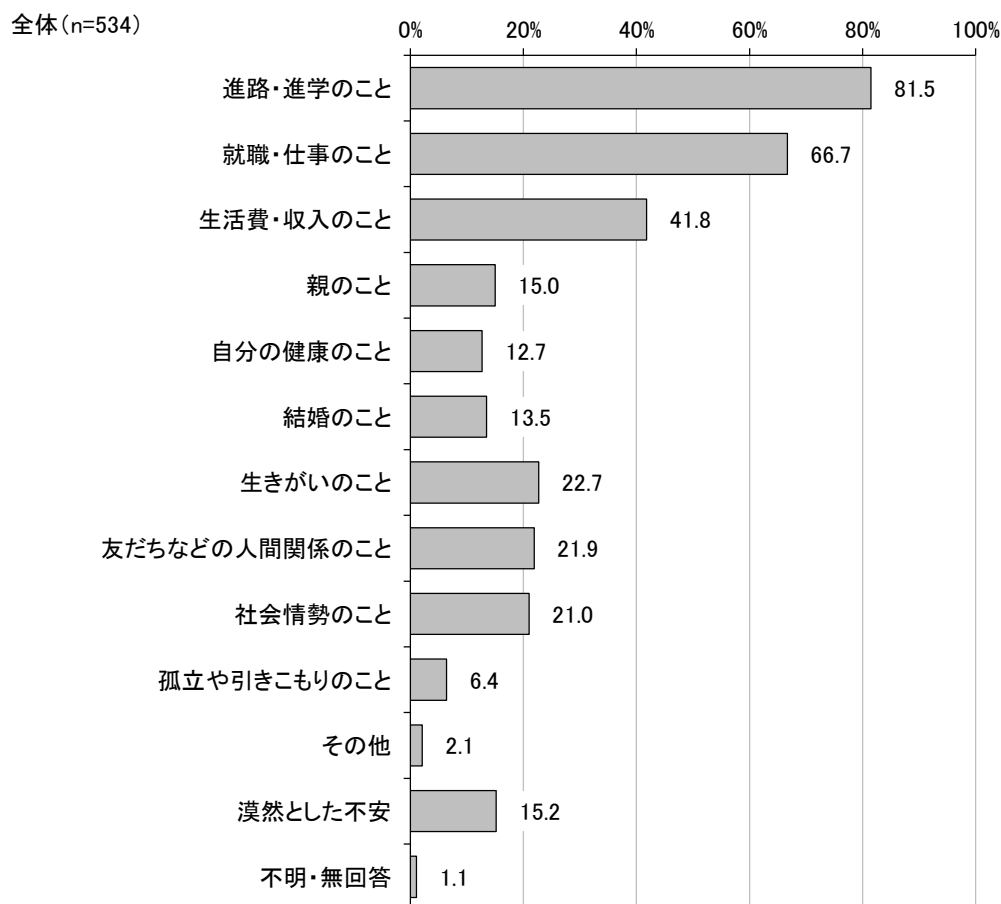
問25 将来に対する不安		n	問25 将来に対する不安				
			よくある	たまにある	あまりない	わからない	無回答
問29 父親との会話状況	非常によく話すほうである	209	22.5	39.2	31.6	4.8	1.9
	話すほうである	347	24.5	41.5	22.5	8.9	2.6
	あまり話さないほうだ	137	26.3	50.4	19.7	3.6	-
	話さないほうだ	41	34.1	51.2	9.8	2.4	2.4
問31 母親との会話状況	非常によく話すほうである	444	24.5	43.7	24.5	5.6	1.6
	話すほうである	289	23.9	44.3	21.8	8.0	2.1
	あまり話さないほうだ	33	24.2	33.3	33.3	9.1	-
	話さないほうだ	4	25.0	25.0	50.0	-	-

第2部 区民意向調査結果

問 25 で「よくある」「たまにある」を選んだ方

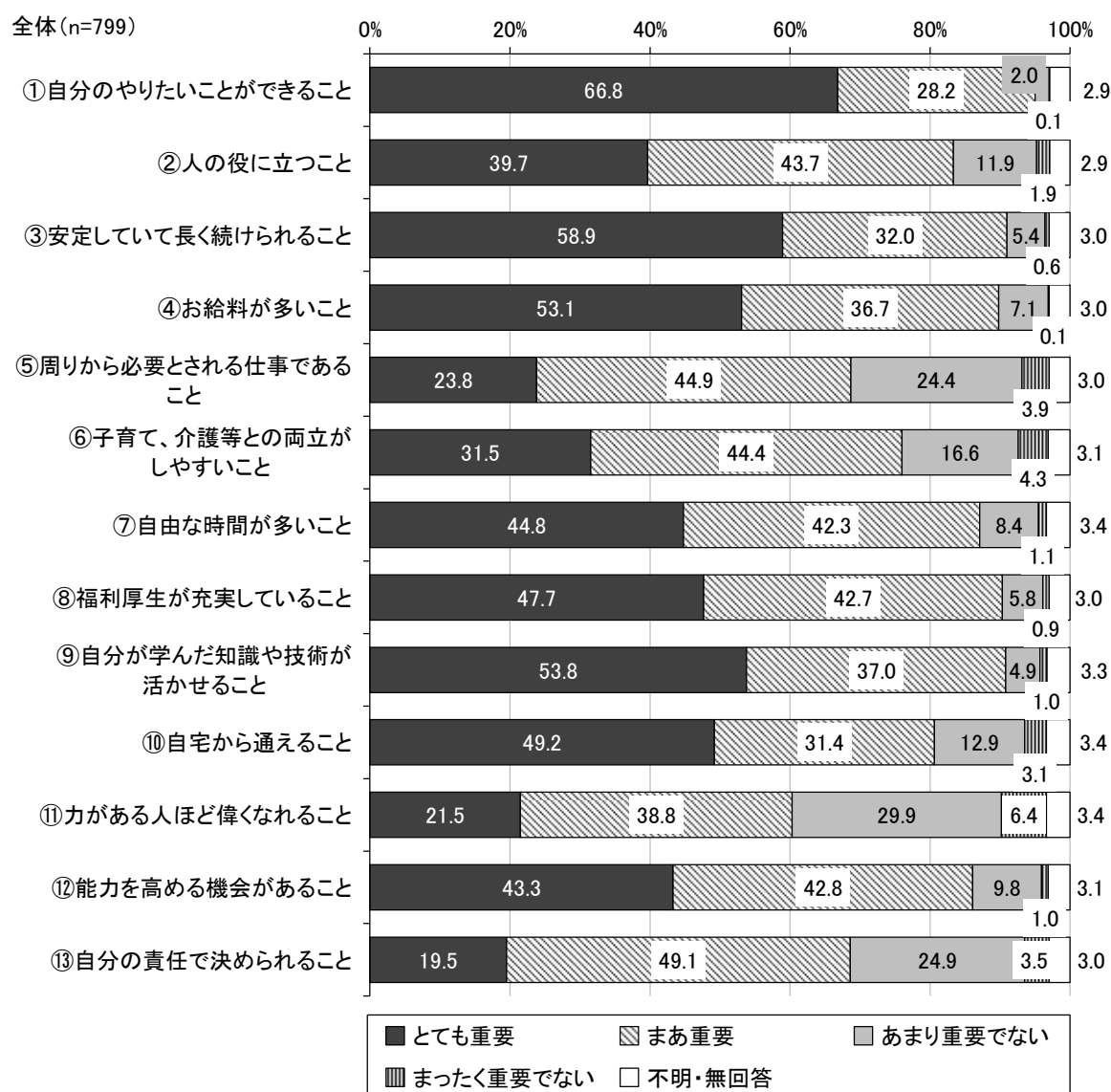
問 26 将来に対しての不安は、主にどのようなことですか。(あてはまるものすべてに○)

将来に対しての不安の内容についてみると、「進路・進学のこと」が 81.5%と最も多く、次いで「就職・仕事のこと」が 66.7%となっています。



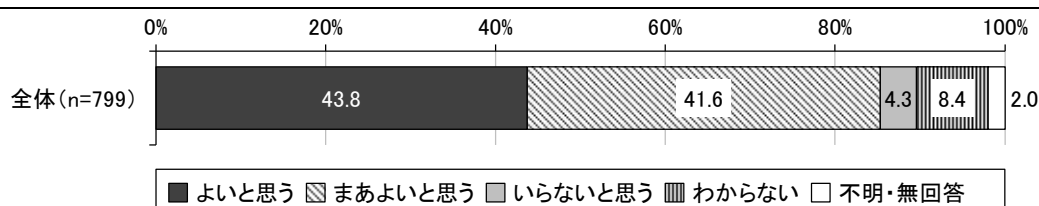
問 27 ①～⑬の項目について、あなたは仕事を選ぶ際に、次の観点をどれくらい重要だと思いますか。（それぞれ、あてはまる番号 1 つに○）

「とても重要」が最も多かったのは、「①自分のやりたいことができること」で 66.8%となっており、次いで「③安定していて長く続けられること」が 58.9%、「⑨自分が学んだ知識や技術が活かせること」が 53.8%となっています。



問 28 性について学ぶ「性教育」では、性の被害等から自分の心や体を守る方法も学びます。この「性教育」を学校で受けられたらよいと思いますか。（1 つに○）

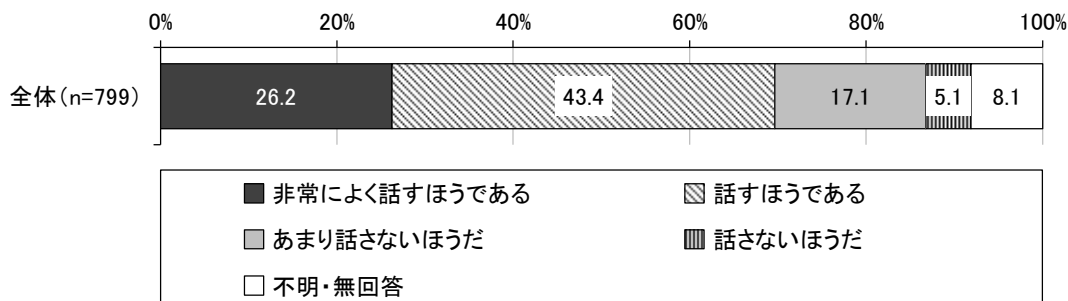
「性教育」を学校で受けられたらよいと思うかについてみると、「よいと思う」が 43.8%と最も多く、次いで「まあよいと思う」が 41.6%となっています。



5 ご家庭のことについて

問 29 あなたはお父さんといるとき、お父さんとよく話をするほうですか。（1つに○）

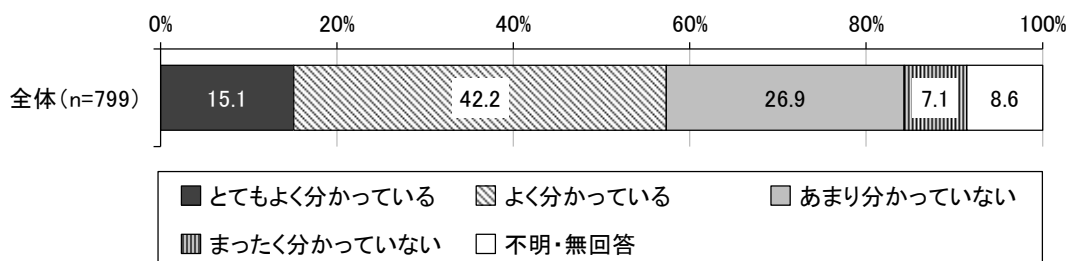
父親との会話の状況についてみると、「話すほうである」が 43.4%と最も多く、次いで「非常によく話すほうである」が 26.2%となっています。



問 30 あなたのお父さんは、ふだん、あなたの気持ちをよく分かっていると思いますか。（1つに○）

父親は回答者の気持ちをよく分かっていると思うかについてみると、「よく分かっている」が 42.2%と最も多く、次いで「あまり分かっていない」が 26.9%となっています。

父親との会話状況別みると、会話の頻度が多いほど「とてもよく分かっている」や「よく分かっている」の回答が多い傾向にある一方、会話の頻度が少ないほど「あまり分かっていない」や「まったく分かっていない」の回答が多い傾向がみられます。

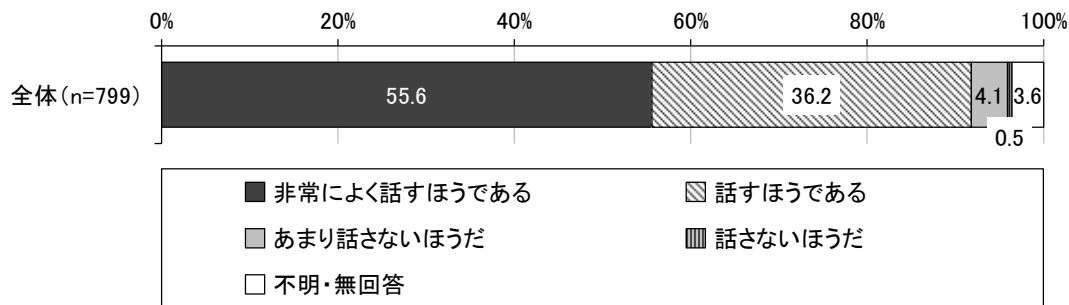


○クロス集計【父親との会話状況別】

(%)		n	問30 父親の自分の理解度				
問29 父親との会話状況	非常によく話すほうである		とてもよく分かっている	よく分かっている	あまり分かっていない	まったく分かっていない	無回答
	話すほうである	209	39.2	50.2	9.1	1.4	—
	あまり話さないほうだ	347	9.5	55.9	30.3	4.0	0.3
	話さないほうだ	137	2.9	25.5	56.2	13.1	2.2
		41	2.4	7.3	34.1	53.7	2.4

問 31 あなたはお母さんといるとき、お母さんとはよく話をしますか。（1つに○）

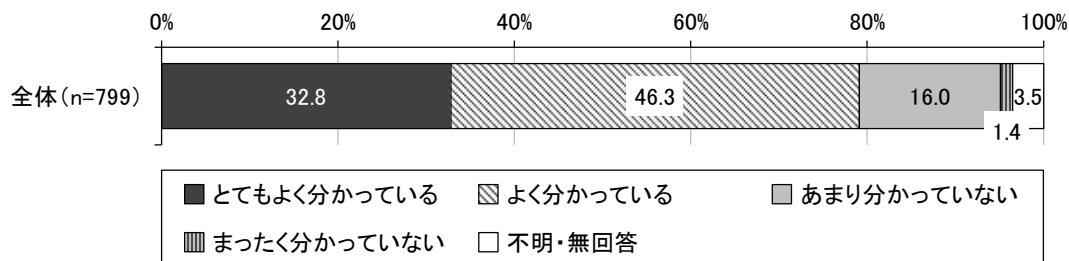
母親との会話の状況についてみると、「非常によく話すほうである」が 55.6%と最も多く、次いで「話すほうである」が 36.2%となっています。



問 32 あなたのお母さんは、ふだん、あなたの気持ちをよく分かっていると思いますか。（1つに○）

母親は回答者の気持ちをよく分かっていると思うかについてみると、「よく分かっている」が 46.3%と最も多く、次いで「とてもよく分かっている」が 32.8%となっています。

母親との会話状況別みると、会話の頻度が多いほど「とてもよく分かっている」や「よく分かっている」の回答が多い傾向にある一方、会話の頻度が少ないほど「あまり分かっている」や「まったく分かっている」の回答が多い傾向がみられます。

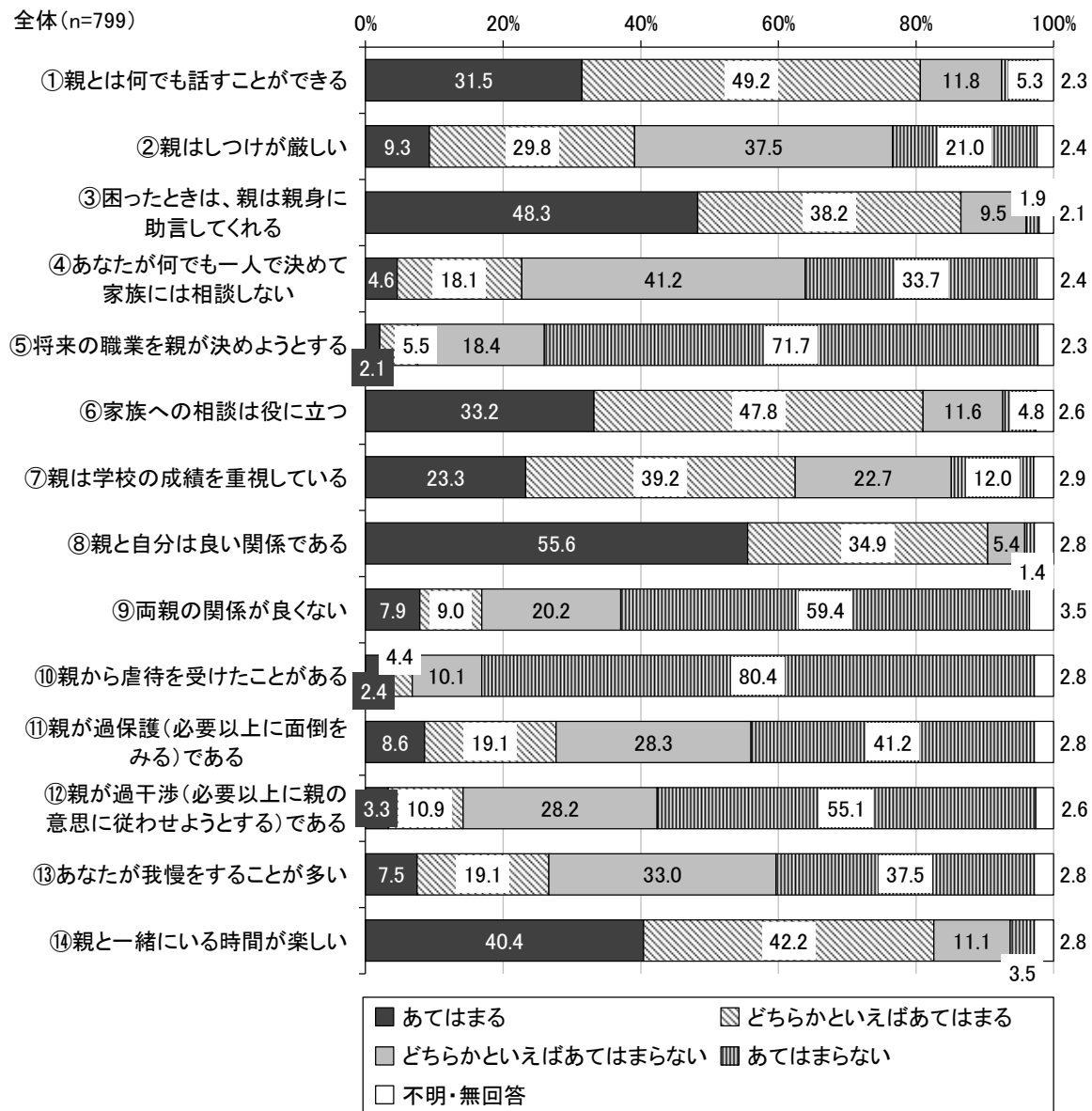


○クロス集計【母親との会話状況別】

(%)		n	問32 母親の自分の理解度				
			とてもよく分かっている	よく分かっている	あまり分かっている	まったく分かっている	無回答
問31 母親との会話状況	非常によく話すほうである	444	51.1	41.7	6.3	0.7	0.2
	話すほうである	289	11.4	60.9	25.6	2.1	-
	あまり話さないほうだ	33	6.1	24.2	63.6	6.1	-
	話さないほうだ	4	-	-	75.0	-	25.0

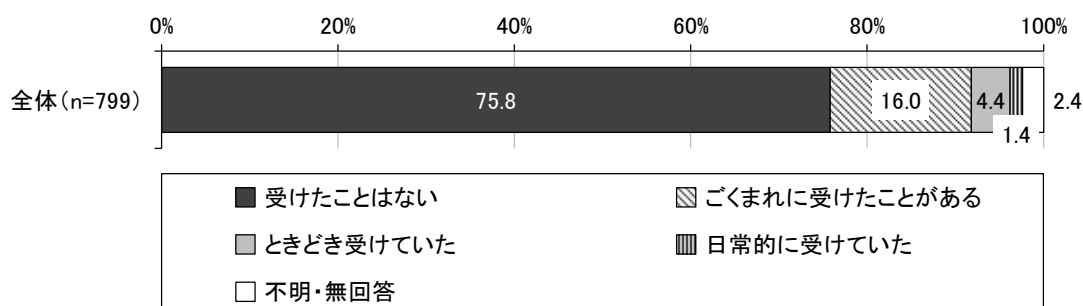
問 33 あなたの家庭の状況について、次の①～⑭の項目はどの程度あてはまりますか。
(それぞれ、あてはまる番号1つに○)

「あてはまる」が最も多かったのは、「⑧親と自分は良い関係である」で 55.6%となっており、次いで「③困ったときは、親は親身に助言してくれる」が 48.3%、「⑭親と一緒にいる時間が楽しい」が 40.4%となっています。



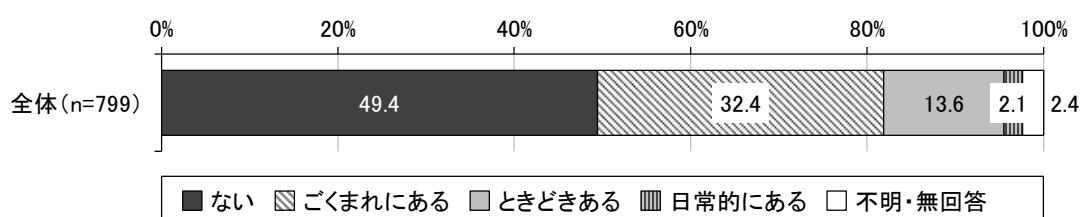
問 34 あなたは、お父さんやお母さんから体罰（たたかれたり、長時間立たされるなど体が辛かったり痛かったりする）を受けたことはありますか。（1つに○）

父親や母親からの体罰を受けた経験の有無についてみると、「受けたことはない」が 75.8%と最も多く、次いで「ごくまれに受けたことがある」が 16.0%となっています。



問 35 あなたは、お父さんやお母さんから言葉によって傷つけられたことがありますか。（1つに○）

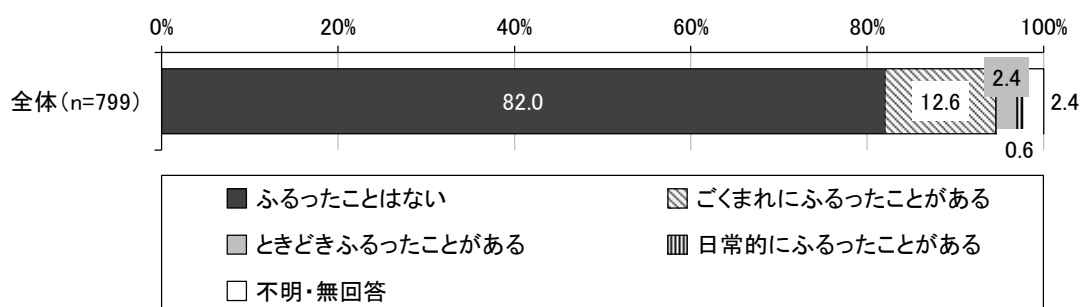
父親や母親から言葉によって傷つけられた経験の有無についてみると、「ない」が 49.4%と最も多く、次いで「ごくまれにある」が 32.4%となっています。



問 36 あなたは、お父さんやお母さんに暴力をふるうことが、これまでにありましたか。（1つに○）

父親や母親に暴力をふるった経験の有無についてみると、「ふるったことはない」が 82.0%と最も多く、次いで「ごくまれにふるったことがある」が 12.6%となっています。

父母からの体罰の経験有無別にみると、「ごくまれに受けたことがある」や「ときどき受けていた」では「ごくまれにふるったことがある」が3割台、「ときどきふるったことがある」が約1割となっています。



○クロス集計【父母から体罰を受けた経験別】

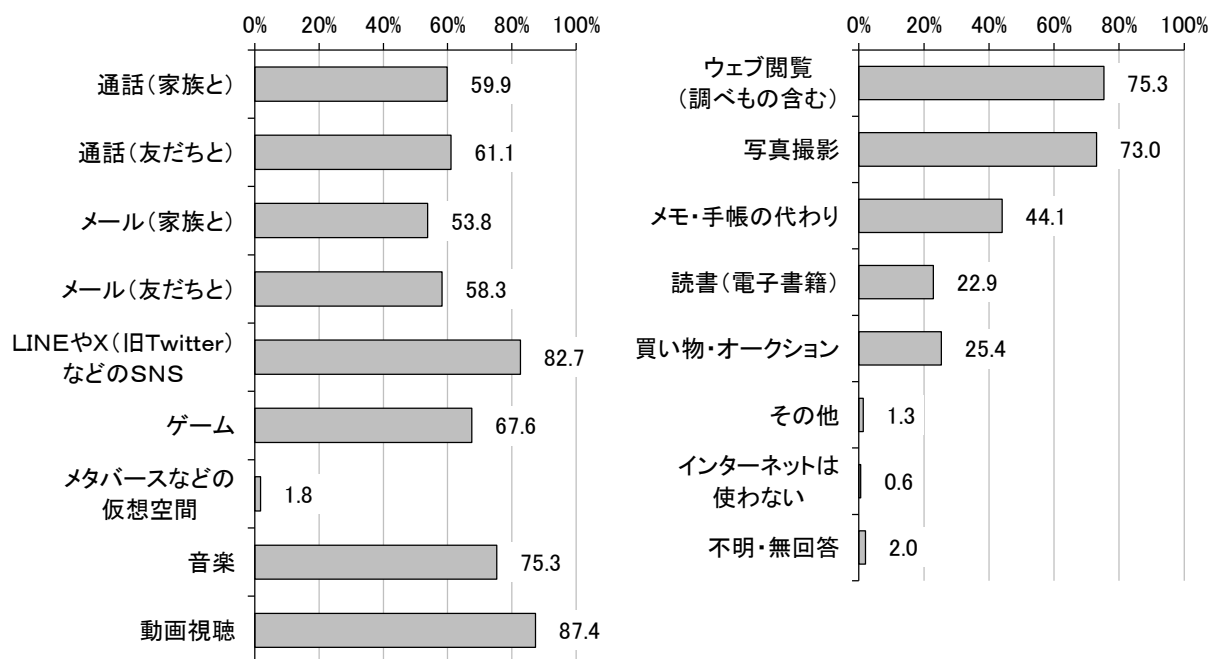
(%)		n	問36 親へ暴力をふるった経験				
			ふるったことはない	ごくまれにふるったことがある	ときどきふるったことがある	日常的にふるったことがある	無回答
問34 父母から体罰を受けたこと	受けたことはない	606	91.3	7.4	1.0	-	0.3
	ごくまれに受けたことがある	128	58.6	35.2	6.3	-	-
	ときどき受けていた	35	57.1	31.4	11.4	-	-
	日常的に受けていた	11	45.5	-	9.1	45.5	-

6 インターネットを通じた情報について

問 37 学校で配付されたタブレット以外でスマートフォン、PC などインターネット環境のある方に伺います。ネットワークをどのような目的で利用することが多いですか。
(あてはまるものすべてに○)

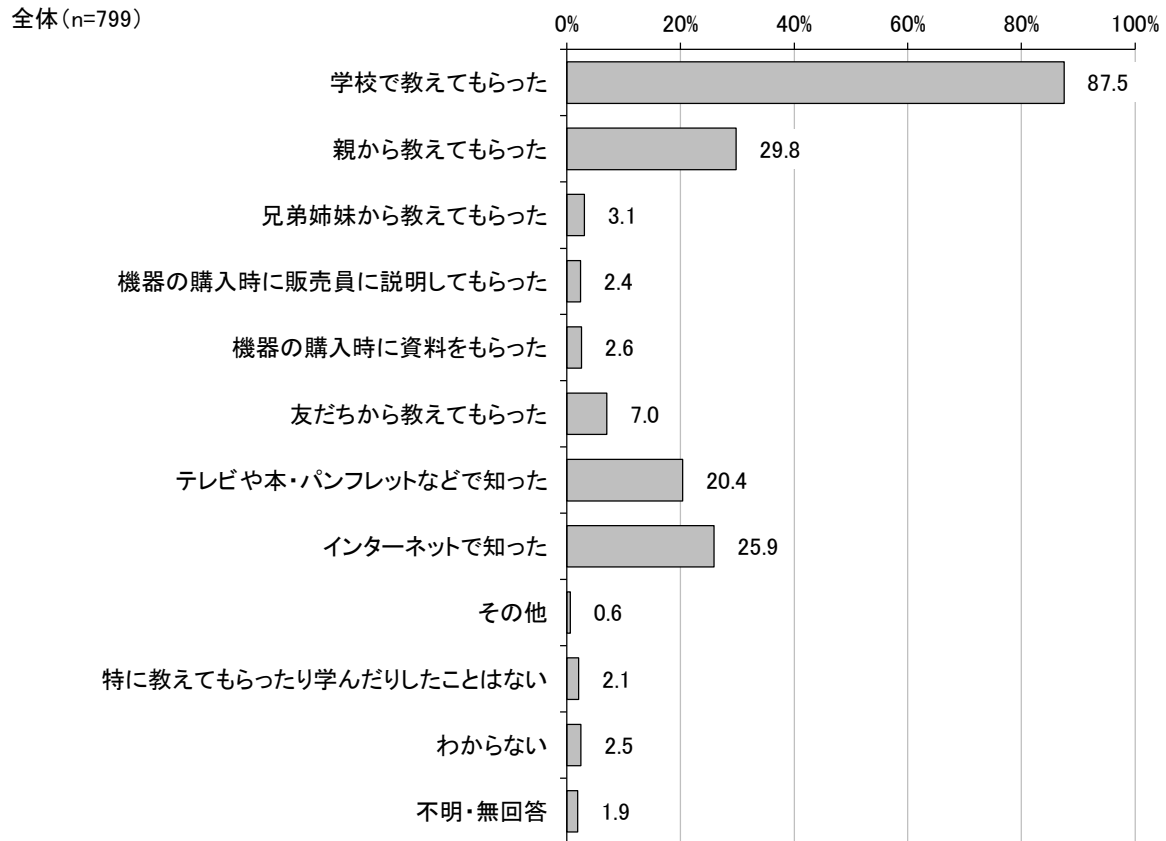
ネットワークの利用目的で多いことについてみると、「動画視聴」が 87.4%と最も多く、次いで「LINEやX(旧Twitter)などのSNS」が 82.7%となっています。

全体(n=799)



問 38 あなたは、青少年に不適切なサイト（出会い系サイトや詐欺など）やネットいじめの問題などインターネットの危険性について、これまで説明を受けたり学んだりしたことがありますか。（あてはまるものすべてに○）

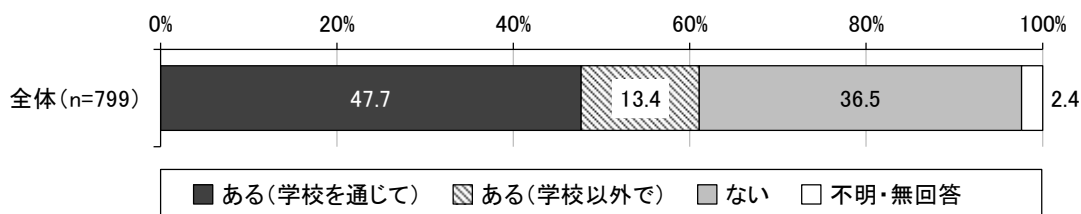
インターネットの危険性に関して学んだことについてみると、「学校で教えてもらった」が 87.5%と最も多く、次いで「親から教えてもらった」が 29.8%となっています。



7 ボランティアや地域との関わりについて

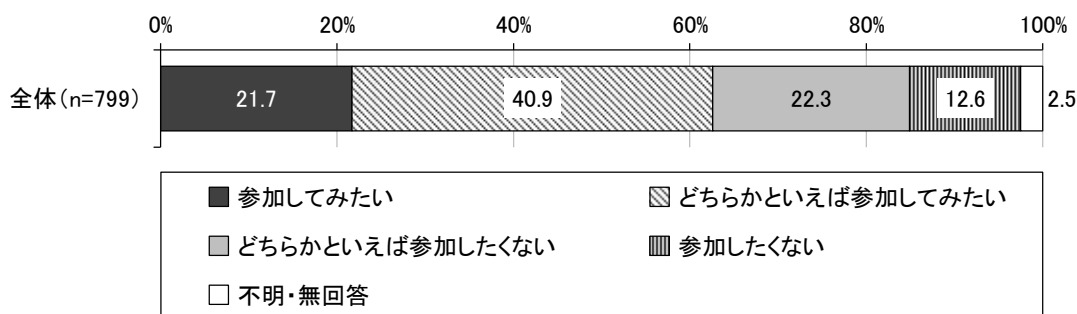
問 39 あなたは、今までにボランティア活動に参加したことはありますか。（1つに○）

ボランティア活動の参加経験の有無についてみると、「ある(学校を通じて)」が47.7%と最も多く、次いで「ない」が36.5%となっています。



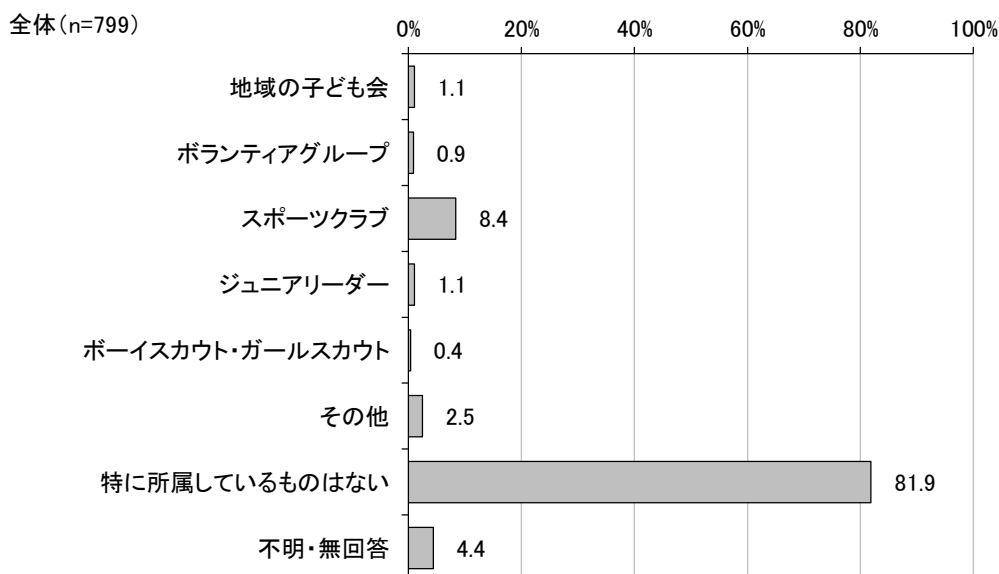
問 40 今後、ボランティアに参加したいと思いますか。（1つに○）

今後のボランティアへの参加意向についてみると、「どちらかといえば参加してみたい」が40.9%と最も多く、次いで「どちらかといえば参加したくない」が22.3%となっています。



問 41 現在、地域の中に入っているものはありますか。（あてはまるものすべてに○）

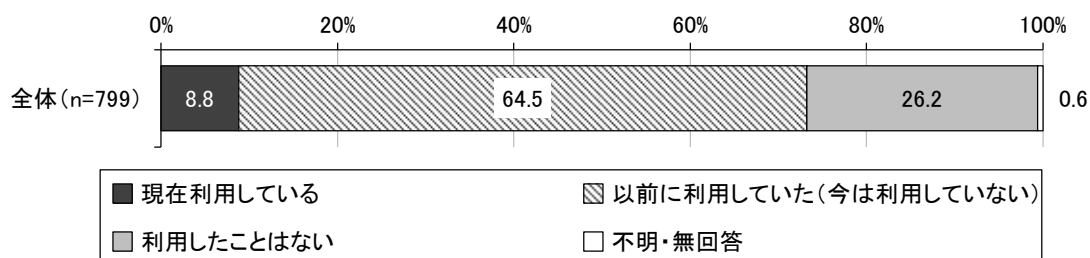
現在、地域の中で所属しているものについてみると、「特に所属しているものはない」が81.9%と最も多く、次いで「スポーツクラブ」が8.4%となっています。



8 児童館のことについて

問 42 児童館は中高生世代までを対象とした施設ですが、あなたは、江東区内にある児童館を利用していますか。（1つに○）

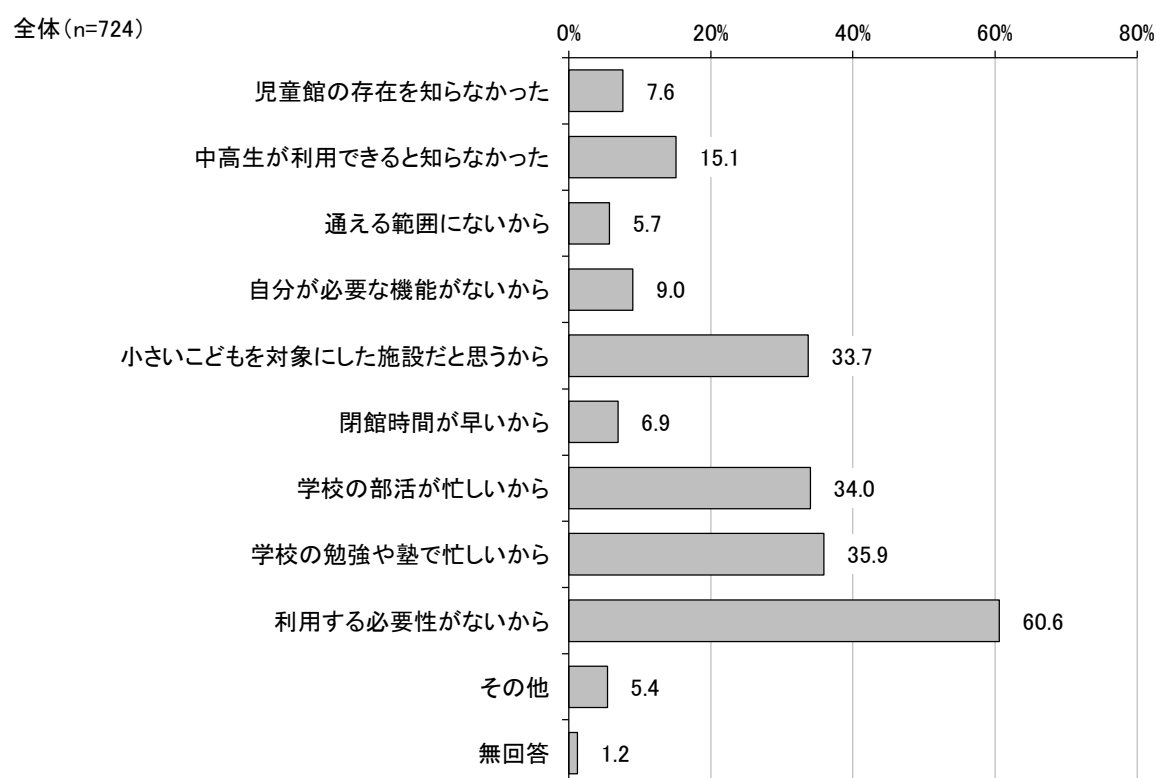
江東区内にある児童館の利用状況についてみると、「以前利用していた（今は利用していない）」が64.5%と最も多く、次いで「利用したことはない」が26.2%となっています。



問 42 で「以前利用していた（今は利用していない）」「利用したことはない」を選んだ方

問 43 児童館を利用していない理由はなんですか。（あてはまるものすべてに○）

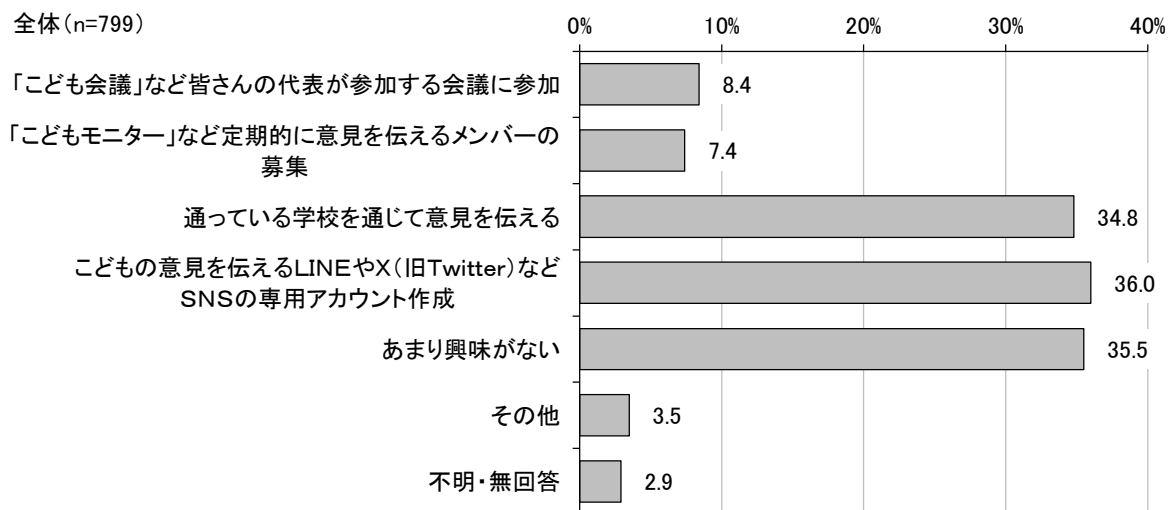
児童館を利用していない理由についてみると、「利用する必要性がないから」が60.6%と最も多く、次いで「学校の勉強や塾で忙しいから」が35.9%となっています。



9 江東区の政策や事業への意見の反映について

問 44 皆さんの意見を江東区に反映させるため、あなたが参加しやすい方法を教えてください。（あてはまるものすべてに○）

江東区役所に意見を伝えるための参加しやすい方法についてみると、「こどもの意見を伝えるLINE や X(旧 Twitter)などSNSの専用アカウント作成」が 36.0%と最も多く、次いで「あまり興味がない」が 35.5%となっています。



問 45 最後に、区に望むことがありましたらご自由にお書きください。

区に望むことの内容は、「区政・イベント等について」が23件と最も多く、次いで「経済的なことについて」が20件となっています。

カテゴリー	件数
区政・イベント等について	23
経済的なことについて	20
インフラ面(街並み・公園等)について	15
交通について	12
インフラ(図書館、学習スペース等)について	12
治安・マナーについて	12
インフラ(運動スペース)について	11
学校生活について	11
その他	62

※カテゴリー10件未満のものは「その他」にまとめて集計。複数カウントあり。

以降に、寄せられた意見を抜粋で掲載します（原則、原文のまま）。

①区政・イベント等について

- ✧ 区で行っている活動や、お金の動きを明白にして区民に伝えるべき。
- ✧ イベントをもっと増やしてほしい。
- ✧ アメリカのタウンミーティングの様な制度を可能な限り導入してほしいです。
- ✧ スポーツの大会など増やしてほしい。球技系、誰でも参加できる大会、バレーボール、ドッジボール。経験者に限らず、幅広く開催してほしい。
- ✧ 緑の多い江東区が大好きです。もっといろんな人が住みやすい、居心地がいいと思えるような区になることを願っています。頑張ってください。
- ✧ 子育てのしやすい区になることを願います。道の駅があると嬉しい。
- ✧ 「今をより良く」ではなく新しく区を変えていってください。
- ✧ 税金の使用方法の見直し。大島地区の街づくりの改善（ゴミが多い）。
- ✧ 高校生でも江東区に役立てることがあれば、発信してほしいです。

②経済的なことについて

- ✧ 学生の間（大学含む）は医療費免除、授業料軽減。
- ✧ 私立の学費や給食費を援助してほしいです。
- ✧ 奨学金制度を充実させてほしい。治安の向上。
- ✧ こどもへの手当をもっと厚くしてほしい。
- ✧ 親の子育てでお金の負担を減らせるような取り組みをもっとしてほしいです。
- ✧ こどもへの電子クーポン配布を毎年してほしいです。

第2部 区民意向調査結果

- ◇ 有明スポーツセンター値下げしてください。でも引越して良かったと思えるほど充実しています。いつもありがとうございます。
- ◇ 区民に対して給付金が欲しい（1人1人個別で、こども含む）。
- ◇ 税金を下げてもらいたい。

③インフラ面(街並み・公園等)について

- ◇ 公園、駅などのトイレをもっときれいにしてほしい。
- ◇ 図書館の返却ポストを作してほしい。公園をきれいにしてほしい。
- ◇ グルリ公園沿いの運河をキレイにしてほしい。バスケットコートが欲しい。
- ◇ 公園などこどもの遊び場をもっと作してほしい。
- ◇ ボール遊びができる公園を増やしてほしい。コロシアンブリッジにアーケードを作してほしい。
- ◇ キレイな街づくり。

④交通について

- ◇ LUUPをもっと普及してほしいです！
- ◇ 亀戸から新木馬の交通を便利にほしい。
- ◇ 豊洲地区の発展は目覚ましいものがあるものの、在住の亀戸地区はJR線やバス路線が豊富で他地域の利便性が高いが、江東区とのつながりが悪いように感じる。区の中でのつながりが弱いからかジュニアリーダーの活動でも他地域の交流が少なく寂しいとも感じている。そのため八号線の開通はもちろん、区の中で交流を行って結束を高めていけるような政策を要望致します。
- ◇ なるべく早めに有楽町線が延伸して住吉から豊洲まで移動しやすくしてほしい。
- ◇ 自転車専用道路をもっと増えたら嬉しい。
- ◇ 南砂町駅の整備をなるべく早く終わらせて欲しい。

⑤インフラ(図書館、学習スペース等)について

- ◇ 無料、もしくは安価な自習室を作してほしい。
- ◇ 受験生や勉強したい人が無料で使用できる自習室（学生専用）。
- ◇ 図書館が近くに欲しい。
- ◇ もっと気軽に勉強できる場所が欲しいです。青少年プラザの様な場所がもっと欲しいです。
- ◇ 図書館の机を増やしてほしいです。静かに集中できるようにこどもと中高生のスペースを分けてほしいです。飲食可能エリアが欲しいです。中高生が趣味で利用できる所（ダンススタジオや音楽スタジオ）がほしいです。
- ◇ 図書館の閉館時間を遅くしてほしいです。

⑥治安・マナーについて

- ◇ 辰巳に街灯を増やして欲しいです。夜に歩くのが少し怖いです。
- ◇ 治安を良くしてほしい。変な人がいなくなってほしい。安心して暮らせる区にほしい。
- ◇ 自転車のマナーを改善してほしい。
- ◇ 治安を良くして欲しい。路上喫煙の取り締まり強化。

- ◇ ゴミ箱を町に設置して欲しい。

⑦インフラ(運動スペース)について

- ◇ 自由にダンスが出来る場所がほしい。
- ◇ 無償で利用できるスポーツ施設がもっとあると助かります。
- ◇ もう少しボールを蹴っていい場所を増やしてほしい。
- ◇ スポーツが出来る場所を増やしてほしいです。
- ◇ 地面がアスファルトのバスケットゴールを作してほしいです。
- ◇ スケボーをしても良い所を増やしてほしい。球技が出来る所を増やしてほしい。

⑧学校生活について

- ◇ 校則の一律！修学旅行を予算内で選べる制度にしてほしい！
- ◇ 学校の校則をもう少しゆるめてほしくて、意見のない校則はやめてほしいです。(きちんとした理由がない規則。)
- ◇ 中学校（特に区立）の先生自身、教育をしてほしい。教育者として。
- ◇ 少人数教室を全て習熟度別にしてほしい。学校の図書館と江東区の図書館が連携して区の図書館の本を学校でも借りられるシステムを作してほしい。
- ◇ 中学校の授業が無駄に思える。もっと役に立つことを教えてほしい。
- ◇ 校則が今の時代に合っていない。ツーブロック禁止など。

⑨その他

- ◇ ショッピングモールなど学生が遊びやすい施設を増やしてほしい。
- ◇ テーマパークを作してほしい。
- ◇ 千田町商店街の活性化。東陽町の駐輪場が常に停められない（予約一杯）。
- ◇ 学校で気軽に勉強できる場所（自習室など）を増やして欲しい。
- ◇ 学校で配布されている PC が重いからタブレットにしてほしい。
- ◇ 学校の体育館を一般の人が使いやすいようにして欲しい。
- ◇ 大学生まで医療費を無料にしてほしい。小中学校のトイレの洋式化（完全）。
- ◇ 中学校での部活動の力の入れ方が各学校で違い過ぎる。（サッカー部が少ない。）
- ◇ 部活動の種類を増やしたい。
- ◇ 学校での部活動で顧問の先生が不適切な発言・行動をしていないかなどが確認できるようにして欲しいです。
- ◇ 区立の通信制、定時制中学を作してほしい。
- ◇ 学校に行けない子（不登校など）とかに施設作ったりしてほしい。ありがとうございました。
- ◇ 気軽に行ける子ども食堂を作してほしい。
- ◇ 親も不登校などのことを頭に入れてほしい。こどもも自由に意見を言ったり行動したい。
- ◇ 親とこどもが一緒に楽しめるような施設がほしい。
- ◇ 同じ区の友達が欲しい。
- ◇ 知的障害者の入所施設を作ってください。グループホームでもいいです。今の数では足りないです。

第2部 区民意向調査結果

- ✧ 放デイは18歳までしかいられない。18歳以上もいられる放デイを作してほしい。障害がある人に優しい区になってほしい。区長が城木特級へ来てほしい。
- ✧ 手話通訳者にもっと力を入れてほしいです。両親が困っています。
- ✧ 自閉症のこどもが参加できるスポーツクラブに入会したいです。
- ✧ 高齢者を大事にするのではなくこどもを大事にしてほしい。
- ✧ 高校生が楽しめる場所を作ってください。
- ✧ 質問が分かりにくいと感じるものがあったので、より、わかりやすくしていただけると答えやすいと感じました。

第3部 子育て世帯生活実態調査結果

第1章 小学生・中学生調査の結果

1 あなたのことについて

問1 現在、ご自宅で一緒に住んでいる人を教えてください。(あてはまる番号すべてに○)

自宅で一緒に住んでいる人についてみると、小学生では「母親」が95.1%と最も多く、次いで「父親」が92.4%となっています。中学生では「母親」が93.5%と最も多く、次いで「父親」が89.4%となっています。

学年・生活層別にみると、小学生・中学生ともに生活困難層ほど「兄・姉」の回答が多い傾向がみられます。

	%	n	母親	父親	祖母	祖父	兄・姉	弟・妹	その他	不明・無回答
小学生	全体	824	95.1	92.4	3.3	2.3	35.9	44.2	3.4	4.2
	困窮層	32	100.0	84.4	0.0	0.0	50.0	50.0	9.4	0.0
	周辺層	86	90.7	90.7	8.1	4.7	41.9	52.3	3.5	5.8
	一般層	561	95.5	93.2	3.4	2.7	34.6	41.4	3.6	4.1
中学生	全体	765	93.5	89.4	4.6	2.7	36.6	41.8	1.4	4.4
	困窮層	36	97.2	83.3	11.1	8.3	52.8	55.6	2.8	2.8
	周辺層	79	93.7	88.6	6.3	2.5	36.7	50.6	2.5	2.5
	一般層	499	93.8	90.4	4.6	2.6	34.9	41.1	1.0	4.2

問2 あなたには、自分で使うことができる、以下のものがありますか。(それぞれ1つに○)

A 自分だけの本（学校の教科書やマンガは除く）

自分だけの本についてみると、小学生では「ある」が82.3%と最も多く、次いで「ない(ほしくない)」が10.8%となっています。中学生では「ある」が87.2%と最も多く、次いで「ない(ほしくない)」が8.6%となっています。

学年・生活層別にみると、小学生では困窮層・周辺層、中学生では困窮層で、他の層と比べて「ある」の割合が低くなっています。

	%	n	ある	ない（ほしい）	ない （ほしくない）	不明・無回答
小学生	全体	824	82.3	3.9	10.8	3.0
	困窮層	32	78.1	6.3	15.6	0.0
	周辺層	86	76.7	5.8	14.0	3.5
	一般層	561	83.2	3.7	10.3	2.7
中学生	全体	765	87.2	2.4	8.6	1.8
	困窮層	36	72.2	8.3	16.7	2.8
	周辺層	79	83.5	3.8	11.4	1.3
	一般層	499	89.0	1.6	8.2	1.2

B 子ども部屋（兄弟姉妹と使っている場合もふくみます）

子ども部屋についてみると、小学生では「ある」が 61.5%と最も多く、次いで「ない(ほしい)」が 27.3%となっています。中学生では「ある」が 76.7%と最も多く、次いで「ない(ほしい)」が 17.4%となっています。

学年・生活層別にみると、小学生・中学生ともに生活困難層ほど「ある」の割合が低くなる傾向がみられます。

%		n	ある	ない（ほしい）	ない （ほしくない）	不明・無回答
小学生	全体	824	61.5	27.3	8.0	3.2
	困窮層	32	46.9	43.8	9.4	0.0
	周辺層	86	59.3	32.6	3.5	4.7
	一般層	561	62.4	26.0	9.1	2.5
中学生	全体	765	76.7	17.4	4.1	1.8
	困窮層	36	55.6	36.1	5.6	2.8
	周辺層	79	67.1	25.3	6.3	1.3
	一般層	499	79.0	15.4	4.4	1.2

C （自宅で）インターネットにつながるパソコン

（自宅で）インターネットにつながるパソコンについてみると、小学生では「ある」が 72.6%と最も多く、次いで「ない(ほしい)」が 14.0%となっています。中学生では「ある」が 74.4%と最も多く、次いで「ない(ほしい)」が 15.3%となっています。

学年・生活層別にみると、小学生では困窮層、中学生では困窮層・周辺層で、他の層と比べて「ある」の割合が低くなっています。

%		n	ある	ない（ほしい）	ない （ほしくない）	不明・無回答
小学生	全体	824	72.6	14.0	9.5	4.0
	困窮層	32	59.4	28.1	6.3	6.3
	周辺層	86	74.4	11.6	9.3	4.7
	一般層	561	74.0	13.5	9.1	3.4
中学生	全体	765	74.4	15.3	8.4	2.0
	困窮層	36	58.3	33.3	5.6	2.8
	周辺層	79	64.6	22.8	10.1	2.5
	一般層	499	78.0	13.0	7.6	1.4

D 自宅で宿題をすることができる場所

自宅で宿題をすることができる場所についてみると、小学生では「ある」が 89.9%と最も多く、次いで「ない(ほしい)」が 4.4%となっています。中学生では「ある」が 93.9%と最も多く、次いで「ない(ほしい)」が 3.5%となっています。

学年・生活層別にみると、小学生では困窮層・周辺層、中学生では困窮層で、他の層と比べて「ある」の割合が低くなっています。

%		n	ある	ない (ほしい)	ない (ほしくない)	不明・無回答
小学生	全体	824	89.9	4.4	3.0	2.7
	困窮層	32	81.3	15.6	3.1	0.0
	周辺層	86	80.2	10.5	5.8	3.5
	一般層	561	91.6	3.6	2.7	2.1
中学生	全体	765	93.9	3.5	1.3	1.3
	困窮層	36	75.0	16.7	5.6	2.8
	周辺層	79	92.4	5.1	1.3	1.3
	一般層	499	96.0	2.4	0.8	0.8

E 自分専用の勉強机

自分専用の勉強机についてみると、小学生では「ある」が 69.3%と最も多く、次いで「ない(ほしい)」が 16.3%となっています。中学生では「ある」が 87.1%と最も多く、次いで「ない(ほしい)」が 7.6%となっています。

学年・生活層別にみると、小学生・中学生ともに困窮層で、他の層と比べて「ある」の割合が低くなっています。

%		n	ある	ない (ほしい)	ない (ほしくない)	不明・無回答
小学生	全体	824	69.3	16.3	11.7	2.8
	困窮層	32	59.4	37.5	3.1	0.0
	周辺層	86	66.3	19.8	9.3	4.7
	一般層	561	70.2	15.0	12.5	2.3
中学生	全体	765	87.1	7.6	3.8	1.6
	困窮層	36	72.2	22.2	2.8	2.8
	周辺層	79	87.3	6.3	5.1	1.3
	一般層	499	88.4	7.0	3.6	1.0

F スポーツ用品（野球のグローブ、サッカーボールなど）

スポーツ用品についてみると、小学生では「ある」が 73.1%と最も多く、次いで「ない(ほしくない)」が 20.4%となっています。中学生では「ある」が 66.8%と最も多く、次いで「ない(ほしくない)」が 29.2%となっています。

学年・生活層別にみると、小学生・中学生ともに困窮層で、他の層と比べて「ある」の割合が低くなっています。

%		n	ある	ない（ほしい）	ない （ほしくない）	不明・無回答
小学生	全体	824	73.1	3.9	20.4	2.7
	困窮層	32	59.4	18.8	21.9	0.0
	周辺層	86	73.3	3.5	19.8	3.5
	一般層	561	75.9	2.7	19.3	2.1
中学生	全体	765	66.8	2.5	29.2	1.6
	困窮層	36	41.7	11.1	44.4	2.8
	周辺層	79	69.6	2.5	26.6	1.3
	一般層	499	67.9	2.0	28.9	1.2

G ゲーム機

ゲーム機についてみると、小学生では「ある」が 81.3%と最も多く、次いで「ない(ほしくない)」が 8.0%となっています。中学生では「ある」が 77.9%と最も多く、次いで「ない(ほしくない)」が 13.7%となっています。

学年・生活層別にみると、小学生では困窮層、中学生では困窮層・周辺層で、他の層と比べて「ある」の割合が低くなっています。

%		n	ある	ない（ほしい）	ない （ほしくない）	不明・無回答
小学生	全体	824	81.3	7.2	8.0	3.5
	困窮層	32	71.9	21.9	6.3	0.0
	周辺層	86	80.2	9.3	4.7	5.8
	一般層	561	82.0	6.1	8.9	3.0
中学生	全体	765	77.9	6.9	13.7	1.4
	困窮層	36	61.1	16.7	19.4	2.8
	周辺層	79	68.4	5.1	25.3	1.3
	一般層	499	81.2	6.2	11.6	1.0

H たいていの友だちが持っているおもちゃ

たいていの友だちが持っているおもちゃについてみると、小学生では「ある」が 67.0%と最も多く、次いで「ない(ほしくない)」が 21.2%となっています。中学生では「ある」が 69.7%と最も多く、次いで「ない(ほしくない)」が 23.8%となっています。

学年・生活層別にみると、小学生・中学生ともに生活困難層ほど「ある」の割合が低くなる傾向がみられます。

%		n	ある	ない (ほしい)	ない (ほしくない)	不明・無回答
小学生	全体	824	67.0	8.4	21.2	3.4
	困窮層	32	50.0	21.9	25.0	3.1
	周辺層	86	62.8	11.6	22.1	3.5
	一般層	561	69.7	7.3	20.1	2.9
中学生	全体	765	69.7	4.3	23.8	2.2
	困窮層	36	52.8	5.6	38.9	2.8
	周辺層	79	58.2	3.8	36.7	1.3
	一般層	499	72.1	4.6	21.2	2.0

I 自転車

自転車についてみると、小学生では「ある」が 90.4%と最も多く、次いで「ない(ほしくない)」が 3.5%となっています。中学生では「ある」が 85.2%と最も多く、次いで「ない(ほしくない)」が 9.3%となっています。

学年・生活層別にみると、小学生・中学生ともに困窮層で、他の層と比べて「ある」の割合が低くなっています。

%		n	ある	ない (ほしい)	ない (ほしくない)	不明・無回答
小学生	全体	824	90.4	3.3	3.5	2.8
	困窮層	32	81.3	12.5	6.3	0.0
	周辺層	86	89.5	3.5	1.2	5.8
	一般層	561	91.3	2.7	3.9	2.1
中学生	全体	765	85.2	3.8	9.3	1.7
	困窮層	36	72.2	16.7	8.3	2.8
	周辺層	79	91.1	3.8	3.8	1.3
	一般層	499	86.8	2.4	9.4	1.4

J おやつや、ちょっとしたおもちゃを買うおこづかい

おやつや、ちょっとしたおもちゃを買うおこづかいについてみると、小学生では「ある」が 81.3%と最も多く、次いで「ない(ほしい)」が 9.7%となっています。中学生では「ある」が 85.6%と最も多く、次いで「ない(ほしい)」が 8.1%となっています。

学年・生活層別にみると、小学生・中学生ともに困窮層で、他の層と比べて「ある」の割合が低くなっています。

%		n	ある	ない (ほしい)	ない (ほしくない)	不明・無回答
小学生	全体	824	81.3	9.7	6.1	2.9
	困窮層	32	62.5	37.5	0.0	0.0
	周辺層	86	79.1	12.8	3.5	4.7
	一般層	561	83.1	7.7	7.0	2.3
中学生	全体	765	85.6	8.1	4.6	1.7
	困窮層	36	77.8	11.1	8.3	2.8
	周辺層	79	84.8	10.1	3.8	1.3
	一般層	499	85.8	8.4	4.6	1.2

K 友だちが着ているのと同じような服

友だちが着ているのと同じような服についてみると、小学生では「ある」が 68.1%と最も多く、次いで「ない(ほしくない)」が 21.6%となっています。中学生では「ある」が 75.8%と最も多く、次いで「ない(ほしくない)」が 15.3%となっています。

学年・生活層別にみると、小学生では困窮層・周辺層、中学生では困窮層で、他の層と比べて「ある」の割合が低くなっています。

%		n	ある	ない (ほしい)	ない (ほしくない)	不明・無回答
小学生	全体	824	68.1	7.0	21.6	3.3
	困窮層	32	56.3	28.1	15.6	0.0
	周辺層	86	62.8	17.4	16.3	3.5
	一般層	561	70.6	4.6	22.1	2.7
中学生	全体	765	75.8	7.3	15.3	1.6
	困窮層	36	63.9	13.9	19.4	2.8
	周辺層	79	75.9	8.9	13.9	1.3
	一般層	499	76.8	6.2	15.8	1.2

L 2足以上のサイズのあった靴

2足以上のサイズのあった靴についてみると、小学生では「ある」が 84.3%と最も多く、次いで「ない(ほしくない)」が 8.0%となっています。中学生では「ある」が 89.7%と最も多く、次いで「ない(ほしい)」が 4.6%となっています。

学年・生活層別にみると、小学生では困窮層、中学生では困窮層・周辺層で、他の層と比べて「ある」の割合が低くなっています。

%		n	ある	ない (ほしい)	ない (ほしくない)	不明・無回答
小学生	全体	824	84.3	4.5	8.0	3.2
	困窮層	32	68.8	28.1	3.1	0.0
	周辺層	86	84.9	4.7	7.0	3.5
	一般層	561	85.9	3.6	7.7	2.9
中学生	全体	765	89.7	4.6	4.3	1.4
	困窮層	36	80.6	8.3	8.3	2.8
	周辺層	79	81.0	10.1	7.6	1.3
	一般層	499	91.6	3.8	3.6	1.0

M 携帯電話、スマートフォン

携帯電話、スマートフォンについてみると、小学生では「ある」が 69.2%と最も多く、次いで「ない(ほしい)」が 22.3%となっています。中学生では「ある」が 92.4%と最も多く、次いで「ない(ほしい)」が 4.3%となっています。

学年・生活層別にみると、小学生・中学生ともに、「ある」の割合について、生活層による大きな差はみられません。

%		n	ある	ない (ほしい)	ない (ほしくない)	不明・無回答
小学生	全体	824	69.2	22.3	5.6	2.9
	困窮層	32	65.6	21.9	12.5	0.0
	周辺層	86	67.4	25.6	3.5	3.5
	一般層	561	70.1	21.4	5.9	2.7
中学生	全体	765	92.4	4.3	1.7	1.6
	困窮層	36	91.7	2.8	2.8	2.8
	周辺層	79	92.4	6.3	0.0	1.3
	一般層	499	92.2	4.8	1.8	1.2

2 あなたの「夢」について

問3 あなたは、将来の夢がありますか。(1つに○)

将来の夢があるかについてみると、小学生では「ある」が68.9%、「ない」が26.9%となっています。中学生では「ある」が46.9%、「ない」が50.7%となっています。

学年・生活層別にみると、小学生では困窮層で「ある」の割合が他の層と比べて高くなっています。

	%	n	ある	ない	不明・無回答
小学生	全体	824	68.9	26.9	4.1
	困窮層	32	81.3	18.8	0.0
	周辺層	86	64.0	31.4	4.7
	一般層	561	70.2	26.7	3.0
中学生	全体	765	46.9	50.7	2.4
	困窮層	36	50.0	47.2	2.8
	周辺層	79	46.8	49.4	3.8
	一般層	499	46.9	51.3	1.8

問3で「ない」と回答した方

問3-2 夢がない理由は何ですか。(1つに○)

将来の夢がない理由についてみると、小学生では「具体的に、何も思いうかばないから」が68.0%と最も多く、次いで「わからない」が19.8%となっています。中学生では「具体的に、何も思いうかばないから」が72.4%と最も多く、次いで「わからない」が15.5%となっています。

	%	n	もうすべてに満足しているから	夢がかなうのがむずかしいと思うから	具体的に、何も思いうかばないから	わからない	不明・無回答
小学生	全体	222	2.7	9.5	68.0	19.8	0.0
	困窮層	6	0.0	16.7	83.3	0.0	0.0
	周辺層	27	0.0	3.7	70.4	25.9	0.0
	一般層	150	4.0	11.3	69.3	15.3	0.0
中学生	全体	388	2.1	8.2	72.4	15.5	1.8
	困窮層	17	0.0	5.9	76.5	17.6	0.0
	周辺層	39	2.6	10.3	74.4	10.3	2.6
	一般層	256	2.3	9.0	72.7	13.7	2.3

問4 あなたは、将来、どの段階まで進学したいですか。あなたの考えにもっとも近いものに○をつけてください。（1つに○）

進学希望についてみると、小学生では「大学またはそれ以上」が53.2%と最も多く、次いで「まだわからない」が29.7%となっています。中学生では「大学またはそれ以上」が76.9%と最も多く、次いで「まだわからない」が12.8%となっています。

学年・生活層別にみると、小学生・中学生ともに生活困難層ほど「高校まで」の割合が高くなる傾向がみられます。また、中学生では困窮層で「大学またはそれ以上」の割合が他の層と比べて低くなっています。

%		n	中学まで	高校まで	短大・高専・専門学校まで	大学またはそれ以上	まだわからない	不明・無回答
小学生	全体	824	1.5	6.4	5.3	53.2	29.7	3.9
	困窮層	32	3.1	15.6	6.3	50.0	21.9	3.1
	周辺層	86	0.0	9.3	3.5	47.7	34.9	4.7
	一般層	561	1.8	5.7	4.5	54.4	30.3	3.4
中学生	全体	765	0.0	3.4	5.1	76.9	12.8	1.8
	困窮層	36	0.0	8.3	5.6	61.1	19.4	5.6
	周辺層	79	0.0	3.8	3.8	72.2	20.3	0.0
	一般層	499	0.0	3.0	4.8	77.6	12.8	1.8

3 ふだんの生活について

問5 あなたは、平日（学校に行く日）の放課後（夕方6時くらいまで）はだれと過ごしていますか。一緒に過ごすことが一番多い人に○をつけてください。（1つに○）

平日の放課後はだれと過ごしているかについてみると、小学生では「家族(祖父母、親せきなどもふくみます)」が47.0%と最も多く、次いで「学校の友だち」が23.1%となっています。中学生では「家族(祖父母、親せきなどもふくみます)」が38.6%と最も多く、次いで「学校の友だち」が31.6%となっています。

学年・生活層別にみると、小学生では困窮層で「家族(祖父母、親せきなどもふくみます)」の割合が他の層と比べて低くなっています。

%		n	家族（祖父母、親せきなどもふくみます）	児童館やその他の施設の先生、スタッフ※	その他の大人（近所の大人、塾や習い事の先生など）	学校の友だち	学校以外の友だち（地域のスポーツクラブ、近所の友だちなど）	一人である	不明・無回答
小学生	全体	824	47.0	1.8	12.6	23.1	2.8	8.9	3.9
	困窮層	32	34.4	3.1	6.3	31.3	6.3	12.5	6.3
	周辺層	86	52.3	2.3	9.3	19.8	3.5	9.3	3.5
	一般層	561	47.2	1.1	14.1	22.8	2.5	9.1	3.2
中学生	全体	765	38.6	0.4	3.3	31.6	2.0	21.3	2.9
	困窮層	36	38.9	0.0	2.8	25.0	2.8	22.2	8.3
	周辺層	79	30.4	1.3	0.0	34.2	5.1	29.1	0.0
	一般層	499	38.1	0.4	4.2	32.5	1.4	20.6	2.8

※小学生では「江東きッズクラブ・児童館やその他の施設の先生、スタッフ」

問6 あなたは、平日（学校に行く日）の放課後（夕方6時くらいまで）、どこで過ごしますか。1週間のうち、そこで過ごすおおよその日数に○をつけてください。
（それぞれ1つに○）

A 自分の家

平日の放課後、自分の家で過ごす日数についてみると、小学生では「毎日」が44.8%と最も多く、次いで「週に1～2日」が23.8%となっています。中学生では「毎日」が60.1%と最も多く、次いで「週に3～4日」が16.6%となっています。

学年・生活層別にみると、中学生では困窮層で「週に1～2日」の割合が他の層と比べて低くなっています。

%		n	毎日	週に3～4日	週に1～2日	そこではまったく過ごさない	不明・無回答
小学生	全体	824	44.8	23.5	23.8	3.3	4.6
	困窮層	32	43.8	28.1	18.8	3.1	6.3
	周辺層	86	48.8	26.7	22.1	2.3	0.0
	一般層	561	44.7	23.7	23.9	3.6	4.1
中学生	全体	765	60.1	16.6	15.0	2.4	5.9
	困窮層	36	58.3	16.7	8.3	2.8	13.9
	周辺層	79	54.4	22.8	21.5	0.0	1.3
	一般層	499	60.5	16.6	14.8	2.2	5.8

B 友だちの家

平日の放課後、友だちの家で過ごす日数についてみると、小学生では「そこではまったく過ごさない」が66.3%と最も多く、次いで「週に1～2日」が20.4%となっています。中学生では「そこではまったく過ごさない」が77.1%と最も多く、次いで「週に1～2日」が5.9%となっています。

学年・生活層別にみると、小学生では困窮層で『週に3日以上』（「毎日」と「週に3～4日」の合計）の割合が他の層と比べて高くなっています。

%		n	毎日	週に3～4日	週に1～2日	そこではまったく過ごさない	不明・無回答
小学生	全体	824	0.7	1.7	20.4	66.3	10.9
	困窮層	32	3.1	6.3	3.1	71.9	15.6
	周辺層	86	0.0	0.0	24.4	70.9	4.7
	一般層	561	0.4	1.4	20.3	67.4	10.5
中学生	全体	765	0.1	0.1	5.9	77.1	16.7
	困窮層	36	0.0	0.0	5.6	69.4	25.0
	周辺層	79	0.0	0.0	7.6	75.9	16.5
	一般層	499	0.2	0.2	6.0	79.2	14.4

C 塾や習い事

平日の放課後、塾や習い事で過ごす日数についてみると、小学生では「週に3～4日」が39.6%と最も多く、次いで「週に1～2日」が32.9%となっています。中学生では「そこではまったく過ごさない」が33.7%と最も多く、次いで「週に1～2日」が28.5%となっています。

学年・生活層別にみると、小学生では生活困難層ほど「そこではまったく過ごさない」の割合が高くなる傾向がみられます。

%		n	毎日	週に3～4日	週に1～2日	そこではまったく 過ごさない	不明・無回答
小学生	全体	824	4.0	39.6	32.9	15.9	7.6
	困窮層	32	3.1	18.8	21.9	40.6	15.6
	周辺層	86	5.8	25.6	43.0	23.3	2.3
	一般層	561	3.9	43.5	32.8	12.5	7.3
中学生	全体	765	6.4	17.4	28.5	33.7	14.0
	困窮層	36	2.8	11.1	25.0	36.1	25.0
	周辺層	79	5.1	12.7	31.6	36.7	13.9
	一般層	499	6.8	19.2	30.1	31.9	12.0

D 児童館

平日の放課後、児童館で過ごす日数についてみると、小学生では「そこではまったく過ごさない」が71.6%と最も多く、次いで「週に1～2日」が12.9%となっています。中学生では「そこではまったく過ごさない」が80.0%と最も多く、次いで「週に1～2日」が1.7%となっています。

学年・生活層別にみると、小学生・中学生ともに困窮層で「そこではまったく過ごさない」の割合が他の層と比べて低くなっています。

%		n	毎日	週に3～4日	週に1～2日	そこではまったく 過ごさない	不明・無回答
小学生	全体	824	0.7	3.4	12.9	71.6	11.4
	困窮層	32	0.0	0.0	12.5	68.8	18.8
	周辺層	86	0.0	4.7	11.6	75.6	8.1
	一般層	561	1.1	3.0	12.5	73.1	10.3
中学生	全体	765	0.3	0.4	1.7	80.0	17.6
	困窮層	36	0.0	0.0	11.1	61.1	27.8
	周辺層	79	0.0	0.0	1.3	81.0	17.7
	一般層	499	0.4	0.4	1.4	82.8	15.0

E 学校（クラブ活動、部活など）※

平日の放課後、学校で過ごす日数についてみると、小学生では「そこではまったく過ごさない」が69.9%と最も多く、次いで「週に1～2日」が11.0%となっています。中学生では「そこではまったく過ごさない」が36.2%と最も多く、次いで「週に1～2日」が21.3%となっています。

学年・生活層別にみると、中学生では困窮層で「そこではまったく過ごさない」の割合が他の層と比べて低くなっています。

%		n	毎日	週に3～4日	週に1～2日	そこではまったく 過ごさない	不明・無回答
小学生	全体	824	4.6	3.2	11.0	69.9	11.3
	困窮層	32	6.3	3.1	12.5	65.6	12.5
	周辺層	86	4.7	4.7	15.1	68.6	7.0
	一般層	561	4.5	2.9	10.7	71.7	10.3
中学生	全体	765	12.3	18.4	21.3	36.2	11.8
	困窮層	36	13.9	5.6	33.3	27.8	19.4
	周辺層	79	12.7	17.7	17.7	39.2	12.7
	一般層	499	12.0	19.6	20.6	37.3	10.4

※小学生では「学校（クラブ活動・江東きっずクラブなど）」

F スポーツクラブの活動の場（野球場、サッカー場など）

平日の放課後、スポーツクラブの活動の場で過ごす日数についてみると、小学生では「そこではまったく過ごさない」が65.9%と最も多く、次いで「週に1～2日」が18.2%となっています。中学生では「そこではまったく過ごさない」が74.9%と最も多く、次いで「週に1～2日」が5.4%となっています。

学年・生活層別にみると、中学生では困窮層で「そこではまったく過ごさない」の割合が他の層と比べて低くなっています。

%		n	毎日	週に3～4日	週に1～2日	そこではまったく 過ごさない	不明・無回答
小学生	全体	824	0.5	4.4	18.2	65.9	11.0
	困窮層	32	3.1	0.0	18.8	65.6	12.5
	周辺層	86	1.2	5.8	23.3	62.8	7.0
	一般層	561	0.2	4.1	18.7	66.7	10.3
中学生	全体	765	1.6	2.0	5.4	74.9	16.2
	困窮層	36	2.8	5.6	2.8	63.9	25.0
	周辺層	79	0.0	1.3	8.9	74.7	15.2
	一般層	499	1.4	1.8	5.4	77.2	14.2

G 公園

平日の放課後、公園で過ごす日数についてみると、小学生では「そこではまったく過ごさない」が39.4%と最も多く、次いで「週に1～2日」が33.9%となっています。中学生では「そこではまったく過ごさない」が73.9%と最も多く、次いで「週に1～2日」が7.7%となっています。

学年・生活層別にみると、中学生では困窮層で「そこではまったく過ごさない」の割合が他の層と比べて低くなっています。

%		n	毎日	週に3～4日	週に1～2日	そこではまったく 過ごさない	不明・無回答
小学生	全体	824	3.5	13.3	33.9	39.4	9.8
	困窮層	32	3.1	12.5	31.3	37.5	15.6
	周辺層	86	2.3	10.5	45.3	36.0	5.8
	一般層	561	3.6	13.0	33.2	41.9	8.4
中学生	全体	765	0.5	1.4	7.7	73.9	16.5
	困窮層	36	0.0	2.8	8.3	63.9	25.0
	周辺層	79	1.3	2.5	8.9	73.4	13.9
	一般層	499	0.2	1.0	7.8	76.2	14.8

H 図書館

平日の放課後、図書館で過ごす日数についてみると、小学生では「そこではまったく過ごさない」が70.8%と最も多く、次いで「週に1～2日」が16.0%となっています。中学生では「そこではまったく過ごさない」が72.2%と最も多く、次いで「週に1～2日」が8.6%となっています。

学年・生活層別にみると、中学生では困窮層で「そこではまったく過ごさない」の割合が他の層と比べて低くなっています。

%		n	毎日	週に3～4日	週に1～2日	そこではまったく 過ごさない	不明・無回答
小学生	全体	824	0.2	1.2	16.0	70.8	11.8
	困窮層	32	0.0	0.0	12.5	71.9	15.6
	周辺層	86	1.2	1.2	15.1	74.4	8.1
	一般層	561	0.0	1.1	15.9	72.4	10.7
中学生	全体	765	0.5	2.0	8.6	72.2	16.7
	困窮層	36	2.8	0.0	11.1	61.1	25.0
	周辺層	79	0.0	2.5	7.6	74.7	15.2
	一般層	499	0.4	2.2	9.2	73.5	14.6

I 商店街やショッピングモール

平日の放課後、商店街やショッピングモールで過ごす日数についてみると、小学生では「そこではまったく過ごさない」が 69.1%と最も多く、次いで「週に1～2日」が 16.5%となっています。中学生では「そこではまったく過ごさない」が 63.4%と最も多く、次いで「週に1～2日」が 18.6%となっています。

学年・生活層別にみると、小学生では困窮層で「そこではまったく過ごさない」の割合が他の層と比べて高く、中学生では困窮層で「そこではまったく過ごさない」の割合が他の層と比べて低くなっています。

%		n	毎日	週に3～4日	週に1～2日	そこではまったく 過ごさない	不明・無回答
小学生	全体	824	0.2	2.3	16.5	69.1	11.9
	困窮層	32	0.0	0.0	6.3	78.1	15.6
	周辺層	86	1.2	2.3	17.4	70.9	8.1
	一般層	561	0.2	2.9	15.9	70.1	11.1
中学生	全体	765	0.3	1.3	18.6	63.4	16.5
	困窮層	36	0.0	2.8	25.0	47.2	25.0
	周辺層	79	0.0	2.5	21.5	60.8	15.2
	一般層	499	0.2	1.2	18.8	65.1	14.6

J ゲームセンター

平日の放課後、ゲームセンターで過ごす日数についてみると、小学生では「そこではまったく過ごさない」が 81.6%と最も多く、次いで「週に1～2日」が 6.6%となっています。中学生では「そこではまったく過ごさない」が 77.4%と最も多く、次いで「週に1～2日」が 5.1%となっています。

学年・生活層別にみると、小学生・中学生ともに困窮層で「そこではまったく過ごさない」の割合が他の層と比べて低くなっています。

%		n	毎日	週に3～4日	週に1～2日	そこではまったく 過ごさない	不明・無回答
小学生	全体	824	0.0	0.6	6.6	81.6	11.3
	困窮層	32	0.0	0.0	9.4	75.0	15.6
	周辺層	86	0.0	0.0	3.5	89.5	7.0
	一般層	561	0.0	0.7	6.6	82.4	10.3
中学生	全体	765	0.1	0.7	5.1	77.4	16.7
	困窮層	36	0.0	0.0	8.3	63.9	27.8
	周辺層	79	0.0	0.0	2.5	81.0	16.5
	一般層	499	0.0	0.4	5.2	79.8	14.6

K その他

平日の放課後、その他の場所で過ごす日数についてみると、小学生では「そこではまったく過ごさない」が 38.1%と最も多く、次いで「週に1～2日」が 2.5%となっています。中学生では「そこではまったく過ごさない」が 37.1%と最も多く、次いで「週に1～2日」が 2.2%となっています。

学年・生活層別にみると、小学生・中学生ともに特に大きな差はみられませんでした。

%		n	毎日	週に3～4日	週に1～2日	そこではまったく 過ごさない	不明・無回答
小学生	全体	824	0.4	1.6	2.5	38.1	57.4
	困窮層	32	0.0	6.3	3.1	37.5	53.1
	周辺層	86	1.2	1.2	2.3	36.0	59.3
	一般層	561	0.2	1.2	3.0	39.4	56.1
中学生	全体	765	0.5	0.4	2.2	37.1	59.7
	困窮層	36	2.8	0.0	5.6	33.3	58.3
	周辺層	79	0.0	1.3	6.3	29.1	63.3
	一般層	499	0.6	0.4	1.8	37.9	59.3

問7 問6の場所の中で、あなたが一番ほっとできる居場所はどこですか。
(1つに○)

一番ほっとできる居場所についてみると、小学生では「自分の家」が 77.3%と最も多く、次いで「ほっとできる居場所はない」が 4.4%となっています。中学生では「自分の家」が 83.5%と最も多く、次いで「ほっとできる居場所はない」が 4.4%となっています。

学年・生活層別にみると、小学生・中学生ともに困窮層で「自分の家」が他の層と比べて低くなっています。

%		n	自分の家	友だちの家	塾や習い事	児童館	学校(クラブ活動、部活など)※	スポーツクラブの活動の場(野球場、サッカー場など)	公園
小学生	全体	824	77.3	1.7	2.2	1.3	0.8	0.8	3.4
	困窮層	32	68.8	3.1	0.0	0.0	0.0	6.3	6.3
	周辺層	86	82.6	1.2	1.2	2.3	1.2	0.0	3.5
	一般層	561	78.6	1.2	2.3	1.1	0.7	0.7	3.6
中学生	全体	765	83.5	0.7	1.0	0.1	4.3	0.5	0.4
	困窮層	36	72.2	0.0	0.0	0.0	5.6	0.0	0.0
	周辺層	79	82.3	1.3	0.0	0.0	6.3	1.3	0.0
	一般層	499	84.6	0.8	1.4	0.2	3.8	0.6	0.2

%		n	図書館	商店街やショッピングモール	ゲームセンター	その他	ほっとできる居場所はない	不明・無回答
小学生	全体	824	2.3	0.2	0.2	0.6	4.4	4.6
	困窮層	32	0.0	0.0	0.0	3.1	9.4	3.1
	周辺層	86	4.7	0.0	0.0	0.0	2.3	1.2
	一般層	561	2.3	0.2	0.4	0.5	4.3	4.1
中学生	全体	765	1.3	0.3	0.0	0.7	4.4	2.7
	困窮層	36	2.8	0.0	0.0	5.6	8.3	5.6
	周辺層	79	2.5	0.0	0.0	1.3	5.1	0.0
	一般層	499	1.0	0.4	0.0	0.4	4.0	2.6

※小学生では「学校(クラブ活動・江東きずくクラブなど)」

問8 あなたは、休日（学校が休みの日）の午後はだれと過ごしていますか。土曜日と日曜日ごとに一緒に過ごすことが一番多い人に○をつけてください。
（それぞれ1つに○）

A 土曜日

土曜日の午後を一緒に過ごす人についてみると、小学生では「家族(祖父母、親せきなどもふくみます)」が69.5%と最も多く、次いで「その他の大人(近所の大人、塾や習い事の先生など)」「学校以外の友だち(地域のスポーツクラブ、近所の友だちなど)」が8.6%となっています。中学生では「家族(祖父母、親せきなどもふくみます)」が55.6%と最も多く、次いで「学校の友だち」が17.4%となっています。

学年・生活層別にみると、小学生では困窮層で「家族(祖父母、親せきなどもふくみます)」の割合が他の層と比べて高く、中学生では困窮層で「家族(祖父母、親せきなどもふくみます)」の割合が他の層と比べて低くなっています。

%		n	家族（祖父母、親せきなどもふくみます）	児童館やその他の施設の先生、スタッフ	その他の大人（近所の大人、塾や習い事の先生など）	学校の友だち	学校以外の友だち（地域のスポーツクラブ、近所の友だちなど）	一人でのいる	不明・無回答
小学生	全体	824	69.5	1.1	8.6	7.8	8.6	1.6	2.8
	困窮層	32	78.1	0.0	3.1	9.4	6.3	0.0	3.1
	周辺層	86	62.8	1.2	11.6	7.0	17.4	0.0	0.0
	一般層	561	70.6	1.1	8.9	7.5	7.7	2.1	2.1
中学生	全体	765	55.6	0.3	11.2	17.4	4.8	9.3	1.4
	困窮層	36	50.0	0.0	5.6	25.0	8.3	5.6	5.6
	周辺層	79	62.0	0.0	6.3	19.0	8.9	3.8	0.0
	一般層	499	55.1	0.4	12.2	16.2	4.4	10.6	1.0

B 日曜日

日曜日の午後を一緒に過ごす人についてみると、小学生では「家族(祖父母、親せきなどもふくみます)」が76.8%と最も多く、次いで「学校以外の友だち(地域のスポーツクラブ、近所の友だちなど)」が8.4%となっています。中学生では「家族(祖父母、親せきなどもふくみます)」が66.8%と最も多く、次いで「一人でのいる」が11.9%となっています。

学年・生活層別にみると、小学生では周辺層、中学生では困窮層で「家族(祖父母、親せきなどもふくみます)」の割合が他の層と比べて低くなっています。

%		n	家族（祖父母、親せきなどもふくみます）	児童館やその他の施設の先生、スタッフ	その他の大人（近所の大人、塾や習い事の先生など）	学校の友だち	学校以外の友だち（地域のスポーツクラブ、近所の友だちなど）	一人でのいる	不明・無回答
小学生	全体	824	76.8	0.1	2.3	8.0	8.4	1.0	3.4
	困窮層	32	78.1	0.0	3.1	6.3	9.4	0.0	3.1
	周辺層	86	70.9	0.0	2.3	5.8	18.6	2.3	0.0
	一般層	561	79.1	0.2	2.0	7.5	7.3	1.1	2.9
中学生	全体	765	66.8	0.0	3.9	9.9	5.6	11.9	1.8
	困窮層	36	52.8	0.0	2.8	16.7	13.9	5.6	8.3
	周辺層	79	68.4	0.0	1.3	13.9	10.1	6.3	0.0
	一般層	499	67.5	0.0	4.6	8.6	4.4	13.6	1.2

第3部 子育て世帯生活実態調査結果

問9 あなたは、土曜日の午後、どこで過ごしますか。一番多く過ごす場所に○をつけてください。(1つに○)

土曜日の午後、どこで過ごすかについてみると、小学生では「自分の家」が58.9%と最も多く、次いで「塾や習い事」が13.7%となっています。中学生では「自分の家」が58.0%と最も多く、次いで「塾や習い事」が18.4%となっています。

学年・生活層別にみると、小学生・中学生ともに、一般層で「塾や習い事」の割合が他の層と比べて高くなっています。

%	n	自分の家	友だちの家	塾や習い事	児童館	土曜江東さっずクラブ	学校(クラブ活動、部活など)	スポーツクラブの活動の場(野球場、サッカー場など)
小学生	全体 824	58.9	1.6	13.7	1.8	0.1	0.2	9.6
	困窮層 32	65.6	0.0	9.4	0.0	0.0	0.0	15.6
	周辺層 86	59.3	1.2	8.1	3.5	0.0	0.0	16.3
	一般層 561	58.3	1.6	14.4	1.6	0.2	0.2	9.4
中学生	全体 765	58.0	0.5	18.4	0.1		9.7	4.2
	困窮層 36	61.1	0.0	11.1	0.0		2.8	8.3
	周辺層 79	59.5	1.3	12.7	0.0		7.6	8.9
	一般層 499	56.7	0.6	21.0	0.2		10.0	3.6

%	n	公園	図書館	商店街やショッピングモール	ゲームセンター	その他	不明・無回答
小学生	全体 824	4.1	1.1	3.4	0.1	2.5	2.8
	困窮層 32	3.1	0.0	0.0	0.0	0.0	6.3
	周辺層 86	2.3	1.2	4.7	0.0	3.5	0.0
	一般層 561	4.6	1.1	3.6	0.0	2.9	2.1
中学生	全体 765	2.0	0.5	3.9	0.1	1.2	1.3
	困窮層 36	2.8	0.0	5.6	0.0	2.8	5.6
	周辺層 79	5.1	1.3	3.8	0.0	0.0	0.0
	一般層 499	1.6	0.6	3.6	0.2	1.0	0.8

問10 あなたは、日曜日の午後、どこで過ごしますか。一番多く過ごす場所に○をつけてください。(1つに○)

日曜日の午後、どこで過ごすかについてみると、小学生では「自分の家」が67.0%と最も多く、次いで「スポーツクラブの活動の場(野球場、サッカー場など)」が10.2%となっています。中学生では「自分の家」が73.2%と最も多く、次いで「塾や習い事」が7.1%となっています。

学年・生活層別にみると、中学生では困窮層で「自分の家」の割合が他の層と比べて低くなっています。

%	n	自分の家	友だちの家	塾や習い事	児童館	学校(クラブ活動、部活など)	スポーツクラブの活動の場(野球場、サッカー場など)	公園	図書館	商店街やショッピングモール	ゲームセンター	その他	不明・無回答
小学生	全体 824	67.0	1.8	2.7	0.8	0.4	10.2	4.6	0.2	7.0	0.6	1.8	2.8
	困窮層 32	65.6	0.0	0.0	0.0	0.0	15.6	15.6	0.0	0.0	0.0	0.0	3.1
	周辺層 86	65.1	0.0	2.3	1.2	0.0	14.0	5.8	0.0	7.0	1.2	3.5	0.0
	一般層 561	69.3	2.0	2.7	0.9	0.2	10.0	3.7	0.4	6.4	0.4	1.8	2.3
中学生	全体 765	73.2	0.7	7.1	0.1	1.0	4.1	2.1	1.0	6.8	0.7	2.0	1.3
	困窮層 36	50.0	0.0	2.8	0.0	0.0	8.3	8.3	0.0	13.9	5.6	5.6	5.6
	周辺層 79	64.6	2.5	5.1	0.0	1.3	8.9	2.5	8.9	0.0	3.8	0.0	0.0
	一般層 499	76.0	0.6	7.6	0.2	1.0	3.2	1.4	0.8	7.0	0.4	1.0	0.8

問 11 あなたはこれまでに、夜遅くまでこどもだけで過ごすことはありましたか。
(1つに○)

これまでに、夜遅くまでこどもだけで過ごすことがあったかについてみると、小学生では「なかった」が 64.7%と最も多く、次いで「あまりなかった」が 15.2%となっています。中学生では「なかった」が 37.0%と最も多く、次いで「ときどきあった」が 27.3%となっています。

学年・生活層別にみると、小学生・中学生ともに生活困難層ほど『あった』(「よくあった」と「ときどきあった」の合計)の割合が高くなる傾向がみられます。

	%	n	よくあった	ときどきあった	あまりなかった	なかった	わからない	不明・無回答
小学生	全体	824	2.1	10.9	15.2	64.7	4.0	3.2
	困窮層	32	0.0	18.8	21.9	50.0	6.3	3.1
	周辺層	86	3.5	14.0	14.0	64.0	3.5	1.2
	一般層	561	1.8	9.8	16.2	66.0	3.9	2.3
中学生	全体	765	6.4	27.3	24.8	37.0	3.4	1.0
	困窮層	36	11.1	36.1	16.7	30.6	0.0	5.6
	周辺層	79	10.1	27.8	21.5	36.7	3.8	0.0
	一般層	499	6.0	26.5	25.9	38.7	2.4	0.6

問 12 あなたと友だちの関係について、どのように思いますか。もっとも近いものに○をつけてください。(それぞれ1つに○)

A 友だちと一緒にたくさん遊んでいると思う

友だちと一緒にたくさん遊んでいると思うかについてみると、小学生では「とてもそう思う」が 46.5%と最も多く、次いで「そう思う」が 33.0%となっています。中学生では「そう思う」が 37.4%と最も多く、次いで「とてもそう思う」が 31.6%となっています。

学年・生活層別にみると、小学生では困窮層・周辺層で「とてもそう思う」の割合が他の層と比べて低くなっています。

	%	n	とてもそう思う	そう思う	あまりそう思わない	そう思わない	不明・無回答
小学生	全体	824	46.5	33.0	11.9	5.3	3.3
	困窮層	32	37.5	37.5	18.8	6.3	0.0
	周辺層	86	38.4	36.0	16.3	8.1	1.2
	一般層	561	46.5	33.9	11.4	5.2	3.0
中学生	全体	765	31.6	37.4	20.5	8.6	1.8
	困窮層	36	30.6	30.6	25.0	8.3	5.6
	周辺層	79	31.6	39.2	15.2	12.7	1.3
	一般層	499	30.5	37.3	22.2	8.4	1.6

B 友だちと仲良くしていると思う

友だちと仲良くしていると思うかについてみると、小学生では「とてもそう思う」が 63.3%と最も多く、次いで「そう思う」が 27.8%となっています。中学生では「とてもそう思う」が 57.0%と最も多く、次いで「そう思う」が 36.1%となっています。

学年・生活層別にみると、小学生・中学生ともに困窮層で「とてもそう思う」の割合が他の層と比べて低くなっています。

%		n	とてもそう思う	そう思う	あまりそう思わない	そう思わない	不明・無回答
小学生	全体	824	63.3	27.8	3.4	1.8	3.6
	困窮層	32	40.6	43.8	12.5	3.1	0.0
	周辺層	86	62.8	29.1	5.8	2.3	0.0
	一般層	561	65.2	27.6	2.7	1.2	3.2
中学生	全体	765	57.0	36.1	2.7	2.4	1.8
	困窮層	36	44.4	38.9	5.6	2.8	8.3
	周辺層	79	58.2	32.9	2.5	5.1	1.3
	一般層	499	58.3	35.5	2.6	2.2	1.4

C 友だちに好かれていると思う

友だちに好かれていると思うかについてみると、小学生では「そう思う」が 43.9%と最も多く、次いで「とてもそう思う」が 29.7%となっています。中学生では「そう思う」が 53.3%と最も多く、次いで「とてもそう思う」が 29.8%となっています。

学年・生活層別にみると、小学生・中学生ともに生活困難層ほど「とてもそう思う」の割合が低くなる傾向がみられます。

%		n	とてもそう思う	そう思う	あまりそう思わない	そう思わない	不明・無回答
小学生	全体	824	29.7	43.9	16.6	5.5	4.2
	困窮層	32	15.6	46.9	25.0	12.5	0.0
	周辺層	86	22.1	51.2	18.6	7.0	1.2
	一般層	561	31.7	43.3	17.1	4.1	3.7
中学生	全体	765	29.8	53.5	10.8	3.3	2.6
	困窮層	36	16.7	47.2	22.2	5.6	8.3
	周辺層	79	24.1	57.0	11.4	6.3	1.3
	一般層	499	31.1	53.5	10.0	3.0	2.4

D 自分は友だちと比べて違うと思う

自分は友だちと比べて違うと思うかについてみると、小学生では「あまりそう思わない」が 33.6%と最も多く、次いで「そう思う」が 24.9%となっています。中学生では「あまりそう思わない」が 32.0%と最も多く、次いで「そう思う」が 30.7%となっています。

学年・生活層別にみると、中学生では困窮層で「そう思う」の割合が他の層と比べて高くなっています。

%		n	とてもそう思う	そう思う	あまりそう思わない	そう思わない	不明・無回答
小学生	全体	824	17.6	24.9	33.6	19.1	4.9
	困窮層	32	18.8	21.9	50.0	9.4	0.0
	周辺層	86	9.3	31.4	34.9	22.1	2.3
	一般層	561	18.0	25.8	32.8	18.7	4.6
中学生	全体	765	24.1	30.7	32.0	10.3	2.9
	困窮層	36	22.2	47.2	19.4	2.8	8.3
	周辺層	79	22.8	25.3	35.4	15.2	1.3
	一般層	499	24.0	30.3	33.5	10.0	2.2

問 13 あなたは、以下の活動を、ふだんどれくらいしますか。(それぞれ1つに○)

A ゲーム機で遊ぶ

ゲーム機で遊ぶ頻度についてみると、小学生では「毎日1～2時間」が 23.1%と最も多く、次いで「ぜんぜんしない」が 21.7%となっています。中学生では「ぜんぜんしない」が 45.9%と最も多く、次いで「毎日2時間以上」が 17.1%となっています。

学年・生活層別にみると、小学生では困窮層で「ぜんぜんしない」の割合が他の層と比べて高くなっています。

%		n	毎日2時間以上	毎日1～2時間	毎日1時間以下	1週間に4～5日	1週間に2～3日	1週間に1日	ぜんぜんしない	不明・無回答
小学生	全体	824	15.9	23.1	11.8	5.9	11.4	8.1	21.7	2.1
	困窮層	32	18.8	18.8	3.1	9.4	6.3	9.4	34.4	0.0
	周辺層	86	25.6	16.3	10.5	9.3	10.5	9.3	18.6	0.0
	一般層	561	13.7	26.0	11.9	5.3	10.9	7.3	22.6	2.1
中学生	全体	765	17.1	12.4	7.5	2.1	6.1	7.2	45.9	1.7
	困窮層	36	19.4	13.9	5.6	0.0	0.0	5.6	47.2	8.3
	周辺層	79	19.0	11.4	10.1	0.0	6.3	5.1	48.1	0.0
	一般層	499	16.6	12.8	7.0	2.4	6.0	7.8	46.1	1.2

B テレビ・インターネットをみる

テレビ・インターネットをみる頻度についてみると、小学生では「毎日2時間以上」が 33.9%と最も多く、次いで「毎日1～2時間」が 32.2%となっています。中学生では「毎日2時間以上」が 50.5%と最も多く、次いで「毎日1～2時間」が 31.9%となっています。

学年・生活層別にみると、小学生では周辺層で「毎日2時間以上」の割合が他の層と比べて高くなっています。

%		n	毎日2時間以上	毎日1～2時間	毎日1時間以下	1週間に4～5日	1週間に2～3日	1週間に1日	ぜんぜんしない	不明・無回答
小学生	全体	824	33.9	32.2	19.4	4.2	4.1	2.5	1.3	2.3
	困窮層	32	28.1	34.4	18.8	0.0	12.5	3.1	0.0	3.1
	周辺層	86	43.0	31.4	9.3	3.5	8.1	3.5	1.2	0.0
	一般層	561	31.9	32.8	21.2	4.6	3.2	2.5	1.6	2.1
中学生	全体	765	50.5	31.9	11.1	1.2	1.4	1.0	1.3	1.6
	困窮層	36	52.8	27.8	5.6	0.0	5.6	0.0	0.0	8.3
	周辺層	79	53.2	35.4	7.6	1.3	0.0	0.0	1.3	1.3
	一般層	499	48.7	32.7	12.8	1.4	1.2	0.6	1.4	1.2

C 読書（電子書籍をふくむ。雑誌やマンガはふくまない）

読書の頻度についてみると、小学生では「ぜんぜんしない」が 26.8%と最も多く、次いで「毎日1時間以下」が 19.4%となっています。中学生では「ぜんぜんしない」が 39.0%と最も多く、次いで「毎日1時間以下」が 16.7%となっています。

学年・生活層別にみると、小学生では生活困難層ほど「ぜんぜんしない」の割合が高くなる傾向がみられます。

	%	n	毎日2時間以上	毎日1～2時間	毎日1時間以下	1週間に4～5日	1週間に2～3日	1週間に1日	ぜんぜんしない	不明・無回答
小学生	全体	824	5.5	9.3	19.4	10.7	13.3	13.1	26.8	1.8
	困窮層	32	3.1	9.4	21.9	6.3	18.8	3.1	37.5	0.0
	周辺層	86	3.5	4.7	17.4	8.1	16.3	19.8	30.2	0.0
	一般層	561	5.3	9.1	20.0	12.1	13.4	13.0	25.3	1.8
中学生	全体	765	3.7	8.0	16.7	8.6	9.3	12.7	39.0	2.1
	困窮層	36	0.0	5.6	19.4	13.9	5.6	5.6	38.9	11.1
	周辺層	79	7.6	6.3	10.1	10.1	13.9	6.3	45.6	0.0
	一般層	499	3.0	8.4	18.4	7.4	9.2	14.6	37.1	1.8

D 公園で遊ぶ

公園で遊ぶ頻度についてみると、小学生では「ぜんぜんしない」が 33.9%と最も多く、次いで「1週間に2～3日」が 22.6%となっています。中学生では「ぜんぜんしない」が 83.1%と最も多く、次いで「1週間に1日」が 8.6%となっています。

学年・生活層別にみると、中学生では困窮層で「ぜんぜんしない」の割合が他の層と比べて低くなっています。

	%	n	毎日2時間以上	毎日1～2時間	毎日1時間以下	1週間に4～5日	1週間に2～3日	1週間に1日	ぜんぜんしない	不明・無回答
小学生	全体	824	9.0	4.2	1.1	6.6	22.6	20.1	33.9	2.5
	困窮層	32	3.1	3.1	3.1	6.3	31.3	12.5	37.5	3.1
	周辺層	86	10.5	3.5	1.2	8.1	18.6	19.8	38.4	0.0
	一般層	561	9.4	3.6	0.9	6.2	22.6	21.4	33.3	2.5
中学生	全体	765	0.4	0.5	0.9	1.2	3.5	8.6	83.1	1.7
	困窮層	36	0.0	0.0	5.6	2.8	5.6	8.3	69.4	8.3
	周辺層	79	1.3	1.3	0.0	2.5	1.3	15.2	78.5	0.0
	一般層	499	0.4	0.6	0.6	1.0	3.6	8.4	84.0	1.4

E 30分以上からだを動かす運動

30分以上からだを動かす運動の頻度についてみると、小学生では「1週間に2～3日」が 22.0%と最も多く、次いで「1週間に1日」が 19.4%となっています。中学生では「ぜんぜんしない」が 33.7%と最も多く、次いで「1週間に2～3日」が 20.7%となっています。

学年・生活層別にみると、小学生では困窮層で「毎日2時間以上」の割合が他の層と比べて低くなっています。また、中学生では生活困難層ほど「ぜんぜんしない」の割合が高くなる傾向がみられます。

	%	n	毎日2時間以上	毎日1～2時間	毎日1時間以下	1週間に4～5日	1週間に2～3日	1週間に1日	ぜんぜんしない	不明・無回答
小学生	全体	824	12.5	6.8	8.1	15.2	22.0	19.4	13.6	2.4
	困窮層	32	6.3	6.3	9.4	25.0	15.6	18.8	15.6	3.1
	周辺層	86	17.4	3.5	8.1	18.6	14.0	24.4	14.0	0.0
	一般層	561	11.9	6.2	8.4	14.3	23.9	19.4	13.5	2.3
中学生	全体	765	8.2	5.9	5.6	12.2	20.7	12.0	33.7	1.7
	困窮層	36	13.9	5.6	2.8	2.8	11.1	11.1	44.4	8.3
	周辺層	79	10.1	5.1	3.8	12.7	20.3	11.4	36.7	0.0
	一般層	499	7.4	5.2	6.4	12.8	21.8	13.8	31.1	1.4

F 家事（洗濯、掃除、料理、片付けなど）

家事の頻度についてみると、小学生では「ぜんぜんしない」が 29.5%と最も多く、次いで「1週間に1日」が 19.5%となっています。中学生では「ぜんぜんしない」が 35.0%と最も多く、次いで「毎日1時間以下」が 19.7%となっています。

学年・生活層別にみると、小学生では困窮層で「毎日1～2時間」、中学生では困窮層で「ぜんぜんしない」の割合が他の層と比べて高くなっています。

	%	n	毎日2時間以上	毎日1～2時間	毎日1時間以下	1週間に4～5日	1週間に2～3日	1週間に1日	ぜんぜんしない	不明・無回答
小学生	全体	824	1.7	3.2	14.8	9.6	19.1	19.5	29.5	2.7
	困窮層	32	0.0	12.5	3.1	9.4	28.1	21.9	25.0	0.0
	周辺層	86	2.3	3.5	16.3	8.1	22.1	22.1	25.6	0.0
	一般層	561	1.8	2.5	14.6	10.0	19.3	18.5	30.7	2.7
	全体	765	1.8	2.5	19.7	8.1	15.3	15.8	35.0	1.7
中学生	困窮層	36	2.8	5.6	11.1	8.3	5.6	11.1	44.4	11.1
	周辺層	79	1.3	1.3	22.8	7.6	12.7	22.8	31.6	0.0
	一般層	499	1.8	2.4	18.8	8.6	17.6	14.8	34.5	1.4

G 親のお世話

親のお世話の頻度についてみると、小学生では「ぜんぜんしない」が 81.8%と最も多く、次いで「1週間に1日」が 5.3%となっています。中学生では「ぜんぜんしない」が 89.0%と最も多く、次いで「1週間に1日」が 2.6%となっています。

学年・生活層別にみると、小学生では困窮層・周辺層、中学生では困窮層で「ぜんぜんしない」の割合が他の層と比べて低くなっています。

	%	n	毎日2時間以上	毎日1～2時間	毎日1時間以下	1週間に4～5日	1週間に2～3日	1週間に1日	ぜんぜんしない	不明・無回答
小学生	全体	824	1.0	1.0	1.8	1.7	4.1	5.3	81.8	3.3
	困窮層	32	6.3	0.0	0.0	0.0	6.3	12.5	75.0	0.0
	周辺層	86	0.0	1.2	7.0	4.7	4.7	8.1	74.4	0.0
	一般層	561	1.1	0.9	1.1	1.2	4.1	5.2	83.2	3.2
	全体	765	0.7	0.3	2.0	1.4	2.0	2.6	89.0	2.1
中学生	困窮層	36	2.8	0.0	0.0	0.0	5.6	2.8	77.8	11.1
	周辺層	79	0.0	0.0	3.8	1.3	0.0	1.3	93.7	0.0
	一般層	499	0.4	0.4	1.4	1.8	1.8	3.0	89.8	1.4

H 兄弟姉妹のお世話

兄弟姉妹のお世話の頻度についてみると、小学生では「ぜんぜんしない」が 69.2%と最も多く、次いで「毎日1時間以下」が 6.3%となっています。中学生では「ぜんぜんしない」が 84.3%と最も多く、次いで「1週間に1日」が 3.5%となっています。

学年・生活層別にみると、小学生では周辺層、中学生では困窮層で「ぜんぜんしない」の割合が他の層と比べて低くなっています。

	%	n	毎日2時間以上	毎日1～2時間	毎日1時間以下	1週間に4～5日	1週間に2～3日	1週間に1日	ぜんぜんしない	不明・無回答
小学生	全体	824	4.7	3.6	6.3	3.0	4.6	4.6	69.2	3.9
	困窮層	32	0.0	12.5	0.0	6.3	6.3	6.3	68.8	0.0
	周辺層	86	7.0	5.8	16.3	3.5	3.5	5.8	57.0	1.2
	一般層	561	4.3	2.5	5.7	3.2	4.5	4.5	71.5	3.9
	全体	765	1.4	0.8	3.3	1.6	2.7	3.5	84.3	2.4
中学生	困窮層	36	5.6	2.8	0.0	0.0	2.8	8.3	69.4	11.1
	周辺層	79	1.3	0.0	1.3	1.3	5.1	2.5	88.6	0.0
	一般層	499	1.2	0.8	4.0	1.6	2.4	3.6	85.0	1.4

I 祖父母のお世話

祖父母のお世話の頻度についてみると、小学生では「ぜんぜんしない」が 92.0%と最も多く、次いで「1週間に1日」が 1.8%となっています。中学生では「ぜんぜんしない」が 95.0%と最も多く、次いで「1週間に1日」が 1.0%となっています。

学年・生活層別にみると、中学生では困窮層で「ぜんぜんしない」の割合が他の層と比べて低くなっています。

	%	n	毎日2時間以上	毎日1～2時間	毎日1時間以下	1週間に4～5日	1週間に2～3日	1週間に1日	ぜんぜんしない	不明・無回答
小学生	全体	824	0.4	0.4	0.4	0.4	0.8	1.8	92.0	3.9
	困窮層	32	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	96.9	3.1
	周辺層	86	1.2	1.2	1.2	1.2	0.0	2.3	91.9	1.2
	一般層	561	0.4	0.4	0.4	0.2	0.9	2.0	92.0	3.9
中学生	全体	765	0.3	0.1	0.4	0.3	0.5	1.0	95.0	2.4
	困窮層	36	2.8	0.0	0.0	2.8	0.0	0.0	83.3	11.1
	周辺層	79	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.5	96.2	1.3
	一般層	499	0.2	0.2	0.6	0.2	0.6	1.0	96.0	1.2

問 14 あなたはふだん、困っていることや悩みごと、楽しいことや悲しいことを、ほかの人にどれくらい話しますか。(それぞれ1つに○)

A 家族（親）

家族（親）とどれくらい話すかについてみると、小学生では「よく話す」が 59.5%と最も多く、次いで「ときどき話す」が 23.1%となっています。中学生では「よく話す」が 47.6%と最も多く、次いで「ときどき話す」が 27.1%となっています。

学年・生活層別にみると、小学生では困窮層で「よく話す」の割合が他の層と比べて低くなっています。

	%	n	よく話す	ときどき話す	あまり話さない	ぜんぜん話さない	不明・無回答
小学生	全体	824	59.5	23.1	10.6	4.7	2.2
	困窮層	32	50.0	21.9	25.0	3.1	0.0
	周辺層	86	59.3	24.4	8.1	8.1	0.0
	一般層	561	58.6	24.1	10.7	4.5	2.1
中学生	全体	765	47.6	27.1	13.1	11.2	1.0
	困窮層	36	41.7	36.1	5.6	11.1	5.6
	周辺層	79	43.0	30.4	17.7	8.9	0.0
	一般層	499	49.5	25.9	11.8	12.2	0.6

B 家族（兄弟姉妹）

家族(兄弟姉妹)とどれくらい話すかについてみると、小学生では「ぜんぜん話さない」が 37.7%と最も多く、次いで「よく話す」が 24.0%となっています。中学生では「ぜんぜん話さない」が 45.1%と最も多く、次いで「よく話す」「ときどき話す」が 17.9%となっています。

学年・生活層別にみると、小学生では周辺層で「ぜんぜん話さない」の割合が他の層と比べて低くなっています。

	%	n	よく話す	ときどき話す	あまり話さない	ぜんぜん話さない	不明・無回答
小学生	全体	824	24.0	17.5	14.9	37.7	5.8
	困窮層	32	25.0	21.9	12.5	40.6	0.0
	周辺層	86	26.7	25.6	12.8	29.1	5.8
	一般層	561	22.5	16.0	15.0	41.2	5.3
中学生	全体	765	17.9	17.9	15.4	45.1	3.7
	困窮層	36	16.7	19.4	13.9	44.4	5.6
	周辺層	79	16.5	20.3	12.7	48.1	2.5
	一般層	499	18.0	16.6	16.0	45.5	3.8

C 家族（祖父母など）

家族(祖父母など)とどれくらい話すかについてみると、小学生では「ぜんぜん話さない」が 47.1%と最も多く、次いで「あまり話さない」が 19.8%となっています。中学生では「ぜんぜん話さない」が 62.1%と最も多く、次いで「あまり話さない」が 17.6%となっています。

学年・生活層別にみると、小学生では困窮層で「ときどき話す」、中学生では周辺層で「あまり話さない」の割合が他の層と比べて低くなっています。

	%	n	よく話す	ときどき話す	あまり話さない	ぜんぜん話さない	不明・無回答
小学生	全体	824	11.3	17.1	19.8	47.1	4.7
	困窮層	32	12.5	9.4	28.1	50.0	0.0
	周辺層	86	8.1	17.4	16.3	52.3	5.8
	一般層	561	10.7	18.9	20.0	46.9	3.6
中学生	全体	765	6.5	11.2	17.6	62.1	2.5
	困窮層	36	5.6	8.3	13.9	63.9	8.3
	周辺層	79	7.6	11.4	8.9	70.9	1.3
	一般層	499	6.2	11.0	19.0	61.5	2.2

D 学校の先生

学校の先生とどれくらい話すかについてみると、小学生では「ぜんぜん話さない」が 31.8%と最も多く、次いで「あまり話さない」が 25.7%となっています。中学生では「ぜんぜん話さない」が 46.4%と最も多く、次いで「あまり話さない」が 24.3%となっています。

学年・生活層別にみると、小学生では困窮層で「よく話す」の割合が他の層と比べて低くなっています。

	%	n	よく話す	ときどき話す	あまり話さない	ぜんぜん話さない	不明・無回答
小学生	全体	824	15.4	23.2	25.7	31.8	3.9
	困窮層	32	6.3	25.0	31.3	37.5	0.0
	周辺層	86	15.1	24.4	22.1	34.9	3.5
	一般層	561	15.2	22.6	27.3	31.7	3.2
中学生	全体	765	7.6	20.1	24.3	46.4	1.6
	困窮層	36	2.8	13.9	33.3	41.7	8.3
	周辺層	79	8.9	17.7	25.3	48.1	0.0
	一般層	499	7.2	21.4	24.8	45.3	1.2

E 児童館の職員※

児童館の職員とどれくらい話すかについてみると、小学生では「ぜんぜん話さない」が 80.0%と最も多く、次いで「あまり話さない」が 8.7%となっています。中学生では「ぜんぜん話さない」が 92.2%と最も多く、次いで「あまり話さない」が 3.3%となっています。

学年・生活層別にみると、小学生では生活困難層ほど「ぜんぜん話さない」の割合が低くなる傾向がみられます。

	%	n	よく話す	ときどき話す	あまり話さない	ぜんぜん話さない	不明・無回答
小学生	全体	824	3.0	3.5	8.7	80.0	4.7
	困窮層	32	3.1	3.1	15.6	75.0	3.1
	周辺層	86	2.3	2.3	11.6	79.1	4.7
	一般層	561	3.0	3.4	8.4	81.1	4.1
中学生	全体	765	0.7	0.9	3.3	92.2	3.0
	困窮層	36	0.0	0.0	0.0	88.9	11.1
	周辺層	79	0.0	0.0	1.3	96.2	2.5
	一般層	499	0.8	0.8	3.8	91.8	2.8

※小学生では「江東きッズクラブや児童館の職員」

F 友だち

友だちとどれくらい話すかについてみると、小学生では「よく話す」が 44.3%と最も多く、次いで「ときどき話す」が 27.8%となっています。中学生では「よく話す」が 42.7%と最も多く、次いで「ときどき話す」が 28.5%となっています。

学年・生活層別にみると、中学生では困難層で「ぜんぜん話さない」の割合が他の層と比べて低くなっています。

	%	n	よく話す	ときどき話す	あまり話さない	ぜんぜん話さない	不明・無回答
小学生	全体	824	44.3	27.8	10.0	14.6	3.4
	困窮層	32	50.0	28.1	6.3	15.6	0.0
	周辺層	86	46.5	25.6	10.5	14.0	3.5
	一般層	561	41.4	29.1	10.5	15.7	3.4
中学生	全体	765	42.7	28.5	14.0	13.3	1.4
	困窮層	36	44.4	33.3	8.3	8.3	5.6
	周辺層	79	39.2	31.6	10.1	19.0	0.0
	一般層	499	44.7	27.1	14.6	12.4	1.2

G その他の大人（地域のスポーツクラブのコーチや塾・習い事の先生など）

その他の大人とどれくらい話すかについてみると、小学生では「ぜんぜん話さない」が 57.6%と最も多く、次いで「あまり話さない」が 13.5%となっています。中学生では「ぜんぜん話さない」が 62.6%と最も多く、次いで「ときどき話す」が 14.5%となっています。

学年・生活層別にみると、小学生では困窮層で「よく話す」の割合が他の層と比べて低く、中学生では周辺層で「ぜんぜん話さない」の割合が他の層と比べて高くなっています。

	%	n	よく話す	ときどき話す	あまり話さない	ぜんぜん話さない	不明・無回答
小学生	全体	824	11.5	13.3	13.5	57.6	4.0
	困窮層	32	3.1	18.8	18.8	59.4	0.0
	周辺層	86	8.1	16.3	14.0	58.1	3.5
	一般層	561	11.9	12.1	13.7	58.6	3.6
中学生	全体	765	7.7	14.5	12.9	62.6	2.2
	困窮層	36	2.8	11.1	19.4	58.3	8.3
	周辺層	79	6.3	8.9	11.4	72.2	1.3
	一般層	499	8.4	15.8	12.8	61.1	1.8

問 15 あなたの親（お父さんやお母さん）の、ふだんのあなたへの接し方を教えてください。もっとも近いものに○をつけてください。（それぞれ1つに○）

A 私に対してやさしい

親は自分に対してやさしいと思うかについてみると、小学生では「そう思う」が 67.7%と最も多く、次いで「どちらかといえばそう思う」が 25.5%となっています。中学生では「そう思う」が 67.7%と最も多く、次いで「どちらかといえばそう思う」が 27.3%となっています。

学年・生活層別にみると、小学生・中学生ともに生活困難層ほど「そう思う」の割合が低くなる傾向がみられます。

%		n	そう思う	どちらかといえば そう思う	どちらかといえば そう思わない	そう思わない	不明・無回答
小学生	全体	824	67.7	25.5	3.3	1.1	2.4
	困窮層	32	56.3	31.3	9.4	3.1	0.0
	周辺層	86	61.6	32.6	4.7	0.0	1.2
	一般層	561	68.3	25.3	2.9	1.2	2.3
中学生	全体	765	67.7	27.3	2.6	1.2	1.2
	困窮層	36	44.4	38.9	5.6	5.6	5.6
	周辺層	79	63.3	29.1	6.3	1.3	0.0
	一般層	499	69.3	26.1	2.6	1.2	0.8

B 私のことをよくわかっている

親は自分のことをよくわかっていると思うかについてみると、小学生では「そう思う」が 67.8%と最も多く、次いで「どちらかといえばそう思う」が 20.6%となっています。中学生では「そう思う」が 51.8%と最も多く、次いで「どちらかといえばそう思う」が 32.0%となっています。

学年・生活層別にみると、小学生・中学生ともに困窮層で「そう思う」の割合が他の層と比べて低くなっています。

%		n	そう思う	どちらかといえば そう思う	どちらかといえば そう思わない	そう思わない	不明・無回答
小学生	全体	824	67.8	20.6	5.6	3.3	2.7
	困窮層	32	53.1	31.3	12.5	3.1	0.0
	周辺層	86	74.4	16.3	7.0	1.2	1.2
	一般層	561	66.1	22.5	5.0	3.7	2.7
中学生	全体	765	51.8	32.0	11.2	3.9	1.0
	困窮層	36	38.9	33.3	16.7	5.6	5.6
	周辺層	79	55.7	29.1	11.4	3.8	0.0
	一般層	499	53.5	30.5	11.0	4.2	0.8

C 勉強や成績についてうるさく言わない

親は勉強や成績についてうるさく言わないと思うかについてみると、小学生では「そう思う」が36.7%と最も多く、次いで「どちらかといえばそう思う」が27.7%となっています。中学生では「そう思う」が30.5%と最も多く、次いで「どちらかといえばそう思う」が28.9%となっています。

学年・生活層別にみると、小学生・中学生ともに困窮層で「そう思う」の割合が他の層と比べて低くなっています。

%		n	そう思う	どちらかといえば そう思う	どちらかといえば そう思わない	そう思わない	不明・無回答
小学生	全体	824	36.7	27.7	18.0	15.0	2.7
	困窮層	32	25.0	31.3	25.0	18.8	0.0
	周辺層	86	37.2	22.1	19.8	19.8	1.2
	一般層	561	36.7	28.9	18.9	12.8	2.7
中学生	全体	765	30.5	28.9	21.6	17.9	1.2
	困窮層	36	19.4	30.6	27.8	16.7	5.6
	周辺層	79	34.2	34.2	13.9	17.7	0.0
	一般層	499	31.5	27.1	21.0	19.4	1.0

D 私との約束を守ってくれる

親は自分との約束を守ってくれると思うかについてみると、小学生では「そう思う」が55.2%と最も多く、次いで「どちらかといえばそう思う」が32.5%となっています。中学生では「そう思う」が53.5%と最も多く、次いで「どちらかといえばそう思う」が34.0%となっています。

学年・生活層別にみると、小学生・中学生ともに困窮層で「そう思う」の割合が他の層と比べて低くなっています。

%		n	そう思う	どちらかといえば そう思う	どちらかといえば そう思わない	そう思わない	不明・無回答
小学生	全体	824	55.2	32.5	5.9	3.3	3.0
	困窮層	32	28.1	53.1	6.3	6.3	6.3
	周辺層	86	58.1	29.1	7.0	3.5	2.3
	一般層	561	56.7	31.4	6.1	3.2	2.7
中学生	全体	765	53.5	34.0	7.3	3.3	2.0
	困窮層	36	33.3	36.1	19.4	5.6	5.6
	周辺層	79	57.0	35.4	6.3	1.3	0.0
	一般層	499	53.7	34.3	6.0	4.2	1.8

E いろいろなことを話してくれる

親はいろいろなことを話してくれると思うかについてみると、小学生では「そう思う」が 69.3%と最も多く、次いで「どちらかといえばそう思う」が 21.2%となっています。中学生では「そう思う」が 56.5%と最も多く、次いで「どちらかといえばそう思う」が 30.6%となっています。

学年・生活層別にみると、小学生・中学生ともに困窮層で「そう思う」の割合が他の層と比べて低くなっています。

%		n	そう思う	どちらかといえば そう思う	どちらかといえば そう思わない	そう思わない	不明・無回答
小学生	全体	824	69.3	21.2	4.5	2.1	2.9
	困窮層	32	62.5	25.0	6.3	3.1	3.1
	周辺層	86	72.1	20.9	2.3	2.3	2.3
	一般層	561	69.9	21.2	4.1	2.1	2.7
中学生	全体	765	56.5	30.6	8.9	2.9	1.2
	困窮層	36	50.0	22.2	16.7	5.6	5.6
	周辺層	79	55.7	31.6	11.4	1.3	0.0
	一般層	499	57.1	29.7	9.4	3.0	0.8

F 私が困っているときにはげましてくれる

親は自分が困っているときにはげましてくれると思うかについてみると、小学生では「そう思う」が 60.8%と最も多く、次いで「どちらかといえばそう思う」が 26.0%となっています。中学生では「そう思う」が 53.1%と最も多く、次いで「どちらかといえばそう思う」が 32.2%となっています。

学年・生活層別にみると、小学生・中学生ともに生活困難層ほど「そう思う」の割合が低くなる傾向がみられます。

%		n	そう思う	どちらかといえば そう思う	どちらかといえば そう思わない	そう思わない	不明・無回答
小学生	全体	824	60.8	26.0	7.0	3.0	3.2
	困窮層	32	40.6	43.8	6.3	3.1	6.3
	周辺層	86	59.3	27.9	9.3	2.3	1.2
	一般層	561	62.0	25.0	7.1	3.0	2.9
中学生	全体	765	53.1	32.2	8.2	5.1	1.4
	困窮層	36	44.4	25.0	16.7	8.3	5.6
	周辺層	79	50.6	34.2	11.4	3.8	0.0
	一般層	499	53.7	31.9	7.4	5.8	1.2

G 親と一緒にいる時間が楽しい

親と一緒にいる時間が楽しいと思うかについてみると、小学生では「そう思う」が 64.0%と最も多く、次いで「どちらかといえばそう思う」が 26.8%となっています。中学生では「そう思う」が 48.8%と最も多く、次いで「どちらかといえばそう思う」が 34.9%となっています。

学年・生活層別にみると、小学生・中学生ともに困窮層で「そう思う」の割合が他の層と比べて低くなっています。

%		n	そう思う	どちらかといえば そう思う	どちらかといえば そう思わない	そう思わない	不明・無回答
小学生	全体	824	64.0	26.8	4.7	1.6	2.9
	困窮層	32	56.3	31.3	6.3	3.1	3.1
	周辺層	86	64.0	29.1	3.5	1.2	2.3
	一般層	561	64.0	26.6	4.8	2.0	2.7
中学生	全体	765	48.8	34.9	10.3	4.2	1.8
	困窮層	36	36.1	44.4	8.3	5.6	5.6
	周辺層	79	44.3	39.2	13.9	2.5	0.0
	一般層	499	50.3	32.7	10.0	5.2	1.8

問 16 「こどもの権利」とは、こどもが大人と同じく一人の人間として持つ権利であり、安心して生活できること、自由に意見を言ったり活動したりできることなどが含まれます。あなたは、「こどもの権利」について知っていますか。（1つに○）

「こどもの権利」の認知状況についてみると、小学生では「知らない」が 35.1%と最も多く、次いで「聞いたことはある」が 32.0%となっています。中学生では「聞いたことはある」が 28.2%と最も多く、次いで「ある程度知っている」が 25.8%となっています。

学年・生活層別にみると、小学生・中学生ともに困窮層で「知らない」の割合が他の層と比べて高くなっています。

%		n	よく知っている	ある程度知っ ている	聞いたことはある	知らない	不明・無回答
小学生	全体	824	11.9	18.9	32.0	35.1	2.1
	困窮層	32	12.5	9.4	28.1	50.0	0.0
	周辺層	86	12.8	15.1	37.2	34.9	0.0
	一般層	561	11.9	20.1	30.7	35.3	2.0
中学生	全体	765	21.3	25.8	28.2	23.7	1.0
	困窮層	36	22.2	19.4	19.4	33.3	5.6
	周辺層	79	16.5	27.8	34.2	21.5	0.0
	一般層	499	21.8	26.7	26.3	24.6	0.6

問 17 あなたには、遊んだり休むなど、自分の好きなことをする時間がありますか。
(1つに○)

自分の好きなことをする時間があるかについてみると、小学生では「ある」が 79.0%と最も多く、次いで「たまにある」が 15.3%となっています。中学生では「ある」が 82.0%と最も多く、次いで「たまにある」が 14.1%となっています。

学年・生活層別にみると、小学生では困窮層で「ある」、中学生は困窮層・周辺層で「ある」の割合が他の層と比べて低くなっています。

%		n	ある	たまにある	ほとんどない	まったくない	不明・無回答
小学生	全体	824	79.0	15.3	3.3	0.2	2.2
	困窮層	32	68.8	28.1	3.1	0.0	0.0
	周辺層	86	82.6	10.5	5.8	1.2	0.0
	一般層	561	78.8	16.0	3.0	0.0	2.1
中学生	全体	765	82.0	14.1	2.7	0.3	0.9
	困窮層	36	75.0	16.7	2.8	0.0	5.6
	周辺層	79	78.5	15.2	5.1	1.3	0.0
	一般層	499	83.0	13.4	2.8	0.2	0.6

問 18 あなたは、生活のなかで、文化・国籍などのちがいや障害のあるなしにかかわらず、こどもが大切にされていると感じていますか。(1つに○)

生活のなかで、文化・国籍などのちがいや障害のあるなしにかかわらず、こどもが大切にされていると感じているかについてみると、小学生では「そう思う」が 57.8%と最も多く、次いで「ときどきそう思う」が 27.4%となっています。中学生では「そう思う」が 50.7%と最も多く、次いで「ときどきそう思う」が 33.2%となっています。

学年・生活層別にみると、小学生では困窮層で「そう思う」の割合が他の層と比べて低くなっています。

%		n	そう思う	ときどきそう思う	ほとんどそう思わない	まったくそう思わない	不明・無回答
小学生	全体	824	57.8	27.4	9.1	2.7	3.0
	困窮層	32	46.9	25.0	15.6	9.4	3.1
	周辺層	86	54.7	24.4	17.4	3.5	0.0
	一般層	561	59.2	28.0	7.8	2.1	2.9
中学生	全体	765	50.7	33.2	11.5	3.5	1.0
	困窮層	36	47.2	33.3	11.1	2.8	5.6
	周辺層	79	46.8	31.6	17.7	3.8	0.0
	一般層	499	51.9	32.5	11.2	3.8	0.6

4 食事や健康のことについて

問 19 あなたは、平日（学校に行く日）に毎日、朝ごはんを食べますか。（1つに○）

平日の朝食の摂取状況についてみると、小学生では「いつも食べる（週に5日食べる）」が 88.8%と最も多く、次いで「食べるほうが多い（週に3、4日食べる）」が 4.7%となっています。中学生では「いつも食べる（週に5日食べる）」が 82.7%と最も多く、次いで「食べるほうが多い（週に3、4日食べる）」が 6.8%となっています。

学年・生活層別にみると、中学生では困窮層で「いつも食べる（週に5日食べる）」の割合が他の層と比べて低くなっています。

%		n	いつも食べる（週に5日食べる）	食べるほうが多い（週に3、4日食べる）	食べないほうが多い（週に1、2日食べる）	いつも食べない	不明・無回答
小学生	全体	824	88.8	4.7	2.9	1.3	2.2
	困窮層	32	87.5	3.1	6.3	3.1	0.0
	周辺層	86	89.5	7.0	2.3	1.2	0.0
	一般層	561	90.2	4.1	2.7	1.1	2.0
中学生	全体	765	82.7	6.8	4.7	4.7	1.0
	困窮層	36	72.2	8.3	5.6	8.3	5.6
	周辺層	79	82.3	6.3	3.8	7.6	0.0
	一般層	499	84.6	6.8	4.2	3.6	0.8

問 20 あなたは、平日（学校に行く日）に朝ごはんをだれと食べますか。
（あてはまる番号すべてに○）

平日の朝食を一緒に食べている人についてみると、小学生では「家族（親）」が 66.9%と最も多く、次いで「家族（兄弟姉妹）」が 53.3%となっています。中学生では「家族（親）」が 53.2%と最も多く、次いで「一人で食べる」が 38.3%となっています。

学年・生活層別にみると、小学生・中学生ともに困窮層で「家族（親）」の割合が他の層と比べて低くなっています。

%		n	家族（親）	家族（兄弟姉妹）	その他の家族（祖父母など）	家族以外の人	一人で食べる	朝ごはんは食べない	不明・無回答
小学生	全体	824	66.9	53.3	1.8	0.0	19.7	1.8	4.0
	困窮層	32	50.0	59.4	0.0	0.0	21.9	3.1	3.1
	周辺層	86	68.6	60.5	3.5	0.0	18.6	2.3	1.2
	一般層	561	67.6	51.3	1.6	0.0	21.2	1.2	3.7
中学生	全体	765	53.2	35.9	0.8	0.0	38.3	5.9	1.7
	困窮層	36	44.4	41.7	0.0	0.0	30.6	11.1	2.8
	周辺層	79	50.6	38.0	0.0	0.0	46.8	7.6	0.0
	一般層	499	56.5	37.1	1.2	0.0	36.1	4.6	1.8

問 21 あなたは、平日（学校に行く日）に晩ごはんをだれと食べますか。
（あてはまる番号すべてに○）

平日の夕食の摂取状況についてみると、小学生では「家族（親）」が 89.7%と最も多く、次いで「家族（兄弟姉妹）」が 60.2%となっています。中学生では「家族（親）」が 85.9%と最も多く、次いで「家族（兄弟姉妹）」が 50.3%となっています。

学年・生活層別にみると、小学生・中学生ともに生活困難層ほど「家族（兄弟姉妹）」の割合が高くなる傾向がみられます。

	%	n	家族（親）	家族（兄弟姉妹）	その他の家族（祖父母など）	家族以外の人	一人で食べる	晩ごはんは食べない	不明・無回答
小学生	全体	824	89.7	60.2	3.2	0.8	5.9	0.1	4.7
	困窮層	32	90.6	71.9	0.0	0.0	6.3	0.0	3.1
	周辺層	86	84.9	64.0	2.3	0.0	7.0	0.0	2.3
	一般層	561	91.3	59.9	3.6	0.9	5.7	0.0	4.3
中学生	全体	765	85.9	50.3	2.4	1.7	19.5	0.1	2.0
	困窮層	36	83.3	61.1	8.3	8.3	11.1	0.0	2.8
	周辺層	79	87.3	53.2	1.3	1.3	22.8	0.0	0.0
	一般層	499	85.8	49.5	2.4	1.6	19.6	0.2	2.0

問 22 あなたは、給食をのぞいて、以下の食べ物をふだんどれくらい食べますか。
（それぞれ1つに○）

A 野菜

野菜を食べる頻度についてみると、小学生では「毎日食べる」が 73.1%と最も多く、次いで「1週間に4～5日」が 12.4%となっています。中学生では「毎日食べる」が 79.2%と最も多く、次いで「1週間に4～5日」が 11.4%となっています。

学年・生活層別にみると、小学生では困窮層で「毎日食べる」の割合が他の層と比べて低くなっています。

	%	n	毎日食べる	1週間に4～5日	1週間に2～3日	1週間に1日以下	食べない	不明・無回答
小学生	全体	824	73.1	12.4	7.3	1.3	1.5	4.5
	困窮層	32	50.0	25.0	21.9	0.0	0.0	3.1
	周辺層	86	69.8	12.8	12.8	1.2	1.2	2.3
	一般層	561	74.2	13.4	5.7	1.1	1.4	4.3
中学生	全体	765	79.2	11.4	5.2	1.3	1.0	1.8
	困窮層	36	77.8	8.3	5.6	2.8	2.8	2.8
	周辺層	79	78.5	13.9	7.6	0.0	0.0	0.0
	一般層	499	79.0	11.2	5.0	1.4	1.4	2.0

B くだもの

くだものを食べる頻度についてみると、小学生では「毎日食べる」が 33.6%と最も多く、次いで「1週間に2～3日」が 24.9%となっています。中学生では「毎日食べる」が 32.9%と最も多く、次いで「1週間に2～3日」が 26.5%となっています。

学年・生活層別にみると、小学生・中学生ともに困窮層で「毎日食べる」の割合が他の層と比べて低くなっています。

	%	n	毎日食べる	1週間に4～5日	1週間に2～3日	1週間に1日以下	食べない	不明・無回答
小学生	全体	824	33.6	19.2	24.9	15.4	2.5	4.4
	困窮層	32	25.0	6.3	34.4	21.9	9.4	3.1
	周辺層	86	39.5	14.0	24.4	18.6	2.3	1.2
	一般層	561	33.2	21.2	24.4	14.8	2.1	4.3
中学生	全体	765	32.9	17.5	26.5	14.5	6.4	2.1
	困窮層	36	19.4	13.9	33.3	13.9	16.7	2.8
	周辺層	79	30.4	17.7	19.0	24.1	7.6	1.3
	一般層	499	34.3	17.2	27.5	13.6	5.2	2.2

C 肉か魚

肉か魚を食べる頻度についてみると、小学生では「毎日食べる」が 63.2%と最も多く、次いで「1週間に4～5日」が 18.8%となっています。中学生では「毎日食べる」が 79.3%と最も多く、次いで「1週間に4～5日」が 13.1%となっています。

学年・生活層別にみると、小学生・中学生ともに生活困難層ほど「毎日食べる」の割合が低くなる傾向がみられます。

	%	n	毎日食べる	1週間に4～5日	1週間に2～3日	1週間に1日以下	食べない	不明・無回答
小学生	全体	824	63.2	18.8	10.2	2.4	0.6	4.7
	困窮層	32	50.0	28.1	12.5	6.3	0.0	3.1
	周辺層	86	62.8	20.9	10.5	2.3	1.2	2.3
	一般層	561	65.4	17.8	9.4	2.3	0.5	4.5
中学生	全体	765	79.3	13.1	4.8	0.5	0.1	2.1
	困窮層	36	72.2	16.7	2.8	2.8	2.8	2.8
	周辺層	79	79.7	13.9	5.1	0.0	0.0	1.3
	一般層	499	80.4	12.6	4.4	0.6	0.0	2.0

D カップめん・インスタントめん

カップめん・インスタントめんを食べる頻度についてみると、小学生では「1週間に1日以下」が51.1%と最も多く、次いで「食べない」が34.2%となっています。中学生では「1週間に1日以下」が49.8%と最も多く、次いで「食べない」が29.7%となっています。

学年・生活層別にみると、小学生・中学生ともに困窮層で「1週間に2～3日」の割合が他の層と比べて高くなっています。

%		n	毎日食べる	1週間に4～5日	1週間に2～3日	1週間に1日以下	食べない	不明・無回答
小学生	全体	824	0.6	1.0	8.3	51.1	34.2	4.9
	困窮層	32	0.0	0.0	15.6	46.9	34.4	3.1
	周辺層	86	0.0	1.2	9.3	47.7	37.2	4.7
	一般層	561	0.7	1.1	7.7	52.6	33.5	4.5
中学生	全体	765	2.6	1.7	13.6	49.8	29.7	2.6
	困窮層	36	8.3	5.6	27.8	33.3	22.2	2.8
	周辺層	79	3.8	1.3	5.1	55.7	34.2	0.0
	一般層	499	2.2	2.0	15.0	48.7	29.1	3.0

E コンビニのおにぎり・お弁当

コンビニのおにぎり・お弁当を食べる頻度についてみると、小学生では「1週間に1日以下」が48.7%と最も多く、次いで「食べない」が33.7%となっています。中学生では「1週間に1日以下」が49.3%と最も多く、次いで「食べない」が33.1%となっています。

学年・生活層別にみると、小学生では困窮層で「1週間に1日以下」の割合が他の層と比べて高くなっています。

%		n	毎日食べる	1週間に4～5日	1週間に2～3日	1週間に1日以下	食べない	不明・無回答
小学生	全体	824	1.7	1.3	9.6	48.7	33.7	5.0
	困窮層	32	0.0	0.0	6.3	62.5	28.1	3.1
	周辺層	86	2.3	2.3	10.5	45.3	37.2	2.3
	一般層	561	1.8	1.4	10.0	49.2	32.6	5.0
中学生	全体	765	2.4	1.6	11.1	49.3	33.1	2.6
	困窮層	36	5.6	2.8	11.1	47.2	30.6	2.8
	周辺層	79	2.5	1.3	5.1	49.4	41.8	0.0
	一般層	499	2.2	1.6	12.6	49.1	31.5	3.0

F お菓子

お菓子を食べる頻度についてみると、小学生では「毎日食べる」が 43.6%と最も多く、次いで「1週間に4～5日」が 23.3%となっています。中学生では「毎日食べる」が 32.3%と最も多く、次いで「1週間に4～5日」が 27.8%となっています。

学年・生活層別にみると、小学生・中学生ともに生活困難層ほど「毎日食べる」の割合が低くなる傾向がみられます。

	%	n	毎日食べる	1週間に4～5日	1週間に2～3日	1週間に1日以下	食べない	不明・無回答
小学生	全体	824	43.6	23.3	19.9	6.2	2.5	4.5
	困窮層	32	15.6	37.5	25.0	18.8	0.0	3.1
	周辺層	86	41.9	23.3	18.6	11.6	2.3	2.3
	一般層	561	45.5	22.6	19.8	5.7	2.3	4.1
中学生	全体	765	32.3	27.8	24.6	9.5	3.4	2.4
	困窮層	36	22.2	33.3	25.0	13.9	2.8	2.8
	周辺層	79	31.6	25.3	25.3	15.2	2.5	0.0
	一般層	499	33.3	26.7	25.1	8.6	3.6	2.8

問 23 あなたは、現在の健康状態についてどう感じていますか。（1つに○）

現在の健康状態についてみると、小学生では「よい」が 50.1%と最も多く、次いで「まあよい」が 21.6%となっています。中学生では「よい」が 43.3%と最も多く、次いで「まあよい」が 26.4%となっています。

学年・生活層別にみると、小学生・中学生ともに生活困難層ほど「よい」の割合が低くなる傾向がみられます。

	%	n	よい	まあよい	ふつう	あまりよくない	よくない	不明・無回答
小学生	全体	824	50.1	21.6	18.6	4.7	0.7	4.2
	困窮層	32	31.3	31.3	31.3	3.1	0.0	3.1
	周辺層	86	45.3	27.9	22.1	3.5	0.0	1.2
	一般層	561	49.7	21.7	19.3	4.8	0.7	3.7
中学生	全体	765	43.3	26.4	18.4	8.0	2.1	1.8
	困窮層	36	30.6	33.3	13.9	13.9	5.6	2.8
	周辺層	79	38.0	29.1	20.3	8.9	3.8	0.0
	一般層	499	43.3	27.7	18.2	7.4	1.6	1.8

問 24 あなたは、歯みがきをどれくらいしていますか。（1つに○）

歯みがきの頻度についてみると、小学生では「1日2回以上」が 63.8%と最も多く、次いで「1日1回」が 31.4%となっています。中学生では「1日2回以上」が 62.9%と最も多く、次いで「1日1回」が 31.5%となっています。

学年・生活層別にみると、小学生・中学生ともに困窮層で「1日1回」「毎日歯みがかない」の割合が他の層と比べて高くなっています。

	%	n	1日2回以上	1日1回	毎日歯みがかない	不明・無回答
小学生	全体	824	63.8	31.4	1.0	3.8
	困窮層	32	40.6	50.0	6.3	3.1
	周辺層	86	64.0	33.7	1.2	1.2
	一般層	561	64.0	31.9	0.7	3.4
中学生	全体	765	62.9	31.5	4.1	1.6
	困窮層	36	44.4	41.7	11.1	2.8
	周辺層	79	65.8	30.4	3.8	0.0
	一般層	499	62.3	32.1	4.2	1.4

問 25 あなたには、現在むし歯がありますか。（1つに○）

むし歯の状況についてみると、小学生では「ない」が 53.5%と最も多く、次いで「あった（治療を終えている）」が 28.0%となっています。中学生では「ない」が 59.1%と最も多く、次いで「あった（治療を終えている）」が 25.2%となっています。

学年・生活層別にみると、小学生・中学生ともに困窮層で「ない」の割合が他の層と比べて低くなっています。また、小学生では困窮層で「ある（歯医者に通っていない）」の割合が他の層と比べて高くなっています。

	%	n	ある（歯医者に通っている）	ある（歯医者に通っていない）	あった（治療を終えている）	ない	わからない	不明・無回答
小学生	全体	824	3.8	2.1	28.0	53.5	8.5	4.1
	困窮層	32	3.1	12.5	31.3	40.6	9.4	3.1
	周辺層	86	4.7	1.2	30.2	54.7	7.0	2.3
	一般層	561	4.1	1.8	27.1	54.7	8.7	3.6
中学生	全体	765	3.5	1.8	25.2	59.1	8.9	1.4
	困窮層	36	2.8	5.6	19.4	52.8	16.7	2.8
	周辺層	79	2.5	1.3	24.1	63.3	8.9	0.0
	一般層	499	3.4	1.4	25.3	59.9	8.6	1.4

5 学校や勉強のことについて

問 26 あなたは、学校の授業がわからないことがありますか。(1つに○)

学校の授業がわからないことがあるかについてみると、小学生では「だいたいわかる」が 43.9%と最も多く、次いで「いつもわかる」が 43.4%となっています。中学生では「だいたいわかる」が 58.8%と最も多く、次いで「いつもわかる」が 19.2%となっています。

学年・生活層別にみると、小学生・中学生ともに生活困難層ほど「いつもわかる」の割合が低くなる傾向がみられます。

	%	n	いつもわかる	だいたいわかる	あまりわからない	わからないことが多い	ほとんどわからない	不明・無回答
小学生	全体	824	43.4	43.9	3.6	2.1	0.7	6.2
	困窮層	32	25.0	59.4	9.4	3.1	0.0	3.1
	周辺層	86	34.9	53.5	2.3	4.7	0.0	4.7
	一般層	561	45.6	43.1	3.4	1.4	0.9	5.5
中学生	全体	765	19.2	58.8	9.2	7.3	2.2	3.3
	困窮層	36	8.3	41.7	19.4	19.4	8.3	2.8
	周辺層	79	10.1	64.6	8.9	11.4	3.8	1.3
	一般層	499	21.8	59.1	8.2	6.2	1.4	3.2

問 26 で「わからないことが多い」または「ほとんどわからない」と回答した方

問 26-1 いつごろから、授業がわからなくなりましたか。

学校の授業が分からなくなった時期についてみると、小学生では「小学4年生」が 39.1%と最も多く、次いで「小学5年生」が 26.1%となっています。中学生では「中学校1年生」が 42.5%と最も多く、次いで「中学校2年生」が 27.4%となっています。

	%	n	小学校 1 年生	小学校 2 年生	小学校 3 年生	小学校 4 年生	小学校 5 年生	小学校 6 年生	不明・無回答			
小学生	全体	23	13.0	4.3	8.7	39.1	26.1	0.0	8.7			
	困窮層	1	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0			
	周辺層	4	0.0	25.0	25.0	0.0	50.0	0.0	0.0			
	一般層	13	7.7	0.0	7.7	46.2	23.1	0.0	15.4			
	%	n	小学校 1 年生	小学校 2 年生	小学校 3 年生	小学校 4 年生	小学校 5 年生	小学校 6 年生	中学校 1 年生	中学校 2 年生	中学校 3 年生	不明・無回答
中学生	全体	73	4.1	0.0	2.7	2.7	5.5	0.0	42.5	27.4	11.0	4.1
	困窮層	10	10.0	0.0	0.0	0.0	10.0	0.0	20.0	40.0	10.0	10.0
	周辺層	12	8.3	0.0	0.0	0.0	8.3	0.0	33.3	41.7	0.0	8.3
	一般層	38	2.6	0.0	5.3	2.6	2.6	0.0	47.4	23.7	13.2	2.6

問 27 勉強がわからないときは、だれに教えてもらいますか。(あてはまる番号すべてに○)

勉強がわからないときに教えてもらう人についてみると、小学生では「親」が 78.0%と最も多く、次いで「学校の先生」が 45.9%となっています。中学生では「友だち」が 66.1%と最も多く、次いで「塾や習い事などの先生」が 54.8%となっています。

学年・生活層別にみると、小学生・中学生ともに困窮層で「親」「学校の先生」「塾や習い事などの先生」の割合が他の層と比べて低く、「教えてもらえる人がいない」の割合が他の層と比べて高くなっています。

	%	n	親	親以外の家族（兄弟姉妹や祖父母など）	学校の先生	塾や習い事などの先生	そのほかの大人	友だち	教えてもらえる人がいない	不明・無回答
小学生	全体	824	78.0	17.4	45.9	33.5	1.8	43.6	1.9	4.9
	困窮層	32	62.5	12.5	37.5	18.8	3.1	34.4	6.3	3.1
	周辺層	86	79.1	16.3	44.2	27.9	1.2	52.3	1.2	3.5
	一般層	561	78.6	17.1	46.7	35.7	2.1	42.1	1.8	4.3
中学生	全体	765	34.0	14.8	51.0	54.8	2.5	66.1	2.5	2.6
	困窮層	36	25.0	16.7	38.9	44.4	8.3	66.7	8.3	2.8
	周辺層	79	30.4	6.3	44.3	54.4	1.3	64.6	0.0	2.5
	一般層	499	35.5	16.0	53.7	55.3	2.6	66.5	2.0	2.4

問 28 あなたの成績は、クラスの中でどのくらいだと思いますか。（1つに○）

クラスの中での自分の成績についてみると、小学生では「真ん中のあたり」が 30.0%と最も多く、次いで「上のほう」が 25.1%となっています。中学生では「真ん中のあたり」が 29.5%と最も多く、次いで「やや上のほう」が 18.4%となっています。

学年・生活層別にみると、小学生・中学生ともに生活困難層ほど「下のほう」の割合が高くなる傾向がみられます。

	%	n	上のほう	やや上のほう	真ん中のあたり	やや下のほう	下のほう	わからない	不明・無回答
小学生	全体	824	25.1	21.4	30.0	9.2	4.4	5.5	4.5
	困窮層	32	6.3	12.5	43.8	12.5	18.8	3.1	3.1
	周辺層	86	22.1	14.0	36.0	11.6	4.7	8.1	3.5
	一般層	561	25.8	24.1	29.8	7.8	3.2	5.5	3.7
中学生	全体	765	18.2	18.4	29.5	14.5	14.5	2.7	2.1
	困窮層	36	5.6	5.6	27.8	25.0	33.3	0.0	2.8
	周辺層	79	13.9	15.2	35.4	10.1	20.3	5.1	0.0
	一般層	499	20.2	20.0	28.7	14.6	11.6	2.8	2.0

問 29 あなたは、ふだん（月～金曜日）の学校の授業以外に、どれくらいの時間、勉強をしますか。1日あたりの勉強時間を教えてください。（1つに○）

学校の授業以外の勉強時間についてみると、小学生では「30分以上、1時間より少ない」が 26.8%と最も多く、次いで「1時間以上、2時間より少ない」が 22.7%となっています。中学生では「1時間以上、2時間より少ない」が 25.2%と最も多く、次いで「2時間以上、3時間より少ない」が 22.7%となっています。

学年・生活層別にみると、中学生では生活困難層ほど「まったくしない」の割合が高くなる傾向がみられます。

	%	n	まったくしない	30分より少ない	30分以上、1時間より少ない	1時間以上、2時間より少ない	2時間以上、3時間より少ない	3時間以上	不明・無回答
小学生	全体	824	3.8	8.0	26.8	22.7	13.7	20.9	4.1
	困窮層	32	3.1	9.4	37.5	28.1	12.5	6.3	3.1
	周辺層	86	7.0	9.3	27.9	27.9	7.0	19.8	1.2
	一般層	561	2.9	7.3	25.7	22.1	15.5	22.8	3.7
中学生	全体	765	8.2	5.2	19.7	25.2	22.7	17.3	1.6
	困窮層	36	19.4	2.8	19.4	25.0	25.0	5.6	2.8
	周辺層	79	11.4	2.5	24.1	20.3	21.5	20.3	0.0
	一般層	499	7.2	5.4	19.4	26.7	22.2	17.6	1.4

問 30 あなたは、学習塾に通ったり、家庭教師に来てもらっていますか。通っている（来てもらっている）場合、1週間に何日通って（来てもらって）いますか。（1つに○）

学習塾や家庭教師の状況についてみると、小学生では「通って（来てもらって）いない」が 37.4%と最も多く、次いで「週に3日」が 22.1%となっています。中学生では「通って（来てもらって）いない」が 34.9%と最も多く、次いで「週に2日」が 18.8%となっています。

学年・生活層別にみると、小学生・中学生ともに生活困難層ほど「通って（来てもらって）いない」の割合が高くなる傾向がみられます。

	%	n	通って（来てもらって）いない	週に1日	週に2日	週に3日	週に4日	週に5日	週に6日	毎日	不明・無回答
小学生	全体	824	37.4	9.7	14.3	22.1	9.0	2.1	0.5	0.1	4.9
	困窮層	32	62.5	12.5	12.5	3.1	6.3	0.0	0.0	0.0	3.1
	周辺層	86	44.2	4.7	19.8	16.3	10.5	0.0	1.2	0.0	3.5
	一般層	561	34.8	10.0	14.3	24.2	9.3	2.7	0.5	0.2	4.1
中学生	全体	765	34.9	9.4	18.8	12.4	10.2	7.6	3.4	1.3	2.0
	困窮層	36	44.4	8.3	19.4	16.7	2.8	0.0	5.6	0.0	2.8
	周辺層	79	38.0	11.4	20.3	11.4	8.9	7.6	2.5	0.0	0.0
	一般層	499	33.5	9.8	19.4	12.4	10.6	8.0	3.0	1.2	2.0

問 31 あなたは、自宅で以下の教材を使っていますか。（あてはまる番号すべてに○）

自宅で使用している教材についてみると、小学生では「学校で配られるドリルなど」が 74.0%と最も多く、次いで「本屋で売っているドリルや参考書」が 31.1%となっています。中学生では「学校で配られる問題集など」が 81.3%と最も多く、次いで「本屋で売っている問題集や参考書」が 42.0%となっています。

学年・生活層別にみると、小学生では困窮層・周辺層で「使っていない」の割合が他の層と比べて高くなっています。

	%	n	学校で配られる問題集など※	本屋で売っている問題集や参考書※	通信教育の教材	左記以外の教材	使っていない	不明・無回答
小学生	全体	824	74.0	31.1	24.9	29.2	4.7	2.7
	困窮層	32	65.6	21.9	25.0	12.5	9.4	3.1
	周辺層	86	70.9	34.9	25.6	23.3	9.3	1.2
	一般層	561	76.3	31.7	24.6	31.9	3.0	2.0
中学生	全体	765	81.3	42.0	15.4	24.4	6.5	1.6
	困窮層	36	77.8	44.4	19.4	16.7	11.1	2.8
	周辺層	79	78.5	49.4	20.3	20.3	7.6	1.3
	一般層	499	82.0	43.7	14.8	26.5	6.2	1.2

※小学生では「学校で配られるドリルなど」、「本屋で売っているドリルや参考書」

問 32 あなたは、学校での補習教室に参加していますか。もっとも近いものに○をつけてください。(1つに○)

学校での補習教室への参加状況についてみると、小学生では「参加したことはない」が 83.6%と最も多く、次いで「いつも参加している」が 4.5%となっています。中学生では「参加したことはない」が 75.3%と最も多く、次いで「たまに参加している」が 12.5%となっています。

学年・生活層別にみると、小学生では困窮層で「いつも参加している」、中学生では困窮層で「参加したことはない」の割合が他の層と比べて高くなっています。

%		n	いつも参加している	ときどき参加している	たまに参加している	参加したことはない	不明・無回答
小学生	全体	824	4.5	2.3	3.5	83.6	6.1
	困窮層	32	18.8	6.3	3.1	65.6	6.3
	周辺層	86	4.7	2.3	8.1	79.1	5.8
	一般層	561	3.2	2.1	3.6	86.6	4.5
中学生	全体	765	2.7	6.4	12.5	75.3	3.0
	困窮層	36	0.0	0.0	8.3	83.3	8.3
	周辺層	79	3.8	7.6	10.1	74.7	3.8
	一般層	499	2.6	6.4	14.2	74.3	2.4

問 32 で「たまに参加している」または、「参加したことはない」と回答した方

問 32- 1 あまり参加しない理由は何ですか。(1つに○)

学校の補習教室へ参加しない理由についてみると、小学生では「必要がないから」が 40.7%と最も多く、次いで「興味がないから」が 20.2%となっています。中学生では「必要がないから」が 33.3%と最も多く、次いで「興味がないから」が 23.2%となっています。

学年・生活層別にみると、小学生・中学生ともに生活困難層ほど「興味がないから」の割合が高くなる傾向がみられます。

%		n	学校で実施されていないから	家の事情（家族の世話、家事など）があるから	塾、スポーツ、習いごとなどで時間がないから	興味がないから	必要がないから	補習教室のことを知らなかったから	その他の理由	不明・無回答
小学生	全体	718	10.7	1.0	12.8	20.2	40.7	8.8	3.2	2.6
	困窮層	22	22.7	0.0	0.0	31.8	31.8	0.0	4.5	9.1
	周辺層	75	9.3	1.3	18.7	21.3	36.0	8.0	2.7	2.7
	一般層	506	11.1	0.8	12.3	19.4	40.9	10.1	3.2	2.4
中学生	全体	672	16.8	0.9	13.4	23.2	33.3	2.4	7.3	2.7
	困窮層	33	9.1	0.0	21.2	45.5	12.1	6.1	3.0	3.0
	周辺層	67	20.9	4.5	10.4	29.9	26.9	1.5	6.0	0.0
	一般層	442	17.0	0.7	12.9	21.3	36.4	1.6	7.2	2.9

問 33 ふだん、あなたが放課後に勉強をする場所はどこですか。
(あてはまる番号すべてに○)

ふだん、放課後に勉強をする場所についてみると、「自分の家」が 82.6%と最も多く、次いで「塾の自習室」が 31.6%となっています。

生活層別にみると、困窮層で「自分の家」の割合が他の層と比べて低く、周辺層で「塾の自習室」の割合が他の層と比べて低くなっています。

%		n	自分の家	友達の家	図書館	塾の自習室	児童館	その他	勉強する場所がなく 困っている	不明・無回答
中学生	全体	765	82.6	2.2	14.6	31.6	0.5	6.0	0.7	9.4
	困窮層	36	72.2	5.6	16.7	36.1	0.0	11.1	5.6	11.1
	周辺層	79	82.3	3.8	16.5	25.3	0.0	3.8	1.3	12.7
	一般層	499	82.8	2.0	14.0	32.1	0.8	5.2	0.4	8.2

※本設問は中学生調査のみ

6 あなたがふだん考えていることについて

問 34 あなたの思いや気持ちについて、もっとも近いものに○をつけてください。
(それぞれ1つに○)

A がんばれば、むくわれると思う

がんばれば、むくわれると思うかについてみると、小学生では「とても思う」が 43.3%と最も多く、次いで「思う」が 37.5%となっています。中学生では「思う」が 44.4%と最も多く、次いで「とても思う」が 30.6%となっています。

学年・生活層別にみると、小学生・中学生ともに困窮層で「とても思う」の割合が他の層と比べて低くなっています。

	%	n	とても思う	思う	あまり思わない	思わない	不明・無回答
小学生	全体	824	43.3	37.5	9.2	3.6	6.3
	困窮層	32	31.3	34.4	21.9	6.3	6.3
	周辺層	86	46.5	34.9	10.5	3.5	4.7
	一般層	561	43.5	38.5	8.7	3.6	5.7
中学生	全体	765	30.6	44.4	16.2	6.4	2.4
	困窮層	36	19.4	41.7	22.2	13.9	2.8
	周辺層	79	27.8	46.8	12.7	11.4	1.3
	一般層	499	31.7	44.5	16.2	5.4	2.2

B 自分は価値のある人間だと思う

自分は価値のある人間だと思うかについてみると、小学生では「思う」が 38.3%と最も多く、次いで「とても思う」が 31.6%となっています。中学生では「思う」が 39.7%と最も多く、次いで「とても思う」が 28.5%となっています。

学年・生活層別にみると、小学生・中学生ともに困窮層で「とても思う」の割合が他の層と比べて低くなっています。

	%	n	とても思う	思う	あまり思わない	思わない	不明・無回答
小学生	全体	824	31.6	38.3	19.3	4.7	6.1
	困窮層	32	12.5	28.1	50.0	3.1	6.3
	周辺層	86	36.0	29.1	24.4	7.0	3.5
	一般層	561	31.2	40.6	18.0	4.5	5.7
中学生	全体	765	28.5	39.7	23.4	6.0	2.4
	困窮層	36	19.4	36.1	30.6	11.1	2.8
	周辺層	79	27.8	36.7	24.1	10.1	1.3
	一般層	499	29.9	40.5	22.8	4.8	2.0

C 自分は家族に大事にされていると思う

自分は家族に大事にされていると思うかについてみると、小学生では「とても思う」が 66.6%と最も多く、次いで「思う」が 23.7%となっています。中学生では「とても思う」が 58.7%と最も多く、次いで「思う」が 34.0%となっています。

学年・生活層別にみると、小学生・中学生ともに生活困難層ほど「とても思う」の割合が低くなる傾向がみられます。

	%	n	とても思う	思う	あまり思わない	思わない	不明・無回答
小学生	全体	824	66.6	23.7	3.2	0.7	5.8
	困窮層	32	40.6	37.5	12.5	3.1	6.3
	周辺層	86	66.3	23.3	5.8	1.2	3.5
	一般層	561	67.7	23.9	2.7	0.5	5.2
中学生	全体	765	58.7	34.0	4.1	1.2	2.1
	困窮層	36	47.2	44.4	2.8	2.8	2.8
	周辺層	79	57.0	32.9	6.3	2.5	1.3
	一般層	499	59.7	33.3	4.2	1.0	1.8

D 自分は友だちに好かれていると思う

自分は友だちに好かれていると思うかについてみると、小学生では「思う」が 43.0%と最も多く、次いで「とても思う」が 33.3%となっています。中学生では「思う」が 50.6%と最も多く、次いで「とても思う」が 33.1%となっています。

学年・生活層別にみると、小学生・中学生ともに困窮層で「とても思う」の割合が他の層と比べて低くなっています。

	%	n	とても思う	思う	あまり思わない	思わない	不明・無回答
小学生	全体	824	33.3	43.0	14.3	3.6	5.8
	困窮層	32	15.6	50.0	25.0	3.1	6.3
	周辺層	86	25.6	51.2	15.1	3.5	4.7
	一般層	561	34.6	43.0	14.1	3.4	5.0
中学生	全体	765	33.1	50.6	10.7	3.1	2.5
	困窮層	36	22.2	50.0	16.7	8.3	2.8
	周辺層	79	34.2	41.8	15.2	7.6	1.3
	一般層	499	32.9	52.9	10.0	2.2	2.0

E 不安に感じることはないと思う

不安に感じることはないと思うかについてみると、小学生では「思う」が30.3%と最も多く、次いで「あまり思わない」が26.7%となっています。中学生では「あまり思わない」が32.7%と最も多く、次いで「思わない」が25.5%となっています。

学年・生活層別にみると、小学生では困窮層・一般層、中学生では困窮層で「思わない」の割合が他の層と比べて高くなっています。

	%	n	とても思う	思う	あまり思わない	思わない	不明・無回答
小学生	全体	824	23.5	30.3	26.7	13.7	5.7
	困窮層	32	18.8	25.0	34.4	15.6	6.3
	周辺層	86	26.7	27.9	33.7	8.1	3.5
	一般層	561	22.3	32.3	25.8	14.4	5.2
中学生	全体	765	15.9	23.3	32.7	25.5	2.6
	困窮層	36	11.1	19.4	36.1	30.6	2.8
	周辺層	79	17.7	17.7	36.7	24.1	3.8
	一般層	499	16.0	23.6	32.9	25.5	2.0

F 孤独を感じることはない

孤独を感じることはないと思うかについてみると、小学生では「とても思う」が42.5%と最も多く、次いで「思う」が26.3%となっています。中学生では「思う」が33.9%と最も多く、次いで「とても思う」が30.6%となっています。

学年・生活層別にみると、小学生・中学生ともに困窮層で「とても思う」の割合が他の層と比べて低くなっています。

	%	n	とても思う	思う	あまり思わない	思わない	不明・無回答
小学生	全体	824	42.5	26.3	16.4	9.0	5.8
	困窮層	32	21.9	40.6	18.8	12.5	6.3
	周辺層	86	41.9	31.4	14.0	9.3	3.5
	一般層	561	42.8	26.6	16.6	8.7	5.3
中学生	全体	765	30.6	33.9	21.3	11.8	2.5
	困窮層	36	13.9	52.8	13.9	16.7	2.8
	周辺層	79	31.6	22.8	25.3	17.7	2.5
	一般層	499	32.1	33.9	22.2	9.8	2.0

G 自分の将来が楽しみだ

自分の将来が楽しみだと思うかについてみると、小学生では「とても思う」が41.3%と最も多く、次いで「思う」が30.9%となっています。中学生では「思う」が31.0%と最も多く、次いで「とても思う」が28.1%となっています。

学年・生活層別にみると、小学生では困窮層で「とても思う」の割合が他の層と比べて低く、中学生では困窮層で「思わない」の割合が他の層と比べて高くなっています。

	%	n	とても思う	思う	あまり思わない	思わない	不明・無回答
小学生	全体	824	41.3	30.9	14.7	7.3	5.8
	困窮層	32	28.1	37.5	15.6	12.5	6.3
	周辺層	86	46.5	24.4	17.4	8.1	3.5
	一般層	561	41.0	32.3	13.9	7.5	5.3
中学生	全体	765	28.1	31.0	25.8	12.7	2.5
	困窮層	36	25.0	33.3	13.9	25.0	2.8
	周辺層	79	24.1	31.6	27.8	13.9	2.5
	一般層	499	30.1	32.7	25.1	10.4	1.8

H 自分のことが好きだ

自分のことが好きだと思うかについてみると、小学生では「とても思う」が35.1%と最も多く、次いで「思う」が33.0%となっています。中学生では「思う」が34.0%と最も多く、次いで「とても思う」が31.2%となっています。

学年・生活層別にみると、小学生・中学生ともに困窮層で「思わない」の割合が他の層と比べて高くなっています。

	%	n	とても思う	思う	あまり思わない	思わない	不明・無回答
小学生	全体	824	35.1	33.0	15.3	10.2	6.4
	困窮層	32	25.0	18.8	31.3	18.8	6.3
	周辺層	86	36.0	30.2	19.8	9.3	4.7
	一般層	561	35.1	34.2	14.8	10.0	5.9
中学生	全体	765	31.2	34.0	20.3	12.2	2.4
	困窮層	36	16.7	36.1	16.7	27.8	2.8
	周辺層	79	30.4	27.8	24.1	15.2	2.5
	一般層	499	31.9	35.9	19.0	11.4	1.8

問 35 わたしたちは、楽しい日ばかりでなく、ちょっとさみしい日も、楽しくない日もあります。あなたがこの1週間、どんな気持ちだったかあてはまるところに○をつけてください。(それぞれ1つに○)

A 楽しみにしていることがたくさんある

楽しみにしていることがたくさんあるかについてみると、小学生では「いつもそうだ」が51.2%と最も多く、次いで「ときどきそうだ」が43.3%となっています。中学生では「ときどきそうだ」が48.0%と最も多く、次いで「いつもそうだ」が42.2%となっています。

学年・生活層別にみると、小学生では困窮層で「いつもそうだ」の割合が他の層と比べて低く、中学生では困窮層で「そんなことはない」の割合が他の層と比べて高くなっています。

	%	n	いつもそうだ	ときどきそうだ	そんなことはない	不明・無回答
小学生	全体	824	51.2	43.3	3.0	2.4
	困窮層	32	37.5	50.0	9.4	3.1
	周辺層	86	52.3	41.9	5.8	0.0
	一般層	561	51.5	44.2	2.1	2.1
中学生	全体	765	42.2	48.0	7.5	2.4
	困窮層	36	33.3	47.2	16.7	2.8
	周辺層	79	36.7	54.4	7.6	1.3
	一般層	499	43.1	48.7	6.2	2.0

B とても良く眠れる

とても良く眠れるかについてみると、小学生では「いつもそうだ」が56.8%と最も多く、次いで「ときどきそうだ」が34.0%となっています。中学生では「いつもそうだ」が45.4%と最も多く、次いで「ときどきそうだ」が37.1%となっています。

学年・生活層別にみると、中学生では困窮層で「いつもそうだ」の割合が他の層と比べて低くなっています。

	%	n	いつもそうだ	ときどきそうだ	そんなことはない	不明・無回答
小学生	全体	824	56.8	34.0	6.7	2.5
	困窮層	32	46.9	43.8	6.3	3.1
	周辺層	86	51.2	40.7	8.1	0.0
	一般層	561	56.1	34.8	6.8	2.3
中学生	全体	765	45.4	37.1	15.3	2.2
	困窮層	36	33.3	41.7	22.2	2.8
	周辺層	79	44.3	36.7	17.7	1.3
	一般層	499	45.9	37.1	15.2	1.8

C 泣きたいような気がする

泣きたいような気がするかについてみると、小学生では「そんなことはない」が50.6%と最も多く、次いで「ときどきそうだ」が39.6%となっています。中学生では「そんなことはない」が49.4%と最も多く、次いで「ときどきそうだ」が40.4%となっています。

学年・生活層別にみると、小学生・中学生ともに困窮層で「そんなことはない」の割合が他の層と比べて低くなっています。

%		n	いつもそうだ	ときどきそうだ	そんなことはない	不明・無回答
小学生	全体	824	6.8	39.6	50.6	3.0
	困窮層	32	9.4	50.0	37.5	3.1
	周辺層	86	15.1	36.0	48.8	0.0
	一般層	561	5.9	39.6	51.9	2.7
中学生	全体	765	7.7	40.4	49.4	2.5
	困窮層	36	11.1	44.4	41.7	2.8
	周辺層	79	5.1	43.0	50.6	1.3
	一般層	499	8.6	38.3	50.9	2.2

D 遊びに出かけるのが好きだ

遊びに出かけるのが好きかについてみると、小学生では「いつもそうだ」が60.7%と最も多く、次いで「ときどきそうだ」が24.3%となっています。中学生では「いつもそうだ」が48.4%と最も多く、次いで「ときどきそうだ」が30.8%となっています。

学年・生活層別にみると、中学生では困窮層・周辺層で「そんなことはない」の割合が一般層と比べて高くなっています。

%		n	いつもそうだ	ときどきそうだ	そんなことはない	不明・無回答
小学生	全体	824	60.7	24.3	12.6	2.4
	困窮層	32	62.5	21.9	12.5	3.1
	周辺層	86	61.6	25.6	12.8	0.0
	一般層	561	59.9	25.7	12.3	2.1
中学生	全体	765	48.4	30.8	18.4	2.4
	困窮層	36	47.2	25.0	25.0	2.8
	周辺層	79	51.9	21.5	24.1	2.5
	一般層	499	48.3	31.3	18.6	1.8

E 逃げ出したいような気がする

逃げ出したいような気がするかについてみると、小学生では「そんなことはない」が 65.2%と最も多く、次いで「ときどきそうだ」が 24.5%となっています。中学生では「そんなことはない」が 44.7%と最も多く、次いで「ときどきそうだ」が 39.0%となっています。

学年・生活層別にみると、小学生・中学生ともに困窮層で「いつもそうだ」の割合が他の層と比べて高くなっています。

%		n	いつもそうだ	ときどきそうだ	そんなことはない	不明・無回答
小学生	全体	824	7.3	24.5	65.2	3.0
	困窮層	32	12.5	31.3	53.1	3.1
	周辺層	86	5.8	26.7	67.4	0.0
	一般層	561	7.5	25.0	64.9	2.7
中学生	全体	765	14.0	39.0	44.7	2.4
	困窮層	36	22.2	25.0	50.0	2.8
	周辺層	79	15.2	30.4	53.2	1.3
	一般層	499	13.8	40.3	44.1	1.8

F おなかが痛くなることがある

おなかが痛くなることがあるかについてみると、小学生では「ときどきそうだ」が 45.9%と最も多く、次いで「そんなことはない」が 40.2%となっています。中学生では「ときどきそうだ」が 43.9%と最も多く、次いで「そんなことはない」が 39.0%となっています。

学年・生活層別にみると、小学生・中学生ともに特に大きな差はみられませんでした。

%		n	いつもそうだ	ときどきそうだ	そんなことはない	不明・無回答
小学生	全体	824	10.8	45.9	40.2	3.2
	困窮層	32	9.4	43.8	43.8	3.1
	周辺層	86	14.0	47.7	38.4	0.0
	一般層	561	9.3	45.8	42.1	2.9
中学生	全体	765	14.9	43.9	39.0	2.2
	困窮層	36	13.9	44.4	38.9	2.8
	周辺層	79	15.2	41.8	41.8	1.3
	一般層	499	15.6	43.5	39.1	1.8

G 元気いっぱいだ

元気いっぱいかについてみると、小学生では「いつもそうだ」が 69.4%と最も多く、次いで「ときどきそうだ」が 22.7%となっています。中学生では「いつもそうだ」が 46.7%と最も多く、次いで「ときどきそうだ」が 40.3%となっています。

学年・生活層別にみると、小学生・中学生ともに困窮層で「いつもそうだ」の割合が他の層と比べて低くなっています。

%		n	いつもそうだ	ときどきそうだ	そんなことはない	不明・無回答
小学生	全体	824	69.4	22.7	5.1	2.8
	困窮層	32	53.1	28.1	15.6	3.1
	周辺層	86	70.9	26.7	2.3	0.0
	一般層	561	70.2	22.3	5.0	2.5
中学生	全体	765	46.7	40.3	10.7	2.4
	困窮層	36	38.9	41.7	16.7	2.8
	周辺層	79	45.6	38.0	13.9	2.5
	一般層	499	48.1	40.1	10.0	1.8

H 食事が楽しい

食事が楽しいかについてみると、小学生では「いつもそうだ」が 73.4%と最も多く、次いで「ときどきそうだ」が 19.5%となっています。中学生では「いつもそうだ」が 64.4%と最も多く、次いで「ときどきそうだ」が 27.5%となっています。

学年・生活層別にみると、小学生では困窮層、中学生では困窮層・周辺層で「いつもそうだ」の割合が他の層と比べて低くなっています。

%		n	いつもそうだ	ときどきそうだ	そんなことはない	不明・無回答
小学生	全体	824	73.4	19.5	4.1	2.9
	困窮層	32	65.6	28.1	3.1	3.1
	周辺層	86	75.6	18.6	4.7	1.2
	一般層	561	73.6	19.6	4.1	2.7
中学生	全体	765	64.4	27.5	5.8	2.4
	困窮層	36	61.1	27.8	8.3	2.8
	周辺層	79	60.8	29.1	7.6	2.5
	一般層	499	66.7	25.7	5.8	1.8

I いじめられても自分で「やめて」と言える

いじめられても自分で「やめて」と言えるかについてみると、小学生では「いつもそうだ」が 55.6%と最も多く、次いで「ときどきそうだ」が 25.1%となっています。中学生では「いつもそうだ」が 52.2%と最も多く、次いで「ときどきそうだ」が 26.0%となっています。

学年・生活層別にみると、小学生では困窮層で「そんなことはない」の割合が他の層と比べて高くなっています。

	%	n	いつもそうだ	ときどきそうだ	そんなことはない	不明・無回答
小学生	全体	824	55.6	25.1	15.5	3.8
	困窮層	32	43.8	18.8	34.4	3.1
	周辺層	86	60.5	23.3	15.1	1.2
	一般層	561	55.3	26.6	15.3	2.9
中学生	全体	765	52.2	26.0	17.6	4.2
	困窮層	36	50.0	27.8	16.7	5.6
	周辺層	79	53.2	26.6	16.5	3.8
	一般層	499	53.1	25.7	17.6	3.6

J 生きていても仕方がないと思う

生きていても仕方がないと思うかについてみると、小学生では「そんなことはない」が 73.5%と最も多く、次いで「ときどきそうだ」が 16.5%となっています。中学生では「そんなことはない」が 67.2%と最も多く、次いで「ときどきそうだ」が 22.6%となっています。

学年・生活層別にみると、小学生・中学生ともに困窮層で「そんなことはない」の割合が他の層と比べて低くなっています。

	%	n	いつもそうだ	ときどきそうだ	そんなことはない	不明・無回答
小学生	全体	824	7.0	16.5	73.5	2.9
	困窮層	32	15.6	25.0	56.3	3.1
	周辺層	86	7.0	16.3	76.7	0.0
	一般層	561	6.2	16.6	74.7	2.5
中学生	全体	765	7.6	22.6	67.2	2.6
	困窮層	36	5.6	36.1	55.6	2.8
	周辺層	79	8.9	27.8	60.8	2.5
	一般層	499	6.8	21.6	69.7	1.8

K やろうと思ったことがうまくできる

やろうと思ったことがうまくできるかについてみると、小学生では「ときどきそうだ」が58.1%と最も多く、次いで「いつもそうだ」が26.3%となっています。中学生では「ときどきそうだ」が55.8%と最も多く、次いで「そんなことはない」が24.8%となっています。

学年・生活層別にみると、小学生・中学生ともに困窮層で「いつもそうだ」の割合が他の層と比べて低くなっています。

%		n	いつもそうだ	ときどきそうだ	そんなことはない	不明・無回答
小学生	全体	824	26.3	58.1	12.1	3.4
	困窮層	32	18.8	50.0	25.0	6.3
	周辺層	86	31.4	50.0	18.6	0.0
	一般層	561	26.7	60.4	9.8	3.0
中学生	全体	765	16.9	55.8	24.8	2.5
	困窮層	36	8.3	58.3	30.6	2.8
	周辺層	79	17.7	51.9	26.6	3.8
	一般層	499	18.0	56.5	23.6	1.8

L いつものように何をしてもしも楽しい

いつものように何をしてもしも楽しいかについてみると、小学生では「いつもそうだ」が44.8%と最も多く、次いで「ときどきそうだ」が41.3%となっています。中学生では「ときどきそうだ」が45.5%と最も多く、次いで「いつもそうだ」が31.0%となっています。

学年・生活層別にみると、小学生では困窮層で「そんなことはない」の割合が他の層と比べて高くなっています。

%		n	いつもそうだ	ときどきそうだ	そんなことはない	不明・無回答
小学生	全体	824	44.8	41.3	10.8	3.2
	困窮層	32	31.3	40.6	25.0	3.1
	周辺層	86	43.0	43.0	14.0	0.0
	一般層	561	45.8	41.0	10.3	2.9
中学生	全体	765	31.0	45.5	21.2	2.4
	困窮層	36	33.3	41.7	22.2	2.8
	周辺層	79	30.4	41.8	25.3	2.5
	一般層	499	30.9	47.3	20.0	1.8

M 家族と話すのが好きだ

家族と話すのが好きかについてみると、小学生では「いつもそうだ」が 70.1%と最も多く、次いで「ときどきそうだ」が 23.2%となっています。中学生では「いつもそうだ」が 52.7%と最も多く、次いで「ときどきそうだ」が 37.5%となっています。

学年・生活層別にみると、小学生では困窮層、中学生では困窮層・周辺層で「いつもそうだ」の割合が他の層と比べて低くなっています。

	%	n	いつもそうだ	ときどきそうだ	そんなことはない	不明・無回答
小学生	全体	824	70.1	23.2	3.9	2.8
	困窮層	32	56.3	34.4	6.3	3.1
	周辺層	86	69.8	27.9	2.3	0.0
	一般層	561	70.4	23.4	3.9	2.3
中学生	全体	765	52.7	37.5	7.5	2.4
	困窮層	36	47.2	38.9	11.1	2.8
	周辺層	79	48.1	40.5	8.9	2.5
	一般層	499	54.9	34.9	8.4	1.8

N こわい夢を見る

こわい夢を見るかについてみると、小学生では「そんなことはない」が 45.5%と最も多く、次いで「ときどきそうだ」が 45.1%となっています。中学生では「そんなことはない」が 59.6%と最も多く、次いで「ときどきそうだ」が 30.8%となっています。

学年・生活層別にみると、小学生では困窮層・周辺層、中学生では困窮層で「そんなことはない」の割合が他の層と比べて低くなっています。

	%	n	いつもそうだ	ときどきそうだ	そんなことはない	不明・無回答
小学生	全体	824	6.6	45.1	45.5	2.8
	困窮層	32	0.0	56.3	40.6	3.1
	周辺層	86	10.5	47.7	41.9	0.0
	一般層	561	5.7	43.7	48.1	2.5
中学生	全体	765	7.1	30.8	59.6	2.5
	困窮層	36	5.6	47.2	44.4	2.8
	周辺層	79	6.3	31.6	60.8	1.3
	一般層	499	7.0	30.9	59.9	2.2

〇 独りぼっちの気がする

独りぼっちの気がするかについてみると、小学生では「そんなことはない」が72.2%と最も多く、次いで「ときどきそうだ」が19.3%となっています。中学生では「そんなことはない」が60.0%と最も多く、次いで「ときどきそうだ」が28.6%となっています。

学年・生活層別にみると、小学生では生活困難層ほど「そんなことはない」の割合が低くなる傾向がみられます。

	%	n	いつもそうだ	ときどきそうだ	そんなことはない	不明・無回答
小学生	全体	824	5.7	19.3	72.2	2.8
	困窮層	32	9.4	46.9	40.6	3.1
	周辺層	86	10.5	25.6	64.0	0.0
	一般層	561	5.0	17.3	75.2	2.5
中学生	全体	765	8.5	28.6	60.0	2.9
	困窮層	36	8.3	30.6	58.3	2.8
	周辺層	79	8.9	29.1	59.5	2.5
	一般層	499	8.2	27.1	62.7	2.0

P 落ち込んでいてもすぐに元気になる

落ち込んでいてもすぐに元気になるかについてみると、小学生では「いつもそうだ」が44.5%と最も多く、次いで「ときどきそうだ」が36.8%となっています。中学生では「ときどきそうだ」が39.3%と最も多く、次いで「いつもそうだ」が36.2%となっています。

学年・生活層別にみると、小学生では困窮層で「そんなことはない」の割合が他の層と比べて高くなっています。

	%	n	いつもそうだ	ときどきそうだ	そんなことはない	不明・無回答
小学生	全体	824	44.5	36.8	15.5	3.2
	困窮層	32	34.4	37.5	25.0	3.1
	周辺層	86	43.0	39.5	17.4	0.0
	一般層	561	42.8	38.5	15.7	3.0
中学生	全体	765	36.2	39.3	21.4	3.0
	困窮層	36	33.3	41.7	19.4	5.6
	周辺層	79	39.2	35.4	21.5	3.8
	一般層	499	35.7	40.1	22.0	2.2

Q とても悲しい気がする

とても悲しい気がするかについてみると、小学生では「そんなことはない」が72.5%と最も多く、次いで「ときどきそうだ」が21.0%となっています。中学生では「そんなことはない」が58.6%と最も多く、次いで「ときどきそうだ」が32.0%となっています。

学年・生活層別にみると、小学生では周辺層で「そんなことはない」の割合が他の層と比べて低くなっています。

	%	n	いつもそうだ	ときどきそうだ	そんなことはない	不明・無回答
小学生	全体	824	3.5	21.0	72.5	3.0
	困窮層	32	3.1	21.9	71.9	3.1
	周辺層	86	3.5	31.4	65.1	0.0
	一般層	561	3.2	20.1	74.0	2.7
中学生	全体	765	6.8	32.0	58.6	2.6
	困窮層	36	8.3	27.8	61.1	2.8
	周辺層	79	6.3	29.1	62.0	2.5
	一般層	499	6.4	32.9	58.7	2.0

R とても退屈な気がする

とても退屈な気がするかについてみると、小学生では「そんなことはない」が59.7%と最も多く、次いで「ときどきそうだ」が29.7%となっています。中学生では「そんなことはない」が51.4%と最も多く、次いで「ときどきそうだ」が34.8%となっています。

学年・生活層別にみると、小学生では困窮層・周辺層で「そんなことはない」の割合が他の層と比べて低くなっています。

	%	n	いつもそうだ	ときどきそうだ	そんなことはない	不明・無回答
小学生	全体	824	7.9	29.7	59.7	2.7
	困窮層	32	12.5	34.4	50.0	3.1
	周辺層	86	10.5	37.2	52.3	0.0
	一般層	561	6.2	29.9	61.5	2.3
中学生	全体	765	11.4	34.8	51.4	2.5
	困窮層	36	8.3	36.1	52.8	2.8
	周辺層	79	12.7	32.9	51.9	2.5
	一般層	499	11.2	34.5	52.5	1.8

【バールソン児童用抑うつ性尺度】

問 35 は、こどもの抑うつ性を測るための設問(バールソン判定)です。A～R の各項目において、回答に応じて0～2点が当てられ、その合計得点により評価します。点数が高いほど抑うつ性が高く、16点以上の場合、特に抑うつ傾向が認められる判定となります。

本調査においては、合計得点を「0～7点」「8～15点」「16～23点」「24～36点」の4つの層に分類して集計を行いました。なお、「A～R のすべてに回答した場合」または「回答した分だけで 24 点以上となることが確認された場合」を対象として判定し、その他の場合は「不明・無回答」としました。

■ 学年別の判定結果

16 点以上の割合は、小学生では 12.7%である一方、中学生では 26.6%となっており、小学生と比べて 13.9 ポイント高くなっています。

%		n	0～7点	8～15点	16～23点	24～36点	不明・無回答
小学生	全体	824	42.6	37.4	10.6	2.1	7.4
	中学生	765	31.0	36.5	22.0	4.6	6.0

■ 学年・生活層別の判定結果

16 点以上の割合について、小学生では困窮層で 25.0%となっており、他の層と比べて 10 ポイント以上高くなっています。中学生では、困窮層で 33.3%、周辺層で 30.4%と3割を超えており、また一般層でも 24.8%となっています。

%		n	0～7点	8～15点	16～23点	24～36点	不明・無回答
小学生	全体	824	42.6	37.4	10.6	2.1	7.4
	困窮層	32	15.6	53.1	25.0	0.0	6.3
	周辺層	86	34.9	47.7	10.5	3.5	3.5
	一般層	561	45.3	35.7	9.6	2.3	7.1
中学生	全体	765	31.0	36.5	22.0	4.6	6.0
	困窮層	36	25.0	33.3	25.0	8.3	8.3
	周辺層	79	32.9	29.1	24.1	6.3	7.6
	一般層	499	31.7	38.3	20.6	4.2	5.2

■ 判定結果別にみたこどもの権利の認知状況（問 16）

小学生・中学生ともに、16 点以上の層では 16 点未満の層と比べ、こどもの権利について「知らない」割合が高くなっています。

%		n	よく知っている	ある程度知っている	聞いたことはある	知らない	不明・無回答
小学生	全体	824	11.9	18.9	32.0	35.1	2.1
	0～7点	351	14.2	19.7	33.3	31.9	0.9
	8～15点	308	9.4	20.5	33.1	35.7	1.3
	16～23点	87	16.1	12.6	26.4	44.8	0.0
	24～36点	17	0.0	17.6	41.2	41.2	0.0
中学生	全体	765	21.3	25.8	28.2	23.7	1.0
	0～7点	237	27.4	24.1	25.3	22.4	0.8
	8～15点	279	20.1	27.6	30.5	21.5	0.4
	16～23点	168	17.9	25.6	29.2	27.4	0.0
	24～36点	35	8.6	34.3	25.7	31.4	0.0

問 36 あなたは、以下のような場所があれば使ってみたいと思いますか。
(それぞれ1つに○)

A (家以外で) 平日の放課後に夜までいることができる場所

家以外で平日の放課後に夜までいることができる場所を使ってみたいと思うかについてみると、小学生では「使う必要はない」が 42.0%と最も多く、次いで「興味がある」が 24.2%となっています。中学生では「使う必要はない」が 38.2%と最も多く、次いで「使ってみたい」が 28.8%となっています。

学年・生活層別にみると、小学生では困窮層で「使ってみたい」の割合が他の層と比べて低く、小学生・中学生ともに困窮層で「興味がある」の割合が他の層と比べて高くなっています。

	%	n	使ってみたい	興味がある	使いたくない	使う必要はない	不明・無回答
小学生	全体	824	20.3	24.2	10.1	42.0	3.5
	困窮層	32	12.5	34.4	9.4	40.6	3.1
	周辺層	86	22.1	29.1	7.0	40.7	1.2
	一般層	561	19.1	23.7	11.6	42.2	3.4
中学生	全体	765	28.8	25.5	5.8	38.2	1.8
	困窮層	36	25.0	33.3	13.9	27.8	0.0
	周辺層	79	38.0	21.5	5.1	34.2	1.3
	一般層	499	29.1	24.6	5.4	39.5	1.4

B (家以外で) 休日にいることができる場所

家以外で休日にいることができる場所を使ってみたいと思うかについてみると、小学生では「使う必要はない」が 37.7%と最も多く、次いで「興味がある」が 27.8%となっています。中学生では「使う必要はない」が 39.7%と最も多く、次いで「使ってみたい」が 26.9%となっています。

学年・生活層別にみると、中学生では周辺層で「使ってみたい」の割合が他の層と比べて高く、小学生・中学生ともに困窮層で「興味がある」の割合が他の層と比べて高くなっています。

	%	n	使ってみたい	興味がある	使いたくない	使う必要はない	不明・無回答
小学生	全体	824	22.0	27.8	8.7	37.7	3.8
	困窮層	32	21.9	37.5	3.1	34.4	3.1
	周辺層	86	22.1	26.7	10.5	38.4	2.3
	一般層	561	21.2	27.5	9.3	38.9	3.2
中学生	全体	765	26.9	25.9	5.8	39.7	1.7
	困窮層	36	25.0	36.1	11.1	27.8	0.0
	周辺層	79	40.5	17.7	5.1	35.4	1.3
	一般層	499	27.1	24.6	5.6	41.3	1.4

C 家の人がない時、晩ごはんをみんなで食べることができる場所

家の人がない時、晩ごはんをみんなで食べることができる場所を使ってみたいと思うかについてみると、小学生では「使う必要はない」が40.9%と最も多く、次いで「使ってみたい」が23.8%となっています。中学生では「使う必要はない」が59.9%と最も多く、次いで「興味がある」が15.7%となっています。

学年・生活層別にみると、小学生では周辺層で「使ってみたい」、中学生では周辺層で「使う必要はない」の割合が他の層と比べて高くなっています。

	%	n	使ってみたい	興味がある	使いたくない	使う必要はない	不明・無回答
小学生	全体	824	23.8	20.5	10.8	40.9	4.0
	困窮層	32	21.9	21.9	9.4	43.8	3.1
	周辺層	86	30.2	14.0	8.1	45.3	2.3
	一般層	561	23.2	20.9	11.4	40.8	3.7
中学生	全体	765	13.7	15.7	8.4	59.9	2.4
	困窮層	36	11.1	19.4	11.1	58.3	0.0
	周辺層	79	13.9	12.7	6.3	65.8	1.3
	一般層	499	14.2	14.2	9.2	60.3	2.0

D (学校以外で) スポーツができる場所

学校以外のスポーツができる場所を使ってみたいと思うかについてみると、小学生では「使ってみたい」が39.8%と最も多く、次いで「興味がある」が25.7%となっています。中学生では「使う必要はない」が34.2%と最も多く、次いで「使ってみたい」が32.0%となっています。

学年・生活層別にみると、小学生では困窮層で「使ってみたい」の割合が他の層と比べて低く、「興味がある」の割合が他の層と比べて高くなっています。

	%	n	使ってみたい	興味がある	使いたくない	使う必要はない	不明・無回答
小学生	全体	824	39.8	25.7	8.4	22.0	4.1
	困窮層	32	31.3	37.5	6.3	21.9	3.1
	周辺層	86	41.9	27.9	8.1	20.9	1.2
	一般層	561	40.3	25.3	9.1	21.7	3.6
中学生	全体	765	32.0	26.0	5.4	34.2	2.4
	困窮層	36	27.8	30.6	5.6	36.1	0.0
	周辺層	79	38.0	21.5	5.1	34.2	1.3
	一般層	499	31.5	26.3	5.4	34.7	2.2

E 家で勉強ができない時、静かに勉強ができる場所

家で勉強ができない時、静かに勉強ができる場所を使ってみたいと思うかについてみると、小学生では「使ってみたい」が32.6%と最も多く、次いで「使う必要はない」が29.1%となっています。中学生では「使ってみたい」が37.9%と最も多く、次いで「使う必要はない」が27.8%となっています。

学年・生活層別にみると、小学生では困窮層で「興味がある」の割合が他の層と比べて高くなっています。

	%	n	使ってみたい	興味がある	使いたくない	使う必要はない	不明・無回答
小学生	全体	824	32.6	24.5	10.0	29.1	3.8
	困窮層	32	28.1	31.3	12.5	25.0	3.1
	周辺層	86	32.6	24.4	8.1	32.6	2.3
	一般層	561	34.0	24.4	10.5	27.6	3.4
中学生	全体	765	37.9	27.7	4.6	27.8	2.0
	困窮層	36	36.1	30.6	5.6	27.8	0.0
	周辺層	79	39.2	29.1	6.3	24.1	1.3
	一般層	499	39.1	25.7	4.6	28.9	1.8

F (学校以外で) 勉強、進学、家族のことなど、なんでも相談できる場所

学校以外の勉強、進学、家族のことなど、なんでも相談できる場所を使ってみたいと思うかについてみると、小学生では「使う必要はない」が37.0%と最も多く、次いで「興味がある」が29.7%となっています。中学生では「使う必要はない」が39.0%と最も多く、次いで「興味がある」が30.5%となっています。

学年・生活層別にみると、中学生では困窮層で「使ってみたい」の割合が他の層と比べて低くなっています。

	%	n	使ってみたい	興味がある	使いたくない	使う必要はない	不明・無回答
小学生	全体	824	19.9	29.7	9.5	37.0	3.9
	困窮層	32	21.9	28.1	12.5	34.4	3.1
	周辺層	86	23.3	33.7	3.5	36.0	3.5
	一般層	561	20.0	29.2	10.9	36.5	3.4
中学生	全体	765	20.5	30.5	8.2	39.0	1.8
	困窮層	36	8.3	33.3	19.4	38.9	0.0
	周辺層	79	19.0	27.8	8.9	43.0	1.3
	一般層	499	21.8	28.9	7.2	40.5	1.6

G 勉強を無料で教えてくれる場所

勉強を無料で教えてくれる場所を使ってみたいと思うかについてみると、「使ってみたい」が34.0%と最も多く、次いで「興味がある」が29.9%となっています。

生活層別にみると、周辺層で「使ってみたい」の割合が他の層と比べて高く、困窮層で「興味がある」の割合が他の層と比べて高くなっています。

	%	n	使ってみたい	興味がある	使いたくない	使う必要はない	不明・無回答
中学生	全体	765	34.0	29.9	5.8	28.6	1.7
	困窮層	36	33.3	36.1	11.1	19.4	0.0
	周辺層	79	40.5	27.8	6.3	24.1	1.3
	一般層	499	34.1	28.1	5.2	31.3	1.4

※本項目は中学生調査のみ

バールソン判定結果別にみた状況

問 36 の A～G の回答について、問 35 の回答から得られたバールソン判定結果別にみます。

小学生では、16 点以上の層で、「A（家以外で）平日の放課後に夜までいることができる場所」「B（家以外で）休日にいることができる場所」「C 家の人がいらない時、晩ごはんをみんなで食べることができる場所」「F（学校以外で）勉強、進学、家族のことなど、なんでも相談できる場所」を「使ってみたい」割合が 16 点未満の層と比べて高くなっています。

中学生では、16 点以上の層で、「F（学校以外で）勉強、進学、家族のことなど、なんでも相談できる場所」を「使ってみたい」割合が 16 点未満の層と比べて高くなっています。一方、24 点以上の層では、「C 家の人がいらない時、晩ごはんをみんなで食べることができる場所」「D（学校以外で）スポーツができる場所」を「使ってみたい」割合が 1 割未満となっており、他の層に比べて 10 ポイント以上低くなっています。

A （家以外で）平日の放課後に夜までいることができる場所

	%	n	使ってみたい	興味がある	使いたくない	使う必要はない	不明・無回答
小学生	全体	824	20.3	24.2	10.1	42.0	3.5
	0～7 点	351	17.4	21.7	8.3	51.6	1.1
	8～15 点	308	18.5	27.6	13.3	39.3	1.3
	16～23 点	87	31.0	29.9	9.2	28.7	1.1
	24～36 点	17	64.7	23.5	0.0	11.8	0.0
中学生	全体	765	28.8	25.5	5.8	38.2	1.8
	0～7 点	237	27.0	20.7	5.5	46.4	0.4
	8～15 点	279	29.0	25.4	5.7	39.8	0.0
	16～23 点	168	34.5	29.8	6.0	29.8	0.0
	24～36 点	35	28.6	42.9	5.7	20.0	2.9

B （家以外で）休日にいることができる場所

	%	n	使ってみたい	興味がある	使いたくない	使う必要はない	不明・無回答
小学生	全体	824	22.0	27.8	8.7	37.7	3.8
	0～7 点	351	21.1	22.2	7.7	47.0	2.0
	8～15 点	308	19.5	33.8	11.0	34.4	1.3
	16～23 点	87	29.9	34.5	10.3	25.3	0.0
	24～36 点	17	64.7	23.5	0.0	11.8	0.0
中学生	全体	765	26.9	25.9	5.8	39.7	1.7
	0～7 点	237	24.9	21.9	5.5	47.7	0.0
	8～15 点	279	25.8	24.7	6.5	43.0	0.0
	16～23 点	168	36.9	30.4	5.4	27.4	0.0
	24～36 点	35	22.9	40.0	5.7	28.6	2.9

C 家の人がいらない時、晩ごはんをみんなで食べることができる場所

	%	n	使ってみたい	興味がある	使いたくない	使う必要はない	不明・無回答
小学生	全体	824	23.8	20.5	10.8	40.9	4.0
	0～7 点	351	22.8	18.2	9.1	47.9	2.0
	8～15 点	308	23.4	20.8	14.3	39.9	1.6
	16～23 点	87	28.7	35.6	9.2	26.4	0.0
	24～36 点	17	52.9	35.3	5.9	5.9	0.0
中学生	全体	765	13.7	15.7	8.4	59.9	2.4
	0～7 点	237	18.1	13.9	6.3	61.2	0.4
	8～15 点	279	13.3	17.2	7.5	60.9	1.1
	16～23 点	168	13.7	17.3	8.9	59.5	0.6
	24～36 点	35	2.9	14.3	17.1	62.9	2.9

D (学校以外で) スポーツができる場所

	%	n	使ってみたい	興味がある	使いたくない	使う必要はない	不明・無回答
小学生	全体	824	39.8	25.7	8.4	22.0	4.1
	0～7点	351	49.6	21.9	4.8	21.9	1.7
	8～15点	308	34.7	30.5	10.4	22.1	2.3
	16～23点	87	28.7	32.2	13.8	25.3	0.0
	24～36点	17	23.5	23.5	23.5	29.4	0.0
中学生	全体	765	32.0	26.0	5.4	34.2	2.4
	0～7点	237	40.9	25.7	3.4	29.5	0.4
	8～15点	279	32.3	27.6	4.3	35.1	0.7
	16～23点	168	26.8	27.4	8.9	36.3	0.6
	24～36点	35	8.6	22.9	14.3	48.6	5.7

E 家で勉強ができない時、静かに勉強ができる場所

	%	n	使ってみたい	興味がある	使いたくない	使う必要はない	不明・無回答
小学生	全体	824	32.6	24.5	10.0	29.1	3.8
	0～7点	351	28.5	24.5	8.8	36.5	1.7
	8～15点	308	35.7	26.6	10.7	25.6	1.3
	16～23点	87	40.2	20.7	11.5	26.4	1.1
	24～36点	17	29.4	47.1	23.5	0.0	0.0
中学生	全体	765	37.9	27.7	4.6	27.8	2.0
	0～7点	237	35.4	27.0	3.8	33.8	0.0
	8～15点	279	43.0	27.2	4.7	24.7	0.4
	16～23点	168	39.9	29.2	4.8	25.6	0.6
	24～36点	35	22.9	34.3	5.7	34.3	2.9

F (学校以外で) 勉強、進学、家族のことなど、なんでも相談できる場所

	%	n	使ってみたい	興味がある	使いたくない	使う必要はない	不明・無回答
小学生	全体	824	19.9	29.7	9.5	37.0	3.9
	0～7点	351	16.0	25.9	9.4	46.7	2.0
	8～15点	308	19.8	36.0	8.8	33.8	1.6
	16～23点	87	29.9	31.0	17.2	21.8	0.0
	24～36点	17	70.6	23.5	5.9	0.0	0.0
中学生	全体	765	20.5	30.5	8.2	39.0	1.8
	0～7点	237	19.0	26.2	7.6	47.3	0.0
	8～15点	279	18.6	35.8	5.4	39.8	0.4
	16～23点	168	27.4	31.0	12.5	29.2	0.0
	24～36点	35	25.7	25.7	20.0	25.7	2.9

G 勉強を無料で教えてくれる場所

	%	n	使ってみたい	興味がある	使いたくない	使う必要はない	不明・無回答
中学生	全体	765	34.0	29.9	5.8	28.6	1.7
	0～7点	237	36.7	25.7	4.6	32.9	0.0
	8～15点	279	34.1	34.4	5.7	25.8	0.0
	16～23点	168	32.7	33.3	7.7	26.2	0.0
	24～36点	35	40.0	17.1	5.7	34.3	2.9

※本項目は中学生調査のみ

問 38 このアンケートの感想や、大人の人に言いたいことなどがありましたら、ご自由にお書きください。【小学生】

意見の内容は、「アンケートに対する意見(肯定的)」が 39 件と最も多く、次いで「アンケートに対する意見(否定的)」が 30 件となっています。

カテゴリー	件数
アンケートに対する意見(肯定的)	39
アンケートに対する意見(否定的)	30
家族についての意見	13
大人への意見	12
先生・学校についての意見	12
その他	38

※カテゴリー10件未満のものは「その他」にまとめて集計。複数カウントあり。

以降に、寄せられた意見を抜粋で掲載します（原則、原文のまま）。

①アンケートに対する意見(肯定的)

- ✧ 自分を見直すきっかけになった。
- ✧ 自分の思っていることが書けた。
- ✧ アンケートはいつも考えていなかったことを考えたので、そういう意味では楽しかったし、おもしろかったです。このアンケートが江東区がよりよくなることに少しでも協力できたらうれしいです。
- ✧ 質問の内容がわかりやすく質問にも答えやすかったです。
- ✧ 日々アンケートを行うことがあまりないので、アンケートに答えることが楽しかったです。もう一度書きたいと思いました。アンケートに答えている最中、私たち小学生のアンケートは、どのように使うのか気になりました。そして、選択肢にあった生活の仕方や人の心情を読んでいる時は「こんな生活があるんだ」と、新しい発見にもつながりました。
- ✧ こういうアンケートがあると、子供にも要望を言える権利がある気がします。それに、子供に興味を持っている感じがして嬉しいです。区長と話してる感じがします。
- ✧ 子供や江東区のために、このようなアンケートをしてくださってありがとうございます。
- ✧ このようなアンケートをすることで、大人にも少しは気持ちを伝えられたら良いなと思いました。
- ✧ このアンケートをして、少しスッキリしました。自分で上手く話せなかったことも少しあったので、アンケートができてよかったです！このアンケートをして、出来ていなかったこともあったので今から直したいです。そして、出来ていた事はずっと続けて将来に活かしていきたいです。アンケートをしてくれてありがとうございました！
- ✧ このアンケートで助かる人や、楽になる人などたくさんの方がいると思うからとてもいいと思う。

②アンケートに対する意見(否定的)

- ✧ しつもの数が多かったからへらしてほしい。
- ✧ もっと分かりやすく書いてください。意味がわからないことがたくさんありました。

- ✧ ちょっとむずかしかったです。
- ✧ クロームブックでこたえられるようにしたらどうですか。
- ✧ 勉強に追われている子供のために、質問を減らしたり簡潔にするなど、もう少し工夫してほしい。
- ✧ つかれた。
- ✧ 封筒をおおきくして。
- ✧ もっと楽しい質問にした方がみんなハッピーになれると思います。
- ✧ 書きたくないです。
- ✧ 質問が多すぎて何を答えればいいのかわからなくて1時間かかりました。

③家族についての意見

- ✧ あそびにつれてってほしい。かまってほしい。
- ✧ （親に対して）習い事を勝手に辞めさせるのような話をしないで欲しい。ささいな事で怒鳴らないで欲しい。決めつけしないで欲しい。
- ✧ 父と母いつもありがとう！
- ✧ 子どもの要ぼうをきいてほしい。門げんをすこしおそくしてほしい。はんざいをするいみはないとおもう。
- ✧ 親へ言いたいこと、いちいちうるさい。すぐ怒鳴る。制限を掛け過ぎ。姉だからと言って叱ってくる。
- ✧ お母さんが大好きです。

④大人への意見

- ✧ 大人がもっと大人らしいことをしてほしいです。家庭の事情で困ってることはたくさんいるのに、大人がルールを守らなかったりしていると、子どもからするともっとちゃんとしてほしいと思うからです。
- ✧ 大人だから、子供だからと言って何でも決めつけるのはよくないと思う。
- ✧ 子供が落ち込んだり怒ったりしている時は、優しく接したり、励ましたりして下さい。
- ✧ 子供達の居場所、遊ぶ場所をなくしてどうするんですか？
- ✧ 子どもはうっとうしいから勉強していればいいと思わないでほしい。子どもにとって遊ぶことがどれだけ大切かを理解してほしい。子どもの人生をじゃましないでほしい。ぼくたちの自由をうばわないでください。子どもの身になって考えてみてください。大人たちが子どもの遊べる場所をうばったせいで限られた場所をめぐって子ども同士の争いが起きてしまっています。もうこれ以上ぼくたちに悲しい思いをさせないでください。
- ✧ 毎日、文句や喧嘩などをやめたい。自分でしたいこともさせてほしい。

⑤先生・学校についての意見

- ✧ 学校たのしい。
- ✧ 学校で担任の先生以外の授業の時、うるさくて一応授業は進むが集中出来ない。
- ✧ 私は学校のたんになの先生がにがてです。なぜなら、りふじんにおこったり、さべつをするからです。また、同じクラスの人がにがてです。そのことを気にしてしまっていて学校が楽しくないです。も

ちろん友達ちというのは楽しいです。

- ✧ 学校の1日の授業時間を少し減らしてください。学校での校外授業や楽しい体験授業を増やしてください。

⑥その他

- ✧ 楽しくもつまらなくもない普通の生活がたいくつだ。
- ✧ 心やさしい人が生きやすい世界に、少しでもしてほしいです。
- ✧ 子どもだって大変だ！
- ✧ お小遣いが欲しい。子供を大事にする、泊まれる、聞いてくれる場所が欲しい。1人でもご飯を食べさせてくれる場所が欲しい。親から逃げられる場所が欲しい。親から離れられる場所が欲しい。死にたくなる。相談する場所どこですか。
- ✧ スマホをできるだけ見るのをやめてほしい。(満員電車でスマホを見ている人達が多すぎて動きにくい。)
- ✧ 平和な世界になりますように。
- ✧ 障がいのある子や ADHD の方を優しい目で見してほしい。特に ADHD についてはグレーゾーンの人などに優しく接してあげてほしい。差別や偏見は無くしてほしい。
- ✧ がんばっても、がんばっても、むくわれない。
- ✧ 育児をしている人に3万円をあげるとするのは、とてもよかったです。
- ✧ 良い江東区になるよう、期待しています。
- ✧ もっと楽しい町にして欲しい。
- ✧ アンケートの通り、大人と子供の差別をなくしてほしい。
- ✧ 江東区のスローガンで「スポーツ」という言葉をつかっているのに芝生のグラウンドをつくってください。
- ✧ 江東区で、子供新聞を作してほしいです。
- ✧ いじめというものはとても悲しいことだ。でも、立ち向かっていけばいつかはとびらがひらく。だから人間は強い。
- ✧ 怒鳴ったり暴言はやめてほしい。悪口はやめてほしい。無視しないでほしい。

問 38 このアンケートの感想や、大人の人に言いたいことなどがありましたら、ご自由にお書きください。【中学生】

意見の内容は、「アンケートに対する意見(否定的)」が 31 件と最も多く、次いで「アンケートに対する意見(肯定的)」が 28 件となっています。

カテゴリー	件数
アンケートに対する意見(否定的)	31
アンケートに対する意見(肯定的)	28
大人への意見	21
先生・学校についての意見	15
施設についての意見(公園等の遊び場を含む)	15
その他	50

※カテゴリー10件未満のものは「その他」にまとめて集計。複数カウントあり。

以降に、寄せられた意見を抜粋で掲載します（原則、原文のまま）。

①アンケートに対する意見(肯定的)

- ☆ このアンケートで自分の事について改めて振り返る事が出来ました。
- ☆ 自分をみつめ直す良い機会を下さってありがとうございます。
- ☆ 江東区をより良い町にするために、このアンケートはとても良いものだった。
- ☆ このアンケートを通して、私はとても恵まれているのだと感じました。しかし、みんながそうであるとは限らないと思います。少しでも支障がある子供たちが楽しく生活できる江東区になることを願っています。よろしくお願いします。
- ☆ 自分の将来のためになるのならと思い回答をした。隅々まで要望を聞いてくれている感じがして、将来に役立ってほしいと思った。
- ☆ 大人、子供双方に配慮した素晴らしいアンケートだと思いました。ただ、問 16 の「子供の権利」について、自分も含めて詳しく知っている人が少ないと思うので、学校の授業や江東ワイドスクエアなどで、子供の権利についての特集等をしてみてはいかがでしょうか。大人だけでなく、子供の意見もしっかりと反映されるような区政を期待しています。
- ☆ 私たちの学校生活について考えてくれていることが伝わったので嬉しかったです。
- ☆ 今後もアンケートを取り、区民の意見を取り入れながらの町づくりをしてほしい。
- ☆ 区民のみんなの意見が分かる良い機会かなと思いました。
- ☆ 普段、子供が言えない様な事を書けるので、僕はこのアンケートはとても良いと思います。このアンケートで子供が書いた事を、ちょっとだけでも江東区が取り入れてくれたら嬉しいです。
- ☆ 子供の気持ちを解ろうとして頂いて有難うございます。正直な意見が言えて嬉しいです。さみしい思いをしている子が一人でも少なくなる事を願ってます。不登校の子や家に居場所が無い子達に居場所を作って下さい。

②アンケートに対する意見(否定的)

- ✧ 問 37 よりも先にこの問いを設問して下さい。問 1 が解りにくいです。ネットでアンケートをとって欲しいです。ふざけていると思われそうですが本音です。
- ✧ 選択肢に極端なものが多いと感じたため、もっと中立的な選択肢もつくってほしい。問題、選択肢に意図が不明瞭なものが多いと感じたため、簡潔にしてほしい。
- ✧ このアンケートの対象年齢をもう少し下げてもいいと思います。又は質問の量を減らして欲しいです。
- ✧ アンケートを中高生向き、小学生向きで分けてほしい。
- ✧ 分かりにくい質問や、解答形式が多かったです。
- ✧ 色々な選択肢に○ができる場合の質問は、1 つに○だったり、当てはまらないのに○を書かせる問題があり、少しやりにくかった。正直、1 世帯に 1 冊子アンケートを渡して、家族みんなで話し合う方が合理的だと思う。
- ✧ よけいな質問が多い。本当に聞きたい事だけを書いてほしい。長い。
- ✧ 問 15 みたいな質問文だと困る子多いと思います。(私も悩みました。) 母と父では私への関心がずいぶん違うので、一言で「親」とまとめられると答えづらいんです…。
- ✧ ちょっと設問が多過ぎです。受験生はこの時期忙しいので春頃にアンケートやったらどうでしょう。
- ✧ 私は独りでいるのが好きだから、「独りぼっち」という表記は余り良いものでないと思いました。

③大人への意見

- ✧ 大人は私たち子供よりも多くの経験、知識が有ります。だからこそ新たなチャレンジをする一步を踏み出すのが遅いです。未来を担う子供たちの為にも他者にも目を向けて自分の為だけを考える人が少なくなって欲しいです。大人は子供の憧れの存在となるべきです。
- ✧ 子供にいろいろな事を求めないで欲しい。静かに見守って間違えそうになった時や行き詰った時に声を掛けて欲しい。
- ✧ 自分が言った事はちゃんとやってほしい。すぐキレるのはやめてほしい。大人の特権を使わないでほしい。
- ✧ いつも自分のことを気にかけてくれる大人にいつも感謝しています。
- ✧ 自論を持つのは勝手だが、人の意見を聞かないことは違う。たまに一人にさせてほしい。
- ✧ 自分のことをわかってくれる大人は、とても少ないです。
- ✧ 子供にやってはいけないことなどを教えるなら自分もそのルールを守ってほしいです。(歩きスマホなど) 責任を持ってちゃんと選挙に行ってほしいです。
- ✧ 子供の気持ちをよく考えて接して欲しい。子供の言う事をしっかり聞いて欲しい。
- ✧ 何かを下に見る暇が有るのだったら、上に立つ者の役目を見つめ直しといて欲しい。

④先生・学校についての意見

- ✧ 学校の先生は世代に合わせて下さい。
- ✧ 学校の先生の人選のやり方を改善した方がいいと思います。塾の先生もですが生徒との事件が一時期とても多く報道されていて、今の日本の学校はとても不安です。もう少し先生の人選の改善をお願い申し上げます。

- ◇ 教師は生徒の許可なく、呼び捨てにするな。教師と生徒は対等な関係であり、よって私も呼び捨てにしたい。教師から生徒へのつまらない決めつけ、人格否定(モラハラ)が多い。とても不愉快なのでやめてもらいたい。ジェンダーレスも認められてきている世の中で、理解できない人がいるのは仕方がないけど、それを教師が生徒へ共有するのは良くない考える。
- ◇ どうして港区は修学旅行でシンガポールに行っているのに、どうして海外と国内で差があるのか。
- ◇ 今の教育のあり方を根本から考え直すべきだと思う。僕は学校に通って感じることもある。現在の教育のおかげで人の道徳心が失われているということだ。このままでは、日本が世界の思惑通りになってしまう。
- ◇ 学校がまったく楽しくない。無駄な時間をとられる。
- ◇ 教員の残業時間を少なくして。

⑤施設についての意見(公園等の遊び場を含む)

- ◇ 無料で道具を使うスポーツができる施設がほしいです！
- ◇ ボールが使える場所を増やしてほしい。
- ◇ 家の近くの図書館で勉強しようと思っても、早い時間に行かないと机がほとんど埋まっていて、勉強することができないので、机の数を増やしてほしいです。
- ◇ 何故、一丁目の亀戸児童館を閉鎖したのですか？子供の遊び場を失うのは何故ですか？
- ◇ 公園なのに野球、サッカー等のボール遊びが禁止なのはおかしいと思う。そのうえに公園で静かに遊べなんて理不尽だと思う。
- ◇ 家の近くで集中できる静かな空間が欲しい。

⑥その他

- ◇ 勉強の事に対して余りガミガミ言わないで下さい。
- ◇ 親の負担を減らすために大学まで無償化してほしい。
- ◇ 勉強が全てではない！
- ◇ タバコと歩きスマホは大人の方から率先して止めて欲しいです。
- ◇ 緑を増やしてほしい。
- ◇ 道を横並びに歩く人たちと違法駐車は自転車の大敵。路肩駐車スペースの設置をお願いします。
- ◇ 金銭面に於いて自分の好きなように習い事等を始めてもいいのだろうか。やりたい事が有っても道具を揃えたりとお金が掛かり遠慮してしまう。
- ◇ 私達の世代の人が大人になったら今とは大きく変わってしまうのだろうと不安を感じている。
- ◇ 江東区を暮らしやすい町にするためには、私たち区民の社会参画が必要だと感じました。
- ◇ 電車を待っている列に、当たり前のように割り込んでこないでほしい。
- ◇ 人間って残酷だなと、SNSを見てみると毎日感じてしまい辛いです。
- ◇ とても住みやすいです。ありがとうございます。
- ◇ 時事、政治、経済的にも子育ては大事と最近気付いたので、区の政策に期待したいです。
- ◇ いろいろな分野のジェンダーバイアスをなくしてほしい。
- ◇ これからも江東区を良い場所に出来るように頑張ってください。
- ◇ 1日でも良いから何もしなくていい日が欲しい。

第2章 保護者調査の結果

1 あなたやあなたの世帯のことについて

問1 お子さんからみたあなたの続柄をお答えください。(1つに○)

こどもからみた続柄についてみると、「母親」が 81.1%と最も多く、次いで「父親」が 17.6%となっています。

学年・生活層別にみると、小学生保護者では周辺層、中学生保護者では困窮層で、他の層と比べて「母親」の割合が低くなっています。

%	n	母親	父親	祖母	祖父	兄弟姉妹	その他	施設職員	不明・無回答
全体	1,714	81.1	17.6	0.1	0.1	0.1	0.0	0.0	1.2
小学生									
困窮層	32	84.4	15.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
周辺層	86	76.7	23.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
一般層	561	84.1	15.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
中学生									
困窮層	36	72.2	22.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	5.6
周辺層	79	81.0	19.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
一般層	499	80.6	19.2	0.0	0.0	0.2	0.0	0.0	0.0

問2 あなたの年齢を教えてください。(数字を記入)

回答者の年齢についてみると、「45～49 歳」が 35.6%と最も多く、次いで「40～44 歳」が 29.5%となっています。

学年・生活層別にみると、小学生保護者では生活困難層ほど「35～39 歳」の割合が高くなる傾向がみられます。

%	n	35歳未満	35～39歳	40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳	60歳以上	不明・無回答
全体	1,714	0.6	9.3	29.5	35.6	18.4	3.6	0.8	2.3
小学生									
困窮層	32	3.1	21.9	40.6	18.8	9.4	0.0	0.0	6.3
周辺層	86	1.2	16.3	51.2	22.1	8.1	0.0	1.2	0.0
一般層	561	0.7	13.9	36.9	35.3	10.5	1.2	0.4	1.1
中学生									
困窮層	36	0.0	8.3	22.2	27.8	25.0	5.6	2.8	8.3
周辺層	79	0.0	5.1	22.8	41.8	24.1	2.5	2.5	1.3
一般層	499	0.2	3.6	17.8	41.5	27.9	7.6	1.0	0.4

問3 現在のあなたの婚姻状況を教えてください。(1つに○)

婚姻状況についてみると、「結婚している(事実婚を含む)」が 94.8%と最も多く、次いで「離婚(別居中を含む)」が 3.1%となっています。

学年・生活層別にみると、小学生保護者・中学生保護者ともに生活困難層ほど「離婚(別居中を含む)」の割合が高くなる傾向がみられます。

%	n	結婚している (事実婚を含む)	離婚(別居中を含む)	死別	未婚	不明・無回答
全体	1,714	94.8	3.1	0.7	0.3	1.1
小学生						
困窮層	32	87.5	12.5	0.0	0.0	0.0
周辺層	86	95.3	2.3	2.3	0.0	0.0
一般層	561	97.5	1.8	0.4	0.4	0.0
中学生						
困窮層	36	80.6	13.9	0.0	0.0	5.6
周辺層	79	91.1	8.9	0.0	0.0	0.0
一般層	499	94.8	3.8	1.0	0.4	0.0

第3部 子育て世帯生活実態調査結果

問4 あなたのお住まいの地区を教えてください。(1つに○)

居住地区についてみると、「豊洲地区」が28.1%と最も多く、次いで「砂町地区」が13.2%となっています。

%	n	白河地区	富岡地区	豊洲地区	小松橋地区	東陽地区	亀戸地区	大島地区	砂町地区	南砂地区	不明・無回答
全体	1,714	9.2	5.3	28.1	6.6	7.5	11.3	10.2	13.2	7.4	1.3

問5 お子さんと同居しているご家族の人数を教えてください(あなたとお子さんも含む)。単身赴任しているご家族も含めてください。(数字を記入)

同居家族の人数についてみると、「4人」が52.6%と最も多く、次いで「3人」が22.3%となっています。

学年・生活層別にみると、小学生保護者・中学生保護者ともに困難層・周辺層で「6人以上」の割合が一般層と比べて高くなっています。

%	n	2人	3人	4人	5人	6人以上	不明・無回答
全体	1,714	1.7	22.3	52.6	17.2	4.8	1.3
小学生	困窮層	32	3.1	18.8	46.9	21.9	9.4
	周辺層	86	2.3	15.1	47.7	24.4	10.5
	一般層	561	1.1	23.9	54.7	17.6	2.7
中学生	困窮層	36	0.0	16.7	38.9	19.4	19.4
	周辺層	79	2.5	24.1	44.3	15.2	13.9
	一般層	499	2.6	24.0	50.5	17.6	5.2

問6 お子さんと同居しているご家族(お子さんからみた続柄)はどなたですか。それぞれ人数も教えてください。(あてはまる番号すべてに○、人数は数字を記入)

同居している家族(子からみた続柄)についてみると、「父親」が93.1%と最も多く、次いで「母親」が92.8%となっています。

学年・生活層別にみると、小学生保護者・中学生保護者ともに困窮層で「父親」の割合が低く、「兄・姉」の割合が他の層と比べて高くなっています。

%	n	父親	母親	祖父	祖母	兄・姉	弟・妹	その他の親せき	その他	不明・無回答
全体	1,714	93.1	92.8	2.6	3.3	37.4	42.5	0.3	0.4	1.7
小学生	困窮層	32	81.3	96.9	0.0	53.1	50.0	0.0	3.1	3.1
	周辺層	86	91.9	94.2	5.8	8.1	44.2	48.8	0.0	2.3
	一般層	561	95.9	93.2	2.7	2.5	36.7	41.0	0.0	1.2
中学生	困窮層	36	83.3	97.2	8.3	8.3	52.8	52.8	2.8	5.6
	周辺層	79	91.1	94.9	2.5	6.3	38.0	50.6	0.0	0.0
	一般層	499	93.6	93.6	2.8	3.8	36.3	41.5	0.4	0.4

【同居している人数(祖父)】

%	n	1人	2人	不明・無回答
全体	44	84.1	0.0	15.9
小学生	困窮層	0	0.0	0.0
	周辺層	5	100.0	0.0
	一般層	15	86.7	13.3
中学生	困窮層	3	100.0	0.0
	周辺層	2	100.0	0.0
	一般層	14	78.6	21.4

【同居している人数（祖母）】

	%	n	1人	2人	不明・無回答
全体		56	94.6	1.8	3.6
小学生	困窮層	0	0.0	0.0	0.0
	周辺層	7	100.0	0.0	0.0
	一般層	14	92.9	7.1	0.0
中学生	困窮層	3	100.0	0.0	0.0
	周辺層	5	100.0	0.0	0.0
	一般層	19	100.0	0.0	0.0

【同居している人数（兄・姉）】

	%	n	1人	2人	3人以上	不明・無回答
全体		641	81.9	14.5	2.2	1.4
小学生	困窮層	17	82.4	11.8	5.9	0.0
	周辺層	38	86.8	7.9	5.3	0.0
	一般層	206	86.4	11.2	1.5	1.0
中学生	困窮層	19	68.4	26.3	5.3	0.0
	周辺層	30	73.3	20.0	6.7	0.0
	一般層	181	77.9	16.0	2.8	3.3

【同居している人数（弟・妹）】

	%	n	1人	2人	3人以上	不明・無回答
全体		729	78.6	17.3	1.6	2.5
小学生	困窮層	16	68.8	31.3	0.0	0.0
	周辺層	42	83.3	14.3	2.4	0.0
	一般層	230	77.4	17.8	0.9	3.9
中学生	困窮層	19	68.4	26.3	5.3	0.0
	周辺層	40	65.0	27.5	7.5	0.0
	一般層	207	78.3	16.9	1.9	2.9

【同居している人数（その他の親せき）】

	%	n	1人	2人以上	不明・無回答
全体		5	60.0	40.0	0.0
小学生	困窮層	0	0.0	0.0	0.0
	周辺層	0	0.0	0.0	0.0
	一般層	0	0.0	0.0	0.0
中学生	困窮層	1	100.0	0.0	0.0
	周辺層	0	0.0	0.0	0.0
	一般層	2	50.0	50.0	0.0

【同居している人数（その他）】

	%	n	1人	2人以上	不明・無回答
全体		7	71.4	14.3	14.3
小学生	困窮層	1	100.0	0.0	0.0
	周辺層	0	0.0	0.0	0.0
	一般層	1	100.0	0.0	0.0
中学生	困窮層	2	100.0	0.0	0.0
	周辺層	0	0.0	0.0	0.0
	一般層	2	0.0	50.0	50.0

問7 お子さんのご両親の国籍にあてはまる番号を、それぞれ教えてください。(1つに○)

両親の国籍についてみると、母親では「日本」が93.2%、「日本以外」が4.7%となっています。父親では「日本」が93.1%、「日本以外」が4.5%となっています。

学年・生活層別にみると、母親については小学生保護者では困難層で「日本以外」の割合が高くなっています。父親については小学生保護者で生活困難層ほど「日本以外」の割合が高くなる傾向がみられます。

【母親】

%		n	日本	日本以外	不明・無回答
全体		1,714	93.2	4.7	2.0
小学生	困窮層	32	78.1	18.8	3.1
	周辺層	86	88.4	9.3	2.3
	一般層	561	92.9	6.1	1.1
中学生	困窮層	36	94.4	2.8	2.8
	周辺層	79	93.7	5.1	1.3
	一般層	499	96.2	2.0	1.8

【父親】

%		n	日本	日本以外	不明・無回答
全体		1,714	93.1	4.5	2.5
小学生	困窮層	32	78.1	15.6	6.3
	周辺層	86	86.0	10.5	3.5
	一般層	561	93.0	5.0	2.0
中学生	困窮層	36	94.4	0.0	5.6
	周辺層	79	97.5	1.3	1.3
	一般層	499	95.6	3.4	1.0

問8 現在お住まいの住居の形態は、次のどれが最もよくあてはまりますか。(1つに○)

住まいの住居の形態についてみると、「持ち家」が76.8%と最も多く、次いで「民間の賃貸住宅」が10.7%となっています。

学年・生活層別にみると、小学生保護者・中学生保護者ともに生活困難層ほど「持ち家」の割合が低くなり、「民間の賃貸住宅」の割合が高くなる傾向がみられます。

%		n	持ち家	民間の賃貸住宅	都営または区営の賃貸住宅	都市再生機構（UR）・公社などの賃貸住宅	給与住宅（社宅・公務員住宅など）	間借り・その他	不明・無回答
全体		1,714	76.8	10.7	1.3	4.2	3.6	1.2	2.2
小学生	困窮層	32	46.9	21.9	3.1	15.6	6.3	3.1	3.1
	周辺層	86	67.4	14.0	1.2	10.5	1.2	3.5	2.3
	一般層	561	80.4	8.6	1.1	3.4	4.1	0.9	1.6
中学生	困窮層	36	55.6	22.2	2.8	2.8	8.3	5.6	2.8
	周辺層	79	73.4	10.1	3.8	8.9	1.3	2.5	0.0
	一般層	499	79.2	9.4	0.8	4.4	4.2	1.0	1.0

問 8 - 1 1 か月あたりの住居費負担はいくらですか。持ち家の場合は住宅ローン返済額、賃貸の場合は家賃または間代および共益費または管理費（共用部分の電気料・清掃費など）を教えてください。（数字を記入）

A 持ち家【1 か月あたりの住宅ローン返済額】

1 か月あたりの持ち家の住宅ローン返済額についてみると、「10～15 万円未満」が 31.7%と最も多く、次いで「5～10 万円未満」が 19.0%となっています。

学年・生活層別にみると、中学生保護者では生活困難層ほど「10～15 万円未満」の割合が高くなる傾向がみられます。

%	n	5 万円未満	5～10万円未満	10～15万円未満	15～20万円未満	20万円以上	不明・無回答
全体	1,316	18.3	19.0	31.7	12.2	7.4	11.3
小学生	困窮層	15	6.7	46.7	26.7	0.0	20.0
	周辺層	58	13.8	17.2	41.4	15.5	5.2
	一般層	451	16.9	22.6	30.6	11.5	8.9
中学生	困窮層	20	10.0	25.0	60.0	5.0	0.0
	周辺層	58	17.2	20.7	43.1	10.3	3.4
	一般層	395	26.3	18.2	30.1	11.4	7.1

B 賃貸住宅【家賃・間代】

1 か月あたりの賃貸の家賃・間代についてみると、「10～15 万円未満」が 25.6%と最も多く、次いで「5～10 万円未満」が 20.6%となっています。

学年・生活層別にみると、小学生保護者では周辺層で「10～15 万円未満」の割合が他の層と比べて高くなっています。

%	n	5 万円未満	5～10万円未満	10～15万円未満	15～20万円未満	20万円以上	不明・無回答
全体	360	9.4	20.6	25.6	16.4	15.3	12.8
小学生	困窮層	16	0.0	43.8	37.5	0.0	6.3
	周辺層	26	7.7	19.2	46.2	15.4	7.7
	一般層	101	7.9	20.8	20.8	15.8	23.8
中学生	困窮層	15	26.7	33.3	33.3	6.7	0.0
	周辺層	21	9.5	23.8	33.3	23.8	0.0
	一般層	99	10.1	16.2	27.3	19.2	19.2

B 賃貸住宅【共益費・管理費】

1 か月あたりの賃貸の共益費・管理費についてみると、「9,000 円以上」が 21.4%と最も多く、次いで「3,000～6,000 円未満」が 15.3%となっています。

学年・生活層別にみると、中学生保護者では周辺層で「3,000 円未満」の割合が他の層と比べて低くなっています。

%	n	なし	3,000円未満	3,000～6,000円 未満	6,000～9,000円 未満	9,000円以上	不明・無回答
全体	360	10.6	7.8	15.3	4.4	21.4	40.6
小学生	困窮層	16	6.3	6.3	37.5	0.0	6.3
	周辺層	26	7.7	7.7	19.2	11.5	26.9
	一般層	101	12.9	10.9	13.9	4.0	29.7
中学生	困窮層	15	13.3	6.7	26.7	6.7	6.7
	周辺層	21	9.5	0.0	23.8	4.8	23.8
	一般層	99	8.1	10.1	10.1	6.1	21.2

問9 次のA～Fの質問について、あなたは、ここ1か月の間にどのくらいの頻度で感じましたか。(それぞれ、あてはまる番号1つに○)

A 神経過敏に感じた

ここ1か月の間に神経過敏に感じた頻度についてみると、「全くない」が44.7%と最も多く、次いで「ときどき」が22.2%となっています。

学年・生活層別にみると、小学生保護者・中学生保護者ともに困窮層・周辺層で「全くない」の割合が一般層と比べて低くなっています。

	%	n	いつも	たいてい	ときどき	少しだけ	全くない	不明・無回答
全体		1,714	1.8	6.1	22.2	21.6	44.7	3.5
小学生	困窮層	32	6.3	15.6	28.1	18.8	28.1	3.1
	周辺層	86	2.3	9.3	33.7	20.9	31.4	2.3
	一般層	561	1.4	6.1	20.0	23.2	47.2	2.1
中学生	困窮層	36	5.6	11.1	27.8	25.0	25.0	5.6
	周辺層	79	3.8	11.4	25.3	30.4	29.1	0.0
	一般層	499	1.0	4.4	19.8	22.8	49.9	2.0

B 絶望的だと感じた

ここ1か月の間に絶望的だと感じた頻度についてみると、「全くない」が70.0%と最も多く、次いで「少しだけ」が13.6%となっています。

学年・生活層別にみると、小学生保護者では困窮層で「いつも」の割合が他の層と比べて高くなっています。また、中学生保護者では生活困難層ほど「ときどき」の割合が高くなる傾向がみられます。

	%	n	いつも	たいてい	ときどき	少しだけ	全くない	不明・無回答
全体		1,714	1.5	2.7	9.0	13.6	70.0	3.3
小学生	困窮層	32	12.5	3.1	6.3	15.6	59.4	3.1
	周辺層	86	3.5	7.0	15.1	20.9	51.2	2.3
	一般層	561	0.5	2.0	8.6	12.7	74.3	2.0
中学生	困窮層	36	5.6	5.6	30.6	19.4	36.1	2.8
	周辺層	79	3.8	7.6	12.7	26.6	49.4	0.0
	一般層	499	0.4	2.0	6.4	10.2	79.6	1.4

C そわそわ、落ち着かなく感じた

ここ1か月の間にそわそわ、落ち着かなく感じた頻度についてみると、「全くない」が45.3%と最も多く、次いで「少しだけ」が26.5%となっています。

学年・生活層別にみると、中学生保護者では生活困難層ほど「ときどき」の割合が高くなる傾向がみられます。

	%	n	いつも	たいてい	ときどき	少しだけ	全くない	不明・無回答
全体		1,714	1.5	4.5	18.8	26.5	45.3	3.4
小学生	困窮層	32	6.3	12.5	25.0	15.6	37.5	3.1
	周辺層	86	2.3	10.5	27.9	24.4	32.6	2.3
	一般層	561	0.9	3.6	17.3	26.4	50.3	1.6
中学生	困窮層	36	2.8	16.7	30.6	22.2	19.4	8.3
	周辺層	79	7.6	7.6	24.1	26.6	34.2	0.0
	一般層	499	0.8	2.8	15.0	32.7	47.1	1.6

D 気分が沈み込んで、何が起こっても気が晴れないように感じた

ここ1か月の間に気分が沈み込んで、何が起こっても気が晴れないように感じた頻度についてみると、「全くない」が47.3%と最も多く、次いで「少しだけ」が24.4%となっています。

学年・生活層別にみると、小学生保護者・中学生保護者ともに生活困難層ほど「たいてい」の割合が高くなる傾向がみられます。

	%	n	いつも	たいてい	ときどき	少しだけ	全くない	不明・無回答
全体		1,714	1.6	5.2	18.2	24.4	47.3	3.2
小学生	困窮層	32	6.3	18.8	18.8	18.8	34.4	3.1
	周辺層	86	2.3	9.3	23.3	25.6	36.0	3.5
	一般層	561	0.5	4.5	18.2	24.1	50.8	2.0
中学生	困窮層	36	2.8	27.8	22.2	19.4	22.2	5.6
	周辺層	79	5.1	8.9	20.3	31.6	34.2	0.0
	一般層	499	1.4	3.0	17.8	22.6	53.9	1.2

E 何をするのも骨折りだと感じた

ここ1か月の間に何をするのも骨折りだと感じた頻度についてみると、「全くない」が46.8%と最も多く、次いで「少しだけ」が26.3%となっています。

学年・生活層別にみると、小学生保護者・中学生保護者ともに生活困難層ほど「全くない」の割合が低くなる傾向がみられます。

	%	n	いつも	たいてい	ときどき	少しだけ	全くない	不明・無回答
全体		1,714	2.0	5.8	15.8	26.3	46.8	3.3
小学生	困窮層	32	6.3	12.5	18.8	28.1	31.3	3.1
	周辺層	86	0.0	8.1	17.4	27.9	44.2	2.3
	一般層	561	2.0	4.5	16.2	26.0	49.4	2.0
中学生	困窮層	36	5.6	16.7	30.6	19.4	22.2	5.6
	周辺層	79	5.1	12.7	15.2	29.1	38.0	0.0
	一般層	499	1.4	5.0	12.8	28.3	51.1	1.4

F 自分は価値のない人間だと感じた

ここ1か月の間に自分は価値のない人間だと感じた頻度についてみると、「全くない」が68.8%と最も多く、次いで「少しだけ」が14.2%となっています。

学年・生活層別にみると、小学生保護者・中学生保護者ともに困窮層・周辺層で「全くない」の割合が一般層と比べて低くなっています。

	%	n	いつも	たいてい	ときどき	少しだけ	全くない	不明・無回答
全体		1,714	1.4	2.6	9.7	14.2	68.8	3.3
小学生	困窮層	32	0.0	6.3	18.8	12.5	59.4	3.1
	周辺層	86	1.2	5.8	17.4	16.3	57.0	2.3
	一般層	561	1.6	1.1	8.4	13.5	73.1	2.3
中学生	困窮層	36	8.3	2.8	19.4	19.4	44.4	5.6
	周辺層	79	2.5	6.3	12.7	19.0	59.5	0.0
	一般層	499	1.0	2.4	8.8	12.8	73.5	1.4

2 お子さんのお母さまとお父さまの職業について

問 10 お子さんのお母さまの現在のご職業と就業形態は、次のどれに最も近いですか。
(1つに○)

母親の職業と就業形態についてみると、「パート・アルバイト・日雇い・非常勤職員」が 31.3%と最も多く、次いで「民間企業の正社員」が 24.4%となっています。

学年・生活層別にみると、小学生保護者・中学生保護者ともに困窮層・周辺層で「民間企業の正社員」の割合が一般層と比べて低くなっています。

%	n	民間企業の正社員	会社役員	公務員などの正職員	契約社員・派遣社員・嘱託社員	パート・アルバイト・日雇い・非常勤職員	自営業（家族従業員含む）	自由業	団体職員
全体	1,714	24.4	1.4	4.3	7.2	31.3	5.1	0.7	1.4
小学生									
困窮層	32	12.5	0.0	3.1	6.3	43.8	9.4	0.0	0.0
周辺層	86	20.9	3.5	2.3	10.5	25.6	5.8	0.0	0.0
一般層	561	28.2	2.0	5.3	5.9	29.2	5.0	0.9	1.6
中学生									
困窮層	36	13.9	0.0	0.0	8.3	44.4	2.8	0.0	0.0
周辺層	79	15.2	0.0	3.8	6.3	40.5	11.4	1.3	0.0
一般層	499	25.3	0.4	4.2	8.2	31.5	4.6	1.0	2.0

%	n	その他の働き方をしている	専業主婦	学生	引退（退職）	その他の無職	わからない	不明・無回答
全体	1,714	0.4	20.1	0.3	0.3	0.4	0.1	2.6
小学生								
困窮層	32	0.0	21.9	0.0	0.0	0.0	0.0	3.1
周辺層	86	0.0	20.9	2.3	0.0	2.3	0.0	5.8
一般層	561	0.2	20.0	0.0	0.5	0.0	0.0	1.2
中学生								
困窮層	36	0.0	22.2	0.0	2.8	2.8	0.0	2.8
周辺層	79	0.0	17.7	0.0	0.0	1.3	1.3	1.3
一般層	499	0.4	19.6	0.4	0.0	0.2	0.0	2.2

お母さまが職業をおもちの方

問 10-1 現在の就労日数、就労時間等の状況について教えてください。((1)(2)は数字を記入、(3)～(6)はそれぞれ、あてはまる番号1つに○)

(1) 1日の就労時間

母親の1日の就労時間についてみると、「8～10 時間未満」が 35.9%と最も多く、次いで「3～6時間未満」が 27.1%となっています。

学年・生活層別にみると、小学生保護者では困窮層で「8～10 時間未満」、中学生保護者では困窮層で「3～6時間未満」の割合が他の層と比べて高くなっています。

%	n	3 時間未満	3～6 時間未満	6～8 時間未満	8～10時間未満	10～12時間未満	12時間以上	不明・無回答
全体	1,306	1.4	27.1	25.7	35.9	6.0	1.2	2.7
小学生								
困窮層	24	0.0	29.2	25.0	41.7	4.2	0.0	0.0
周辺層	59	3.4	23.7	33.9	32.2	3.4	1.7	1.7
一般層	439	1.6	29.4	23.7	36.7	5.7	1.1	1.8
中学生								
困窮層	25	0.0	44.0	20.0	28.0	8.0	0.0	0.0
周辺層	62	0.0	29.0	22.6	33.9	9.7	3.2	1.6
一般層	387	1.3	24.0	26.4	37.5	5.9	2.1	2.8

(2) 1週間の就労日数

母親の1週間の就労日数についてみると、「5～6日未満」が 56.2%と最も多く、次いで「3～4日未満」が 15.3%となっています。

学年・生活層別にみると、小学生保護者では困窮層で「3～4日未満」の割合が他の層と比べて高く、中学生保護者では困窮層で「4～5日未満」の割合が他の層と比べて高くなっています。

%	n	2日未満	2～3日未満	3～4日未満	4～5日未満	5～6日未満	6～7日未満	7日	不明・無回答	
全体	1,306	0.8	5.4	15.3	14.9	56.2	3.1	0.4	3.9	
小学生	困窮層	24	0.0	0.0	20.8	16.7	54.2	4.2	0.0	4.2
	周辺層	59	0.0	1.7	10.2	22.0	57.6	3.4	0.0	5.1
	一般層	439	1.1	4.3	15.9	12.8	60.1	2.3	0.0	3.4
中学生	困窮層	25	0.0	0.0	16.0	20.0	56.0	4.0	0.0	4.0
	周辺層	62	1.6	3.2	21.0	14.5	50.0	6.5	1.6	1.6
	一般層	387	0.8	7.5	16.3	14.5	53.7	3.6	0.5	3.1

(3) 深夜勤務（22 時～5 時）

母親の深夜勤務の状況についてみると、「ない」が 86.6%と最も多く、次いで「不定期にある」が 6.0%となっています。

学年・生活層別にみると、中学生保護者では周辺層で「定期的にある」の割合が他の層と比べて高くなっています。

%		n	定期的にある	不定期にある	ない	不明・無回答
全体		1,306	1.8	6.0	86.6	5.6
小学生	困窮層	24	0.0	4.2	91.7	4.2
	周辺層	59	1.7	6.8	84.7	6.8
	一般層	439	2.7	5.5	87.0	4.8
中学生	困窮層	25	0.0	8.0	88.0	4.0
	周辺層	62	8.1	3.2	82.3	6.5
	一般層	387	1.0	6.2	88.4	4.4

(4) 土曜出勤

母親の土曜出勤の状況についてみると、「ない」が 57.0%と最も多く、次いで「不定期にある」が 26.3%となっています。

学年・生活層別にみると、小学生保護者・中学生保護者ともに困窮層で「不定期にある」の割合が他の層と比べて高くなっています。

%		n	定期的にある	不定期にある	ない	不明・無回答
全体		1,306	12.6	26.3	57.0	4.1
小学生	困窮層	24	4.2	37.5	54.2	4.2
	周辺層	59	10.2	27.1	59.3	3.4
	一般層	439	12.1	27.1	58.1	2.7
中学生	困窮層	25	16.0	44.0	36.0	4.0
	周辺層	62	25.8	21.0	48.4	4.8
	一般層	387	14.0	23.8	58.9	3.4

(5) 日曜・祝日出勤

母親の日曜・祝日出勤の状況についてみると、「ない」が 69.3%と最も多く、次いで「不定期にある」が 21.0%となっています。

学年・生活層別にみると、小学生保護者では困窮層で「不定期にある」の割合が他の層と比べて高くなっています。中学生保護者では生活困難層ほど「定期的にある」の割合が高くなる傾向がみられます。

	%	n	定期的にある	不定期にある	ない	不明・無回答
全体		1,306	5.4	21.0	69.3	4.3
小学生	困窮層	24	4.2	29.2	62.5	4.2
	周辺層	59	1.7	16.9	78.0	3.4
	一般層	439	3.4	22.6	71.5	2.5
中学生	困窮層	25	24.0	28.0	44.0	4.0
	周辺層	62	16.1	25.8	51.6	6.5
	一般層	387	5.4	21.7	69.5	3.4

(6) 副業（主な仕事以外での労働）

母親の副業の状況についてみると、「ない」が 85.7%と最も多く、次いで「1つある」が 7.8%となっています。

学年・生活層別にみると、中学生保護者では困窮層で「1つある」の割合が他の層と比べて高くなっています。

	%	n	1つある	2つ以上ある	ない	不明・無回答
全体		1,306	7.8	1.5	85.7	5.1
小学生	困窮層	24	4.2	0.0	83.3	12.5
	周辺層	59	6.8	1.7	86.4	5.1
	一般層	439	8.2	1.1	87.2	3.4
中学生	困窮層	25	20.0	8.0	68.0	4.0
	周辺層	62	8.1	3.2	80.6	8.1
	一般層	387	6.5	0.8	88.4	4.4

お母さまが職業をおもちの方

問 10-2 昨年1年間（令和4年1月～12月）を合計した、お子さんのお母さまのお仕事からの収入（税込）は、およそいくらですか。（数字を記入）

母親の収入についてみると、「100～200 万円未満」が 20.3%と最も多く、次いで「600 万円以上」が 19.4%となっています。

学年・生活層別にみると、小学生保護者では困窮層で「200～300 万円未満」、中学生保護者では困窮層で「50 万円未満」の割合が高くなっています。

	%	n	50万円未満	50～100万円未満	100～200万円未満	200～300万円未満	300～400万円未満	400～600万円未満	600万円以上	不明・無回答
全体		1,306	7.5	14.2	20.3	9.4	9.3	13.2	19.4	6.6
小学生	困窮層	24	16.7	12.5	29.2	25.0	4.2	4.2	4.2	4.2
	周辺層	59	13.6	10.2	25.4	5.1	10.2	25.4	6.8	3.4
	一般層	439	8.0	15.9	16.9	7.7	9.6	15.5	23.7	2.7
中学生	困窮層	25	16.0	20.0	28.0	16.0	4.0	12.0	0.0	4.0
	周辺層	62	6.5	17.7	29.0	12.9	9.7	9.7	8.1	6.5
	一般層	387	5.4	13.4	22.5	9.3	9.8	12.7	23.5	3.4

お母さまが職業をおもちでない方

問 10-3 お母さまの今後の就労意向は次のどれに最も近いですか。

母親の就労意向についてみると、「今は働けないが、今後働きたい」が 39.3%と最も多く、次いで「条件が整えばすぐに働きたい」が 31.0%となっています。

学年・生活層別にみると、小学生保護者では一般層で「今は働けないが、今後働きたい」の割合が他の層と比べて高くなっています。

%		n	条件が整えばすぐに働きたい	今は働けないが、今後働きたい	働く予定はない	不明・無回答
全体		361	31.0	39.3	25.5	4.2
小学生	困窮層	7	85.7	0.0	14.3	0.0
	周辺層	22	40.9	31.8	22.7	4.5
	一般層	115	26.1	48.7	19.1	6.1
中学生	困窮層	10	30.0	40.0	20.0	10.0
	周辺層	15	46.7	20.0	26.7	6.7
	一般層	101	26.7	37.6	33.7	2.0

問 11 お子さんのお父さまの現在のご職業と就業形態は、次のどれに最も近いですか。
(1つに○)

父親の職業と就業形態についてみると、「民間企業の正社員」が 63.3%と最も多く、次いで「会社役員」が 9.9%となっています。

学年・生活層別にみると、小学生保護者では困窮層、中学生保護者では困窮層・周辺層で「民間企業の正社員」の割合が他の層と比べて低くなっています。

%		n	民間企業の正社員	会社役員	公務員などの正職員	契約社員・派遣社員・嘱託社員	パート・アルバイト・日雇い・非常勤職員	自営業（家族従業員含む）	自由業	団体職員
全体		1,714	63.3	9.9	6.7	1.7	0.9	9.7	0.8	1.6
小学生	困窮層	32	53.1	9.4	3.1	6.3	3.1	3.1	3.1	0.0
	周辺層	86	61.6	10.5	4.7	4.7	0.0	8.1	1.2	0.0
	一般層	561	66.1	10.5	7.8	0.9	0.4	9.4	1.1	1.4
中学生	困窮層	36	47.2	5.6	5.6	0.0	8.3	11.1	2.8	2.8
	周辺層	79	48.1	7.6	2.5	5.1	5.1	15.2	0.0	5.1
	一般層	499	67.5	7.0	6.0	1.6	0.4	9.8	0.6	1.8

%		n	その他の働き方をしている	専業主夫	学生	引退（退職）	その他の無職	わからない	不明・無回答
全体		1,714	0.6	0.1	0.0	0.2	0.4	0.2	4.0
小学生	困窮層	32	0.0	6.3	0.0	0.0	0.0	3.1	9.4
	周辺層	86	2.3	0.0	0.0	0.0	2.3	1.2	3.5
	一般層	561	0.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.0
中学生	困窮層	36	0.0	0.0	0.0	0.0	2.8	5.6	8.3
	周辺層	79	1.3	0.0	0.0	0.0	2.5	0.0	7.6
	一般層	499	0.6	0.0	0.0	0.6	0.2	0.0	3.8

第3部 子育て世帯生活実態調査結果

お父さまが職業をおもちの方

問 11- 1 現在の就労日数、就労時間等の状況について教えてください。((1)(2)は数字を記入、(3)～(6)はそれぞれ、あてはまる番号1つに○)

(1) 1日の就労時間

父親の1日の就労時間についてみると、「8～10 時間未満」が 50.6%と最も多く、次いで「10～12 時間未満」が 25.6%となっています。

学年・生活層別にみると、中学生保護者では生活困難層ほど「10～12 時間未満」の割合が高くなる傾向がみられます。

%	n	3 時間未満	3～6 時間未満	6～8 時間未満	8～10時間未満	10～12時間未満	12時間以上	不明・無回答
全体	1,630	0.1	0.9	4.2	50.6	25.6	12.0	6.6
小学生								
困窮層	26	0.0	0.0	3.8	46.2	23.1	15.4	11.5
周辺層	80	0.0	2.5	2.5	50.0	26.3	15.0	3.8
一般層	550	0.2	0.7	4.7	50.7	28.5	10.7	4.4
中学生								
困窮層	30	0.0	0.0	6.7	53.3	33.3	3.3	3.3
周辺層	71	1.4	2.8	4.2	40.8	29.6	15.5	5.6
一般層	476	0.0	0.4	4.2	56.3	24.2	10.9	4.0

(2) 1週間の就労日数

父親の1週間の就労日数についてみると、「5～6日未満」が 76.5%と最も多く、次いで「6～7日未満」が 14.0%となっています。

学年・生活層別にみると、中学生保護者では困窮層・周辺層で「6～7日未満」の割合が一般層と比べて高くなっています。

%	n	2 日未満	2～3 日未満	3～4 日未満	4～5 日未満	5～6 日未満	6～7 日未満	7 日	不明・無回答
全体	1,630	0.1	0.4	0.4	1.0	76.5	14.0	1.4	6.1
小学生									
困窮層	26	0.0	0.0	3.8	0.0	76.9	11.5	0.0	7.7
周辺層	80	0.0	0.0	1.3	0.0	81.3	11.3	1.3	5.0
一般層	550	0.0	0.5	0.0	1.5	80.9	11.3	0.7	5.1
中学生									
困窮層	30	0.0	0.0	0.0	3.3	53.3	30.0	3.3	10.0
周辺層	71	1.4	0.0	0.0	0.0	64.8	28.2	4.2	1.4
一般層	476	0.0	0.4	0.2	0.6	80.5	13.0	1.5	3.8

(3) 深夜勤務（22 時～5 時）

父親の深夜勤務の状況についてみると、「ない」が 60.1%と最も多く、次いで「不規則にある」が 24.9%となっています。

学年・生活層別にみると、小学生保護者では困窮層で「定期的にある」、中学生保護者では困窮層・周辺層で「不規則にある」の割合が他の層と比べて高くなっています。

%	n	定期的にある	不規則にある	ない	不明・無回答
全体	1,630	9.4	24.9	60.1	5.6
小学生					
困窮層	26	23.1	34.6	38.5	3.8
周辺層	80	11.3	26.3	57.5	5.0
一般層	550	10.4	25.3	61.1	3.3
中学生					
困窮層	30	10.0	33.3	50.0	6.7
周辺層	71	9.9	32.4	53.5	4.2
一般層	476	7.8	22.5	65.8	4.0

(4) 土曜出勤

父親の土曜出勤の状況についてみると、「ない」が 37.4%と最も多く、次いで「不定期にある」が 36.3%となっています。

学年・生活層別にみると、小学生保護者では困窮層で「不定期にある」が他の層と比べて高く、中学生保護者では生活困難層ほど「定期的にある」の割合が高くなる傾向がみられます。

	%	n	定期的にある	不定期にある	ない	不明・無回答
全体		1,630	21.7	36.3	37.4	4.7
小学生	困窮層	26	19.2	50.0	26.9	3.8
	周辺層	80	22.5	38.8	35.0	3.8
	一般層	550	19.1	38.2	39.6	3.1
中学生	困窮層	30	50.0	26.7	20.0	3.3
	周辺層	71	35.2	36.6	22.5	5.6
	一般層	476	19.7	34.5	42.4	3.4

(5) 日曜・祝日出勤

父親の日曜・祝日出勤の状況についてみると、「ない」が 47.2%と最も多く、次いで「不定期にある」が 35.3%となっています。

学年・生活層別にみると、小学生保護者では困窮層で「不定期にある」、中学生保護者では困窮層・周辺層で「定期的にある」の割合が他の層と比べて高くなっています。

	%	n	定期的にある	不定期にある	ない	不明・無回答
全体		1,630	12.5	35.3	47.2	4.9
小学生	困窮層	26	19.2	46.2	30.8	3.8
	周辺層	80	15.0	35.0	46.3	3.8
	一般層	550	10.2	36.7	49.5	3.6
中学生	困窮層	30	23.3	33.3	40.0	3.3
	周辺層	71	22.5	36.6	36.6	4.2
	一般層	476	10.7	34.0	51.7	3.6

(6) 副業（主な仕事以外での労働）

父親の副業の状況についてみると、「ない」が 86.9%と最も多く、次いで「1つある」が 5.3%となっています。

学年・生活層別にみると、小学生保護者・中学生保護者ともに特に大きな差はみられませんでした。

	%	n	1つある	2つ以上ある	ない	不明・無回答
全体		1,630	5.3	1.7	86.9	6.1
小学生	困窮層	26	3.8	0.0	92.3	3.8
	周辺層	80	2.5	1.3	92.5	3.8
	一般層	550	5.8	1.6	88.2	4.4
中学生	困窮層	30	10.0	3.3	83.3	3.3
	周辺層	71	7.0	1.4	87.3	4.2
	一般層	476	5.0	1.5	89.3	4.2

第3部 子育て世帯生活実態調査結果

お父さまが職業をおもちの方

問 11- 2 昨年1年間（令和4年1月～12月）を合計した、お子さんのお父さまのお仕事からの収入（税込）は、おおよそいくらですか。（数字を記入）

父親の収入についてみると、「600 万円以上」が 64.2%と最も多く、次いで「400～600 万円未満」が 14.1%となっています。

学年・生活層別にみると、小学生保護者・中学生保護者ともに生活困難層ほど「600 万円以上」の割合が低くなる傾向がみられます。

%	n	50万円未満	50～100万円未満	100～200万円未満	200～300万円未満	300～400万円未満	400～600万円未満	600万円以上	不明・無回答
全体	1,630	1.0	0.2	0.9	1.3	3.9	14.1	64.2	14.4
小学生	困窮層	26	3.8	0.0	3.8	7.7	11.5	19.2	38.5
	周辺層	80	2.5	0.0	2.5	1.3	6.3	23.8	60.0
	一般層	550	0.5	0.2	0.4	0.4	3.5	14.9	72.2
中学生	困窮層	30	6.7	0.0	6.7	20.0	6.7	16.7	36.7
	周辺層	71	4.2	1.4	4.2	4.2	7.0	21.1	46.5
	一般層	476	0.4	0.0	0.4	0.2	2.7	14.9	72.1

お父さまが職業をおもちでない方

問 11- 3 お父さまの今後の就労意向は次のどれに最も近いですか。（1つに○）

父親の就労意向についてみると、「今は働けないが、今後働きたい」が 50.0%と最も多く、次いで「条件が整えばすぐに働きたい」が 41.7%となっています。

%	n	条件が整えばすぐに働きたい	今は働けないが、今後働きたい	働く予定はない	不明・無回答
全体	12	41.7	50.0	8.3	0.0
小学生	困窮層	2	50.0	50.0	0.0
	周辺層	2	50.0	50.0	0.0
	一般層	0	0.0	0.0	0.0
中学生	困窮層	1	0.0	100.0	0.0
	周辺層	2	0.0	50.0	50.0
	一般層	4	50.0	50.0	0.0

3 お子さんの健康状態について

問 12 お子さんの健康状態は、次のどれが最もよくあてはまりますか。（1つに○）

こどもの健康状態についてみると、「よい」が64.8%と最も多く、次いで「ふつう」が24.9%となっています。

学年・生活層別にみると、小学生保護者・中学生保護者ともに困窮層で「よい」の割合が他の層と比べて低くなっています。

	%	n	よい	まあよい	ふつう	あまりよくない	よくない	不明・無回答
全体		1,714	64.8	5.7	24.9	2.8	0.7	1.1
小学生	困窮層	32	37.5	12.5	43.8	6.3	0.0	0.0
	周辺層	86	62.8	2.3	27.9	5.8	0.0	1.2
	一般層	561	70.4	4.6	22.3	1.4	0.2	1.1
中学生	困窮層	36	50.0	2.8	41.7	2.8	2.8	0.0
	周辺層	79	59.5	8.9	25.3	2.5	2.5	1.3
	一般層	499	60.1	7.4	26.5	4.0	1.0	1.0

問 13 過去1年間に、お子さんを医療機関で受診させた方がよいと思ったが、実際には受診させなかったことがありましたか。（1つに○）

こどもを医療機関で受診させた方がよいと思ったが、実際には受診させなかったことの有無についてみると、「あった」が14.3%、「なかった」が84.0%となっています。

学年・生活層別にみると、小学生保護者・中学生保護者ともに困窮層で「あった」の割合が他の層と比べて高くなっています。

	%	n	あった	なかった	不明・無回答
全体		1,714	14.3	84.0	1.7
小学生	困窮層	32	28.1	71.9	0.0
	周辺層	86	17.4	81.4	1.2
	一般層	561	12.7	85.6	1.8
中学生	困窮層	36	27.8	72.2	0.0
	周辺層	79	16.5	82.3	1.3
	一般層	499	14.4	84.2	1.4

第3部 子育て世帯生活実態調査結果

問 13 で「あった」を選んだ方

問 13- 1 その理由は何ですか。（1 つに○）

こどもを医療機関で受診させた方がよいと思ったが、実際には受診させなかった理由についてみると、「最初は受診させようと思ったが、こどもの様子をみて、受診させなくてもよいと判断したため」が 46.5%と最も多く、次いで「多忙で、医療機関に連れて行く時間がなかったため」が 24.1%となっています。

学年・生活層別にみると、小学生保護者・中学生保護者ともに困窮層・周辺層で「多忙で、医療機関に連れて行く時間がなかったため」の割合が他の層と比べて高くなっています。

%	n	公的医療保険に加入して おらず、医療費の支払いが できなかったため	公的医療保険に加入していた が、医療機関で自己負担金を 支払うことができなかった ため	こども本人が受診したが なかったため	医療機関までの距離が遠く、通院することが 困難であったため	多忙で、医療機関に連れて行く 時間がなかったため	最初は受診させようと思った が、こどもの様子をみて、 受診させなくてもよいと判断した ため	自分の健康状態が悪かったため	その他	不明・無回答
全体	245	0.4	0.8	18.4	0.4	24.1	46.5	1.2	7.8	0.4
小学生										
困窮層	9	0.0	0.0	11.1	0.0	44.4	44.4	0.0	0.0	0.0
周辺層	15	0.0	6.7	13.3	0.0	33.3	26.7	0.0	20.0	0.0
一般層	71	0.0	0.0	15.5	0.0	25.4	52.1	1.4	5.6	0.0
中学生										
困窮層	10	0.0	10.0	30.0	0.0	30.0	20.0	0.0	10.0	0.0
周辺層	13	0.0	0.0	0.0	0.0	30.8	38.5	7.7	15.4	7.7
一般層	72	0.0	0.0	19.4	0.0	20.8	51.4	0.0	8.3	0.0

問 14 お子さんには虫歯がありますか。（1 つに○）

こどもに虫歯があるかについてみると、「ない」が 60.5%と最も多く、次いで「あった（治療済）」が 28.2%となっています。

学年・生活層別にみると、小学生保護者・中学生保護者ともに困窮層で「ある（未治療）」の割合が他の層と比べて高くなっています。

%	n	ある（未治療）	ある（治療中）	あった（治療済）	ない	わからない	不明・無回答
全体	1,714	3.7	3.3	28.2	60.5	3.0	1.3
小学生							
困窮層	32	18.8	3.1	31.3	43.8	3.1	0.0
周辺層	86	1.2	4.7	26.7	61.6	3.5	2.3
一般層	561	2.5	3.2	34.8	56.3	2.0	1.2
中学生							
困窮層	36	13.9	2.8	13.9	63.9	5.6	0.0
周辺層	79	3.8	5.1	21.5	59.5	8.9	1.3
一般層	499	3.6	3.6	25.1	63.5	3.2	1.0

問 14 で「ある（未治療）」を選んだ方

問 14- 1 治療していない理由は何ですか。（1 つに○）

虫歯を治療していない理由についてみると、「これから治療予定のため」が 29.7%と最も多く、次いで「治療に行く時間がないため」が 17.2%となっています。

%	n	これから治療予定のため	治療に行く時間がないため	経済的に治療が困難なため	治療する必要があるため	特に理由はない	その他	不明・無回答
全体	64	29.7	17.2	0.0	9.4	6.3	10.9	26.6
小学生								
困窮層	6	33.3	0.0	0.0	0.0	16.7	16.7	33.3
周辺層	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
一般層	14	7.1	35.7	0.0	28.6	0.0	7.1	21.4
中学生								
困窮層	5	40.0	40.0	0.0	0.0	0.0	20.0	0.0
周辺層	3	33.3	33.3	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0
一般層	18	33.3	11.1	0.0	0.0	5.6	11.1	38.9

4 お子さんの学校生活や教育について

問 15 あなたは、お子さんの将来（夢・進路・職業等）について、お子さんと一緒に考えたり、話すことがありますか。（1つに○）

こどもの将来について、こどもと一緒に考えたり、話すことがあるかについてみると、「たまにする」が 53.5%と最も多く、次いで「よくする」が 34.7%となっています。

学年・生活層別にみると、小学生保護者・中学生保護者ともに困窮層で『する』（「よくする」と「たまにする」の合計）の割合が他の層と比べて低くなっています。

%	n	よくする	たまにする	あまりしない	これまで特にしたことがない	不明・無回答
全体	1,714	34.7	53.5	9.4	1.1	1.3
小学生	困窮層	28.1	46.9	18.8	3.1	3.1
	周辺層	22.1	59.3	12.8	3.5	2.3
	一般層	32.6	55.3	10.3	1.1	0.7
中学生	困窮層	38.9	44.4	16.7	0.0	0.0
	周辺層	41.8	50.6	5.1	0.0	2.5
	一般層	37.9	52.1	7.0	1.2	1.8

問 16 お子さんに、どの段階までの教育を受けさせたいと考えていますか。あなたのお考えに最も近いものに○をつけてください。（1つに○）

こどもに、どの段階までの教育を受けさせたいかについてみると、「大学またはそれ以上」が 82.3%と最も多く、次いで「まだわからない」が 8.7%となっています。

学年・生活層別にみると、小学生保護者・中学生保護者ともに困窮層で「大学またはそれ以上」の割合が他の層と比べて低くなっています。

%	n	中学まで	高校まで	短大・高専・専門 門学校まで	大学またはそれ 以上	まだわからない	不明・無回答
全体	1,714	0.2	2.9	4.7	82.3	8.7	1.3
小学生	困窮層	0.0	3.1	6.3	62.5	21.9	6.3
	周辺層	1.2	2.3	4.7	83.7	7.0	1.2
	一般層	0.2	1.4	3.7	84.3	9.6	0.7
中学生	困窮層	0.0	13.9	2.8	58.3	19.4	5.6
	周辺層	0.0	6.3	10.1	70.9	11.4	1.3
	一般層	0.0	2.6	4.8	84.6	6.4	1.6

問 17 あなたからみて、お子さんの学校での学習の状況をどのように思われていますか。
(1つに○)

こどもの学校での学習の状況をどのように思っているかについてみると、「まあ理解できている」が48.5%と最も多く、次いで「十分理解できている」が25.0%となっています。

学年・生活層別にみると、小学生保護者・中学生保護者ともに生活困難層ほど「十分理解できている」の割合が低くなる傾向がみられます。

%	n	十分理解できている	まあ理解できている	どちらともいえない	あまり理解できていない	ほとんど理解できていない	わからない	不明・無回答
全体	1,714	25.0	48.5	11.0	10.5	2.8	0.6	1.6
小学生	困窮層	32	9.4	50.0	25.0	9.4	3.1	0.0
	周辺層	86	27.9	46.5	11.6	11.6	0.0	1.2
	一般層	561	33.9	51.5	5.7	6.8	1.2	0.0
中学生	困窮層	36	8.3	33.3	30.6	13.9	8.3	2.8
	周辺層	79	16.5	35.4	11.4	29.1	6.3	0.0
	一般層	499	20.8	48.7	12.6	11.8	3.0	1.0

問 18 お子さんには、不登校の経験はありますか。(1つに○)

こどもの不登校の経験についてみると、「不登校の経験なし」が89.4%と最も多く、次いで「過去に不登校の経験あり」が5.3%となっています。

学年・生活層別にみると中学生保護者では困窮層で「過去に不登校の経験あり」の割合が他の層と比べて高くなっています。

%	n	不登校の経験なし	過去に不登校の経験あり	現在不登校中	不明・無回答
全体	1,714	89.4	5.3	3.9	1.4
小学生	困窮層	32	87.5	9.4	0.0
	周辺層	86	88.4	7.0	2.3
	一般層	561	93.4	4.6	1.1
中学生	困窮層	36	77.8	11.1	11.1
	周辺層	79	83.5	3.8	11.4
	一般層	499	87.0	5.0	6.2

問 19 おさんは学校の授業時間以外に、普段（月～金曜日）、1日あたりどのくらいの時間、勉強をしますか。塾などの時間も含みます。(1つに○)

こどもの学校の授業時間以外の普段の勉強時間についてみると、「1時間以上、2時間より少ない」が27.5%と最も多く、次いで「30分以上、1時間より少ない」が20.8%となっています。

学年・生活層別にみると、小学生保護者・中学生保護者ともに生活困難層ほど『30分未満』（「30分より少ない」と「まったくしない」の合計）の割合が高くなる傾向がみられます。

%	n	まったくしない	30分より少ない	30分以上、1時間より少ない	1時間以上、2時間より少ない	2時間以上、3時間より少ない	3時間以上	不明・無回答
全体	1,714	4.1	11.0	20.8	27.5	20.6	14.7	1.2
小学生	困窮層	32	0.0	21.9	34.4	28.1	6.3	3.1
	周辺層	86	1.2	12.8	32.6	27.9	10.5	14.0
	一般層	561	2.3	10.5	28.5	23.9	19.4	14.8
中学生	困窮層	36	11.1	16.7	13.9	30.6	19.4	8.3
	周辺層	79	10.1	5.1	19.0	24.1	22.8	17.7
	一般層	499	4.6	8.6	12.4	32.9	25.3	14.4

問 20 お子さんは放課後にどこで過ごすことが多いですか。(特に多いもの3つまでに○)

こどもの放課後の過ごす場所についてみると、「自宅」が 84.1%と最も多く、次いで「塾・習い事」が 49.5%となっています。

学年・生活層別にみると、小学生保護者・中学生保護者ともに生活困難層ほど「塾・習い事」の割合が低くなる傾向がみられます。また、中学生保護者では困窮層で「学校のクラブ活動」の割合が他の層と比べて低くなっています。

%	n	自宅	友だちの家	塾・習い事	児童館	江東ぎっずクラブ	学校のクラブ活動	外に遊びに行く	その他	不明・無回答
全体	1,714	84.1	7.1	49.5	5.5	2.7	10.8	27.7	3.8	1.5
小学生										
困窮層	32	81.3	0.0	21.9	3.1	6.3	0.0	56.3	3.1	3.1
周辺層	86	84.9	7.0	50.0	10.5	5.8	3.5	34.9	2.3	1.2
一般層	561	84.3	11.2	59.5	9.1	4.5	1.8	41.5	2.9	0.5
中学生										
困窮層	36	83.3	8.3	36.1	2.8	0.0	8.3	19.4	11.1	0.0
周辺層	79	83.5	5.1	40.5	1.3	0.0	26.6	17.7	6.3	2.5
一般層	499	86.2	1.8	44.3	1.0	0.0	18.8	9.2	4.8	2.2

問 21 お子さんのことで、現在悩んでいることはありますか。(あてはまる番号すべてに○)

こどものものことで、現在悩んでいることについてみると、「こどもの進学や受験」が 55.5%と最も多く、次いで「こどもの教育費」が 32.3%となっています。

学年・生活層別にみると、小学生保護者・中学生保護者ともに生活困難層ほど回答割合が高くなる項目が多く、特に「こどもの養育費」は小学生保護者の困窮層で8割台、中学生保護者の困窮層で7割台となっています。

%	n	こどものしつけや教育に自信が持てない	こどものしつけや教育について、相談する相手がいない	配偶者（パートナー）が子育てにあまり協力してくれない	配偶者（パートナー）と子育てのことで意見が合わない	こどもが基本的な生活習慣を身につけていない（あいさつ、整理・整頓など）	こどもが勉強しない	こどもの進学や受験	こどもの就職	こどもが反抗的で、なかなか言うことを聞かない
全体	1,714	16.3	4.8	7.8	8.6	18.0	21.3	55.5	7.5	13.1
小学生										
困窮層	32	25.0	15.6	18.8	15.6	25.0	18.8	56.3	15.6	28.1
周辺層	86	20.9	8.1	7.0	11.6	26.7	18.6	52.3	3.5	8.1
一般層	561	18.0	4.6	8.4	9.3	19.8	20.3	49.6	6.1	15.9
中学生										
困窮層	36	25.0	11.1	19.4	19.4	30.6	44.4	69.4	13.9	22.2
周辺層	79	20.3	7.6	12.7	13.9	22.8	30.4	72.2	10.1	10.1
一般層	499	11.2	3.4	5.8	6.4	14.4	19.8	58.7	9.2	9.8

%	n	こどもが何事に対しても消極的である	こどもの友人関係	こどもの身体発育や病気	こどもの非行や問題行動	こどもの教育費	こどもの食事や栄養	その他	特に悩みはない	不明・無回答
全体	1,714	11.8	12.5	11.8	2.3	32.3	13.0	5.0	15.6	2.1
小学生										
困窮層	32	12.5	25.0	21.9	3.1	81.3	31.3	3.1	6.3	3.1
周辺層	86	9.3	20.9	24.4	1.2	52.3	19.8	5.8	9.3	1.2
一般層	561	11.4	13.9	10.2	2.3	26.2	14.1	4.3	18.0	1.1
中学生										
困窮層	36	16.7	19.4	11.1	5.6	72.2	27.8	8.3	11.1	0.0
周辺層	79	19.0	11.4	11.4	5.1	68.4	15.2	7.6	7.6	1.3
一般層	499	11.0	9.0	11.0	1.6	26.9	9.8	5.0	17.2	2.0

5 ご家庭での生活について

問 22 あなたは、お子さんとよく会話をしますか。（1つに○）

こどもとよく会話をするかについてみると、「よくする」が 81.3%と最も多く、次いで「たまにする」が 15.9%となっています。

学年・生活層別にみると、小学生保護者・中学生保護者ともに困窮層で「たまにする」の割合が他の層と比べて高くなっています。

	%	n	よくする	たまにする	あまりしない	これまで特にしたことがない	不明・無回答
全体		1,714	81.3	15.9	1.5	0.1	1.2
小学生	困窮層	32	75.0	21.9	0.0	0.0	3.1
	周辺層	86	88.4	9.3	1.2	0.0	1.2
	一般層	561	88.2	10.9	0.2	0.0	0.7
中学生	困窮層	36	69.4	27.8	2.8	0.0	0.0
	周辺層	79	72.2	21.5	5.1	0.0	1.3
	一般層	499	76.8	19.0	2.4	0.2	1.6

問 23 あなたのご家庭では、1週間にどれくらいお子さんに朝ごはん、晩ごはんを用意していますか。（それぞれ、あてはまる番号1つに○）

A 朝ごはん

1週間にどのくらい朝ごはんを用意するかについてみると、「毎日」が 88.0%と最も多く、次いで「週に6日」が 2.7%となっています。

学年・生活層別にみると、小学生保護者・中学生保護者ともに困窮層で「毎日」の割合が他の層と比べて低くなっています。

	%	n	毎日	週に6日	週に5日	週に4日	週に3日	週に2日	週に1日	まったく用意しない	不明・無回答
全体		1,714	88.0	2.7	2.5	0.4	0.6	1.3	0.9	1.9	1.7
小学生	困窮層	32	81.3	3.1	0.0	0.0	0.0	3.1	3.1	3.1	6.3
	周辺層	86	95.3	2.3	0.0	0.0	1.2	0.0	0.0	0.0	1.2
	一般層	561	92.2	2.3	2.5	0.2	0.0	0.9	0.4	0.7	0.9
中学生	困窮層	36	69.4	5.6	5.6	5.6	2.8	2.8	2.8	5.6	0.0
	周辺層	79	82.3	1.3	3.8	0.0	2.5	3.8	2.5	2.5	1.3
	一般層	499	85.2	3.6	2.6	0.6	0.8	1.6	0.6	3.4	1.6

B 晩ごはん

1週間にどのくらい晩ごはんを用意するかについてみると、「毎日」が 91.5%と最も多く、次いで「週に6日」が 3.7%となっています。

学年・生活層別にみると、小学生保護者・中学生保護者ともに特に大きな差はみられませんでした。

	%	n	毎日	週に6日	週に5日	週に4日	週に3日	週に2日	週に1日	まったく用意しない	不明・無回答
全体		1,714	91.5	3.7	1.4	0.6	0.2	0.5	0.5	0.2	1.3
小学生	困窮層	32	87.5	0.0	3.1	0.0	0.0	0.0	3.1	0.0	6.3
	周辺層	86	89.5	4.7	1.2	2.3	0.0	0.0	1.2	0.0	1.2
	一般層	561	93.4	3.0	1.6	0.5	0.0	0.0	0.5	0.2	0.7
中学生	困窮層	36	94.4	2.8	0.0	0.0	0.0	2.8	0.0	0.0	0.0
	周辺層	79	88.6	5.1	2.5	0.0	1.3	1.3	0.0	0.0	1.3
	一般層	499	90.0	4.4	1.8	0.4	0.4	0.8	0.2	0.4	1.6

問 24 あなたのご家庭では、お子さんの食事について外食や中食がどのくらいの頻度でありますか。(それぞれ、あてはまる番号 1 つに○)

A 外食

外食の頻度についてみると、「週1回またはしない」が 89.8%と最も多く、次いで「週2～6回」が 8.2%となっています。

学年・生活層別にみると、中学生保護者では困窮層・周辺層で「週1回またはしない」の割合が他の層と比べて高くなっています。

	%	n	毎日2回以上	毎日1回程度	週2～6回	週1回またはしない	不明・無回答
全体		1,714	0.2	1.1	8.2	89.8	0.8
小学生	困窮層	32	0.0	0.0	9.4	84.4	6.3
	周辺層	86	0.0	2.3	9.3	88.4	0.0
	一般層	561	0.0	0.7	11.8	87.2	0.4
中学生	困窮層	36	0.0	0.0	2.8	97.2	0.0
	周辺層	79	0.0	0.0	3.8	96.2	0.0
	一般層	499	0.4	1.6	6.0	91.2	0.8

B 中食

中食の頻度についてみると、「週1回またはしない」が 68.0%と最も多く、次いで「週2～6回」が 28.6%となっています。

学年・生活層別にみると、小学生保護者では困窮層で「週2～6回」の割合が他の層と比べて高く、中学生保護者では困窮層で「毎日2回以上」の割合が他の層と比べて高くなっています。

	%	n	毎日2回以上	毎日1回程度	週2～6回	週1回またはしない	不明・無回答
全体		1,714	0.8	2.0	28.6	68.0	0.6
小学生	困窮層	32	0.0	3.1	43.8	53.1	0.0
	周辺層	86	2.3	2.3	27.9	67.4	0.0
	一般層	561	0.5	1.6	28.0	69.5	0.4
中学生	困窮層	36	8.3	5.6	16.7	69.4	0.0
	周辺層	79	1.3	2.5	19.0	77.2	0.0
	一般層	499	0.4	2.4	31.7	65.5	0.0

問 25 あなたの家庭では、お子さんの食生活について、どのような点に気をつけていますか。(それぞれ、あてはまる番号1つに○)

A 栄養のバランスを考えていろいろな食品をとる

栄養のバランスを考えていろいろな食品をとることに気をつけているかについてみると、「気をつけている」が61.0%と最も多く、次いで「とても気をつけている」が26.3%となっています。

学年・生活層別にみると、中学生保護者では困窮層で「あまり気をつけていない」の割合が他の層と比べて高くなっています。

	%	n	とても気をつけている	気をつけている	あまり気をつけていない	まったく気をつけていない	わからない	不明・無回答
全体		1,714	26.3	61.0	10.7	1.3	0.3	0.4
小学生	困窮層	32	21.9	65.6	9.4	3.1	0.0	0.0
	周辺層	86	30.2	58.1	11.6	0.0	0.0	0.0
	一般層	561	26.4	60.2	11.2	1.8	0.2	0.2
中学生	困窮層	36	13.9	63.9	19.4	2.8	0.0	0.0
	周辺層	79	24.1	60.8	12.7	2.5	0.0	0.0
	一般層	499	28.9	60.7	9.0	1.0	0.2	0.2

B 野菜をたくさん食べる

野菜をたくさん食べることに気をつけているかについてみると、「気をつけている」が58.8%と最も多く、次いで「とても気をつけている」が28.0%となっています。

学年・生活層別にみると、小学生保護者・中学生保護者ともに困窮層で「とても気をつけている」の割合が他の層と比べて低くなっています。

	%	n	とても気をつけている	気をつけている	あまり気をつけていない	まったく気をつけていない	わからない	不明・無回答
全体		1,714	28.0	58.8	11.2	1.3	0.2	0.5
小学生	困窮層	32	18.8	71.9	3.1	6.3	0.0	0.0
	周辺層	86	30.2	54.7	14.0	0.0	1.2	0.0
	一般層	561	28.2	59.2	10.5	2.0	0.0	0.2
中学生	困窮層	36	16.7	66.7	11.1	5.6	0.0	0.0
	周辺層	79	27.8	63.3	8.9	0.0	0.0	0.0
	一般層	499	30.1	57.3	11.2	1.0	0.2	0.2

C 塩分の摂取量を控える

塩分の摂取量を控えることに気をつけているかについてみると、「気をつけている」が44.3%と最も多く、次いで「あまり気をつけていない」が40.3%となっています。

学年・生活層別にみると、小学生保護者・中学生保護者ともに困窮層で「あまり気をつけていない」の割合が高くなっています。

	%	n	とても気をつけている	気をつけている	あまり気をつけていない	まったく気をつけていない	わからない	不明・無回答
全体		1,714	10.3	44.3	40.3	4.1	0.5	0.5
小学生	困窮層	32	6.3	34.4	50.0	6.3	3.1	0.0
	周辺層	86	8.1	48.8	41.9	1.2	0.0	0.0
	一般層	561	10.3	46.0	37.4	5.7	0.4	0.2
中学生	困窮層	36	5.6	30.6	55.6	8.3	0.0	0.0
	周辺層	79	7.6	46.8	43.0	2.5	0.0	0.0
	一般層	499	10.8	42.9	41.5	4.0	0.6	0.2

D 油分の摂取量を控える

油分の摂取量を控えることに気をつけているかについてみると、「あまり気をつけていない」が43.8%と最も多く、次いで「気をつけている」が41.1%となっています。

学年・生活層別にみると、小学生保護者・中学生保護者ともに困窮層で「まったく気をつけていない」の割合が他の層と比べて高くなっています。

%	n	とても気をつけている	気をつけている	あまり気をつけていない	まったく気をつけていない	わからない	不明・無回答
全体	1,714	8.9	41.1	43.8	5.3	0.5	0.4
小学生	困窮層	32	28.1	50.0	12.5	3.1	0.0
	周辺層	86	38.4	50.0	2.3	0.0	0.0
	一般層	561	43.0	41.4	6.4	0.4	0.2
中学生	困窮層	36	44.4	38.9	11.1	0.0	0.0
	周辺層	79	43.0	45.6	6.3	0.0	0.0
	一般層	499	38.9	46.7	5.4	0.6	0.2

E 糖分の摂取量を控える

糖分の摂取量を控えることに気をつけているかについてみると、「気をつけている」が44.2%と最も多く、次いで「あまり気をつけていない」が41.7%となっています。

学年・生活層別にみると、小学生保護者では困窮層で「まったく気をつけていない」の割合が他の層と比べて高くなっています。

%	n	とても気をつけている	気をつけている	あまり気をつけていない	まったく気をつけていない	わからない	不明・無回答
全体	1,714	8.6	44.2	41.7	4.6	0.5	0.5
小学生	困窮層	32	34.4	43.8	12.5	3.1	0.0
	周辺層	86	36.0	47.7	3.5	0.0	0.0
	一般層	561	46.5	39.2	5.3	0.2	0.4
中学生	困窮層	36	38.9	47.2	8.3	0.0	0.0
	周辺層	79	43.0	49.4	5.1	0.0	0.0
	一般層	499	43.5	43.5	4.2	0.6	0.2

問 26 お子さんが病気の時や、ご自身の用事の時などに頼れる親族や友人などが身近にいますか。(1つに○)

こどもが病気の時や、ご自身の用事の時などに頼れる親族や友人などの有無についてみると、「いる」が66.8%、「いない」が32.7%となっています。

学年・生活層別にみると、小学生保護者・中学生保護者ともに困窮層で「いない」の割合が他の層と比べて高くなっています。

%	n	いる	いない	不明・無回答
全体	1,714	66.8	32.7	0.5
小学生	困窮層	32	50.0	50.0
	周辺層	86	67.4	32.6
	一般層	561	69.5	30.5
中学生	困窮層	36	47.2	52.8
	周辺層	79	65.8	34.2
	一般層	499	64.5	35.1

問 27 あなたは、本当に困ったときや悩みがあるとき、相談できる人（家族、友人、親戚、同僚など）がいますか。（1つに○）

本当に困ったときや悩みがあるとき、相談できる人の有無についてみると、「いる」が 88.7%、「いない」が 10.9%となっています。

学年・生活層別にみると、小学生保護者・中学生保護者ともに困窮層で「いない」の割合が他の層と比べて高くなっています。

	%	n	いる	いない	不明・無回答
全体		1,714	88.7	10.9	0.4
小学生	困窮層	32	65.6	34.4	0.0
	周辺層	86	87.2	11.6	1.2
	一般層	561	92.5	7.5	0.0
中学生	困窮層	36	69.4	30.6	0.0
	周辺層	79	83.5	16.5	0.0
	一般層	499	88.8	11.0	0.2

問 28 あなたのご家庭では、地域での付き合いをどの程度していますか。（1つに○）

地域での付き合いの程度についてみると、「ある程度付き合っている」が 41.3%と最も多く、次いで「あまり付き合っていない」が 36.9%となっています。

学年・生活層別にみると、小学生保護者では困窮層、中学生保護者では困窮層・周辺層で「まったく付き合っていない」の割合が他の層と比べて高くなっています。

頼れる親族や友人の有無別にみると、そうした親族や友人が「いる」層では「ある程度付き合っている」が 47.2%と最も多く、「いない」層では「あまり付き合っていない」が 46.0%と最も多くなっています。

	%	n	よく付き合っている	ある程度付き合っている	あまり付き合っていない	まったく付き合っていない	不明・無回答
全体		1,714	10.3	41.3	36.9	11.2	0.3
小学生	困窮層	32	6.3	25.0	37.5	31.3	0.0
	周辺層	86	17.4	43.0	29.1	10.5	0.0
	一般層	561	11.1	45.8	34.8	8.4	0.0
中学生	困窮層	36	2.8	25.0	50.0	22.2	0.0
	周辺層	79	11.4	27.8	41.8	19.0	0.0
	一般層	499	9.4	37.7	39.7	13.0	0.2

○クロス集計【頼れる親族や友人の有無別】

	(%)	n	よく付き合っている	ある程度付き合っている	あまり付き合っていない	まったく付き合っていない	不明・無回答
問26 子の病気時や用事の時などに頼れる親族や友人が身近にいるか	全体	1,714	10.3	41.3	36.9	11.2	0.3
	いる	1,145	13.6	47.2	32.7	6.6	0.0
	いない	561	3.6	29.6	46.0	20.9	0.0

問 29 あなたのご家庭では、お子さんに次のことをしていますか。(それぞれ、あてはまる番号1つに○)

A 毎月お小遣いを渡す

毎月お小遣いを渡しているかについてみると、「している」が 54.1%と最も多く、次いで「していない、したくない(方針でしない)」が 41.5%、となっています。

学年・生活層別にみると、小学生保護者・中学生保護者ともに困窮層で「していない、経済的にできない」の割合が他の層と比べて高くなっています。

%		n	している	していない、したくない(方針でしない)	していない、経済的にできない	不明・無回答
全体		1,714	54.1	41.5	3.4	1.0
小学生	困窮層	32	25.0	40.6	34.4	0.0
	周辺層	86	51.2	46.5	2.3	0.0
	一般層	561	45.3	53.7	0.5	0.5
中学生	困窮層	36	33.3	13.9	52.8	0.0
	周辺層	79	58.2	27.8	12.7	1.3
	一般層	499	63.9	35.5	0.4	0.2

B 毎年新しい洋服・靴を買う

毎年新しい洋服・靴を買っているかについてみると、「している」が 95.2%と最も多く、次いで「していない、したくない(方針でしない)」が 2.7%、となっています。

学年・生活層別にみると、小学生保護者・中学生保護者ともに困窮層で「していない、経済的にできない」の割合が他の層と比べて高くなっています。

%		n	している	していない、したくない(方針でしない)	していない、経済的にできない	不明・無回答
全体		1,714	95.2	2.7	1.8	0.4
小学生	困窮層	32	81.3	6.3	12.5	0.0
	周辺層	86	97.7	0.0	2.3	0.0
	一般層	561	98.0	1.8	0.2	0.0
中学生	困窮層	36	66.7	2.8	30.6	0.0
	周辺層	79	88.6	2.5	8.9	0.0
	一般層	499	96.4	3.6	0.0	0.0

C 習い事（音楽、スポーツ、習字等）に通わせる

習い事に通わせているかについてみると、「している」が 78.8%と最も多く、次いで「していない、したくない(方針でしない)」が 14.1%となっています。

学年・生活層別にみると、小学生保護者・中学生保護者ともに困窮層で「していない、経済的にできない」の割合が他の層と比べて高くなっています。

%		n	している	していない、したくない（方針でしない）	していない、経済的にできない	不明・無回答
全体		1,714	78.8	14.1	5.2	1.9
小学生	困窮層	32	56.3	0.0	43.8	0.0
	周辺層	86	91.9	3.5	4.7	0.0
	一般層	561	92.5	7.3	0.2	0.0
中学生	困窮層	36	44.4	0.0	55.6	0.0
	周辺層	79	64.6	13.9	21.5	0.0
	一般層	499	69.7	25.3	2.2	2.8

D 学習塾に通わせる（または家庭教師に来てもらう）

学習塾に通わせているかについてみると、「している」が 68.4%と最も多く、次いで「していない、したくない(方針でしない)」が 22.5%となっています。

学年・生活層別にみると、小学生保護者・中学生保護者ともに生活困窮層ほど「していない、経済的にできない」の割合が高くなる傾向がみられます。

%		n	している	していない、したくない（方針でしない）	していない、経済的にできない	不明・無回答
全体		1,714	68.4	22.5	7.1	1.9
小学生	困窮層	32	21.9	6.3	71.9	0.0
	周辺層	86	57.0	22.1	20.9	0.0
	一般層	561	69.2	26.9	3.0	0.9
中学生	困窮層	36	52.8	5.6	41.7	0.0
	周辺層	79	64.6	16.5	19.0	0.0
	一般層	499	73.3	23.0	2.4	1.2

E お誕生日のお祝いをする

お誕生日のお祝いをしているかについてみると、「している」が 98.6%と最も多く、次いで「していない、したくない(方針でしない)」が 0.6%となっています。

学年・生活層別にみると、小学生保護者・中学生保護者ともに困窮層で「していない、経済的にできない」の割合が他の層と比べて高くなっています。

%		n	している	していない、したくない(方針でしない)	していない、経済的にできない	不明・無回答
全体		1,714	98.6	0.6	0.4	0.4
小学生	困窮層	32	93.8	0.0	6.3	0.0
	周辺層	86	100.0	0.0	0.0	0.0
	一般層	561	99.8	0.2	0.0	0.0
中学生	困窮層	36	88.9	0.0	11.1	0.0
	周辺層	79	98.7	1.3	0.0	0.0
	一般層	499	98.8	1.2	0.0	0.0

F 1年に1回くらい家族旅行に行く

1年に1回くらい家族旅行に行っているかについてみると、「している」が 82.1%と最も多く、次いで「していない、経済的にできない」が 10.9%となっています。

学年・生活層別にみると、小学生保護者・中学生保護者ともに生活困難層ほど「していない、経済的にできない」の割合が高くなる傾向がみられます。

%		n	している	していない、したくない(方針でしない)	していない、経済的にできない	不明・無回答
全体		1,714	82.1	5.7	10.9	1.3
小学生	困窮層	32	21.9	0.0	78.1	0.0
	周辺層	86	66.3	5.8	27.9	0.0
	一般層	561	94.1	2.5	3.2	0.2
中学生	困窮層	36	19.4	5.6	75.0	0.0
	周辺層	79	57.0	6.3	35.4	1.3
	一般層	499	85.0	9.0	5.4	0.6

G クリスマスのプレゼントや正月のお年玉をあげる

クリスマスプレゼントや正月のお年玉をあげているかについてみると、「している」が97.6%と最も多く、次いで「していない、経済的にできない」が1.1%となっています。

学年・生活層別にみると、小学生保護者・中学生保護者ともに困窮層で「していない、経済的にできない」の割合が他の層と比べて高くなっています。

%		n	している	していない、したくない（方針ではない）	していない、経済的にできない	不明・無回答
全体		1,714	97.6	1.0	1.1	0.4
小学生	困窮層	32	87.5	0.0	12.5	0.0
	周辺層	86	98.8	0.0	1.2	0.0
	一般層	561	99.6	0.2	0.0	0.2
中学生	困窮層	36	75.0	0.0	25.0	0.0
	周辺層	79	91.1	3.8	5.1	0.0
	一般層	499	98.8	1.2	0.0	0.0

H こどもの学校行事などへ親が参加する

こどもの学校行事などへ親が参加しているかについてみると、「している」が97.3%と最も多く、次いで「していない、したくない（方針ではない）」が1.2%となっています。

学年・生活層別にみると、中学生保護者では困窮層で「していない、経済的にできない」の割合が他の層と比べて高くなっています。

%		n	している	していない、したくない（方針ではない）	していない、経済的にできない	不明・無回答
全体		1,714	97.3	1.2	0.7	0.8
小学生	困窮層	32	96.9	0.0	3.1	0.0
	周辺層	86	95.3	2.3	1.2	1.2
	一般層	561	99.8	0.2	0.0	0.0
中学生	困窮層	36	83.3	2.8	13.9	0.0
	周辺層	79	96.2	2.5	1.3	0.0
	一般層	499	97.0	1.6	0.6	0.8

問 30 「こどもの権利」とは、こどもが大人と同じく一人の人間として持つ権利であり、安心して生活できること、自由に意見を言ったり活動したりできることなどが含まれます。あなたは、「こどもの権利」について知っていますか。（1つに○）

「こどもの権利」を知っているかについてみると、「ある程度少し知っている」が 40.1%と最も多く、次いで「聞いたことはある」が 29.6%となっています。

学年・生活層別にみると、中学生保護者では困窮層で「知らない」の割合が他の層と比べて高くなっています。

%		n	よく知っている	ある程度少し 知っている	聞いたことはあ る	知らない	不明・無回答
全体		1,714	20.9	40.1	29.6	8.9	0.4
小学生	困窮層	32	12.5	34.4	43.8	9.4	0.0
	周辺層	86	20.9	46.5	24.4	8.1	0.0
	一般層	561	20.7	41.5	30.7	7.0	0.2
中学生	困窮層	36	16.7	25.0	36.1	22.2	0.0
	周辺層	79	19.0	34.2	38.0	8.9	0.0
	一般層	499	22.4	40.9	28.3	8.4	0.0

問 31 あなたは、「こどもの権利」について考えることはありますか。（1つに○）

「こどもの権利」について考えることがあるかについてみると、「たまに考える機会がある」が 40.5%と最も多く、次いで「あまり考える機会はない」が 37.6%となっています。

学年・生活層別にみると、小学生保護者・中学生保護者ともに困窮層で「よく考える機会がある」の割合が他の層と比べて高くなっています。

%		n	よく考える機会 がある	たまに考える機 会がある	あまり考える機 会はない	考えたことはな い	不明・無回答
全体		1,714	13.7	40.5	37.6	7.6	0.6
小学生	困窮層	32	28.1	31.3	37.5	3.1	0.0
	周辺層	86	14.0	46.5	36.0	3.5	0.0
	一般層	561	14.3	40.6	37.8	7.0	0.4
中学生	困窮層	36	19.4	33.3	33.3	11.1	2.8
	周辺層	79	8.9	43.0	36.7	10.1	1.3
	一般層	499	13.6	39.3	39.3	7.6	0.2

問 32 あなたは、あなたのまわりのこどもで、次にあげるようなこどもの権利が守られていないと感じるものはありますか。(あてはまる番号すべてに○)

あなたのまわりのこどもで、こどもの権利が守られていないと感じるものがあるかについてみると、「こどもは自分に関することについて、意見を自由に言えて、大人に尊重されること」が 24.7%と最も多く、次いで「大人はそのこどもにとって最も良いことを優先すること」が 20.8%となっています。

学年・生活層別にみると、小学生保護者・中学生保護者ともに生活困難層ほど回答割合が高くなる項目が多く、特に「どんな理由でも差別されない権利」は小学生保護者の困窮層で4割台、中学生保護者の困窮層で3割台後半となっています。

%	n	どんな理由でも差別されない権利	命が守られ、必要な支援を受けながら成長できる権利	大人はそのこどもにとって最も良いことを優先すること	こどもは自分に関することについて、意見を自由に言えて、大人に尊重されること	あらゆる暴力から守られる権利	教育を受ける権利	休んだり、遊んだり、文化芸術活動に参加する権利	不明・無回答
全体	1,714	18.3	11.7	20.8	24.7	15.2	10.8	13.8	49.4
小学生									
困窮層	32	46.9	31.3	37.5	37.5	18.8	34.4	31.3	18.8
周辺層	86	20.9	12.8	20.9	31.4	14.0	10.5	22.1	45.3
一般層	561	13.4	8.9	20.5	23.0	11.6	6.4	11.2	52.8
中学生									
困窮層	36	38.9	25.0	33.3	30.6	36.1	36.1	33.3	25.0
周辺層	79	21.5	15.2	22.8	30.4	15.2	19.0	15.2	43.0
一般層	499	17.4	9.8	18.2	23.6	15.2	8.2	12.0	53.3

6 ご家庭の家計について

問 33 ご家庭の家計について、最も近いものをお答えください。（1つに○）

家計についてみると、「黒字であり、毎月貯蓄をしている」が 45.2%と最も多く、次いで「赤字でも黒字でもなく、ぎりぎりである」が 29.0%となっています。

学年・生活層別にみると、小学生保護者・中学生保護者ともに生活困難層ほど「赤字であり、借金をして生活している」の割合が高くなる傾向がみられます。

%	n	赤字であり、借金をして生活している	赤字であり、貯蓄を取り崩している	赤字でも黒字でもなく、ぎりぎりである	黒字であるが、貯蓄はしていない	黒字であり、毎月貯蓄をしている	その他	不明・無回答
全体	1,714	3.2	9.2	29.0	9.9	45.2	0.9	2.7
小学生	困窮層	32	31.3	15.6	53.1	0.0	0.0	0.0
	周辺層	86	7.0	23.3	40.7	7.0	20.9	0.0
	一般層	561	0.4	5.3	27.8	11.4	53.3	0.4
中学生	困窮層	36	38.9	27.8	30.6	0.0	2.8	0.0
	周辺層	79	12.7	26.6	40.5	3.8	15.2	0.0
	一般層	499	1.2	7.6	24.0	10.6	53.5	1.8

問 34 あなたのご家庭では、過去1年の間に、お金が足りなくて、家族が必要とする食料を買えないことがありましたか。（1つに○）

過去1年の間に、お金が足りなくて、家族が必要とする食料を買えないことがあったかについてみると、「まったくなかった」が 92.4%と最も多く、次いで「まれにあった」が 4.7%となっています。

学年・生活層別にみると、小学生保護者・中学生保護者ともに生活困難層ほど「ときどきあった」「まれにあった」の割合が高くなる傾向がみられます。

%	n	よくあった	ときどきあった	まれにあった	まったくなかった	不明・無回答
全体	1,714	0.4	1.8	4.7	92.4	0.8
小学生	困窮層	32	3.1	21.9	37.5	0.0
	周辺層	86	1.2	8.1	19.8	0.0
	一般層	561	0.0	0.0	0.0	100.0
中学生	困窮層	36	5.6	19.4	55.6	16.7
	周辺層	79	0.0	3.8	22.8	73.4
	一般層	499	0.0	0.0	0.0	100.0

問 35 あなたのご家庭では、過去 1 年の間に、お金が足りなくて、家族が必要とする衣類を買えないことがありましたか。（1 つに○）

過去1年の間に、お金が足りなくて、家族が必要とする衣類を買えないことがあったかについてみると、「まったくなかった」が 89.6%と最も多く、次いで「まれにあった」が 6.0%となっています。

学年・生活層別にみると、小学生保護者・中学生保護者ともに生活困難層ほど「ときどきあった」「まれにあった」の割合が高くなる傾向がみられます。

%		n	よくあった	ときどきあった	まれにあった	まったくなかった	不明・無回答
全体		1,714	0.9	2.6	6.0	89.6	0.9
小学生	困窮層	32	6.3	25.0	59.4	9.4	0.0
	周辺層	86	4.7	9.3	30.2	55.8	0.0
	一般層	561	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
中学生	困窮層	36	13.9	19.4	55.6	11.1	0.0
	周辺層	79	2.5	10.1	32.9	54.4	0.0
	一般層	499	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0

問 36 あなたのご家庭では、お子さんの進学のために積立（預貯金）や学資保険などに参加していますか。（1 つに○）

こどもの進学のために積立（預貯金）や学資保険などに参加しているかについてみると、「現在している」が 74.7%と最も多く、次いで「していない」が 19.3%となっています。

学年・生活層別にみると、小学生保護者・中学生保護者ともに生活困難層ほど「していない」の割合が高くなる傾向がみられます。

%		n	現在している	過去にしていた （進学のために 使用した）	過去にしていた （進学以外に使用した）	していない	不明・無回答
全体		1,714	74.7	1.9	3.0	19.3	1.2
小学生	困窮層	32	40.6	0.0	12.5	46.9	0.0
	周辺層	86	62.8	3.5	3.5	30.2	0.0
	一般層	561	83.4	0.5	1.6	14.3	0.2
中学生	困窮層	36	44.4	2.8	13.9	38.9	0.0
	周辺層	79	57.0	5.1	12.7	25.3	0.0
	一般層	499	76.4	2.8	2.4	18.0	0.4

問 37 過去1年の間に、経済的な理由で、以下のサービス・料金について、支払えないことがありましたか。(それぞれ、あてはまる番号1つに○)

A 電話料金

過去1年の間に、電話料金が支払えないことがあったかについてみると、「なかった」が92.2%と最も多く、次いで「該当しない(払う必要がない)」が6.0%となっています。

学年・生活層別にみると、中学生保護者では困窮層・周辺層で「なかった」の割合が一般層と比べて低くなっています。

	%	n	あった	なかった	該当しない(払う必要がない)	不明・無回答
全体		1,714	0.8	92.2	6.0	1.0
小学生	困窮層	32	6.3	93.8	0.0	0.0
	周辺層	86	3.5	90.7	5.8	0.0
	一般層	561	0.0	95.0	5.0	0.0
中学生	困窮層	36	5.6	83.3	11.1	0.0
	周辺層	79	5.1	84.8	8.9	1.3
	一般層	499	0.0	95.0	5.0	0.0

B 電気料金

過去1年の間に、電気料金が支払えないことがあったかについてみると、「なかった」が92.4%と最も多く、次いで「該当しない(払う必要がない)」が5.8%となっています。

学年・生活層別にみると、中学生保護者では困窮層で「あった」の割合が他の層と比べて高くなっています。

	%	n	あった	なかった	該当しない(払う必要がない)	不明・無回答
全体		1,714	0.8	92.4	5.8	1.0
小学生	困窮層	32	3.1	96.9	0.0	0.0
	周辺層	86	4.7	89.5	5.8	0.0
	一般層	561	0.0	95.2	4.8	0.0
中学生	困窮層	36	13.9	75.0	11.1	0.0
	周辺層	79	3.8	87.3	7.6	1.3
	一般層	499	0.0	94.8	5.2	0.0

C ガス料金

過去1年の間に、ガス料金が支払えないことがあったかについてみると、「なかった」が88.5%と最も多く、次いで「該当しない(払う必要がない)」が9.7%となっています。

学年・生活層別にみると、中学生保護者では困窮層で「あった」の割合が他の層と比べて高くなっています。

%		n	あった	なかった	該当しない(払う必要がない)	不明・無回答
全体		1,714	0.7	88.5	9.7	1.1
小学生	困窮層	32	6.3	90.6	3.1	0.0
	周辺層	86	4.7	86.0	8.1	1.2
	一般層	561	0.0	90.4	9.6	0.0
中学生	困窮層	36	11.1	77.8	11.1	0.0
	周辺層	79	1.3	86.1	11.4	1.3
	一般層	499	0.0	91.0	9.0	0.0

D 水道料金

過去1年の間に、水道料金が支払えないことがあったかについてみると、「なかった」が92.1%と最も多く、次いで「該当しない(払う必要がない)」が5.8%となっています。

学年・生活層別にみると、小学生保護者では困窮層・周辺層で、中学生保護者では困窮層で「あった」の割合が他の層と比べて高くなっています。

%		n	あった	なかった	該当しない(払う必要がない)	不明・無回答
全体		1,714	1.1	92.1	5.8	1.0
小学生	困窮層	32	9.4	90.6	0.0	0.0
	周辺層	86	5.8	88.4	5.8	0.0
	一般層	561	0.0	95.2	4.8	0.0
中学生	困窮層	36	16.7	72.2	11.1	0.0
	周辺層	79	2.5	88.6	7.6	1.3
	一般層	499	0.0	94.8	5.2	0.0

E 家賃

過去1年の間に、家賃が支払えないことがあったかについてみると、「なかった」が70.2%と最も多く、次いで「該当しない(払う必要がない)」が27.1%となっています。

学年・生活層別にみると、小学生保護者・中学生保護者ともに困窮層で「あった」の割合が他の層と比べて高くなっています。

%		n	あった	なかった	該当しない(払う必要がない)	不明・無回答
全体		1,714	1.1	70.2	27.1	1.7
小学生	困窮層	32	15.6	62.5	18.8	3.1
	周辺層	86	3.5	64.0	30.2	2.3
	一般層	561	0.0	70.6	29.4	0.0
中学生	困窮層	36	11.1	63.9	22.2	2.8
	周辺層	79	3.8	67.1	26.6	2.5
	一般層	499	0.0	70.9	29.1	0.0

F 住宅ローン

過去1年の間に、住宅ローンが支払えないことがあったかについてみると、「なかった」が72.3%と最も多く、次いで「該当しない(払う必要がない)」が25.1%となっています。

学年・生活層別にみると、小学生保護者・中学生保護者ともに困窮層で「なかった」の割合が低くなっています。

%		n	あった	なかった	該当しない(払う必要がない)	不明・無回答
全体		1,714	0.6	72.3	25.1	2.0
小学生	困窮層	32	6.3	56.3	31.3	6.3
	周辺層	86	4.7	67.4	27.9	0.0
	一般層	561	0.4	76.6	22.3	0.7
中学生	困窮層	36	0.0	50.0	38.9	11.1
	周辺層	79	0.0	67.1	29.1	3.8
	一般層	499	0.0	70.7	29.1	0.2

G その他の債務

過去1年の間に、その他の債務が支払えないことがあったかについてみると、「なかった」が62.4%と最も多く、次いで「該当しない(払う必要がない)」が32.3%となっています。

学年・生活層別にみると、小学生保護者・中学生保護者ともに生活困難層ほど「あった」の割合が高くなる傾向がみられます。

%		n	あった	なかった	該当しない(払う必要がない)	不明・無回答
全体		1,714	2.9	62.4	32.3	2.3
小学生	困窮層	32	28.1	40.6	28.1	3.1
	周辺層	86	7.0	65.1	25.6	2.3
	一般層	561	1.1	64.2	33.9	0.9
中学生	困窮層	36	36.1	30.6	27.8	5.6
	周辺層	79	11.4	54.4	34.2	0.0
	一般層	499	0.4	62.7	36.7	0.2

問 38 過去1年間において、あなたのご家庭では、お子さんと次のような体験をしましたか。(1つに○)

A 海水浴に行く

過去1年間において、海水浴に行ったかについてみると、「ない、その他の理由で」が43.4%と最も多く、次いで「ある」が34.9%となっています。

学年・生活層別にみると、小学生保護者・中学生保護者ともに困窮層で「ない、金銭的な理由で」の割合が他の層と比べて高くなっています。

%		n	ある	ない、金銭的な理由で	ない、時間の制約で	ない、その他の理由で	不明・無回答
全体		1,714	34.9	2.4	18.0	43.4	1.3
小学生	困窮層	32	34.4	40.6	12.5	12.5	0.0
	周辺層	86	38.4	7.0	20.9	33.7	0.0
	一般層	561	48.0	0.0	14.4	37.4	0.2
中学生	困窮層	36	22.2	38.9	13.9	25.0	0.0
	周辺層	79	19.0	5.1	29.1	46.8	0.0
	一般層	499	22.6	0.0	19.6	57.5	0.2

B 博物館・科学館・美術館などに行く

過去1年間において、博物館・科学館・美術館などに行ったかについてみると、「ある」が 55.1%と最も多く、次いで「ない、その他の理由で」が 29.1%となっています。

学年・生活層別にみると、小学生保護者・中学生保護者ともに困窮層で「ない、金銭的な理由で」の割合が他の層と比べて高くなっています。

%		n	ある	ない、金銭的な理由で	ない、時間の制約で	ない、その他の理由で	不明・無回答
全体		1,714	55.1	1.5	13.0	29.1	1.3
小学生	困窮層	32	46.9	34.4	6.3	12.5	0.0
	周辺層	86	60.5	2.3	20.9	16.3	0.0
	一般層	561	70.9	0.0	9.3	19.3	0.5
中学生	困窮層	36	19.4	25.0	27.8	27.8	0.0
	周辺層	79	36.7	0.0	19.0	44.3	0.0
	一般層	499	46.9	0.0	15.0	37.9	0.2

C キャンプやバーベキューに行く

過去1年間において、キャンプやバーベキューに行ったかについてみると、「ない、その他の理由で」が 41.8%と最も多く、次いで「ある」が 39.2%となっています。

学年・生活層別にみると、小学生保護者・中学生保護者ともに困窮層で「ない、金銭的な理由で」の割合が他の層と比べて高くなっています。

%		n	ある	ない、金銭的な理由で	ない、時間の制約で	ない、その他の理由で	不明・無回答
全体		1,714	39.2	2.9	14.9	41.8	1.2
小学生	困窮層	32	25.0	50.0	6.3	18.8	0.0
	周辺層	86	44.2	5.8	18.6	31.4	0.0
	一般層	561	52.9	0.0	11.2	35.7	0.2
中学生	困窮層	36	8.3	38.9	19.4	33.3	0.0
	周辺層	79	16.5	7.6	20.3	55.7	0.0
	一般層	499	30.3	0.0	17.2	52.3	0.2

D スポーツ観戦や劇場に行く

過去1年間において、スポーツ観戦や劇場に行ったかについてみると、「ある」が 59.7%と最も多く、次いで「ない、その他の理由で」が 27.7%となっています。

学年・生活層別にみると、小学生保護者・中学生保護者ともに困窮層で「ない、金銭的な理由で」の割合が他の層と比べて高くなっています。

%	n	ある	ない、金銭的な理由で	ない、時間の制約で	ない、その他の理由で	不明・無回答
全体	1,714	59.7	2.8	9.0	27.7	0.8
小学生	困窮層	28.1	53.1	6.3	12.5	0.0
	周辺層	62.8	9.3	9.3	18.6	0.0
	一般層	69.2	0.0	7.3	23.5	0.0
中学生	困窮層	36.1	33.3	5.6	25.0	0.0
	周辺層	44.3	5.1	12.7	38.0	0.0
	一般層	57.3	0.2	10.0	32.5	0.0

E 遊園地やテーマパークに行く

過去1年間において、遊園地やテーマパークに行ったかについてみると、「ある」が 67.7%と最も多く、次いで「ない、その他の理由で」が 18.7%となっています。

学年・生活層別にみると、小学生保護者・中学生保護者ともに困窮層で「ない、金銭的な理由で」の割合が他の層と比べて高くなっています。

%	n	ある	ない、金銭的な理由で	ない、時間の制約で	ない、その他の理由で	不明・無回答
全体	1,714	67.7	5.0	7.8	18.7	0.8
小学生	困窮層	34.4	62.5	3.1	0.0	0.0
	周辺層	77.9	8.1	5.8	8.1	0.0
	一般層	83.2	1.4	4.1	11.2	0.0
中学生	困窮層	19.4	58.3	11.1	11.1	0.0
	周辺層	45.6	10.1	15.2	29.1	0.0
	一般層	59.7	1.2	10.4	28.7	0.0

問 39 次のもののうち、経済的理由のためにあなたの世帯にないものはありますか（方針として所有していないものは除く）。（あてはまる番号すべてに○）

経済的理由のために世帯ないものについてみると、「あてはまるものはない」が 63.2%と最も多く、次いで「新聞の定期購読（ネット含む）」が 7.9%となっています。

小学生保護者・中学生保護者ともに生活困難層ほど回答割合が高くなる項目が多く、特に「急な出費のための貯金（5万円以上）」は小学生保護者・中学生保護者ともに困窮層で5割台となっています。

%	n	こどもの年齢に合った本	こども用のスポーツ用品・おもちゃ	こどもが自宅で宿題をすることができる場所	洗濯機	炊飯器	掃除機	暖房機器	冷房機器	電子レンジ
全体	1,714	1.2	0.7	2.9	0.1	0.1	0.2	0.3	0.5	0.1
小学生										
困窮層	32	15.6	9.4	28.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
周辺層	86	1.2	1.2	5.8	0.0	0.0	0.0	0.0	3.5	0.0
一般層	561	0.4	0.0	1.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
中学生										
困窮層	36	16.7	13.9	25.0	0.0	0.0	5.6	5.6	8.3	0.0
周辺層	79	1.3	1.3	8.9	0.0	0.0	0.0	1.3	1.3	0.0
一般層	499	0.2	0.0	1.4	0.0	0.2	0.0	0.2	0.2	0.0

%	n	電話（携帯電話・スマートフォン含む）	インターネットにつながるパソコン	新聞の定期購読（ネット含む）	世帯専用のおふろ	世帯人数分のベッドまたは布団	急な出費のための貯金（5万円以上）	あてはまるものはない	不明・無回答
全体	1,714	0.4	2.1	7.9	0.2	1.8	7.1	63.2	21.4
小学生									
困窮層	32	9.4	9.4	34.4	0.0	15.6	53.1	21.9	3.1
周辺層	86	1.2	8.1	12.8	0.0	5.8	26.7	45.3	15.1
一般層	561	0.0	0.4	6.1	0.0	0.7	2.1	69.7	21.0
中学生									
困窮層	36	5.6	13.9	41.7	2.8	16.7	55.6	8.3	5.6
周辺層	79	0.0	8.9	20.3	1.3	2.5	24.1	50.6	7.6
一般層	499	0.0	1.0	4.8	0.0	0.6	1.2	72.3	20.0

問 40 あなたの世帯で、次のような公的年金、社会保障給付金の1回あたりの支給額はいくらですか。（数字を記入）

A 児童手当

児童手当の支給額についてみると、「5万円以上」が 22.5%と最も多く、次いで「4万円台」が 19.2%となっています。

学年・生活層別にみると、小学生保護者・中学生保護者ともに生活困難層ほど「5万円以上」の割合が高くなる傾向がみられます。

%	n	なし	1万円未満	1万円台	2万円台	3万円台	4万円台	5万円以上	不明・無回答
全体	1,714	16.0	8.4	9.6	8.1	0.5	19.2	22.5	15.9
小学生									
困窮層	32	6.3	3.1	9.4	3.1	3.1	15.6	56.3	3.1
周辺層	86	11.6	5.8	7.0	7.0	0.0	20.9	41.9	5.8
一般層	561	16.6	7.5	11.2	7.3	0.5	20.0	26.4	10.5
中学生									
困窮層	36	0.0	5.6	8.3	2.8	0.0	27.8	44.4	11.1
周辺層	79	10.1	3.8	15.2	7.6	0.0	21.5	30.4	11.4
一般層	499	20.2	11.0	7.6	11.2	0.4	20.2	17.4	11.8

B 児童育成手当

児童育成手当の支給額についてみると、「なし」が 62.7%と最も多く、次いで「3万円以上」が 0.6%となっています。

学年・生活層別にみると、中学生保護者では困窮層で「なし」の割合が他の層と比べて低くなっています。

	%	n	なし	1万円未満	1万円台	2万円台	3万円以上	不明・無回答
全体		1,714	62.7	0.1	0.1	0.1	0.6	36.5
小学生	困窮層	32	65.6	0.0	0.0	0.0	3.1	31.3
	周辺層	86	67.4	0.0	1.2	0.0	0.0	31.4
	一般層	561	65.6	0.0	0.0	0.0	0.4	34.0
中学生	困窮層	36	52.8	0.0	0.0	0.0	8.3	38.9
	周辺層	79	72.2	0.0	0.0	1.3	1.3	25.3
	一般層	499	70.3	0.2	0.0	0.0	0.8	28.7

C 児童扶養手当

児童扶養手当の支給額についてみると、「なし」が 63.0%と最も多く、次いで「3万円以上」が 0.3%となっています。

学年・生活層別にみると、中学生保護者では困窮層で「なし」の割合が他の層と比べて低くなっています。

	%	n	なし	1万円未満	1万円台	2万円台	3万円以上	不明・無回答
全体		1,714	63.0	0.1	0.1	0.1	0.3	36.6
小学生	困窮層	32	68.8	0.0	0.0	0.0	0.0	31.3
	周辺層	86	68.6	0.0	0.0	0.0	0.0	31.4
	一般層	561	65.8	0.0	0.0	0.0	0.2	34.0
中学生	困窮層	36	50.0	0.0	0.0	0.0	8.3	41.7
	周辺層	79	70.9	1.3	1.3	1.3	0.0	25.3
	一般層	499	71.3	0.0	0.0	0.0	0.2	28.5

D 特別児童扶養手当

特別児童扶養手当の支給額についてみると、「なし」が 63.4%と最も多く、次いで「3万円以上」が 0.2%となっています。

学年・生活層別にみると、中学生保護者では困窮層で「なし」の割合が他の層と比べて低くなっています。

	%	n	なし	1万円未満	1万円台	2万円台	3万円以上	不明・無回答
全体		1,714	63.4	0.1	0.1	0.0	0.2	36.3
小学生	困窮層	32	65.6	0.0	0.0	0.0	3.1	31.3
	周辺層	86	67.4	0.0	0.0	0.0	1.2	31.4
	一般層	561	66.1	0.0	0.0	0.0	0.2	33.7
中学生	困窮層	36	61.1	0.0	0.0	0.0	0.0	38.9
	周辺層	79	74.7	0.0	0.0	0.0	0.0	25.3
	一般層	499	71.1	0.0	0.2	0.0	0.0	28.7

E 年金（遺族年金、老齢年金など）

年金の支給額についてみると、「なし」が 63.2%と最も多く、次いで「3万円以上」が 0.9%となっています。

学年・生活層別にみると、中学生保護者では困窮層で「なし」の割合が他の層と比べて低くなっています。

%	n	なし	1万円未満	1万円台	2万円台	3万円以上	不明・無回答
全体	1,714	63.2	0.1	0.0	0.1	0.9	35.7
小学生	困窮層	32	68.8	0.0	0.0	3.1	28.1
	周辺層	86	67.4	0.0	0.0	0.0	32.6
	一般層	561	66.8	0.0	0.0	0.4	32.8
中学生	困窮層	36	58.3	2.8	0.0	0.0	38.9
	周辺層	79	73.4	0.0	0.0	1.3	24.1
	一般層	499	70.7	0.0	0.0	0.2	27.5

F 生活保護

生活保護の支給額についてみると、「なし」が 64.2%と最も多く、次いで「1万円未満」「3万円以上」が 0.1%となっています。

学年・生活層別にみると、中学生保護者では困窮層で「なし」の割合が他の層と比べて低くなっています。

%	n	なし	1万円未満	1万円台	2万円台	3万円以上	不明・無回答
全体	1,714	64.2	0.1	0.0	0.0	0.1	35.6
小学生	困窮層	32	68.8	0.0	0.0	0.0	31.3
	周辺層	86	69.8	0.0	0.0	1.2	29.1
	一般層	561	67.4	0.2	0.0	0.0	32.4
中学生	困窮層	36	61.1	0.0	0.0	0.0	38.9
	周辺層	79	74.7	0.0	0.0	0.0	25.3
	一般層	499	71.9	0.0	0.0	0.0	28.1

第3部 子育て世帯生活実態調査結果

問 41 問 40 で回答いただいた、公的年金と社会保障給付金以外の収入についておうかがいします。お子さんと生計を共にしている世帯全員の方の、おおよその年間収入（税込）はいくらですか。（1つに○）

世帯全員の年間収入についてみると、「900 万円以上」が 45.2%と最も多く、次いで「800～900 万円未満」が 8.1%となっています。

学年・生活層別にみると、小学生保護者・中学生保護者ともに生活困難層ほど「900 万円以上」の割合が低くなる傾向がみられます。

%	n	収入はない（0円）	1～50万円未満	50～100万円未満	100～200万円未満	200～300万円未満	300～400万円未満	400～500万円未満
全体	1,714	2.3	0.6	0.5	0.4	0.9	2.3	4.0
小学生	困窮層	32	9.4	0.0	3.1	3.1	6.3	3.1
	周辺層	86	17.4	4.7	3.5	3.5	1.2	2.3
	一般層	561	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.6
中学生	困窮層	36	11.1	2.8	0.0	5.6	11.1	16.7
	周辺層	79	13.9	3.8	0.0	0.0	2.5	11.4
	一般層	499	0.0	0.0	0.0	0.0	0.4	2.2

%	n	500～600万円未満	600～700万円未満	700～800万円未満	800～900万円未満	900万円以上	わからない	不明・無回答
全体	1,714	4.8	6.4	5.5	8.1	45.2	4.7	14.2
小学生	困窮層	32	9.4	12.5	9.4	12.5	6.3	9.4
	周辺層	86	8.1	15.1	7.0	11.6	15.1	4.7
	一般層	561	5.7	7.7	6.8	8.9	59.4	5.0
中学生	困窮層	36	0.0	8.3	5.6	5.6	8.3	5.6
	周辺層	79	8.9	8.9	7.6	7.6	19.0	5.1
	一般層	499	5.0	5.0	6.0	9.8	62.9	4.6

問 42 お子さんの生活費や学費についておうかがいします。次の費用は、毎月いくらくらいかかっていますか。平均的な金額を教えてください。（数字を記入）

A 授業料・学校納付金

毎月の授業料・学校納付金についてみると、「10,000～30,000 円未満」が 23.9%と最も多く、次いで「50,000 円以上」が 17.2%となっています。

学年・生活層別にみると、中学生保護者では生活困難層ほど「50,000 円以上」の割合が低くなる傾向がみられます。

%	n	なし	5,000円未満	5,000～10,000円未満	10,000～30,000円未満	30,000～50,000円未満	50,000円以上	不明・無回答
全体	1,714	13.4	6.0	14.8	23.9	2.7	17.2	21.9
小学生	困窮層	32	9.4	6.3	15.6	31.3	3.1	18.8
	周辺層	86	16.3	7.0	19.8	34.9	4.7	5.8
	一般層	561	18.7	11.6	21.2	24.1	1.2	5.7
中学生	困窮層	36	16.7	8.3	5.6	33.3	2.8	8.3
	周辺層	79	11.4	1.3	21.5	17.7	6.3	25.3
	一般層	499	11.4	1.8	11.0	27.9	4.0	31.7

B 塾など、学校外でかかる教育費

毎月の塾など、学校外でかかる教育費についてみると、「50,000 円以上」が 27.7%と最も多く、次いで「30,000～50,000 円未満」が 17.9%となっています。

学年・生活層別にみると、小学生保護者では生活困難層ほど「なし」の割合が高く、中学生保護者では生活困難層ほど「50,000 円以上」の割合が低くなる傾向がみられます。

%	n	なし	5,000円未満	5,000～10,000 円未満	10,000～30,000 円未満	30,000～50,000 円未満	50,000円以上	不明・無回答
全体	1,714	16.6	1.2	5.4	16.9	17.9	27.7	14.3
小学生	困窮層	32	43.8	3.1	9.4	15.6	6.3	15.6
	周辺層	86	18.6	2.3	4.7	23.3	14.0	8.1
	一般層	561	13.7	2.1	8.9	22.6	17.1	7.1
中学生	困窮層	36	25.0	0.0	5.6	19.4	16.7	16.7
	周辺層	79	15.2	1.3	5.1	15.2	29.1	10.1
	一般層	499	20.2	0.6	1.2	14.8	22.0	7.6

C 習い事（スポーツクラブなど以外）

毎月の習い事の費用についてみると、「なし」が 37.9%と最も多く、次いで「10,000～30,000 円未満」が 23.9%となっています。

学年・生活層別にみると、小学生保護者では困窮層で「なし」の割合が他の層と比べて高くなっています。

%	n	なし	5,000円未満	5,000～10,000 円未満	10,000～30,000 円未満	30,000～50,000 円未満	50,000円以上	不明・無回答
全体	1,714	37.9	2.9	9.6	23.9	5.3	1.6	18.8
小学生	困窮層	32	34.4	6.3	6.3	18.8	0.0	15.6
	周辺層	86	24.4	2.3	17.4	37.2	2.3	16.3
	一般層	561	24.8	4.3	15.2	35.7	8.2	10.0
中学生	困窮層	36	61.1	0.0	0.0	11.1	0.0	27.8
	周辺層	79	54.4	1.3	3.8	20.3	2.5	17.7
	一般層	499	58.9	2.4	6.6	15.2	2.4	13.2

D スポーツクラブ・部活

毎月のスポーツクラブ・部活の費用についてみると、「なし」が 48.4%と最も多く、次いで「10,000～30,000 円未満」が 11.4%となっています。

学年・生活層別にみると、小学生保護者では困窮層で「なし」の割合が他の層と比べて高くなっています。

%	n	なし	3,000円未満	3,000～5,000円 未満	5,000～10,000 円未満	10,000～30,000 円未満	30,000円以上	不明・無回答
全体	1,714	48.4	6.8	2.5	7.6	11.4	2.2	21.1
小学生	困窮層	32	59.4	6.3	0.0	6.3	6.3	15.6
	周辺層	86	46.5	5.8	2.3	10.5	11.6	18.6
	一般層	561	52.2	4.5	2.3	8.9	16.8	13.5
中学生	困窮層	36	47.2	8.3	2.8	5.6	11.1	22.2
	周辺層	79	54.4	7.6	2.5	10.1	11.4	11.4
	一般層	499	52.5	9.0	4.8	8.4	9.8	13.0

E こどもの昼食代、夕食代、おやつ代（外食含む）

毎月のこどもの昼食代、夕食代、おやつ代についてみると、「10,000～30,000 円未満」が 31.3%と最も多く、次いで「5,000～10,000 円未満」が 11.6%となっています。

学年・生活層別にみると、小学生保護者では困窮層で「10,000～30,000 円未満」、中学生保護者では困窮層で「30,000～50,000 円未満」の割合が他の層と比べて高くなっています。

%	n	なし	3,000円未満	3,000～5,000円 未満	5,000～10,000 円未満	10,000～30,000 円未満	30,000～50,000 円未満	50,000円以上	不明・無回答
全体	1,714	7.3	6.3	6.4	11.6	31.3	11.4	5.3	20.5
小学生									
困窮層	32	3.1	3.1	0.0	21.9	40.6	15.6	6.3	9.4
周辺層	86	7.0	8.1	9.3	16.3	30.2	12.8	3.5	12.8
一般層	561	8.0	5.9	6.2	11.6	33.9	11.6	5.7	17.1
中学生									
困窮層	36	5.6	2.8	2.8	11.1	33.3	19.4	8.3	16.7
周辺層	79	12.7	6.3	3.8	15.2	27.8	11.4	7.6	15.2
一般層	499	9.0	8.6	8.6	14.6	31.5	11.6	5.8	10.2

F こどもの服・靴

毎月のこどもの服・靴の費用についてみると、「5,000～10,000 円未満」が 28.3%と最も多く、次いで「10,000～30,000 円未満」が 26.9%となっています。

学年・生活層別にみると、小学生保護者では困窮層で「なし」の割合が他の層と比べて高くなっています。

%	n	なし	3,000円未満	3,000～5,000円 未満	5,000～10,000 円未満	10,000～30,000 円未満	30,000円以上	不明・無回答
全体	1,714	4.0	8.7	12.4	28.3	26.9	2.0	17.6
小学生								
困窮層	32	28.1	9.4	9.4	9.4	31.3	3.1	9.4
周辺層	86	4.7	5.8	9.3	33.7	32.6	0.0	14.0
一般層	561	2.0	11.2	15.9	31.0	26.6	2.1	11.2
中学生								
困窮層	36	8.3	11.1	8.3	25.0	19.4	5.6	22.2
周辺層	79	8.9	10.1	12.7	21.5	30.4	3.8	12.7
一般層	499	3.8	8.6	13.4	33.5	30.5	1.0	9.2

G お小遣い

毎月のお小遣いについてみると、「3,000 円未満」が 27.9%と最も多く、次いで「なし」が 26.8%となっています。

学年・生活層別にみると、小学生保護者・中学生保護者ともに困窮層で「なし」の割合が他の層と比べて高くなっています。

%	n	なし	3,000円未満	3,000～5,000円 未満	5,000～10,000 円未満	10,000～30,000 円未満	30,000円以上	不明・無回答
全体	1,714	26.8	27.9	14.9	9.5	4.8	0.4	15.8
小学生								
困窮層	32	40.6	28.1	6.3	9.4	3.1	3.1	9.4
周辺層	86	34.9	33.7	4.7	8.1	5.8	0.0	12.8
一般層	561	35.3	41.0	5.0	5.2	2.0	0.5	11.1
中学生								
困窮層	36	36.1	11.1	11.1	16.7	8.3	0.0	16.7
周辺層	79	24.1	22.8	22.8	13.9	8.9	0.0	7.6
一般層	499	21.2	19.2	28.9	15.4	7.0	0.4	7.8

H (お子さんの) 携帯電話・スマートフォンの代金

毎月の携帯電話・スマートフォンの代金についてみると、「3,000 円未満」が 32.4%と最も多く、次いで「3,000～5,000 円未満」が 18.2%となっています。

学年・生活層別にみると、小学生保護者では生活困難層ほど「3,000 円未満」の割合が低くなる傾向がみられます。

%		n	なし	3,000円未満	3,000～5,000円 未満	5,000～10,000 円未満	10,000～30,000 円未満	30,000円以上	不明・無回答
全体		1,714	12.8	32.4	18.2	15.1	6.3	0.2	14.9
小学生	困窮層	32	21.9	28.1	9.4	18.8	6.3	0.0	15.6
	周辺層	86	17.4	36.0	17.4	9.3	11.6	0.0	8.1
	一般層	561	19.4	46.2	14.8	7.3	2.7	0.0	9.6
中学生	困窮層	36	11.1	22.2	13.9	22.2	16.7	0.0	13.9
	周辺層	79	6.3	31.6	21.5	19.0	13.9	1.3	6.3
	一般層	499	7.0	25.5	25.5	25.3	8.2	0.6	8.0

問 43 あなたのご家庭では、お子さんのために就学援助費を受け取っていますか。
(1つに○)

就学援助費を受け取っているかについてみると、「受け取っていない」が 88.2%と最も多く、次いで「受け取っている」が 7.1%となっています。

学年・生活層別にみると、小学生保護者・中学生保護者ともに生活困難層ほど「受け取っている」の割合が高くなる傾向がみられます。

%		n	受け取っている	受け取っていない	わからない	不明・無回答
全体		1,714	7.1	88.2	1.6	3.0
小学生	困窮層	32	37.5	59.4	3.1	0.0
	周辺層	86	11.6	86.0	1.2	1.2
	一般層	561	4.3	94.1	1.6	0.0
中学生	困窮層	36	36.1	58.3	5.6	0.0
	周辺層	79	19.0	77.2	2.5	1.3
	一般層	499	6.4	92.4	1.2	0.0

第3部 子育て世帯生活実態調査結果

問 43 で「受け取っていない」を選んだ方

問 43-2 受け取っていない理由は、何ですか。次のうち最も近いものに○をつけてください。（1つに○）

就学援助費を受け取っていない理由についてみると、「申請しなかった（必要ないと判断した）」が63.4%と最も多く、次いで「申請しなかった（必要であるが、申請要件を満たしていなかった）」が21.0%となっています。

学年・生活層別にみると、小学生保護者・中学生保護者ともに生活困難層ほど「申請しなかった（必要であるが、申請要件を満たしていなかった）」の割合が高くなる傾向がみられます。

%	n	申請しなかった （必要である が、申請要件を 満たしていな かった）	申請しなかった （必要である が、申請の仕 方がわからな かった）	申請しなかった （必要である が、申請する ことに抵抗があ った）	申請しなかった （必要ないと判 断した）	申請したが、認 定されなかった	就学援助制度を 知らなかった	その他	不明・無回答
全体	1,512	21.0	0.3	0.3	63.4	6.2	4.1	2.2	2.4
小学生									
困窮層	19	47.4	0.0	5.3	10.5	21.1	5.3	5.3	5.3
周辺層	74	25.7	0.0	1.4	55.4	6.8	6.8	2.7	1.4
一般層	528	13.8	0.2	0.4	75.2	3.4	3.8	1.9	1.3
中学生									
困窮層	21	47.6	0.0	0.0	14.3	33.3	0.0	4.8	0.0
周辺層	61	31.1	1.6	0.0	47.5	9.8	6.6	1.6	1.6
一般層	461	23.0	0.4	0.0	62.3	7.6	2.8	2.8	1.1

7 お子さんのお母さまとお父さまのこれまでのご経験について

問 44 お子さんのお母さまが、最後に通った学校は次のどちらにあたりますか。
(1つに○)

母親の最終学歴についてみると、「大学」が 43.1%と最も多く、次いで「短期大学」が 20.0%となっています。

学年・生活層別にみると、小学生保護者・中学生保護者ともに生活困難層ほど「大学」の割合が低くなる傾向がみられます。

%	n	中学校	高等学校（全日制）	高等学校（定時制または通信制）	高等専修学校（中学校卒業後に進む1～4年間の専修学校）	高等専門学校（中学校卒業時に進む5年間の学校、高専）	短期大学	専門学校（高校卒業時に進む1～4年間程度の専修学校専門課程）	大学	大学院	その他	わからない	不明・無回答
全体	1,714	0.3	10.4	1.6	0.5	0.2	20.0	16.3	43.1	4.4	0.2	0.2	2.7
小学生													
困窮層	32	3.1	31.3	6.3	0.0	0.0	18.8	3.1	31.3	6.3	0.0	0.0	0.0
周辺層	86	0.0	7.0	1.2	2.3	0.0	14.0	19.8	47.7	4.7	0.0	0.0	3.5
一般層	561	0.2	7.3	0.7	0.4	0.0	18.2	14.8	52.2	4.8	0.2	0.2	1.1
中学生													
困窮層	36	2.8	22.2	2.8	0.0	0.0	22.2	27.8	16.7	2.8	0.0	0.0	2.8
周辺層	79	0.0	20.3	5.1	1.3	1.3	21.5	13.9	31.6	1.3	0.0	1.3	2.5
一般層	499	0.4	9.0	1.2	0.2	0.4	21.8	16.2	41.7	5.0	0.2	0.2	3.6

問 44 で「わからない」以外を選んだ方

問 44-1 お子さんのお母さまは、問 44 で答えた学校を卒業されましたか。(1つに○)

母親の卒業状況についてみると、「卒業した」が 93.2%と最も多く、次いで「中途退学した」が 3.9%となっています。

学年・生活層別にみると、小学生保護者では周辺層で、中学生保護者では困窮層で「卒業した」が他の層と比べて低くなっています。

%	n	卒業した	中途退学した	その他	不明・無回答
全体	1,664	93.2	3.9	0.4	2.5
小学生					
困窮層	32	96.9	0.0	0.0	3.1
周辺層	83	86.7	8.4	1.2	3.6
一般層	554	96.0	2.5	0.0	1.4
中学生					
困窮層	35	85.7	11.4	0.0	2.9
周辺層	76	90.8	6.6	0.0	2.6
一般層	480	93.3	3.8	0.6	2.3

第3部 子育て世帯生活実態調査結果

問 45 お子さんのお父さまが、最後に通った学校は次のどちらにあたりますか。
(1つに○)

父親の最終学歴についてみると、「大学」が 56.9%と最も多く、次いで「大学院」が 12.3%となっています。

学年・生活層別にみると、小学生保護者・中学生保護者ともに困窮層で「高等学校(全日制)」の割合が他の層と比べて高く、「大学」の割合が低くなっています。

%	n	中学校	高等学校 (全日制)	高等学校 (定時制または通信制)	高等専修学校 (中学校卒業後に進む1～4年間の専修学校)	高等専門学校 (中学校卒業後に進む5年間の学校、高専)	短期大学	専門学校 (高校卒業時に進む1～4年間程度の専修学校専門課程)	大学	大学院	その他	わからない	不明・無回答
全体	1,714	0.6	10.7	2.3	0.2	1.0	0.5	11.0	56.9	12.3	0.3	0.2	4.0
小学生													
困窮層	32	3.1	31.3	3.1	0.0	3.1	0.0	12.5	37.5	3.1	0.0	0.0	6.3
周辺層	86	0.0	10.5	3.5	1.2	0.0	0.0	18.6	53.5	11.6	0.0	0.0	1.2
一般層	561	0.4	8.0	2.3	0.2	1.1	0.5	8.9	64.9	11.8	0.2	0.0	1.8
中学生													
困窮層	36	2.8	30.6	5.6	0.0	2.8	2.8	19.4	25.0	5.6	0.0	2.8	2.8
周辺層	79	1.3	21.5	2.5	0.0	1.3	0.0	12.7	51.9	3.8	0.0	0.0	5.1
一般層	499	0.4	10.0	1.8	0.4	0.6	0.6	9.6	57.1	15.0	0.2	0.0	4.2

問 45 で「わからない」以外を選んだ方

問 45-1 お子さんのお父さまは、問 45 で答えた学校を卒業されましたか。(1つに○)

父親の卒業状況についてみると、「卒業した」が 93.9%と最も多く、次いで「中途退学した」が 5.2%となっています。

学年・生活層別にみると、中学生保護者では困窮層・周辺層で「卒業した」が一般層と比べて低くなっています。

%	n	卒業した	中途退学した	その他	不明・無回答
全体	1,643	93.9	5.2	0.1	0.9
小学生					
困窮層	30	93.3	6.7	0.0	0.0
周辺層	85	89.4	10.6	0.0	0.0
一般層	551	94.4	4.5	0.0	1.1
中学生					
困窮層	34	88.2	11.8	0.0	0.0
周辺層	75	86.7	13.3	0.0	0.0
一般層	478	94.8	4.0	0.2	1.0

問 46 あなたが 15 歳の頃の、あなたのご家庭の暮らし向きについて、最も近いものに○をつけてください。(1つに○)

回答者が 15 歳の頃の、家庭の暮らし向きについてみると、「ふつう」が 46.6%と最も多く、次いで「ややゆとりがあった」が 19.6%となっています。

学年・生活層別にみると、小学生保護者では生活困難層ほど「やや苦しかった」の割合が高くなる傾向がみられます。

%	n	大変ゆとりがあった	ややゆとりがあった	ふつう	やや苦しかった	大変苦しかった	不明・無回答
全体	1,714	11.4	19.6	46.6	15.2	5.1	2.2
小学生							
困窮層	32	3.1	21.9	40.6	25.0	9.4	0.0
周辺層	86	10.5	16.3	47.7	20.9	3.5	1.2
一般層	561	10.0	19.8	51.2	14.6	3.0	1.4
中学生							
困窮層	36	11.1	13.9	44.4	19.4	8.3	2.8
周辺層	79	12.7	13.9	40.5	17.7	13.9	1.3
一般層	499	10.2	22.4	44.1	15.0	5.6	2.6

問 47 お子さんのお母さまが、成人する前に以下のような体験をしたことがありますか。
(あてはまる番号すべてに○)

母親が、成人する前に以下のような体験をしたことがあるかについてみると、「いずれも経験したことがない」が 79.0%と最も多く、次いで「両親が離婚した」が 7.2%となっています。

学年・生活層別にみると、小学生保護者では困窮層で「父親が亡くなった」の割合が他の層と比べて高くなっています。

%	n	両親が離婚した	親が生活保護を受けていた	母親が亡くなった	父親が亡くなった	親から暴力を振るわれた	育児放棄（ネグレクト）された	いずれも経験したことがない	不明・無回答	
全体	1,714	7.2	0.7	1.0	3.2	5.1	0.9	79.0	4.9	
小学生	困窮層	32	9.4	0.0	0.0	9.4	3.1	0.0	71.9	6.3
	周辺層	86	7.0	1.2	0.0	1.2	8.1	1.2	76.7	7.0
	一般層	561	6.6	0.5	1.6	3.4	4.6	1.1	82.4	1.8
中学生	困窮層	36	8.3	2.8	0.0	5.6	8.3	0.0	72.2	5.6
	周辺層	79	12.7	0.0	0.0	3.8	6.3	0.0	74.7	3.8
	一般層	499	6.0	0.4	1.0	2.8	5.6	0.6	79.6	5.8

問 48 お子さんのお父さまが、成人する前に以下のような体験をしたことがありますか。
(あてはまる番号すべてに○)

父親が、成人する前に以下のような体験をしたことがあるかについてみると、「いずれも経験したことがない」が 79.8%と最も多く、次いで「両親が離婚した」が 6.2%となっています。

学年・生活層別にみると、小学生保護者・中学生保護者ともに生活困難層ほど「両親が離婚した」の割合が高くなる傾向がみられます。

%	n	両親が離婚した	親が生活保護を受けていた	母親が亡くなった	父親が亡くなった	親から暴力を振るわれた	育児放棄（ネグレクト）された	いずれも経験したことがない	不明・無回答	
全体	1,714	6.2	0.3	1.6	2.7	3.9	0.6	79.8	6.4	
小学生	困窮層	32	12.5	0.0	3.1	6.3	3.1	0.0	65.6	12.5
	周辺層	86	7.0	0.0	3.5	2.3	9.3	0.0	75.6	3.5
	一般層	561	5.5	0.4	1.6	3.2	3.2	0.5	84.3	2.9
中学生	困窮層	36	13.9	0.0	0.0	5.6	11.1	8.3	58.3	8.3
	周辺層	79	10.1	0.0	5.1	0.0	2.5	0.0	75.9	6.3
	一般層	499	5.8	0.4	1.2	1.6	3.6	0.4	82.4	6.0

問 49 あなたはこどもをもってから、以下のような経験をしたことがありますか。
(あてはまる番号すべてに○)

こどもをもってから、以下のような経験をしたことがあるかについてみると、「いずれも経験したことがない」が 64.9%と最も多く、次いで「わが子を虐待しているのではないか、と思い悩んだことがある」が 15.9%となっています。

学年・生活層別にみると、小学生保護者・中学生保護者ともに生活困難層ほど「いずれも経験したことがない」の割合が低くなる傾向がみられます。

母親・父親の成人前の逆境体験状況別にみると、「親から暴力を振るわれた」層では、「わが子を虐待しているのではないか、と思い悩んだことがある」の割合が全体と比べて 20～30 ポイント程度高くなっており、「こどもに行き過ぎた体罰を与えたことがある」「出産や育児でうつ病(状態)になった時期がある」「自殺を考えたことがある」も 10 ポイント以上高くなっています。

%	n	配偶者（または元配偶者・パートナー）から暴力をふるわれたことがある	こどもに行き過ぎた体罰を与えたことがある	育児放棄になった時期がある	出産や育児でうつ病(状態)になった時期がある	わが子を虐待しているのではないか、と思い悩んだことがある	自殺を考えたことがある	いずれも経験したことがない	不明・無回答
全体	1,714	5.0	8.5	1.1	13.5	15.9	6.2	64.9	3.7
小学生									
困窮層	32	9.4	3.1	3.1	21.9	25.0	9.4	37.5	6.3
周辺層	86	9.3	5.8	1.2	19.8	19.8	7.0	61.6	1.2
一般層	561	3.4	7.7	0.7	13.5	16.6	6.2	68.4	2.0
中学生									
困窮層	36	25.0	16.7	11.1	27.8	25.0	25.0	38.9	8.3
周辺層	79	10.1	12.7	2.5	15.2	21.5	15.2	51.9	3.8
一般層	499	4.2	10.0	0.4	11.4	14.4	3.2	66.5	4.0

○クロス集計【母親の成人前の逆境体験状況別】

(%)	n	配偶者から暴力をふるわれたことがある	こどもに行き過ぎた体罰を与えたことがある	育児放棄になった時期がある	出産や育児でうつ病(状態)になった時期がある	わが子を虐待しているのではないか、と思い悩んだことがある	自殺を考えたことがある	いずれも経験したことがない	不明・無回答
問47 母親が成人する前にした体験									
全体	1,714	5.0	8.5	1.1	13.5	15.9	6.2	64.9	3.7
両親が離婚した	124	5.6	16.1	1.6	16.1	22.6	8.1	58.1	0.8
親が生活保護を受けていた	12	16.7	16.7	0.0	25.0	33.3	16.7	41.7	0.0
母親が亡くなった	17	11.8	11.8	5.9	17.6	11.8	0.0	64.7	0.0
父親が亡くなった	54	3.7	9.3	1.9	11.1	13.0	7.4	61.1	5.6
親から暴力を振るわれた	87	11.5	26.4	4.6	36.8	46.0	21.8	28.7	1.1
育児放棄(ネグレクト)された	15	20.0	26.7	6.7	40.0	66.7	26.7	13.3	0.0
いずれも経験したことがない	1,354	4.6	7.0	0.8	12.4	14.0	5.2	69.5	1.7

○クロス集計【父親の成人前の逆境体験状況別】

(%)	n	配偶者から暴力をふるわれたことがある	こどもに行き過ぎた体罰を与えたことがある	育児放棄になった時期がある	出産や育児でうつ病(状態)になった時期がある	わが子を虐待しているのではないか、と思い悩んだことがある	自殺を考えたことがある	いずれも経験したことがない	不明・無回答
問48 父親が成人する前にした体験									
全体	1,714	5.0	8.5	1.1	13.5	15.9	6.2	64.9	3.7
両親が離婚した	107	5.6	14.0	2.8	12.1	19.6	7.5	57.9	1.9
親が生活保護を受けていた	5	0.0	20.0	0.0	0.0	20.0	20.0	40.0	0.0
母親が亡くなった	28	10.7	7.1	0.0	32.1	25.0	10.7	57.1	0.0
父親が亡くなった	47	8.5	4.3	0.0	25.5	17.0	4.3	53.2	0.0
親から暴力を振るわれた	66	12.1	19.7	3.0	24.2	36.4	18.2	39.4	1.5
育児放棄(ネグレクト)された	10	0.0	0.0	0.0	10.0	20.0	20.0	70.0	0.0
いずれも経験したことがない	1,367	4.2	8.0	0.8	12.9	15.3	5.6	68.9	1.5

8 公的サポートについて

問 50 あなたは、こどもに関する施策等の情報をどういう方法で受け取っていますか。また、今後受け取りたいですか。(あてはまる番号すべてに○)

A 現在の受け取り方法

こどもに関する施策等の情報の現在の受け取り方法についてみると、「こうとう区報」が 82.4%と最も多く、次いで「学校からのお便り」が 62.5%となっています。

学年・生活層別にみると、小学生保護者・中学生保護者ともに困窮層で「こうとう区報」「家族や友人からの情報」の割合が他の層と比べて低くなっています。

%	n	こうとう区報	江東区ホームページ	江東くらしガイド	区SNS (LINE・X(旧Twitter)・PIAZZAなど)	学校からのお便り	こどもまつりや区民まつりなどの区の事業	窓口などの区の職員	家族や友人からの情報	その他	不明・無回答
全体	1,714	82.4	30.0	3.2	20.8	62.5	9.7	1.2	36.9	1.2	6.0
小学生											
困窮層	32	71.9	25.0	3.1	6.3	65.6	15.6	0.0	28.1	3.1	12.5
周辺層	86	86.0	19.8	7.0	20.9	72.1	8.1	3.5	39.5	3.5	4.7
一般層	561	85.4	29.8	2.1	20.5	72.9	15.2	0.7	41.7	0.5	4.3
中学生											
困窮層	36	69.4	33.3	0.0	22.2	52.8	2.8	8.3	22.2	0.0	11.1
周辺層	79	86.1	39.2	0.0	16.5	67.1	10.1	2.5	36.7	2.5	2.5
一般層	499	84.2	36.9	5.2	25.7	54.7	5.4	1.4	37.9	1.8	2.8

B 今後、受け取りたい方法

こどもに関する施策等の情報の今後受け取りたい方法についてみると、「こうとう区報」が 57.1%と最も多く、次いで「学校からのお便り」が 43.5%となっています。

学年・生活層別にみると、小学生保護者・中学生保護者ともに困窮層で「家族や友人からの情報」の割合が他の層と比べて低くなっています。

%	n	こうとう区報	江東区ホームページ	江東くらしガイド	区SNS (LINE・X(旧Twitter)・PIAZZAなど)	学校からのお便り	こどもまつりや区民まつりなどの区の事業	窓口などの区の職員	家族や友人からの情報	その他	不明・無回答
全体	1,714	57.1	28.2	5.7	31.5	43.5	9.0	3.6	21.5	2.2	22.8
小学生											
困窮層	32	56.3	34.4	15.6	28.1	53.1	12.5	9.4	6.3	3.1	25.0
周辺層	86	66.3	20.9	12.8	39.5	62.8	9.3	4.7	27.9	2.3	17.4
一般層	561	59.0	26.7	4.6	33.9	52.2	13.2	3.4	26.4	1.2	19.1
中学生											
困窮層	36	41.7	30.6	8.3	27.8	33.3	5.6	5.6	11.1	2.8	25.0
周辺層	79	54.4	31.6	6.3	27.8	48.1	10.1	6.3	21.5	5.1	27.8
一般層	499	60.3	35.5	6.6	33.5	36.3	6.6	4.8	21.0	3.2	18.6

問 51 あなたの家庭では、以下の支援制度等は、これまでに利用したことがありますか。
利用したことがない場合は、その理由に最も近いものに○をつけてください。
(1つに○)

A 生活福祉資金

生活福祉資金の利用状況についてみると、「ない、利用したいと思ったことがなかった(そもそも制度の対象外であった)」が 66.7%と最も多く、次いで「ない、制度等について全く知らなかった」が 22.6%となっています。

学年・生活層別にみると、小学生保護者・中学生保護者ともに生活困難層ほど「ない、制度等について全く知らなかった」の割合が高くなる傾向がみられます。

%	n	利用したことがある	ない、利用したいと思ったことがなかった(そもそも制度の対象外であった)	ない、利用したかったが、条件を満たしていなかった	ない、利用したかったが、制度等が使いづらかった	ない、利用の仕方がわからなかった	ない、近くで利用できるところがないから	ない、制度等について全く知らなかった	不明・無回答
全体	1,714	0.5	66.7	1.3	0.1	1.0	0.0	22.6	7.9
小学生									
困窮層	32	0.0	28.1	3.1	3.1	3.1	0.0	46.9	15.6
周辺層	86	0.0	58.1	4.7	0.0	1.2	0.0	33.7	2.3
一般層	561	0.5	73.1	0.7	0.0	0.9	0.0	21.0	3.7
中学生									
困窮層	36	2.8	36.1	8.3	0.0	5.6	0.0	36.1	11.1
周辺層	79	0.0	59.5	2.5	0.0	0.0	0.0	31.6	6.3
一般層	499	0.6	73.5	0.8	0.0	0.2	0.0	20.8	4.0

B 生活保護

生活保護の利用状況についてみると、「ない、利用したいと思ったことがなかった(そもそも制度の対象外であった)」が 84.1%と最も多く、次いで「ない、制度等について全く知らなかった」が 5.3%となっています。

学年・生活層別にみると、小学生保護者では生活困難層ほど「ない、制度等について全く知らなかった」の割合が高くなる傾向がみられます。

%	n	利用したことがある	ない、利用したいと思ったことがなかった(そもそも制度の対象外であった)	ない、利用したかったが、条件を満たしていなかった	ない、利用したかったが、制度等が使いづらかった	ない、利用の仕方がわからなかった	ない、近くで利用できるところがないから	ない、制度等について全く知らなかった	不明・無回答
全体	1,714	0.5	84.1	1.5	0.2	1.2	0.0	5.3	7.3
小学生									
困窮層	32	0.0	56.3	3.1	3.1	3.1	0.0	18.8	15.6
周辺層	86	1.2	83.7	2.3	0.0	1.2	0.0	11.6	0.0
一般層	561	0.5	88.8	0.7	0.0	1.1	0.0	5.3	3.6
中学生									
困窮層	36	2.8	55.6	11.1	2.8	5.6	0.0	5.6	16.7
周辺層	79	0.0	86.1	6.3	0.0	1.3	0.0	1.3	5.1
一般層	499	0.4	90.2	0.8	0.2	0.2	0.0	4.8	3.4

C 母子及び父子福祉資金

母子及び父子福祉資金の利用状況についてみると、「ない、利用したいと思ったことがなかった(そもそも制度の対象外であった)」が 76.3%と最も多く、次いで「ない、制度等について全く知らなかった」が 13.1%となっています。

学年・生活層別にみると、小学生保護者では生活困難層ほど「ない、制度等について全く知らなかった」の割合が高くなる傾向がみられます。また、中学生保護者では困窮層で「ない、利用の仕方がわからなかった」の割合が他の層と比べて高くなっています。

%	n	利用したことがある	ない、利用したいと思ったことがなかった（そもそも制度の対象外であった）	ない、利用したかったが、条件を満たしていなかった	ない、利用したかったが、制度等が使いづらかった	ない、利用の仕方がわからなかった	ない、近くで利用できるところがないから	ない、制度等について全く知らなかった	不明・無回答
全体	1,714	0.4	76.3	1.5	0.0	1.2	0.0	13.1	7.5
小学生	困窮層	32	0.0	56.3	3.1	0.0	3.1	0.0	9.4
	周辺層	86	0.0	76.7	2.3	0.0	0.0	19.8	1.2
	一般層	561	0.4	81.5	0.4	0.0	1.4	0.0	3.6
中学生	困窮層	36	5.6	50.0	5.6	0.0	11.1	0.0	13.9
	周辺層	79	0.0	70.9	6.3	0.0	0.0	0.0	5.1
	一般層	499	0.4	82.0	1.6	0.0	0.4	0.0	3.4

D 児童扶養手当

児童扶養手当の利用状況についてみると、「ない、利用したいと思ったことがなかった(そもそも制度の対象外であった)」が 71.3%と最も多く、次いで「ない、制度等について全く知らなかった」が 10.4%となっています。

学年・生活層別にみると、小学生保護者では生活困難層ほど「ない、利用したかったが、条件を満たしていなかった」の割合が高くなる傾向がみられます。

%	n	利用したことがある	ない、利用したいと思ったことがなかった（そもそも制度の対象外であった）	ない、利用したかったが、条件を満たしていなかった	ない、利用したかったが、制度等が使いづらかった	ない、利用の仕方がわからなかった	ない、近くで利用できるところがないから	ない、制度等について全く知らなかった	不明・無回答
全体	1,714	4.9	71.3	4.6	0.1	1.5	0.0	10.4	7.2
小学生	困窮層	32	6.3	50.0	15.6	0.0	6.3	0.0	6.3
	周辺層	86	7.0	68.6	8.1	0.0	3.5	0.0	10.5
	一般層	561	3.0	78.4	2.9	0.2	1.2	0.0	10.7
中学生	困窮層	36	36.1	38.9	8.3	0.0	2.8	0.0	5.6
	周辺層	79	6.3	68.4	7.6	0.0	2.5	0.0	10.1
	一般層	499	4.6	76.0	5.2	0.0	0.4	0.0	10.4

E 児童育成手当

児童育成手当の利用状況についてみると、「ない、利用したいと思ったことがなかった(そもそも制度の対象外であった)」が 70.7%と最も多く、次いで「ない、制度等について全く知らなかった」が 13.2%となっています。

学年・生活層別にみると、小学生保護者では生活困難層ほど「ない、利用したかったが、条件を満たしていなかった」の割合が高くなる傾向がみられます。

%	n	利用したことがある	ない、利用したいと思ったことがなかった(そもそも制度の対象外であった)	ない、利用したかったが、条件を満たしていなかった	ない、利用したかったが、制度等が使いづらかった	ない、利用の仕方がわからなかった	ない、近くで利用できるところがないから	ない、制度等について全く知らなかった	不明・無回答
全体	1,714	2.7	70.7	4.6	0.1	1.3	0.0	13.2	7.5
小学生	困窮層	32	6.3	43.8	15.6	0.0	3.1	0.0	21.9
	周辺層	86	3.5	72.1	7.0	0.0	3.5	0.0	12.8
	一般層	561	1.4	76.8	3.0	0.0	1.2	0.0	13.9
中学生	困窮層	36	22.2	44.4	11.1	0.0	2.8	0.0	8.3
	周辺層	79	3.8	64.6	10.1	0.0	1.3	0.0	15.2
	一般層	499	2.8	76.6	4.4	0.0	0.2	0.0	12.6

F 高等職業訓練促進給付金事業

高等職業訓練促進給付金事業の利用状況についてみると、「ない、利用したいと思ったことがなかった(そもそも制度の対象外であった)」が 62.8%と最も多く、次いで「ない、制度等について全く知らなかった」が 25.8%となっています。

学年・生活層別にみると、小学生保護者・中学生保護者ともに困窮層・周辺層で「ない、制度等について全く知らなかった」の割合が一般層と比べて高くなっています。

%	n	利用したことがある	ない、利用したいと思ったことがなかった(そもそも制度の対象外であった)	ない、利用したかったが、条件を満たしていなかった	ない、利用したかったが、制度等が使いづらかった	ない、利用の仕方がわからなかった	ない、近くで利用できるところがないから	ない、制度等について全く知らなかった	不明・無回答
全体	1,714	0.6	62.8	1.3	0.2	1.7	0.0	25.8	7.5
小学生	困窮層	32	0.0	34.4	6.3	3.1	6.3	0.0	40.6
	周辺層	86	0.0	58.1	3.5	0.0	1.2	0.0	36.0
	一般層	561	0.4	69.0	0.4	0.0	1.6	0.0	24.8
中学生	困窮層	36	2.8	36.1	2.8	2.8	5.6	0.0	36.1
	周辺層	79	0.0	54.4	2.5	0.0	1.3	0.0	36.7
	一般層	499	0.6	67.5	1.8	0.2	0.8	0.0	25.5

G 自立支援教育訓練給付金事業

自立支援教育訓練給付金事業の利用状況についてみると、「ない、利用したいと思ったことがなかった(そもそも制度の対象外であった)」が 63.6%と最も多く、次いで「ない、制度等について全く知らなかった」が 25.8%となっています。

学年・生活層別にみると、小学生保護者・中学生保護者ともに生活困難層ほど「ない、制度等について全く知らなかった」の割合が高くなる傾向がみられます。

%	n	利用したことがある	ない、利用したいと思ったことがなかった(そもそも制度の対象外であった)	ない、利用したかったが、条件を満たしていなかった	ない、利用したかったが、制度等が使いづらかった	ない、利用の仕方がわからなかった	ない、近くで利用できるところがないから	ない、制度等について全く知らなかった	不明・無回答
全体	1,714	0.5	63.6	1.2	0.2	1.4	0.0	25.8	7.3
小学生	困窮層	32	0.0	34.4	3.1	3.1	6.3	43.8	9.4
	周辺層	86	0.0	60.5	2.3	0.0	1.2	36.0	0.0
	一般層	561	0.4	70.1	0.4	0.2	1.2	24.1	3.7
中学生	困窮層	36	2.8	33.3	2.8	2.8	5.6	41.7	11.1
	周辺層	79	0.0	53.2	3.8	0.0	1.3	36.7	5.1
	一般層	499	0.6	68.9	1.2	0.2	0.0	25.5	3.4

H 住居確保給付金事業

住居確保給付金事業の利用状況についてみると、「ない、利用したいと思ったことがなかった(そもそも制度の対象外であった)」が 59.7%と最も多く、次いで「ない、制度等について全く知らなかった」が 29.7%となっています。

学年・生活層別にみると、小学生保護者・中学生保護者ともに困窮層・周辺層で「ない、制度等について全く知らなかった」の割合が一般層と比べて高くなっています。

%	n	利用したことがある	ない、利用したいと思ったことがなかった(そもそも制度の対象外であった)	ない、利用したかったが、条件を満たしていなかった	ない、利用したかったが、制度等が使いづらかった	ない、利用の仕方がわからなかった	ない、近くで利用できるところがないから	ない、制度等について全く知らなかった	不明・無回答
全体	1,714	0.6	59.7	0.9	0.0	1.6	0.0	29.7	7.4
小学生	困窮層	32	0.0	37.5	3.1	0.0	3.1	43.8	12.5
	周辺層	86	1.2	51.2	1.2	0.0	1.2	45.3	0.0
	一般層	561	0.4	67.7	0.5	0.0	1.2	26.4	3.7
中学生	困窮層	36	2.8	27.8	0.0	0.0	5.6	52.8	11.1
	周辺層	79	0.0	45.6	2.5	0.0	1.3	45.6	5.1
	一般層	499	0.8	63.9	0.6	0.0	0.4	30.5	3.8

I お部屋探しサポート事業

お部屋探しサポート事業の利用状況についてみると、「ない、利用したいと思ったことがなかった(そもそも制度の対象外であった)」が 57.6%と最も多く、次いで「ない、制度等について全く知らなかった」が 32.7%となっています。

学年・生活層別にみると、小学生保護者・中学生保護者ともに困窮層・周辺層で「ない、制度等について全く知らなかった」の割合が一般層と比べて高くなっています。

%	n	利用したことがある	ない、利用したいと思ったことがなかった(そもそも制度の対象外であった)	ない、利用したかったが、条件を満たしていなかった	ない、利用したかったが、制度等が使いづらかった	ない、利用の仕方がわからなかった	ない、近くで利用できるところがないから	ない、制度等について全く知らなかった	不明・無回答
全体	1,714	0.5	57.6	0.5	0.1	1.3	0.2	32.7	7.2
小学生									
困窮層	32	0.0	37.5	3.1	0.0	3.1	0.0	43.8	12.5
周辺層	86	0.0	50.0	0.0	0.0	1.2	1.2	47.7	0.0
一般層	561	0.4	66.0	0.2	0.0	1.1	0.2	28.7	3.6
中学生									
困窮層	36	2.8	27.8	0.0	0.0	5.6	0.0	52.8	11.1
周辺層	79	0.0	45.6	1.3	0.0	1.3	0.0	46.8	5.1
一般層	499	0.6	60.9	0.4	0.0	0.4	0.2	34.1	3.4

J 受験生チャレンジ支援貸付事業

受験生チャレンジ支援貸付事業の利用状況についてみると、「ない、利用したいと思ったことがなかった(そもそも制度の対象外であった)」が 53.7%と最も多く、次いで「ない、制度等について全く知らなかった」が 31.9%となっています。

学年・生活層別にみると、小学生保護者・中学生保護者ともに困窮層・周辺層で「ない、制度等について全く知らなかった」の割合が一般層と比べて高くなっています。

%	n	利用したことがある	ない、利用したいと思ったことがなかった(そもそも制度の対象外であった)	ない、利用したかったが、条件を満たしていなかった	ない、利用したかったが、制度等が使いづらかった	ない、利用の仕方がわからなかった	ない、近くで利用できるところがないから	ない、制度等について全く知らなかった	不明・無回答
全体	1,714	1.3	53.7	3.1	0.5	2.4	0.0	31.9	7.1
小学生									
困窮層	32	0.0	34.4	6.3	6.3	3.1	0.0	40.6	9.4
周辺層	86	0.0	40.7	3.5	1.2	3.5	0.0	51.2	0.0
一般層	561	0.9	59.7	1.4	0.2	1.6	0.0	32.4	3.7
中学生									
困窮層	36	13.9	22.2	5.6	0.0	5.6	0.0	41.7	11.1
周辺層	79	7.6	40.5	8.9	1.3	2.5	0.0	34.2	5.1
一般層	499	1.0	60.1	3.4	0.4	1.6	0.0	29.9	3.6

K 江東区まなびサポート事業（まなび塾）

江東区まなびサポート事業の利用状況についてみると、「ない、利用したいと思ったことがなかった（そもそも制度の対象外であった）」が 57.2%と最も多く、次いで「ない、制度等について全く知らなかった」が 27.4%となっています。

学年・生活層別にみると、小学生保護者・中学生保護者ともに困窮層・周辺層で「ない、制度等について全く知らなかった」の割合が一般層と比べて高くなっています。

%	n	利用したことがある	ない、利用したいと思ったことがなかった（そもそも制度の対象外であった）	ない、利用したかったが、条件を満たしていなかった	ない、利用したかったが、制度等が使いづらかった	ない、利用の仕方がわからなかった	ない、近くで利用できるところがないから	ない、制度等について全く知らなかった	不明・無回答	
全体	1,714	1.3	57.2	3.4	0.4	2.2	0.6	27.4	7.5	
小学生	困窮層	32	3.1	15.6	18.8	0.0	6.3	3.1	40.6	12.5
	周辺層	86	2.3	43.0	3.5	1.2	5.8	1.2	41.9	1.2
	一般層	561	1.6	63.6	3.0	0.4	1.4	0.2	26.0	3.7
中学生	困窮層	36	5.6	19.4	8.3	0.0	8.3	2.8	41.7	13.9
	周辺層	79	2.5	46.8	7.6	1.3	2.5	0.0	32.9	6.3
	一般層	499	0.6	63.7	2.6	0.2	1.2	0.6	27.7	3.4

L こども食堂

こども食堂の利用状況についてみると、「ない、利用したいと思ったことがなかった（そもそも制度の対象外であった）」が 66.7%と最も多く、次いで「ない、制度等について全く知らなかった」が 9.5%となっています。

学年・生活層別にみると、小学生保護者では生活困難層ほど「ない、制度等について全く知らなかった」の割合が高くなる傾向がみられます。

%	n	利用したことがある	ない、利用したいと思ったことがなかった（そもそも制度の対象外であった）	ない、利用したかったが、条件を満たしていなかった	ない、利用したかったが、制度等が使いづらかった	ない、利用の仕方がわからなかった	ない、近くで利用できるところがないから	ない、制度等について全く知らなかった	不明・無回答
全体	1,714	4.5	66.7	1.1	1.1	5.4	4.4	9.5	7.4
小学生	困窮層	32	3.1	25.0	3.1	0.0	15.6	15.6	25.0
	周辺層	86	4.7	59.3	1.2	1.2	8.1	8.1	16.3
	一般層	561	5.7	72.9	1.2	1.2	4.3	4.1	7.1
中学生	困窮層	36	5.6	38.9	8.3	2.8	8.3	11.1	13.9
	周辺層	79	5.1	64.6	1.3	0.0	8.9	8.9	7.6
	一般層	499	3.6	72.3	0.4	0.6	3.6	4.0	11.6

M 養育費確保支援事業補助金

養育費確保支援事業補助金の利用状況についてみると、「ない、利用したいと思ったことがなかった(そもそも制度の対象外であった)」が 57.8%と最も多く、次いで「ない、制度等について全く知らなかった」が 31.9%となっています。

学年・生活層別にみると、小学生保護者・中学生保護者ともに困窮層・周辺層で「ない、制度等について全く知らなかった」の割合が一般層と比べて高くなっています。

%	n	利用したことがある	ない、利用したいと思ったことがなかった(そもそも制度の対象外であった)	ない、利用したかったが、条件を満たしていなかった	ない、利用したかったが、制度等が使いづらかった	ない、利用の仕方がわからなかった	ない、近くで利用できるところがないから	ない、制度等について全く知らなかった	不明・無回答
全体	1,714	0.5	57.8	0.6	0.1	1.3	0.1	31.9	7.8
小学生									
困窮層	32	0.0	28.1	3.1	0.0	3.1	0.0	53.1	12.5
周辺層	86	0.0	46.5	0.0	0.0	2.3	0.0	51.2	0.0
一般層	561	0.4	65.8	0.4	0.2	0.9	0.0	28.5	3.9
中学生									
困窮層	36	5.6	27.8	5.6	0.0	5.6	0.0	44.4	11.1
周辺層	79	0.0	44.3	2.5	0.0	1.3	0.0	45.6	6.3
一般層	499	0.4	63.5	0.4	0.0	0.4	0.2	31.1	4.0

9 自由記入欄

問 52 あなたが今、困っていることや悩みごとがありましたら、ご自由にお書きください。

困っていることや悩みごとについての意見の内容は、「手当て・支援制度に関すること」が 131 件で最も多く、次いで「教育(学校・学業)に関すること」が 115 件となっています。

カテゴリー	件数
手当て・支援制度に関すること	131
教育(学校・学業)に関すること	115
家計(収入・支出・貯金)に関すること	68
公園・図書館など公共施設、こどもの遊び場や居場所に関すること	42
家庭に関すること	30
こどもの育児・保育環境に関すること	25
税金・年金などに関すること	25
仕事に関すること	21
医療・健康に関すること	20
交通(利便性・安全性)に関すること	16
その他	53

※カテゴリー10件未満のものは「その他」にまとめて集計。複数カウントあり。

以降に、寄せられた意見を抜粋で掲載します（原則、原文のまま）。

①手当て・支援制度に関すること

- ◇ 高校の無償化（所得制限なし）に取り組んでほしい。
- ◇ 世帯年収により、受けられない補助が多すぎます。税金を多く払っている恩恵を全く感じませんが、もしそうなのであれば、せめて、学校にかかる費用はどの世帯でも一律にしてもらいたいです。
- ◇ 大学進学者の助成金（少子化）を充実してほしい。
- ◇ 障がい児への手当てを拡充させてほしい。（収入制限をなくしてほしい）。
- ◇ 医療費が 18 歳まで無料、給食費無料など大変助かります。しかし子供の教育費には本当にお金がかかります。学費面のサポートを一番強化して頂きたいです。高い税金を払うのも仕方ないかと思わせてくれる程のサポートがないので、不満な人が多いのでは？と思います。
- ◇ 軽・中度の障害児に対するサポートがあまりない。日常生活において、制限を少なからず受けているのに。それに対するサービスが少ないのもっと手厚くして欲しい。あと所得制限があるサポート事業があまりに多いです。その分税金を多く払っているのに。収入で差別するのはおかしいです。
- ◇ 学習塾が高いので、支援金があると助かると思います。物価高が続いており、最近は値段重視で買い物しているので、食卓が毎日代わり映えしない状況で残念です。家を探し中ですが、高値安定で全く手が届きません。何か支援等があればと思います。子育て世帯応援事業電子クーポン配布とても良かったです。またお願いします。

- ◇ 4人の子供がいます。給付される所得の上限をなくしてほしいです。頑張って働いて、上限を超えたら受け取れなくなることで、トータルの入ってくるお金が少なくなってしまうです。子供の数を上限を超えてもカウントしてほしいです。第1子が中学卒業すると、第2子が第1子とカウントされ支給されなくなったり、減額されます。でも扶養人数は変わらず色々と出費は続きます。
- ◇ 小さい頃より大きくなってから子どもにお金がかかること。大きくなると支援が少ない。
- ◇ 所得制限で手当がもらえないことが多々あります。一生懸命働いているのに不公平だと思います。働かないで手当がもらえるのであれば、働き損な気がします。
- ◇ 中学から私立へ受験する子供たちが多い。中学の義務教育の間だけでも世帯収入関係なく、補助が欲しい。世帯収入で制限があっても税金で引かれるため手元の残金は制限内の家庭よりも少なくなっていることもある。教育の場を与えていくにはとてもつらい環境と感じている。
- ◇ 子供が複数居る家庭での子供の人数の数え方について。1番上の子が何才になっても3人目の子供はその家庭において3人目であるので、上の子の年齢で子供の数が変わる現行の制度はおかしいと思っています。
- ◇ 必要な人に必要な制度が利用できるように、周知してもらいたい。不正利用については、きちんと監視してもらいたい。いつも有難うございます。
- ◇ 独り親になったが、サポートなどは全くされないという感じしかない。
- ◇ 主人と別居している為、児童手当やその他母親が受け取れるようにして欲しい。
- ◇ 父子家庭であるが、母子家庭と比べると要件がきつすぎると思います。単純に収入だけで手当を切られたが、正社員でまともに働いていると母子家庭と比べ時間もないし家事を全てやらなければならない。手当ぐらいいただきたい。
- ◇ 子供を育てる上でとにかくお金が掛かりますが国や自治体は所得が低い世帯の保障ばかりだと思います。そのようなマイノリティを保護する前にちゃんと働き税金を確り納めている世帯に対しても取り組んで欲しいです。正直、不平等に思います。
- ◇ 教育費はほとんどの子供が20歳まで必要なので、児童手当金が18歳又は20歳までであるとかなり助かります。
- ◇ 中学、高校、大学と進んでいくと本当にお金がかかります。受け取れる制度や条件をもう少し広く、緩くしたり、助成金や手当を増やしてほしいです。進学などで金銭的にあきらめたりしてほしくないです。やりたいことを思いっきりやらせてあげたいです。
- ◇ 単身赴任で二重生活となっているのに、所得制限があるため、色々な援助が受けられず不公平だなと感じています。
- ◇ 子供に対しての支援が平等ではない事。我が子は難病がある為、歩行が出来なく日常的に車椅子に乗っていますが、必要不可欠な物なのに、親の所得制限で区からの助成が出ません。助成が出て、新品の車椅子に乗っているお子さんを見ると、とても不公平であると感じてしまいます。多く税金を徴収するのであれば、子供に対する支援は平等にして欲しいです。
- ◇ 児童手当は子供全員平等にしてほしい。給食費がなくなるのはありがたいが、手当てよりもおむつ券やシッター券など他の目的で使えるようなものにしてほしい。(現金だと親が使ってしまう可能性があるため。) 少し収入があると、塾代や学費にかかり生活が苦しいのは低所得者だけではないこと理解してほしい。夏休み等長期休暇中は、午前や午後のみでいいから学校で勉強できるスペースを作してほしい。
- ◇ 教育費の補助制度をもっと受け取り易くしてもらいたい。

- ◇ 共働きが多い中、公立高の補助対象年収910万円は、ギリギリ越えそうな世帯では支出が多くなる。年収限度額を高くして欲しい。
- ◇ ダブルケア、困っているのは経済的問題、育児だけではないと思います。仕事、育児、介護を行うのは経済的に問題がなくても大変です。収入が得られているのは努力しているからこそにもかかわらず、ほぼ何も支援が得られないのはおかしいと思います。
- ◇ 高校の学費は免除になっても、その他教材費や部活動費もあるので金銭面が不安です。子供3人の家庭は学費の優遇がありますが、子供2人の家庭には何もないので不公平感があります。
- ◇ 特に困っている事はありませんが、困っている方をサポートするボランティアや寄付制度があれば教えてください。
- ◇ 現在、保育園料は無料だが、私の時は毎日大学生の1人暮らし分程払っていた。貯蓄したいときに出来なかった。今進学を控え、私立を選択させられない悩みがある。保育園料の返還などがあつたらと思います。
- ◇ 都営にお住まいの方達のほうが、安く駅に近かったり、車が持てたりと、マンション購入できる家庭の方が生活が大変だったりもする。補助を受けて、楽な生活をしたいが為に同居(夫婦)しているにも関わらず、離婚し、籍を旦那さんだけ下の階の実家にしていると言っていました。それはどうなのでしょう？生活保護はその為にあるのでしょうか？
- ◇ 自分の周りにいる「ひとり親」の方が、旅行(しかも海外)や子供に留学させたりすることができていて、不思議…。一生懸命働いているのが、たまにバカらしくなる。給付の対象外になるからと仕事をセーブしていると聞いた時にはショックだった！

②教育(学校・学業)に関すること

- ◇ 今年度から子供が不登校になり、学校からはブリッジスクールの紹介もあったが、そもそも家から出たがらない上、平日は仕事で家を空けている為フォローが出来ない。このような時に他の方はどうしているのか等、事例を収集して情報開示して欲しい。如何せん、情報がなさすぎて、今後どうすればよいか先行きが不安であります。
- ◇ 今後、中学受験を予定しているが、学費がとても高い(特に私立)為、兄妹を大学まで通わせることが負担に感じている。(学費を捻出する為、趣味や楽しみの回数を減らしたり、やりくりが大変になってくると考えると不安が大きいです。)
- ◇ 格差なく勉強などの教育を受けられる社会であってほしいです。
- ◇ PCの扱いです！強く思っていることを発言できてよかったです。これについては、よくママ同士の話題になります。授業で使い方を教えていただくのはありがたいのですが、家に持ち帰らずに学校だけで終わらせていただきたいです。使用時間、目的外使用、非常に多く耳にします。PCは、学校のみで使用をお願いしたいです。
- ◇ 学校で使う教材や道具、また体操服や上靴など購入の度に高価だと感じる事がある。通販等で購入できる汎用品を標準仕様としてもらえるとうれしいです。
- ◇ 教育について。特性に困っている子供へのフォローを手厚くして頂ける環境を整えて欲しいです。各学校に支援級の設置等、どの学校へ通っていても困った時に転学ではなく転籍の選択ができるようにしてほしいです。
- ◇ 学校での補習をもう少し充実させてほしいです。塾の費用にあまりにもかかりすぎており、学校という場所を使って、塾の講師の派遣を充実させるなど、ご検討をお願いします。(すでに制度として

あるようですが、基本は学校の先生が行なっていると聞いています。民間の力で安く、子の力がのびるのであればより良いと思います。)

- ◇ 経済格差による教育格差への心配。放課後子どもたちが安心して過ごし、活動出来るようになったらよいと思う。(夏休み等長期もあるとよい。) 共働きなので(多いので)、子供をみる時間は平日は厳しい。
- ◇ 子供が、不登校とまではいかないのですが、学校を休むことがよくあります。そんな時に気軽に行ける居場所や、勉強をみてもらえるところが近くにあるとうれしいです。また、学習障害について相談できる所があればと思います。小学校では話は聞いてくれますが、それ以上の対応は難しいようです。
- ◇ 学校が楽しくなるよう子どもが考え主体的に活動する授業や学習が増えるといいなと思います。(今の担任の先生の授業の方法が素晴らしいので広がるといいと思っています。) そのために学校の先生の負担を減らしてほしいです。支援員を増やしたり丸つけや事務をしてもらったり、通知表を簡素化または廃止したり、部活も民間のコーチにしたり…。先生方や子どもたちで楽しい学校にして過ごしていけることを願っています。
- ◇ 区立小中学校の教師の質が低下していると感じる。教師が問題を起こした場合にその情報が学校から保護者に伝わって来ない。
- ◇ 子供の学力が伸び悩んでいる。
- ◇ 学校の教員が不足している問題は、早急に解決してほしい。
- ◇ 学校完結型の学習環境が整うことを願います。塾代に負担を感じます。
- ◇ 教育費(学費や交通費、昼食代)が負担。私立の学校へ行っている子供への所得制限無しの金銭的支援が欲しい。余裕があるから私立に通わせているのではなく、公立の質に不安が強くあるため私立に通わざるを得ないという実情に気付いてほしい。
- ◇ 私学に就学している場合、区の教育情報があまりありません。中学生向けのアクティビティの情報がわかりにくいです。
- ◇ 学校のグラウンドを土日でも平日でも、いつでも子供たちが使えるようにしてほしい。公園ではボール遊びが禁止されているので、スポーツの機会を失っている。
- ◇ 保育園、小学校共に発達障害について勉強不足の先生が多く、実態として対応ができていない。もしくは、不適切と感じることが多い。多様性は発達障害の子も個性として、柔軟に対応できる体制がほしい。古い教育理念をお持ちで、現場は表面で謳っているのとかけ離れている。みんな同じことができるのは、当たり前ではない。ギフテッドに対する理解、対応も不十分というかほぼゼロに近い。もっと柔軟な教育対応を求めたい。こうした声や意見、ちょっとしたことを伝えるシステムがない。学校のホームページでは欠席連絡のみ。学校が保護者の意見や声を普段から受け付ける体制と仕組み。
- ◇ 小中学校の子供のかばんが重すぎる。10 kg以上ある日もあるが、学校に教科書を置いておくのは禁止。子供達、疲れ切っています。背骨にも悪いし、改善してほしい。学校に何度も話すも、改善なし。

③家計(収入・支出・貯金)に関すること

- ◇ ここ1年半前より電気代等、物価が異常に高くなり、生活費が費用にとられて、生活がくるしくなっています。

- ◇ 収入は増えないのに物価はどんどん高くなるので、なかなか貯蓄ができず困っています。
- ◇ 子供の成長に伴い教育費の心配があります。子供の希望する進路を応援したいが、家のローン、老後の心配など不安がつきません。
- ◇ 学校で使うノートなども費用がかかり大変です。文房具手当などがあると助かります。
- ◇ 将来学費が払えるかが不安。
- ◇ 生活保護を受ける程ではないけれど、生活が厳しい世帯はたくさんあるはずです。そういった家庭への支援も考えてほしい。
- ◇ 家計としてはゆとりは有るほうだと思ひ、家族関係に大きな問題はないと思う。とはいえ、フルタイムで働きながら子供を3人育て、かつ近所に住む老親の介護サポートをする事はなかなか大変ではあります。子育て世帯に優しい施策、子供まんなかの施策の推進を是非お願いします。
- ◇ 経済的理由で子供に十分な事をしてあげられない事が悩みで、子供の高校入試、大学受験など先々の事がとても心配です。
- ◇ お金が足りない。教育費がかかりすぎる！親は我慢しかない。返済不要の奨学金を増やしてほしい（種類、人数）。
- ◇ 江東区はどこも住居費が高くて収入に対する家賃の割合が大きくそれで生活が圧迫されます。
- ◇ 「家計に関する質問」を見て、胸が詰まりました。同じ江東区で、もしこのような苦境におられるご家族があるならとても悲しいです。自分たちにできる支援の情報があれば是非知りたいです。
- ◇ 子供4人が大学進学を希望しているが、教育費が払えるのか、不安でしかありません。家庭の都合で子供の将来を奪いたくないです。我が家じゃなければ良かったと思われたいような安定した生活を希望します。
- ◇ 「所得の水準」「経済的な理由」にギリギリ当てはまらないわが家は、物価が上がり、給与が上がらない状況で、自力で生きていかなければならないので、一見裕福そうだけど、ものすごく背伸びして頑張っている状況です。子供には食べさせ、教育を受けさせたいという気持ちを一番大切にしているのが親ですので、今後大学まで考えると、払えるのか心配です。そして自分は死ぬまで働き続け、そもそも健康でなければならぬ…。親世代が一番夢がないのかも…。
- ◇ 子供が成人するまで収入がちゃんと得られるか、これから必要な学資が収入でまかなえるかどうかがとても不安です。
- ◇ 子供3人の教育費が足りないの、下の子二人を本当なら学習塾に入れたいが出来ない事。
- ◇ とにかくお金が無い。子供、男の子（中三、高一）で食べ盛り。一人親ですが年収がギリギリアウトで手当を貰えず。今は貯金を切り崩して生きていますが、この先が不安です。
- ◇ 色々な物の値上がりが困ってます。子供の英検等の検定料も高いのでもう少し安ければいいと思います。
- ◇ 仕事が忙しく子供と向き合える時間が少ない。物価が上がっているが手取りは減っている様々で制限を感じる。子育てに掛かるお金が大きい。育児、家事など女性の負担が大きい。

④公園・図書館など公共施設、こどもの遊び場や居場所に関すること

- ◇ キッズクラスAでも土曜日学童が利用できると助かります。（夫が出張でいない事がある為）
- ◇ キッズクラブの夏休み運営時にお昼（宅配弁当など）が頼めるシステムにして欲しいです。
- ◇ 子供達が遊べる公園が少ない。（ボール遊びや大声を出していると注意され、のびのびする場がない）。

- ◇ 近くの公園でボール遊びを解禁して頂けると有難いです。自由に使える球技場が足りないです。
- ◇ 毎日、食事を作る事が大変ですが子供の体の為に食事を頑張って作っています。気軽に子供だけでも行ける食堂が有ったらいいなと思います。
- ◇ 図書館の学習スペースが、土日は特にすぐ埋まってしまい、なかなか席が取れない。自宅学習ができない方向けに、土日だけ学習スペースとして、開放する場を設けてはどうか。
- ◇ 豊洲6丁目の周辺が開発されて、また高層マンションやオフィスが増えることを残念に思っている。せっかく広々として景色が良いので、もっとスポーツ施設や観光スポットや、くつろぎの場所など、住んでいて心地の良い街づくりをしてほしい。都心なのにゆったりとして自慢できる環境なのにもったいない。
- ◇ 不登校で悩んでいるが、もう少し近くにフリースクールなど学校以外の居場所があると通う気持ちになるかもしれない、と思っています。
- ◇ 習い事をしてではなく、ただ、友達と思いきり身体を動かして、遊ぶ為の場所が少ないと感じる事があります。遊ぶ＝騒音として捉えられてしまい、子供が邪魔者にされていると感じる事があり、悲しいです。全体的に子供に対する見方が厳しくなっていると感じます。
- ◇ 子供が一日中、自習できる場所を増やしていただきたいです。図書館では飲食できないので、お昼に弁当を食べられません。私語も不可です。交流プラザのようにお友達と問題を出し合えるくらいの、私語 OK の場所がもう少しほしいです。起立性調節障害へのサポートがいただきたいです。治療、通学、勉強の遅れなどです。よろしくお願いします。
- ◇ バスケットコートを深川地区にもっと増やしてほしい。

⑤家庭に関すること

- ◇ 夫（子供にとって父親）から子供への暴力（肉体的または言葉の）。夫はキレるとすぐに手が出るので、自分がいない間、子供に手を出していないか不安な事もある。また直接私から嫌な話をする、いつキレて手を出されるか分からないので、子供と私は怒らせないようにビクビクしながら生活していることもある。
- ◇ 夫と子育てに対する考えや熱量が違いすぎると感じます。仕事が多忙なので、物理的に子供と接する時間が少なく仕方がないところもありますが、自分の子供の月齢くらいの子供が出来る事、考えられる事など、わかっていないと感じることが多いです。個人差や家庭によっても違うと思いますが、同じ親なのに子供に関する事はほぼ母親の私がしている状況で、おかしいなと日々悶々としています。
- ◇ 幼児期と比べると減りましたが、母親、父親共に余裕がない（精神的に）状況が続く、感情的になってしまうことがあります。カウンセリングなど気軽に相談できる機会や場所がもっとあれば…と思います。
- ◇ ちょうど先月に離婚したところでお金の事でいろいろと悩みが有ります。1人で3人の子供を育てられるか心配です。
- ◇ 兄に重度の知的障害が有るので通所している施設がお盆や年末年始で休所の際にパート仕事で休めないのを見て貰っている。兄は20才でオムツをしていて一人ではトイレも出来ないのので弟に世話をして貰うのは本当に心苦しい。兄が成人前には世帯収入で引っ掛かり各種給付金が貰えず、さらに上の今は社会人の長男が私立の理系大学へ進学したので蓄えを使い切ってしまい、子供のこれからの進学にパートは止められない。兄のショートステイ等も希望者が多くてなかなか入れ

ずこの先が不安です。

- ✧ 父親との教育方針の違い。
- ✧ 別居したばかりの為、昨年と今年では状況が180度変わってしまい、答え辛い、又は、どう答えてよいか分からない設問がいくつかありました。離婚が出来ていない為、表面上の世帯収入はとても豊かなのですが、実際には子供二人を養育するのにとても困っています。
- ✧ 夫婦関係が悪く、2、3年夫婦で会話をしていない。このままでよいか考え中。子どもは離婚しないでほしいと言われるが。夫の気持ち、波についていけず、疲れる。しかし、子どもはかわいい。

⑥こどもの育児・保育環境に関すること

- ✧ 子どもの反抗期に少し悩んでいます。でもよくあることなので、しばらくは様子見です。こういうことをもう少しライトに話せる場所があるといいと思います。(今の仕組みでは重要度が高い人しか利用できないので。)
- ✧ 兄弟が4人いますが、1番上の子が発達障害(ADHD)です。高校進学や大学など、今後の進路に対しての不安があります。又、自営業で低所得なのも悩みです。
- ✧ 思春期の娘が突然イライラ不機嫌になると、つい親もイライラとケンカのようにになってしまう。良い対処法が知りたいです。
- ✧ 公園などで遊んでいる子供達の中にはマナーが悪い子もいて、お菓子の包みをポイ捨てしたり、靴を投げて遊んでいたりと、遊具を汚したり小さい子をいじめる子がいます。しかし、うっかり注意すると不審者として通報されたりしそうで迷ってしまいます。また、それが原因で自分の子がいじめにあうと困るので結局注意出来ずにいて困っています。
- ✧ 不登校の子どもと発達障害の子ども2人に困っています。相談をしたり、カウンセラーさんと面談したり、少しずつできることはしているのですが、日々心配で不安で周りの顔色をととても気にしてしまいます。子どもの自己肯定感も下がってしまい、なかなか親子ともにポジティブな気持ちになれず悩んでいます。
- ✧ 物価高で出費が多く、教育費を貯められるか不安で仕方ありません。小5の息子には、LD(書字)がありますが夢に向かって必死に苦手な国語も頑張っています。成長に連れて悩みも深くなってくると思っていますので、子供自身も相談できる窓口など様々支援して頂ける機関があると有難いです。よろしくお願い致します。
- ✧ 若い頃から中学生が出来るボランティア、地域で出来るものが有れば発信して欲しい。
- ✧ 子供が努力をしない友人とばかりつきあっていて、向上心無くしてしまっている様に思う。
- ✧ 発達障害のグレー寄りの子供を育てるにあたり、悩みを相談する場所はあるけれども、具体的なサポートは結局、親がやるしかなくて気力が持たない。十数年単位で続けると、暴力に繋がると思う。
- ✧ 子供のゲームのやり過ぎに悩んでいる。言葉遣いが悪い。

⑦税金・年金などに関すること

- ✧ 税金の金額を決める時に子供の人数を加味していただきたいです。子供3人を大学に行かせることが出来るかととても不安です。
- ✧ 所得制限で大抵の公的支援は受け取れません。多くの税金を長く払っている(納めている)のは日々身を粉にして働いているからです。それが報われない世の中は、女性の労働が報われない世の中と

いう事です。サラリーマンの妻が優遇される世の中も、いつまで続くでしょうか。おかしい公的制度が、働く女性を、そして働く母親の社会的地位を押し下げているように思います。

- ✧ 住民税が高いので下げてほしいです。子供への手当をもっと増やしたり、形を変えて支援してほしいです。
- ✧ 現時点では児童手当の特別給付を頂けていますが、もう少し収入が上がると手当がなくなります。ものすごい高収入であればよいですが、そうでもないのに手当はなくなり、税金は高くとられるという損をしている収入帯の方が多くいると思いますので、そこへの対策を検討して欲しいです。
- ✧ 税金を大切に使って欲しい。お金に困っている人は、生保や低所得者だけではない。所得の少しの違いで手当や給付金がもらえないのは、平等ではない。一生懸命に働いている事が、バカらしくなる。その知らせの度に、働くことへのモチベーションが下がる。税金は、本当に困っている人に使って欲しい。
- ✧ 江東区が子供を育てる環境が日本一であるように、税金を使って下さい。江戸川、渋谷区に負けている感じがして区民としてつらいです。
- ✧ 税金ばかり高く取り、子供手当は所得制限で少なく、頑張っても塾に通わせても私立高校の補助金も対象外で100%負担しなければいけないのは不満です。子供は平等であるべきではないでしょうか。子供達は、そんな現状に嫌気をさし、働いたら負けだと言っています。頑張るだけ累進課税で損を知っているからです。子供達が将来に頑張りたい、子供を産みたいと思える世の中にして欲しいです。
- ✧ 高い税金を払っているが、使途が不明。本当に苦しんでいる方々に支援が行き届いておらず、中途半端に権利を主張している家庭の声に耳を傾け過ぎ。これでは未来ある子供が育つ環境には程遠いと思う。
- ✧ 子育て世帯に対する負担が大きいと感じています。世間的には年収が多いかも知れませんがそれを理由に手当を無くされたり減らされたりする事が多く不当だと感じます。特に税の負担については疑問があります。生きて行く為に必要な食料、生理用品に課税する必要性がどこに有るのでしょうか。又、社会保険料の負担割合が2000年に比べて大きくなってますのでこれらが子育てへのしわ寄せになっていると感じます。

⑧仕事に関すること

- ✧ パートで働いている。130万の壁で働きたくても働けず会社に迷惑がかかっている。働いているのに手取りが減るのはおかしい。
- ✧ 仕事が忙しすぎて子供に関わってあげられる時間が限られています。仕事と育児が無理なく両立できる社会になれば、仕事をして社会にも貢献したいと思う女性は増えないと思います。仕事をやっていて良かった、仕事をするこんなにもメリットがあると思える社会にしていきたいです。また、支援は本当に必要な人のところに届けていただきたいと思います。
- ✧ 夫の海外駐在と育児でキャリアが中断された。再就職しようにも年齢やブランクが足かせになり難しい。世間からも今時専業主婦なんてと冷ややかな目で見られる。
- ✧ 定年が伸びたので65歳まで働かないといけなののが心配。健康で働けているうちは良いが特に保証が無いので病気になった時が心配である。
- ✧ 子供たちの就職について、一部の大手企業は賃上げがありそのような企業に就職できれば守られ安定した生活が送れるが、そうなれない若者達は、夢や理想が描けません。親として、子供たちの将

来を考えると正直不安しかありません。勝ち組と負け組のような二極化がすすむとおもいます。

- ◇ 保護者の勤務がシフト制なため、子どもと休日が同じになる事が少なく、月に1日しかない事もあり、家族揃っての時間を持つ機会がなかなかありません。旅行にも行けず、子どもがかわいそうと感じる事もあります。愛知県では、年に3日学校を休む事ができる「ラーケーションの日」という制度を導入したそうです。是非江東区でも取り入れていただけたらと願っています。
- ◇ 両親がフルタイムで働いており、子供のことに手がまわりません。特に、母は仕事で疲れて、寝る、起きる、ご飯を食べさせることで精一杯です。もう少し、余裕のある社会になってほしいです。お金を稼ぐばかりが幸せではないということをお子たちに学んでほしいです。

⑨医療・健康に関すること

- ◇ 最近体力の低下を感じます。主婦が手軽に参加できるジムやエクササイズ教室を区が行ってくれると嬉しいです。それか、40代の主婦のジム費用を補填してくれたりしたら嬉しいです。
- ◇ 子供の盗み癖、母親の財布から1万、5千円など札で盗む。父親が母親を責める。子供が5年生なのに友達におごったり、服や靴を買ってくる。誰に相談したらいいのかわからない。児童精神科を増やして欲しい。児童精神科が無くて困っている。
- ◇ 学校の歯科検診で歯並びを毎年注意されるが、自費で高額な為、なかなか歯並びの治療はむずかしい。美容の為ではないので、子供の歯並びに関しては医療費の対象として欲しい。(子供の健康の為)
- ◇ 子供の発達で悩みや心配点があり学校や病院と連絡を取っていますが、全てこちらからアプローチや問い合わせをしないと対応や教えを受けられません。自分で調べていかなければならず、積極的に情報提供してほしいです。
- ◇ 子供の心の健康について日々悩んでいます。学校以外の時間をゲームに費やすので、将来が不安です。休日にお出かけに連れていきたいのですが、本人が行きたがらない、無理に設定すると「自分の思いを無視していじめる」と言われてしまう。
- ◇ 医療制度(子供)を高校まで無償化していただけると助かります。子供手当の充実化をお願いします。
- ◇ 子供の偏食がひどく、栄養のある食事が充分にとれているか心配。子供がASDのグレーゾーンではないかと思っているが、それをどの機関に相談したらよいかわからない。今後の育て方について不安がある。
- ◇ 子供の事で気軽に相談できる場所が無い。病院や受診科等、何処に行けば良いのか分からない。
- ◇ 高校生になると大人と同じように医療費が掛かる事が不安です。子供はしょっちゅう体調が悪いとか肌荒れ、眼のトラブル、骨が痛いなどと言いますが今のように気軽に病院に行かせられる自信も無いし、親不在の際に病院に行きたくても手持ちの現金が無ければ直ぐに病院に行けないという現実もあります。
- ◇ この調査対象の子どもは、要介助の重症心身障害児です。その為、子ども用は記入できず、こちらのみ送付いたします。区の制度や支援の方々のサポートで、つぶれることなく孤立することなく暮らしていくことができていますが、24h 要ケアのため、特に母の負荷が大きいです。この調査の主旨とは違うかもしれませんが、障害児関連の手続きの簡略化、オンライン化等、願います。

⑩交通(利便性・安全性)に関すること

- ◇ 私立中受験を考えているが東西線混雑がネック。駅近隣の駐車場が少なすぎ、且つ常に満車、新規契約も難しく保育園送迎時代から困る。(東陽町、南砂町で体験)
- ◇ 公共機関で江東区内を移動する事が多いので、出来るだけ早く地下鉄8号線を延伸してほしいです。自宅から豊洲に行く時は、区内にも関わらず一時間程度かかるためとても不便です。理想は、3～4年で実現してもらえると親も子も助かります。
- ◇ 子供たちの通学路で、ガードレール等のない大変危険な場所があり、いつも子供たちの安全を心配しています。子供たちの命を守るために、税金を使っただきたいです。
- ◇ 自転車の乗り方教室をしっかりとやるべき。シルバー、親、子供全て。マナーが悪いし、とても危ない。小さな子が公道で自転車、スライダーをやるなども制限をした方がよい(公園推奨)。シルバー、子供はヘルメットを義務化する！シルバーの車の免許も75才以上は更新を厳しくするべき！タクシーや大型車運転手も気をつけてほしい！

⑪その他

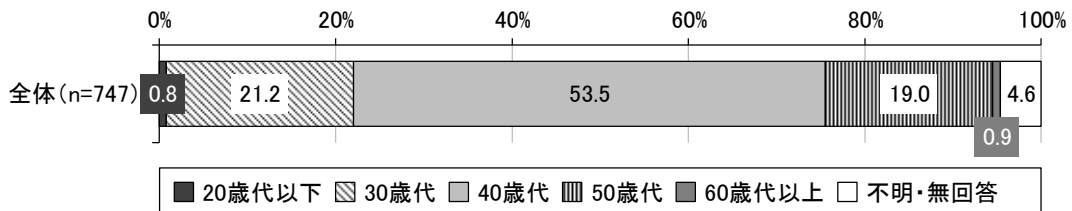
- ◇ 江東区はマンションだらけで時々息苦しいなと思います。花火やスカイツリーが年々見えにくくなっているのがなんだかさびしいです。緑豊かな江戸、下町情緒あふれる楽しいやさしい町になると良いなと思います。
- ◇ 町内会、自治会、PTA活動など、役員の負担が大きく、家庭に影響する。働くことも出来ず、家族のサポートがなければアリ地獄です。
- ◇ こういったアンケートはいつも調査するだけでフィードバックが全くない事がほとんど。調査だけでやった気にならずに、対策を考えて実行して下さい。責任は大きいと思います。
- ◇ こういうアンケートは、ネットやスマホ経由で回答できる仕組みもあるとよいと思います。
- ◇ 水害対策を継続して行ってほしい。
- ◇ マンション内のラウンジや、近所のカフェなどにて、教育熱心すぎる(周りの目を気にしないできつい口調で子供に指導する)親御さんが増えてきている気がします。教育虐待の予兆ではと心配になります。
- ◇ 近隣の喫煙者のマナーが悪く、外に出て来て朝・午前・昼・午後・夕方・夜と喫煙していて窓を開けられない。子供に害やアレルギーの私にはきつい。区としてしっかり対応できる窓口を用意して欲しい。オリンピックが終わってから行政は見ても見ぬふりをしている。飼い犬も同様に最近猫も糞尿も飼っていて、電柱や道路に糞や尿をそのままにしている人間も多く、本当に困っている。賃貸住宅も増えているのも影響している。
- ◇ 外国人ですので、日本の方の友達があまりいません。話をできる人がいません。日本の教育法について習いたいです。よろしくお願い致します。
- ◇ 亀戸の街並について、同区南部に比して、街灯が暗い。ゴミや路上の劣化が目立つ。将来、住み続けたくないこと。

第3章 児童育成手当受給者向け調査の結果

1 あなたやあなたの世帯のことについて

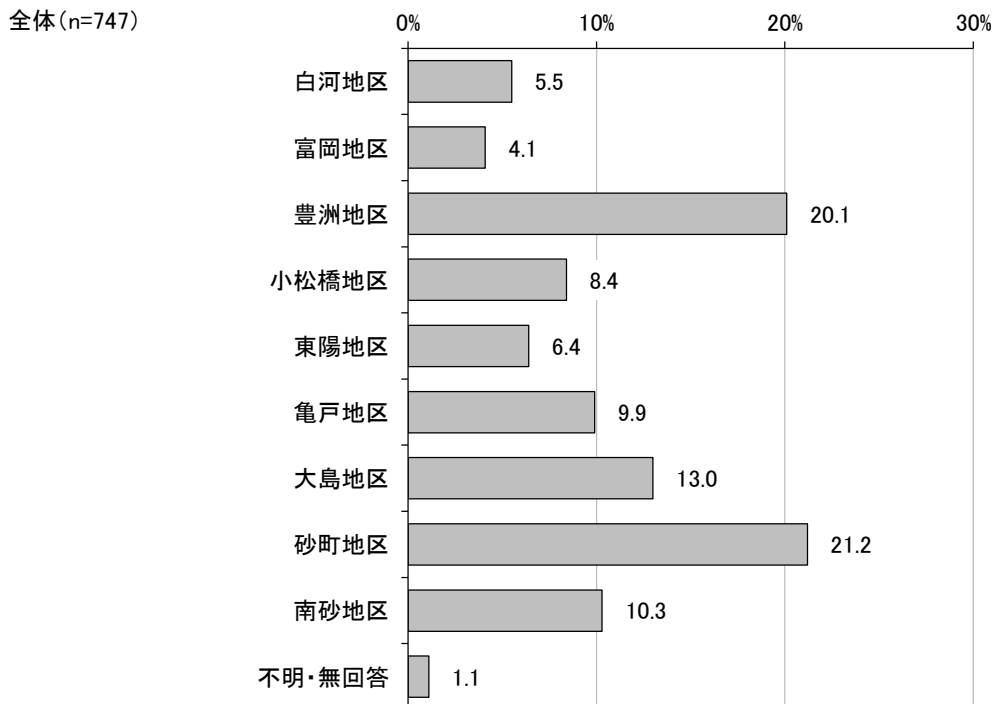
問1 あなたの年齢を教えてください。(数字を記入)(令和5年9月1日時点)

年齢についてみると、「40歳代」が53.5%と最も多く、次いで「30歳代」が21.2%となっています。



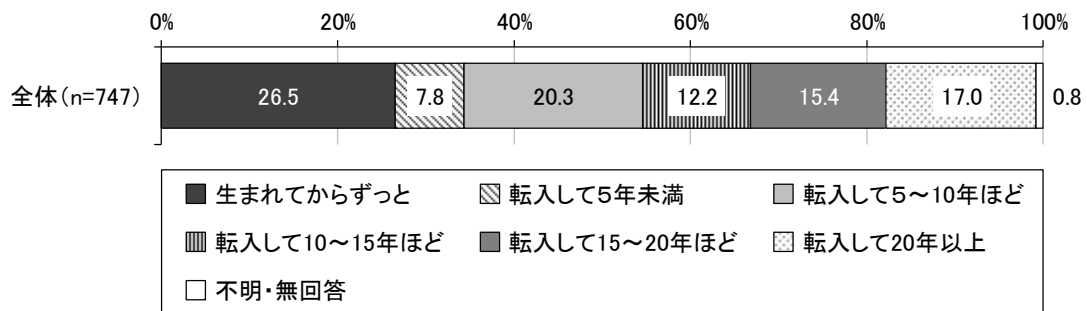
問2 あなたのお住まいの地区を教えてください。(1つに○)

居住地区についてみると、「砂町地区」が21.2%と最も多く、次いで「豊洲地区」が20.1%となっています。



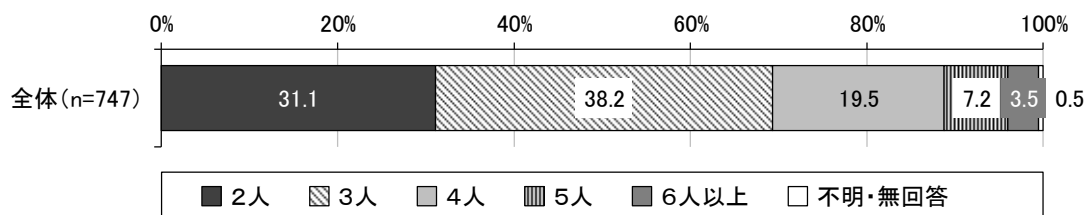
問3 あなたは、江東区にいつから（どのくらい）住んでいますか。（1つに○）

江東区にいつから（どのくらい）住んでいるかについてみると、「生まれてからずっと」が 26.5%と最も多く、次いで「転入して5～10年ほど」が 20.3%となっています。



問4 現在同居しているご家族の人数を教えてください（あなたも含む）。（数字を記入）

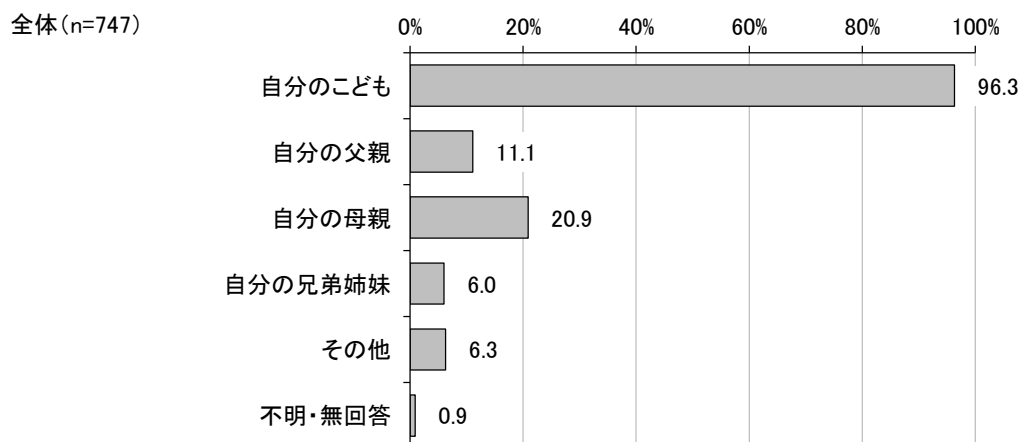
同居している家族の人数についてみると、「3人」が 38.2%と最も多く、次いで「2人」が 31.1%となっています。



問5 同居しているご家族（あなたからみた続柄）はどなたですか。

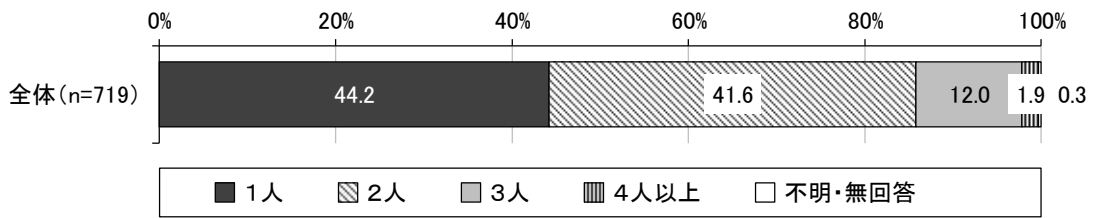
（あてはまる番号すべてに○、人数はカッコの中に数字を記入）

同居している家族についてみると、「自分のこども」が 96.3%と最も多く、次いで「自分の母親」が 20.9%となっています。



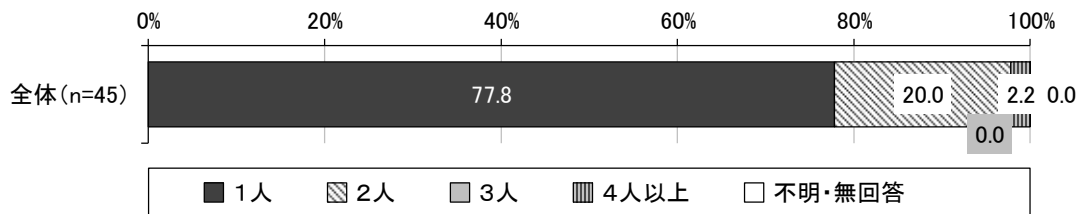
【自分のこどもの人数】

同居しているこどもの人数についてみると、「1人」が 44.2%と最も多く、次いで「2人」が 41.6%となっています。



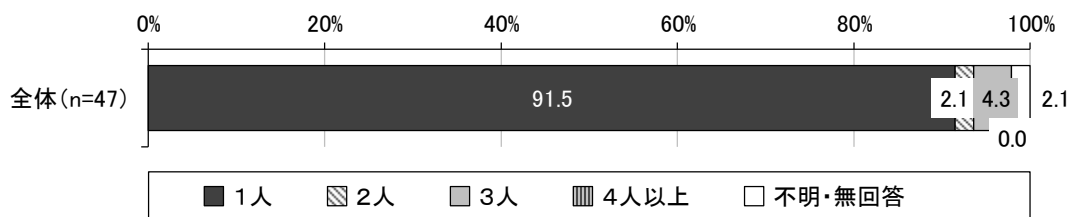
【自分の兄弟姉妹の人数】

同居している兄弟姉妹の人数についてみると、「1人」が 77.8%と最も多く、次いで「2人」が 20.0%となっています。



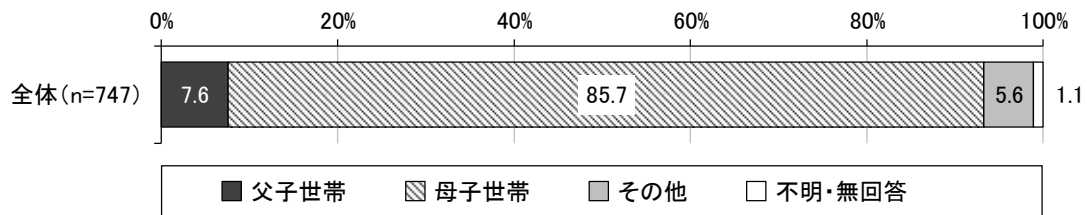
【その他の人数】

同居しているその他の人数についてみると、「1人」が 91.5%と最も多く、次いで「3人」が 4.3%となっています。



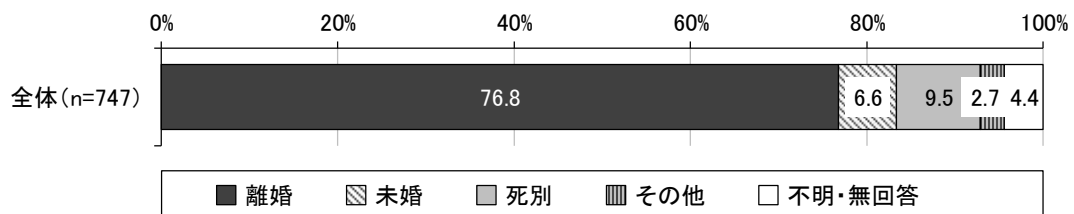
問6 あなたの世帯の種類について教えてください。(1つに○)

世帯の種類についてみると、「母子世帯」が 85.7%と最も多く、次いで「父子世帯」が 7.6%となっています。



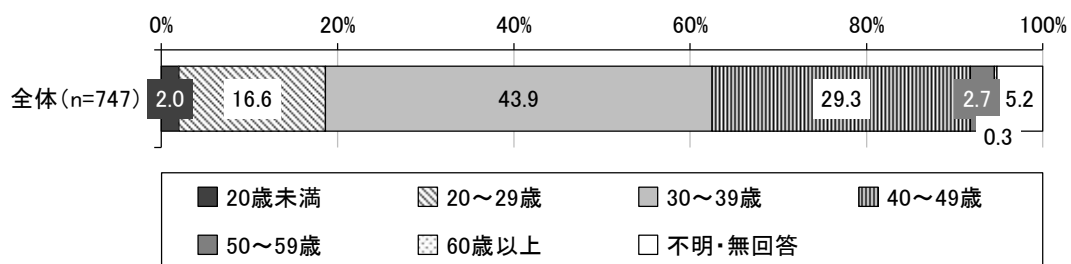
問7 ひとり親家庭になった理由は何ですか。(1つに○)

ひとり親家庭になった理由についてみると、「離婚」が 76.8%と最も多く、次いで「死別」が 9.5%となっています。



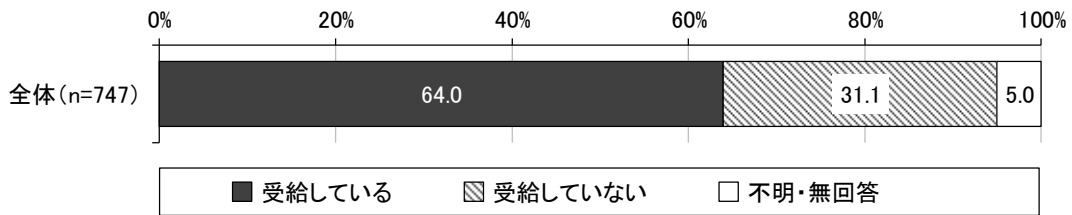
問8 ひとり親家庭になったときのあなたの年齢を教えてください。(1つに○)

ひとり親家庭になったときの年齢についてみると、「30～39 歳」が 43.9%と最も多く、次いで「40～49 歳」が 29.3%となっています。



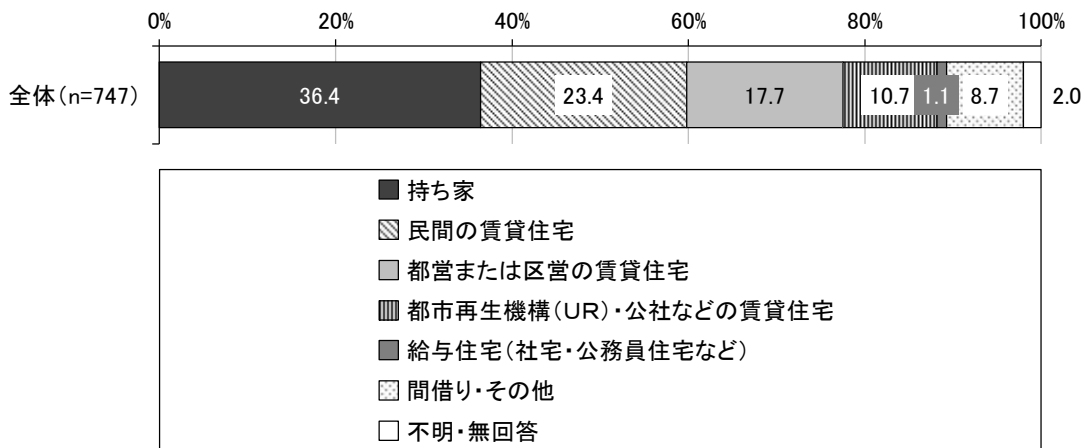
問9 あなたは、ひとり親家庭等医療費助成（マル親）を受給していますか。（1つに○）

ひとり親家庭等医療費助成（マル親）を受給しているかについてみると、「受給している」が 64.0%、「受給していない」が 31.1%となっています。



問10 現在お住まいの住居の形態は、次のどれが最もよくあてはまりますか。（1つに○）

住居の形態についてみると、「持ち家」が 36.4%と最も多く、次いで「民間の賃貸住宅」が 23.4%となっています。



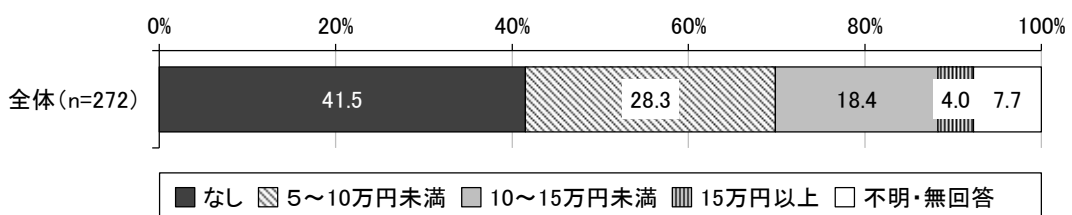
問10-1 1か月あたりの住居費負担はいくらですか。持ち家の場合は住宅ローン返済額、賃貸の場合は家賃または間代および共益費または管理費（共用部分の電気料・清掃費など）を教えてください。（該当箇所に数字を記入）

※住居費の負担がない場合は「0」とご記入ください。

問10で「持ち家」を選んだ方

A 持ち家【1か月あたりの住宅ローン返済額】

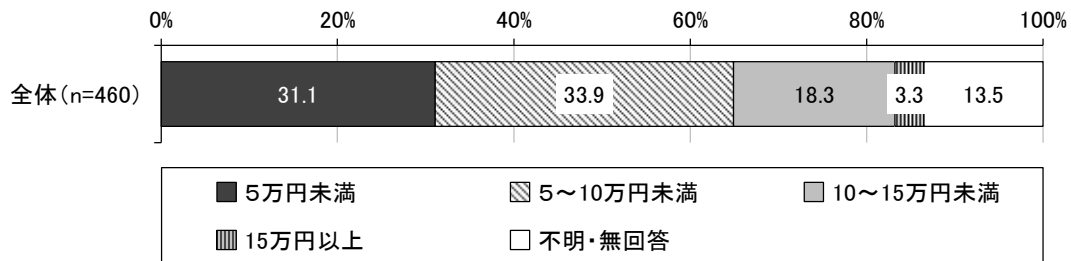
1か月あたりの住宅ローン返済額についてみると、「なし」が 41.5%と最も多く、次いで「5～10万円未満」が 28.3%となっています。



問 10 で「持ち家」以外を選んだ方

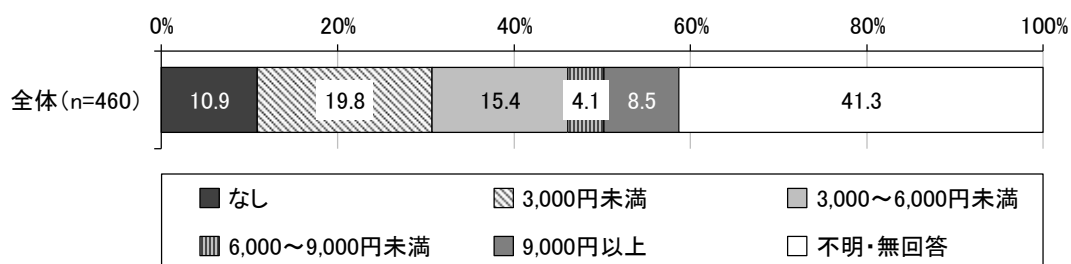
B 賃貸住宅【家賃・間代】

家賃・間代についてみると、「5～10 万円未満」が 33.9%と最も多く、次いで「5万円未満」が 31.1%となっています。



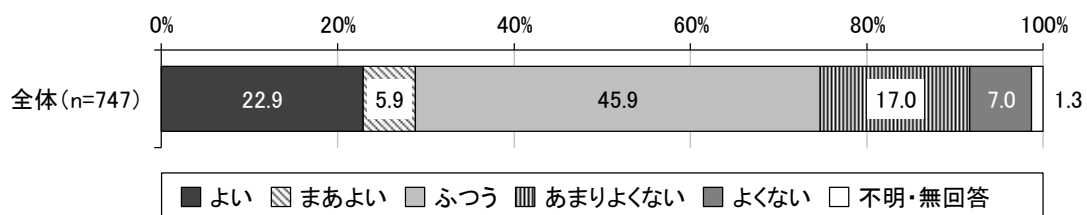
B 賃貸住宅【共益費・管理費】

共益費・管理費についてみると、「3,000 円未満」が 19.8%と最も多く、次いで「3,000～6,000 円未満」が 15.4%となっています。



問 11 あなたの健康状態は、次のどれが最もよくあてはまりますか。（1つに○）

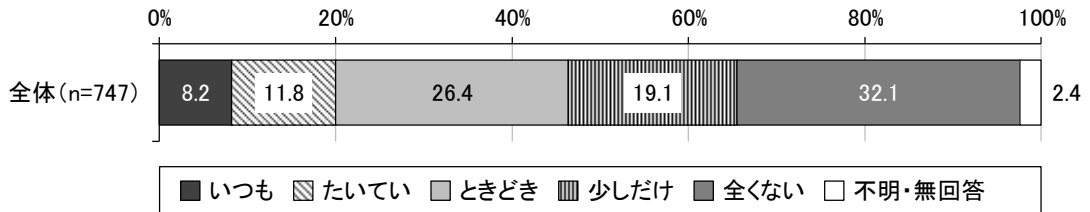
健康状態についてみると、「ふつう」が 45.9%と最も多く、次いで「よい」が 22.9%となっています。



問 12 次のA～Fの質問について、あなたは、ここ1か月の間にどのくらいの頻度で感じましたか。(それぞれ、あてはまる番号1つに○)

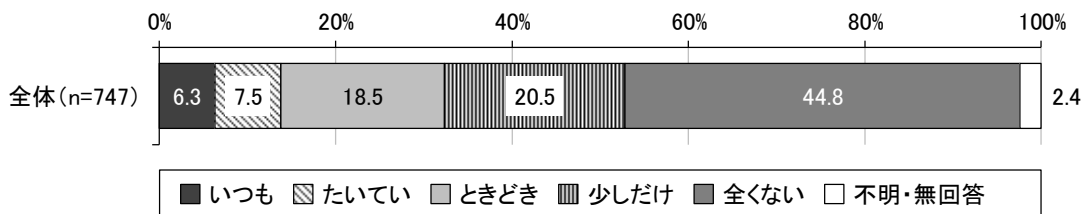
A 神経過敏に感じた

「全くない」が32.1%と最も多く、次いで「ときどき」が26.4%となっています。



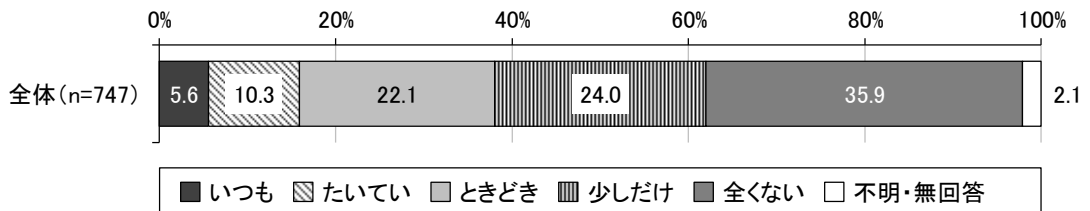
B 絶望的だと感じた

「全くない」が44.8%と最も多く、次いで「少しだけ」が20.5%となっています。



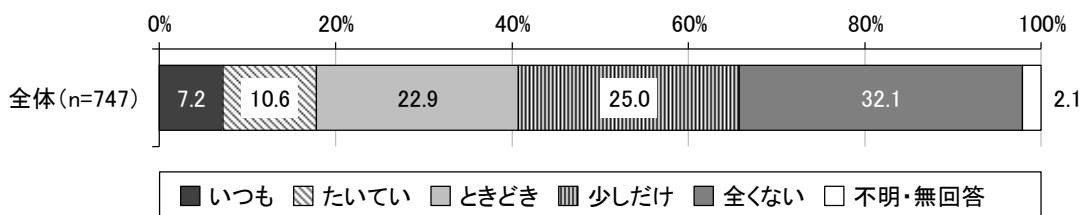
C そわそわ、落ち着かなく感じた

「全くない」が35.9%と最も多く、次いで「少しだけ」が24.0%となっています。



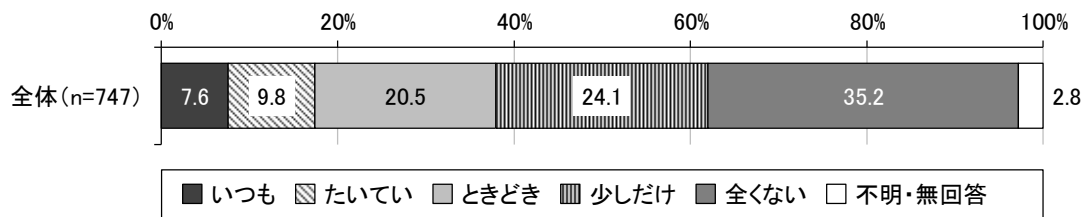
D 気分が沈み込んで、何が起こっても気が晴れないように感じた

「全くない」が32.1%と最も多く、次いで「少しだけ」が25.0%となっています。



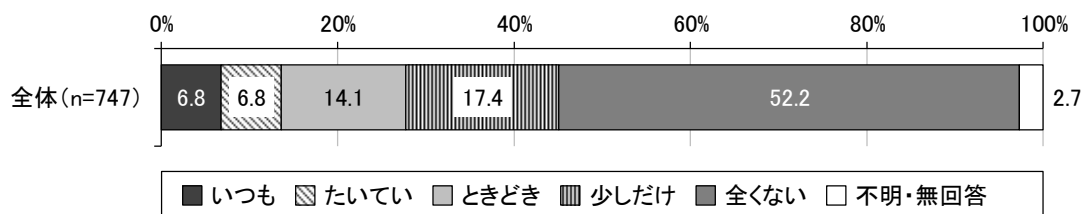
E 何をするのも骨折りだと感じた

「全くない」が 35.2%と最も多く、次いで「少しだけ」が 24.1%となっています。

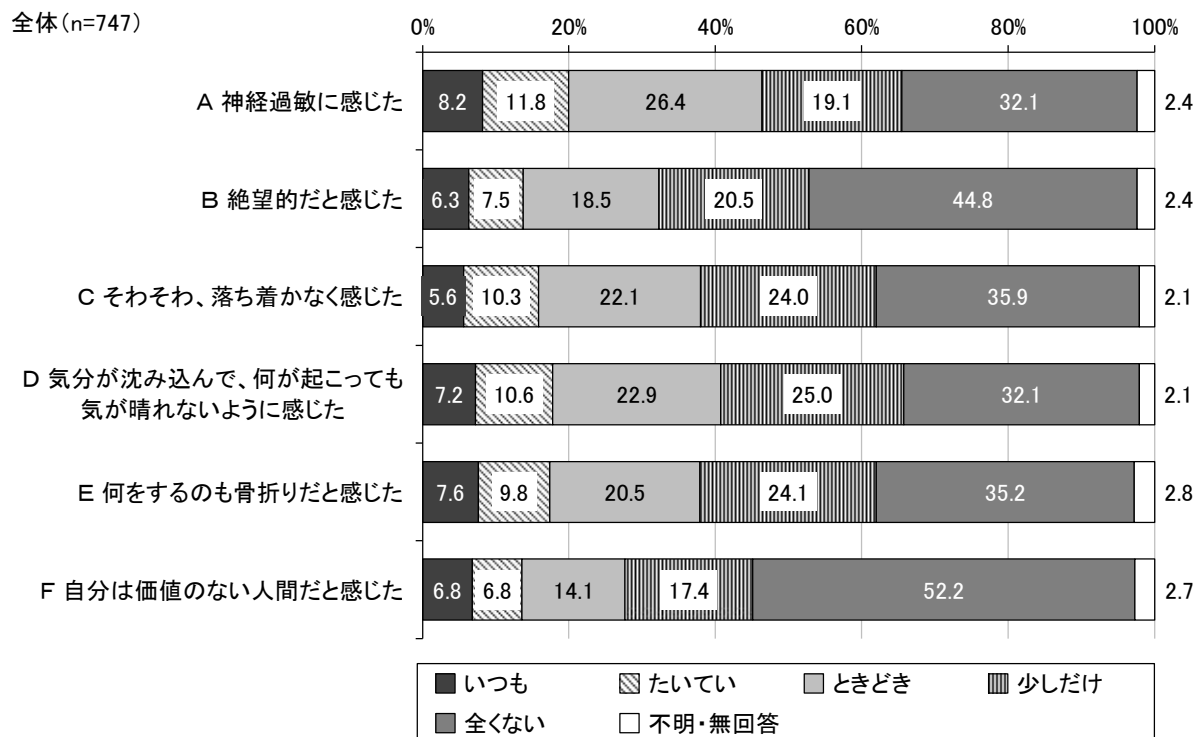


F 自分は価値のない人間だと感じた

「全くない」が 52.2%と最も多く、次いで「少しだけ」が 17.4%となっています。



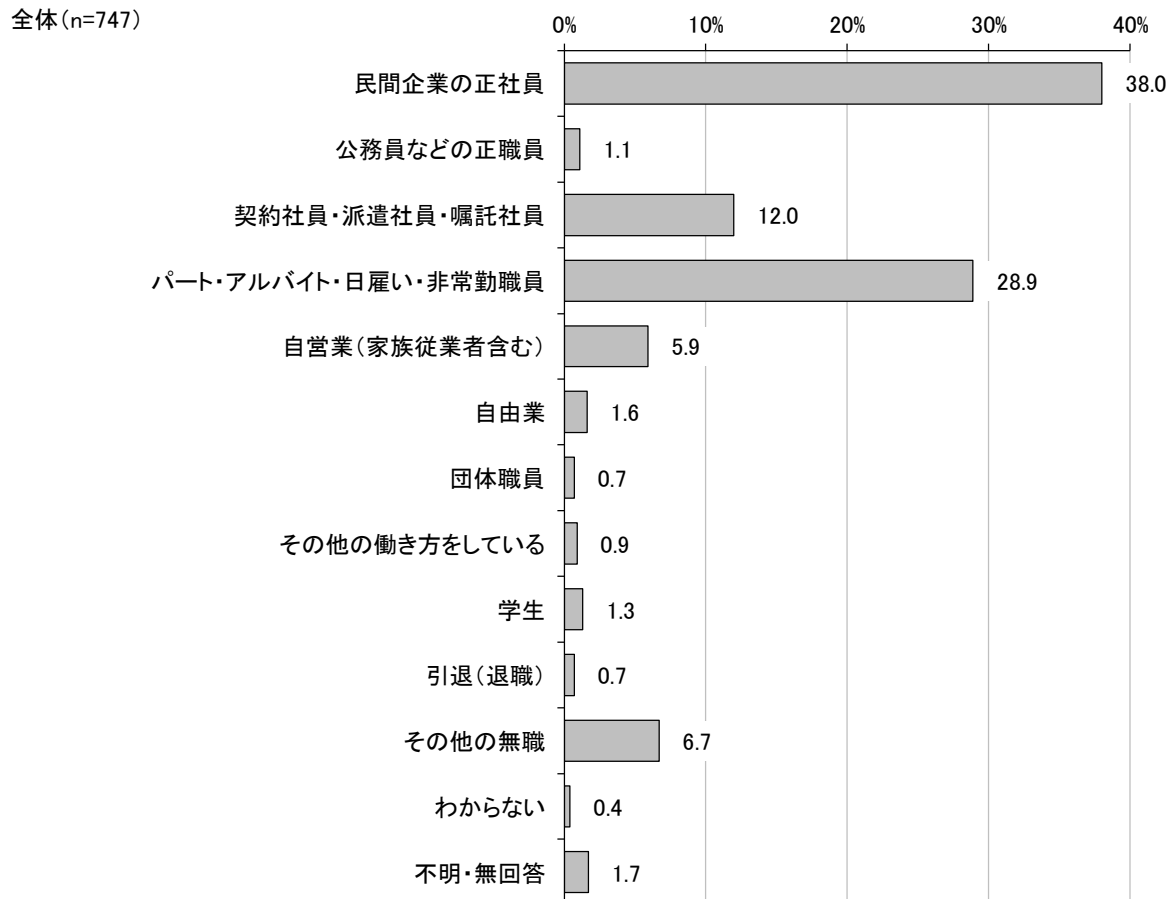
問 12A～F【再掲】



2 就業の状況について

問 13 現在のあなたのご職業は、次のどれに最も近いですか。（1つに○）

職業についてみると、「民間企業の正社員」が 38.0%と最も多く、次いで「パート・アルバイト・日雇い・非常勤職員」が 28.9%となっています。



問 13 で「学生」「引退（退職）」「その他の無職」「わからない」以外を選んだ方

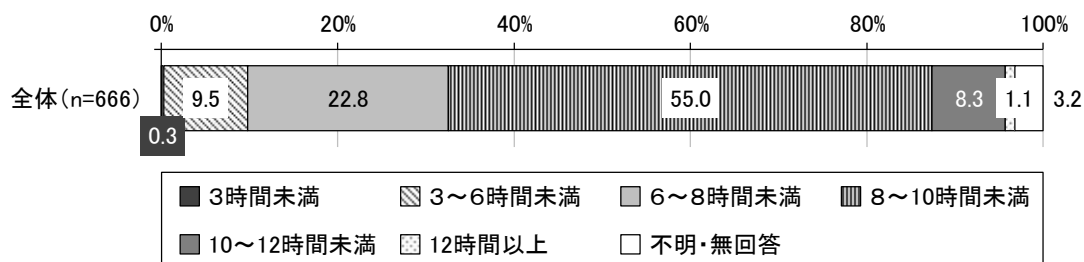
問 13- 1 現在の就労日数、就労時間等の状況について教えてください。

（数字を記入、（3）～（6）はそれぞれ、あてはまる番号 1 つに○）

※複数のお仕事をもっている場合は合算してください。

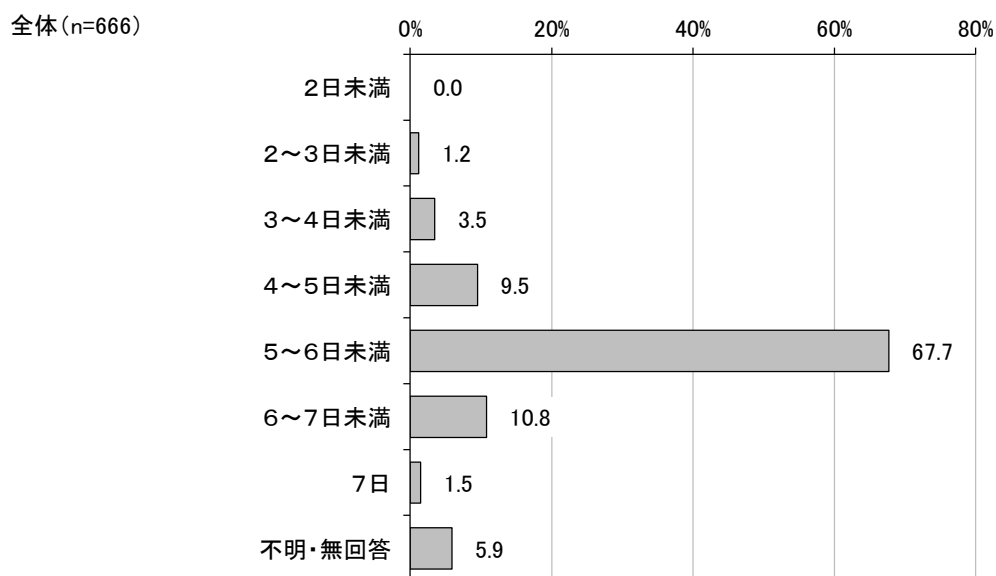
（1）1 日の就労時間

1日の就労時間についてみると、「8～10 時間未満」が 55.0%と最も多く、次いで「6～8時間未満」が 22.8%となっています。



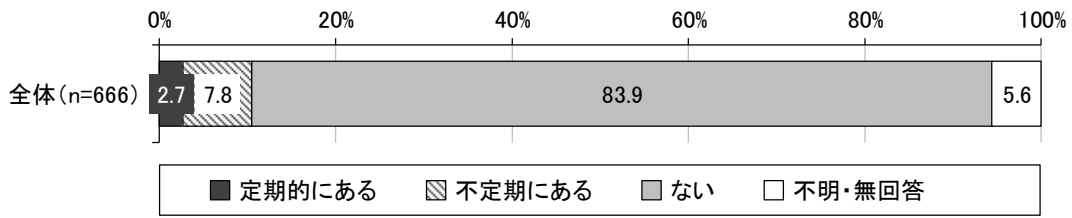
（2）1 週間の就労日数

1週間の就労日数についてみると、「5～6日未満」が 67.7%と最も多く、次いで「6～7日未満」が 10.8%となっています。



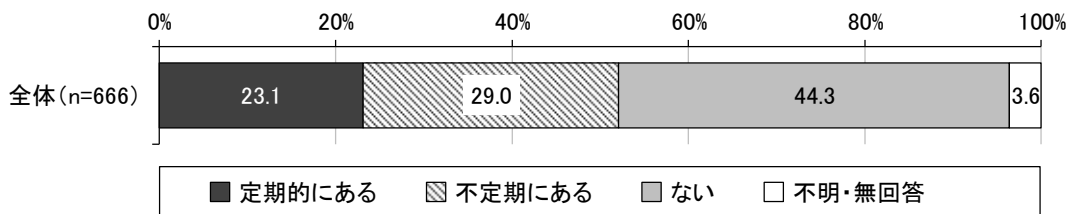
(3) 深夜勤務(22時～5時)

深夜勤務(22時～5時)についてみると、「ない」が83.9%と最も多く、次いで「不規則にある」が7.8%となっています。



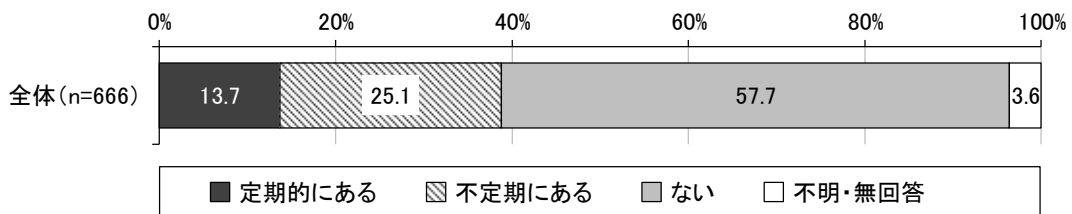
(4) 土曜出勤

土曜出勤についてみると、「ない」が44.3%と最も多く、次いで「不規則にある」が29.0%となっています。



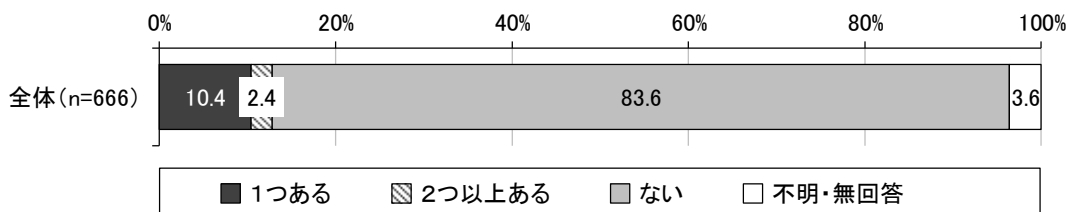
(5) 日曜・祝日出勤

日曜・祝日出勤についてみると、「ない」が57.7%と最も多く、次いで「不規則にある」が25.1%となっています。



(6) 副業(主な仕事以外での労働)

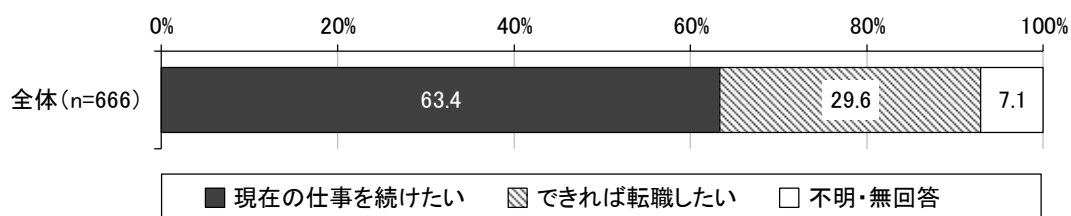
副業(主な仕事以外での労働)についてみると、「ない」が83.6%と最も多く、次いで「1つある」が10.4%となっています。



問 13 で「学生」「引退（退職）」「その他の無職」「わからない」以外を選んだ方

問 13- 2 あなたは、今のお仕事を今後も続けたいと考えていますか。（1 つに○）

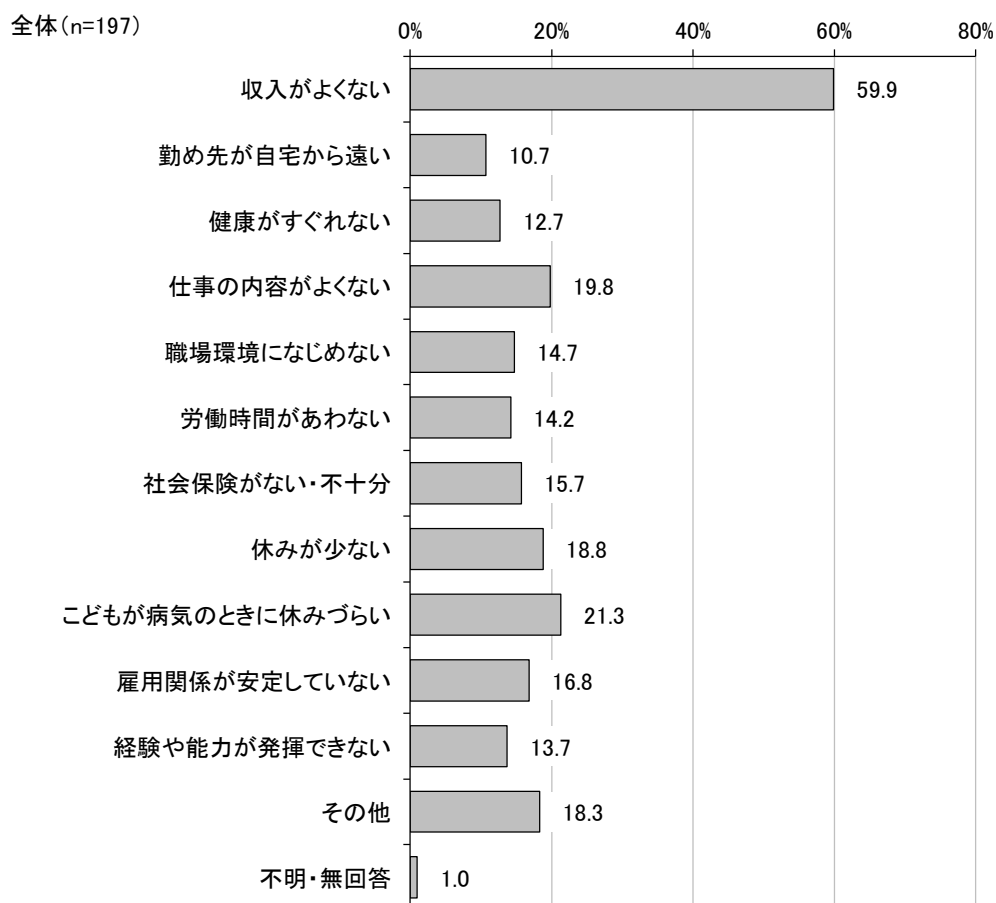
今の仕事を今後も続けたいと考えているかについてみると、「現在の仕事を続けたい」が 63.4%、「できれば転職したい」が 29.6%となっています。



問 13- 2 で「できれば転職したい」を選んだ方

問 13- 3 どのような理由から転職をお考えですか。（あてはまる番号すべてに○）

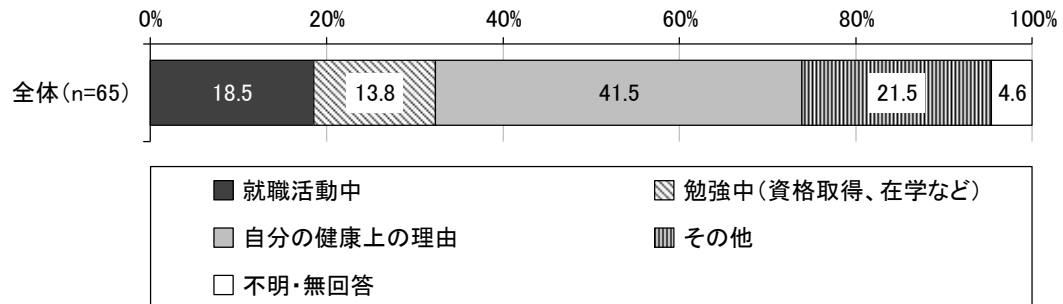
転職を考えている理由についてみると、「収入がよくない」が 59.9%と最も多く、次いで「子どもが病気のときに休みづらい」が 21.3%となっています。



問 13 で「学生」「引退（退職）」「その他の無職」を選んだ方

問 13- 4 現在仕事をしていないのは、主にどのような理由からですか。（1 つに○）

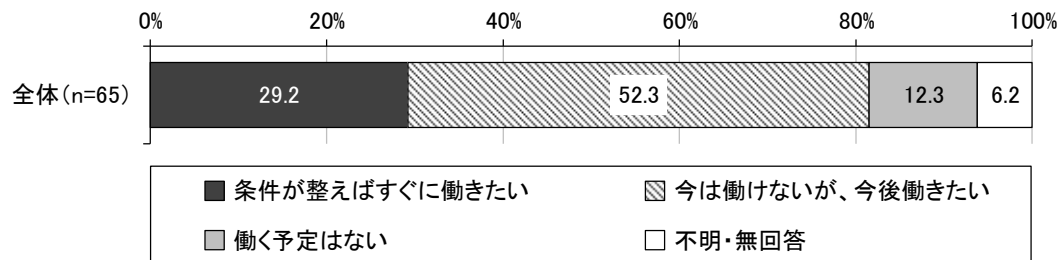
現在仕事をしていない主な理由についてみると、「自分の健康上の理由」が 41.5%と最も多く、次いで「就職活動中」が 18.5%となっています。



問 13 で「学生」「引退（退職）」「その他の無職」を選んだ方

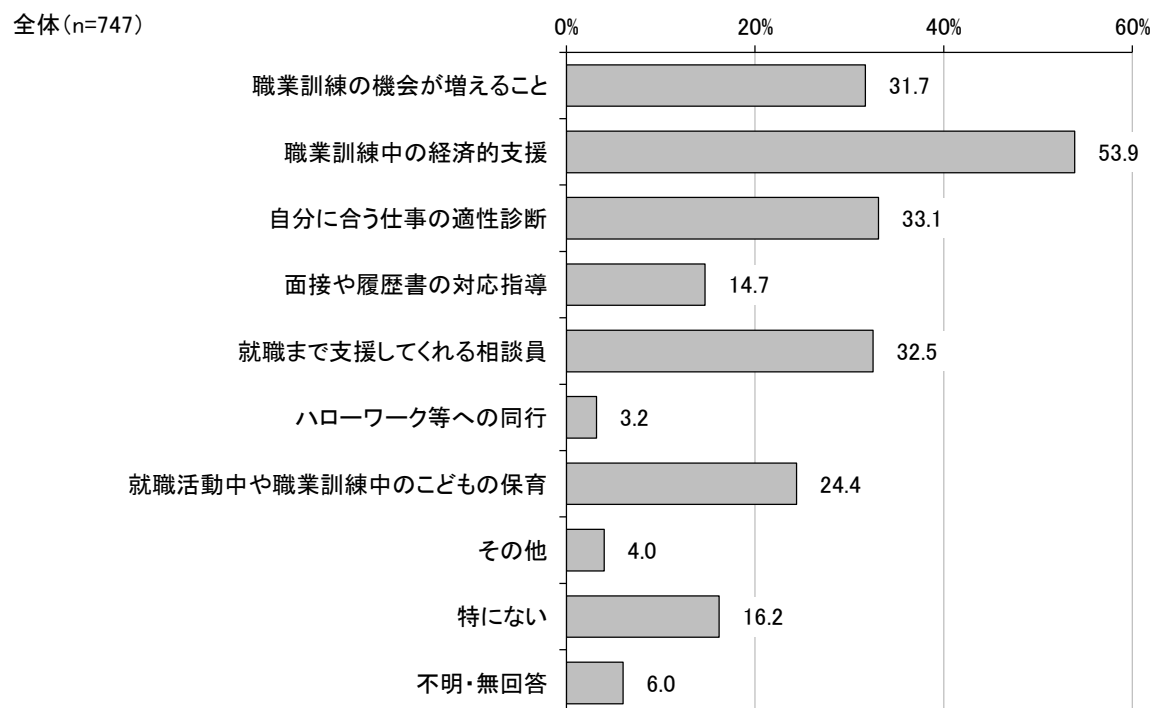
問 13- 5 今後の就労意向は次のどれに最も近いですか。（1 つに○）

今後の就労意向についてみると、「今は働けないが、今後働きたい」が 52.3%と最も多く、次いで「条件が整えばすぐに働きたい」が 29.2%となっています。



問 14 すべての方におうかがいします。就職のためにどのような支援があればよいと思いますか。（あてはまる番号すべてに○）

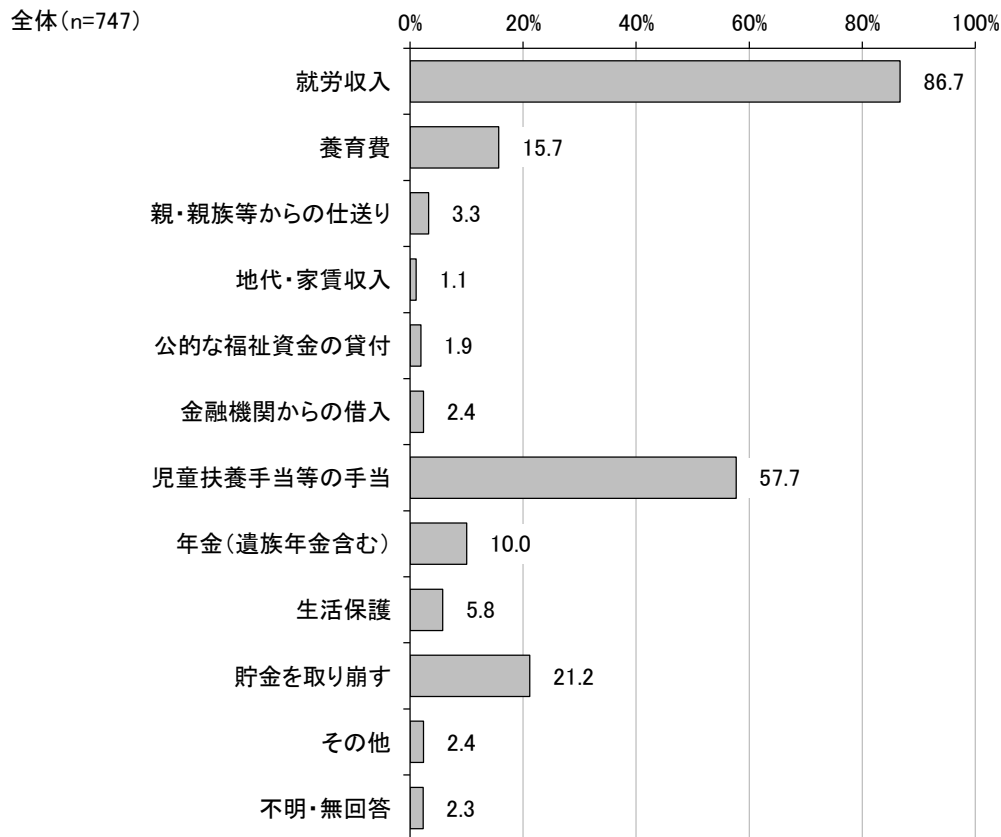
就職のためにあればよいと思う支援についてみると、「職業訓練中の経済的支援」が 53.9%と最も多く、次いで「自分に合う仕事の適性診断」が 33.1%となっています。



3 ご家庭の家計について

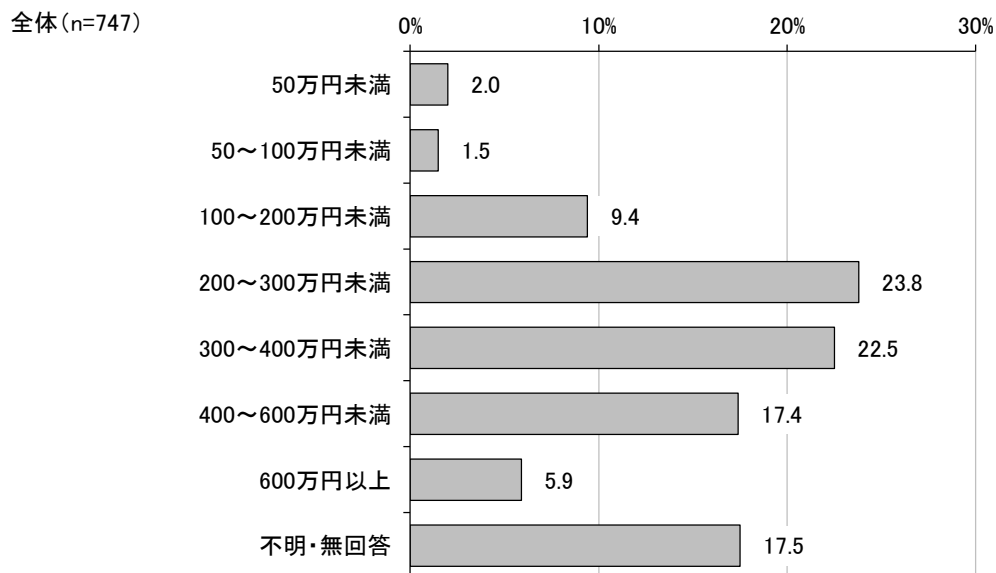
問 15 あなたのご家庭の主な収入源となっているものをお答えください。
(あてはまる番号すべてに○)

主な収入源についてみると、「就労収入」が 86.7%と最も多く、次いで「児童扶養手当等の手当」が 57.7%となっています。



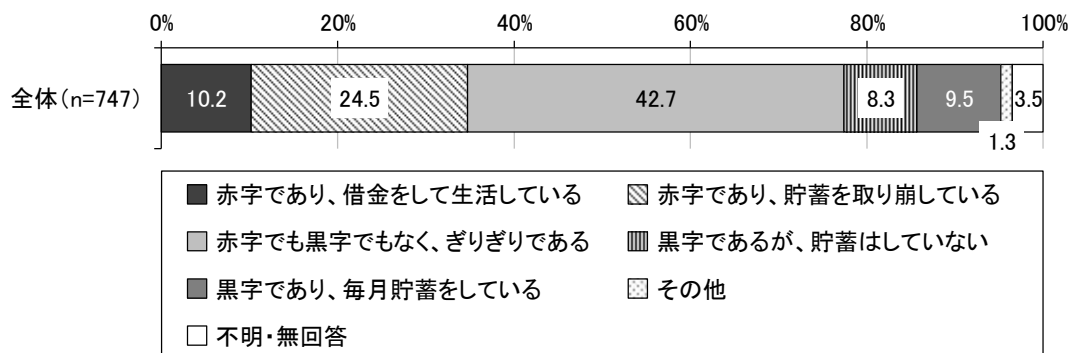
問 16 あなたの世帯の、1年間のおおよその手取りの総収入（養育費や手当等のすべての収入を含みます）はいくらですか。（数字を記入）

1年間のおおよその手取りの総収入についてみると、「200～300 万円未満」が 23.8%と最も多く、次いで「300～400 万円未満」が 22.5%となっています。



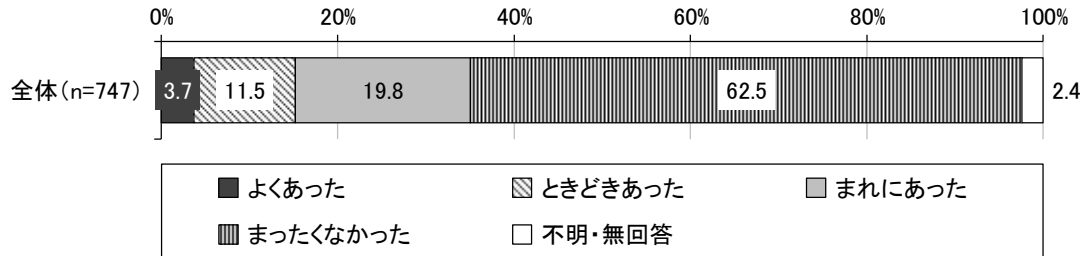
問 17 ご家庭の家計について、最も近いものをお答えください。（1つに○）

家計についてみると、「赤字でも黒字でもなく、ぎりぎりである」が 42.7%と最も多く、次いで「赤字であり、貯蓄を取り崩している」が 24.5%となっています。



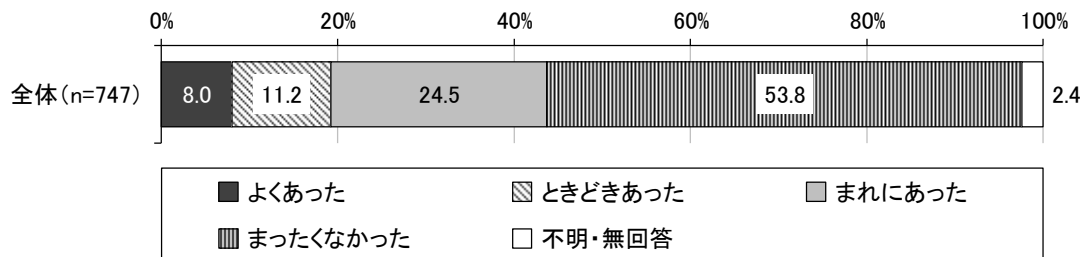
問 18 あなたのご家庭では、過去 1 年の間に、お金が足りなくて、家族が必要とする食料を買えないことがありましたか。（1 つに○）

過去1年の間に、お金が足りなくて、家族が必要とする食料を買えないことがあったかについてみると、「まったくなかった」が 62.5%と最も多く、次いで「まれにあった」が 19.8%となっています。



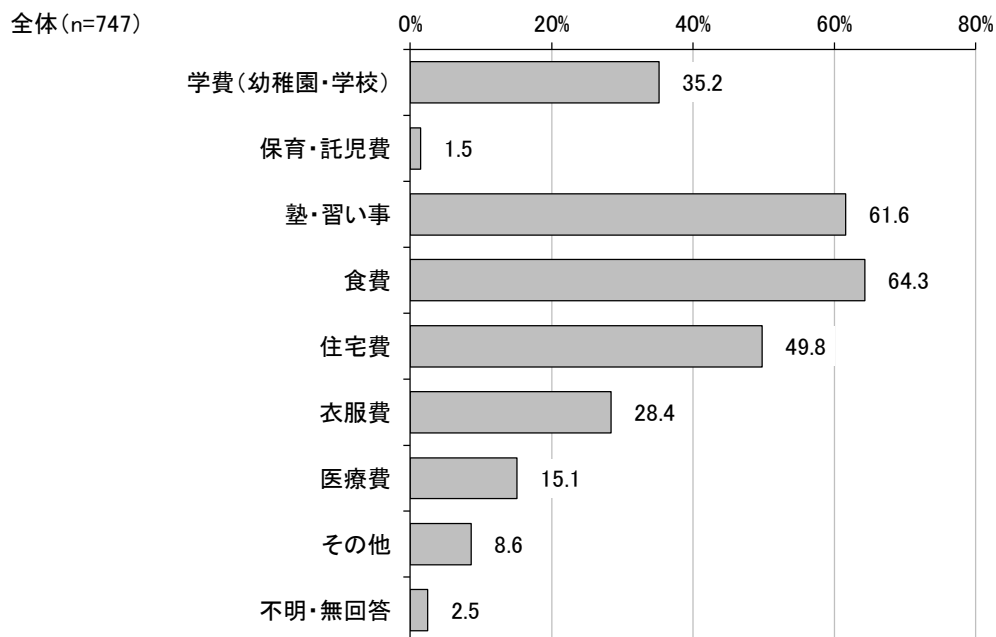
問 19 あなたのご家庭では、過去 1 年の間に、お金が足りなくて、家族が必要とする衣類を買えないことがありましたか。（1 つに○）

過去1年の間に、お金が足りなくて、家族が必要とする衣類を買えないことがあったかについてみると、「まったくなかった」が 53.8%と最も多く、次いで「まれにあった」が 24.5%となっています。



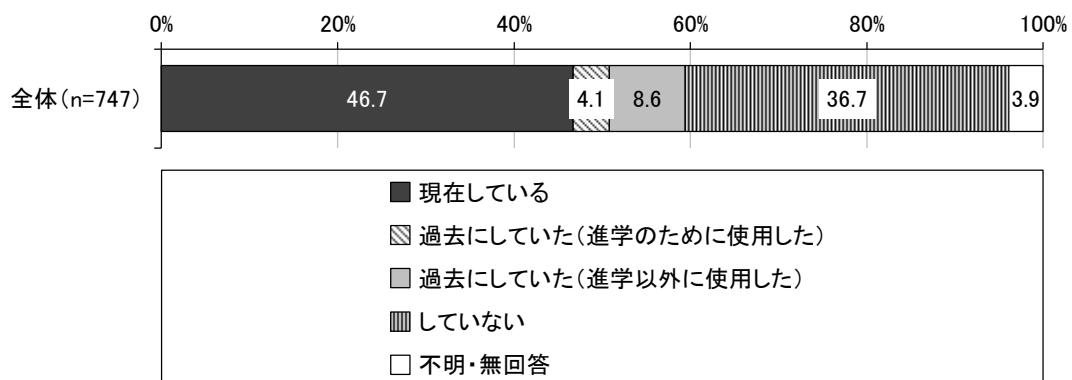
問 20 生活費の中で負担に感じる支出はどの費用ですか。(あてはまる番号すべてに○)

生活費の中で負担に感じる支出についてみると、「食費」が64.3%と最も多く、次いで「塾・習い事」が61.6%となっています。



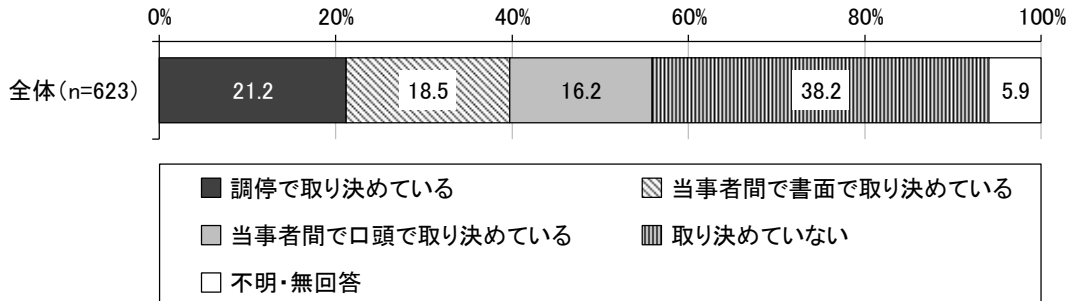
問 21 あなたのご家庭では、こどもの進学のために積立(預貯金)や学資保険などに加入していますか。(1つに○)

こどもの進学のために積立(預貯金)や学資保険などに加入しているかについてみると、「現在している」が46.7%と最も多く、次いで「していない」が36.7%となっています。



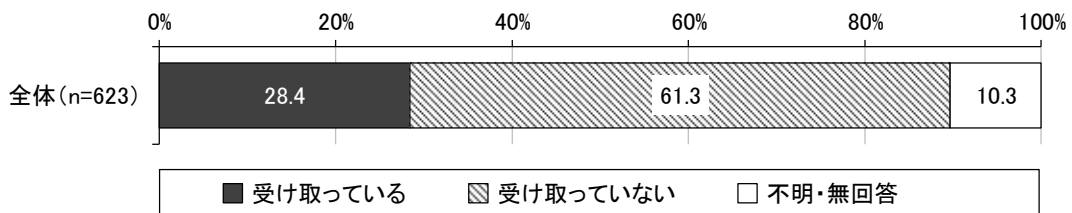
問 22 離婚または未婚の方におうかがいします。あなたは、養育費についての取り決めを行っていますか。(1つに○)

養育費についての取り決めを行っているかについてみると、「取り決めていない」が 38.2%と最も多く、次いで「調停で取り決めている」が 21.2%となっています。



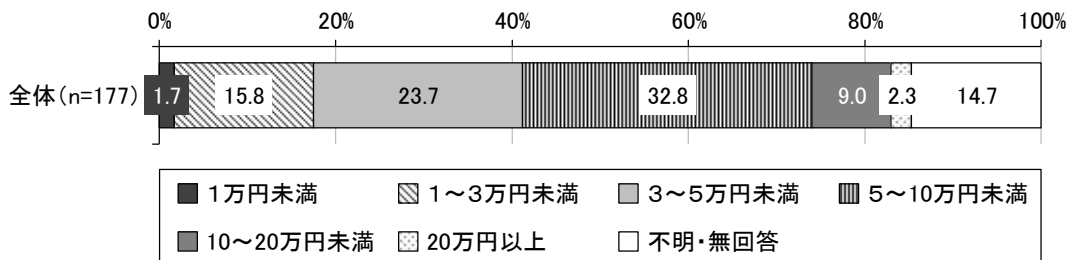
問 23 離婚または未婚の方におうかがいします。あなたは、養育費を受け取っていますか。受け取られている方は、受け取っている養育費の金額のご記入をお願いします。(1つに○)

養育費を受け取っているかについてみると、「受け取っている」が 28.4%、「受け取っていない」が 61.3%となっています。



養育費金額（月額換算）

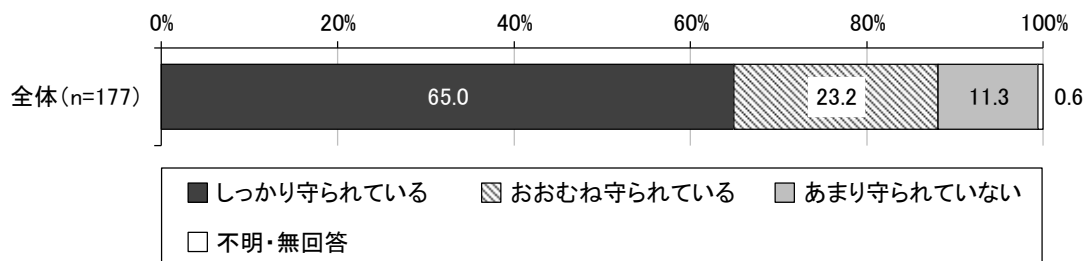
養育費(月額換算)についてみると、「5～10万円未満」が32.8%と最も多く、次いで「3～5万円未満」が 23.7%となっています。



問 23 で「受け取っている」を選んだ方

問 23- 1 問 22 での取り決めは守られていますか。（1 つに○）

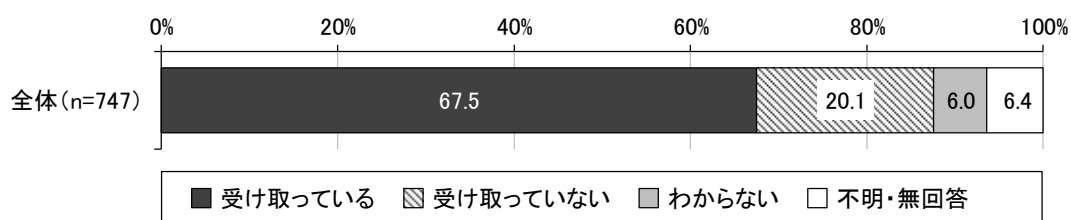
取り決めは守られているかについてみると、「しっかり守られている」が 65.0%と最も多く、次いで「おおむね守られている」が 23.2%となっています。



問 24 あなたのご家庭では、就学援助費を受け取っていますか。（1 つに○）

※就学援助制度は、経済的な理由により就学が困難な子どもたちの保護者に対して、援助を行い、子どもたちが等しく義務教育を受けることができるようにするための制度です。

就学援助費を受け取っているかについてみると、「受け取っている」が 67.5%と最も多く、次いで「受け取っていない」が 20.1%となっています。



問 24 で「受け取っている」を選んだ方

問 24- 1 就学援助で支給されている額と実際にかかった額とで、その差が大きいものは何の経費ですか。

就学援助で支給されている額と実際にかかった額とで、その差が大きいものは、「入学準備費」が 170 件と最も多く、次いで「学用品費」が 134 件となっています。

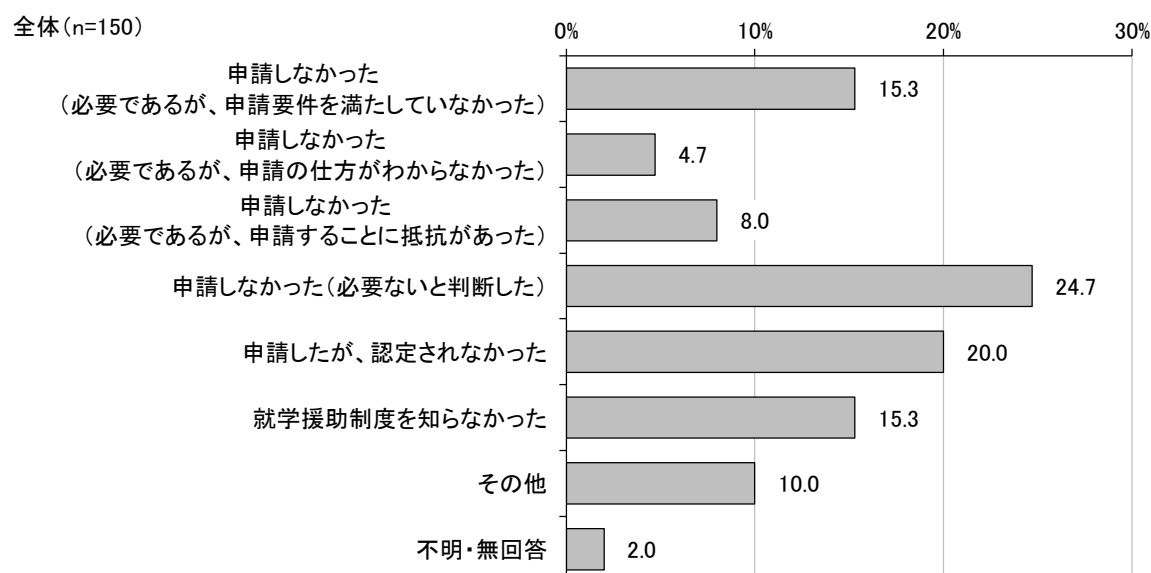
カテゴリー	件数
入学準備費	170
学用品費	134
運動用品費	107
遠足・移動教室費	30
わからない	13
その他	51

※カテゴリー10件未満のものは「その他」にまとめて集計。複数カウントあり。

問 24 で「受け取っていない」を選んだ方

問 24- 2 受け取っていない理由は、何ですか。次のうち最も近いものに○をつけてください。（1つに○）

受け取っていない理由についてみると、「申請しなかった(必要ないと判断した)」が 24.7%と最も多く、次いで「申請したが、認定されなかった」が 20.0%となっています。

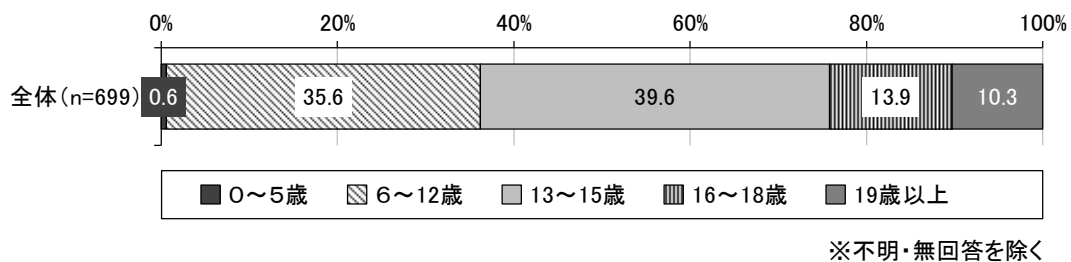


4 お子さんのことについて

問 25 同居しているすべてのお子さんの、年齢・通学などの状況を教えてください。また、通学している場合は、公私立の種類についても教えてください。特別支援学校に通学している場合は、小学校・中学校・高等学校のそれぞれ該当する番号に○をつけてください。（それぞれあてはまる番号1つに○、年齢は数字を記入）

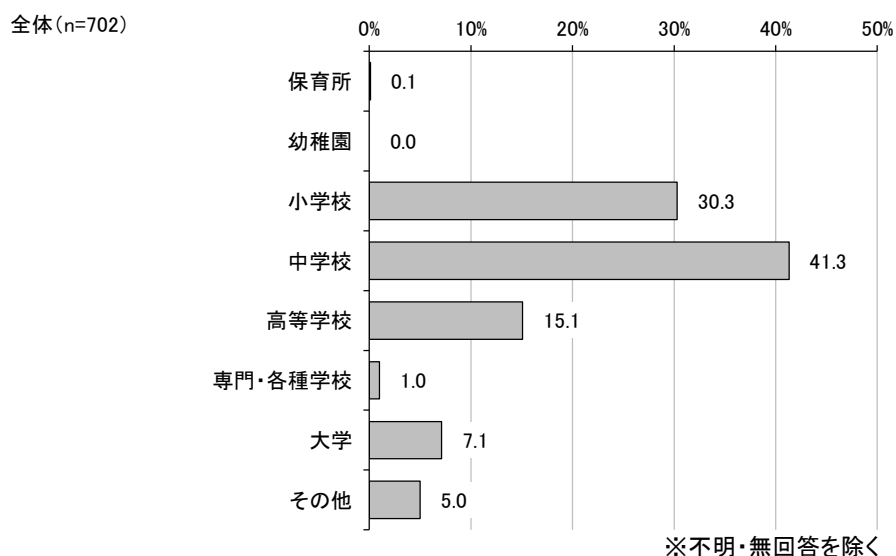
【第1子】年齢

第1子の年齢についてみると、「13～15 歳」が 39.6%と最も多く、次いで「6～12 歳」が 35.6%となっています。



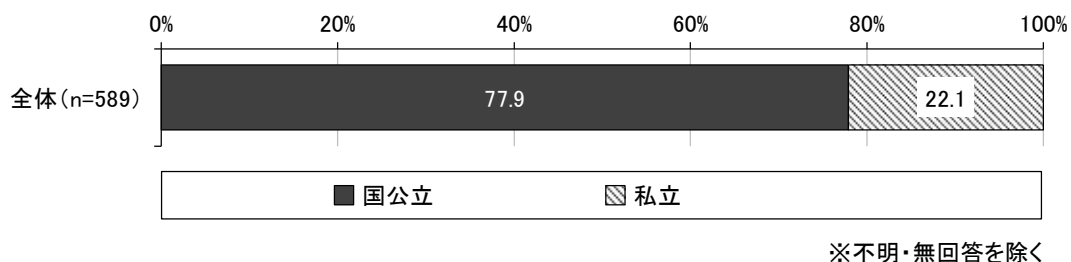
【第1子】通学などの状況

第1子の通学などの状況についてみると、「中学校」が 41.3%と最も多く、次いで「小学校」が 30.3%となっています。



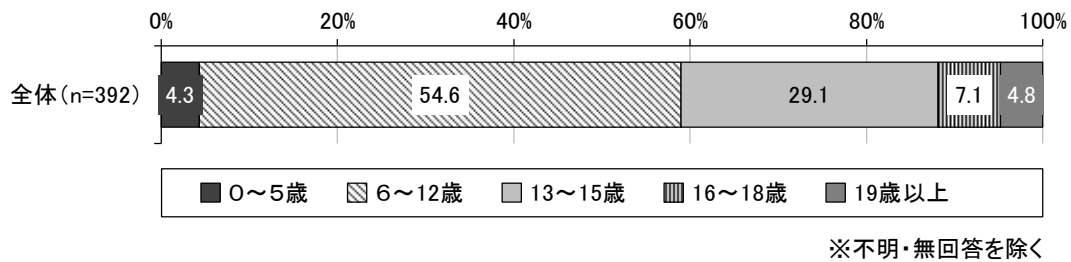
【第1子】公私立の種類

第1子の公私立の種類についてみると、「国公立」が 77.9%、「私立」が 22.1%となっています。



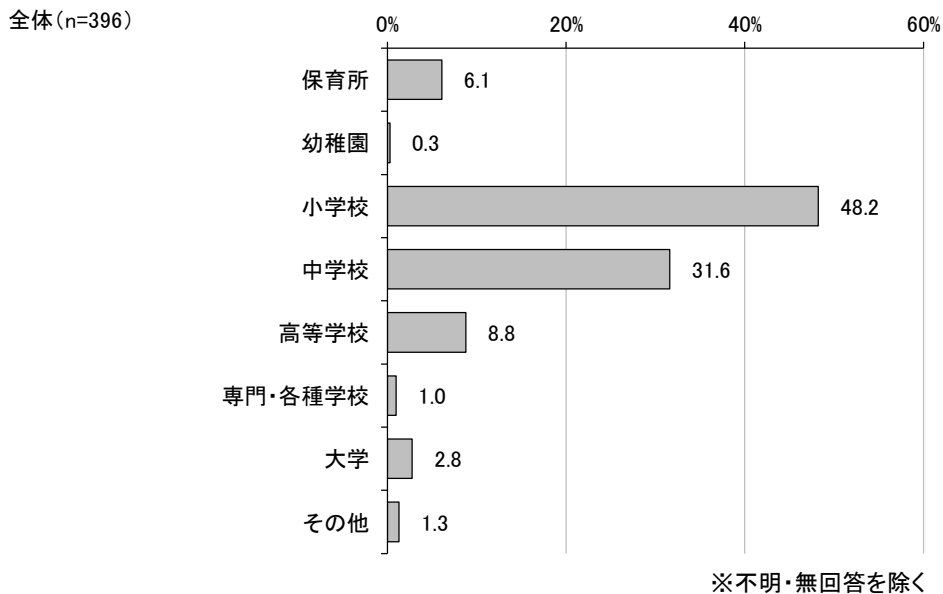
【第2子】年齢

第2子の年齢についてみると、「6～12歳」が54.6%と最も多く、次いで「13～15歳」が29.1%となっています。



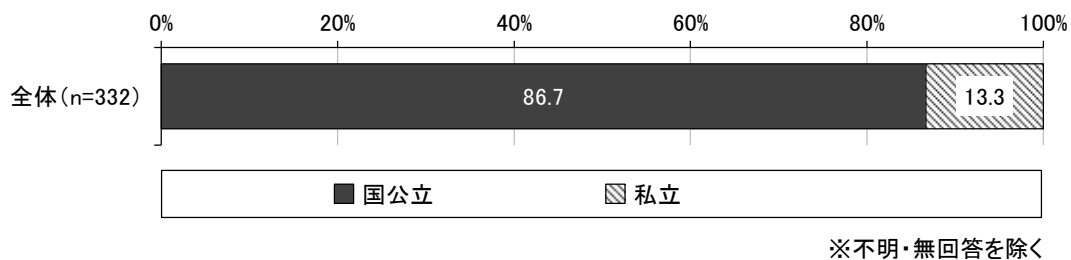
【第2子】通学などの状況

第2子の通学などの状況についてみると、「小学校」が48.2%と最も多く、次いで「中学校」が31.6%となっています。



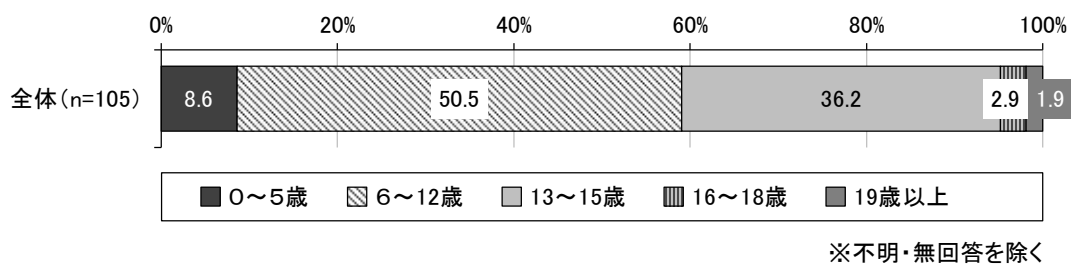
【第2子】公私立の種類

第2子の公私立の種類についてみると、「国公立」が86.7%、「私立」が13.3%となっています。



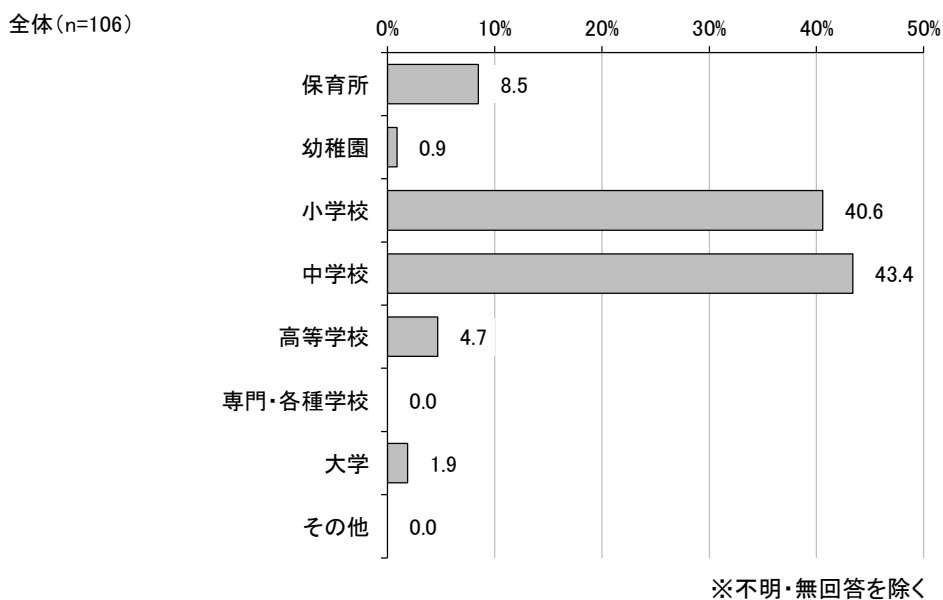
【第3子】年齢

第3子の年齢についてみると、「6～12歳」が50.5%と最も多く、次いで「13～15歳」が36.2%となっています。



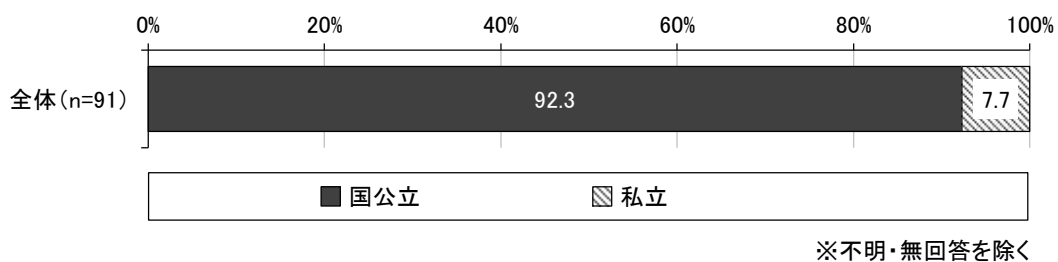
【第3子】通学などの状況

第3子の通学などの状況についてみると、「中学校」が43.4%と最も多く、次いで「小学校」が40.6%となっています。



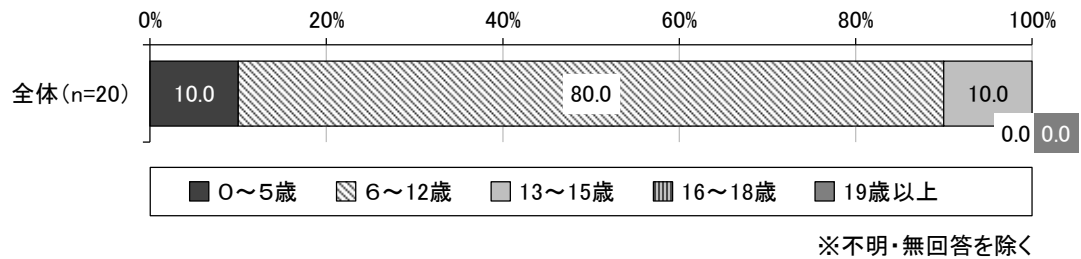
【第3子】公私立の種類

第3子の公私立の種類についてみると、「国公立」が92.3%、「私立」が7.7%となっています。



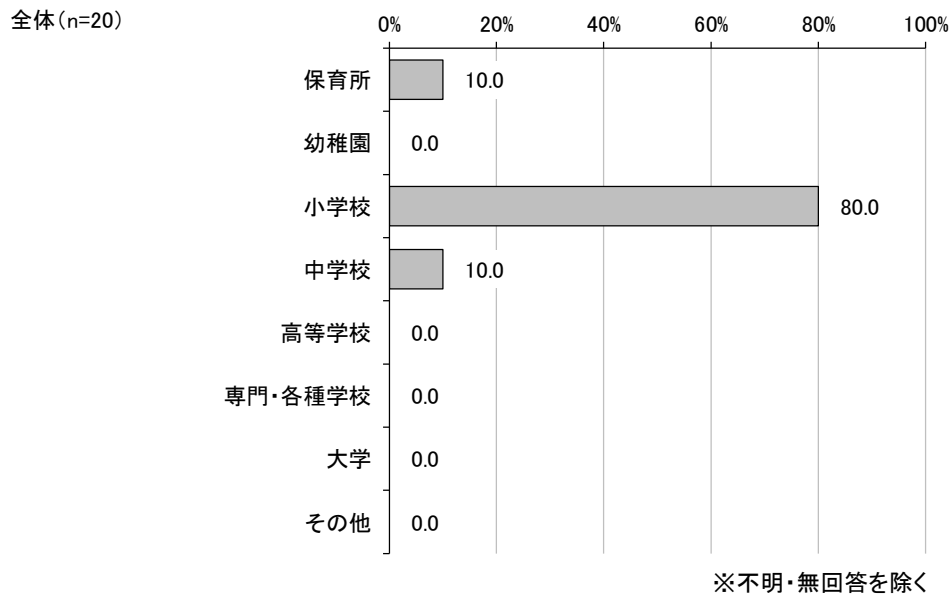
【第4子】年齢

第4子の年齢についてみると、「6～12歳」が80.0%と最も多く、次いで「0～5歳」「13～15歳」が10.0%となっています。



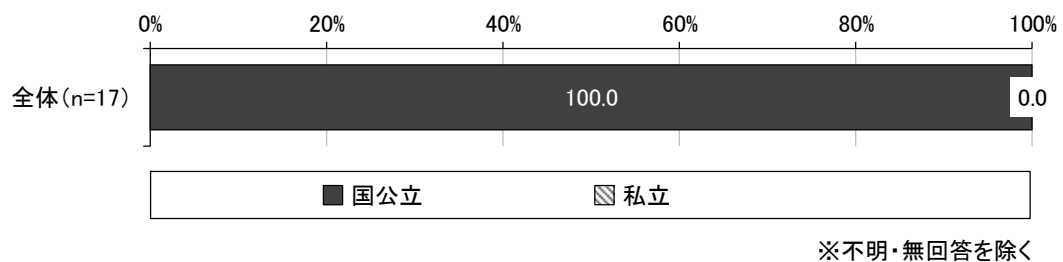
【第4子】通学などの状況

第4子の通学などの状況についてみると、「小学校」が80.0%と最も多く、次いで「保育所」「中学校」が10.0%となっています。



【第4子】公私立の種類

第4子の公私立の種類についてみると、「国公立」が100.0%となっています。



第5子については、回答数が少なかったため、結果のみ示します。

【第5子】年齢

全体(n=5)	件数	%
0～5歳	1	20.0
6～12歳	4	80.0
13～15歳	0	0.0
16～18歳	0	0.0
19歳以上	0	0.0

※不明・無回答を除く

【第5子】通学などの状況

全体(n=5)	件数	%
保育所	1	20.0
幼稚園	0	0.0
小学校	4	80.0
中学校	0	0.0
高等学校	0	0.0
専門・各種学校	0	0.0
大学	0	0.0
その他	0	0.0

※不明・無回答を除く

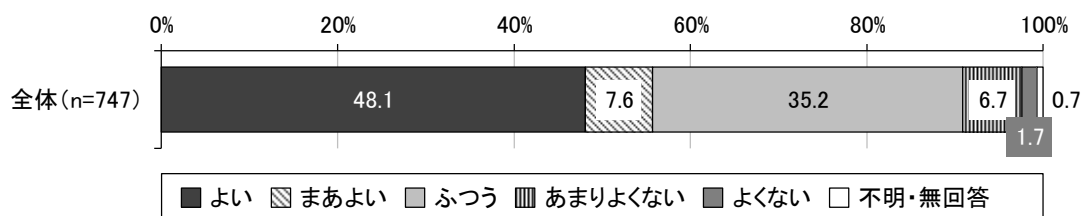
【第5子】公私立の種類

全体(n=4)	件数	%
国公立	4	100.0
私立	0	0.0

※不明・無回答を除く

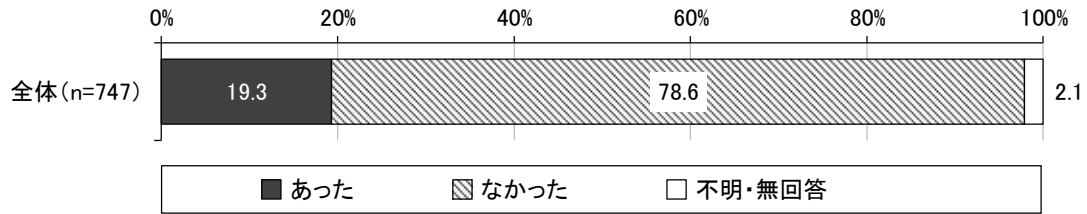
問 26 お子さんの健康状態は、次のどれが最もよくあてはまりますか。（1つに○）

こどもの健康状態についてみると、「よい」が48.1%と最も多く、次いで「ふつう」が35.2%となっています。



問 27 過去1年間に、お子さんを医療機関で受診させた方がよいと思ったが、実際には受診させなかったことがありましたか。（1つに○）

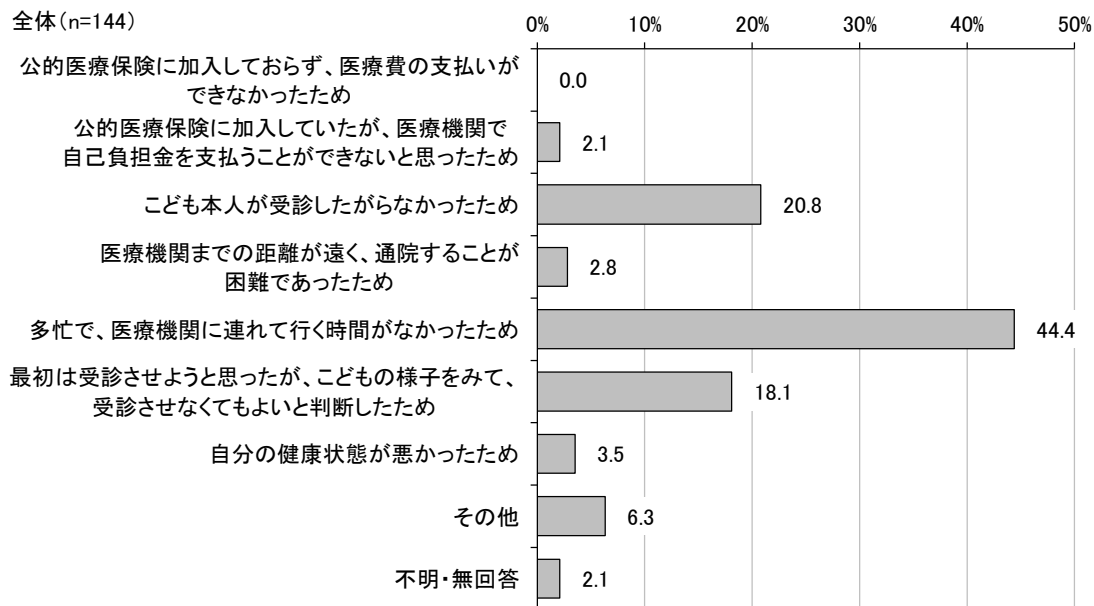
過去1年間に、こどもを医療機関で受診させた方がよいと思ったが、実際には受診させなかったことがあるかについてみると、「あった」が19.3%、「なかった」が78.6%となっています。



問 27 で「あった」を選んだ方

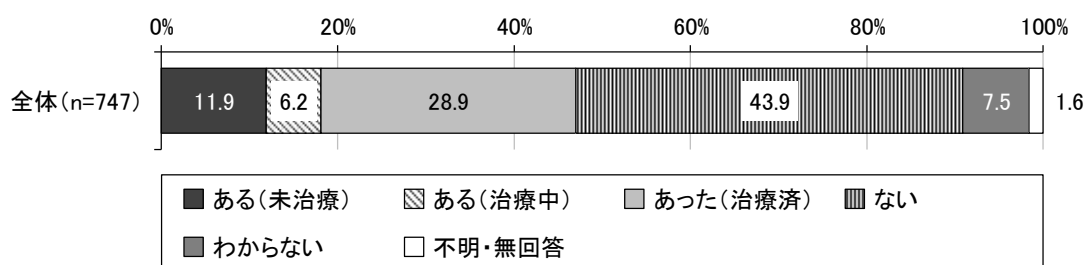
問 27-1 その理由は何ですか。以下の中から最も近いものに○をつけてください。（1つに○）

受診させなかった理由についてみると、「多忙で、医療機関に連れて行く時間がなかったため」が44.4%と最も多く、次いで「こども本人が受診しなかったため」が20.8%となっています。



問 28 お子さんには虫歯がありますか。(1つに○)

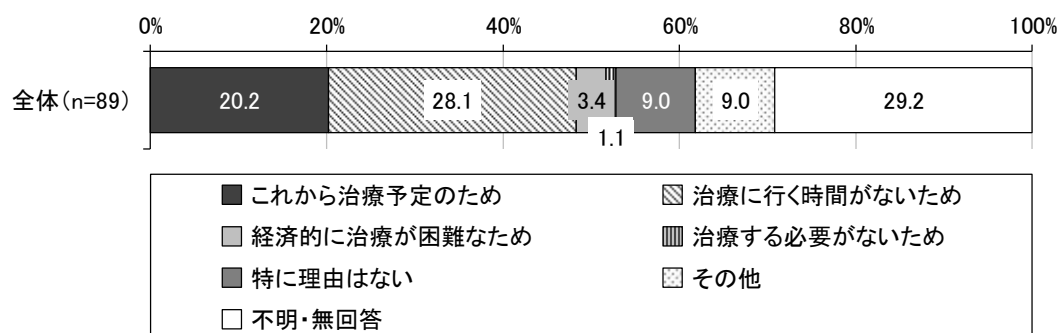
こどもに虫歯があるかについてみると、「ない」が 43.9%と最も多く、次いで「あった(治療済)」が 28.9%となっています。



問 28 で「ある(未治療)」を選んだ方

問 28-1 治療していない理由は何ですか。以下の中から最も近いものに○をつけてください。(1つに○)

治療していない理由についてみると、「治療に行く時間がないため」が 28.1%と最も多く、次いで「これから治療予定のため」が 20.2%となっています。

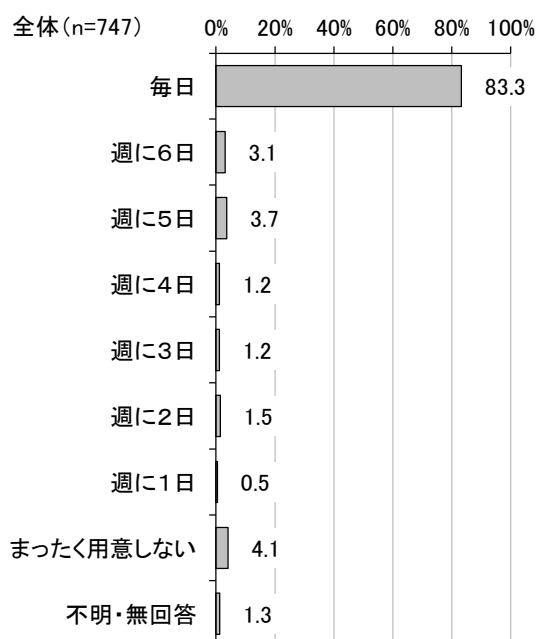


問 29 あなたのご家庭では、1週間にどれくらいお子さんに朝ごはん、晩ごはんを用意していますか。(それぞれ、あてはまる番号1つに○)

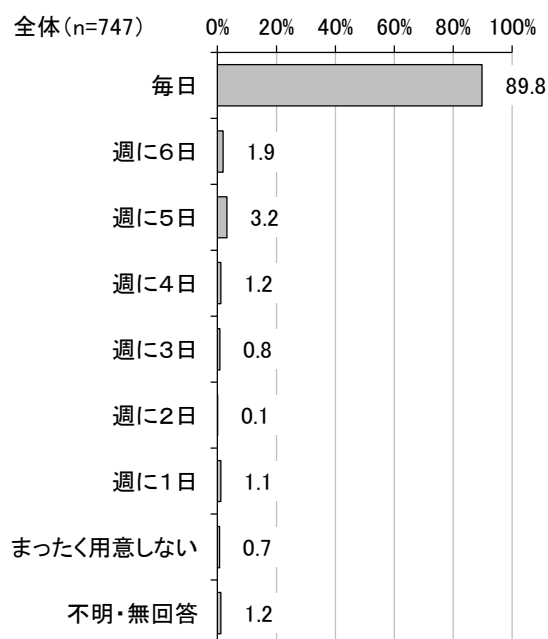
1週間にどれくらいこどもに朝ごはんを用意しているかについてみると、「毎日」が83.3%と最も多く、次いで「まったく用意しない」が4.1%となっています。

1週間にどれくらいこどもに晩ごはんを用意しているかについてみると、「毎日」が89.8%と最も多く、次いで「週に5日」が3.2%となっています。

A 朝ごはん



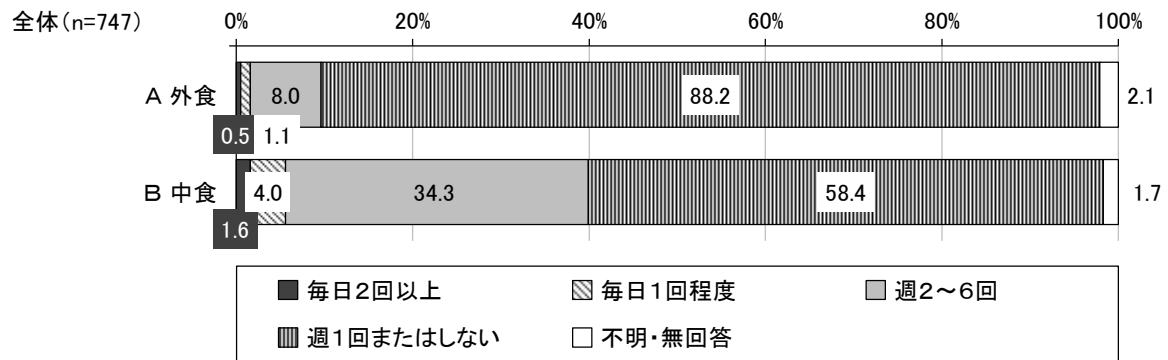
B 晩ごはん



問 30 あなたのご家庭では、お子さんの食事について外食や中食がどのくらいの頻度でありますか。（それぞれ、あてはまる番号 1 つに○）

外食の頻度についてみると、「週1回またはしない」が 88.2%と最も多く、次いで「週2～6回」が 8.0%となっています。

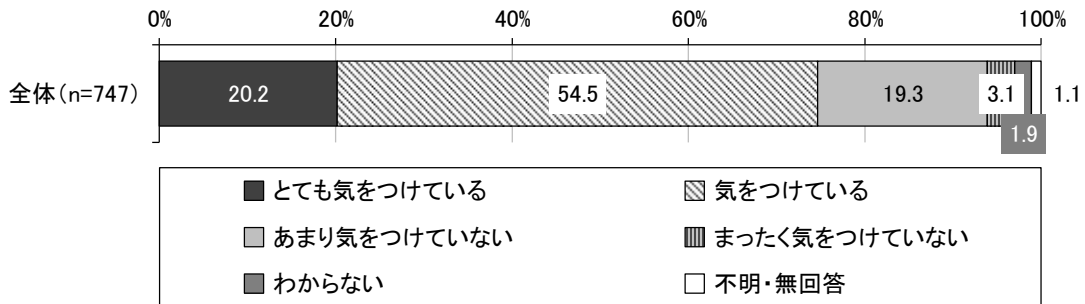
中食の頻度についてみると、「週1回またはしない」が 58.4%と最も多く、次いで「週2～6回」が 34.3%となっています。



問 31 あなたのご家庭では、お子さんの食生活について、どのような点に気をつけていますか。（それぞれ、あてはまる番号 1 つに○）

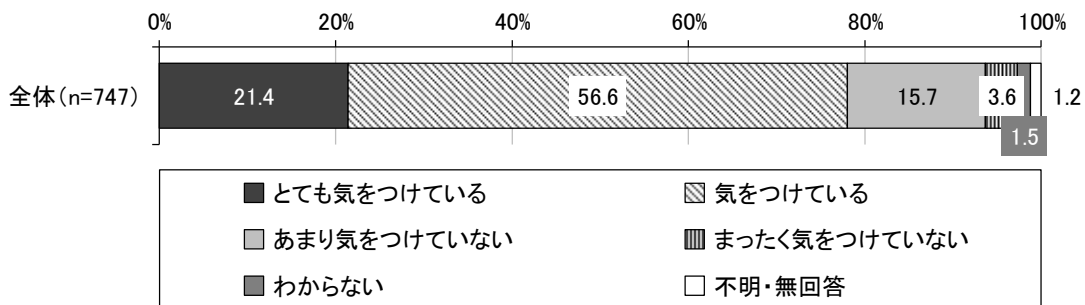
A 栄養のバランスを考えていろいろな食品をとる

「気をつけている」が 54.5%と最も多く、次いで「とても気をつけている」が 20.2%となっています。



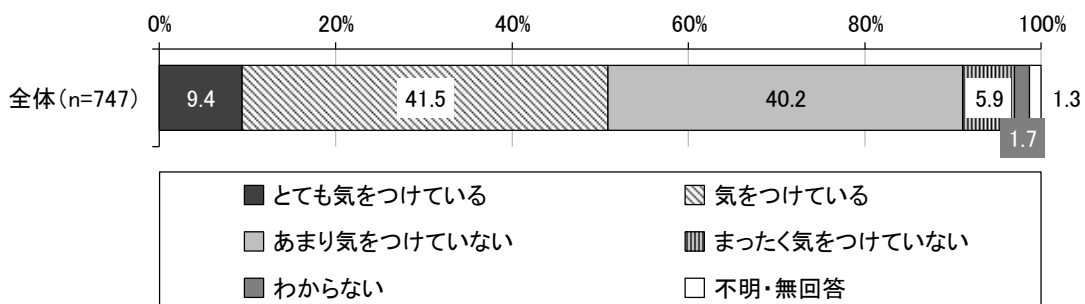
B 野菜をたくさん食べる

「気をつけている」が 56.6%と最も多く、次いで「とても気をつけている」が 21.4%となっています。



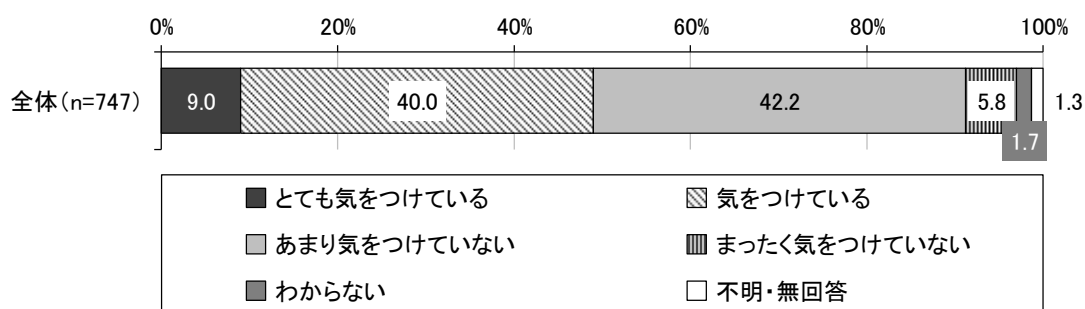
C 塩分の摂取量を控える

「気をつけている」が 41.5%と最も多く、次いで「あまり気をつけていない」が 40.2%となっています。



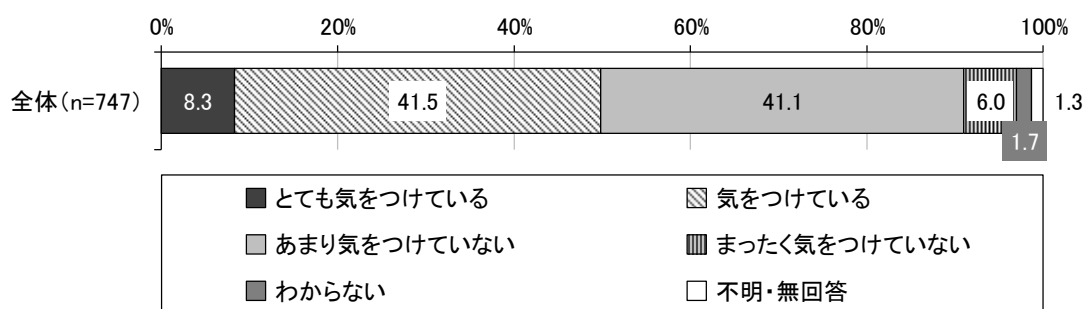
D 油分の摂取量を控える

「あまり気をつけていない」が 42.2%と最も多く、次いで「気をつけている」が 40.0%となっています。

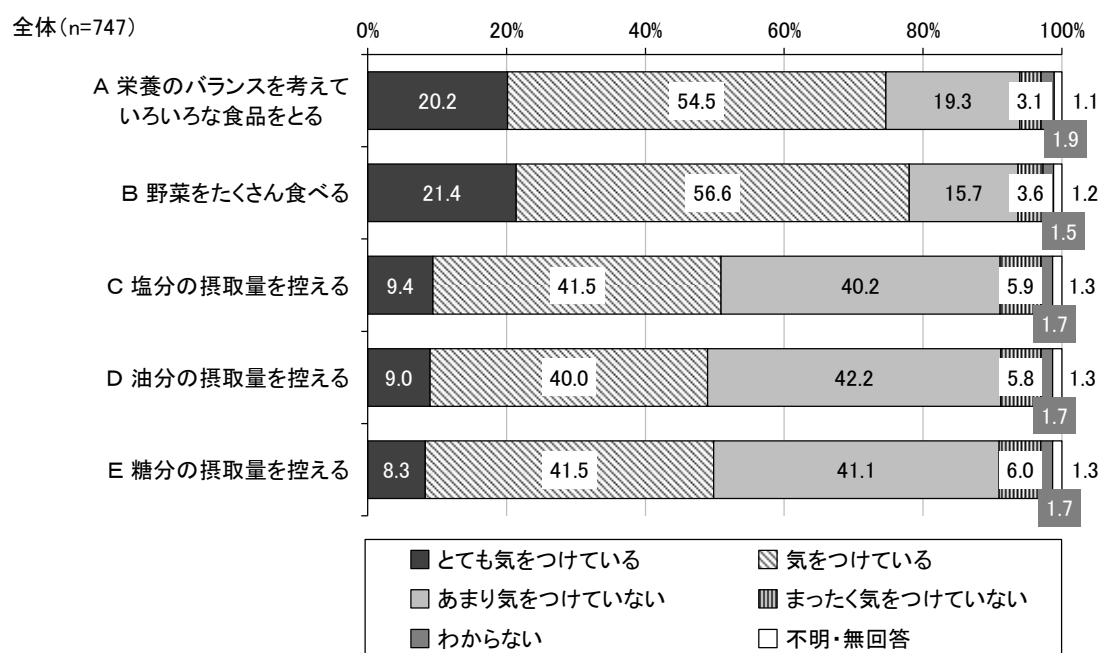


E 糖分の摂取量を控える

「気をつけている」が 41.5%と最も多く、次いで「あまり気をつけていない」が 41.1%となっています。



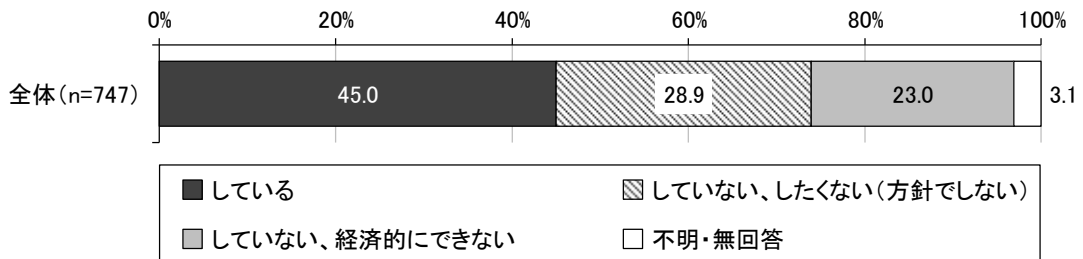
問 31A～E【再掲】



問 32 あなたのご家庭では、お子さんに次のことをしていますか。A～Hについて、「している」「していない、したくない（方針でしない）」「していない、経済的にできない」のうち、あてはまるものに○をつけてください。
（それぞれ、あてはまる番号1つに○）

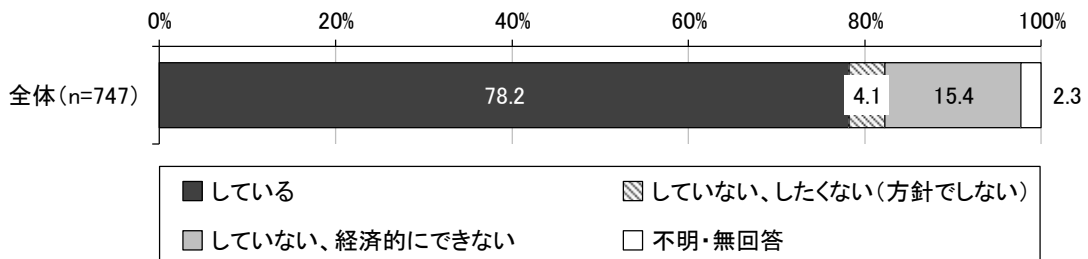
A 毎月お小遣いを渡す

「している」が45.0%と最も多く、次いで「していない、したくない（方針でしない）」が28.9%となっています。



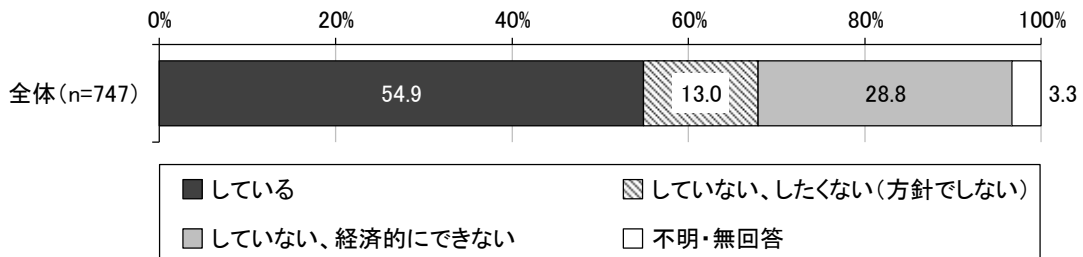
B 毎年新しい洋服・靴を買う

「している」が78.2%と最も多く、次いで「していない、経済的にできない」が15.4%となっています。



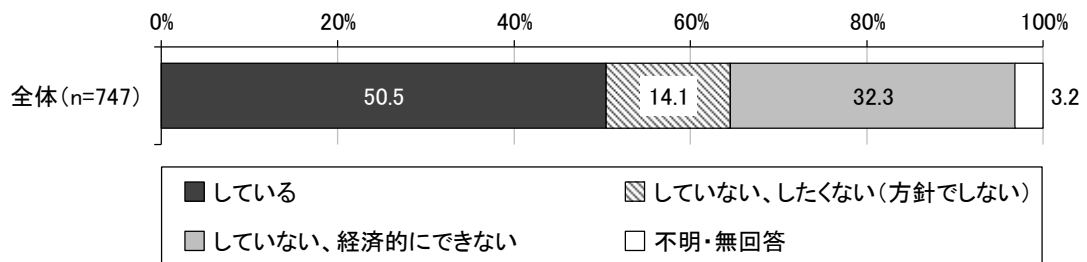
C 習い事（音楽、スポーツ、習字等）に通わせる

「している」が54.9%と最も多く、次いで「していない、経済的にできない」が28.8%となっています。



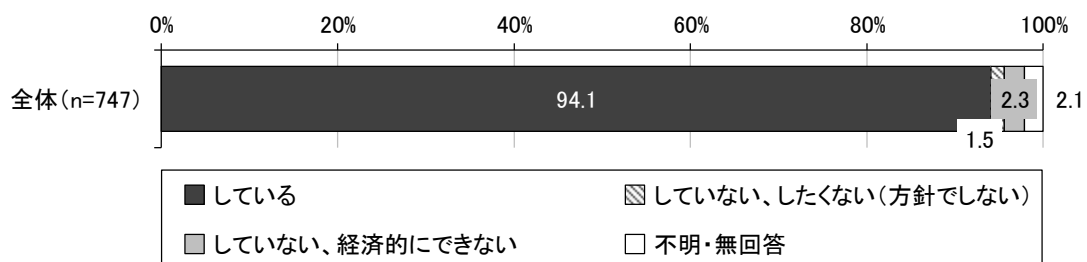
D 学習塾に通わせる（または家庭教師に来てもらう）

「している」が 50.5%と最も多く、次いで「していない、経済的にできない」が 32.3%となっています。



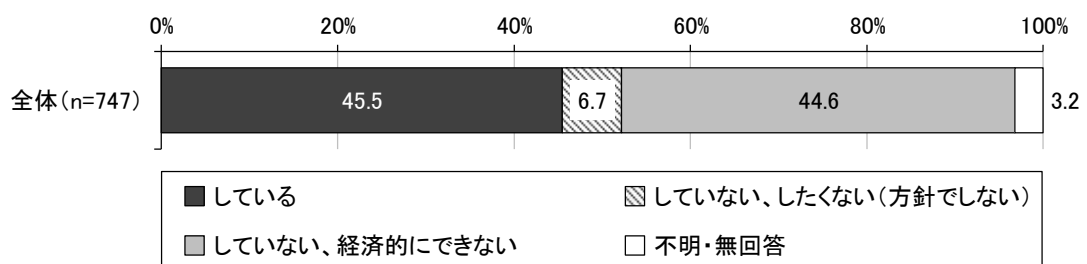
E お誕生日のお祝いをする

「している」が 94.1%と最も多く、次いで「していない、経済的にできない」が 2.3%となっています。



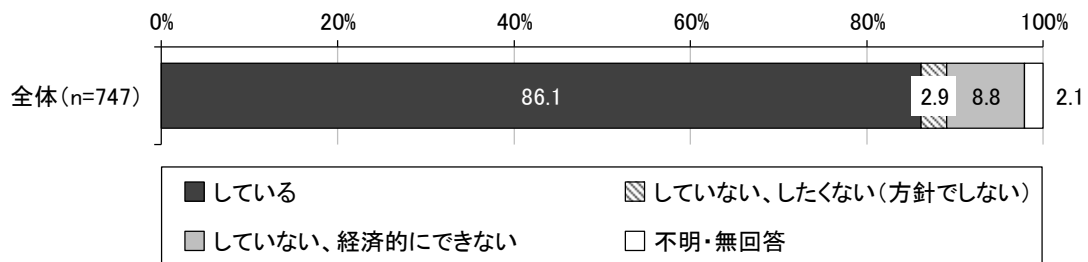
F 1年に1回くらい家族旅行に行く

「している」が 45.5%と最も多く、次いで「していない、経済的にできない」が 44.6%となっています。



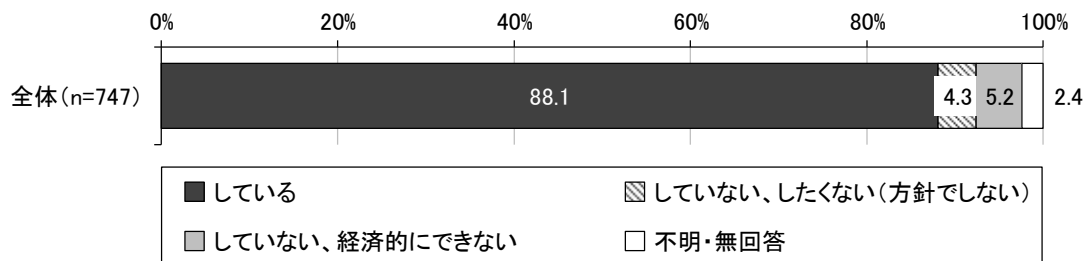
G クリスマスのプレゼントや正月のお年玉をあげる

「している」が 86.1%と最も多く、次いで「していない、経済的にできない」が 8.8%となっています。

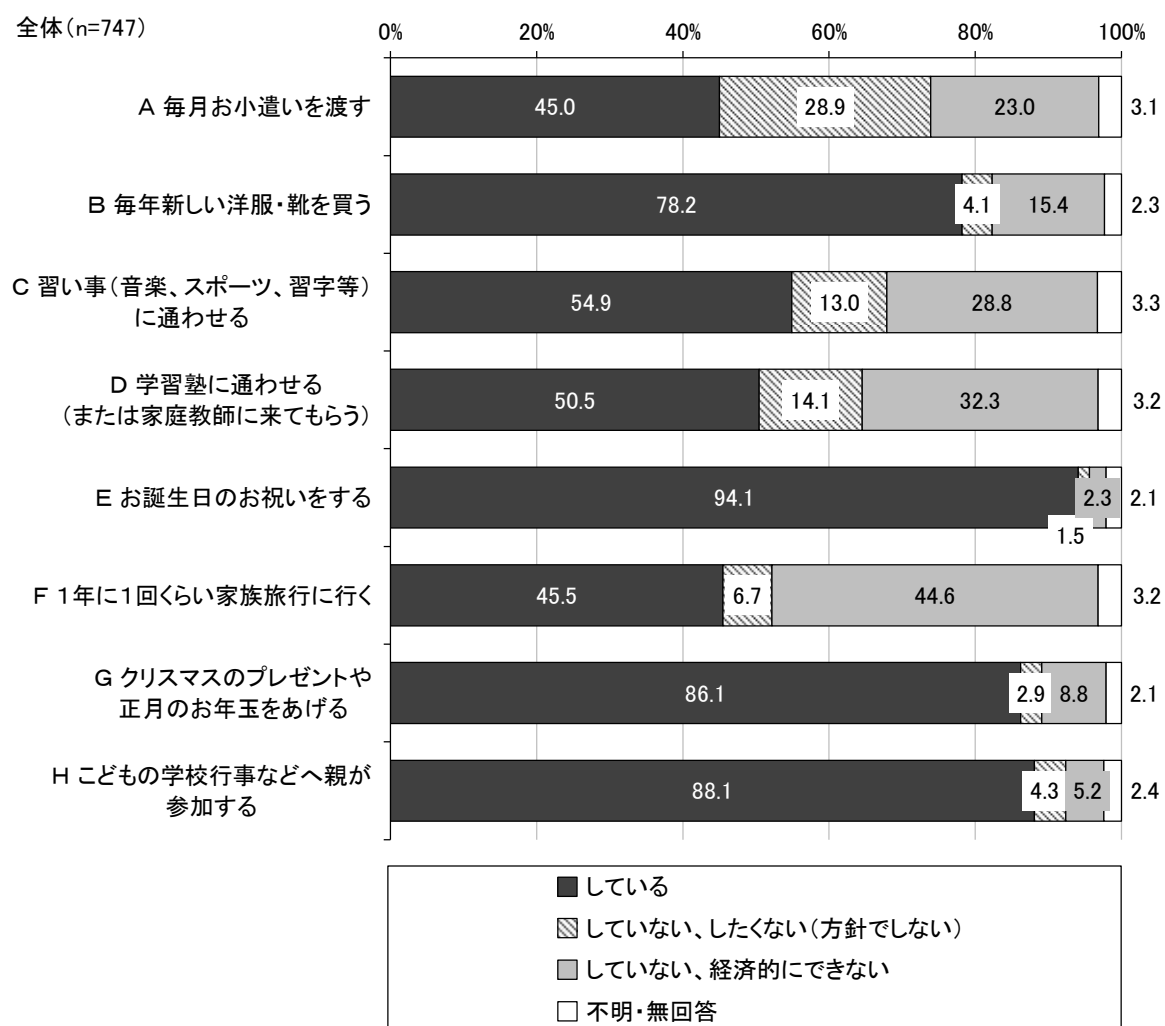


H こどもの学校行事などへ親が参加する

「している」が 88.1%と最も多く、次いで「していない、経済的にできない」が 5.2%となっています。

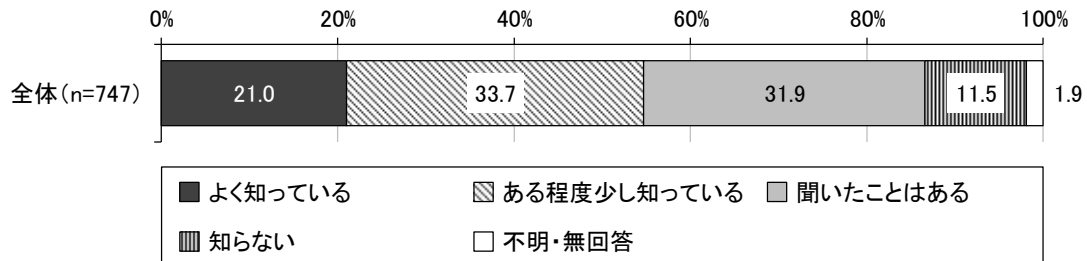


問 32 A～H【再掲】



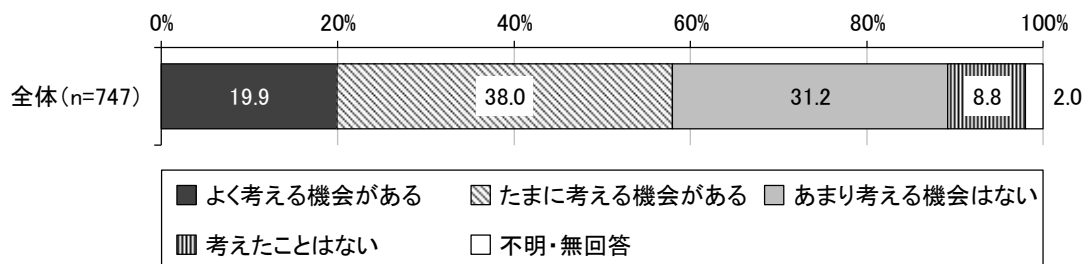
問 33 「こどもの権利」とは、こどもが大人と同じく一人の人間として持つ権利であり、安心して生活できること、自由に意見を言ったり活動したりできることなどが含まれます。あなたは、「こどもの権利」について知っていますか。（1つに○）

「こどもの権利」の認知度についてみると、「ある程度少し知っている」が 33.7%と最も多く、次いで「聞いたことはある」が 31.9%となっています。



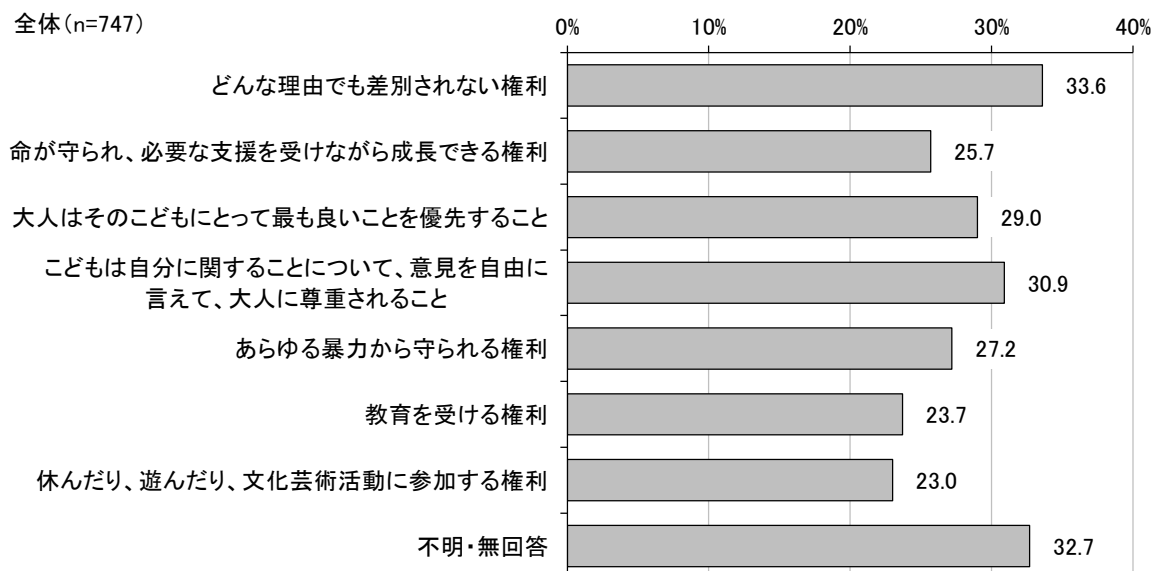
問 34 あなたは、「こどもの権利」について考えることはありますか。（1つに○）

「こどもの権利」について考えることはあるかについてみると、「たまに考える機会がある」が 38.0%と最も多く、次いで「あまり考える機会はない」が 31.2%となっています。



問 35 あなたは、あなたのまわりのこどもで、次にあげるようなこどもの権利が守られていないと感じるものはありますか。(あてはまる番号すべてに○)

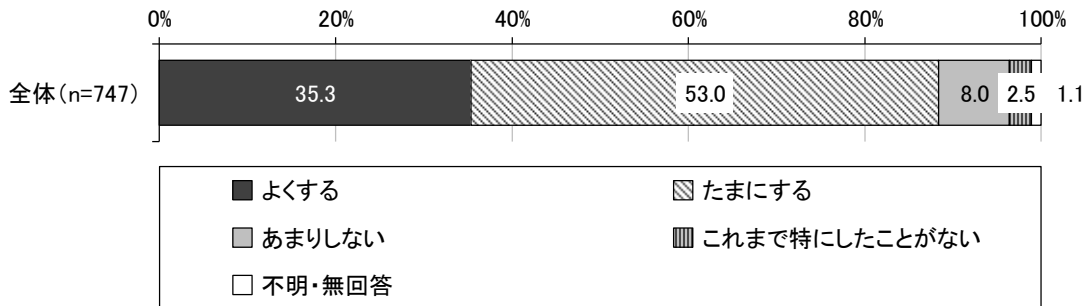
まわりのこどもで、こどもの権利が守られていないと感じるものについてみると、「どんな理由でも差別されない権利」が 33.6%と最も多く、次いで「こどもは自分に関することについて、意見を自由に言えて、大人に尊重されること」が 30.9%となっています。



5 お子さんの学校生活や教育について

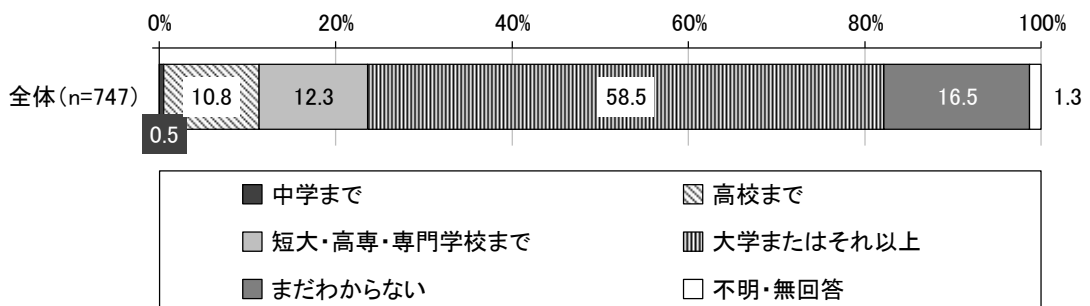
問 36 あなたは、お子さんの将来（夢・進路・職業等）について、お子さんと一緒に考えたり、話すことがありますか。（1つに○）

こどもの将来を、こどもと一緒に考えたり、話すことがあるかについてみると、「たまにする」が53.0%と最も多く、次いで「よくする」が35.3%となっています。



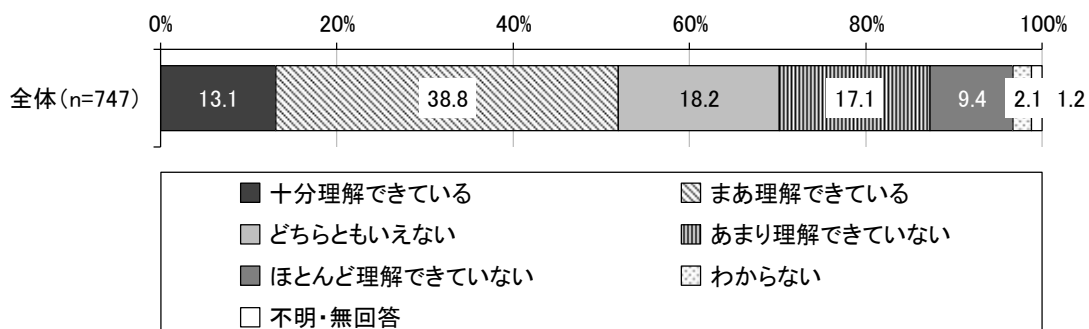
問 37 お子さんに、どの段階までの教育を受けさせたいと考えていますか。あなたのお考えに最も近いものに○をつけてください。（1つに○）

こどもにどの段階までの教育を受けさせたいと考えているかについてみると、「大学またはそれ以上」が58.5%と最も多く、次いで「まだわからない」が16.5%となっています。



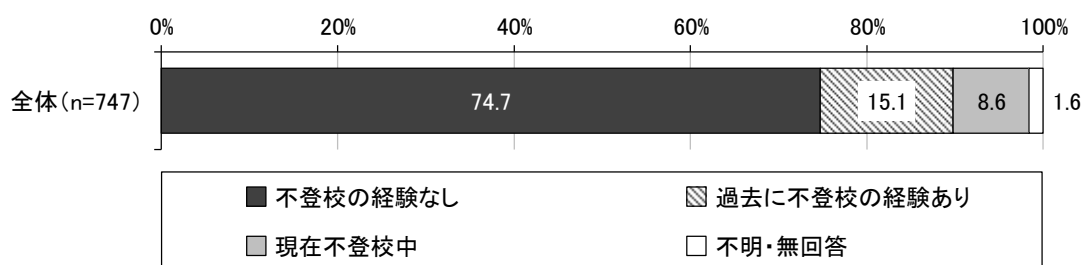
問 38 あなたからみて、お子さんの学校での学習の状況をどのように思われていますか。（1つに○）

こどもの学校での学習の状況をどのように思っているかについてみると、「まあ理解できている」が38.8%と最も多く、次いで「どちらともいえない」が18.2%となっています。



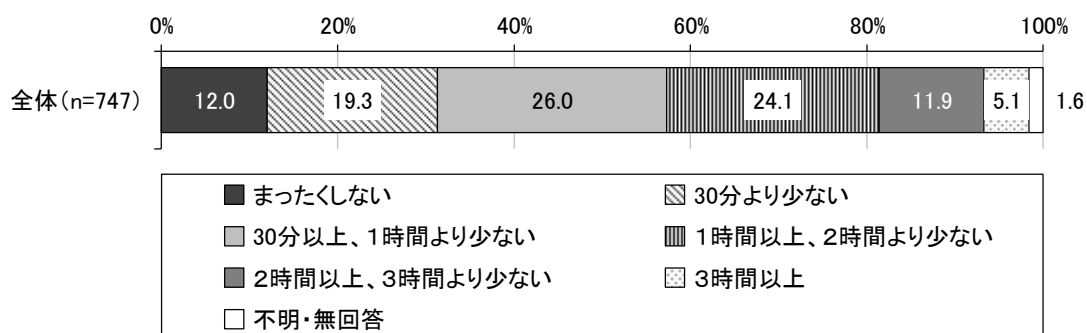
問 39 お子さんには、不登校の経験はありますか。(1つに○)

こどもに不登校の経験はあるかについてみると、「不登校の経験なし」が 74.7%と最も多く、次いで「過去に不登校の経験あり」が 15.1%となっています。



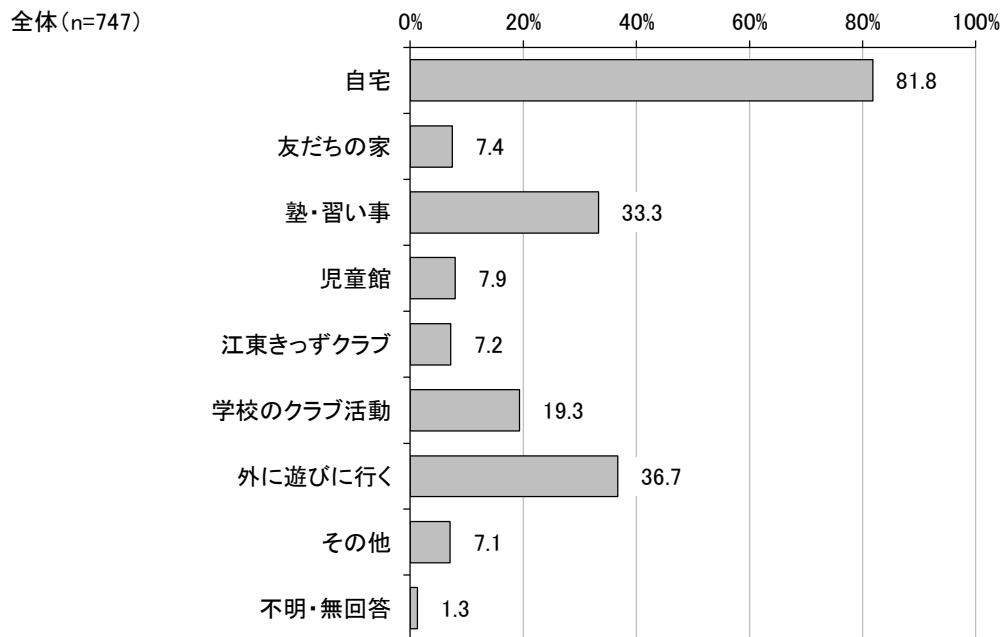
問 40 おさんは学校の授業時間以外に、普段（月～金曜日）、1日あたりどのくらいの時間、勉強をしますか。塾などの時間も含みます。(1つに○)

学校の授業時間以外の1日あたりの勉強時間についてみると、「30分以上、1時間より少ない」が 26.0%と最も多く、次いで「1時間以上、2時間より少ない」が 24.1%となっています。



問 41 お子さんは放課後にどこで過ごすことが多いですか。(特に多いもの3つまでに○)

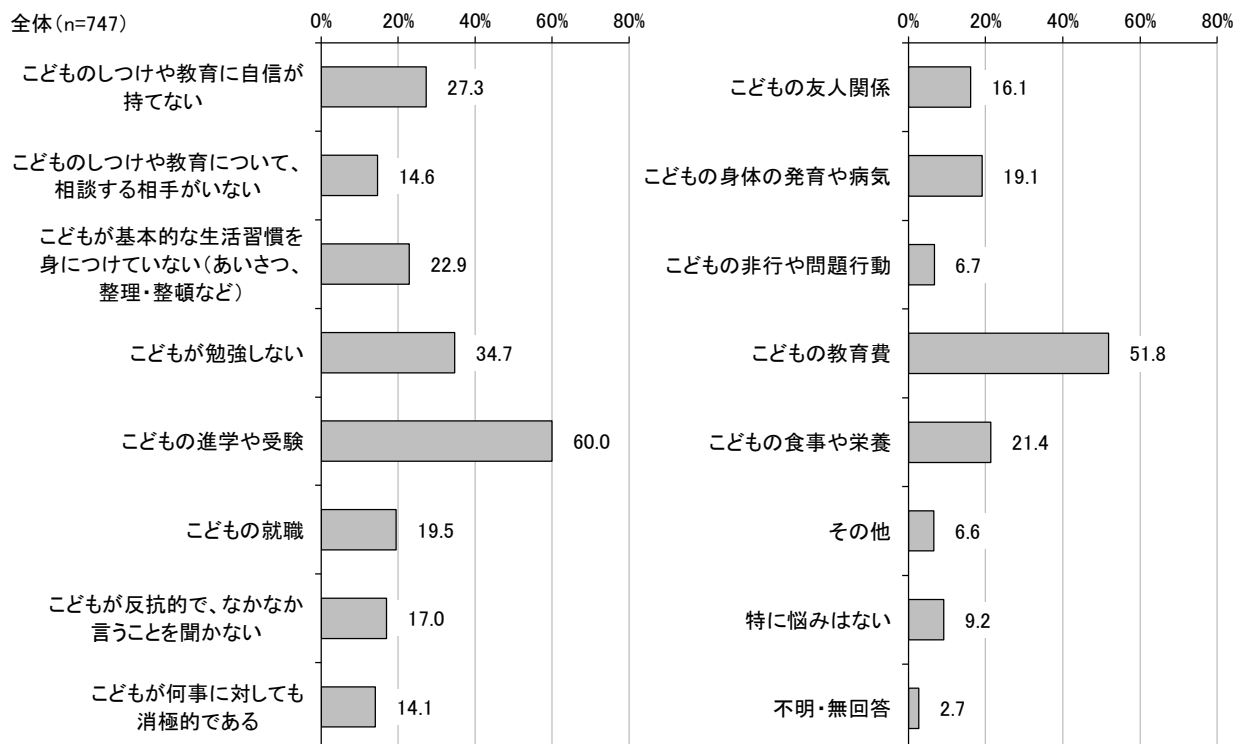
放課後に過ごすことが多い場所についてみると、「自宅」が 81.8%と最も多く、次いで「外に遊びに行く」が 36.7%となっています。



問 42 お子さんのことで、現在悩んでいることはありますか。

(あてはまる番号すべてに○)

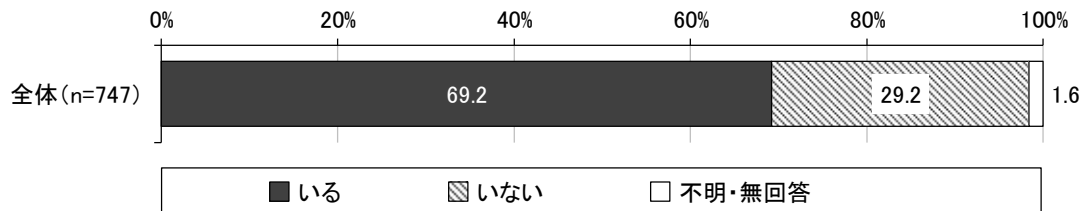
こどものことで現在悩んでいることについてみると、「こどもの進学や受験」が 60.0%と最も多く、次いで「こどもの教育費」が 51.8%となっています。



6 生活全般や公的サポート等について

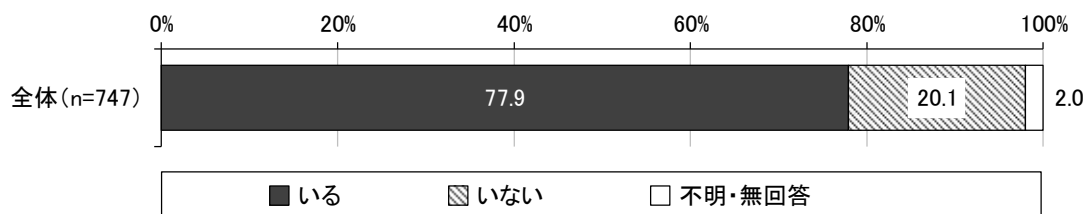
問 43 お子さんが病気の時や、ご自身の用事の時などに頼れる親族や友人などが身近にいますか。（1つに○）

こどもが病気の時や、自身の用事の時などに頼れる親族や友人などが身近にいるかについてみると、「いる」が69.2%、「いない」が29.2%となっています。



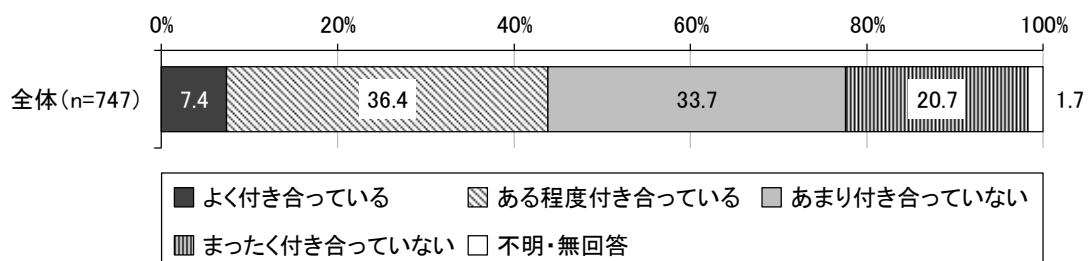
問 44 あなたは、本当に困ったときや悩みがあるとき、相談できる人（家族、友人、親戚、同僚など）がいますか。（1つに○）

本当に困ったときや悩みがあるとき、相談できる人がいるかについてみると、「いる」が77.9%、「いない」が20.1%となっています。



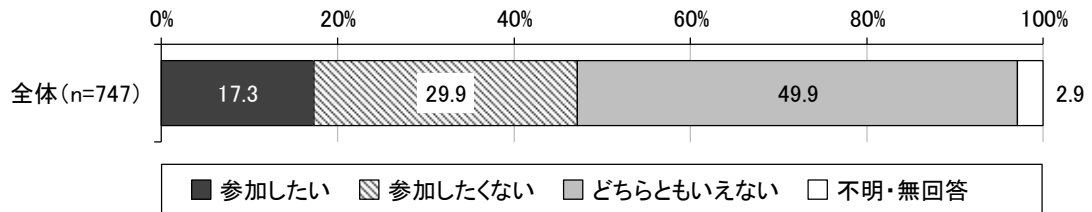
問 45 あなたのご家庭では、地域での付き合いをどの程度していますか。（1つに○）

地域での付き合いの程度についてみると、「ある程度付き合っている」が36.4%と最も多く、次いで「あまり付き合っていない」が33.7%となっています。



問 46 あなたは、ほかのひとり親家庭と交流をもつ機会があれば、参加したいと思いますか。（1つに○）

ほかのひとり親家庭と交流をもつ機会があれば、参加したいと思うかについてみると、「どちらともいえない」が49.9%と最も多く、次いで「参加したくない」が29.9%となっています。

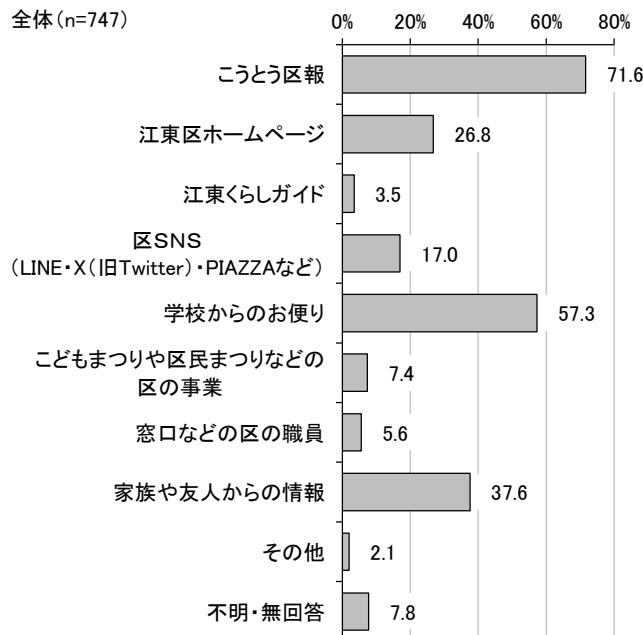


問 47 あなたは、こどもに関する施策等の情報をどういう方法で受け取っていますか。また、今後受け取りたいですか。（それぞれあてはまる番号すべてに○）

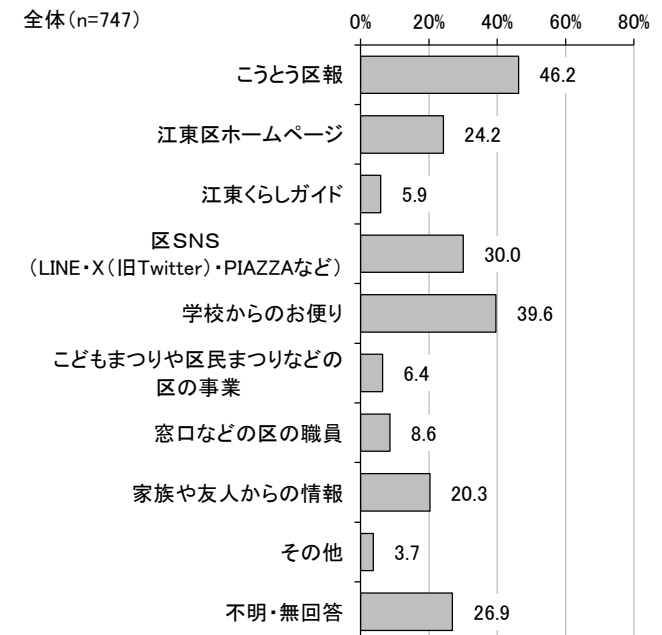
こどもに関する施策等の情報の現在の受け取り方法についてみると、「こうとう区報」が71.6%と最も多く、次いで「学校からのお便り」が57.3%となっています。

今後、受け取りたい方法では、「こうとう区報」が46.2%と最も多く、次いで「学校からのお便り」が39.6%となっています。

A 現在の受け取り方法

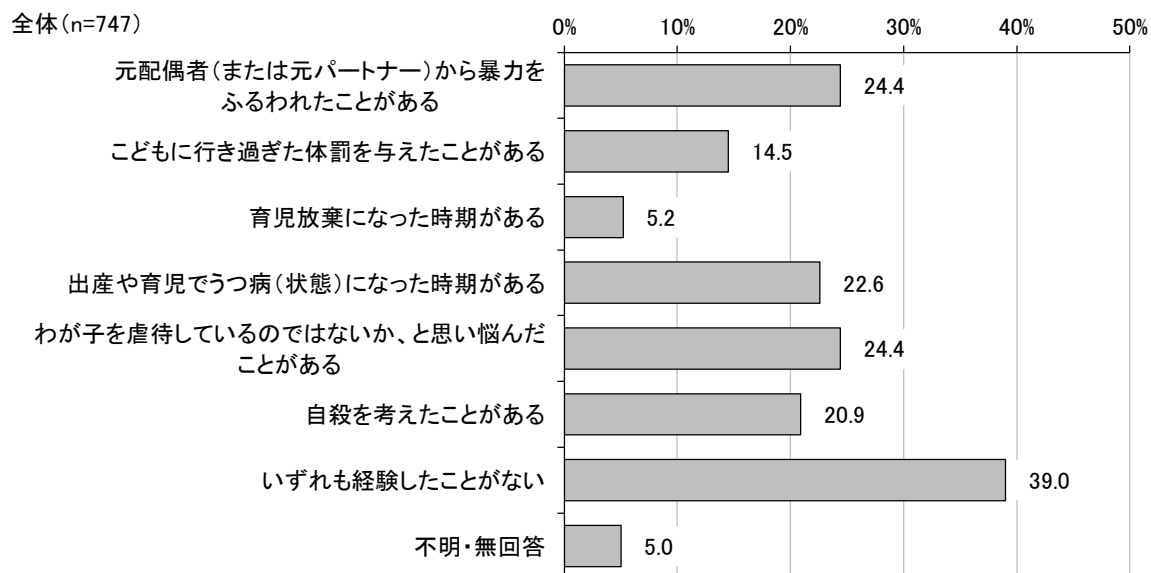


B 今後、受け取りたい方法



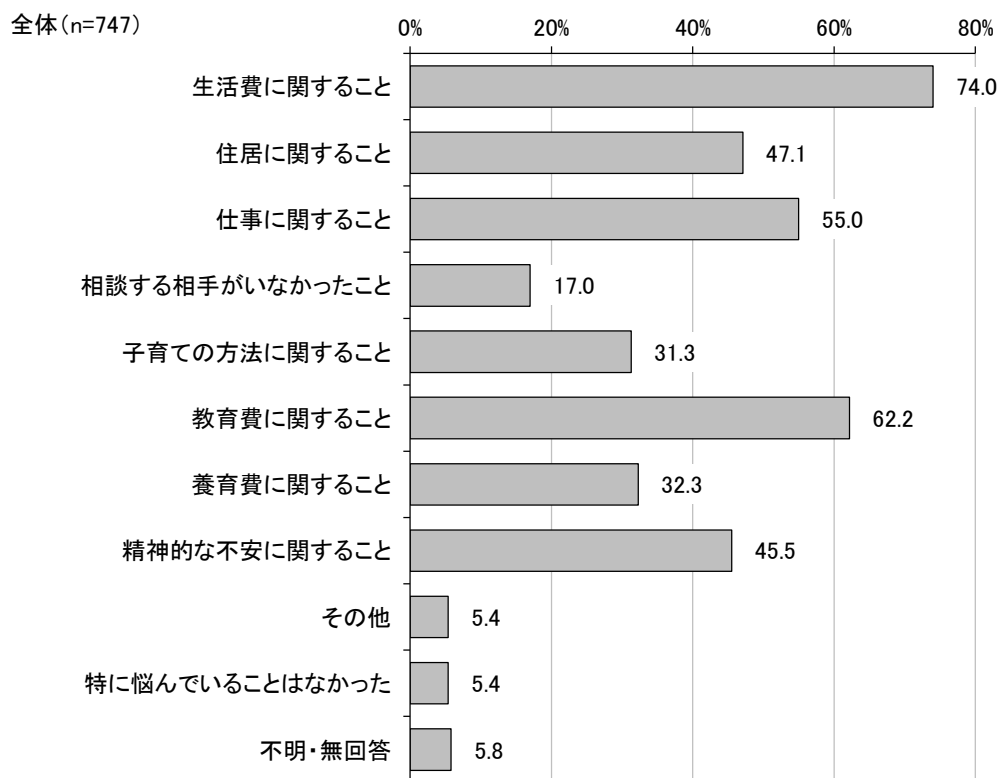
問 48 あなたはこどもをもってから、以下のような経験をしたことがありますか。
(あてはまる番号すべてに○)

こどもをもってからしたことがある経験についてみると、「いずれも経験したことがない」が39.0%と最も多く、次いで「元配偶者(または元パートナー)から暴力をふるわれたことがある」「わが子を虐待しているのではないか、と思い悩んだことがある」が24.4%となっています。



問 49 ひとり親になったとき、あなたはどのようなことに悩んで、もしくは困っていましたか。(あてはまる番号すべてに○)

ひとり親になったとき、悩んでいたことや困っていたことについてみると、「生活費に関すること」が74.0%と最も多く、次いで「教育費に関すること」が62.2%となっています。

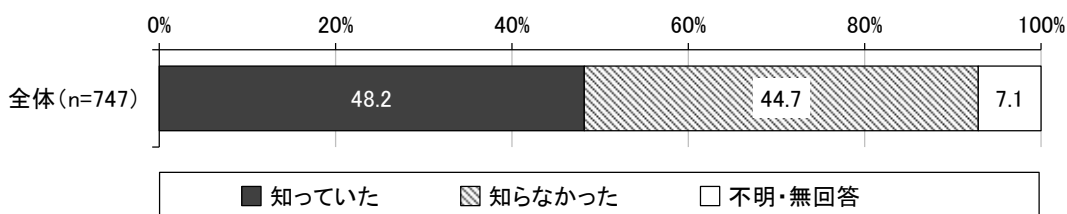


問 50 あなたのご家庭では、以下のA～Kの支援制度等は、これまでにご存知でしたか。また、利用したことがありますか。利用したことがある場合は満足度（5点が最高で1点が最低）を、利用したことがない場合は、その理由を次の選択肢番号欄から選んで各事業の記入欄に数字（複数可）をお書きください。

A 自立支援教育訓練給付金

（1）この事業を知っていましたか。（1つに○）

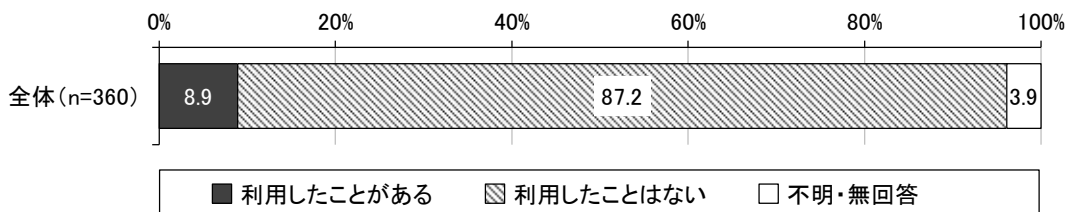
自立支援教育訓練給付金の認知状況についてみると、「知っていた」が48.2%、「知らなかった」が44.7%となっています。



（1）で「知っていた」を選んだ方

（2）この事業を利用したことがありますか。（1つに○）

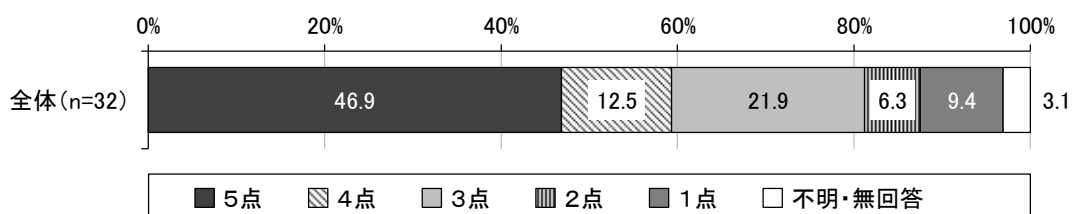
自立支援教育訓練給付金の利用経験についてみると「利用したことがある」が8.9%、「利用したことはない」が87.2%となっています。



（2）で「利用したことがある」を選んだ方

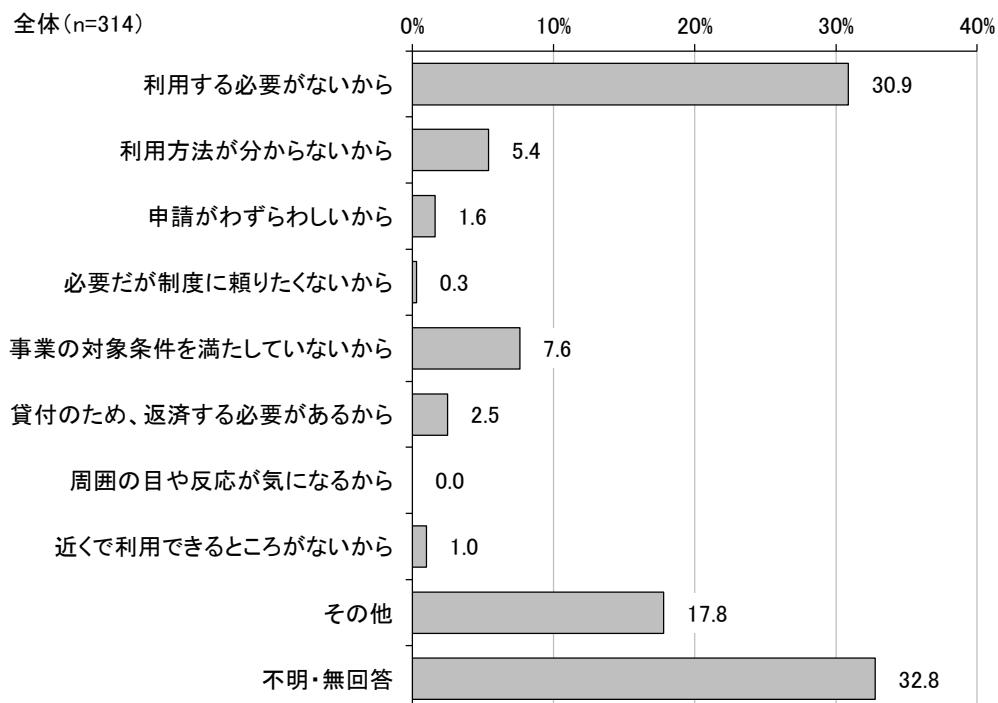
満足度（1つに○）

自立支援教育訓練給付金の満足度についてみると、「5点」が46.9%と最も多く、次いで「3点」が21.9%となっています。



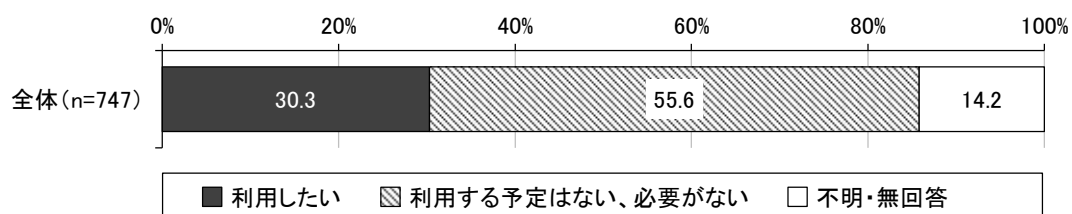
(2) で「利用したことはない」を選んだ方
利用しない理由（1つに○）

自立支援教育訓練給付金を利用しない理由についてみると、「利用する必要があるから」が 30.9%と最も多く、次いで「事業の対象条件を満たしていないから」が 7.6%となっています。



(3) 今後この事業を利用したいと思いますか。（1つに○）

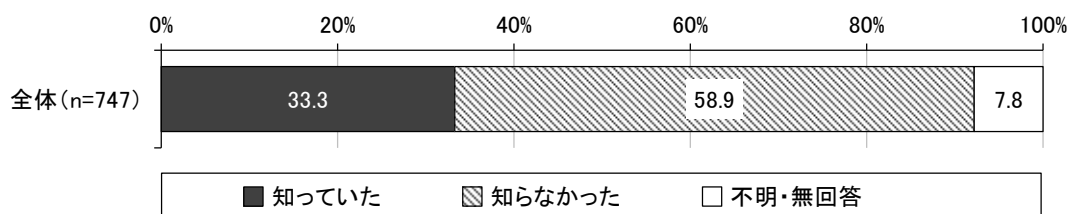
自立支援教育訓練給付金の今後の利用意向についてみると、「利用したい」が 30.3%、「利用する予定はない、必要がない」が 55.6%となっています。



B 高等職業訓練促進給付金

(1) この事業を知っていましたか。(1つに○)

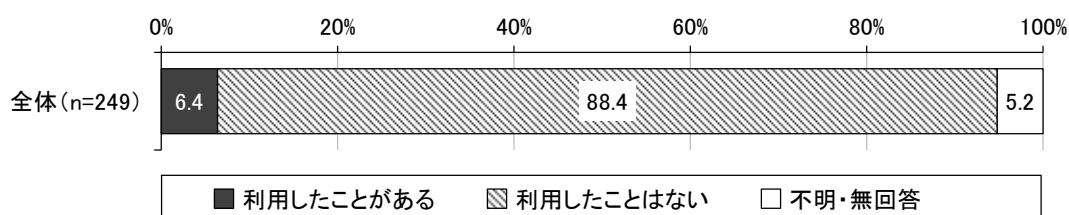
高等職業訓練促進給付金の認知状況についてみると、「知っていた」が 33.3%、「知らなかった」が 58.9%となっています。



(1) で「知っていた」を選んだ方

(2) この事業を利用したことがありますか。(1つに○)

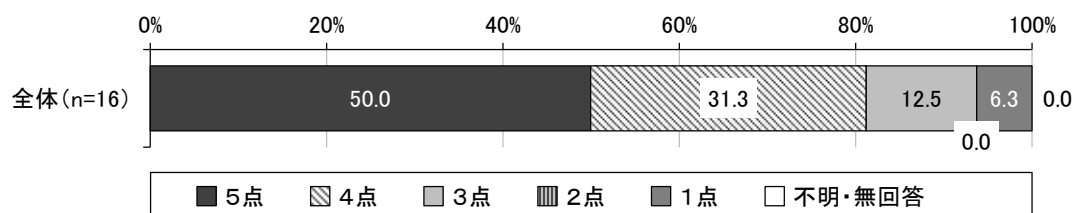
高等職業訓練促進給付金の利用経験についてみると、「利用したことがある」が 6.4%、「利用したことはない」が 88.4%となっています。



(2) で「利用したことがある」を選んだ方

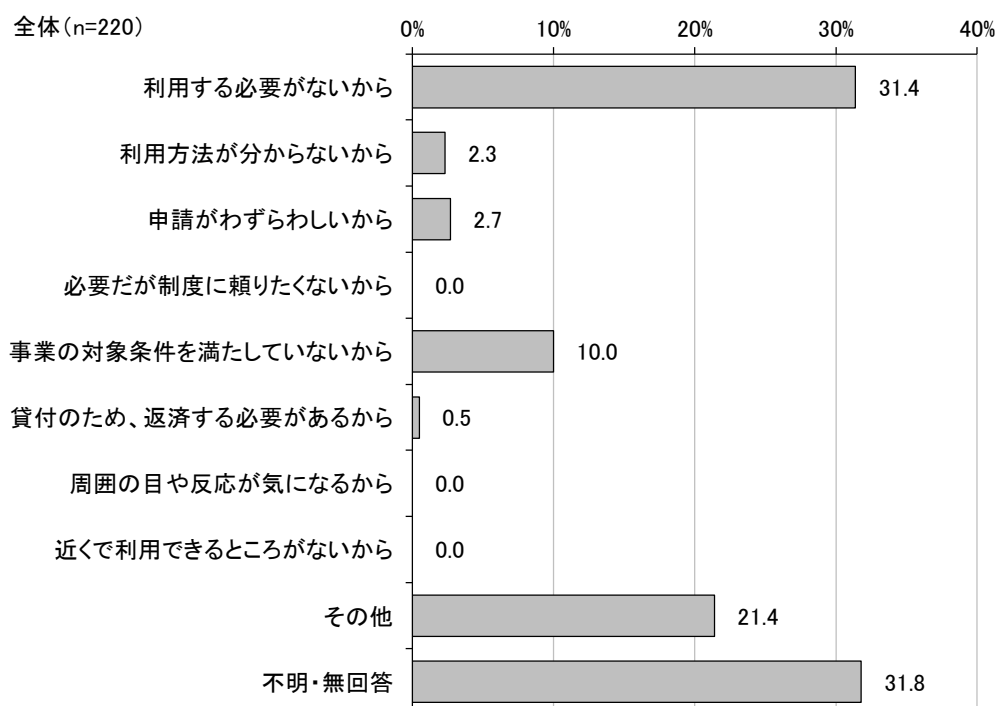
満足度 (1つに○)

高等職業訓練促進給付金の満足度についてみると、「5点」が 50.0%と最も多く、次いで「4点」が 31.3%となっています。



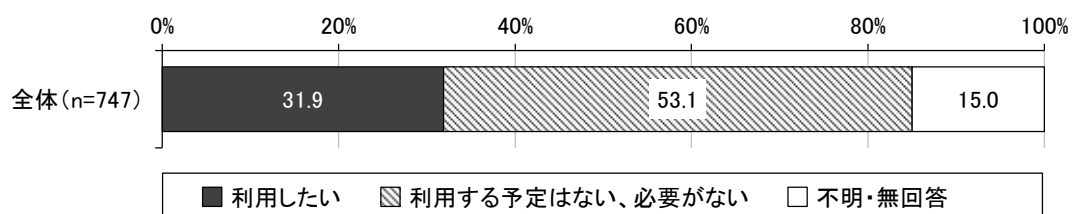
(2) で「利用したことはない」を選んだ方
利用しない理由（1つに○）

高等職業訓練促進給付金を利用しない理由についてみると、「利用する必要があるから」が 31.4%と最も多く、次いで「事業の対象条件を満たしていないから」が 10.0%となっています。



(3) 今後この事業を利用したいと思いますか。（1つに○）

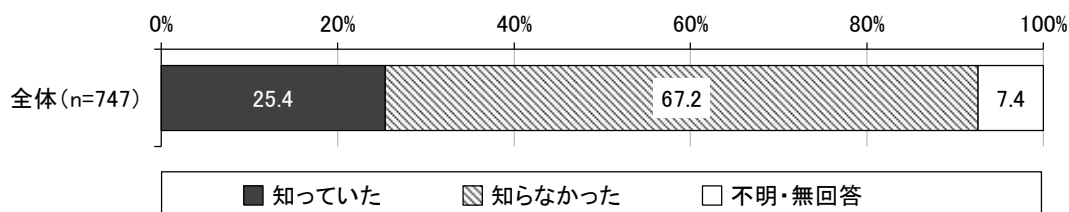
高等職業訓練促進給付金の今後の利用意向についてみると、「利用したい」が 31.9%、「利用する予定はない、必要がない」が 53.1%となっています。



C 母子・父子自立支援プログラム

(1) この事業を知っていましたか。(1つに○)

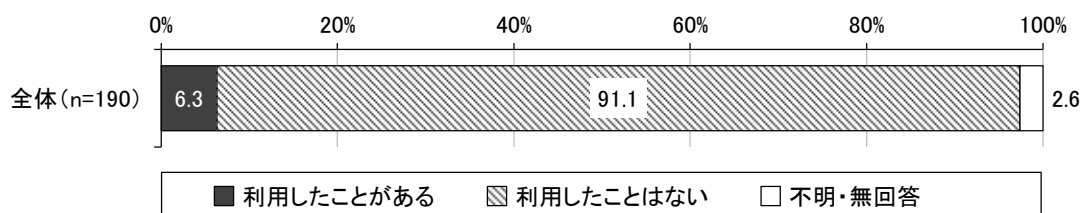
母子・父子自立支援プログラムの認知状況についてみると、「知っていた」が 25.4%、「知らなかった」が 67.2%となっています。



(1) で「知っていた」を選んだ方

(2) この事業を利用したことがありますか。(1つに○)

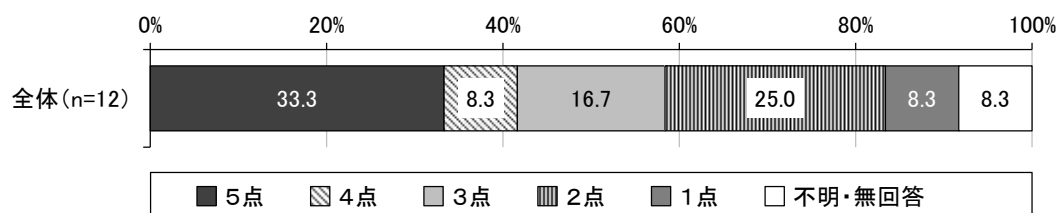
母子・父子自立支援プログラムの利用経験についてみると、「利用したことがある」が 6.3%、「利用したことはない」が 91.1%となっています。



(2) で「利用したことがある」を選んだ方

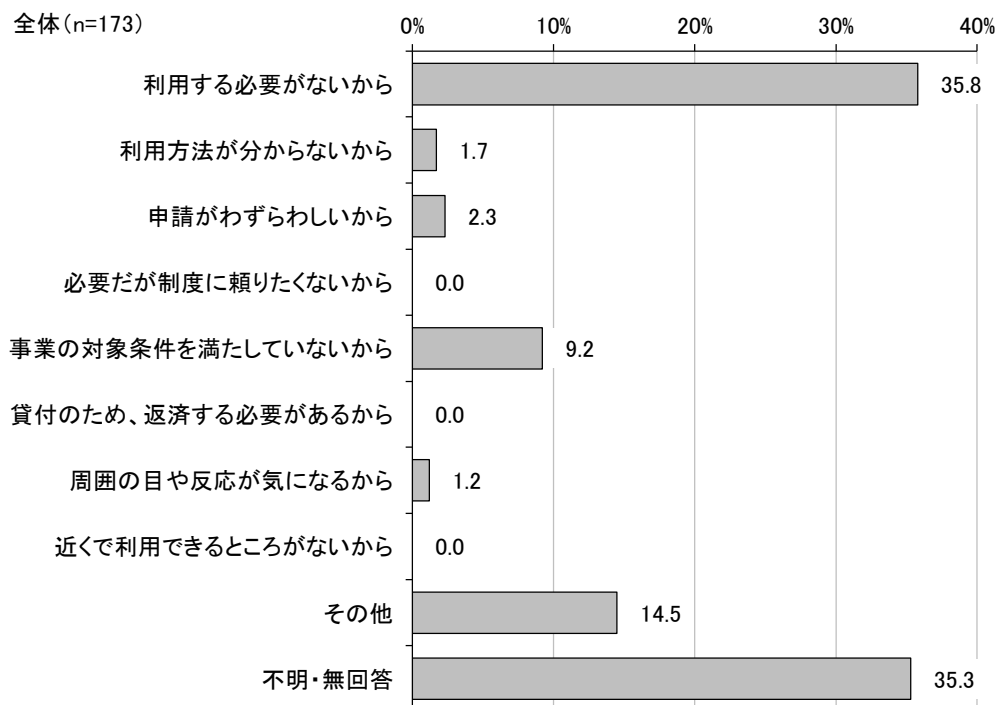
満足度 (1つに○)

母子・父子自立支援プログラムの満足度についてみると、「5点」が 33.3%と最も多く、次いで「2点」が 25.0%となっています。



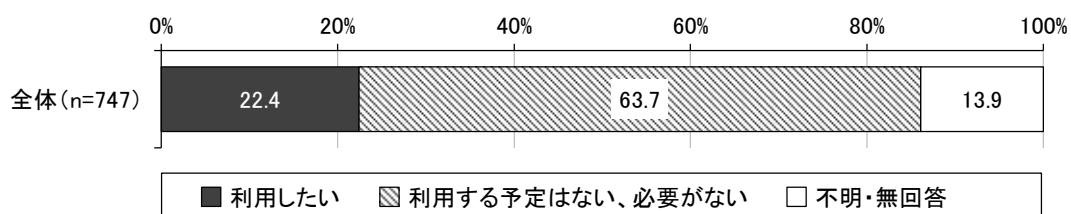
(2) で「利用したことはない」を選んだ方
利用しない理由（1つに○）

母子・父子自立支援プログラムを利用しない理由についてみると、「利用する必要があるから」が35.8%と最も多く、次いで「事業の対象条件を満たしていないから」が9.2%となっています。



(3) 今後この事業を利用したいと思いますか。（1つに○）

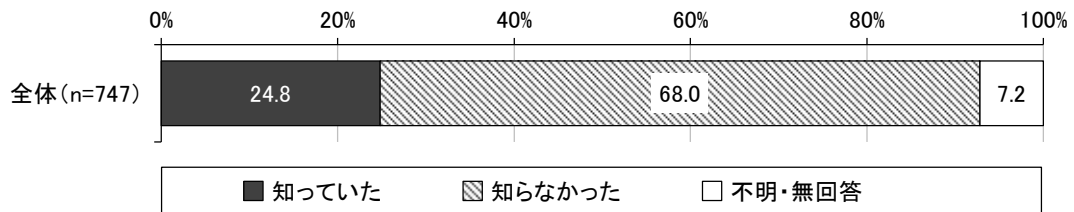
母子・父子自立支援プログラムの今後の利用意向についてみると、「利用したい」が22.4%、「利用する予定はない、必要がない」が63.7%となっています。



D 母子および父子相談（母子・父子自立支援員）

（１）この事業を知っていましたか。（１つに○）

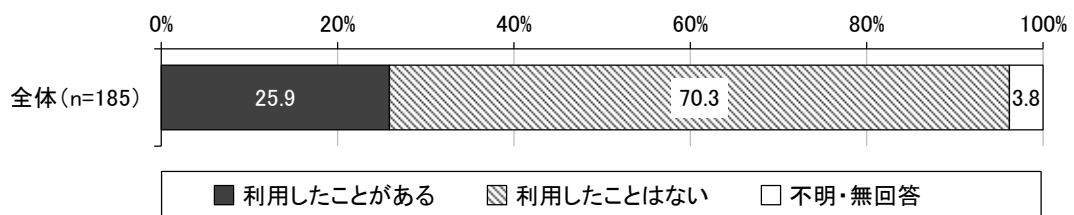
母子および父子相談(母子・父子自立支援員)の認知状況についてみると、「知っていた」が 24.8%、「知らなかった」が 68.0%となっています。



（１）で「知っていた」を選んだ方

（２）この事業を利用したことがありますか。（１つに○）

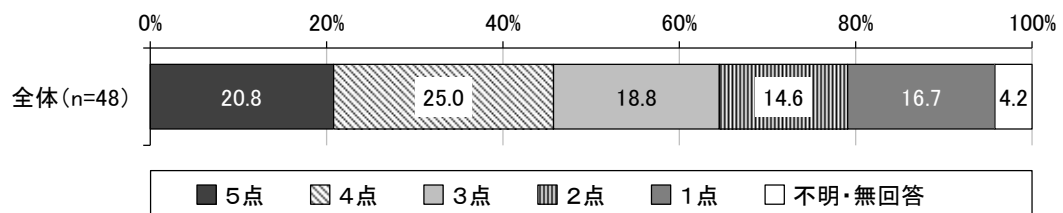
母子および父子相談(母子・父子自立支援員)の利用経験についてみると、「利用したことがある」が 25.9%、「利用したことはない」が 70.3%となっています。



（２）で「利用したことがある」を選んだ方

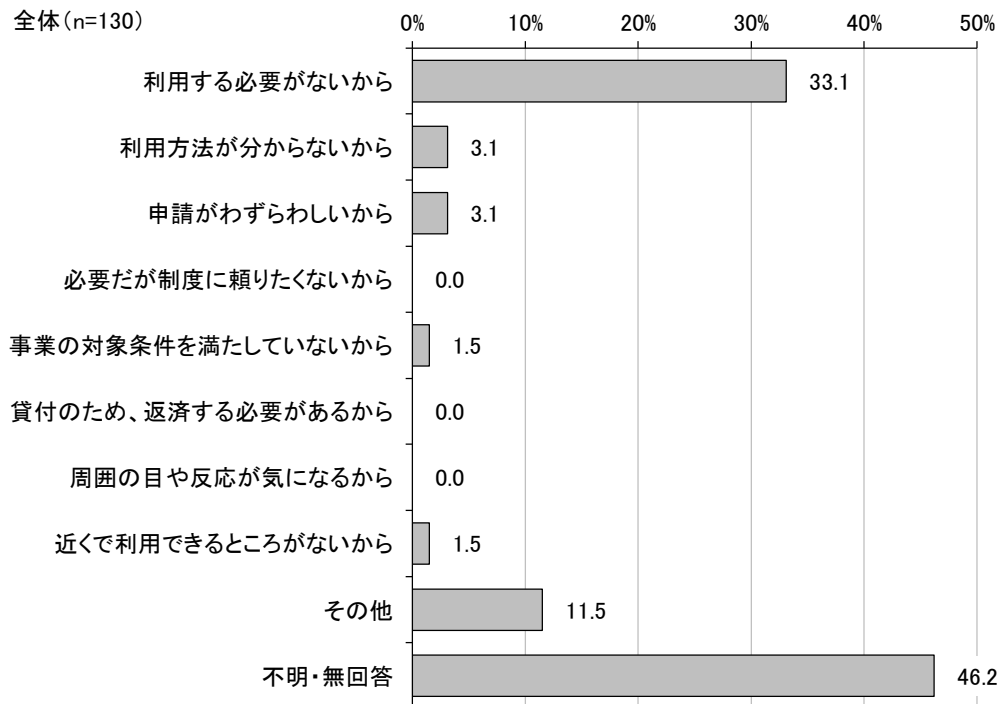
満足度（１つに○）

母子および父子相談(母子・父子自立支援員)の満足度についてみると、「4点」が 25.0%と最も多く、次いで「5点」が 20.8%となっています。



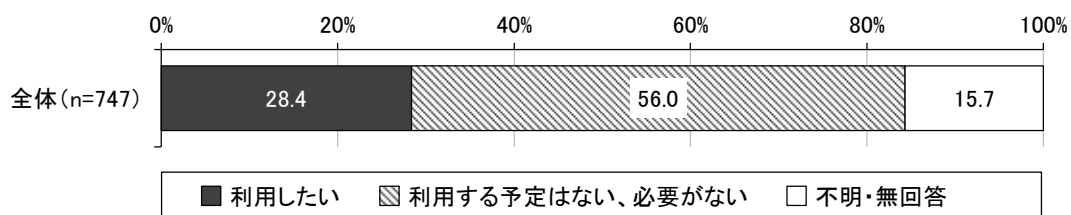
(2) で「利用したことはない」を選んだ方
利用しない理由（1つに○）

母子および父子相談(母子・父子自立支援員)を利用しない理由についてみると、「利用する必要があるから」が 33.1%と最も多く、次いで「利用方法が分からないから」「申請がわずらわしいから」が 3.1%となっています。



(3) 今後この事業を利用したいと思いますか。（1つに○）

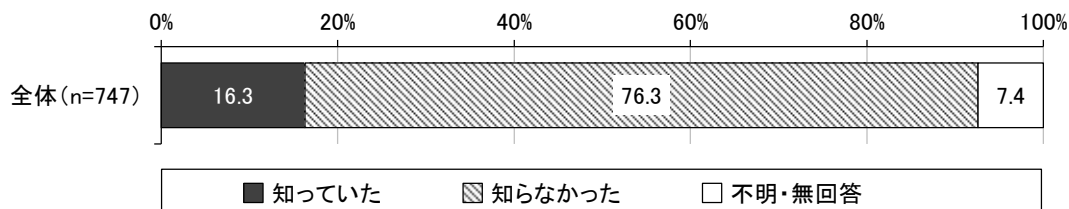
母子および父子相談(母子・父子自立支援員)の今後の利用意向についてみると、「利用したい」が 28.4%、「利用する予定はない、必要がない」が 56.0%となっています。



E 住居確保給付金事業

(1) この事業を知っていましたか。(1つに○)

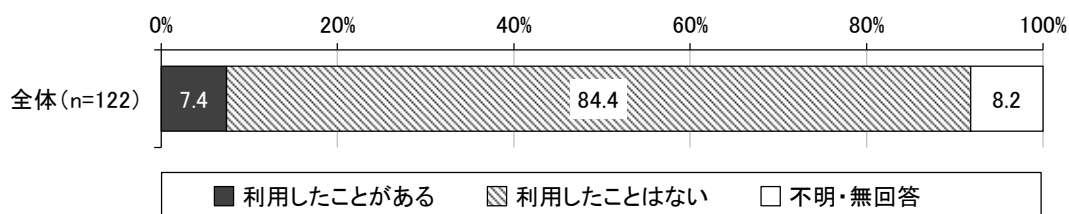
住居確保給付金事業の認知状況についてみると、「知っていた」が16.3%、「知らなかった」が76.3%となっています。



(1) で「知っていた」を選んだ方

(2) この事業を利用したことがありますか。(1つに○)

住居確保給付金事業の利用経験についてみると、「利用したことがある」が7.4%、「利用したことはない」が84.4%となっています。



(2) で「利用したことがある」を選んだ方

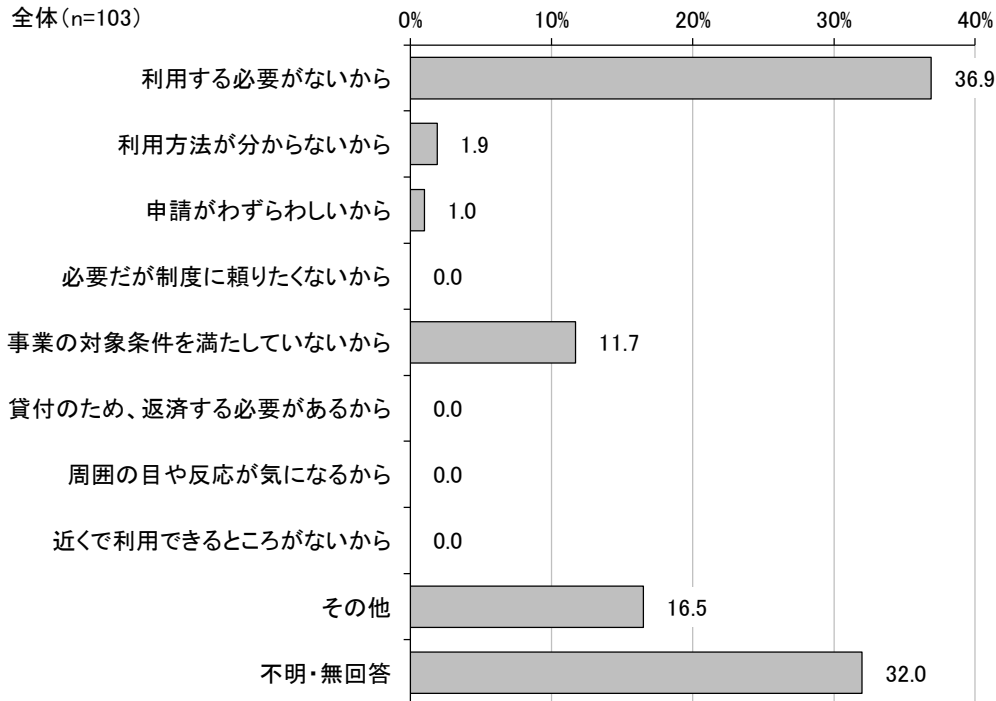
満足度 (1つに○)

満足度については、回答数が少なかったため、結果のみ示します。

全体 (n=9)	件数	%
5点	4	44.4
4点	2	22.2
3点	1	11.1
2点	0	0.0
1点	1	11.1
不明・無回答	1	11.1

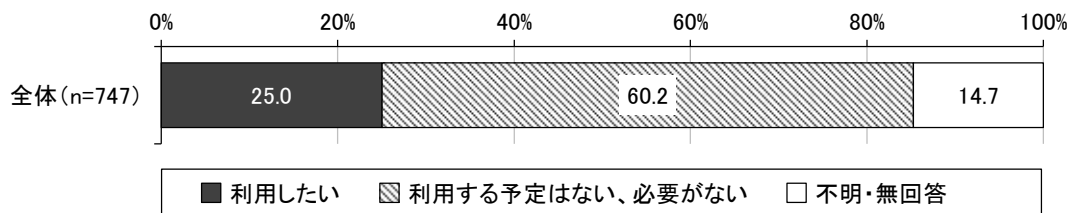
(2) で「利用したことはない」を選んだ方
利用しない理由（1つに○）

住居確保給付金事業を利用しない理由についてみると、「利用する必要があるから」が36.9%と最も多く、次いで「事業の対象条件を満たしていないから」が11.7%となっています。



(3) 今後この事業を利用したいと思いますか。（1つに○）

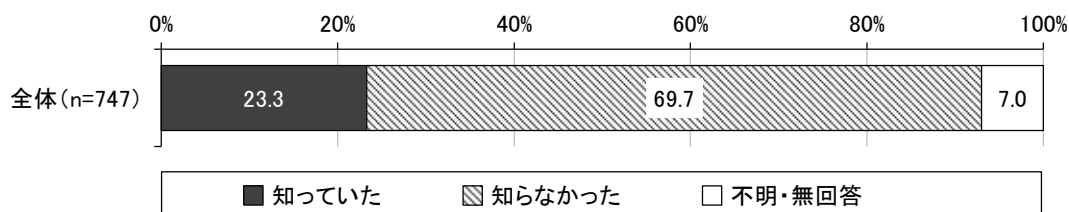
住居確保給付金事業の今後の利用意向についてみると、「利用したい」が25.0%、「利用する予定はない、必要がない」が60.2%となっています。



F 母子及び父子福祉資金

(1) この事業を知っていましたか。(1つに○)

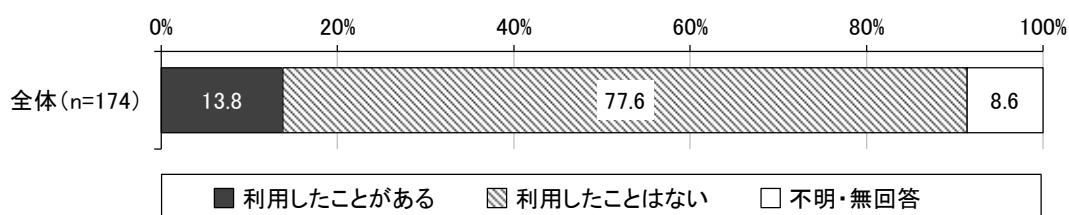
母子及び父子福祉資金の認知状況についてみると、「知っていた」が 23.3%、「知らなかった」が 69.7%となっています。



(1) で「知っていた」を選んだ方

(2) この事業を利用したことがありますか。(1つに○)

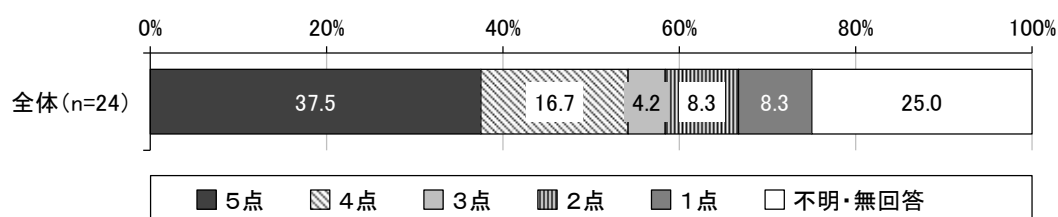
母子及び父子福祉資金の利用経験についてみると、「利用したことがある」が 13.8%、「利用したことはない」が 77.6%となっています。



(2) で「利用したことがある」を選んだ方

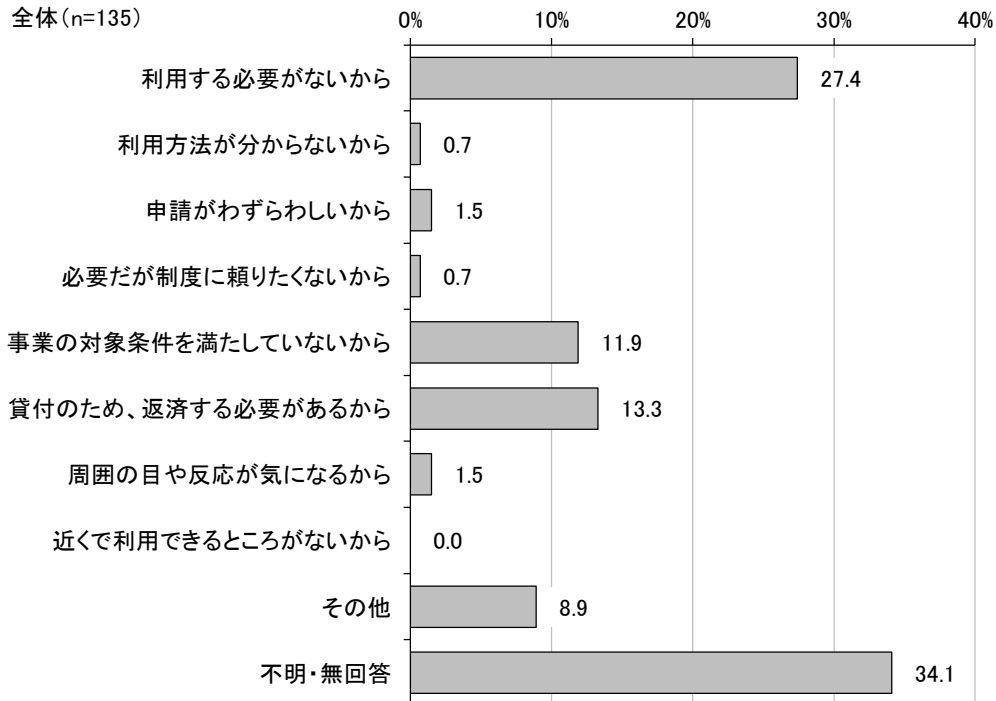
満足度 (1つに○)

母子及び父子福祉資金の満足度についてみると、「5点」が 37.5%と最も多く、次いで「4点」が 16.7%となっています。



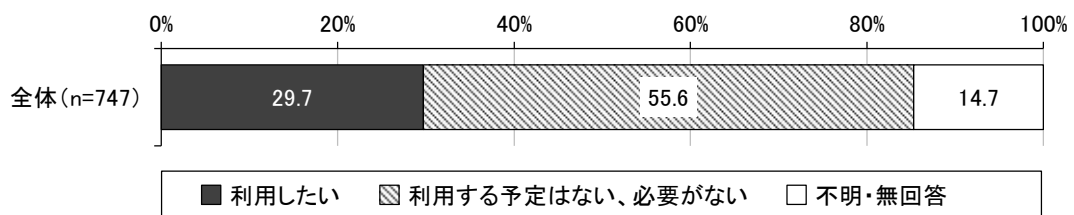
(2) で「利用したことはない」を選んだ方
利用しない理由（1つに○）

母子及び父子福祉資金を利用しない理由についてみると、「利用する必要がないから」が27.4%と最も多く、次いで「貸付のため、返済する必要があるから」が13.3%となっています。



(3) 今後この事業を利用したいと思いますか。（1つに○）

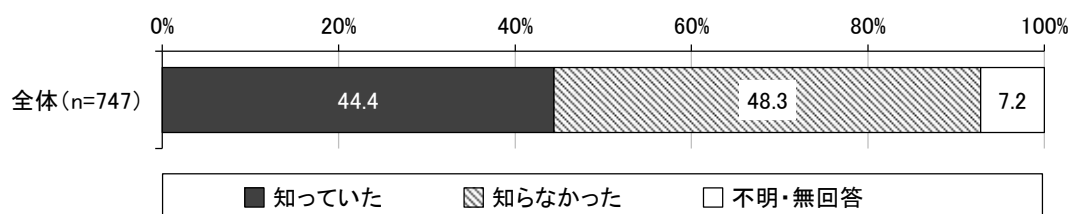
母子及び父子福祉資金の今後の利用意向についてみると、「利用したい」が29.7%、「利用する予定はない、必要がない」が55.6%となっています。



G 江東区まなびサポート事業（まなび塾）

（１）この事業を知っていましたか。（１つに○）

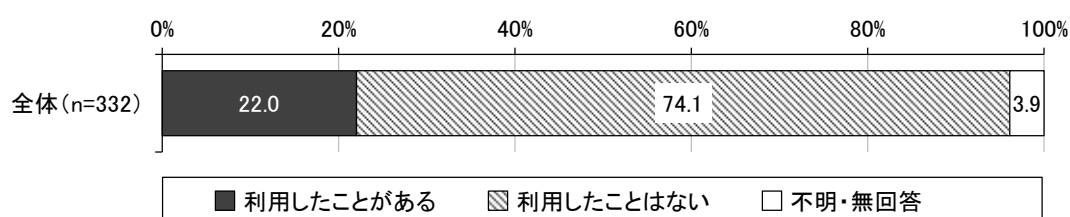
江東区まなびサポート事業(まなび塾)の認知状況についてみると、「知っていた」が 44.4%、「知らなかった」が 48.3%となっています。



（１）で「知っていた」を選んだ方

（２）この事業を利用したことがありますか。（１つに○）

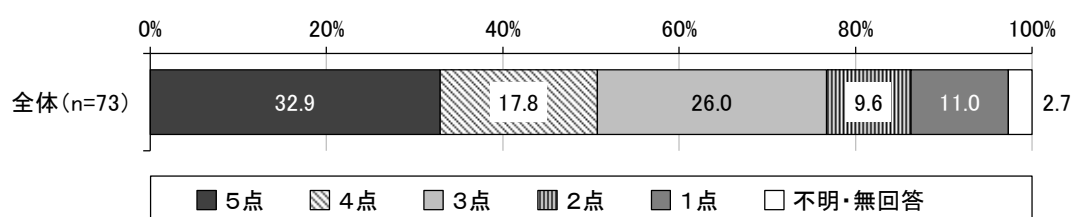
江東区まなびサポート事業(まなび塾)の利用経験についてみると、「利用したことがある」が 22.0%、「利用したことはない」が 74.1%となっています。



（２）で「利用したことがある」を選んだ方

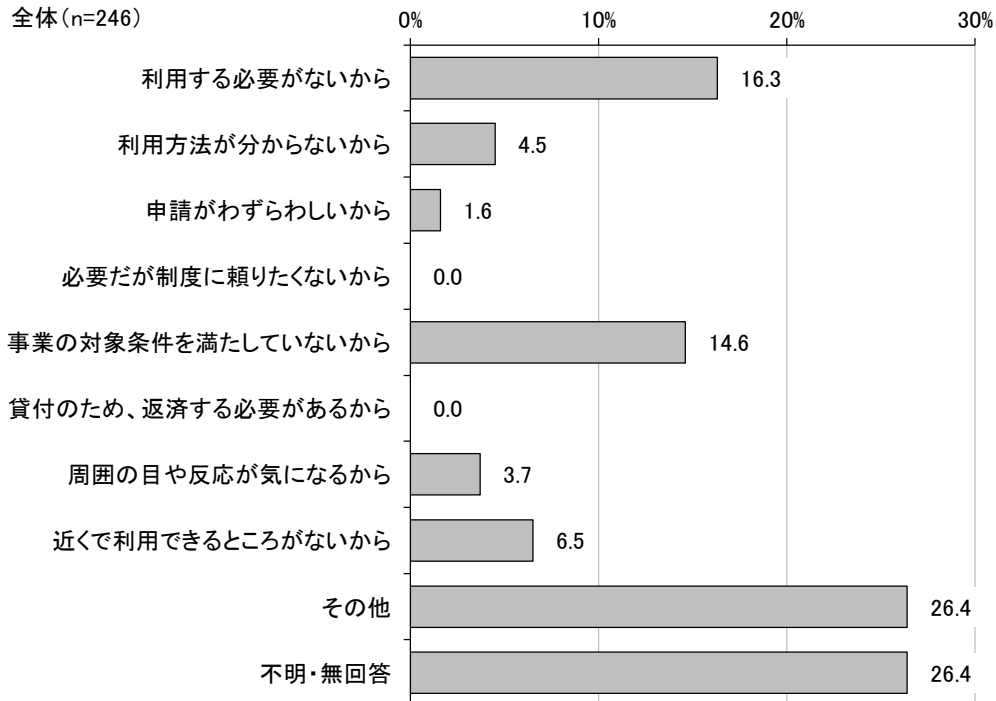
満足度（１つに○）

江東区まなびサポート事業(まなび塾)の満足度についてみると、「5点」が 32.9%と最も多く、次いで「3点」が 26.0%となっています。



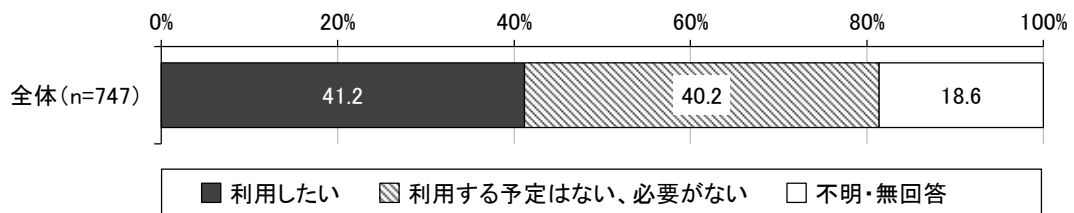
(2) で「利用したことはない」を選んだ方
利用しない理由（1つに○）

江東区まなびサポート事業(まなび塾)を利用しない理由についてみると、「利用する必要があるから」が 16.3%と最も多く、次いで「事業の対象条件を満たしていないから」が 14.6%となっています。



(3) 今後この事業を利用したいと思いますか。（1つに○）

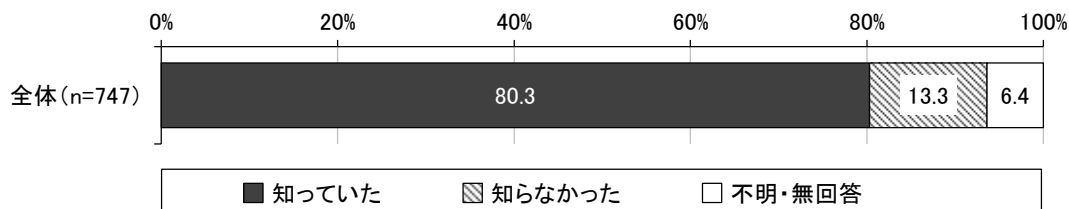
江東区まなびサポート事業(まなび塾)の今後の利用意向についてみると、「利用したい」が 41.2%、「利用する予定はない、必要がない」が 40.2%となっています。



H こども食堂

(1) この事業を知っていましたか。(1つに○)

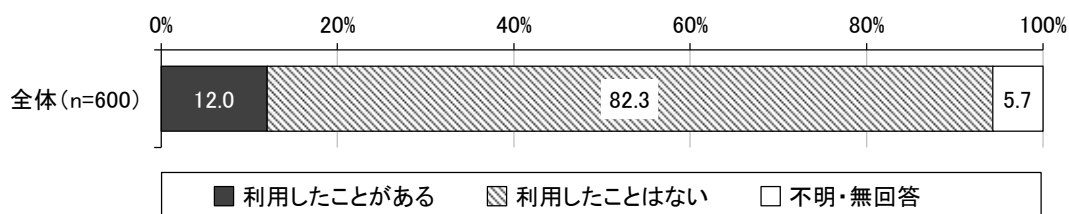
こども食堂の認知状況についてみると、「知っていた」が80.3%、「知らなかった」が13.3%となっています。



(1) で「知っていた」を選んだ方

(2) この事業を利用したことがありますか。(1つに○)

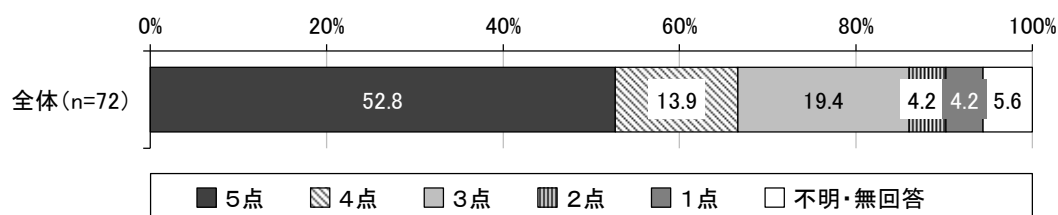
こども食堂の利用経験についてみると、「利用したことがある」が12.0%、「利用したことはない」が82.3%となっています。



(2) で「利用したことがある」を選んだ方

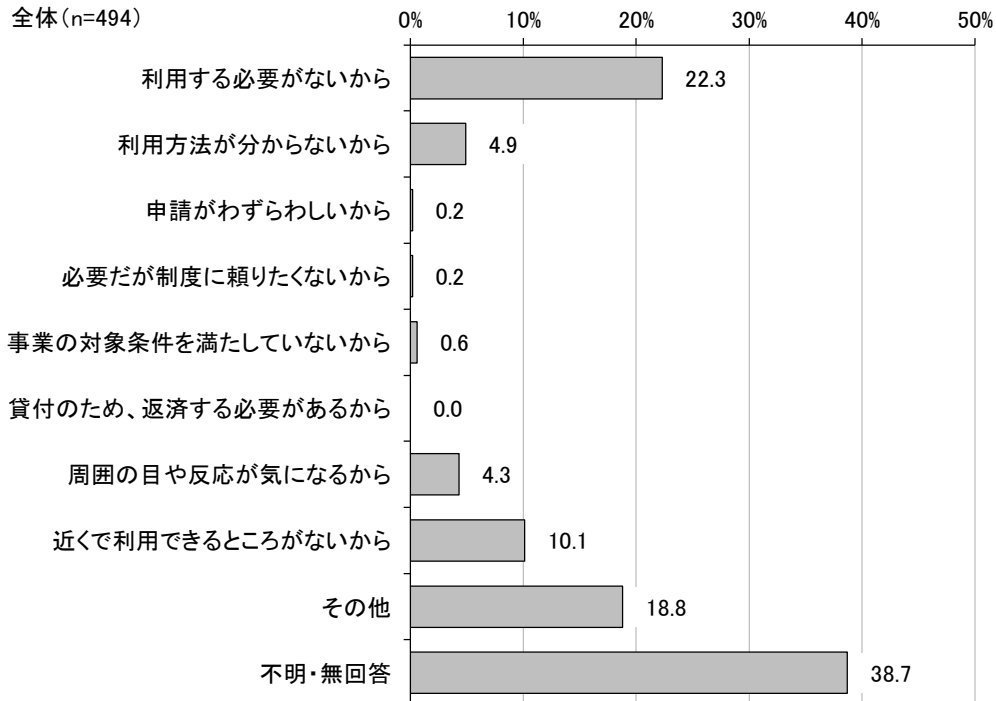
満足度 (1つに○)

こども食堂の満足度についてみると、「5点」が52.8%と最も多く、次いで「3点」が19.4%となっています。



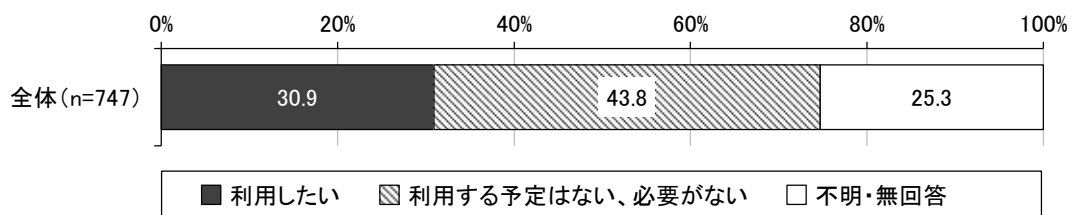
(2) で「利用したことはない」を選んだ方
利用しない理由（1つに○）

こども食堂を利用しない理由についてみると、「利用する必要があるから」が 22.3%と最も多く、次いで「近くで利用できる場所がないから」が 10.1%となっています。



(3) 今後この事業を利用したいと思いますか。（1つに○）

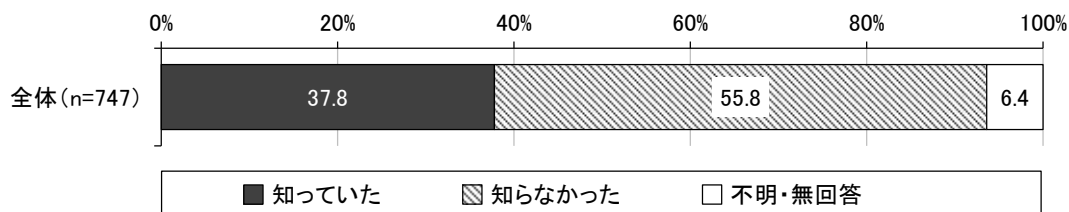
こども食堂の今後の利用意向についてみると、「利用したい」が 30.9%、「利用する予定はない、必要がない」が 43.8%となっています。



I 受験生チャレンジ支援貸付事業

(1) この事業を知っていましたか。(1つに○)

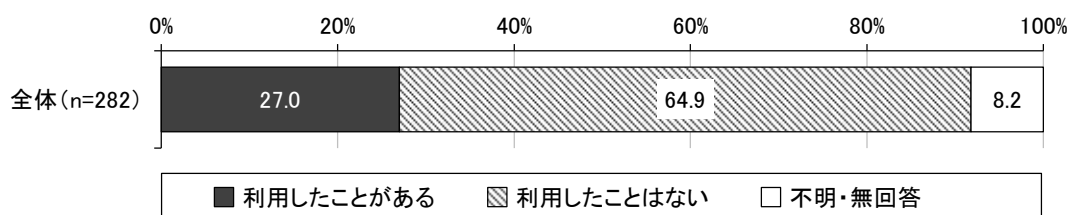
受験生チャレンジ支援貸付事業の認知状況についてみると、「知っていた」が 37.8%、「知らなかった」が 55.8%となっています。



(1) で「知っていた」を選んだ方

(2) この事業を利用したことがありますか。(1つに○)

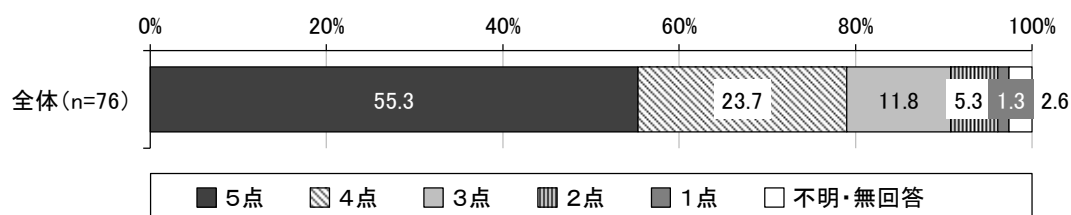
受験生チャレンジ支援貸付事業の利用経験についてみると、「利用したことがある」が 27.0%、「利用したことはない」が 64.9%となっています。



(2) で「利用したことがある」を選んだ方

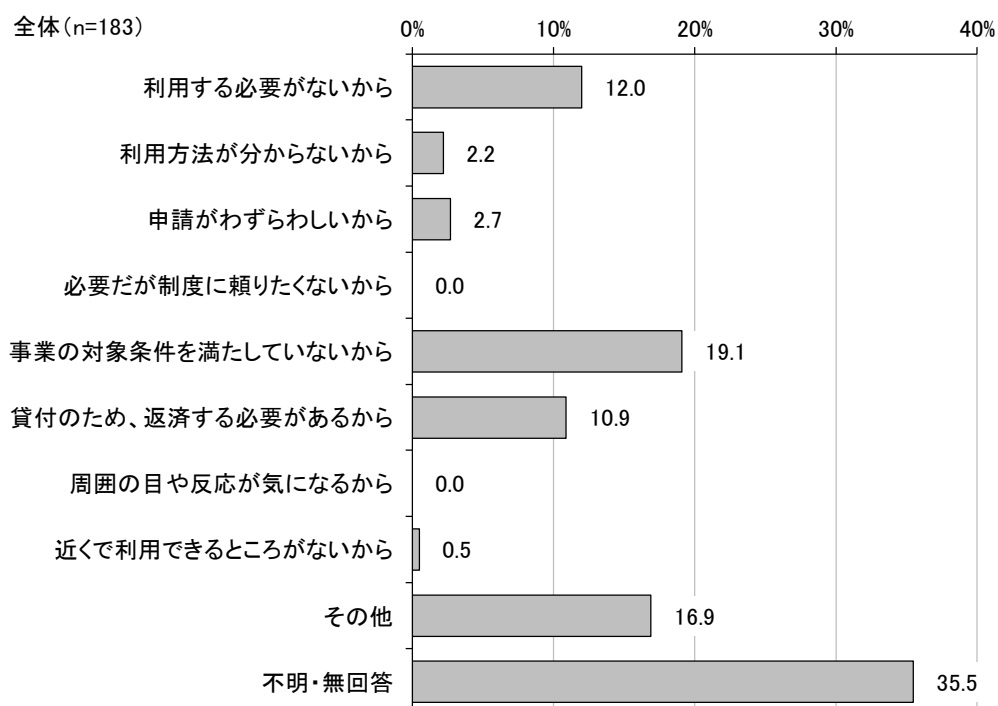
満足度 (1つに○)

受験生チャレンジ支援貸付事業の満足度についてみると、「5点」が 55.3%と最も多く、次いで「4点」が 23.7%となっています。



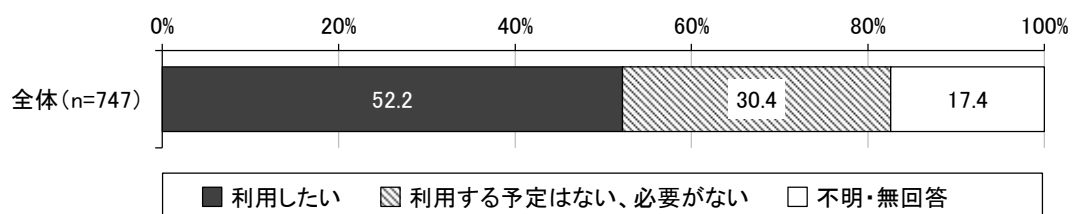
(2) で「利用したことはない」を選んだ方
利用しない理由（1つに○）

受験生チャレンジ支援貸付事業を利用しない理由についてみると、「事業の対象条件を満たしていないから」が19.1%と最も多く、次いで「利用する必要がないから」が12.0%となっています。



(3) 今後この事業を利用したいと思いますか。（1つに○）

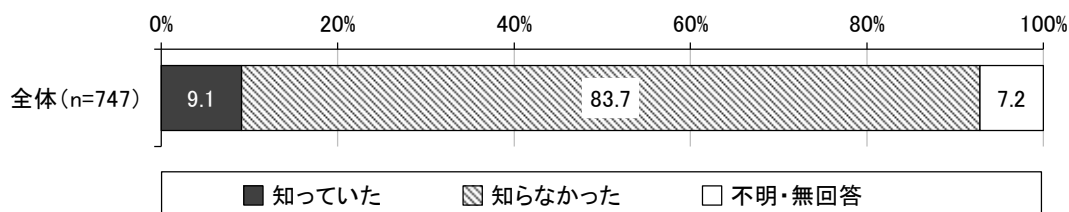
受験生チャレンジ支援貸付事業の今後の利用意向についてみると、「利用したい」が52.2%、「利用する予定はない、必要がない」が30.4%となっています。



Ｊ お部屋探しサポート事業

（１）この事業を知っていましたか。（１つに○）

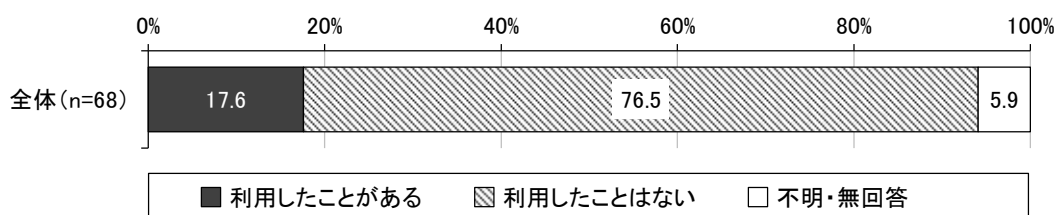
お部屋探しサポート事業の認知状況についてみると、「知っていた」が 9.1%、「知らなかった」が 83.7%となっています。



（１）で「知っていた」を選んだ方

（２）この事業を利用したことがありますか。（１つに○）

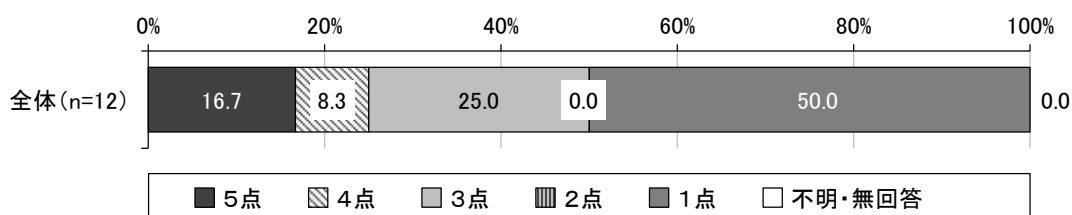
お部屋探しサポート事業の利用経験についてみると、「利用したことがある」が 17.6%、「利用したことはない」が 76.5%となっています。



（２）で「利用したことがある」を選んだ方

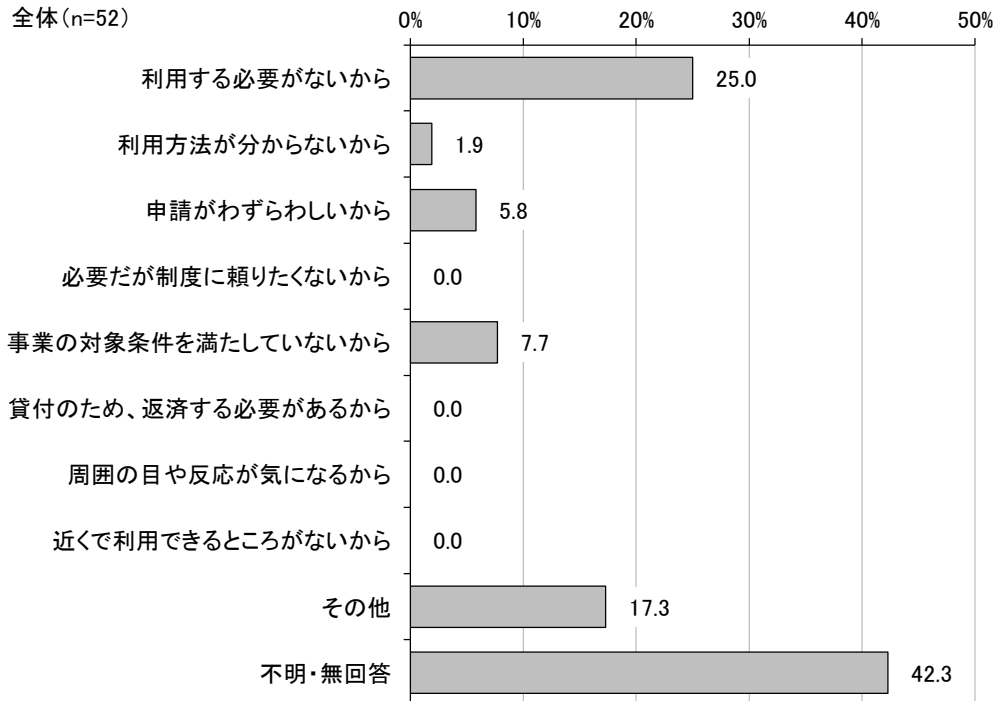
満足度（１つに○）

お部屋探しサポート事業の満足度についてみると、「1点」が 50.0%と最も多く、次いで「3点」が 25.0%となっています。



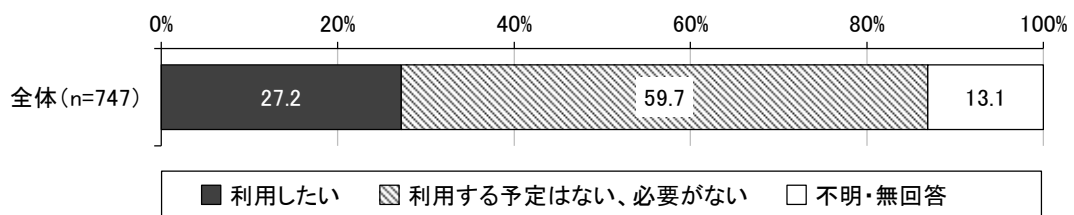
(2) で「利用したことはない」を選んだ方
利用しない理由（1つに○）

お部屋探しサポート事業を利用しない理由についてみると、「利用する必要があるから」が 25.0%と最も多く、次いで事業の対象条件を満たしていないから」が 7.7%となっています。



(3) 今後この事業を利用したいと思いますか。（1つに○）

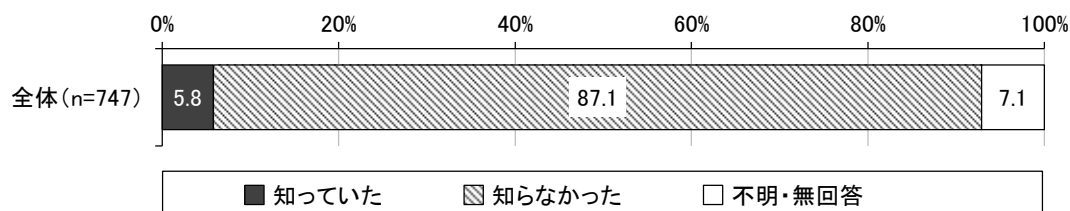
お部屋探しサポート事業の今後の利用意向についてみると、「利用したい」が 27.2%、「利用する予定はない、必要がない」が 59.7%となっています。



K 養育費確保支援事業補助金

(1) この事業を知っていましたか。(1つに○)

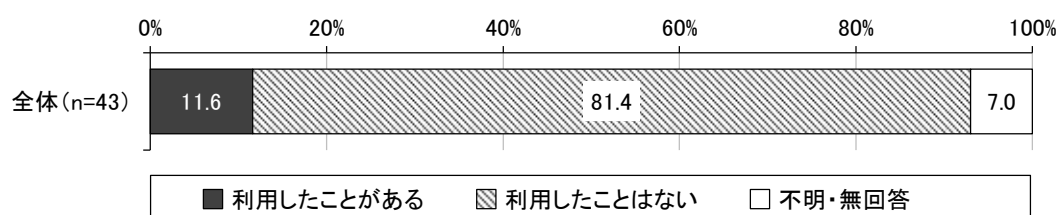
養育費確保支援事業補助金の認知状況についてみると、「知っていた」が 5.8%、「知らなかった」が 87.1%となっています。



(1) で「知っていた」を選んだ方

(2) この事業を利用したことがありますか。(1つに○)

養育費確保支援事業補助金の利用経験についてみると、「利用したことがある」が 11.6%、「利用したことはない」が 81.4%となっています。



(2) で「利用したことがある」を選んだ方

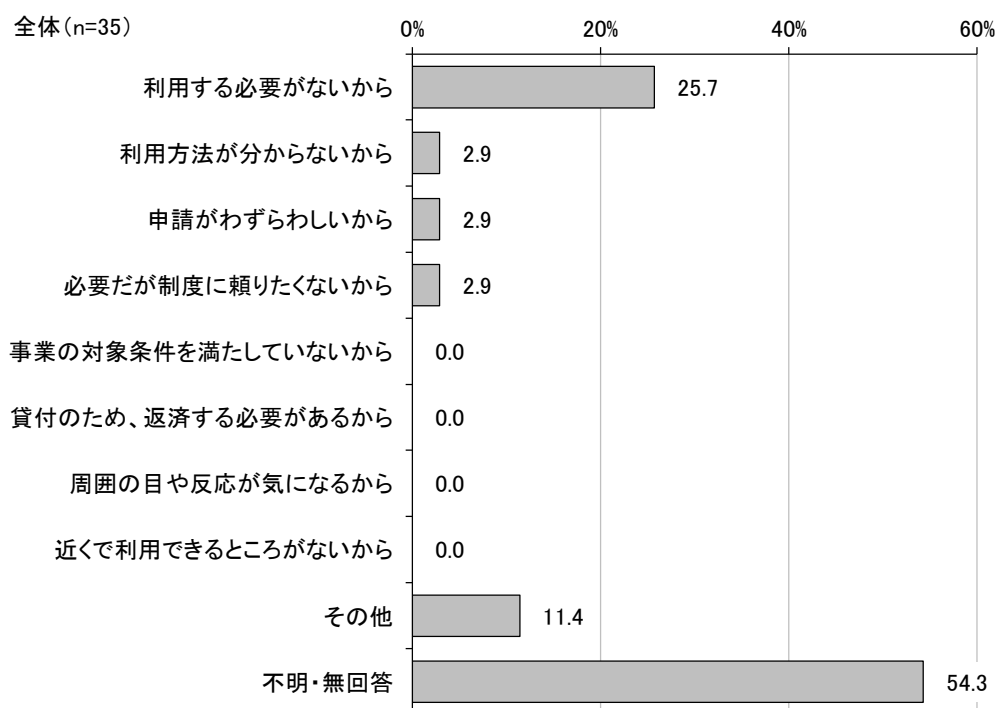
満足度 (1つに○)

満足度については、回答数が少なかったため、結果のみ示します。

全体 (n=5)	件数	%
5点	2	40.0
4点	0	0.0
3点	1	20.0
2点	1	20.0
1点	1	20.0
不明・無回答	0	0.0

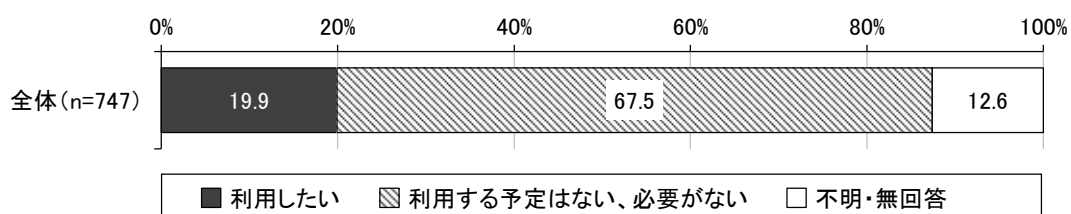
(2) で「利用したことはない」を選んだ方
利用しない理由（1つに○）

養育費確保支援事業補助金を利用しない理由についてみると、「利用する必要があるから」が25.7%と最も多く、次いで「利用方法が分からないから」「申請がわずらわしいから」「必要だが制度に頼りたくないから」が2.9%となっています。



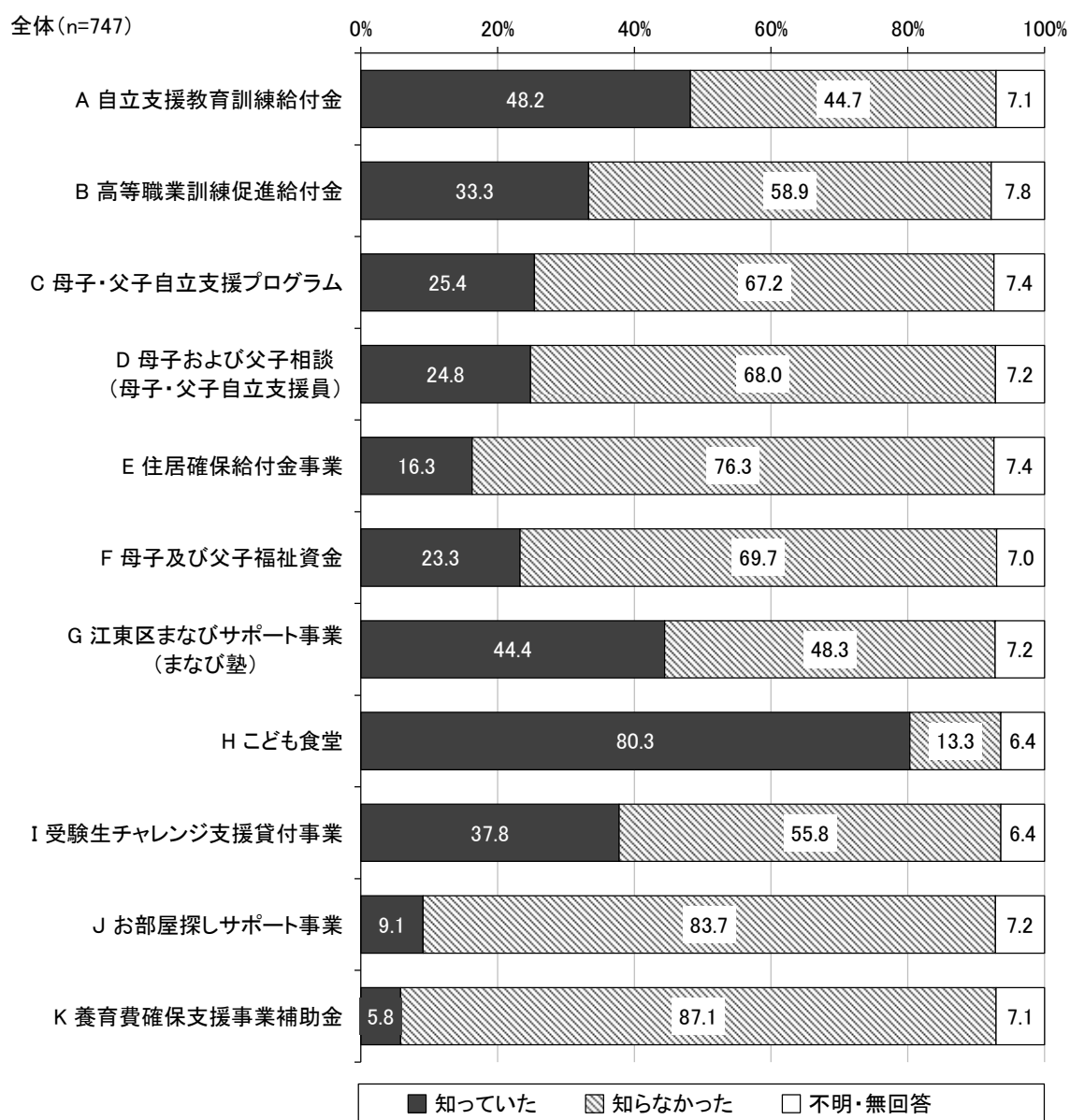
(3) 今後この事業を利用したいと思いますか。（1つに○）

養育費確保支援事業補助金の今後の利用意向についてみると、「利用したい」が19.9%、「利用する予定はない、必要がない」が67.5%となっています。



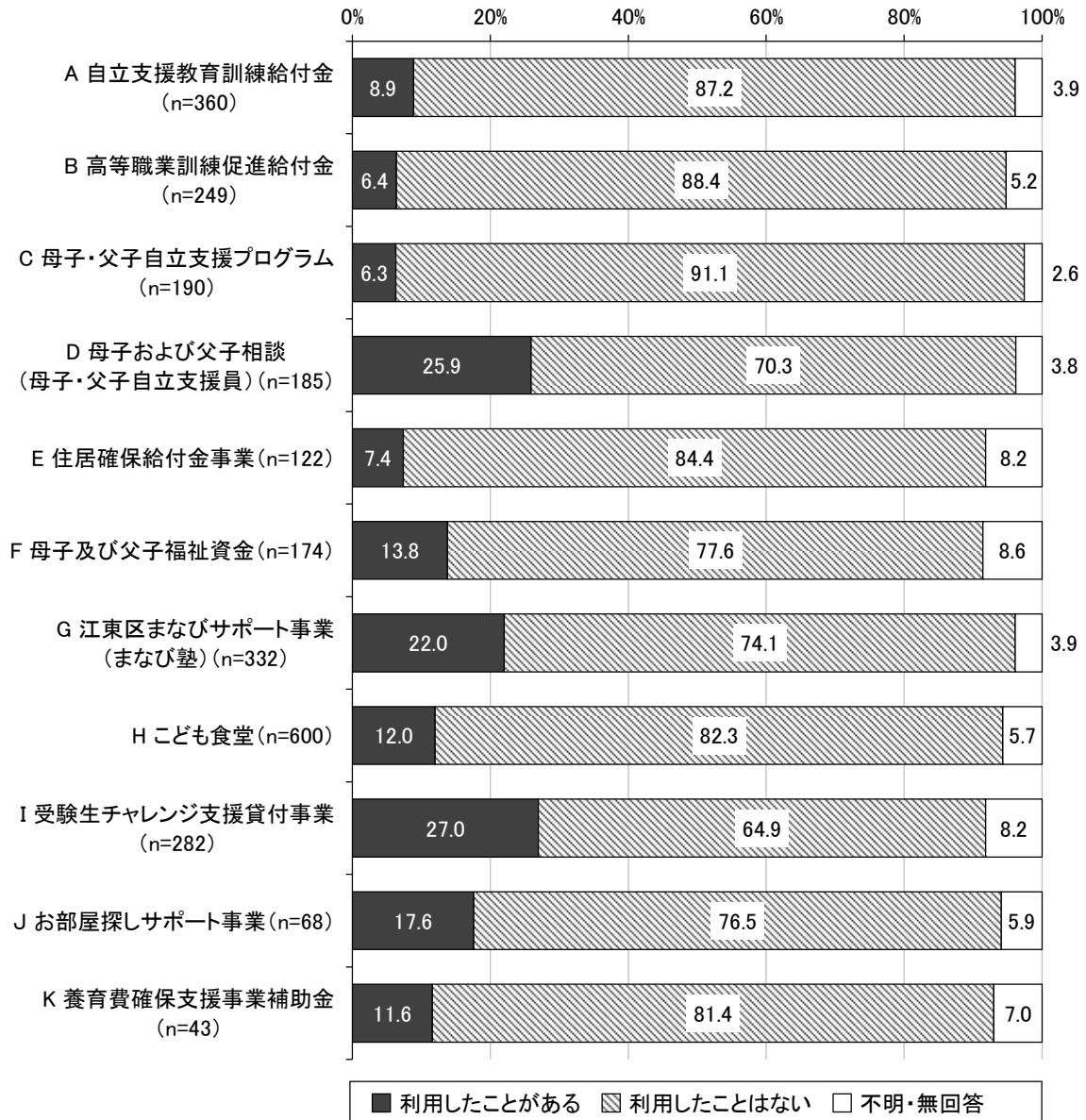
問 50 A～K (1) この事業を知っていましたか。【再掲】

各種事業の認知状況についてみると、「J お部屋探しサポート事業」や「K 養育費確保支援事業補助金」で「知らなかった」が8割以上となっており、他事業に比べて多くなっています。



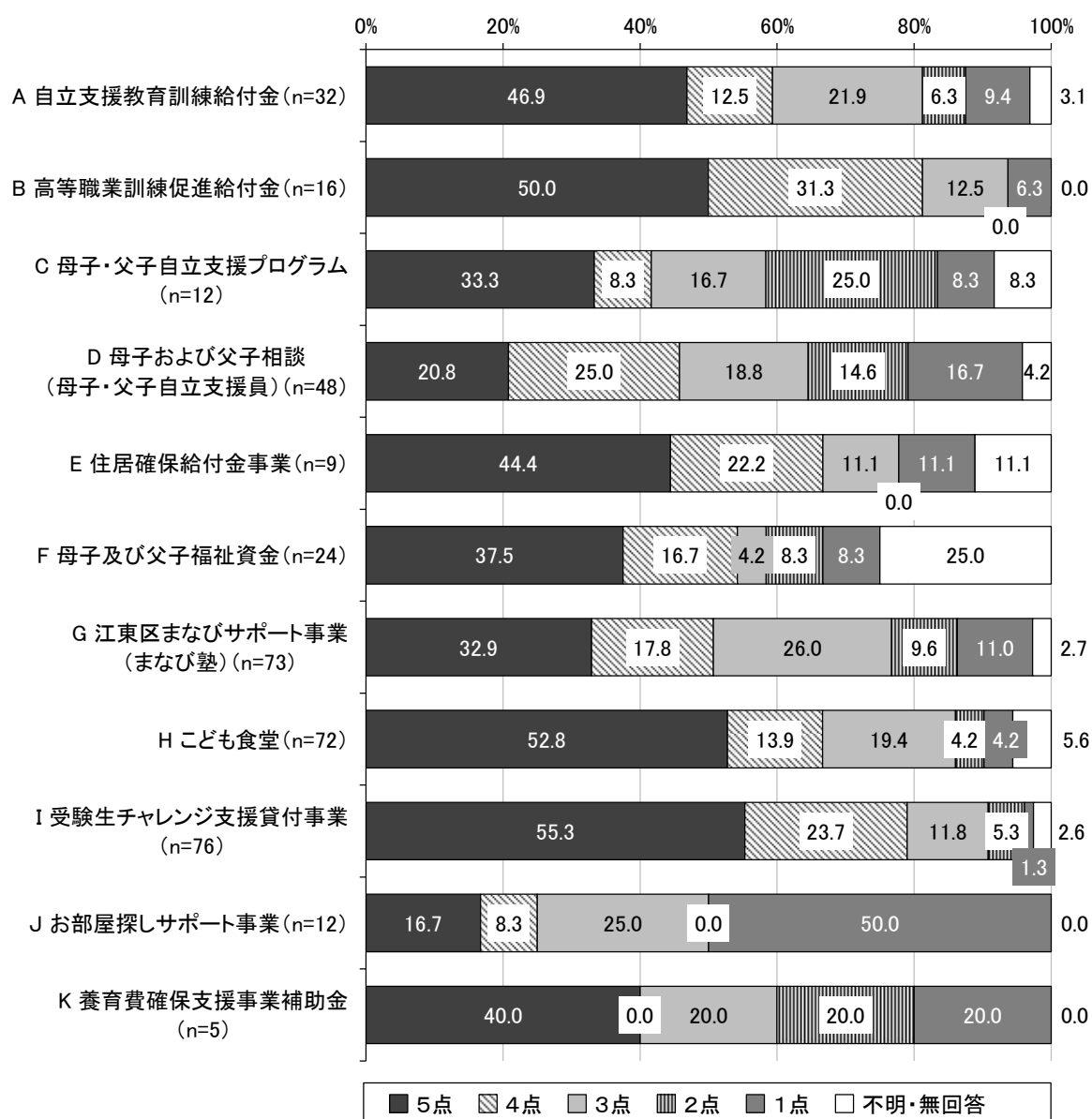
問 50 A～K (2) この事業を利用したことがありますか。【再掲】

各種事業を知っている方の利用経験についてみると、「D 母子および父子相談(母子・父子自立支援員)」や「G 江東区まなびサポート事業(まなび塾)」 「I 受験生チャレンジ支援貸付事業」で「利用したことがある」が2割以上となっており、他事業に比べて多くなっています。



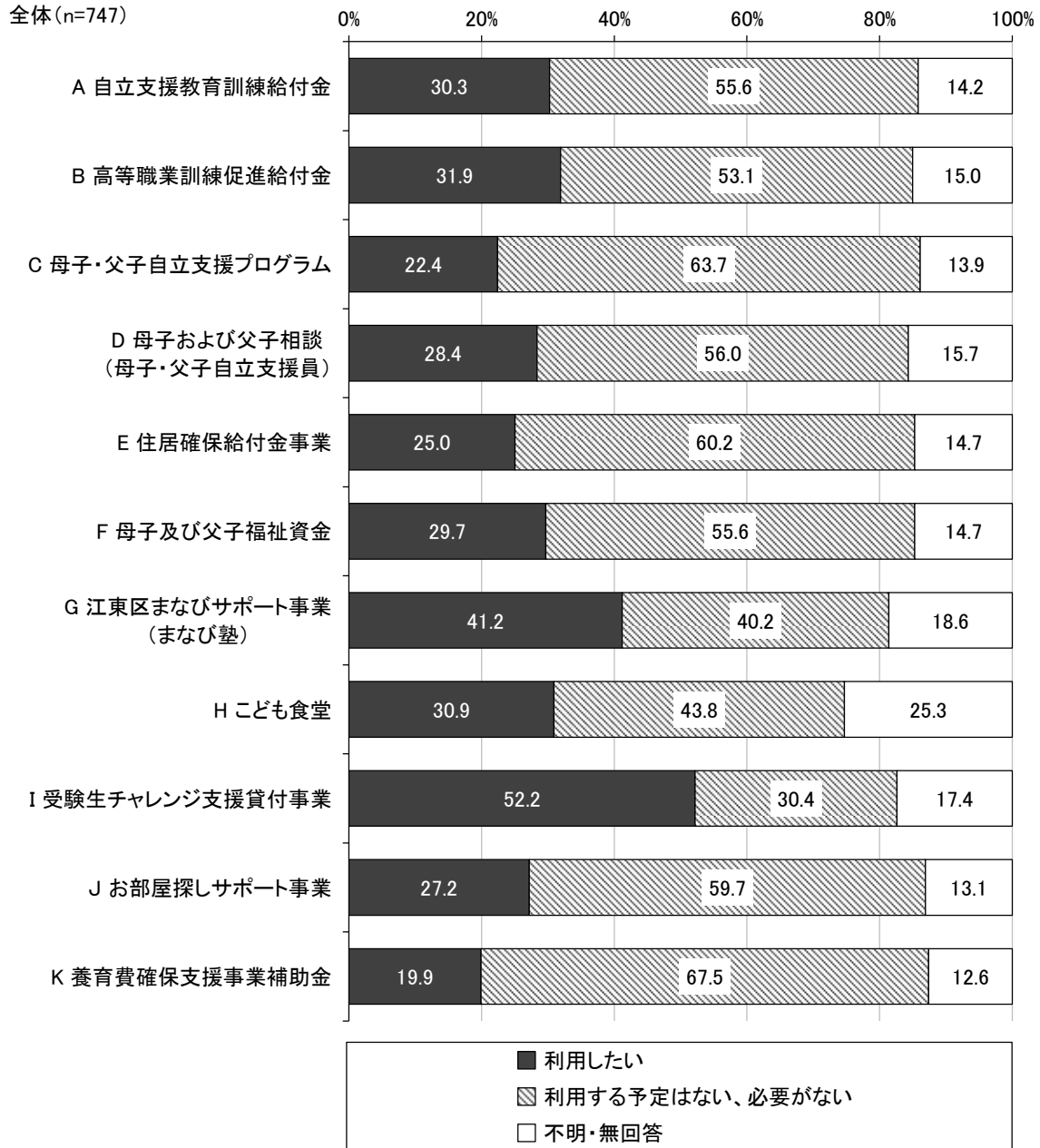
問 50 A～K 満足度【再掲】

各種事業の利用経験者の満足度についてみると、「H こども食堂」や「I 受験生チャレンジ支援貸付事業」で「5点」が5割を超えており、他事業に比べて多くなっています。



問 50 A～K (3) 今後この事業を利用したいと思いますか。【再掲】

各種事業の今後の利用意向についてみると、「G 江東区まなびサポート事業(まなび塾)」や「I 受験生チャレンジ支援貸付事業」で「利用したい」が4割以上となっており、他事業に比べて多くなっています。



7 自由記入欄

問 51 あなたが今、困っていることや悩みごとがありましたら、ご自由にお書きください。

困っていることや悩みごとについての意見の内容は、「手当で・支援制度に関すること」が 78 件で最も多く、次いで「教育(学校・学業)に関すること」が 70 件となっています。

カテゴリー	件数
手当で・支援制度に関すること	78
教育(学校・学業)に関すること	70
家計(収入・支出・貯金)に関すること	41
こどもの育児・保育環境に関すること	35
仕事に関すること	18
医療・健康に関すること	14
家庭に関すること	10
その他	70

※カテゴリー10件未満のものは「その他」にまとめて集計。複数カウントあり。

以降に、寄せられた意見を抜粋で掲載します（原則、原文のまま）。

①手当で・支援制度に関すること

- ◇ 母子家庭で必死になって働いて子ども3人を育てているのに収入が上がれば手当などが停止される。子どもが成長すればするほど、お金はかかるのに何の支援も打ち切られてしまう。本当に死んで保険金を子どもに渡そうと思うことが何度もあった。
- ◇ 一人親家庭への児童扶養手当がとても不満。一人親となり女性の場合、収入も安定せず自宅を借りたくても収入が少ないため借りることができません。査定額の見直しを希望します。同一世帯ではなく一人親の本人の収入査定に変更して頂きたい。
- ◇ 申請方法が複雑なものや、内容がよく分からない手続きなどあり、役所に行ってもたらい回しになり、後日改めてなどと言われたこともありました。もう少し簡潔に出来たらうれしいです。
- ◇ 児童扶養手当の第3子の金額を上げて欲しい。児童手当が上がるのに扶養手当が上がらないのは差別ではありませんか。生活に困っているので速やかにやってほしい。また第3子の定義は長男が18歳を超えたら第2子扱いになるのもおかしい。
- ◇ 児童扶養手当を受給しています。とてもありがたい制度です。ただ物価の高騰により支出が多く、なかなか子供の将来の為に貯金が出来ません。所得制限限度額を上げて頂けるよう、ご検討ください。
- ◇ 子どもが不登校になった時に仕事に行けないので、無収入になった時の手当や対策を考えて欲しいです。発達障害児への支援ももっと増やしてほしいです。
- ◇ 母子手当を頂くための所得制限が低すぎると思う。
- ◇ 都バス、都営線などのフリーパスが子どもの分も出ると良い。その他交通費の助成があると良い。
- ◇ 区の窓口に一人親になる際、いろいろ相談に行きました。来てくれればいろいろ提供できると言わ

れ、それでは損していたことがたくさんあったけれど知っていればだいぶ違ったんだと思いました。こちらから出向かわなければ分からないなんてと思いました。

- ◇ 所得制限により児童扶養手当の支給停止を受けました。所得限度額以上でも、母子家庭だとなかなか生活のやりくり、貯金が出来ずこういった手当は大変ありがたいものでした。それが停止となった今、以前より厳しい生活となり今後の生活の事を考えるとストレスに繋がってきます。一人親でも児童扶養手当の限度額の見直し、または支給停止の見直しを検討して頂けると有難いです。
- ◇ 教育費の出費が大きいので支援をしてもらいたい、所得の限度額があり支援してもらえない事が多い。限度額の引き上げをしてほしい。
- ◇ 住宅手当があると助かります。住宅費用が高い、子供部屋が無い、子供が一人の人間として健全な生活ができていない。母子家庭の収入では日々を生きていくだけでやっとなです。
- ◇ 育成手当の金額を増額して頂けると助かります。毎日本当に時間がないので、申請（現状届など）のオンライン化を進めて頂けると助かります。
- ◇ 子供が大きくなるにつれて出費も増えるのに、子ども手当は赤ちゃんの方が多いのがよく分からない。
- ◇ 公的支援制度や奨学金制度、官民間問わず経済的支援制度や補助、サポート体制 etc。体系的に一覧できるように分かりやすい視覚的コンテンツがあると便利だし助かる。
- ◇ サポート内容等が描いてある冊子を一人親家庭に配布してほしい。
- ◇ 子どもが高校生になると児童手当、児童扶養手当、児童育成手当がなくなります。せめて学生の間は利用できる補助制度があれば有難いです。学びに制限がないようによろしくお願いします。
- ◇ 物価がこれだけ上がっているのに、いったいいつまで児童扶養手当の収入上限を古いままで対応されているのでしょうか。
- ◇ 働けば働いた分の税金や手当が無くなる。働かないで児童扶養手当を満額貰って非課税世帯になって暮らした方が楽ですか。
- ◇ 頑張って働き収入が増えると手当が減り、働いた以上に手当が減るので収入が減ってしまう。働く意味が分からなくなってしまいます。でも働かないと子供を育てていけない。今後進学に当たりお金で進学先を変えさせてしまうことに対して本当に心が痛く、申し訳なくなってしまいます。
- ◇ 江東区は保育士に 82,000 円の住宅補助金があるのに、同じ園で仕事の内容は違っても、キャリアアップ研修や時間の拘束は同様なのに栄養士には補助金がありません。
- ◇ 働いた分だけ扶養手当が下がる。せっかく国家資格をとって手取りが少しだけ上がったが稼げば引かれる料金も高くなり、手取り的にはほんのわずかな上がりで手当は減るのでばかりになる。
- ◇ ギリギリのラインの収入なので頂けてないものや使えない支援がありそうです。自ら探して申請しないといけないので、知らないことがあります。生活は大変です。区役所に行くにも仕事を休まなくては行けないので申請できてないものもあります。土日に区役所を稼働させてほしいです。
- ◇ チャレンジ支援貸付事業の申請対応も、日曜日でも対応してほしい。仕事を休まないで申請できないのはつらいです。
- ◇ 児童扶養手当の支給基準が低く困ります。金銭の収入だけを見るのではなく、実家が近くでないことやどのような環境で育てているのか見て欲しいです。区の独自の手当をお願いします。

②教育(学校・学業)に関すること

- ◇ 江東区は現在、他の区に比べてインクルーシブな教育環境がない。国連人権委員会の勧告にも関わ

らず、分離教育が当然のこととされ、障がいのある子どもは健常の子と切り離されている。誰もが同じ学校に通い、一緒に育つことができる環境作りを江東区は他区に率先して行ってほしい。

- ◇ 国立の小学校に通っているが生活格差があり、教育費が負担になっている。学びを止めたくないのに生活費を切り詰めるしかなく限界を感じる。
- ◇ 不登校の為の学習できる場所や勉強以外にも興味を持ち体験できる場所が欲しい。派遣の為仕事や給料が安定せず、金融機関への返済や老後の生活や子どもの進学や将来が不安。
- ◇ 保育園は働く親にとってすごく有難いけれど、小学校に入ると PTA、学校行事、保護者会、学校公開など平日に時間をとられ仕事の休みをずいぶんとらなければならずに負担が大きすぎる。
- ◇ 学び塾は審査が厳しく落ちてしまった。無料でなくていいので、低所得者の子供も塾に通えたらなと思う。
- ◇ 子どもはもちろん、子どもにたずさわる大人の心を大切にしたい。小学校、保育園の先生の負担、不満が子どもに直接影響をきたしている姿を目にします。
- ◇ 子は高校生までは十分な手当、支援がありますが大学進学時の資金が不足します。学費を捻出するため低収入の正社員から年収アップの契約社員に転職したが自分が倒れたら無職になる可能性が高く不安です。
- ◇ 子供に十分な教育を受けさせたいから、大学へ行かせたくても子供自身に借金を背負わせて進学せざるを得ません。そんな状況なのに色々な手当やフォローは 18 歳で終わってしまうのはおかしいと思います。学びたいと思う子供に対して、大学までお金の心配なく学べる制度が欲しいと切に願います。
- ◇ 子供が中学生卒業まで児童手当、18 歳まで育成手当を頂いており、とても助けられておりましたが、大学生になったとたん補助がなくなり凄く大変になりました。18 歳で子育てが終わるわけでもありません。18 歳になったとたん突き放された気持ちになりました。
- ◇ 私立高校の入学金は何故、東京は免除されないのですか？大学は日本学生支援機構があるので、給付金が出るため、そのお金で支払うことができますが、高校はその様な給付金で賄うシステムはないのでしょうか？
- ◇ 公立小学校の面談等、仕事が休めず参加が難しいです。有給は家族や自身の体調不良の時のために取っておきたいので、学校行事で使うのが躊躇われます。先生方の労働時間の問題もあり、解決が難しいのは承知ですが、平日昼間以外で設定できると大変助かります。
- ◇ 親以上に中高生は周囲の目が気になるようなので、まなび塾等、経済的水準による線引きではなく、子供たちの居場所が確保できるような、誰でも自由に放課後集まれるような場所があると、子供たち同士で教え合ったり協力しながら基礎学力を向上できてよいと思いました。
- ◇ 親の勝手に離婚し、大学費用など本人に借金させなければいけないことに心が苦しい。それでも大学に行きたいと思うわが子に進学を諦めさせたくないのに、心を痛めながら毎日生活しています。大学への進学がもっとしやすい国ならいいなと思います。学校にお金がかかりすぎです。
- ◇ 学校の PTA 等は一人親対応の文化がない。小学校でいうと、1 人一回は役員をしたりしますが、一人親で困っているご家庭は自分を含めてたくさんいました。
- ◇ 習い事の助成を充実させてほしいです。子供がやりたいと言っても経済的に厳しく、助成があればと思うことがあります。お金のある家の子供はたくさん学べるけど、経済的に厳しい家庭は難しい。
- ◇ 中二の不登校の娘の学習支援をどのようにしたらいいかわからない。学校もしくは区で不登校向けの授業は出来ないものか。クロムブックは全員に貸与されているのだから。

- ✧ 高校からは私立も支援金制度があるので一安心ですが、その間に大学資金も用意しなければならず、もう少し進学に意欲的な子供をサポートする意味で学費のサポートを全国的に行ってくれると少しは子育ての経済的な不安は解消されるのではと思います。
- ✧ ワンストップ教育相談が機能していない為学校の対応が悪くて、子供が安心して学校に通えなくなっているの不登校以外、又は転校以外の選択肢がない。SSW も学校に対して立場上強く言えないし、江東区教育委員会は学校長の判断に任せていて誰も学校の方針ややり方がおかしくても指導せず、生徒と親は我慢して諦めるしかなくなっている。子ども家庭支援センターもたくさんの相談担当に分かれていて、本人ではなくセンターの判断で相談が終了していたり予定が合わせられず、子どもの状況を子供から聞くまでに数ヶ月かかっていたりと、学童期以降の家庭への支援が遅いと感じる。子どもは起立性調節障害という体の病気を発症しているが病気への理解がない教員が多いので正しい知識と思いやりのある対応ができるように講義などをしてほしいです。江東区にも公立の不登校特例校を作してほしいです。

③家計(収入・支出・貯金)に関すること

- ✧ 子どもの将来やりたいと思えることが出来たとき、チャレンジをさせてあげたいが資金が足りるのかとても不安です。物価が上昇しているので、いろいろなものが高くなっており不安です。
- ✧ 物価高騰で最近では子どもに必要な物も少し待ってもらってから買っています。食品も切り詰めてはいますが、お金で困って悩んでいます。
- ✧ 普通に生活している分は今年あたりから落ち着きましたが、年金や保険料、税金の支払いが多く生活するのがやっとな状態です。
- ✧ 仕事を掛け持ちしているが、生活費や塾代で、貯金（大学のためなど）が全く出来ない。就学援助はとても助かっているが、一時的に負担しなくてはならないので(学校に支払った後入金なので)、先に入金、もしくは支払い免除されると助かります。
- ✧ 残業して稼ぎたくても子供との生活で不可能。子供を1人で夜遅くまで夕食を食べられない状態で留守番させる事は出来ない。
- ✧ 働きたくても、働けば働くほど税金で生活が圧迫され、給付金は対象から外され、結局生活保護よりも苦しい生活を送っている。
- ✧ 養育費もなく高齢者と息子と暮らしています。私も50代で持病があり母の年金も月4万で本当に日々生きていくのが大変ですが頑張って仕事をしています。
- ✧ 子どもがおなか一杯食べるには栄養より安い食品で満たすしかない。どうか子どもが22歳になるまで支援をお願いしたい。親にお金がなくても学ぶ意欲があり、成績がいい子供にチャンスをください。
- ✧ 何もかも値上げが続き、今以上に余裕が無くなるのが不安。一人親の手当は助かりますが、二人親との格差は広がり、とても厳しいです。
- ✧ 賃貸で部屋を借りているが、給料等が低いので広い部屋に引っ越すことが出来ない。中学生の子供がいるが亀戸から離れるのが嫌だとなると狭くても仕方ないのが現状。
- ✧ 子供の将来を考えると、再婚した方が収入の安定にはなるのかと思いきや、なかなか慎重になって(男性不信などトラウマ)時間だけが過ぎていってしまっています。
- ✧ 学用品費や塾にかかる費用が高く支払いが厳しい。予防接種の費用が払えなくて接種できない。学校行事の写真販売の写真が高くて購入できない。子供の洋服買えない。光熱費が高くて支払い厳し

い。家賃の支払いも毎月厳しい。

④こどもの育児・保育環境に関すること

- ◇ 昔と比べて一人親である事への偏見はなくなったように感じます。江東区はいろいろなサポートがあり、子育てしやすいです。一方で子供に対する公然わいせつや不審者情報が多く不安です。防犯カメラを増やしたり、近所の人と声を掛け合うなど、皆で子供たちを見守れたらと思います。
- ◇ 子どもが軽度の発達障害である為、将来就職し、自立できるのかどうか不安です。大学進学までは、きちんと育てる資金はあるが、就職できなかった場合に支援できる自信がない。
- ◇ 下の子が病気で保育園を休む時、上の子が低学年で病気で休む時など見てくれる人や預けられる場所があればと思いました。
- ◇ 反抗期の子供を一時的に預かるサービスがほしいです。母子家庭で息子の体力についていけません。しばしば警察のお世話になってます。
- ◇ 障害児への福祉サービスや人材が他の区より圧倒的に少なく、少しの枠を取り合っているような状態。サービスを受ける資格はあっても、事業所を探すのは親任せで負担が大きく移動支援など使いたいサービスが使えていない人が多い。
- ◇ 発達障害で少し成長が遅いのに思春期が重なり何のことも気持ちが爆発しています。本人は優しく素直な子なのにコントロールが難しく苦しそうに思います。一時保護や落ち着かせてあげれる場所等、切り替えができる場所がもっとあればすごく助かります。
- ◇ 子供が放課後デイサービスを利用しているが、長期休み、土曜日など預かりの時間が短く、正社員として働きたいが、デイサービスの預かりが短く働けないので困っている。子供が大きくなるにつれ、障害者が利用出来る塾、習い事など料金が高く利用出来る場所が少ないし、困っている。
- ◇ 発達障害の子供達の日々の世話で、一日が終わります。知的障害のない軽度の発達障害だと普通の子達の中に入れられてしまい、でもやっぱりついていくのが大変で、自己肯定感を下げしてしまうことばかりです。もっと軽度の発達障害の子達が受けられるサポートがあれば助かります。
- ◇ 子供の成長に伴い親子の関係も見直していく必要があるタイミングにいると思いますが、身近に相談できるカウンセラーなどの利用がしやすくなるとありがたいです。（オンライン相談など。）
- ◇ わが子には医療的ケアがあり土日祝日の預け先がありません。江東区は医療的ケアがあると、レスパイト入所は利用できず緊急一時施設のみです。東部療育センター短期入所は少しの不調だと預かってもらえず、出産した病院の検査入院という名目で預けるとかえって悪化することもあります。そのため日帰りで預かってもらえる日中一時支援施設を江東区で実施してください。
- ◇ 息子に発達障害があり不登校気味です。不安が強いため息子が学校に行けない時は、私も仕事を休まざるを得ない状況で収入が安定せず日々の生活に不安を感じています。一度福祉事務所に相談しましたが、生活保護を受けるように言われたただけでした。不登校の子供を持つシングルマザーやシングルファーザーへの収入面での支援をお願いしたいです。切実です。
- ◇ 障害児のきつづくらは小学生まで、放課後デイはどこもいっぱい、長期休みは開所時間が短い、土日祝はほとんどやっていない、ショートステイは予約が取れない、ヘルパー事業所も人手不足。障害児者の家庭はとても困っています。児相も人手不足、何か質問しても担当者なのに即答できない。電話しても誰も出ないなど、問題山積み。どの区もそうかもしれないけど。

⑤仕事に関すること

- ✧ 返済不要の奨学金について詳しく知りたい。起業してみたいがどんなことから始めればいいのか分からない。定年後も収入を得られるような活動や取組等を学びたい。
- ✧ 子供の時間に合わせて仕事したいのに、あまりない。有っても時給が安かったりして、ダブルワーク、トリプルワークをしないといけない、働いて帰ると子供に優しく出来ない自分がいる。疲れてしまってちょっとした事で怒ってしまう。子供に怒ってしまい自己嫌悪、子育てに自信無くなり、落ち込み、何のために生きているのか、何のために働いているのか判らなくなることがある。
- ✧ 給与が上がらず、子供の成長と共にお金はかかるけど、貯金が出来ずに困っています。江東区内で副業案件の情報が见れるサイトや何かのツールがあると少し余裕が出来る要素に繋がると思います。
- ✧ 職場、仕事での悩み、愚痴を言える相手がいない。
- ✧ 就労できた事は収入面、経済的にとても大きかったです。それも江東区の支援があり、陰でサポートしてくれている方達の色々な想いを受けたためでもあると思っています。娘とこれからも明るく豊かな生活を送っていけるよう、頑張って両立と自立をしていこうと思います。
- ✧ 物価高で食費がすごくかかっているのでもやりくりが大変です。育児をしながら働いているので、行事等で仕事を休む日も多いです。給料を上げて欲しいし安心して休みたいです。子育てしながら一人親が安心して働けるような制度がほしいです。
- ✧ 相談できる場所がわかりません。また相談しても「家事は子供にやらせればいい。海外では小さな子供も仕事をしている。あなたの勤めている会社以外はブラック企業だから辞めない方が良い。」など就労支援で教えてもらった先から言われてショックを受けました。

⑥医療・健康に関すること

- ✧ 子供の医療費は0ですが自分の医療費が高く、病院に行くのをやめたりしています。そのためまた体調を崩すという悪循環です。
- ✧ 毎日もっと子供と一緒にいる時間を増やしたいと思いながら、働いています。今も子供が体調良くないけど、明日も仕事なので1人で家で寝てもらいます。具合が悪い子を置いて出るのがいつも心苦しいです。受診もさせず、いつも市販薬です。
- ✧ 困っていることはたくさんあるだろうけど言ったところで解決するはずもなく、大人の責任で子に負担はかけられないので今はただ子の病気が治ることを願うばかりです。毎日見せてくれる笑顔が一分一秒でも長く続くことを。
- ✧ 体力的にキツイ。若い人のように動けない。
- ✧ 病気の子供の将来。自分たちが年老いた後に診てくれるサポート体制。

⑦家庭に関すること

- ✧ 稼ぐには長時間、家を空けなくてはいけないので、中3の受験生の子が家事を引き受けてくれているが、コレでいいのか罪悪感がある。
- ✧ 養育費もらってないし、実家で暮らしているけど、父（子からみた祖父）は年金暮らしで借金があり、養育どころか実父の経済的援助もしなければならない。収入も決して高くないのに、働かない一人親や平和な一般家族に援助が出るのはおかしいと思います。

- ◇ 子供が大きくなったため、子の病気で仕事を休むことはなくなったが、親の介護で仕事を休みたくても休むことが難しい。パートでも親の介護や子供の看護休暇を取れるようにしてほしい。
- ◇ 現在要介護の親と同居中。年金だけでは両親の介護費用は足りず、援助しながら時には私が援助してもらいながら生活しています。高齢者と同居するひとり親への何かのサポートをもっと増やしてほしい。私が仕事中は老々介護で心配です。
- ◇ 子供の進路、躰けなどは母に相談したりしますが、今と昔が違いすぎて…。少し困る時があります。

⑧その他

- ◇ 同じ境遇（我が家は死別）の人と話す機会があれば良いと思います。なかなかそういう人が周りにいないので、こちらからは特にどこかに行ってまで相談するほどではない事を、定期的に話を聞いてくれる等のサポートがあったら良かったです。
- ◇ 調停で取り決めていることに相手が応じない場合の訴訟手続きなど、サポートしてもらえる制度がない限り養育費が払われない一人親が増える一方だと思います。
- ◇ なかなか都営住宅が当選しないことが一番ネックになっています。
- ◇ 離婚前も離婚後も悩み相談をしたくても平日に時間がとれなかったり、なかなか予約がとれなくて苦しい時が多々あった。今苦しいのに面談予約の空きが1ヶ月以上先などがよくあった。女性は、ただ話したいという時がおそらく多いので、もっとフランクなおしゃべりの場のような同じ境遇同士が集える場があればよかったのと思う。
- ◇ 子ども食堂（定期開催されるもの）を東雲に作って欲しい。豊洲は今豊洲に住んでいる人でないと参加できないため。
- ◇ 子供の学区内で家を探したので家賃が高いことです。都営住宅に引っ越したいが、なかなか希望している所にはあたらな。出来れば、区営住宅に入りたいが現在募集していないです。所得に応じて、民間賃貸の家賃補助があると嬉しいです。
- ◇ 都営バスの無料乗車券を、各家庭1枚ではなく全員に欲しいです。
- ◇ 私は外国人として、友人日本であまりいません。日本人の友達を会うチャンスがなかなかありません。
- ◇ お金で夢を諦める現実がある限り、子供の権利は守られていない。子供が自ら選ぶことができる制度作りをしてほしい。
- ◇ 最近は食費に加えて、女の子を育てている一人親は生理用品ですら高いと感じる。学校や一人親家庭に配ってもらえたらと少し思うのですが、まずしっかり働いて不自由なく暮らしたいと常に思っている。
- ◇ 毎月の手取りから半分以上家賃で消えてしまい、ボーナスが出るまで赤字です。子供が来年高校生になりますが今も二人で同じ部屋で寝ています。給料にあった借家があれば助かります。
- ◇ 一人親世帯だと引っ越しを考えても、一人親という理由でなかなか部屋を借りられない。犬を飼っているので都営住宅に申し込みたくてもできない。ペット需要がコロナ禍で増えたのだから少しくらいペット可の都営住宅を増やしてほしい。
- ◇ 一人親の方々との交流の機会があると良いと思う。夏休みなどに一人親どうしで、キャンプに行くなどの行事も作って頂けると子供同士での悩み相談、親同士での悩み相談ができるのではないかと思います。不要になった子供服などを物々交換したり、フリマなどで売ったり買ったりする機会があっても良いと思う。子供が必要とする教育が大学まで無料になると良いなと思う。
- ◇ 子ども食堂は本当に困っている子が利用出来ない。定員が少なすぎる。衣類、本、おもちゃのリサ

イクルなど欲しいです。どこかリサイクルの物を貰える所はありませんか？本当に必要な人だけが貰える所。

- ☆ 一人親用などのパンフレットやシングルマザーの体験など実際の自分での負担金など、事細かにまとめたものが、あったらよいと思う。
- ☆ 母子家庭です。私（母）が急死などした場合のサポートはあるのでしょうか？今は健康ですが、それだけが気がかりです。
- ☆ 子どもが勝手にネットを使い買い物をして、私が支払いをしている。消費者センターに相談したが親子で話し合うことをすすめられ、支払ったお金については保障してくれないし、どこに相談するのも教えてくれない。

第4部 関係機関・団体ヒアリング調査結果

第1章 こども・若者や保護者の状況について

関係機関・団体に、活動を通して把握されるこども・若者や保護者の状況についてうかがいました。以下に、その内容をカテゴリーごとにまとめたものを掲載します。

問 こども・若者を取り巻く課題について、日ごろの活動を通じて、こども・若者たちの様子で何か気になっていることがあれば教えてください（枠下の回答欄にあてはまる番号すべてを入力してください）。

気になっていることとして挙げられた内容は、「家庭の環境について」「虐待について」「ひきこもりや不登校について」「障害のあるこども・若者について」が30件以上と多くなっています。また、「特に気になることはない」の回答はありませんでした。

カテゴリー	件数 (n=44)
1 家庭の環境について	39
2 虐待について	31
3 ひきこもりや不登校について	31
4 居場所（サードプレイス）について	20
5 ヤングケアラーについて	20
6 貧困について	24
7 障害のあるこども・若者について	30
8 外国につながるこども・若者について	27
9 こども・若者の性犯罪・性暴力について	11
10 その他	5
11 特に気になることはない	0

1 家庭の環境について

- 障害、精神疾患をお持ちの親御さんのもとに育つお子さん、または支援者からみて養育が難しいと感じられる親御さんのもとに育つお子さんと関わる機会が多く、支援の難しさを感じている。
- 高齢出産が増えているのか、祖父母の介護と育児（ダブルケア）問題。
- 男性の育児休業の取得が進められて、平日もセンターには父親とこどもの来所が増えている。その事自体は、子育ての負担が母親にだけ集中せず、いい部分である。しかし一緒に子育てしていく中で、母親も父親も同じ悩みを一緒に抱えて、一緒に落ち込む姿が見られる。又夫婦が一緒に過ごす時間も増えることで、慣れない子育てを通して見えていなかったお互いの価値観が浮き彫りになって対処の仕方に戸惑うことが多い。
- コロナ禍の3年間、外出制限下の中では、産前・産後・子育てと周りからの助けが得にくく、親子で外出を控えていたことで、子育ての地域資源を得ることが出来ず、支え合う子育て仲間の出会いもないまま子育てをしてきた方が多かった。こどもも経験不足からの発達の遅れが増えているように感じる
- 精神疾患を抱える保護者が孤立し、子ども・家庭問題が潜在化し、支援につながりにくい状況。
- 幼い時からゲームやネットなどに触れる機会が多く、夜が遅く朝起きられないなど大人が守り切れていないと思われる。
- 母親自身に心因性疾病や、被虐待経験などがある場合、こどもへの影響が強く出ていると思います
- 家庭環境について特に最近思うのは、ひとり親家庭が増えたこと。それにより不登校生徒が生じやすくなっている印象があります。もちろんそれに伴い学習への意欲も減少するため学力の低下がみられる印象があります。家庭という安全地帯に閉じこもり、義務教育のギリギリまで動き出せず、高校への進路選択からが彼らの新たなスタートになっている事例が多く見受けられます。
- 孤立したご家庭が多い。個々にさまざまな原因や世代間連鎖や個人の特性の問題などがからんでいるものの、傍目には見えにくいものが多いため、本人たちの怠惰や、低能力、不作為とみなされることが多いと感じる。
- 特に出産後表面化する、子育てへの苦悩、虐待や養育困難、DV、などの困難を抱える人は、実はこどもの時からの虐待やネグレクト、夫婦間暴力にさらされたり、親の宗教、教育や偏ったしつけへの強いこだわりなど、困難な養育環境で育ってきている。努力で自分の家族を手に入れて、あこがれていた「よい家族」を目指していたが実際はうまくいかず、また自分を苦しめることになる、という人が本当に多いと感じる。めぐりめぐってこの状態にならざるを得ない人たちの支援をしていると、こどもの時の過酷な生き方が今に至っていることを見せつけられ、支援者として申し訳ないような思いに駆られることがしばしばある。支援を求めることを知らず、求めて裏切られた経験を持つ人の支援希求の低さもしばしば感じている。
- 出産に関しては父の育児休暇取得が急激に進んでいるが、メリット・デメリットの両面が見られる。現状では父が養育者として学ぶ場や支援メニューは十分とは言えない。
- 少子化等で、妊娠出産についてリアルなイメージがないまま子育てを始める家庭が多い。対面の両親学級や妊産婦が交流できる場所が必要と感じる。

- 少子化や核家族化が進み、両親が子供に関わる時間が減少している部分を祖父母が両親に代わってサポートする機会も時間も減少しています。子供たちは、両親からも祖父母や近隣の大人からも悪いことをしても叱られる、見守ってもらうことも無く、希薄な人間関係となり人とのかかわり方がうまく行えない、自分の意見がうまく伝えられない、相手の気持ちを理解しようとできないなど、人間関係の構築が難しくなっているように感じられます。
- 活動を通して接触するのは母親が多いが、精神疾患を患うケースが大変増加している。心に悩みを抱えている人も実感として多い。
- 家庭環境がよくなかったことや、親自身が虐待などを受けていたことなども影響しているケース、また親自身も発達障害や精神疾患があったりするケースも多く、親に対するメンタルケア・情報提供、孤立させないような支援が必要である。親の支援が第一で、子ども本人につながる 것이 難しいケースが多い。
- 学校は、勉強以外のことも、生きていく為に必要な対人関係も学べる場だと思っている。しかしながら、より一層の学力向上に重きを置いて、受験準備の塾に期待することも・保護者もいるようだ。共働き夫婦が増えている地域やその時の経済状況で、保護者の考え方も様々だと捉えている。
- 親がまだまだ子どもであり、十分育っていないと感じるケースが多い。子どもの挑発に乗ってしまって、子どものケンカのようにになってしまう。
- 関係者間の情報共有の会議があるが、母親がシングルだったり、夫の協力が無い・DV といった要因で母親が病んでいるケースがかなりある。公的な支援につながっている方・サポートを受け入れて下さる方と、結構ですとシャットアウトされる方とがいる。関係機関の方が何度も足を運んだりアプローチしたりするが、人と接すること自体に難しさがあるケースや、相談したが期待にそぐわず諦めてしまうケースがある。

2 虐待について

- こどもを持つ家庭の中で、夫婦げんかでの DV、家庭内のパワーバランスが強く表れ、来室相談に来る方が一定数います。在宅ワークの家庭が増えたことによる生活に支障があり、(父親のリモート仕事中にこどもが騒がないようにこどもを連れて外出する。昼食を準備するために一旦帰宅するなど) 生活に配慮することが多くなっています。
- 家庭環境の厳しさという点でいえば、虐待とつながります。いわゆる貧困等の環境ではなく、不適切な関わりという点で、環境的にきびしいお子さんが多くいると感じます。
- 2023 年度にコロナが 5 類になり通常運営するようになったことで、今まで家に閉じこもっていたお母さんたちが来所するようになってきました。その中でよく聞かれるのが育児に対する不安の声です。今まで人とのかかわりが制限されてきたことにより、ネットによる情報に頼るけれど情報も氾濫しており何が正解かも分からなく、不安を高めていっている利用者が多いことを感じます。そして、その育児不安から虐待につながる危険をはらんでいるということもうかがわれます。
- いわゆる連れ子に対する、愛着不足。虐待のリスク。
- コロナ禍を経て、保護者とかかわることが減ったこともあり家庭の姿や状況が見えてきづらくなっている。そのため、虐待の様子も見えづらい。
- 虐待では、夫婦間の問題が影響していることが多いため介入することが難しい。

- 虐待＝体罰と認識をしている方が多い。認識不足からくる「良かれと思って」の大人の行動が、子どもにとっての虐待に通じていることを周知したほうが良い。子どもの意思を尊重する行動や、言葉かけが少ないように思える。
- 虐待がどういうものかが正確に理解されていないことで、無意識に虐待になっていることが多い。親の帰宅が夜遅く、その間子どもを放置するということもネグレクトの1つだったりする。また衣服をきちんと着せられていないということなどもある。
- ニュースからの印象などによって児童相談所や養育支援課などのイメージが悪い。つながりたがらない方が多く、本来必要な支援を受けずにいる。社会の中で、児童相談所がお父さんお母さんのためになるという認識が定着してほしい。すぐ保護されてしまうという印象もあるようだ。
- 育児負担感の高まりから虐待に至るケースでは、実家の支援が得られない場合は児を預けることで負担軽減策になるが現在はそれが少ない。低月齢の託児は児童相談所か短期間かの二択。ひと時保育など一時預かりサービスは予約がすぐに埋まる。
- 子どもに接することなく親となることがどうやって子育てしてよいかわからず虐待を引き起こすことが起きています。同年代の関わりだけでなく年齢の違う子供との交流が必要だと感じます。

3 ひきこもりや不登校について

- 幼稚園保育園の登園渋り、小中学生の不登校の相談が増えています。
- コロナ禍の中で、不登校も増加しているように思う。近隣の児童館では日中、不登校の中学生が居場所として過ごしていると聞いた。学校に行かなくても、その子どもに合う、居場所や学びの場が少ない。
- 不登校児童が増えてきていると感じる。不登校になる理由があまり明確じゃないというか、なので打開策がないと言ったらいいか・・・
- 授業には出席できない（教室に入れない）が、学習意欲はあり、大人とのコミュニケーションも十分にとれる生徒へのケア。登校しているが、授業には参加せず、廊下で、タブレットを見ている児童へのケア。
- 卒園児の子どもで、中学生になって引きこもりや不登校になっていることを聞くことが多くなった。中には、中学校に一度もいっておらず、いわゆるトー横に出入りしている話を聞く。関係者として、何も支援できない無力さを感じています。
- 仕事につかず、自宅にひきこもり、友達や隣人との友好関係もないと思われる若者がいるが、家庭内の問題に入っていけず、対応はできていない。
- 様々な形態の不登校児童生徒が増えている実態に加えて、時代背景（少子高齢化や共働き夫婦の増加、デジタル化によるメリットとデメリット）に伴う幅広い年代層の孤立状況を含めたひきこもりが、家庭社会に及ぼす影響は心配でもある。
- ひとり親家庭の子どもが不登校になると小学生でも、一人で家になることになる。保護者が不在の家庭に訪問してくれる、または学習の支援を行ってくれるような支援が必要。
- 学校を中心に、硬直した価値観を強要する空間が多い。不登校の子どもたちは、多くは少し繊細なだけで、炭鉱のカナリアなのではないか、と感じることも多い。多様性を認めあい、違いを許容することが、まだまだ社会全体として、受け入れる準備が足りないと思う。

- 不登校の講演会を開催すると情報を求める区民が多いことに気づく。自分から出ていけない人には居場所づくりのほかそこへつれていく人が必要と感じる。
- 子どもの引きこもりや精神疾患などのケースも生じている。8050 問題も生じており、症状は一人一人違う。40 歳を過ぎて親も高齢だが、家から一步も出ず、親に暴力をふるってしまうケースもある。こうした方がいい、といった話をしにいける相手もあれば、うちには関わってほしくないと言われるケースもある。医師会の先生からは「医療機関につないで」と簡単に言われるが、実際には難しい。

4 居場所（サードプレイス）について

- 不登校生徒の居場所が少ない。ブリッジスクールが週 5 で利用できるようになったこと、限られますが校内に不登校生徒の別室が設置されたのは、とても大きな改善点だと思う。
- 引きこもっているお子さんたちの地域の居場所が少なくご案内ができないことがある。
- 居場所が少ないと感じる、地域性があり、使いやすい子どもとそうでない子供の差がある。
- 不登校の子供を持っている親もどのようにすれば良いか分からず悩んでいる。それぞれ一人一人の理由が違うため細かなケアが必要ではないか。不登校の子供も親も居場所があればと思う。
- 学校・家庭は、こどもたちが多くの時間を過ごす場所となっているが、家庭の環境や虐待によって居場所を失うことも少なくない。また、外国籍のこどもにとっては、言語の問題で学校が居場所となりえない場合がある。同じ言語のこども同士が繋がることのできる居場所（オンライン含む）を作る取り組みがあるとよい。
- 居場所は絶対に必要。まずは家が安心して過ごせる場所になることが大事。その上で次に進むときに、たくさんの選択肢があって、いくつかある中で自分に合った居場所を見つけられたら次に繋がっていくので、多様な居場所、多様な支援者が必要である。勉強したい子、遊びたい子、何もしないでぼーっとしたい子、低年齢の子に混ざるのが嫌な子など、その子によってニーズが違う。そこにいる支援者が合うかどうかという点もある。合わない居場所があったときに他の居場所があれば移動できる。曜日や時間帯、家から通えるかどうかの距離の問題もある。

5 ヤングケアラーについて

- ヤングケアラーという点では、調査結果からも本人の自覚がほとんどないという点が大きく心配です。また家庭環境をみると、3歳くらいから、親のケアをしているような子（具体的な世話ということではない）もいて、将来的にヤングケアラーになっていくのではと心配することもある。
- 保護者の精神疾患により、こどもが親を心配し学校へ登校できない等のケース。
- 共働きの家庭が多く、中には自分の時間を優先してしまい、上の子が下の子を面倒見ながら留守番をすることもあるよう。
- 数件それと思われるケースにかかわりだしたが、入り方などに配慮が必要と感じている。
- ヤングケアラーについては、かなり増えてきている。主任児童委員は学校訪問を年1回行って情報交換をしているが、少し前から、下の子をみないといけないから学校に行けていないというケースを聞くようになった。母親が体調不良、精神的な問題で家事ができない、子どもの面倒が見られないなどのケースである。子ども側では「ヤングケアラー」と自覚がある訳ではなく、大変だがやっている、という状況である。

6 貧困について

- 中には生活が厳しく支援が必要ではあるけれど金銭的な理由から通院や入所などを選択肢から排除されているというところも見受けられます。
- 地方から上京し一人暮らしをする大学生（短大生、専門学校生等含む）において、学費以外の生活費をアルバイトで賄う。しかし物価高による生活費の枯渇から食事を制限したり、日用雑貨や生活必需品を削減している。携帯はバイトのシフトや連絡に必要で欠かせないため支払いも高額となりさらに生活費を圧迫している。
- コロナ禍による収入（仕事）の減少がシングルマザーの生活を直撃し、こどもの生活も生きるための最低限となり、成長にともない洋服や食費の増大に追いついていない。
- 親がシングルで子どもをケアする余裕がない。場合によってはシングル起因の貧困（母子家庭にこの傾向があるように感じます）。
- 保護者の方から、引っ越し話が出るが多くなってきた。理由は、森下、白河地域の物件の賃料が高くなってきており住みづらくなってきたこと。また支払えないなどの話を聞いたときに家庭の状況が初めてわかることがあった。
- 収入が少ない貧困の家庭のケースと、収入があっても母親が自由に使えるお金が少ないケース、また、両親はブランドの服を着ていて、子どもはサイズダウンしたものや、汚れたものを着ているのが気になり、着替えをお願いするときに合わせてお願いするケースがある。

7 障害のあるこども・若者について

- 子育てひろばでも発達に課題のあるお子さんが増加しているが、支援機関（子ども発達支援センター・親子教室等）の受け皿が不足している。
- 障害児特に外国籍や母親が外国籍の場合、子どもが小さいときに障害があっても気づけない、どこに支援を求めているかわからないというご家庭があり、保育園に入り他機関とつながることができたことがあった。
- 保育園では、障害と判断できないことが多い。接し方、対応の仕方で成長過程が変わると感じるが、保護者の考えに差を感じる。ちょっとしたことでも敏感な方と、気にならない方がいるので、早い段階で発達支援の専門の方と関わられるように促している。
- 発達障害が背景にあり、医療機関につながり検査や診断を受け、治療や支援を受けることが望ましいと考えられる不登校のケースが複数存在する。保護者が病院に行くことを受け入れられないケースも存在し、一部の保護者にとって、やはり診断は利益よりも不安が高い。
- 他機関連携が必須で、うまくできるとよいと思っている。
- こどもの障害もさまざまで、発達レベルも個人差が大きい。本人の障害の状況に合わせた保育や教育の保障が十分になされていない事例が見られ、体制整備が必要だと感じる。
- 障害のある子供を養育する保護者が利用できる支援が少なく交流の場も少ない。外出するにはその間の子のケアについて保証されねばならず、保護者自身休養がとれない。
- 早期発見がされると発達障害であれば療育を受けていくことでその後の対応含め大きく変わってくる。障害を受け入れきれない悩みもあるが将来的には受け入れて療育や支援を受けた方が本人も親も苦しまずに穏やかに過ごしているケースが多いと感じている。

8 外国につながるこども・若者について

- 地域性もあると思うが、外国籍の親子の来所が多い。ひろばの中で文化の違いからトラブルに発展することも少なくない。こどもに装飾品を身に付けさせていて、ひろばで外すことが出来ない等。又こども同士の遊びの中で遊具の使い方やこどもへの接し方にも違いがあり、対応に苦慮することもある。
- 保護者の日本語能力が低い場合に、様々な制度の情報が伝わらず利用できない場合がある。また、子供が通訳で負担を強いられ、ヤングケアラー化する場合もある。
- 日本語を十分に理解出来ない児童、生徒のケア。親の日本語の理解が不十分で、学校と親との意思疎通が困難。子（日本語ができる）が親の通訳代わりになっており、子へ必要ない負担がかかっており、度をこすとヤングケアラー化のリスクあり。
- 外国の方の考えを尊重できるように寄り添っているが、主張もつよいので、理解し合えるように寄り添った対応をしている。
- こどもの海外滞在経験に関して、語学力を身に付ける点においては恵まれているようだが、過剰な環境適応状態ではないか、将来の性格傾向に及ぼす影響もありそうで、支援者としての心配は残っている。
- 日本語を母国語としないこどもたちへの支援（学校内での）が不足している。結果的に中途半端にしか日本語を理解していない状態でただ教室に座っているだけのこどもを見かける。

- 外国から日本に移住して、うまく学校生活になじめないお子さんのメンタルケアが必要になってきていると痛感しています。
- 日本語習得が問題。支援の量が足りていないと感じている。
- 虐待で継続支援をしていた事例が海外へ転出した場合、国をまたいで引き継ぐすべもなく、現状はそれきりになっている。
- 外国につながる子どもや保護者については、言葉の壁がどうしてもない。通訳やポケトークの限界を感じる。こころの問題となればなおさら対応が難しい。
- 子どもたちは、やはり親の言語しか使わない。そこが習得できてから日本語や学校の学習ということになる。そうすると、同じ学年の日本人の友人と遊んだりする上で難しく、同じ国の友人と行動する。中学生になるとジュニアリーダー育成の取組があり、とてもよい。日本人・外国人併せて20数名を集めてゲームを行ったが、ジュニアリーダーがうまく指導してくれ、面倒見がよかった。こちらも忙しいので度々は開催できないが、親とも仲良くなれたことで、親との関係がつくれた。
- 外国の子どもたちの不登校については、親が行かせないケースがある。特に中学校から日本に来た子どもは日本語がわからず、そういった生徒用の授業もあるが、行ってもわからないということでひきこもりになってしまうケースがある。
- アジア諸国を中心に、外国につながりのある子は増えている。子は日本語の習得がどんどん進むが親はそうでないことが多い。学校が手紙を出しても理解できずにそのままとなり、必要なものが揃わないケースが目立つ。

9 こども・若者の性犯罪・性暴力について

- 幼いころから、水着で隠れるところは人前で出さない大切などであることを知らせ、着替えなども気を配っている。興味を持つ時期を見逃さず、子どもに合った対応をしている。
- 性犯罪を犯すこどもの親の認識の甘さが気になっている。
- 精神保健の中で関わる事例の中で、幼少期の被虐待体験を語る人は多い。また性被害を開示する事例もあり、性虐待はまだまだ把握されずに潜在化していると思われる。
- 性違和を感じている子供たちへの正しい理解がなく、本人も理解していないこともあり、それによる性被害につながることもある。当事者同士の居場所がない。

10 その他

- 大人の間の相互不寛容が、分断を生み、ギスギスしたストレスフルな社会を生み、それが、保護者の余裕を失わせ、虐待の引き金になっていると感じる。保護者に対する厳しい視線は教員の言動にも感じる。
- 18歳に達し、児童でなくなった事例の支援を継続することが難しい。児相から18歳以降は保健相談所で、と引き継がれることがあるが精神保健のアプローチだけでは不十分。成人として社会で自立していくためのサポート体制が圧倒的に不足している。
- まずは身近にいる大人（家族）や先生などが、自分らしく、生き生きと楽しく生活している姿を見せることが一番である。親の支援に徹すれば、おのずと状況がよくなることの方が多い。子どもは周りの大人の顔色をすごくうかがっている。大人が大変そうだと我慢したり、大人が気にするだろうと頑張って学校に行ったりすることもある。また、親が忙しくて意見を聞いてもらえなかったことなどをずっと引きずっている。
- 地域における関係性が希薄になっていると感じる。地区によっても違い、昔ながらの下町の雰囲気がある地区では祭りなどもあるので、子どもも大人も一緒に楽しめる交流機会がある。人格形成といたらおおげさかもしれないが、役立っているのだと思う。

第2章 活動上の課題、区に対しての意見・要望

関係機関・団体に、活動の状況・課題、区への意見などについてうかがいました。以下に、その内容を関係機関・団体のカテゴリごとにまとめたものを掲載します。

1 福祉関係

(1) 活動上の課題

- 人手不足が課題。《母子生活支援施設》
- 課題となる点は、青海にある国際交流会館からの来室者が多く、外国語の対応（特に電話での問い合わせ）には丁寧に行っているところです。《子ども家庭支援センター》
- 情報の周知について、いきわたらない。《子ども家庭支援センター》
- 福祉の現場としては共通の課題として人手不足ということがあります。《子ども家庭支援センター》
- 子ども家庭支援センターは乳幼児親子の相談だけでなく、18歳までの子を持つ親からの相談、又子ども自身の相談も受けています。乳幼児親子のイメージが根付いていますが、相談の部分では、広く対応していますので、より周知をしていきたいと考えています。《子ども家庭支援センター》
- 様々な家庭にアプローチしていく中で、特に困難な状況におかれている子育て家庭を取りこぼさない為にも、職員の配置人数の増員は課題となってきたと感じています。《子ども家庭支援センター》
- 支援をする側としてのスキルアップ。《子ども家庭支援センター》
- 区またがりの方へ対する支援など。《子ども家庭支援センター》
- 当センターでは、小中学生のボランティアやママ・パパのサークルも盛んで、利用していた親子が子育てひろばでボランティアとして活躍するなど、将来の子育て応援の担い手が育っている。今後活動が積み重なっていけば、そういった担い手の循環もできくるのではないかと思います。《子ども家庭支援センター》
- 妊婦の時期から子ども家庭支援センターに繋がる支援プログラムがあるとよい。現在取り組んでいるのは、助産師との協働プログラム、マタニティヨガやプレママ・プレパパ講座だが、最近では妊婦さんもぎりぎりまで働いて忙しいこともあり、参加者を集めるのが大変である。近隣の産婦人科や保健所にもお願いして、母子手帳を取りに来た時に伝えてもらったりしている。参加された方は満足度が高い。《子ども家庭支援センター》
- 時間と資金。支援活動に携わる人材の不足と高齢化。《主任児童委員》
- 親に精神疾患がある場合は専門の方でないと対応は難しいと思います。《主任児童委員》
- 主任児童委員は、直接お会いして支援することは少ない。見守りも、豊洲地区はマンションが多く、オートロックなどでなかなか近づけない。また、閉鎖的な学校も活動上の支障。《主任児童委員》
- 繋ぐということに重点を置いているので、対象者にどのような支援が必要なのか考え提案するが、受け入れられない場合、それ以上のことはできない。《主任児童委員》
- 色々な角度でアプローチしてもうまくいかず堂々巡りになってしまうケースもあり、そうすると難しい。紹介した先についてすべて「そこも行ったがうまくいかず…」となると、困る。当人が状況を具体的に整理できておらず、思ったように対応してもらえないと「もういいわ」とになってしまうのかなと見受けられる。《主任児童委員》

- 困難がある家庭はたいてい保護者にも課題があるが、保護者の教育はできない。民生委員とある家庭を訪問したときに、子どもが夏にはだかで過ごしているという状態で、きちんと見てほしいと親に伝えたと、「きちんと見なきゃいけないの？」と返答された、というケースもある。《主任児童委員》
- 小学校6年生までは、年間に何度も行事や季節ごとに手紙などを出し、連絡を取り保育園とつながるようにしている。課題としては、保育園のころから問題のある家庭や連絡を取っていききたい子どもの多くが、連絡が途絶えてしまう傾向がある。《保育園》
- 行政の縦割りの弊害とも取れることがある。同じ子どもなのに、教育委員会ではソーシャルワーカーがついていたが保育園では使えないなど、保育園には保護者支援などが業務としてかされているからかもしれませんし、また保育園に対する補助金などにすでに何かの経費として支払われているということかもしれませんが、非常に疑問を感じました。《保育園》
- 子どもの様子を伝えたと、障害児扱いをされたと怒る保護者がいた。《保育園》
- 全てにおいてのコスト高。人・物のコストが高騰し、良いサービスを提供することができにくくなっている。《保育園》
- 保育園の運営だけであれば職員で十分ですが、地域に根差した保育園を目標としているので、地域の方も支援していくとなると、現在の職員以上の人材が必要となります。現在は担当などを付け、業務の一環として担ってはおりますが、働き方改革や、業務軽減を要求される中で、支援事業も強化され、医療ケア児、誰でも通園制度、社会福祉充実計画など次から次への課題に困惑しているのが現状です。《保育園》
- 人材も補助金も湧いてくるわけではないので、現状の職員の理解を得られるように御願いたいです。以前、台風の時に公共機関が13時でストップされるという報道があったものの、江東区は「保護者からの要請があれば受ける」という決定で、職員は「働く側の状況を全く考えていない、私たちはどうやって自宅に変えればいいのか。利用者重視の江東区では働きたくない」と訴えられ、自家用車で園長が職員のケアをするといったことがありました。《保育園》
- 過度な個人情報秘守義務により救われるこどもも取りこぼすことがある。《助け合い活動連絡会》
- 町会の活動においては、戸建てが多いことで、困難事例などの情報を確実に把握するのは難しい面がある。《助け合い活動連絡会》
- 区内で活動している無償学習支援 NPO 法人“寺小屋みなてらす”を、中学校を中心に紹介し、不登校対策及び孤独、孤立支援を行っている。教え手として協力してくれる方は一定以上いるが、会場が取れないことが問題。区民館なども含めて有償であるし、また行政が使用する例以外は、営利目的のものも含めて同時に抽選となるため、毎週同じ時間に定常的にやろうという活動が、公共施設では難しい。活動意向のある方はいるものの会場確保の問題がある。一方で、区では空き家の問題も生じている状況である。《助け合い活動連絡会》

(2) 連携上の課題・連携したい内容

- 学校、保育園との連携。《母子生活支援施設》
- よく相談を求めてくる保護者でセンターに来室や TEL 相談の前に実は他機関にすでに話し、「それは子ども家庭支援センターに相談して下さい」とたらいまわしになっていることがある。《子ども家庭支援センター》

- 妊娠期からつながる支援として、保健相談所との更なる連携を考えています。《子ども家庭支援センター》
- 地域連絡会等を実施して地域の様々な団体と連携をとっています。課題としては様々な団体が、そうした会議を開くことがありますので、重複していることがけっこうあるのではないのでしょうか。《子ども家庭支援センター》
- 個人情報の保護の観点はあるが、他機関との情報共有に対してどこまでできるのかというのは課題と感じるところもある。《子ども家庭支援センター》
- 小・中学校へ、子育てひろば親子と助産師と出向き、こどもたちが抱ったこの経験をしたり、助産師からの話を聞いたりする機会を設けている。小学校と中学校の協力なしにはできないが、校長先生や副校長先生とコンタクトを取ることが難しい。《子ども家庭支援センター》
- 中学校との不登校生徒の連携で一方的に報告するパターンが多く、フィードバックは問合せないともらえないケースがある。その後の経過がつかめず、支援が行き届かなくなる。《まなび支援員》
- こども食堂のような、生活に身近な食による支援団体との連携。《主任児童委員》
- よくわからない、が本音。逆に、主任児童委員ともっと連携したいと考えているところを教えてください。《主任児童委員》
- 様々な団体があり、それぞれが目的、役割をもって活動されていることは十分に認識しています。一方、重複や必須ではないと思われる事業がゼロとは言えないと感じております。限りあるリソースを有効活用するいみで、組織の存在自体や、事業の棚卸しが必要なのかかもしれないと感じています。それにより、自ずと連携すべき所、連携のあり方、があきらかになってくるのではないかと考えます。《主任児童委員》
- 以前、在園したお子さんが中央区に越境入学をした際に、江東区での虐待ケースがすぐに引き継がれていなかった。そのため、大きなけがを負ってしまったことがあった。そのけががあって初めて、ケース会議に呼ばれたが、両区の児関係者が出ていらっしやたが、どちらが引き継ぐのかということがその際に決まっていなかった。初動が遅いように感じました。《保育園》
- 児童相談所に相談していたケースにおいて、問題を伝えても決定的な事がおこらないと踏み込めない様子が見られる。《保育園》
- 保育園は虐待案件等、すぐに関係機関へ報告する義務がありますが、保育所からの情報が入るとその状況や園側の意向調査をあまりせず、機関としての役割を重視して動かれるので、これまで培ってきた利用者との関係性が一瞬で崩れることを懸念しています。「私たちの役目ですから」の一点張りで、日々共に生活をしている者の状況把握や、意見聴取をもう少し慎重にしていきたいです。《保育園》
- 保育園の築年数を重ねたり、多国籍の保護者対応や、物品購入などで、国の補助金に当てはまるものがあれば利用させていただきたいのですが、区外の取り組みなどで教えていただいても江東区にはなかったりするので、単年度でどんなものが利用できるのか教えてほしいです。《保育園》
- 子とのコミュニケーションが難しい場合は、医療機関も含めて様々な先につないでいるが、本人の同意がないとどうしようもない。暴力的に連れていく訳にもいかない。引きこもりで精神疾患を患うようになると、周囲が言っても聞いてくれない。養護学校で専門職を務めていた人間なども当会にはいるので、複数の人間でアプローチするようにはしている。管理組合や自治会ではこうした問題に対応できない。プライバシーには配慮しつつも、当会は会則にそうした取り組みへの対応も明記している。《助け合い活動連絡会》

(3) 区への意見・要望

- 来所した海外の方たちに対して、各施設に英語の堪能な職員が一人いることで、細やかな配慮、支援ができるのではないかと。《子ども家庭支援センター》
- 障害を持っている子の保護者に対しての支援。《子ども家庭支援センター》
- ファミリー世帯が多い豊洲地区の中で転勤族も多く、幼稚園の3年保育が少ないことに転入者は驚き困っています。もっと増やして欲しいと考えます。《子ども家庭支援センター》
- 未就園児を持つ親の、リフレッシュするための保育が圧倒的に足りないと感じています。有料（高額）のベビーシッターを駆使している方が多いです。《子ども家庭支援センター》
- 昨年度から始まった見守り支援事業の拡充を希望します。虐待ではなく、要保護家庭までならない段階の、不安定な家庭と一緒に支えていく事業です。孤立家庭→養育不安→虐待となる前に、家庭に出向くことができ親と子、両者を直接サポートできます。このような事業は他区では例を見ないことです。虐待防止につながる画期的な事業だと思います。《子ども家庭支援センター》
- 多胎児移動支援。一時的な保育(需要と供給のバランスが非常に悪いです)。《子ども家庭支援センター》
- 現在、母子保健と福祉の連携というものは、随分と進んだ感がありますが、福祉と教育といった分野については、関わりをさらに強めていく必要があると思います。《子ども家庭支援センター》
- 保育所の生後6か月から1歳児の一時預かり（非定型）の拡充が必要だと思います。こども家庭支援センターの一時預かりはどの施設もニーズが高く、利用者がいっぱい状況です。《子ども家庭支援センター》
- こどもを急に預けたいときの受け皿（シングルの母親が急に通院することになった時など）。《子ども家庭支援センター》
- 「誰もが一度はみずべに足を運ぶ」という仕組みづくりは取り組みたい。いろいろな提案が出されているので、具体的な案を出し合いながら実施していきたい。《子ども家庭支援センター》
- 発達障害児の親に寄り添う人の養成を考えてほしい。小学校入学前までは区のこども発達センターで相談できるが、その後がなかなかない。このみずべでも発達障害をもつこどもは多く、保護者の中には、子がそういった状況にあることを受け入れていない方もいる。親も悩むことが多いが、先輩が見通しを話してくれたりすれば、覚悟をもって我が子に向き合ったりできるようになるのではと思う。《子ども家庭支援センター》
- 親が病気・体調が悪いといった状況の際、預かり先を教えて欲しいという問い合わせがある。現行のファミサポでは当日利用が難しいため、そこをカバーするサービスが求められている。《子ども家庭支援センター》
- まだ自分の気持ちを表現できないこどもへの対応が遅れたり、不十分になってしまわないように、こどもの声を聴くことを第一にする。このことを区の関係機関の皆様と共に努力していきたい。《子ども家庭支援センター》
- 都立高校では、チャレンジ高、三部制定時・単位制など、多様化していることが保護者に伝わっていないと感じることが多い。《まなび支援員》
- 子育て世代は熟年高齢世代と交流することで子育ての知恵を学び、そこでお互いに癒されたり助け合ったりできると思います。こども食堂や認知症カフェは期間が限定されていたり一方の世代の利用であったりするので、もっと日常的な交流の場があるとよいと思います。《主任児童委員》
- スクールソーシャルワーカーさんが圧倒的に不足していると考えております。《主任児童委員》

- 子ども食堂の数、開催日の増加を希望します。《主任児童委員》
- SSW は、困難事例が多い割には足りていない感覚。1 地区に最低 1 人、できれば 1 校に 1 人いてもよいと思う。スクールカウンセラーも週 1 回しかいない、仕事していると昼にはいけないといった声もある。熱心な SSW が増えるとよいと思う。《主任児童委員》
- DV や虐待について、グレーのケースもある。制度の狭間に当たり、手が届かないが、けれど大変な家庭だ、というケースもある。また、発達障害についても、グレーゾーンへの対応も手厚いと、うまく支援が広がると思う。《主任児童委員》
- 情報はたくさんあるので知識は多くあるが、仕入れた知識と実際の状況が違ふことでストレスを感じ、それが子供に向かってしまうということも間々あるようである。情報過多であり、正しい情報ばかりではないので選択も重要である。信頼できる 1 つの機関が発信して、「ここから情報をとれば正しい・知りたい情報が得られる」というものがあるとよいのかもしれない。真面目な答えだけでなく、率直な内容も聞けるものが望ましいが、難しさもあると思う。《主任児童委員》
- 外国籍のお子さんに対して、園だよりの翻訳、入園の面接やその後の面接などの際に通訳派遣をしていただくとよい。園で通訳の方を委託したこともあった。特に英語以外の方。アフガン難民（ペルシャ語）の方が入園した際に、文化や宗教的マナーなどわからないことが多く、どこに聞けばよいかわからなかった。区に相談してもポケットークしかアドバイスしていただけなかった。《保育園》
- 幼稚園では、学校ソーシャルワーカーの方がついて問題解決されていたが、保育園に入った途端、その方は使用できなくなってしまった。《保育園》
- PT・OT の巡回指導など支援の必要な子ども（ADHD 等、外国人も含む）への（より深い）専門家の派遣。なかなか、個別で探すのは時間とコストがかかるので、行政で常駐していただくと安心する（電話相談もあると良い）。《保育園》
- 情報共有を、行政の中でも、また他の機関も含めてどう進めるのか。個人情報保護法が一人歩きしていて、行政の中でも十分情報共有できていないことがある。こども政策の中でも、地域連携と情報共有の視点は入れてほしい。《助け合い活動連絡会》
- 居場所づくりについて、区に財政的な支援の枠組みがない。家賃を出せとは言わないが、せめて、水道光熱費や固定資産税くらい何かあれば。そうでなければ、活動できた事例は、たまたま場所があったからできたんだねということで終わってしまう。《助け合い活動連絡会》
- 高齢者を支える家事支援があるように、ヤングケアラーを支える施策・制度が必要。また、塾に行けない児童、生徒、不登校生などを応援するシステムが必要で、情報共有や縦割り行政の打破が必要。学校からある程度の情報を出してもらって、呼びかけなど官民一体となって行いたい。子どもは地域で育てるという面もある。《助け合い活動連絡会》

2 教育関係

(1) 活動上の課題

- 面談時間の確保の難しさを感じています。子どもが相談できる時間帯が、昼休み放課後に重なってしまい、支援がすぐにできない児童がいます。また保護者は前もって1ヶ月以上先の予約をし定期的な面談を希望するため、トラブルが起きた子どもの面談ができないことがあります。早期に介入すると良いと私も考え、また児童生徒も「今・今日話したい」という希望を持っていても対応ができずにいます。相談できる日程が少なく不満を漏らす児童や保護者がいらっしやいます。《スクールカウンセラー》
- 部屋が少ないために仕方のないことではあるが、相談室が教材室と共有のため、面談中に教材をとるため入ってこられる方が時々いらっしやいます。また、棚にカーテンを掛けて刺激を減らしてくださっているが、やはりものが多いため、衝動性の高い児童は落ち着かない状況もあります。《スクールカウンセラー》
- 勤務時間中に、ブリッジスクールでの生徒の様子などを観察する機会があればと思っています。《スクールカウンセラー》
- 人事異動のタイミング、教職員のメンタルヘルス、支援者側の私的都合、自身を含めた非常勤職員の実態など、該当するケースは多かれ少なかれあると思い、それらを踏まえて活動している。支障は付きものだと思っている。《スクールカウンセラー》
- 異文化に対する理解不足と偏見が未だに現場にあること。《スクールカウンセラー》
- 外国にルーツを持つこどもが増えている近年では、家庭における教育のあり方に対して、支援者側の文化差による偏見かもしれない、と思い悩むことも多い。人は、育った環境の影響を受けやすい生きものだが、こどもの日常生活には日本のルールを受け入れて、登校しぶりのこどもを叩いたりするのは止めて欲しい。加えて、国籍に限らず、極端に言えばしつけが厳しめ、もしくは放任といった一部の家庭要因に留まらず、支援者側の体制要因をめぐる様々な背景の不登校対策は課題であろう。《スクールカウンセラー》
- ファミサポを利用したいが、生活困窮家庭は利用料のことで、利用できない。《スクールソーシャルワーカー》
- ヤングケアラーの確定が難しい。《スクールソーシャルワーカー》
- SSW10名で、一人7校担当では、まわりきれない。週4勤務なので、3校が理想的。《スクールソーシャルワーカー》
- 家庭のことには介入しにくい。支援を拒否する家庭に対するアプローチが難しい。《スクールソーシャルワーカー》
- 自分たちの機関と養育支援課や子ども家庭支援センターとの危機感の認識の温度差。《スクールソーシャルワーカー》
- つなぎ先が少ないこと。《スクールソーシャルワーカー》
- ネグレクトの家庭では子どもに必要な支援に親が理解を示さない。《スクールソーシャルワーカー》
- 派遣要請型から巡回型に変わり、定期的に学校訪問が出来るようになり児童・生徒の様子を学校の先生方と共有しやすくなりました。しかし一方で臨機応変な対応をとる事が少し難しくなりました。《スクールソーシャルワーカー》

- 中国やアジアから日本に移住してくる家族がとて多いと感じている。言語、文化の違いなどの支援が必要で、意識して関係機関を探し、つなげるように努力しているが、課題は、そのつなぎ先が少ないこと。《スクールソーシャルワーカー》
- 外国ルーツのご家庭、子どもたちに対する支援が、圧倒的に不足しています。他区も含め、民間の社会資源も調べてみましたが、ほとんどがパンク状態で活動しており、国・社会全体で、なんとかしていかないといけない、という認識があります。《スクールソーシャルワーカー》
- 支援専門職の孤立（連携、協働したくても、その時間的余裕がない）。支援専門職の不安定さ（会計年度職員であること）。関係機関の余裕のなさ（児童相談所、養育支援課、学校・・・）。《スクールソーシャルワーカー》
- 外国につながる子どもについて、文化の違いはやはり大きく、日本でいえばもう少し自立させて良いのではないかという所を全て親が先回りして色々介入してしまったりするなど、どう日本のワーカーとして関わってよいのか難しい。また、外国人のコミュニティの中だけで親が生活していて、子はずっと日本で暮らしているのに日本語がままならないケースもある。各種の障害の捉え方も文化の違いがあると感じる。検査をすれば知的障害に入りそうでも「うちの子はばかでないから」ということで拒否され、適正な教育・支援につながっていないなど感じるケースがある。《スクールソーシャルワーカー》

（2）連携上の課題・連携したい内容

- 情報共有が不足している。養育力の乏しい家庭の児童の保護をかつてお願いしたが、命の危機のない状態ではなかなか対応していただけなかった。《スクールカウンセラー》
- 教育分野でリスクがあるとされる家庭や子どもの情報が、義務教育を終えると、その先の支援（連携）につなぐりにくいのではないかと思います。幼少期から中学校までに上がった生徒の情報や、リスクがある家庭の情報を、どこかで管理し、青年期、中年期の引きこもり予防や、ネグレクトやヤングケアラーなどの家庭の支援、生活困窮などの支援にも繋げられると良いと思います。《スクールカウンセラー》
- 全員面接とその後のフォローアップは有効だと考え、立場を踏まえつつ、存在感のアピールに力を入れている。全員面接時のアンケートで、「今後、相談するかもしれない。」といった表現のあるこどもの来室誘致や、保護者や担任の先生からの間接的な相談から始まるこどもへの来室誘致は、その都度工夫が必要で、骨の折れる思いをすることも多く課題だと感じている。これらの改善に向けて、（若者に該当する教職員も多いため）繁忙であっても協力的な教職員に対し、お願いに近い依頼をするようにしている。《スクールカウンセラー》
- 環境調整が必要だと思われる家庭に関して、短時間の電話相談や立ち話などの能動的な接触機会を増やしている。時には担任の先生を含め、複数人で話し合いの時間を設けることもある。各学校における構成メンバーの力量と熱量、タイミング等が支援に与える効果は大きいので、私自身の担当ケースの増加に対応すべく、来談者の筆跡はなるべく残すようにしている。その一方で、集団守秘義務と相談相手との個人契約それぞれが重要なので、引継ぎ手法は常に課題だと思っている。《スクールカウンセラー》

- 連携の必要性を誰がどう見極めるか、という点も課題だと考えている。自身から連携を打診してもよい場面もあるので、それを見極められるようになればと思っている。また、どこまでを集団守秘義務の範囲と捉えるか。危機管理に基づく守秘義務の例外がある一方で、こども・ご両親のどちらかが学校で1対1の話をしておさまることもあり、それは心理のアプローチだけでよかったりする。知り得た情報のすべてを共有する必要はないと感じる。《スクールカウンセラー》
- 教育センターと学校の連携が他区のようにもっと密であってもよいと思う。《スクールカウンセラー》
- 福祉が教育に入りづらい状況においてSSWを活用してもらえたらありがたいです。《スクールソーシャルワーカー》
- 個人情報の共有。特に、問題が起きてからではなく、起こる前に共有し、心配な家庭に介入ができればよい。すでにしているが、連携の必要性を感じるのは保健相談所。《スクールソーシャルワーカー》
- 社会福祉協議会などで子育て世帯に対するボランティアの活用をもっと積極的に行ってほしい。大学と連携し、学生ボランティアを活用したい。《スクールソーシャルワーカー》
- 外部の関係機関の方となるべく対面でケースについての話し合いをしたいと思っていますが、日々の業務に追われているようでなかなか話す時間が取れず連携が上手く図れていないと感じます。《スクールソーシャルワーカー》
- 隣区（墨田区）の学校や、SSWと連携したいと感じることがありますが、区の壁は大きいのではないかとひるんでしまうことがありました。《スクールソーシャルワーカー》
- 放課後等デイサービスに直接つながることもある。区役所の担当課につないでも「ここはどうか」とは言ってもらえず、渡された一覧からお母さんが探さないといけない状況で、かつ空きもないので、心が折れてつながっていないという家庭が多い。放課後等デイサービスは探すのが難しく、労力も割かれる。基本的に相談支援事業所も一緒につなげるようにして、そこでお手伝いしてもらえればよいなと思っているが、事業所も対応してくれる例もあればそうでない例もある。公務員としては偏ってはいけないのだろうなと思いつつ、葛藤している。《スクールソーシャルワーカー》
- 不登校の子が増えてきているということもあり、今の時代で言えばフリースクールといった場所とももっとつながって情報を得ないといけないと感じる。《スクールソーシャルワーカー》

（3）区への意見・要望

- 学校内で不自由な思いをしている外国人児童・生徒同士が一緒に過ごせるような居場所（校外）があるとよいと思う。《スクールカウンセラー》
- 特別支援や発達障害への理解を促す活動。まだ特別感をもたれていると感じている。《スクールカウンセラー》
- 発達特性があり学校に頑張って通っているが友人家関係のトラブルが多いという層が通える放課後デイケアがあると良いと感じています。また区の施設で行われている無料の学習支援の良い評判を聞きます。スタッフが明るく楽しく、また学習もでき、発達特性のある児童の居場所になっているが、月1回とのことで、より実施回が増えることで放課後の児童が頻繁に通える居場所になればよいと感じています。《スクールカウンセラー》

- 自殺予防、不登校予防の為に子どもの不安などのメンタルヘルスへの介入が重要です。そのために、心理教育プログラムなどの導入や、大人のように、メンタルヘルスの定期的な測定も必要でしょう。《スクールカウンセラー》
- 不登校生徒が利用できる別室の全校整備をはじめ、情緒障害の生徒が利用できる学級をもう少し増やして欲しいと思います。希望される人、利用を勧めたい生徒が申請で断られてしまう話をよく聞きます。また臨海地区にブリッジスクールを設けていただけると、生徒も利用しやすく勧めやすいです。《スクールカウンセラー》
- 学校内で不自由な思いをしている外国人児童・生徒同士と一緒に過ごせるような居場所（校外）があるとよいと思う。《スクールカウンセラー》
- こども自身が自分の長所に気づくように、こども自身ができる範囲で他者に表現できるように、考えられるなら考えて、行動に移すスキルを強化、教育支援すること。時には子ども同士で支え合う、ピアサポート体制を構築するような取組も大切だと考えている。大人がすぐに出るのではなく、「声をかけてあげてね」と伝えるだけでも素直に動いてくれたりする。《スクールカウンセラー》
- 継続的に子どもに対して個別に支援する支援員や家事のサポート、一人親世帯への支援、不登校の児童生徒への支援、義務教育終了後の支援。《スクールソーシャルワーカー》
- 外国の方の支援に対する社会資源、不登校のお子さんの居場所。《スクールソーシャルワーカー》
- 就学後の療育センターがない。教育相談が全然、手薄。検査機関がないに等しいので、困窮世帯に発達検査を勧められない。《スクールソーシャルワーカー》
- 教育センターの充実（相談だけでなく、SST やプレイセラピー、ペアトレなどができるようにする、OT, ST, PT の導入）。《スクールソーシャルワーカー》
- 地域にもっと SSW が入っていく（地域連携会議などへの参加）。家庭に入って家庭と子どもに直接支援のできる人を増やす。《スクールソーシャルワーカー》
- 教育相談は保護者対応が主であり、子どもに対するプレイセラピーなどがない。《スクールソーシャルワーカー》
- 居場所が少ない。学校に通えない場合の教育を確保する手段が少ない。《スクールソーシャルワーカー》
- 登校支援など子どもの送迎の支援（健康な子ども）。《スクールソーシャルワーカー》
- 児童発達支援、放課後等デイサービスの事業所はありますが、利用希望の方が多く、なかなか空きがないと感じます。《スクールソーシャルワーカー》
- SSW の人数を増やしてほしい。必死で学校周りを行っているが、個々の支援の薄さを感じている。本来の SW ができていない。《スクールソーシャルワーカー》
- 登校支援があつたら来られる、というようなケースがある。母親も忙しくて家を出ないといけないケースなどでは、「早く起きなさい」などと諍いになってトラブルとなるケースがある。集団登校とは別の形でも、一緒に行ける方がいると助かる。学校の玄関から自宅まで付き添うといったサービスがあるとよい。現状、スクールソーシャルワーカーが登校支援を行っており、また、場合によっては地域の民生委員が協力してくれたりする。《スクールソーシャルワーカー》
- 家の片づけや掃除の支援。ヘルパーとなると家族の病気・障害などが前提となるが、アトピーがあつたり、お母さんが仕事で手一杯だったりするケースがある。立ち退きを求められた家がごみ屋敷状態になっていて、片づけを手伝ったこともある。片付けや掃除ができていないのは、ひとり親家庭が多いには多い。《スクールソーシャルワーカー》

- ファミサポを利用したいが、生活困窮家庭は利用料の問題で利用できない。放課後の見守りや、ちょっと遊んでもらったりということでの利用を希望するケースがあった。所得状況によってファミサポ利用料が変わる自治体もあり、区でもそうしたフォローがあるとよいと思う。そういったケースが虐待につながったりもする。江東きつずもあるが、行きたい子と行きたくないという子がいる。また、同じく利用料がかかる。《スクールソーシャルワーカー》
- 赤ちゃんから3歳くらいまで、いやいや期など、どのように過ごすのかを中学校など義務教育の中で学べれば、虐待も減るのではないかと思う。《スクールソーシャルワーカー》

3 保健関係

(1) 活動上の課題

- 困難を抱えた家庭の支援は簡単なことではないので、すぐに結果を求めず。相手にも一緒に少しずつやっていきたい、まずは安心して相談できる人になりたい、と説明します。支援には年単位の時間がかかりますが、支援者には異動があり、息の長い支援を誰もが続けていけるかどうかが課題です。《保健相談所》
- 保健師が何をする人か知られていないので、困っている人が相談できる場所として認識されていないことも課題。《保健相談所》
- 支援者の技術の向上や人材育成。《保健相談所》
- 支援を拒否する人、支援希求のない人、転出入、出入国を繰り返す人への、支援に入るまでの信頼関係構築が困難。《保健相談所》
- マンパワー不足。《保健相談所》
- 連絡がつかない対象者への対応が課題。《保健相談所》
- 当院での利用期間のその後の様子を知ることができないので、その支援がどうであったか評価ができない。困ったときに電話連絡でも相談できる場所となって、構築できた関係をつなげていければよいと思う。《助産師会》

(2) 連携上の課題・連携したい内容

- 保健、福祉、教育、と対応する人が違い、職種が違くと解決策を急ぐあまり、アセスメントが違ってしまい、支援が良い方向に向かわないことがあり課題と感じている。まずは関係機関が対象者についてのすべての情報を出し合い、アセスメントし、ゴールを確認する。そこから現状にふさわしく、対象者に負担をかけないきめ細やかな支援を提供することが課題。《保健相談所》
- 地域の何でもない助け人であり個人情報保護のしほりがかけられている民生児童委員の方々とは更に密に連携したい。特別支援学校、高等学校、INS は江東区の部署ではないため、連携が難しいが必要。《保健相談所》
- 民間事業所が増えていく中で、なかなか顔の見える関係になりにくい。日頃連携している機関以外の団体については、活動目的や活動内容など実態がわからないことが多いため、行政として容易には連絡しにくい。《保健相談所》
- 地域で継続支援を実施している学齢期の事例について、進学や転校時に児童や家庭の情報が学校間で引き継がれず、その後の支援が途切れてしまうことがある。《保健相談所》
- 受理した機関なりのアセスメントをせず、申し送りをされると、誰が困って何を相談しているのかわからず、結局こちらの支援ではないことがある。相談者の不利益になる。《保健相談所》
- 個人情報に壁となり、情報共有が難しい時がある。《保健相談所》
- 本来であればもっと地域の方とつながりがあればよい。民生委員などと時折話をすることもあるが、1人の方を継続的に見ていく上では、地域の方とのつながりも重要だと思う。《助産師会》

(3) 区への意見・要望

- 学校、福祉、医療、保健、行政事務、民間事業所（居宅支援、発達支援、移動支援など）保育園、NPO など、支援者の絶対数と資質が足りない。足りないのはハードよりも圧倒的にソフト。《保健相談所》
- 学校に期待するところは大きいが多忙な教員ではなく、教育現場で家庭環境や保護者のサポートにかかわれる福祉的な人員が必要。現在 SSW は複数校を兼ねて担当しており校長の依頼により関わりを開始しているが、積極的に家庭状況をアセスメントし予防的に関われるしくみが必要であり各学校に SSW など専門職の配置が望まれる。《保健相談所》
- 様々な部署で子供の支援を行っていて、どのサービスがどの課で行っていて、対象者は誰かがわかりにくい。名称も似かよっていて混乱する。まずは一覧があり、詳細は各課のページを見せるようにしたものが、スタッフとして欲しい。《保健相談所》
- ひととき保育のような預かり保育、重症心身障害児の通所先が足りないという声をききます。《保健相談所》
- 母子が安心して過ごせるコミュニティづくりを支援できる政策や場所がもっとあるとよい。自宅のように過ごせる場所があればよいが、難しいと思う。利用者の中でも、眠れておらず大変疲れていて、少し休んでから帰ってもらうこともある。また、一緒に過ごししながら、ちょっとしたことでも相談できる場というのは必要かと思う。その中で専門的な支援が必要となればそうした支援につながっていける、専門の方がいる場があればよい。《助産師会》
- 病児保育の整備。テレワークの両親が現在が多い。今までは出社して、熱があれば会社を休んで対応していた中で、今は家で仕事をしながら子どもをみることになってしまっている。親も大変であるし、子どもも精神的に追い詰められているのではないかと思う。《助産師会》
- 体力づくりが必要。コロナ禍で更に低下が進んだと感じる。母親に体力がないから子どもの体力が落ちてくるという関係もある。母親については、一番は姿勢が悪い。当院でもそうした面へのアプローチは行っている。子どもについては、外で元気に遊ぶ子が少なくなった。大きな声を出すと叱られたりし、学校の運動会の声に苦情も出たりする。本当ならどこでも遊べるようになればよいが、野球ができる場所はここだけ、など制限もある。《助産師会》
- 町会など、子どもが大好きなリタイア組などと接触する場が必要だと思う。知識も豊富な方が、子どものためになるものを提供し、遊びや勉強のことなどで高齢者が子育てに力を発揮できることが大切になるのではないか。働いているひとはそれで精いっぱいだが、元気な高齢者は元気である。《助産師会》

4 青少年関係

(1) 活動上の課題

- 必要な人にまだまだ知られていないという周知部分の課題がある。《こうとうゆーすてっぷ》
- 子ども家庭支援課から18歳間際で繋いでいただこうとするとほとんどが繋がらない残念なケースが多くなっている。教育相談についても高校になってからだとほとんど繋がらない。早めに繋いで頂き、ダブる期間を設けた方がよい気がしています。《こうとうゆーすてっぷ》
- 強制力がない機関なものもあり、連絡が途絶えてしまうと追いきれない。《こうとうゆーすてっぷ》
- 委託事業であるので、SNSによる情報発信ができない。広報としては弱いと感じている。《こうとうゆーすてっぷ》
- ニーズや相談件数が急増し、相談体制の脆弱性から、電話対応ができず、すぐに予約が入れられない状況になってきており、場所が遠くて行けないケースも出ている。相談件数が急増する中で、後追いが必要なケースに対応する時間が少なくなり、繋がりが途絶えるケースが出ている。また、日々の相談に追われ、関係機関との連絡調整する時間がうまく取れていないのが課題である。《こうとうゆーすてっぷ》

(2) 連携上の課題・連携したい内容

- 常設でないので、稼働していない時間も多く連絡が取りにくい。《こうとうゆーすてっぷ》
- 中高年世代の引きこもりに関するニーズがあることから、「長寿サポートセンター（地域包括支援センター）」や「民生・児童委員」との連携をより強化したいと考えている。《こうとうゆーすてっぷ》
- 公的資源だけでは、ニーズに対応できないケースがあることから、当事者家族が主体で運営する居場所、江東区周辺のフリースクールや通信制高校、その他の子育て支援活動団体や、体験型活動を展開しているプレーパーク、孤食・偏食の軽減になる子ども食堂などと連携をより強化したいと考えている。《こうとうゆーすてっぷ》
- 支援者同士が顔の見える関係を作っていくことが大切。地域に出向いて情報をキャッチすることがすごく難しい。支援者は研修やケースを通じてつながることが多い。そうした場でまず大人同士、支援者同士がつながることで、相談のつなぎ先がわかり、つながりやすくなる。《こうとうゆーすてっぷ》

(3) 区への意見・要望

- 江東区内の不登校・ひきこもりに関する情報のポータルサイトがない（フォーマル並びにインフォーマルな情報の一元化並びに情報のアクセシビリティ）。親はいろいろな情報を得たうえで支援につながってくれるが、ひとつのサイトを見て支援につながれるとよいと思う。子ども自身がアクセスしやすいというのも配慮すべき。《こうとうゆーすてっぷ》
- 江東区内には夜間学級がない。（江戸川区には小松川中学校夜間学級、墨田区には文化中学校夜間学級がある。）《こうとうゆーすてっぷ》

- 18 歳まではこども家庭支援課や児童相談所、学校に通っていれば中学までは教育委員会、高校は都立であれば東京都の教育相談などがあるが、18 歳になった途端、ぷつぷつ切れてしまう。18 歳になる間際でゆーすてっぷに繋いでいただこうとすると、1 回会えてもその後続かないなど残念なケースが多くなっている。関係性構築のため、早めに繋いで頂き、他機関と伴走して支援するなど、支援が重なる期間を設けた方がよい気がしている。《こうとうゆーすてっぷ》
- ゆーすてっぷだと強制力がない機関なのもあり、連絡が途絶えてしまうと追いきれない。《こうとうゆーすてっぷ》
- 妊娠から乳幼児、小中学生、高校生、若者、青年、壮年、高齢者と途切れることなく繋がっていきける制度が必要だと思う。相談をワンストップで受け付けて、あとは繋いでということが必要。江東区は教育のワンストップはできたので、生きづらさに対する支援の部分でもそうしたものがあればよい。昔行ったことがある場所、知っている人がいるということで、顔の見える関係で話ができる。《こうとうゆーすてっぷ》
- 江戸川区にあるような中高生向けの児童館（共育プラザ）があると居場所になり、繋がりが持てるのではないだろうか。《こうとうゆーすてっぷ》
- 「江東の不登校・登校拒否を考える会」（のびるの会）があるが、江東区の成人したひきこもる子を持つ親と当事者の会がない。活動としては、家族支援で2か月に1回、茶話会を開いており、同じ生きづらさを抱えた家族の横の繋がりと日頃の気持ちやストレスを発散する場所となっている。学生の頃であればママ友がいてまだつながりがあるが、子が不登校になると話しづらくなったりし、親にもつながる場が必要。地区が近すぎると、知り合いが来ることを懸念される方もいる。《こうとうゆーすてっぷ》
- 江東区内のひきこもり実態調査によるニーズの把握とニーズに基づく地域福祉計画の策定と地域資源づくりをしてほしい。《こうとうゆーすてっぷ》
- （江戸川区駄菓子屋居場所「よりみち屋」のような 15 分から就労可能）中間的就労機関がない。《こうとうゆーすてっぷ》
- 孤立しがちな子育てで地域で支えあい、育てられるように全世代が集える場所が必要。《こうとうゆーすてっぷ》
- 今のこどもたちにも意見を聞く機会の確保と意見を反映し、政策にも生かすために、「こどもの権利条例」や「こどもの権利擁護」する機関の早期設置をしてほしい。《こうとうゆーすてっぷ》

5 支援団体

(1) 活動上の課題

- 助成金の仕分けが手間である。ここで食べるものを買うための助成金と、生活困窮者といった方たちに食べるものを買って提供するということの助成金は別々である。そういったことへの対応は苦手なので、現在は仕分けは行っていない。報告書類も、月次報告くらいでよいかと思うが、そうっていない。《こども食堂》
- フードドライブや、近所の方の提供でクリスマスだからとお菓子の提供があったりする一方、「ひとり親はいますか」「生活困窮者はいますか」という声のあげ方は時勢としてできないので、そういう方たちとどうつながるかが課題。テレビCMなどでは「給食しか食べていない」というようなケースを見聞きするが、本当なのかなど、私たちは困っている方の把握ができない。《こども食堂》
- 月1度の頻度でこども食堂を開催しているが、本当は2回程度やりたい。ただ、担い手に若い方がおらず、それぞれ民生委員だったり、町会、仕事があったりし、人員の面で難しい。《こども食堂》
- 「こどもの権利」については難しい。食べたあとに立ち上がってすぐ帰ろうとした子に片付けや食後のあいさつを促すこと、ふてくされた子に叱責することは「こどもの権利」を守っていないことなのか。「権利」と言われてしまうと、法律のようで難しい。「責任」としては、悪いことをしたら謝るなども必要。権利ということが先走ってしまうと、親も難しい。《こども食堂》
- 保護者が外国籍の方で日本語の理解が難しい場合に、連絡やコミュニケーションが取りづらく、学習/入試情報やその他支援情報等が該当児童生徒/保護者に届かず、情報格差が生じてしまう点。《まなび塾》

(2) 連携上の課題・連携したい内容

- 区に問い合わせればきちんとした専門の方を紹介してもらえたりするので、困っている方についてつなぐことはしているが、その後も個人的に連絡がきたりして、話を聞いてほしいということなのだと思う。《こども食堂》
- 区の担当職員やまなび支援員を始め、必要に応じ他課や子ども家庭支援センター等とも児童生徒の情報共有を行っているため、対象児童生徒への適切な支援に繋がっているように感じる。《母子生活支援施設》

(3) 区への意見・要望

- 外国籍のこどもに対する支援や、支援制度の周知。事例として、友人と思うようにコミュニケーションが取れず、孤独を感じている様子が見受けられるこどもがいた。《まなび塾》
- 単純に補助金等の金銭的な支援だけでなく、こういった制度がある、こういった選択肢があるということを知らずに過ごしている保護者も少なくないと思われるため、制度等の周知をもっと出来ると良いと感じる。《まなび塾》
- 不登校の児童生徒に対し、学習支援事業に参加することで、学校の出席数に加算となるような、連携した制度を策定できると不登校児童生徒の進学意欲等を向上させるきっかけとなるかもしれない。《まなび塾》

資料編

(調査票挿入予定)

(仮称)江東区こども計画策定に係る調査結果報告書

発行年月:令和6年3月 印刷物登録番号(5)111号

発行:江東区こども未来部こども家庭支援課
江東区東陽四丁目11番28号
電話 03(3647)9111(代表)